

Flat Panel Display

取扱説明書	JP
Operating Instructions	GB
Mode d'emploi	FR
Bedienungsanleitung	DE
Manual de instrucciones	ES
Istruzioni per l'uso	IT
Roční zpráva	CS
Înfi	KR

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

PFM-42B1/42B2
PFM-42B1E/42B2E

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5(JP) ~ 7(JP)ページの注意事項をよくお読みください。

8(JP)ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① ディスプレイの電源を切る。
- ② ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



破裂



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

目次

⚠ 警告	5 (JP)
⚠ 注意	6 (JP)
電池についての安全上のご注意	7 (JP)
万一、異常が起きたら	7 (JP)
本機の性能を保持するために	8 (JP)
特長	8 (JP)
各部の名称と働き	9 (JP)
前面 / 後面 / 右側面	9 (JP)
⏻ (スタンバイ) スイッチ / インジケータ部	10 (JP)
コントロールボタン部 (後面)	11 (JP)
入出力端子パネル	12 (JP)
リモートコマンダー RM-42B	14 (JP)
使用上のご注意	17 (JP)
接続	18 (JP)
電源コードの接続	18 (JP)
フェライトコアの取り付け (PFM-42B2 のみ)	18 (JP)
接続例	19 (JP)
メニューで行う調整と設定	23 (JP)
メニューの操作	23 (JP)
メニューの説明	23 (JP)
画像を見る	27 (JP)
入力信号を切り換える	27 (JP)
画面表示を切り換える	28 (JP)
入力信号の情報とディスプレイの設定状態の表示について	29 (JP)
画質を調整する	31 (JP)
コントラスト、ブライトネス、色の濃さ、色あいなどを調整する	31 (JP)
調整した画質を出荷時の設定値に戻す	32 (JP)
画像のサイズや位置を調整する	34 (JP)
画像のサイズを変える	34 (JP)
画像の位置を調整する	34 (JP)
画像のサイズと位置を出荷時の設定値に戻す	35 (JP)
横縦比を切り換える	35 (JP)
水平 / 垂直リニアリティーを調整する	36 (JP)
ドット位相を調整する	37 (JP)
メモリーを使う	38 (JP)
現在の調整状態をメモリーする	38 (JP)
メモリーした設定値を呼び出す	39 (JP)
メニュー表示の言語を選ぶ	39 (JP)
残像を低減させる (スクリーンセーバー機能)	40 (JP)
画像を反転させる	40 (JP)
画像の表示位置を自動的に変える	41 (JP)

電源のオン/オフを自動的に制御する	
(パワーコントロール機能).....	42 (JP)
節電モード機能 (PFM-42B2 のみ)	42 (JP)
パワーセービング機能	43 (JP)
オンオフタイマー機能	43 (JP)
オンタイマー機能 (PFM-42B2 のみ)	44 (JP)
オフタイマー機能 (PFM-42B2 のみ)	45 (JP)
シリアルリモートの設定 (PFM-42B2のみ).....	45 (JP)
ボーレートを設定する	45 (JP)
画像表示機能	46 (JP)
自己診断機能	47 (JP)
特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する	48 (JP)
他のリモートコマンダーから操作する	50 (JP)
仕様	51 (JP)
保証書とアフターサービス	53 (JP)



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

規定の電源電圧で使う



指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお
使ってください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の
原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない



禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電
の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外
の環境での使用は、火災や感電の原因となり
ます。

高压に注意する



感電

サービス担当者以外の方は裏ぶたをあけない
でください。
内部には電圧の高い部分が数多くあり万一さ
わると感電の原因となります。

内部を開けない、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネット
や裏ぶたを開けたり改造したりすると、火
災や感電の原因となることがあります。内
部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店
またはソニーのサービス窓口にご依頼くだ
さい。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源
を切り、電源コードや接続ケーブルを抜い
て、お買い上げ店またはソニーのサービス窓
口にご相談ください。

電源コードを傷つけない



指示

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因
となります。次の項目を必ずお守りくださ
い。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間
に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりし
ない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを
持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店
またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼
ください。

設置・取り付けは確実に



指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒
してけがや火災・感電の原因となります。設
置の際は、以下の注意事項を必ずお守りくだ
さい。

壁面・天井・台上への設置、または転倒防止
のためディスプレイを固定するなど、特殊な
設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工
事を依頼してください。

衝撃を与えない



禁止

本機の前面にガラスを使用しているため、衝
撃を与えるとガラスが割れ、けがの原因とな
ることがあります。

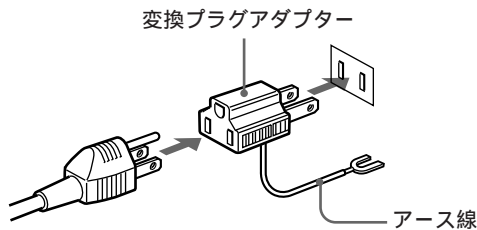
安全アースを接続する



アース線を
接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因とな
ることがあります。次の方法でアースを接続
してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全
アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
付属の3極 2極の変換プラグアダプター
を使用し、変換プラグアダプターから出て
いる緑色のアースを、建物に備えられてい
るアース端子に接続する。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する



注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・使用上のご注意の項(17 (JP)ページ)に従って設置してください。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する



注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売りの専用スタンド(SU-42B)をご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う



注意

本機を据え置きする際には天災・地震など万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。真夏の、窓を閉め切った自動車内では50℃を超えることがありますので、ご注意ください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く



注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製アルカリ乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

電池の液が目に入ったら

➡ すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

煙が出たら

➡ ① 電池を抜く。
② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口につながる。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

➡ すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

➡ よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



警告

下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。**



破裂

- ・ 乾電池は充電しない。
- ・ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。



高温



注意

下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**



破裂

- ・ 投げつけない。
- ・ 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ・ ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- ・ 電池を入れたまま長期間放置しない。
- ・ 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- ・ 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・ 水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

PDP (プラズマディスプレイパネル) について

- ・プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白、赤、青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのムラが見える場合や、ごくわずかの画素欠けや常に点灯する画素がある場合もありますが、故障ではありません。
- ・一定時間同じ画像を表示し続けると、パネルに部分的な焼き付きが発生することがあります。一定時間同じ画像を表示し続けるときは、パネルの焼き付きを避けるため、本機のスクリーンセーバー機能を使用し、全画面表示してください。焼き付きが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼き付きが軽度の場合は、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼き付きは、完全には消えません。
- ・高山地など気圧の低いところで使用するとプラズマディスプレイパネルの構造上、ブーン音(バズ音)が発生することがあります。
- ・ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけないでください。

設置についてのご注意

他の機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモートコマンダーの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

クリーニングについて

- ・お手入れの際は、必ず本機の電源を切って電源プラグを抜いてください。
- ・シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

赤外線システム使用時のノイズについて

赤外線コードレスヘッドホンや、赤外線コードレスマイクロホンなどの赤外線通信システムを、本機の近くで使用すると、通信障害が発生する場合があります。赤外線通信システム以外の製品をご使用ください。また、赤外線通信システムをご使用の場合には、ノイズが消える場所まで、赤外線通信システムを本機の画面から離すか、赤外線通信システムの送信部と受信部を近づけてご使用ください。

特長

本機は、PDP(プラズマディスプレイパネル)を使用した薄型42V型の16:9 マルチメディア対応ディスプレイです。

高画質・高精細

PFM-42B1/42B2シリーズは水平1024ドット×垂直1024ラインのPDPを搭載し、HDTVや高精細PC画像を表示する際、より細部まで表現することが可能になりました。

高性能スキャンコンバーター内蔵

ビデオ、HDTV、PCなど幅広い信号フォーマットに対し、独自のアルゴリズムを用いた高性能スキャンコンバーターが忠実な信号処理を行います。

柔軟な拡張性

オプションスロットを装備し、将来の機能拡張に対応しています。オプションアダプターはスロットイン方式で、迅速かつ手軽にシステムアップが可能です。

その他の特長

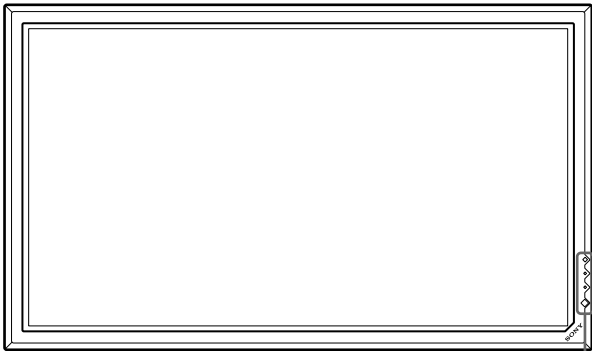
- ・コンボジットまたはY/C入力を1系統、RGB/コンポーネント入力を2系統、合計3系統の映像・音声入力を装備。
- ・3値同期信号付きHDTV信号の表示が可能。
- ・NTSC方式のY/C分離に3次元くし形フィルターを使用。
- ・PAL方式のY/C分離にデジタルくし形フィルターを使用。
- ・入力信号を自動判別して表示。
- ・Windows[®]95/98 PnP (プラグアンドプレイ) に対応。
- ・低輝度信号入力時、自動的にコントラストを向上させる自動輝度調整機能を搭載。
- ・様々な調整や設定が可能なオンスクリーンメニュー機能。
- ・メニュー画面の表示を英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語の6言語から選択可能。
- ・画像サイズ、位置の微調整が可能。
- ・20種類の画像設定をメモリー可能。
- ・IDコントロール機能搭載。
- ・自己診断機能搭載。
- ・REMOTE (RS-232C) 用端子 (D-sub 9ピン) を装備。
- ・SIRCS方式のソニーのリモートコマンダー (ワイヤレス) を使用可能。
- ・縦設置のレイアウトも可能。
- ・クローズドキャプションデコーダー搭載。
- ・残像と焼き付きを低減させるスクリーンセーバー機能搭載。

1) Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

各部の名称と働き

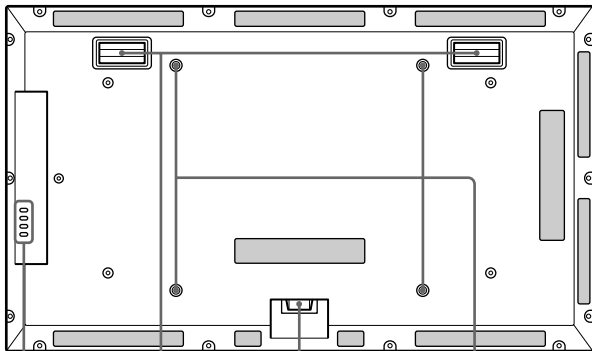
前面 / 後面 / 右側面

前面



①

後面



②

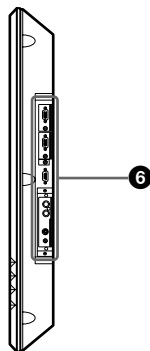
③

④

⑤

斜線部分は通風孔です。

右側面



⑥

① 〇(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部

〇(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部について詳しくは、「〇(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部」(10(JP)ページ)をご覧ください。

② コントロールボタン部

コントロールボタン部について詳しくは、「コントロールボタン部(後面)」(11(JP)ページ)をご覧ください。

③ 取っ手

④ 〜AC IN(電源入力)端子

付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。AC電源に接続すると、STANDBYインジケータが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

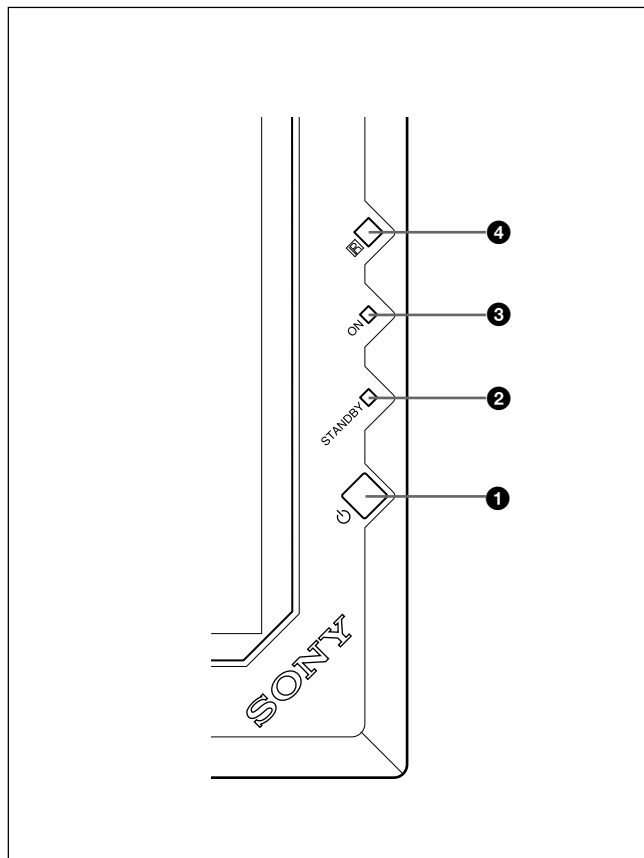
⑤ スタンド取り付け用フック

スタンド(別売り)を取り付けるときに使用します。

⑥ 入出力端子パネル

入出力端子パネルについて詳しくは、「入出力端子パネル」(12(JP)ページ)をご覧ください。

⏻(スタンバイ)スイッチ/インジケータ部



① ⏻(スタンバイ)スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、もう1度押すとスタンバイ状態に戻ります。

② STANDBY(スタンバイ)インジケータ

スタンバイ状態のとき、インジケータが赤色に点灯します。

STANDBY インジケータが点滅したときは、「自己診断機能」(47 (JP) ページ)をご覧ください。

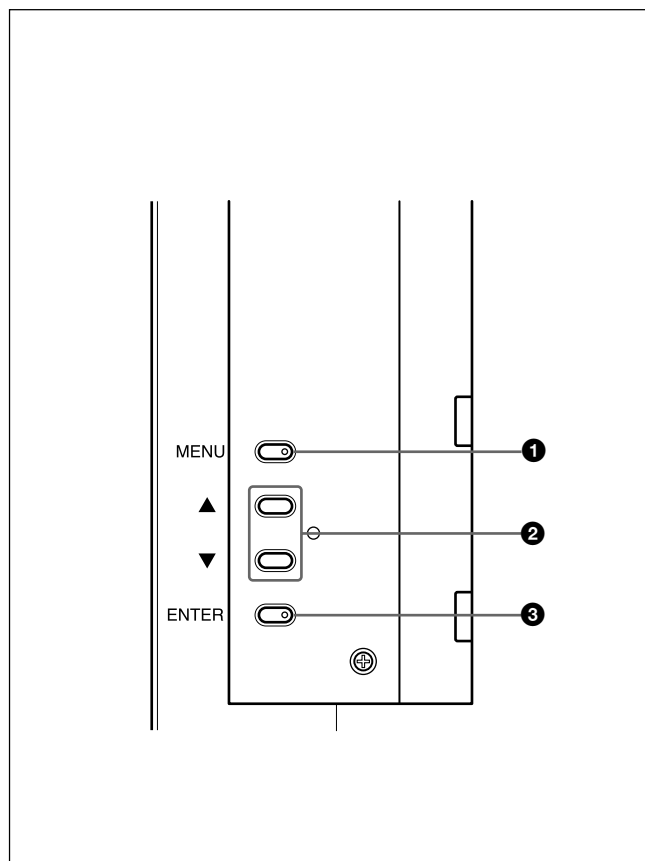
③ ON(電源)インジケータ

モニターの電源を入れると緑色に点灯します。

④ リモコン受光部

ここでリモートコマンダーの信号を受けます。

コントロールボタン部(後面)



① MENU (メニュー) ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。またメニューが表示されている場合に、メニューの階層を戻るときに使用します。メニューを消すには、このボタンを繰り返し押します。

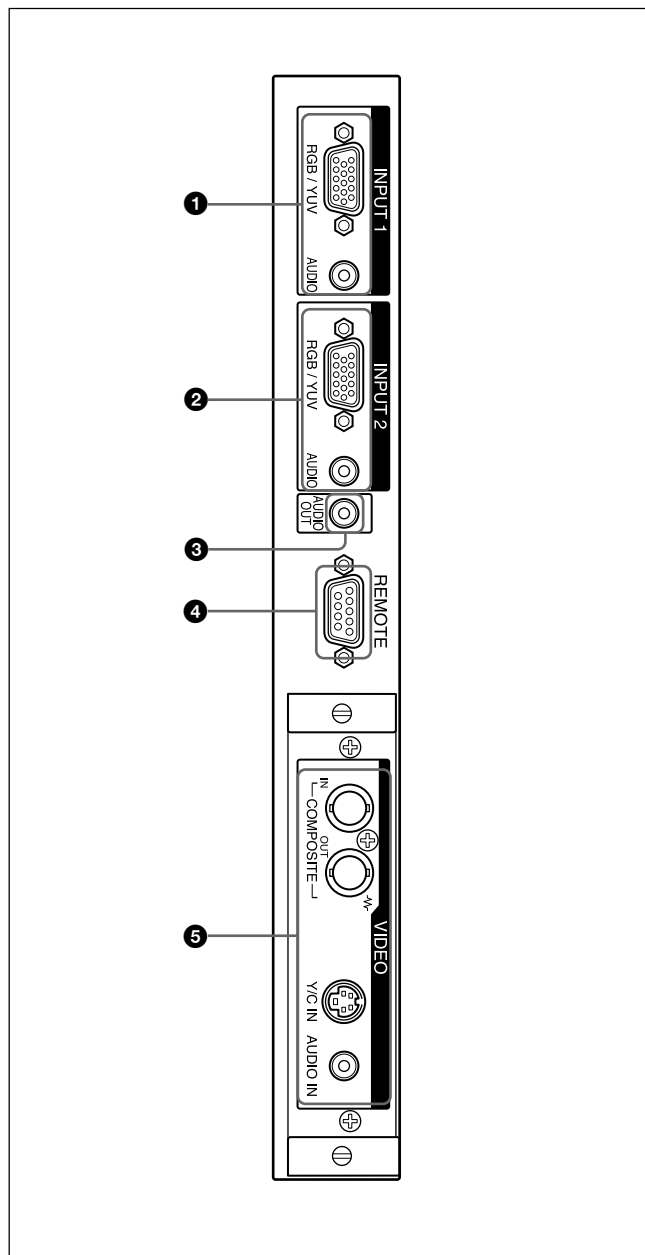
② ▲/▼ボタン

メニューでカーソル(▶)を移動するとき、また数値などを設定するときを使用します。

③ ENTER (エンター) ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときを使用します。

入出力端子パネル



① INPUT1 (RGB/YUV信号入力) 端子

RGB/YUV (RGB/YUV 信号入力) 端子 (D-sub 15ピン) :
コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント(YUV)信号出力端子と接続します。
また、HDアナログコンポーネント(Y/P_B/P_R)信号の入力にも対応しています。コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、52(JP)ページのピン配列を参考にしてください。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

② INPUT2 (RGB/YUV信号入力) 端子

RGB/YUV (RGB/YUV 信号入力) 端子 (D-sub 15ピン) :
コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント(YUV)信号出力端子と接続します。
また、HDアナログコンポーネント(Y/P_B/P_R)信号の入力にも対応しています。コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、52(JP)ページのピン配列を参考にしてください。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

③ AUDIO OUT (音声出力) 端子 (ステレオミニジャック)

AUDIO 端子に入力した音声信号のうち、画面に表示されている信号の音声を出力します。

④ REMOTE (RS-232C) 用端子 (D-sub 9ピン)

RS-232C プロトコルを使って、リモートコントロールを行う場合に接続します。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⑤ VIDEO (ビデオ) 端子

COMPOSITE IN (映像入力) 端子 (BNC 型) : 映像機器のコンポジット信号出力端子と接続します。

COMPOSITE OUT (映像出力) 端子 (BNC 型) : 映像機器のコンポジット信号入力端子と接続します。

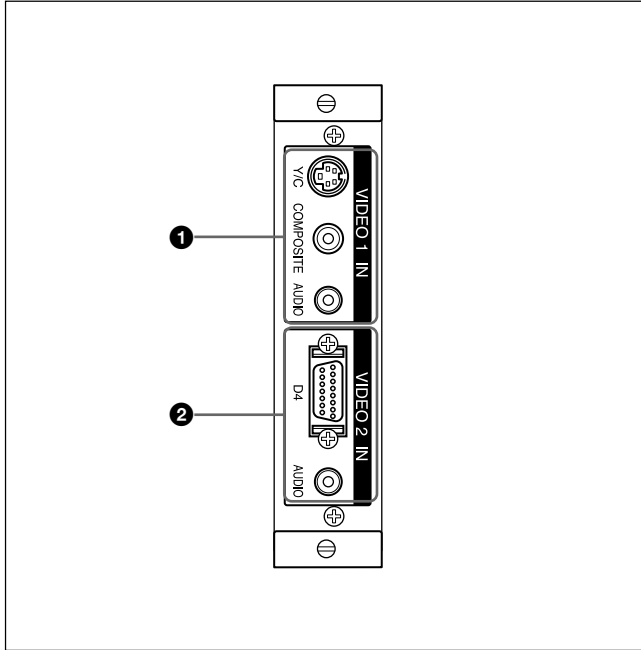
Y/C IN (映像入力) 端子 (ミニ DIN4ピン) : 映像機器のY/C出力端子と接続します。

AUDIO IN (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

D4端子アダプターBKM-B11(別売り)

VIDEO端子部はスロットイン方式になっていて、別売りのD4端子アダプターBKM-B11に付け換えることができます。

BKM-B11の取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



① VIDEO1 IN(ビデオ1入力)端子

Y/C(映像入力)端子(ミニDIN4ピン): 映像機器のY/C出力端子と接続します。

COMPOSITE(映像入力)端子(ピンジャック): 映像機器のコンポジット信号出力端子と接続します。

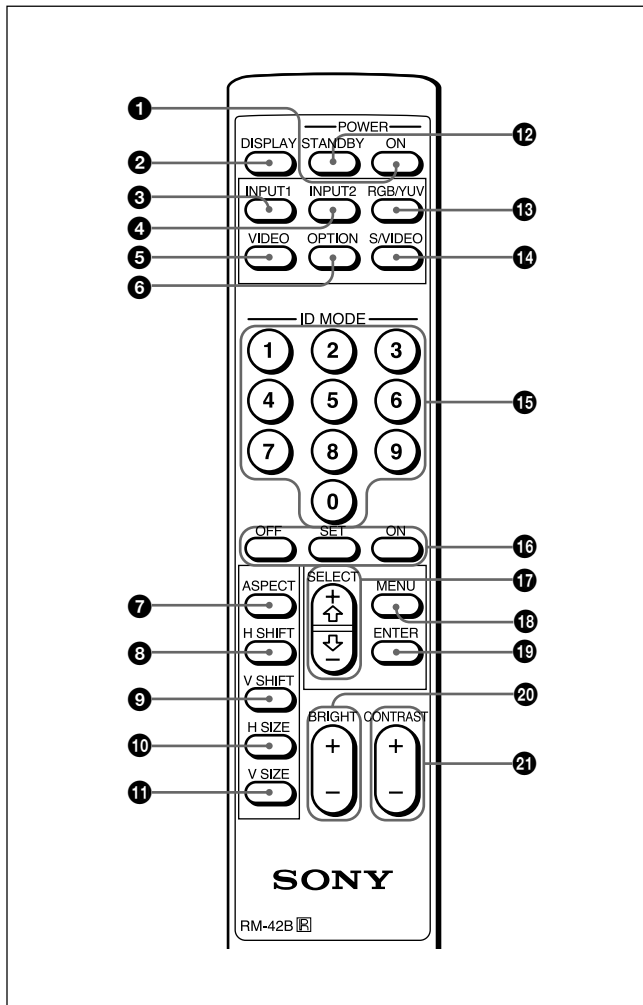
AUDIO(音声入力)端子(ステレオミニジャック): 音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

② VIDEO2 IN(ビデオ2入力)端子

D4(映像入力)端子(D端子型): 映像機器のD出力端子と接続します。

AUDIO(音声入力)端子(ステレオミニジャック): 音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

リモートコマンダーRM-42B



❶ POWER (電源) ONスイッチ

押すと電源が入ります。

❷ DISPLAYボタン

入力されている信号の種類および時刻を画面上部に表示します。
もう1度押すと表示は消えます。

❸ INPUT1 ボタン

INPUT1 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❹ INPUT2 ボタン

INPUT2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❺ VIDEOボタン

VIDEO 端子の COMPOSITE IN 端子または Y/C IN 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❻ OPTIONボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

❼ ASPECTボタン

画面の横縦比を選択します。

❽ H SHIFTボタン

水平方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、
SELECT + ↑ / - ↓ ボタン❿で調整します。

❾ V SHIFTボタン

垂直方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、
SELECT + ↑ / - ↓ ボタン❿で調整します。

❿ H SIZEボタン

水平方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、
SELECT + ↑ / - ↓ ボタン❿で調整します。

⓫ V SIZEボタン

垂直方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、
SELECT + ↑ / - ↓ ボタン❿で調整します。

⓬ STANDBYボタン

押すとスタンバイ状態になります。

⓭ RGB/YUVボタン

INPUT1 または INPUT2 端子に接続した機器の入力信号フォーマットに合わせます。押すたびに、RGBとYUVの間で切り換わります。

⓮ S/VIDEOボタン

VIDEO 端子からの入力信号を切り換えます。押すたびに、COMPOSITE INとY/C INの間で切り換わります。

⑮ 数字ボタン

インデックスナンバーを入力するときに使用します。

⑯ ID MODE (ON/SET/OFF) ボタン

ON ボタンを押すとインデックスナンバーが画面に表示されます。
数字ボタン⑮で、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力しSET ボタンを押します。OFF ボタンを押すと、ID モードを抜けて通常の画面に戻ります。

インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモート コマンドで操作する」(48 (JP) ページ) をご覧ください。

⑰ SELECT (選択) + ↑ / - ↓ ボタン

メニューでカーソル(▶)を移動するとき、また数値などを設定するときを使用します。

⑱ MENU (メニュー) ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。またメニューが表示されている場合に、メニューの階層を戻るときに使用します。メニューを消すにはこのボタンを繰り返し押します。

⑲ ENTER (エンター) ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。

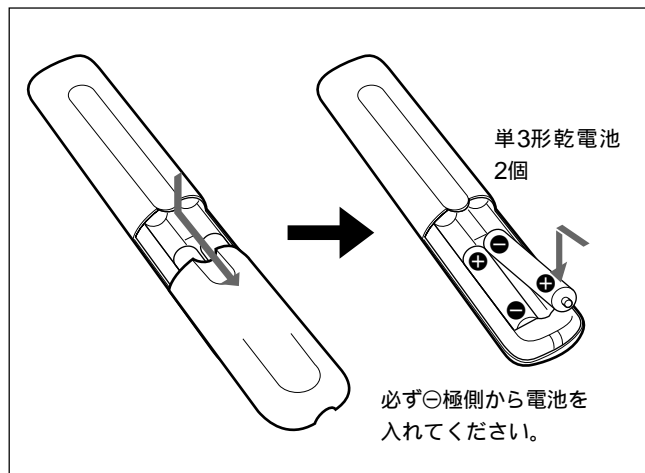
⑳ BRIGHT (ブライトネス) + / - ボタン

画像のブライトネスを調整します。

㉑ CONTRAST (コントラスト) + / - ボタン

画像のコントラストを調整します。

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモートコマンダー操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

リモートコマンダーで操作できないときは
STANDBYインジケーターが点灯しているかどうか確認してください。また、リモート設定メニューのリモートモードが「オフ」になっていないかどうか確認してください。ディスプレイ本体の電源が入っているときか、スタンバイ状態のときで、リモートモードが「TV」または「PJ」のときのみリモートコマンダーで操作できます。

リモートモードについて詳しくは、「リモート設定メニュー」(25(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

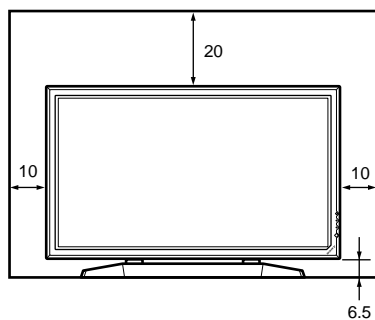
- ・落したり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ・直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- ・ディスプレイ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモートコマンダーで操作できなくなる場合があります。
- ・ディスプレイを操作するために必要なボタンがついていますので、紛失しないようにしてください。

使用上のご注意

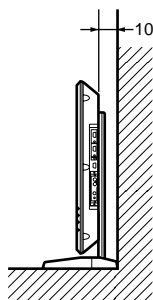
- ・ 本機は、内部の温度上昇を防ぐため周囲に以下に示す以上の距離をあけてください（下図参照）。
- ・ スタンドには、専用スタンドSU-42B（別売り）をご使用ください。

スタンド（別売り）を使用する場合

前面



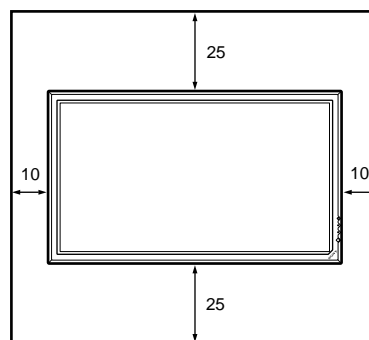
側面



単位: cm

水平方向で使用する場合

前面



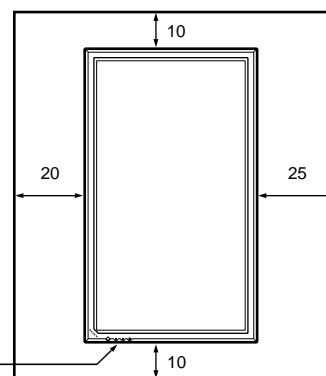
側面



単位: cm

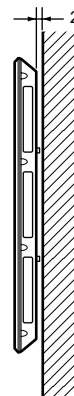
垂直方向で使用する場合

前面



設置の際は、必ず
⓪（スタンバイ）
スイッチを下にし
てください。

側面

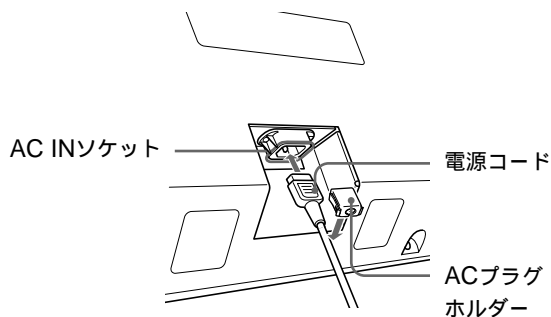


単位: cm

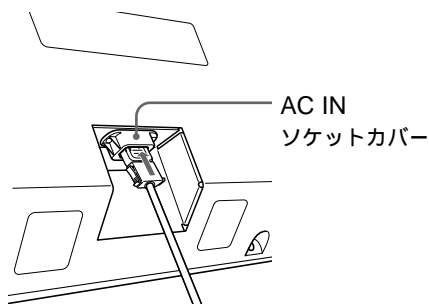
接続

電源コードの接続

- 1 電源コードを後面のAC INソケットに差し込み、ACプラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。



- 2 ACプラグホルダーをスライドさせて、本体側のAC INソケットカバーにはめ込む。



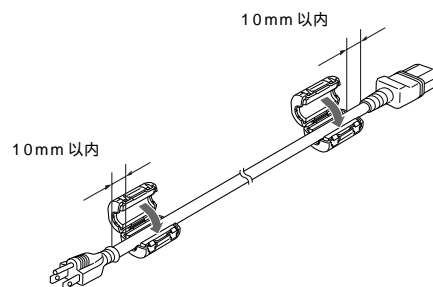
電源コードをはずすには
ACプラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

フェライトコアの取り付け (PFM-42B2のみ)

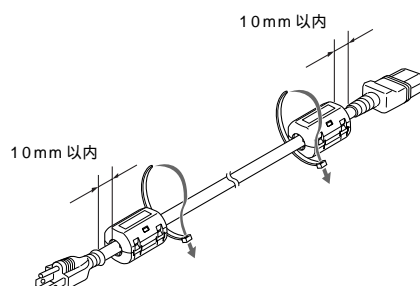
電源コードに取り付ける場合

本体に電源コードを接続する前に、必ず付属のフェライトコア（ライトグレー）を電源コードに取り付けてください。

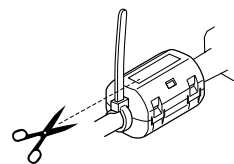
- 1 電源コードの両端にフェライトコアを取り付け、カチッと音がするまでしっかりとしめる。



- 2 フェライトコアがずれないようにストッパーを巻き付ける。



- 3 ストッパーをしっかりと締め、余分な部分を切り取る。



ご注意

本機は、電源コードにフェライトコアを取り付けないと、EMCの基準をみたませんので、ご注意ください。

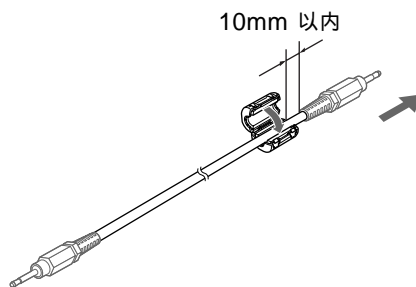
（続く）

ケーブルに取り付ける場合

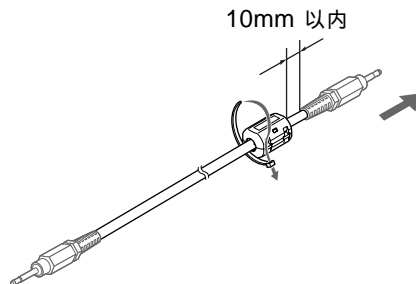
下記の端子にケーブルを接続する場合は、付属のフェライトコアを取り付けてご使用ください。

AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
AUDIO OUT
REMOTE
Y/C IN (VIDEO)
AUDIO IN (VIDEO)

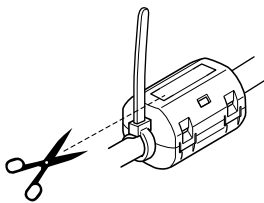
- 1 ケーブルのPFM-42B2側にフェライトコア(黒)を取り付け、カチッと音がするまでしっかりとしめる。



- 2 フェライトコアがずれないようにストッパーを巻き付ける。



- 3 ストッパーをしっかり締め、余分な部分を切り取る。



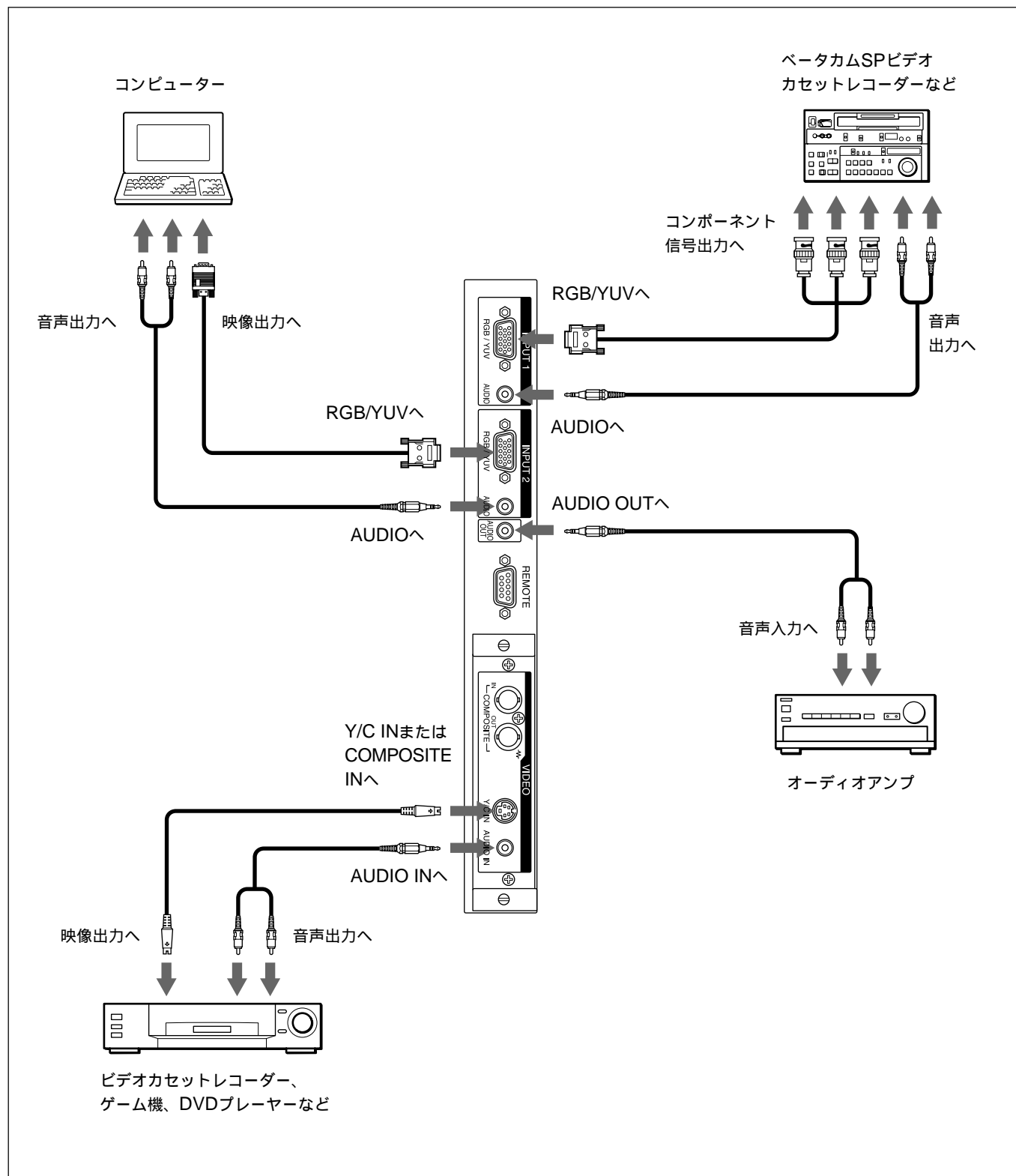
ご注意

- ・RGB/YUVで接続する際は、指定のケーブルをご使用ください。
SMF-400 (D-Sub 15P・5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P・D-Sub 15P)
- ・本機は、接続ケーブルにフェライトコアを取り付けないと、EMCの基準をみだしますので、ご注意ください。

接続例

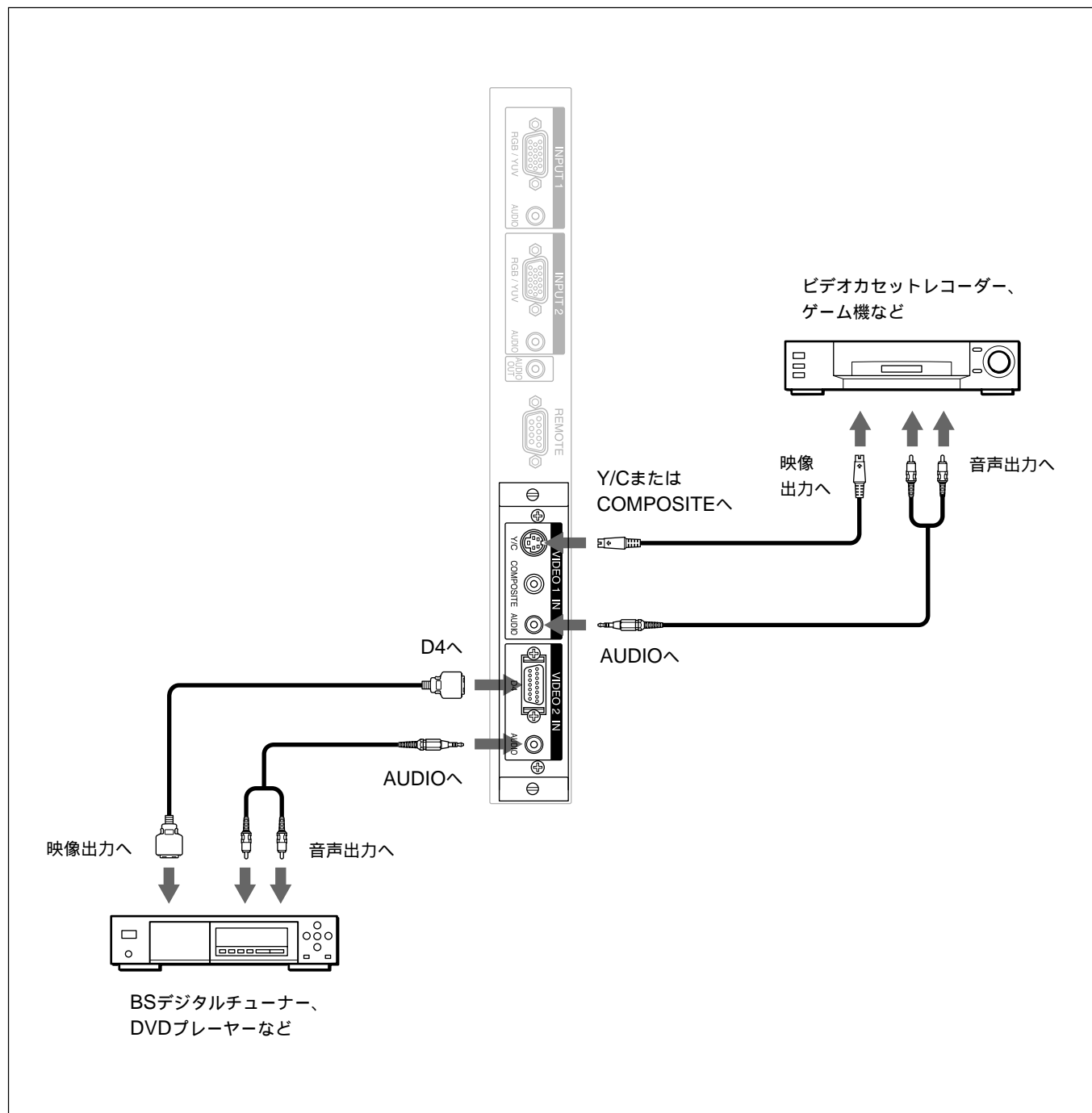
接続上のご注意

- ・各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- ・接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ・コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・電源コードのプラグは、AC INソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- ・付属のACプラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。



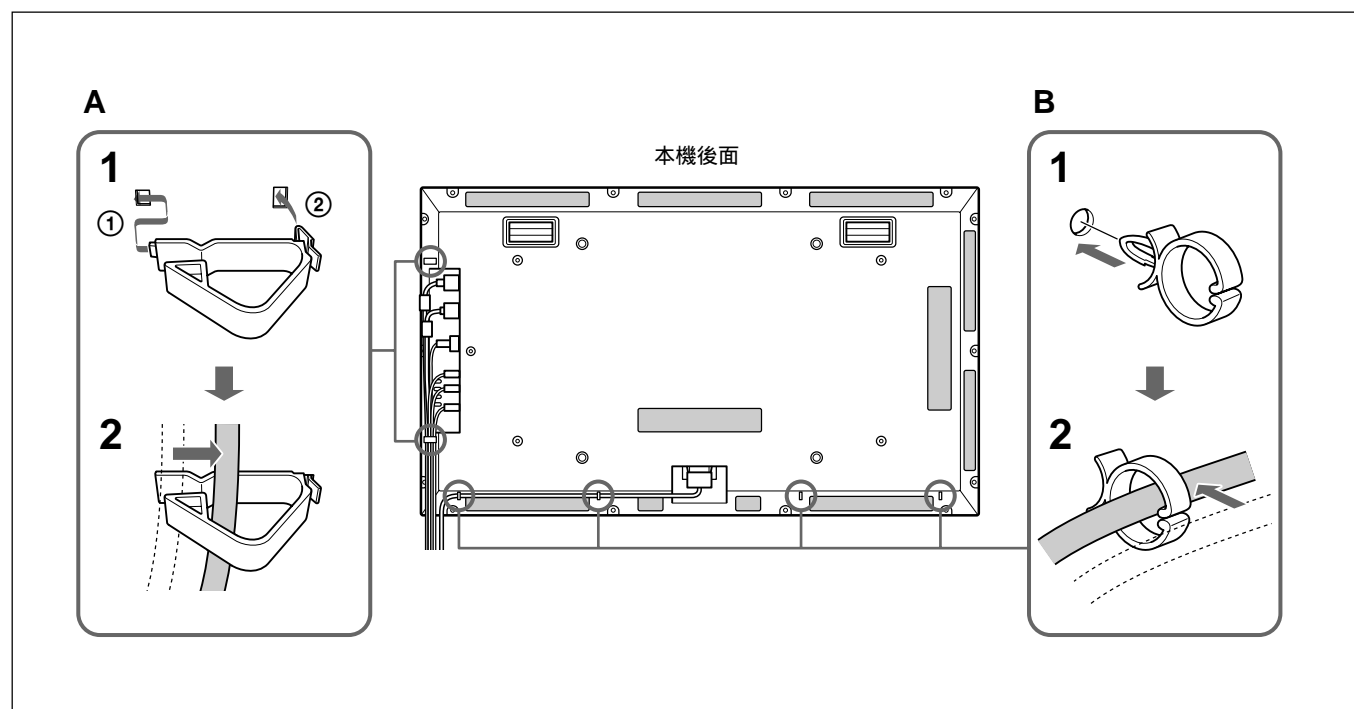
D4端子アダプターBKM-B11(別売り)を装着した場合の接続例

別売りのD4端子アダプターBKM-B11を取り付けた場合の接続例は以下のとおりです。



ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダーA(×2)とB(×4)を使って、ケーブル類や電源コードをすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーA、Bは、それぞれ以下のように取り付けます。

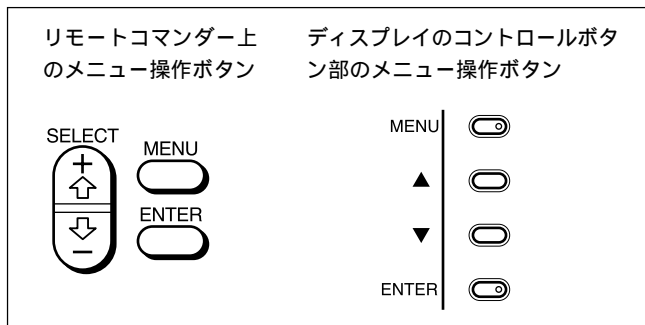


メニューで行う調整と設定

メニューの操作

メニュー操作ボタン

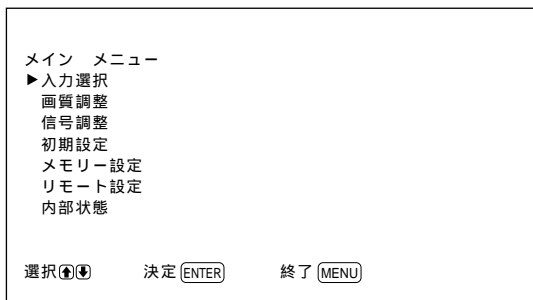
メニューは、リモートコンマnderまたはディスプレイ本体のコントロールボタン部のメニュー操作ボタンを使って操作します。



この取扱説明書では、本体のボタンを使った操作の説明をしています。リモートコンマnderのSELECT + ↑ / - ↓ ボタンは本体の▲ / ▼ ボタンと同じ働きをします。

メニューの操作方法

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンでカーソル(▶)を動かして、次に表示するメニューを決め、ENTER ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 3 ▲ / ▼ ボタンでカーソル(▶)を動かして、設定する項目を決め、ENTER ボタンを押す。
それぞれの項目の設定画面が表示されます。
- 4 ▲ / ▼ ボタンで設定や調整値を選び、ENTER ボタンを押す。
設定が決まり、元のメニューに戻ります。

通常の画面に戻るには、メニューが消えるまでMENUボタンを繰り返し押します。

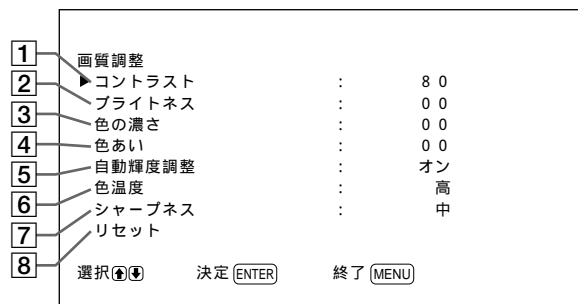
メニューの説明

ご注意

入力信号によって設定や調整ができない項目には「**—**」が表示されます。

画質調整メニュー

画像を信号処理により調整するメニューです。



- 1 コントラスト
▲を押すとコントラストが強くなり、▼を押すと弱くなります。

- 2 ブライツネス
▲を押すと画面が明るくなり、▼を押すと暗くなります。

- 3 色の濃さ
▲を押すと画像の色が濃くなり、▼を押すと薄くなります。

- 4 色あい
▲を押すと画像が緑がかり、▼を押すと紫がかります。

- 5 自動輝度調整
オンにすると、低輝度信号入力時に、自動的にコントラストを上げ、明暗を強調します。(この機能はVIDEO入力および15kHz YUV入力時のみ動作します。)

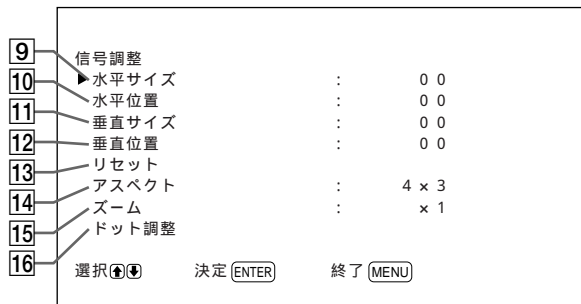
- 6 色温度
色温度を調節します。
色温度について詳しくは、「色温度」(31(JP)ページ)をご覧ください。

- 7 シャープネス
輪郭補正のレベルを「高」「中」「低」の3段階に設定します。
シャープネスについて詳しくは、「シャープネス」(32(JP)ページ)をご覧ください。

- 8 リセット
画質調整メニューの1～7の調整値を出荷時の値に戻します。
リセット機能について詳しくは、「調整した画質を出荷時の設定値に戻す」(32(JP)ページ)をご覧ください。

信号調整メニュー

画像のサイズや位置を調整するメニューです。



9 水平サイズ

水平方向に画像の大きさを調整します。▲を押すと大きくなり、▼を押すと小さくなります。

10 水平位置

水平方向の画像位置を調整します。▲を押すと右に移動し、▼を押すと左に移動します。

11 垂直サイズ

垂直方向の画像の大きさを調整します。▲を押すと大きくなり、▼を押すと小さくなります。

12 垂直位置

垂直方向に画像位置を調整します。▲を押すと上に移動し、▼を押すと下に移動します。

13 リセット

信号調整メニューの9～12の調整値を出荷時の値に戻します。
リセット機能について詳しくは、「画像のサイズと位置を出荷時の設定値に戻す」(35(JP)ページ)をご覧ください。

14 アスペクト

画像の横縦比を切り換えます。
アスペクトについて詳しくは、「横縦比を切り換える」(35(JP)ページ)をご覧ください。

15 ズーム

画像を2倍、3倍、4倍に拡大します。

ご注意

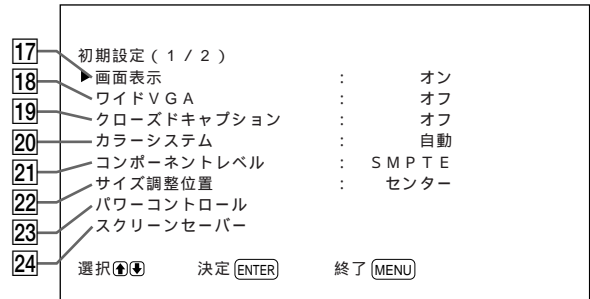
アスペクトを「4 × 3」または「16 × 9」以外に設定している場合には、「」が表示され、2倍、3倍、4倍の拡大はできません。

16 ドット調整

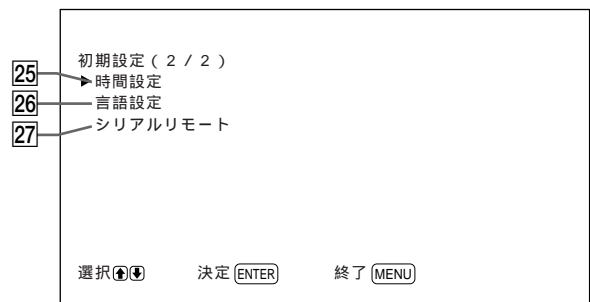
文字や縦線のエッジにチリチリとしたノイズが多いときに調整します。
ドット調整について詳しくは、「ドット位相を調整する」(37(JP)ページ)をご覧ください。

初期設定メニュー

入力信号を調整したり、メニュー表示の言語を選んだりするメニューです。初期設定メニューは初期設定(1 / 2)と初期設定(2 / 2)の2つの画面から構成されています。▲ / ▼ボタンを必要ならだけ繰り返し押すと、画面が切り換わります。



PFM-42B1 では「コンポーネントレベル」は表示されません。



PFM-42B1 では「シリアルリモート」は表示されません。

17 画面表示

オンにすると、ディスプレイの電源投入時や入力信号が切り換わったとき、入力されている信号の種類を約5秒間画面上部に表示します。

18 ワイドVGA

入力信号がワイドVGA (852 × 480) の場合にオンにします。
オンのときは、VGA 信号のピクセル数を852 × 480と認識します。
オフのときは、VGA 信号のピクセル数を640 × 480と認識します。

19 クローズドキャプション

英語字幕を画面に表示したいときに使用します。

クローズドキャプションについて詳しくは、「英語字幕を表示させる」(28(JP)ページ)をご覧ください。

20 カラーシステム

映像ソースを選びます。

自動: NTSC、PAL、SECAM の映像を見る場合

443NT: NTSC4.43 の映像を見る場合

PAL60: PAL60 の映像を見る場合

PAL-M: PAL-M の映像を見る場合

21 コンポーネントレベル (PFM-42B2のみ)

コンポーネント信号のレベルを選びます。

SMPTE: SMPTEレベルの信号を見る場合

BETA: BETACAMレベルの信号を見る場合

22 サイズ調整位置

画像の大きさを変更するときに基準になるポイントを選びます。

センター: 画面の中心を基準にする

左上: 画面の左上を基準にする

23 パワーコントロール

電源のオン/オフを自動的に制御します。

パワーコントロール機能について詳しくは、「電源のオン/オフを自動的に制御する(パワーコントロール機能)」(42(JP)ページ)をご覧ください。

24 スクリーンセーバー

長時間にわたって同じ画面を映したりする場合に生じる残像を低減させたいとき使用します。

スクリーンセーバーについて詳しくは、「残像を低減させる(スクリーンセーバー機能)」(40(JP)ページ)をご覧ください。

25 時間設定

時刻を設定するときに使用します。

時間設定について詳しくは、「時刻を設定する」(28(JP)ページ)をご覧ください。

26 言語設定

メニューに表示する言語を英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語から選びます。

言語設定について詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(39(JP)ページ)をご覧ください。

27 シリアルリモート (PFM-42B2のみ)

シリアルリモートの設定をします。

シリアルリモートについて詳しくは、「シリアルリモートの設定」(45(JP)ページ)をご覧ください。

メモリー設定メニュー

画質調整メニューと信号調整メニューの調整値をナンバー1～20のメモリーに保存したり、呼び出したりするメニューです。



メモリー機能について詳しくは、「メモリーを使う」(38(JP)ページ)をご覧ください。

29 呼出

保存した調整値を呼び出します。

30 保存

調整値を保存します。

リモート設定メニュー

リモートコマンダーの操作に関する設定を行うメニューです。

**31** インデックスナンバー

ディスプレイ本体のインデックスナンバーを設定します。

ご注意

この項目を設定する場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。

インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する」(48(JP)ページ)をご覧ください。

32 リモートモード

リモートコマンダーのモードを切り換えます。

TV: ディスプレイまたはTVに付属しているリモートコマンダーから操作するとき。

PJ: 業務用プロジェクターに付属しているリモートコマンダーから操作するとき。

オフ: リモートコマンダーから操作しないとき。(リモートコマンダーからは操作できなくなります。)

ご注意

モードを切り換える場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモートコマンダーでは切り換えできません。

使用できるリモートコマンダーや操作について詳しくは、「他のリモートコマンダーから操作する」(50 (JP) ページ)をご覧ください。

33 リモートオンリー

「リモートオンリー」をオンにすると、ディスプレイ本体のボタンが効かなくなり、ディスプレイの操作はリモートコマンダーでのみ行えるようになります。

リモートオンリーモードを解除するには、リモートコマンダーで「リモートオンリー」をオフにするか、ディスプレイ本体の⏻(スタンバイ)スイッチを押したままMENUボタンを押してください。スタンバイ状態になり、リモートオンリーモードが解除されます。

電源コードを抜いたり、リモートコマンダーで電源をオン / オフしてもリモートオンリーモードは解除できません。

内部状態メニュー

ディスプレイ本体の内部状態を表示するメニューです。

34	内部状態	:	P F M - 4 2 B 2
35	モデル	:	
35	シリアルナンバー	:	2 0 0 0 0 1
36	累積通電時間	:	0 0 0 0 1 H
37	ソフトウェアバージョン	:	Ver 1 . 0 0
38	内部温度	:	正常
39	冷却 F A N	:	正常

34 モデル

機種名を表示します。

ここではPFM-42B2を想定しています。

35 シリアルナンバー

シリアル番号を表示します。

36 累積通電時間

電源を入れていた累積通電時間を1時間単位で表示します。

ご注意

スタンバイ状態は累積通電時間に含まれません。

37 ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

38 内部温度

ディスプレイの内部温度が正常かどうかを表示します。

正常: 正常時

異常: 異常時

異常時には異常表示となり、項目が赤色で点滅します。このとき、⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケーター部のSTANDBY インジケーターも点滅します。

ご注意

通風孔がふさがれたり、風通しの悪い状態で使用したりしていると、「内部温度異常」という警告が出ることがあります。この場合は、通風孔がふさがれていないか確認し、風通しをよくしてください。表示が正常になればそのままご使用いただけます。風通しをよくしても異常表示になる場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

STANDBY インジケーターが点滅したり、異常表示になったりしたときは、「自己診断機能」(47 (JP) ページ)をご覧ください。

39 冷却FAN

本機には、冷却用ファンが内蔵されています。ファンが正常に動いているかどうかを表示します。

正常: 正常時

異常: 異常時

このファンが何らかの異常により停止したときは、異常表示となり、項目が赤色で点滅します。このとき、⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケーター部のSTANDBY インジケーターも点滅します。

ご注意

・「冷却FAN 異常」という警告が出た場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

STANDBY インジケーターが点滅したり、異常表示になったりしたときは、「自己診断機能」(47 (JP) ページ)をご覧ください。

・冷却用ファンは本機の機内温度を検知して回転数を制御しています。そのために、周囲温度が上がるとファンの回転数が増え、ファンの回転音も大きくなりますのでご注意ください。

画像を見る

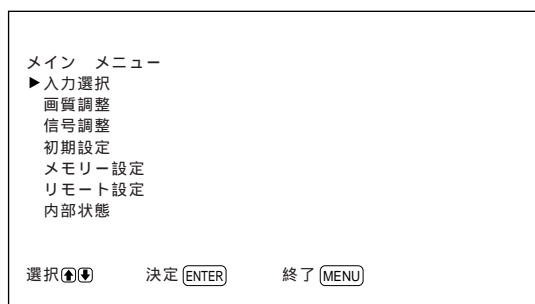
準備

- ・ディスプレイの電源を入れておきます。
- ・接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- ・電源投入時または入力切り換え時に入力信号の種類を画面に表示させたいときは、初期設定(1 / 2)メニューの「画面表示」をオンにしておきます。
- ・メニュー表示は日本語以外の言語にすることもできます。
詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(39(JP)ページ)をご覧ください。

入力信号を切り換える

1 MENU ボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



2 ▲ / ▼ ボタンで「入力選択」を選び、ENTER ボタンを押す。 現在選択されている入力信号と、入力選択メニューが表示されます。



3 ▲ / ▼ ボタンで表示したい入力信号を選び、ENTER ボタンを押す。

INPUT1 RGB : INPUT1 端子に接続した機器の入力信号 (RGB 信号) を選ぶ場合。

INPUT1 YUV : INPUT1 端子に接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。

INPUT2 RGB : INPUT2 端子に接続した機器の入力信号 (RGB 信号) を選ぶ場合。

INPUT2 YUV : INPUT2 端子に接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。

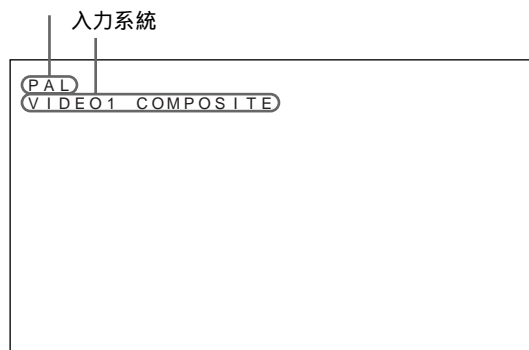
VIDEO (VIDEO1) COMPOSITE : VIDEO (VIDEO1 IN) 端子の COMPOSITE IN (COMPOSITE) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

VIDEO (VIDEO1) Y/C : VIDEO (VIDEO1 IN) 端子の Y/C IN (Y/C) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

VIDEO (VIDEO2) D4 : VIDEO2 IN 端子の D4 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。
(D4 端子アダプター BKM-B11 装着時のみ)

選んだ入力信号がディスプレイ画面に表示されます。

カラー方式または水平/垂直周波数



ディスプレイに付属しているリモートコンマnderのボタンから入力を切り換えることもできます。

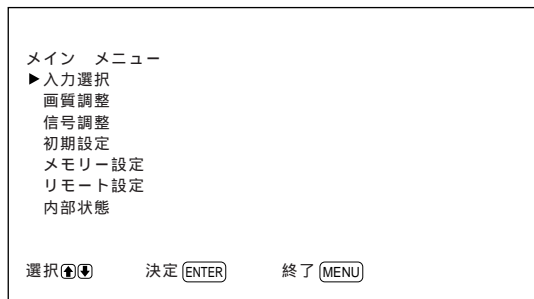
ご注意

ディスプレイへのビデオ入力信号は、TBC (タイムベースコレクター) 付きの入力ソース機器からの入力をおすすめします。TBC のかかっていない信号を入力すると、同期の乱れにより映像が消えることがあります。

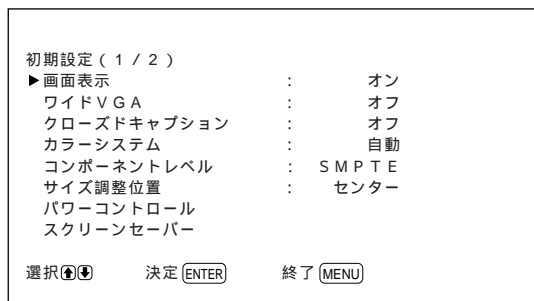
画面表示を切り換える

英語字幕を表示させる

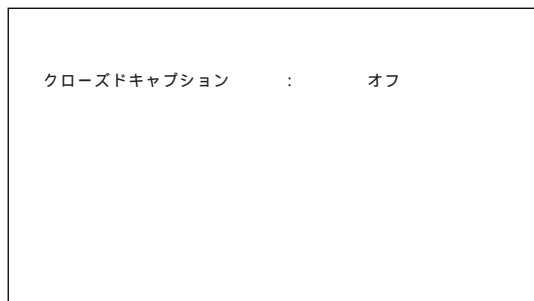
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
初期設定 (1 / 2) メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで「クローズドキャプション」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ▲ / ▼ ボタンで表示する字幕のタイプを選ぶ。
オフ：字幕を表示しない
CAPT1：画像に重ねて、言語1の字幕を表示する
CAPT2：画像に重ねて、言語2の字幕を表示する
TEXT1：字幕の背景を黒くして、言語1の字幕を表示する
TEXT2：字幕の背景を黒くして、言語2の字幕を表示する

- 5 MENU ボタンを押す。
初期設定 (1 / 2) メニューに戻ります。

時刻を設定する

- 1 初期設定 (2 / 2) メニューから、▲ / ▼ ボタンで「時間設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ENTER ボタンを押す。
時間の背景が水色に変わります。
- 3 ▲ / ▼ ボタンで時間を設定し、ENTER ボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が水色に変わります。
- 4 時間と同様に、分を設定し、ENTER ボタンを押す。
分が確定し、秒はリセットされ、「00」になります。

時刻を表示させるには

本機に付属しているリモートコンマnderのDISPLAY ボタンを押してください。時刻が画面右上に表示されます。

入力信号の情報とディスプレイの設定状態の表示について

電源投入時または入力切り換え時に、入力信号の情報が約5秒間表示されます。

情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

- 1 初期設定(1 / 2)メニューから、▲ / ▼ボタンで「画面表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ボタンで「画面表示」をオフにし、ENTERボタンを押す。
画面上部に入力信号の情報が表示されない設定になります。

画面表示させるには

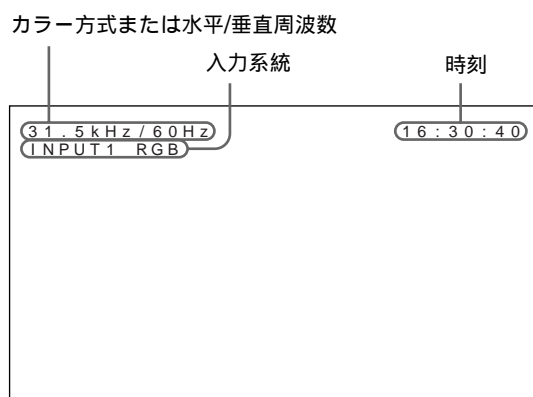
手順2で「画面表示」をオンにします。

(工場出荷時はオンに設定されています。)

ご注意

本機に付属しているリモートコンマnderのDISPLAYボタンを押して、いつでも必要なときに入力信号の情報および時刻を表示することもできます。この時は、再度DISPLAYボタンを押して非表示にするまで表示を維持します。

画面表示一覧



入力プリセット信号			
	信号名称	カラー方式または水平 / 垂直周波数表示	
コンピューター信号			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5kHz	70.1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37.9kHz	85.1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31.5kHz	59.9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35.0kHz	66.7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37.9kHz	72.8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37.5kHz	75.0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43.3kHz	85.0Hz
9	852×480@60Hz (I・O DATA) ^{d)}	31.7kHz	60.0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31.5kHz	70.1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35.2kHz	56.3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37.9kHz	60.3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48.1kHz	72.2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46.9kHz	75.0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53.7kHz	85.1Hz
17	Mac 16"	49.7kHz	74.6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48.4kHz	60.0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56.5kHz	70.1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60.0kHz	75.0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68.7kHz	85.0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67.5kHz	75.0Hz
23	Mac 21"	68.7kHz	75.1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60.0kHz	60.0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85.9kHz	85.0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64.0kHz	60.0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80.0kHz	75.0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91.1kHz	85.0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75.0kHz	60.0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30.2kHz	60.0Hz
31	856×480@59.6Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	59.6Hz
32	856×480@60.1Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	60.1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
b) VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
c) Mac(Macintosh)はApple Computer, Incの登録商標です。
d) I・O DATA機器社製のグラフィックアクセラレーターボードを使用した場合。
e) Matrox Graphics Inc. 製のグラフィックスカードを使用した場合。

ご注意

- HDTV 信号を入力する場合、同期信号は3値同期信号をINPUT1またはINPUT2端子のRGB/YUV端子(D-sub 15ピンコネクター)の2番ピンに入力してください。
- No. 29のコンピューター信号を入力する場合、信号調整メニューの水平サイズ、水平位置、垂直サイズ、垂直位置をいずれも標準位置(00)にし、ズームを×1に設定してください。これらを動かして使用すると、画像が乱れることがあります。
- PFM-42B1 でDVD 信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、画質調整メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
PFM-42B2 では、初期設定メニューの「コンポーネントレベル」でSMPTEを選んでください。
- 480/60p は、YUV 信号で入力してください。RGB 信号で入力した場合、周波数判別のシステム上VGA 信号と認識され、「31.5kHz/59.9Hz」と表示し、画位相がずれ、YUV 信号入力時と比較して解像度が低下します。
画位相のずれについては、「信号調整」メニューの「水平位置」「垂直位置」またはリモートコマンダーRM-42Bの「H SHIFT」, 「V SHIFT」, 「SELECT」ボタンで調整してください。
- DTV 信号(No.7 からNo.14)を入力する場合、YUV 信号で入力してください。

入力信号 / ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
31.5kHz / 59.9Hz(例)	コンピューター信号が入力されています。
480 / 60I(例)	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC(例)	NTSC 信号が入力されています。
標準信号ではありません	受像できない信号が入力されています。
NO SYNC	入力信号がありません。
INPUT1 RGB	INPUT1 端子の入力モードはRGB です。
INPUT1 YUV	INPUT1 端子の入力モードはコンポーネントビデオです。
VIDEO COMPOSITE	VIDEO(VIDEO1 IN)端子のCOMPOSITE IN(VIDEO1 IN COMPOSITE)が選択されています。
VIDEO Y/C	VIDEO(VIDEO1 IN)端子のY/C IN(VIDEO1 IN Y/C)が選択されています。

画質を調整する

画像を見ながら、コントラスト、ブライトネス、色の濃さ、色あいなどを調整することができます。また、入力信号ごとに調整を行い、調整値をメモリーすることができます。

コントラスト、ブライトネス、色の濃さ、色あいなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、画質調整メニューから調整したい項目に応じて、「コントラスト」、「ブライトネス」、「色の濃さ」、「色あい」、「自動輝度調整」、「色温度」、「シャープネス」を▲ / ▼ボタンで選びます。

コントラスト

▲ / ▼ボタンで「コントラスト」を選び、ENTERボタンを押し、▲ / ▼ボタンでコントラストを調整します。

MIN(0) ~ MAX(+100)の範囲で設定できます。

- ▲: コントラストが強くなる
- ▼: コントラストが弱くなる

ブライトネス

▲ / ▼ボタンで「ブライトネス」を選び、ENTERボタンを押し、▲ / ▼ボタンで画像の明るさを調整します。

MIN(-50) ~ MAX(+50)の範囲で設定できます。

- ▲: 画像が明るくなる
- ▼: 画像が暗くなる

色の濃さ

▲ / ▼ボタンで「色の濃さ」を選び、ENTERボタンを押し、▲ / ▼ボタンでクロマを調整します。

MIN(-50) ~ MAX(+50)の範囲で設定できます。

- ▲: 色が濃くなる
- ▼: 色が薄くなる

色あい

▲ / ▼ボタンで「色あい」を選び、ENTERボタンを押し、▲ / ▼ボタンで色あいを調整します。

MIN(-50) ~ MAX(+50)の範囲で設定できます。

- ▲: 画像が緑がかる
- ▼: 画像が紫がかる

自動輝度調整

画像の平均輝度が低い場合、自動的にコントラストを上げ、明暗を強調した画像にすることができます。暗い入力ソースを表示するときなどに使用します。

▲ / ▼ボタンで「自動輝度調整」を選び、ENTERボタンを押し、▲ / ▼ボタンで自動輝度調整のオン / オフを切り換えます。

色温度

色温度を設定します。「高」または「低」のほか、各ゲインを好みに合わせて細かく調整することもできます。調整した色温度は、6つまで登録できます。登録した色温度の名前を変更することもできます(6文字まで)。

1 ▲ / ▼ボタンで「色温度」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ▲ / ▼ボタンで色温度を選び、ENTERボタンを押す。

高: 色温度を高く設定するとき

低: 色温度を低く設定するとき

1 ~ 6: 各ゲインを細かく設定するとき

「高」または「低」を選んだ場合には、画質調整メニューに戻ります。

「1」 ~ 「6」を選んだ場合

「1」 ~ 「6」を選んだ場合には、以下の画面が表示されます。

色温度	:	1
赤 ゲイン	:	1 2 8
緑 ゲイン	:	1 2 8
青 ゲイン	:	1 2 8
設定		
選択 (F4)	調整 (ENTER)	終了 (MENU)

PFM-42B1 では、各ゲインは「255」と表示されます。

(1) ▲ / ▼ボタンで登録したい番号を選び、ENTERボタンを押す。

カーソル(▶)が表示されます。

- (2) ▲ / ▼ボタンで設定したいゲインを選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



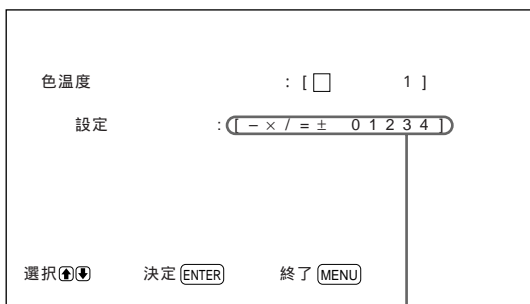
- (3) ▲ / ▼ボタンでゲインを調整し(0 ~ 255) MENUボタンを押す。
2の画面に戻ります。

PFM-42B1 では、可変範囲は10 ~ 255となります。

- (4) 手順(2)と(3)を繰り返し、各ゲインの調整が終わったら、MENUボタンを押す。
2の画面に戻ります。

調整した色温度の名前の変更は、以下の手順で行います。

- (5) ▲ / ▼ボタンで「設定」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



キャラクター一覧

- (6) ▲ / ▼ボタンで変更したい文字を選び、ENTERボタンを押す。
キャラクター一覧の文字の背景が水色に変わります。
- (7) ▲ / ▼ボタンでキャラクター一覧から文字を選び、ENTERボタンを押す。
選んだ文字が入力されます。
- (8) 手順(6)と(7)を繰り返し、名前の変更が終わったら、MENUボタンを押す。
2の画面に戻ります。

シャープネス

輪郭補正のレベルを切り換えます。
「高」「中」「低」の3段階で設定できます。

- 1 ▲ / ▼ボタンで「シャープネス」を選び、ENTERボタンを押す。

- 2 ▲ / ▼ボタンで輪郭補正のレベルを選び、ENTERボタンを押す。

高：画像がシャープになる

中：標準の設定になる

低：画像がソフトになる

ご注意

- ・RGB信号を入力している場合、色あいと色の濃さは調整できません。
- ・コンポーネント信号を入力している場合、色あいは調整できません。
- ・PALおよびSECAM方式の入力信号の場合、色あいは調整できません。
- ・白黒信号を入力しているときは、色の濃さと色あい(NTSCのみ)は調整しないでください。
白黒信号でこれらの調整をしても画像に変化はありませんが、次にNTSC、PAL信号などのカラー信号を入力したときの画像に影響を与えます。
- ・コントラスト、ブライトネス、色の濃さ、色あいを調整している時の可変量と、画面表示の数字は一致しません。

調整した画質を出荷時の設定値に戻す

- 1 画質調整メニューから、▲ / ▼ボタンで「リセット」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ボタンを押す。**
表示が「YES」に変わります。



- 3 ENTERボタンを押す。**
画質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

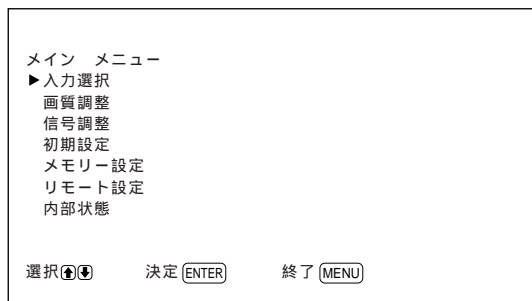
リセットを中止するには
ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。

画像のサイズや位置を調整する

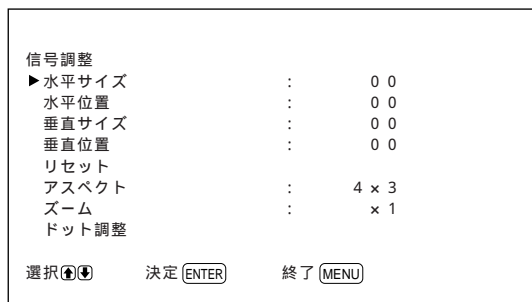
画像の大きさや位置がディスプレイ画面に合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えたりすることができます。

画像のサイズを変える

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「信号調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
信号調整メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで「水平サイズ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



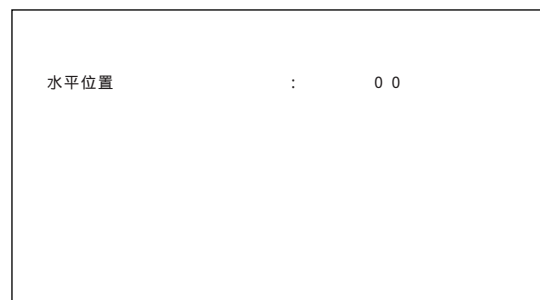
- 4 ▲ / ▼ ボタンで水平方向のサイズを調整する。
▲: 水平方向のサイズを大きくする
▼: 水平方向のサイズを小さくする
画像の水平方向のサイズは、画面上に MIN(- 50) ~ MAX (+ 50) の調整値で表示されます。工場出荷時は 00 (標準位置) に設定されています。
- 5 ENTER ボタンを押す。
信号調整メニューに戻ります。
- 6 ▲ / ▼ ボタンで「垂直サイズ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 7 ▲ / ▼ ボタンで垂直方向のサイズを調整する。
▲: 垂直方向のサイズを大きくする
▼: 垂直方向のサイズを小さくする
画像の垂直方向のサイズは、画面上に MIN(- 50) ~ MAX (+ 50) の調整値で表示されます。工場出荷時は 00 (標準位置) に設定されています。
- 8 ENTER ボタンを押す。
信号調整メニューに戻ります。

画像の位置を調整する

- 1 信号調整メニューから、▲ / ▼ ボタンで「水平位置」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ▲ / ▼ ボタンで画像を動かす。

▲: 画像が右に動く

▼: 画像が左に動く

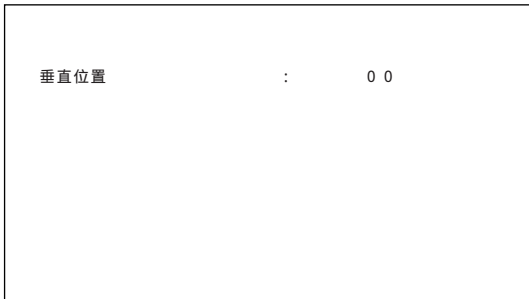
画像の位置は、画面上に MIN(- 50) ~ MAX(+ 50) の調整値で表示されます。工場出荷時は 00 (標準位置) に設定されています。

3 ENTER ボタンを押す。

信号調整メニューに戻ります。

4 ▲ / ▼ ボタンで「垂直位置」を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



5 ▲ / ▼ ボタンで画像を動かす。

▲: 画像が上に動く

▼: 画像が下に動く

画像の位置は、画面上に MIN(- 50) ~ MAX(+ 50) の調整値で表示されます。工場出荷時は 00 (標準位置) に設定されています。

6 ENTER ボタンを押す。

信号調整メニューに戻ります。

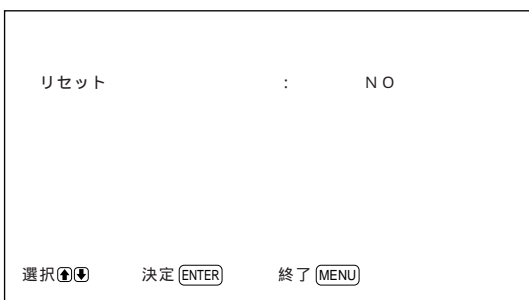
ご注意

画像サイズと画像位置は可変範囲を超えるとそれ以上は変化しません。また、可変範囲は入力信号の種類によって異なります。

画像のサイズと位置を出荷時の設定値に戻す

1 信号調整メニューから、▲ / ▼ ボタンで「リセット」を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ▲ / ▼ ボタンを押す。

表示が「YES」に変わります。



3 ENTER ボタンを押す。

信号調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには

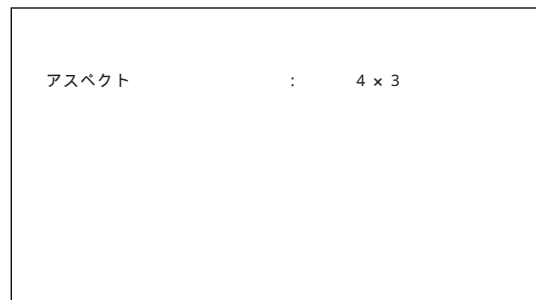
ENTER ボタンを押す前に MENU ボタンを押してください。

横縦比を切り換える

通常のテレビ放送やワイドスクリーン画像など、横縦比の異なる信号に対して、最適な横縦比を選ぶことができます。

1 信号調整メニューから、▲ / ▼ ボタンで「アスペクト」を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ▲ / ▼ ボタンでアスペクト比を選び、ENTER ボタンを押す。

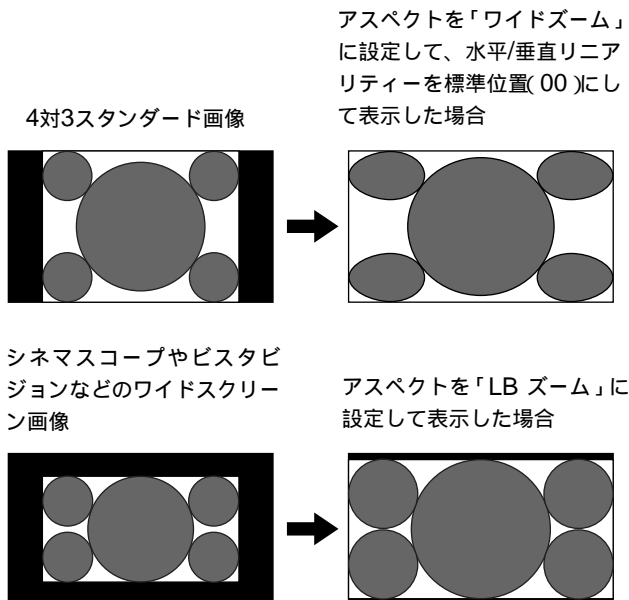
4 x 3 : 4 対 3 の画像を見る場合

16 x 9 : 16 対 9 の画像を見る場合

ワイドズーム : 4 対 3 の画像を、16 対 9 に違和感少なく画面いっぱい拡大する場合 (次ページ参照)

LB (レターボックス) ズーム : さまざまな横縦比の画像を、左右に合わせていっぱい拡大する場合 (次ページ参照)

自動 : D4 端子から伝送される制御信号によって、横縦比を自動的に切り換える場合 (D4 端子アダプター BKM-B11 装着時のみ)



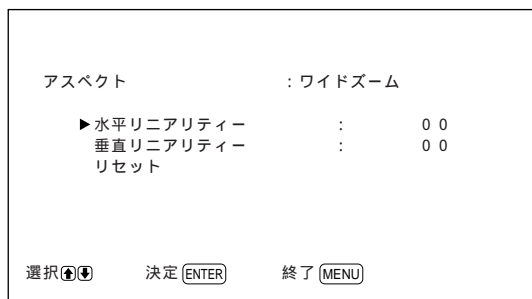
ご注意

- ・ワイドズーム、LB ズーム、および自動に設定して使用するとき、水平サイズ、水平位置、垂直サイズ、垂直位置をいずれも標準位置(00)にすることを推奨します。これらを大きく動かしてワイドズーム、LB ズーム、および自動に設定して使用すると、本来の機能を十分に生かすことができません。また、ワイドズーム、LB ズーム、および自動に設定して使用するとき、**「ズーム」を×1に設定してください。**×2、×3、×4に設定している場合はワイドズーム、LB ズーム、および自動に設定して使用することはできません。
- ・LB ズームに設定して使用しているときは、映像の種類によっては、上下に黒い帯が残ることがあります。

水平/垂直リニアリティーを調整する

アスペクトを「ワイドズーム」に設定した場合のみ、水平/垂直リニアリティーを調整して、縦横の比率を好みの状態に変更することができます。

- 1 アスペクトメニューから、▲ / ▼ボタンで「ワイドズーム」を選び、ENTERボタンを押す。
以下のメニューが表示されます。

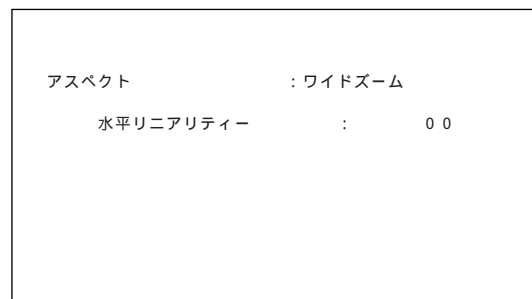


- 2 ▲ / ▼ボタンで「水平リニアリティー」または「垂直リニアリティー」を選び、ENTERボタンを押す。

水平リニアリティー：横方向の比率を変更する場合

垂直リニアリティー：縦方向の比率を変更する場合

以下の画面が表示されます。(下図は「水平リニアリティー」を選んだ場合)



- 3 ▲ / ▼ボタンで画面の横縦比を好みの状態に調整する。

水平/垂直リニアリティーの設定を出荷時の値に戻すにはアスペクトメニューから、「ワイドズーム」を選び、ENTERボタンを押します。▲ / ▼ボタンで「リセット」を選び、ENTERボタンを押した後で、▲ / ▼ボタンで「YES」を選び、ENTERボタンを押してください。

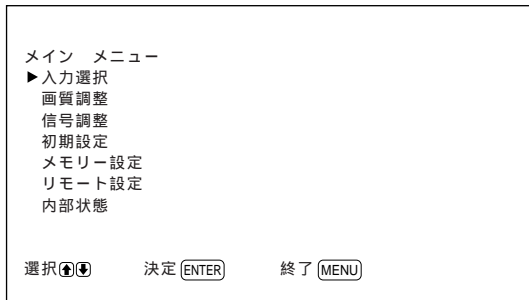
ご注意

水平サイズ、水平位置、垂直サイズ、垂直位置、水平リニアリティー、垂直リニアリティーを調整している時の可変量と、画面表示の数字は一致しません。

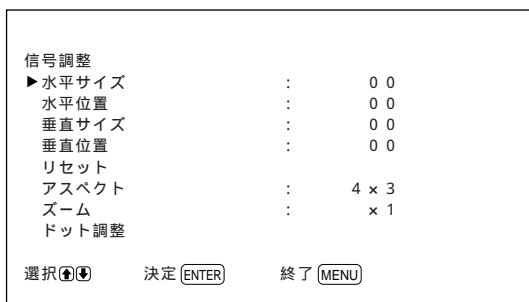
ドット位相を調整する

文字や縦線のエッジにチリチリとしたノイズが多いときに、ドット位相と水平ドット数を調整します。

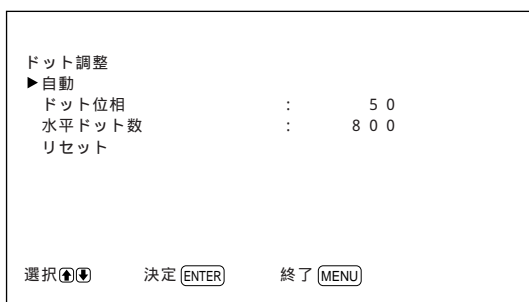
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「信号調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
信号調整メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで「ドット調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ドット位相と水平ドット数の調整には、自動調整と手動調整の2通りがあります。

自動調整する場合

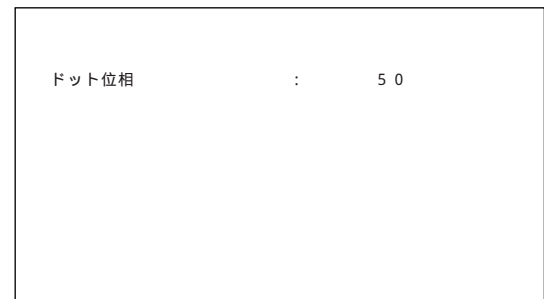
- (1) ▲ / ▼ ボタンで「自動」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- (2) ▲ / ▼ ボタンで「YES」を選び、ENTER ボタンを押す。
自動的にドット位相と水平ドット数が調整されます。

手動調整する場合

- (1) ▲ / ▼ ボタンで「ドット位相」または「水平ドット数」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。(下図は「ドット位相」を選んだ場合)



- (2) ▲ / ▼ ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTER ボタンを押す。

ドット調整項目を出荷時の設定に戻すには

ドット調整メニューから、▲ / ▼ ボタンで「リセット」を選び、ENTER ボタンを押した後で、▲ / ▼ ボタンで「YES」を選び、ENTER ボタンを押してください。

ご注意

- ・ドット位相の調整は、コンピューター信号に対して有効です (UXGA 以上はのぞく)。
- ・自動調整でノイズが取れない場合は、手動調整で微調整をしてください。
- ・ドット調整をする場合は、入力信号をクロスハッチパターンで行うと便利です。
- ・ドット位相を調整している時の可変量と、画面表示の数字は一致しません。

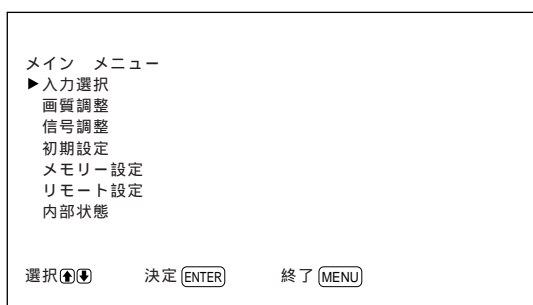
メモリーを使う

ある入力ソースからの映像がうまく表示されるように調整したら、その調整値をメモリーに保存しておくことができます。画質調整メニューと信号調整メニューの調整値をナンバー1～20のメモリーに保存できます。保存する設定に名前をつけることもできます(10文字まで)。

複数の調整状態をすばやく切り換えられるので便利です。

現在の調整状態をメモリーする

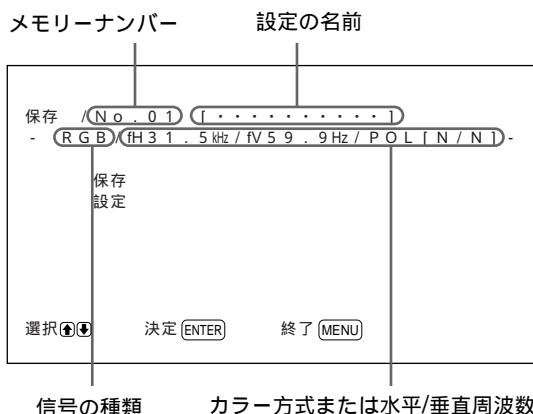
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「メモリー設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
メモリー設定メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで「保存」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



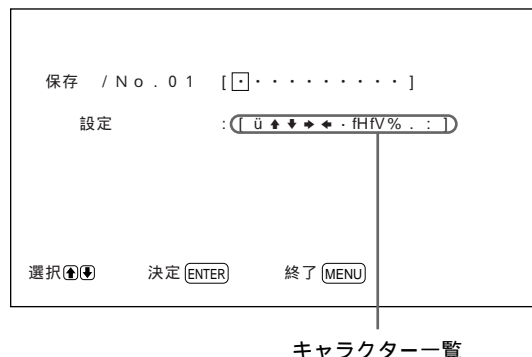
信号の種類 カラー方式または水平/垂直周波数

選択しているメモリーナンバーにデータが存在しない場合、「EMPTY」というメッセージが水色で表示されます。また、信号の種類およびカラー方式または水平/垂直周波数は、現在入力されている信号と選択しているメモリーナンバーの信号の種類が一致している場合は水色で、異なる場合は黄色でそれぞれ表示されます。

- 4 ▲ / ▼ ボタンで設定を保存したいメモリーナンバー(01～20)を選び、ENTER ボタンを押す。
カーソル(▶)が表示されます。
- 5 ▲ / ▼ ボタンで「保存」を選び、ENTER ボタンを押す。
選んだメモリーナンバーに現在の調整値が保存され、「保存終了」というメッセージが約5秒間点滅表示されます。

設定に名前を付ける場合は、以下の手順で行います。

- 6 ENTER ボタンを押し、▲ / ▼ ボタンで「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 7 ▲ / ▼ ボタンで変更したい文字を選び、ENTER ボタンを押す。
キャラクター一覧の文字の背景が水色に変わります。
- 8 ▲ / ▼ ボタンでキャラクター一覧から文字を選び、ENTER ボタンを押す。
選んだ文字が入力されます。

- 9 手順7と8を繰り返し、名前の入力が終わったら、MENU ボタンを押す。
3の画面に戻ります。

ご注意

設定値の保存に失敗すると、「保存エラー」というメッセージが表示されます。もう1度保存してください。

メモリーした設定値を呼び出す

- メモリー設定メニューから、▲ / ▼ボタンで「呼出」を選び、ENTERボタンを押す。
以下のように保存内容の1ページ目が表示されます。

呼出 / No. 01 [.]	
- RGB / fH 31.5 kHz / fV 59.9 Hz / POL [N / N] -	
コントラスト	: 80
ブライトネス	: 00
色温度	: 高
水平サイズ	: 00
水平位置	: 00
垂直サイズ	: 00
垂直位置	: 00
アスペクト	: 4 x 3
ズーム	: x 1
選択 (F4) 情報確認 (ENTER) 終了 (MENU)	

- ▲ / ▼ボタンで設定を呼び出したいメモリーナンバー(01 ~ 20)を選び、ENTERボタンを押す。
以下のように保存内容の2ページ目が表示されます。

呼出 / No. 01 [.]	
- RGB / fH 31.5 kHz / fV 59.9 Hz / POL [N / N] -	
色の濃さ	: 00
色あい	: 00
自動輝度調整	: オン
シャープネス	: 中
水平リニアリティー	: 00
垂直リニアリティー	: 00
ドット位相	: 50
水平ドット数	: 800
選択 (F4) 決定 (ENTER) 終了 (MENU)	

現在入力されている信号と保存されている信号の種類が異なる場合は、信号の種類およびカラー方式または水平/垂直周波数が赤色で表示され、調整値を呼び出すことはできません。一致している場合は水色で表示され、この場合にのみ呼び出すことができます。

- ENTERボタンを押す。
「呼出終了」というメッセージが約5秒間点滅表示され、画像が保存されていた調整値に設定されます。

ご注意

設定値の呼出しに失敗すると、「呼出エラー」というメッセージが表示されます。もう1度呼び出してください。

メニュー表示の言語を選ぶ

メニュー表示に使う言語を、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語の6つの言語の中から選ぶことができます。

- MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

メイン メニュー	
▶ 入力選択	
画質調整	
信号調整	
初期設定	
メモリー設定	
リモート設定	
内部状態	
選択 (F4) 決定 (ENTER) 終了 (MENU)	

- ▲ / ▼ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンを押す。
初期設定(1 / 2)メニューが表示されます。

初期設定 (1 / 2)	
▶ 画面表示	: オン
ワイドVGA	: オフ
クローズドキャプション	: オフ
カラーシステム	: 自動
コンポーネントレベル	: SMPTE
サイズ調整位置	: センター
パワーコントロール	
スクリーンセーバー	
選択 (F4) 決定 (ENTER) 終了 (MENU)	

- ▲ / ▼ボタンで初期設定(2 / 2)メニューを表示させ、「言語設定」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

言語設定	
▶ ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANÇAIS	
ITALIANO	
ESPAÑOL	
日本語	
選択 (F4) 決定 (ENTER) 終了 (MENU)	

- ▲ / ▼ボタンで表示したい言語を選び、ENTERボタンを押す。

メニュー画面の言語が切り換わります。

ENGLISH: 英語

DEUTSCH: ドイツ語

FRANÇAIS: フランス語

ITALIANO: イタリア語

ESPAÑOL: スペイン語

日本語: 日本語

- 5** MENU ボタンを押す。
初期設定 (2 / 2) メニューに戻ります。

残像を低減させる (スクリーンセーバー機能)

コンピューターの画像や静止画の映像のように、輝度が変化しない画像が長時間表示されると、パネルに焼き付きや残像が生じることがあります。これを補正したり防いだりするために、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、画像を反転させる (画像反転)、一定の時間がたつと画像の表示位置を自動的に変える (自動表示位置移動) の2種類があります。

焼き付きや残像が発生しやすい状態

① 上下に帯が表示されるワイド映像 (レターボックス映像)、② 画面横縦比 4:3 の映像、③ ゲーム映像、④ DVD のメニュー画面、⑤ BS デジタル / デジタルCS チューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニューなど

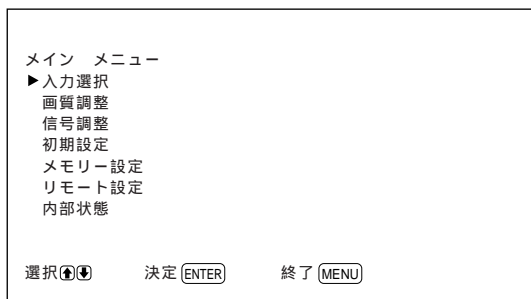
ご注意

焼き付きや残像を低減させるためにスクリーンセーバー機能以外には以下の方法があります。

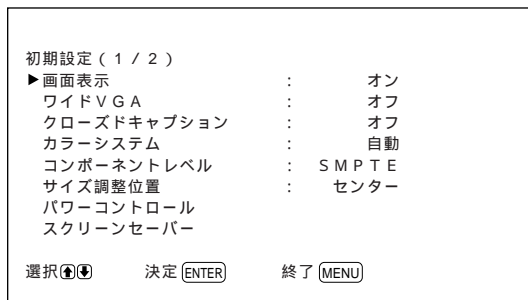
- ・BS デジタル / デジタルCS チューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、BS デジタル / デジタルCS チューナー、ビデオデッキ側の画面表示操作で表示を消すことをお勧めします。詳しくは、お使いのBS デジタル / デジタルCS チューナー、ビデオデッキなどの取扱説明書をご覧ください。
- ・画面の「明るさ」を暗くして、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」で表示すると、画面の焼き付きや残像が起りにくくなります。

画像を反転させる

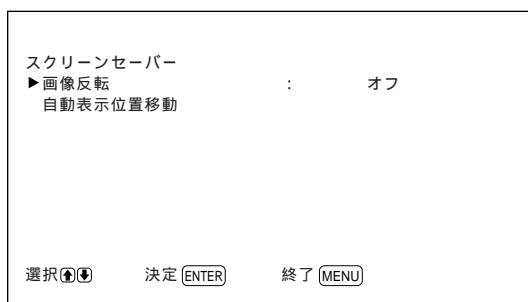
- 1** MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



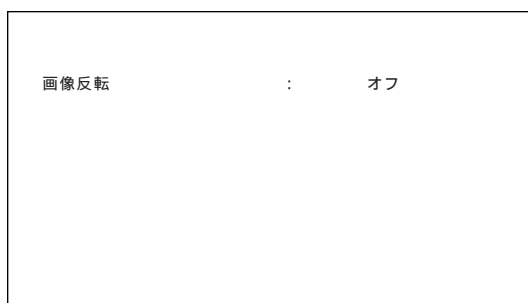
- 2** ▲ / ▼ ボタンで「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
初期設定 (1 / 2) メニューが表示されます。



- 3** ▲ / ▼ ボタンで「スクリーンセーバー」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4** ▲ / ▼ ボタンで「画像反転」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5** ▲ / ▼ ボタンで画像反転のモードを選ぶ。
オフ : 画像を反転しない
オン : 画像を反転する
自動 : 1日1回、設定した時刻に画像を反転する

「自動」を選ぶと、以下の画面が表示されます。



- (1) ENTER ボタンを押す。
カーソル(▶)が表示されます。

スクリーンセーバー（画像反転）についてのご注意
表示画面が写真のネガフィルムようになった場合、「スクリーンセーバー」の「画像反転」が「自動」もしくは「オン」に設定されている可能性があります。通常の画像に戻すためには、「オフ」を選ぶか「自動」にて時刻の設定をしてください。
画像反転とは、焼き付いてしまった画像を表示したまま、画面の色合いを反転し（例：白 黒、黒 白）補正します。画像反転中は写真のネガフィルムのような画像になりますが、故障ではありません。

- (2) ▲ / ▼ ボタンで「反転時刻」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が水色で表示されます。



- (3) ▲ / ▼ ボタンで時間を設定し、ENTER ボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が水色に変わります。
- (4) ▲ / ▼ ボタンで分を設定し、MENU ボタンを押す。
分が確定し、5 の画面に戻ります。
- (5) 反転時刻と同様に、終了時刻を設定する。
1 日 1 回、反転時刻に反転が始まり、終了時刻に反転表示が終了する設定になります。

画像反転の終了時刻になるとスタンバイ状態になるようにするには

- 1** 画像反転モードに「自動」を選んだ後、▲ / ▼ ボタンで「パワーオフ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2** ▲ / ▼ ボタンで「YES」を選び、MENU ボタンを押す。
終了時刻になるとスタンバイ状態になる設定になります。

ご注意

- ・パワーオフ機能、パワーセービング機能、およびオンオフタイマー機能を同時に使用することはできません。どれか1つがオンに設定されている場合、他の2つの項目には「 」が表示され、設定できません。
- ・反転時刻と終了時刻に同じ時刻を設定すると、反転時刻の設定が優先され、終了時刻になっても反転表示は終了しません。
- ・反転時刻をオンオフタイマーのパワーオン時間と同じ時刻に設定したときは、オンタイマーで電源が立ちあがっても画像反転しません。

画像の表示位置を自動的に変える

- 1** スクリーンセーバーメニューから、▲ / ▼ ボタンで「自動表示位置移動」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2** ▲ / ▼ ボタンで「表示位置移動」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 3** ▲ / ▼ ボタンで表示位置移動のモードを選ぶ。
オフ：表示位置を移動しない
オン：表示位置を移動する

4 MENUボタンを押す。

1の画面に戻ります。

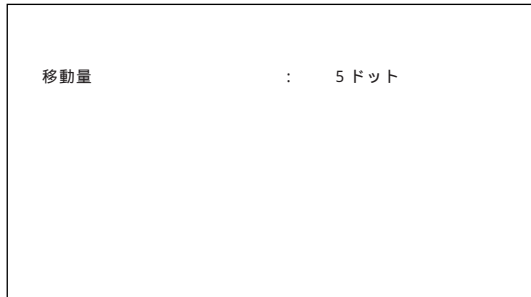
5 ▲ / ▼ボタンで「移動量」（移動の大きさ）または「移動周期」（移動の時間）を選び、ENTERボタンを押す。

選択できる移動量、移動周期は以下のとおりです。

移動量：5ドット、10ドット、15ドット、20ドット

移動周期：10秒、30秒、1分、5分

以下の画面が表示されます。（下図は「移動量」を選んだ場合）



6 ▲ / ▼ボタンで移動量または移動周期を設定し、MENUボタンを押す。

画像反転と自動表示位置移動の両方をオンにすると
画像が反転中に一定時間がたつと、反転した画像が表示位置を変えて表示されます。

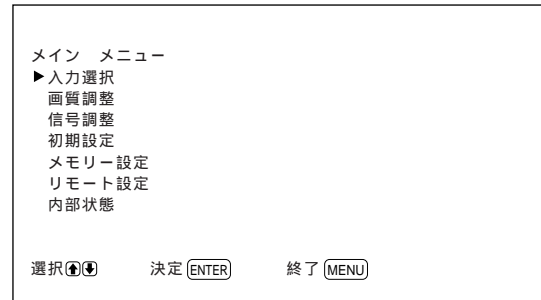
電源のオン/オフを自動的に制御する （パワーコントロール機能）

INPUT1またはINPUT2端子に外部同期信号が接続されているとき、本機に信号が入力されない状態が続くと、電源を自動的に切るパワーセービング機能と、電源をオン/オフする時間を自由に設定できるオンオフタイマー機能があります。また、PFM-42B2では電源をオンする時間とオフする時間を単独で自由に設定できるオンタイマー機能とオフタイマー機能もあります。

節電モード機能（PFM-42B2のみ）

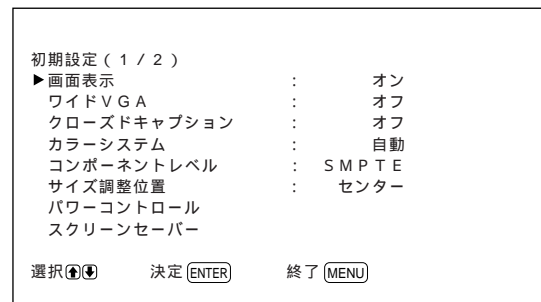
1 MENUボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



2 ▲ / ▼ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンを押す。

初期設定（1 / 2）メニューが表示されます。



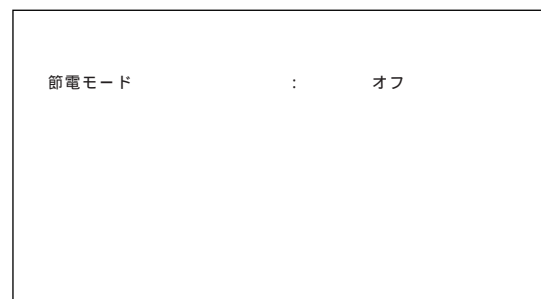
3 ▲ / ▼ボタンで「パワーコントロール」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



4 ▲ / ▼ボタンで「節電モード」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



5 ▲ / ▼ ボタンで節電モードオン / オフを選ぶ。

オフ：節電しない

オン：節電する

節電モードをオンにすると、画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

パワーセービング機能

1 初期設定(1 / 2)メニューから、▲ / ▼ ボタンで「パワーコントロール」を選び、ENTER ボタンを押す。

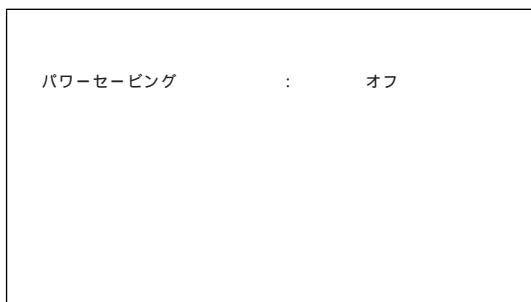
以下の画面が表示されます。



PFM-42B1 では「節電モード」は表示されません。

2 ▲ / ▼ ボタンで「パワーセービング」を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



3 ▲ / ▼ ボタンでパワーセービングモードに入るまでの時間を選ぶ。

オフ：パワーセービングしない

5分：信号が入力されない状態が5分続くとパワーセービングモードに入る

10分：信号が入力されない状態が10分続くとパワーセービングモードに入る

パワーセービングモードに入ると、ON(電源)インジケータが点滅します。

パワーセービングモードを解除するには

- ・再び同期信号が入力されると自動的に電源が入ります。
- ・⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部の⏻(スタンバイ)スイッチ、またはリモートコンマnderのPOWER(電源)ONスイッチを押すと、電源が入ります。

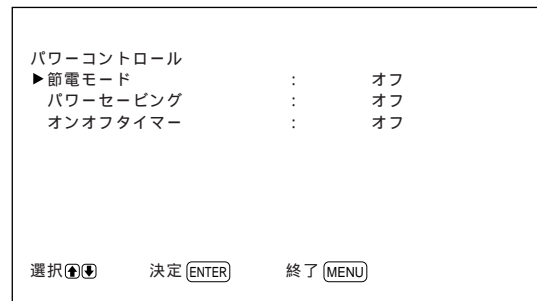
パワーセービング機能を使用できる信号の種類

RGB 信号でINPUT1またはINPUT2端子のRGB/YUV端子(D-sub 15ピンコネクター)の13番ピンに同期信号が入力されているとき。

オンオフタイマー機能

1 初期設定(1 / 2)メニューから、▲ / ▼ ボタンで「パワーコントロール」を選び、ENTER ボタンを押す。

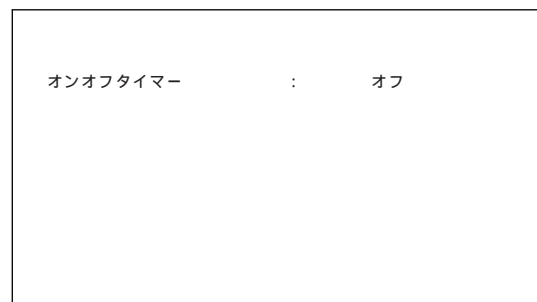
以下の画面が表示されます。



PFM-42B1 では「節電モード」は表示されません。

2 ▲ / ▼ ボタンで「オンオフタイマー」を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



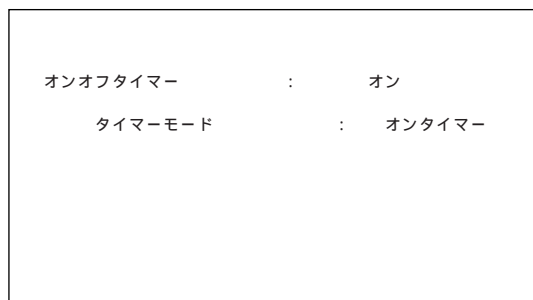
- 3** ▲ / ▼ ボタンで「オン」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



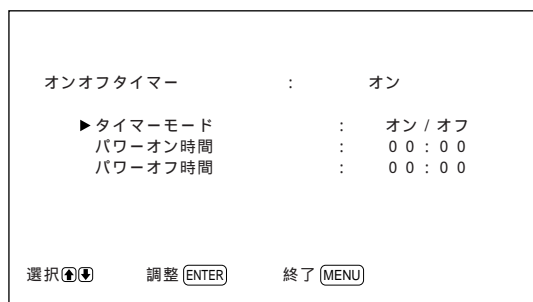
ご注意

前回設定したタイマーモードによって表示される画面は変わります。
ここでは前回設定したタイマーモードが「オンタイマー」の場合を例
にしています。工場出荷時は「オン/オフ」に設定されています。

- 4** タイマーモードを選択するために、この画面でもう一度
ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5** ▲ / ▼ ボタンでタイマーモードの「オン/オフ」を選び、ENTER
ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 6** ▲ / ▼ ボタンで「パワーオン時間」を選び、ENTER ボタンを
押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が水色で表示されます。

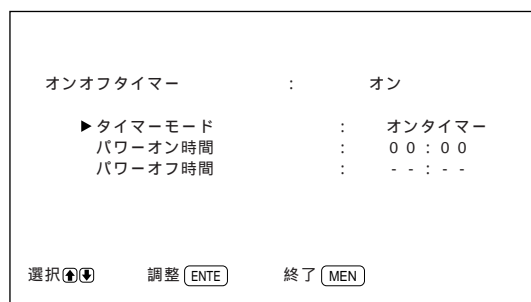


- 7** ▲ / ▼ ボタンで時間を設定し、ENTER ボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が水色で表示されます。
- 8** ▲ / ▼ ボタンで分を設定し、ENTER ボタンを押す。
- 9** ▲ / ▼ ボタンで「パワーオフ時間」を選び、ENTER ボタンを
押して、パワーオン時間と同様に時間と分を設定する。

パワーオフ時間になり、本機がパワーオフしてスタンバイ状態
になると、ON(電源)インジケーターが点滅します。

オンタイマー機能 (PFM-42B2のみ)

- 1** オンオフタイマー機能の手順4の画面が表示されている状態
で、▲ / ▼ ボタンでタイマーモードの「オンタイマー」を選び、
ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ▲ / ▼ボタンで「パワーオン時間」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示され、時間の背景が水色で表示されます。



3 ▲ / ▼ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。

時間が確定し、分の背景が水色で表示されます。

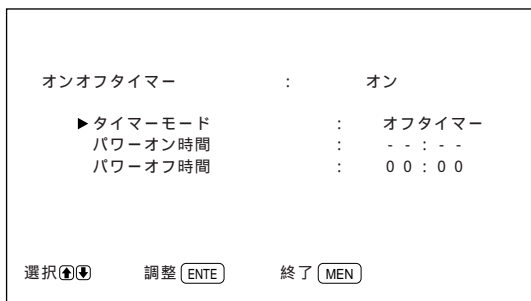
4 ▲ / ▼ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。

本機がパワーオフしてスタンバイ状態になると、ON(電源)インジケータが点滅します。

オフタイマー機能(PFM-42B2のみ)

1 オンオフタイマー機能の手順4の画面が表示されている状態で、▲ / ▼ボタンでタイマーモードの「オフタイマー」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ▲ / ▼ボタンで「パワーオフ時間」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示され、時間の背景が水色で表示されます。



3 ▲ / ▼ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。

時間が確定し、分の背景が水色で表示されます。

4 ▲ / ▼ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。

設定した時間になると、本機は待機状態になります。

ご注意

- VIDEO端子から信号が入力されているときは、パワーセービング機能は働きません。
- INPUT1またはINPUT2端子のRGB/YUV端子(D-sub 15ピンコネクタの13番ピン)に同期信号が接続されていないときは、パワーセービング状態に入った後、信号が再度入力されても電源は自動的に入りません。RGB信号のみを入力して使用ときは、必ず「パワーセービング」をオフにしてください。
- パワーセービング機能、オンオフタイマー機能、およびスクリーンセーバーの画像反転終了時のパワーオフ機能を同時に使用することはできません。どれか1つがオンに設定されている場合、他の2つの項目には「」が表示され、設定できません。
- パワーオン時間とパワーオフ時間に同じ時間を設定すると、パワーオン時間の設定が優先され、パワーオフ時間になっても電源は切れません。
- YUV(コンポーネント信号)信号入力時は、パワーセービング機能は働きません。

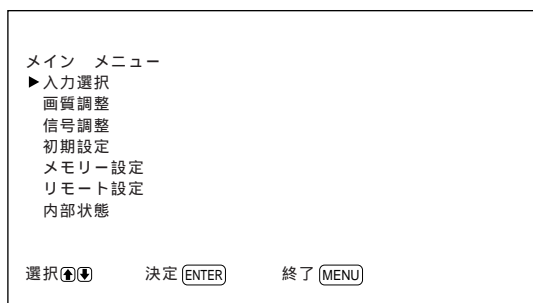
シリアルリモートの設定(PFM-42B2のみ)

シリアルリモート制御に関する設定を行います。

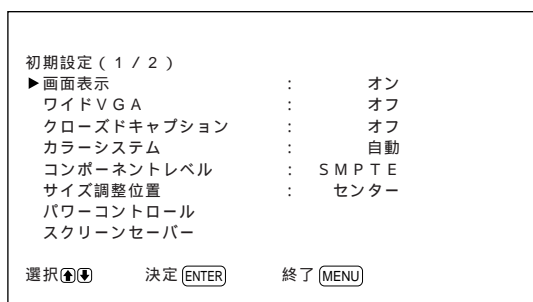
ボーレートを設定する

制御する機器と同じボーレートに合わせるときに使用します。(工場出荷時は9600bpsに設定されています。)

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



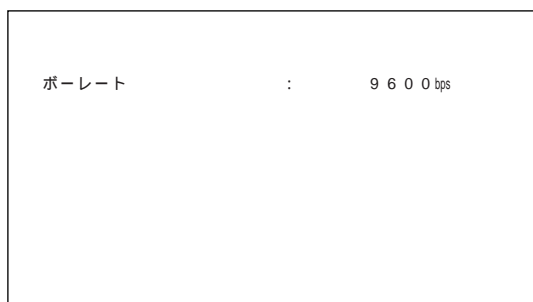
- 2 ▲ / ▼ ボタンで「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
初期設定 (1 / 2) メニューが表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで初期設定 (2 / 2) メニューを表示させ、「シリアルリモート」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ▲ / ▼ ボタンで「ボーレート」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5 ▲ / ▼ ボタンで9600bps、19200bps、38400bpsから最適な値を選び、ENTER ボタンを押す。

- 6 MENU ボタンを押す。
初期設定 (2 / 2) メニューに戻ります。

画像表示機能

シリアルリモートで制御しているときは、制御している機能が画面表示されます。

情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

- 1 初期設定 (2 / 2) メニューから、▲ / ▼ ボタンで「シリアルリモート」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「画面表示」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 3 ▲ / ▼ ボタンで「画面表示」をオフにし、ENTER ボタンを押す。
シリアルリモートで制御しているときの情報が表示されない設定になります。

画面表示させるには

手順3で「画面表示」をオンにします。

(工場出荷時はオンに設定されています。)

自己診断機能

本機には自己診断機能が搭載されています。これは本機が正しく動作していないときに、STANDBYインジケータの点滅によりお知らせする機能です。点滅状態によって本機の状態が分かるようになっています。

STANDBYインジケータが点滅したら、点滅状態を確認して、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 STANDBY インジケータの点滅状態を確認する。

画面が消えずにインジケータが点滅している場合と、画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅する場合があります。画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅している場合には、点滅回数を数えてください。たとえば、2回点滅 3秒あき 2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。

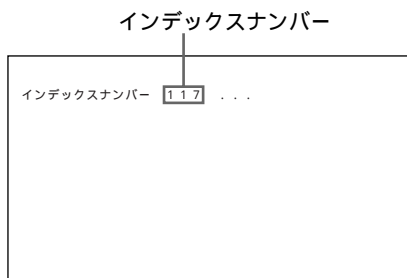
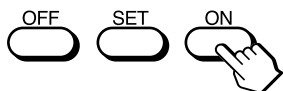
2 本機の電源コードを抜く。

お買い上げ店またはソニーサービス窓口指点滅回数をお知らせください。

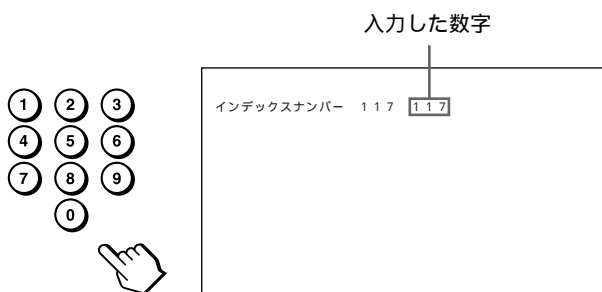
特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する

複数のディスプレイを使用しているとき、インデックスナンバーを指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

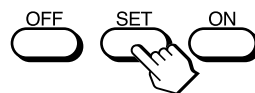
- 1 リモートコマンダーのID MODE ON ボタンを押す。
インデックスナンバーが、画面上部に白い文字で表示されます。(インデックスナンバーは、1 から 255 の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています。)
インデックスナンバーを変更したいときは、「インデックスナンバーを変更するには」をご覧ください。



- 2 リモートコマンダーの数字ボタンで、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力する。
すべてのディスプレイのインデックスナンバーの右に、入力した数字が表示されます。

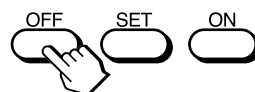


- 3 ID MODE SET ボタンを押す。
選択したディスプレイのメニュー表示が水色に変わり、その他のディスプレイのメニュー表示は赤色に変わります。



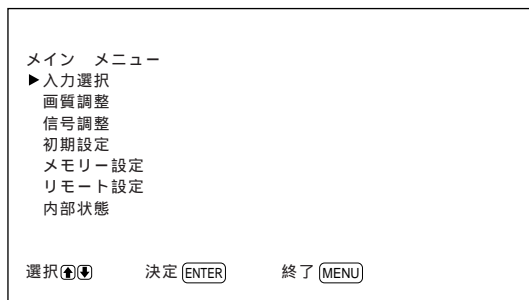
これで特定のディスプレイ(メニュー表示が水色に変わったディスプレイ)のみを操作できます。(電源の入/切を除くすべての操作が可能です。)

- 4 ディスプレイの設定が終了したら、ID MODE OFF ボタンを押す。
ディスプレイは通常の画面に戻ります。



インデックスナンバーを変更するには
必要に応じてインデックスナンバーを変更できます。変更する場合は、ディスプレイ本体のコントロールボタン部のボタンをお使いください。

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ▲ / ▼ ボタンで「リモート設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
リモート設定メニューが表示されます。



- 3** ▲ / ▼ ボタンで「インデックスナンバー」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4** ▲ / ▼ ボタンでインデックスナンバーを選び、ENTER ボタンを押す。
リモート設定メニューに戻ります。

他のリモートコマンダーから操作する

他のリモートコマンダーから以下の操作ができます。

- ・電源の入 / 切
- ・入力の切り換え
- ・メニュー操作
- ・画質調整 (コントラスト、色の濃さ、色あい)
- ・画面表示の入 / 切

リモートコマンダーの種類により、使用するボタンは以下のようになります。

リモコンの型名		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
REMOTE MODEの設定		TV	TV	PJ
入力切換	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
メニュー操作	MENU	MENU	MENU	MENUまたは←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTERまたは→
	▲	+	SELECT + ↑	↑
	▼	-	SELECT - ↓	↓
画質の調整	コントラスト	CONTRAST + / -	—	CONTR + / -
	色の濃さ	CHROMA + / -	—	COLOR + / -
	色あい	PHASE + / -	—	HUE + / -
画面表示		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

PFM-42B1

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	— ¹⁾	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

PFM-42B2

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	— ¹⁾	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT SHIELDED	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF (シールド付)
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

映像処理系

プリセット信号	入力プリセット信号 (30 (JP) ページ) 参照
サンプリング周波数	13.5 MHz ~ 140 MHz
パネル方式	プラズマ・ディスプレイ・パネル
解像度	1 024ドット (水平) × 1 024ライン (垂直)
ピクセルピッチ	0.90 (水平) × 0.51 (垂直) mm
有効表示寸法	921 (水平) × 522 (垂直) mm
画面サイズ	42型 (対角 1 058 mm)

入出力

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV D-sub 15ピン (メス) (× 1)
(「ピン配列」参照)

AUDIO ステレオミニジャック
500 mVrms、ハイインピーダンス

VIDEO (NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M)

COMPOSITE IN BNC型 (× 1)
コンボジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
75 自動終端

Y/C IN ミニDIN4ピン (× 1)
Y (輝度) 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
75 終端
C (クロマ) パースト 0.286 Vp-p
± 2 dB (NTSC) 75 終端
パースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL)
75 終端

AUDIO IN ステレオミニジャック
500 mVrms、ハイインピーダンス

COMPOSITE OUT BNC型 (× 1) ループスルー

AUDIO OUT ステレオミニジャック
500 mVrms、ハイインピーダンス

REMOTE (RS-232C)

D-sub 9ピン (× 1)

安全規格 電安法、VCCIクラスB

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

D4端子アダプター-BKM-B11 (別売り)

VIDEO1 IN (NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M)

COMPOSITE ピンジャック (× 1)
コンボジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
75 終端

Y/C ミニDIN4ピン (× 1)
Y (輝度) 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
75 終端

C (クロマ) パースト 0.286 Vp-p
± 2 dB (NTSC) 75 終端
パースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL)
75 終端

AUDIO ステレオミニジャック
500 mVrms、ハイインピーダンス

VIDEO2 IN

D4 D4端子 (× 1)
75 終端
(EIAJ RC-5237 (デジタル放送映像信号
用 (Y、P_B、P_R) 接続用 D端子コネク
ター) に準拠)

AUDIO ステレオミニジャック
500 mVrms、ハイインピーダンス

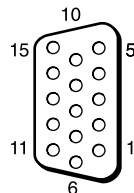
その他

電源	AC 100 V ~ 240 V、50/60 Hz、 PFM-42B1 : 4.5 A ~ 1.8 A PFM-42B2 : 4.2 A ~ 1.5 A
消費電力	PFM-42B1 : 400 W PFM-42B2 : 360 W
動作条件	温度 : 0 ~ + 35 湿度 : 20 ~ 90% (結露のないこと) 気圧 : 800 ~ 1 060 hPa
保存・輸送条件	温度 : - 10 ~ + 40 湿度 : 20 ~ 90% (結露のないこと) 気圧 : 800 ~ 1 060 hPa
外形寸法	1 033 × 631 × 83 mm (幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部 含まず)
質量	PFM-42B1 : 約 29.4 kg PFM-42B2 : 約 28.4 kg
付属品	電源コード (1) AC プラグホルダー (2) ケーブルホルダー A (2) ケーブルホルダー B (4) 変換プラグアダプター (1) フェライトコア (8) (PFM-42B2 のみ) ストッパー (8) (PFM-42B2 のみ) リモートコマンダー RM-42B (1) 単 3 形乾電池 (2) 取扱説明書 (1) 保証書 (1)
別売りアクセサリ	スタンド SU-42B D4 端子アダプター BKM-B11

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

RGB/YUV端子 (D-sub 15ピン)



ピンNo.	信 号
1	赤映像信号またはR-Y信号またはP _R 信号
2	緑映像信号 (Composite Sync On Green) またはY信号
3	青映像信号またはB-Y信号またはP _B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号または複合同期信号
14	垂直同期信号
15	SCL

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは
保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理を
させていただきます。

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear.
Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call: Sony's Business Information Center (BIC) at 1-800-686-SONY (7669)

*or Write to: Sony Customer Information Services Center
6900-29 Daniels Parkway, PMB 330 Fort
Myers, Florida 33912*

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	PFM-42B1/42B2
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	680 Kinderkamack Road, Oradell NJ 07649 U.S.A.
Telephone Number:	201-930-6972

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful

interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een Li-ion batterij voor clock back-up.
- De batterij voor clock back-up is vastgesoldeerd op de B printplaat BAT500.
- Raadpleeg uw leverancier over de verwijdering van de batterij op het moment dat u het apparaat bij einde levensduur afdankt.
- Gooi de batterij niet weg, maar lever hem in als KCA.



The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

Table of Contents

Precautions	5 (GB)
Features	6 (GB)
Location and Function of Parts and Controls	7 (GB)
Front / Rear / Right Side	7 (GB)
⏻ (standby) Switch / Indicator Section	8 (GB)
Control Button Section (Rear)	8 (GB)
Connector Panel	9 (GB)
Remote Commander RM-42B	11 (GB)
Caution	13 (GB)
Connections	14 (GB)
Connecting the AC Power Cord	14 (GB)
Attaching the ferrite core (PFM-42B2/42B2E only)	14 (GB)
Connection Example	15 (GB)
Using On-screen Menus	20 (GB)
Operating Through Menus	20 (GB)
Menu Guide	20 (GB)
Watching the Picture	24 (GB)
Switching the Input Signal	24 (GB)
Switching the Display Mode	25 (GB)
Input Signal and Display Status Information	26 (GB)
Adjusting the Picture	28 (GB)
Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.	28 (GB)
Restoring the PIC CONTROL Menu Items to Their Original Settings	29 (GB)
Resizing and Positioning the Picture	30 (GB)
Resizing the Picture	30 (GB)
Adjusting the Picture Position	31 (GB)
Restoring the Original Picture Size and Position ...	31 (GB)
Changing the Aspect Ratio	32 (GB)
Adjusting the Linearities	32 (GB)
Adjusting the Pixels	33 (GB)
Using the Memory Function	34 (GB)
Storing the Current Setting	34 (GB)
Calling Up a Stored Setting	35 (GB)

Selecting the On-screen Language	36 (GB)
Reducing Afterimage/Ghosting	
(Screen Saver Function).....	37 (GB)
Reversing the Image	37 (GB)
Changing the Image Position Automatically	38 (GB)
Controlling Power On/Off Automatically	
(Power Control Function)	39 (GB)
Energy Saving Function	
(PFM-42B2/42B2E only)	39 (GB)
Power Saving Function	40 (GB)
On/Off Timer Function	40 (GB)
On Timer Function (PFM-42B2/42B2E only)	42 (GB)
Off Timer Function (PFM-42B2/42B2E only)	42 (GB)
Setting the SERIAL REMOTE	
(PFM-42B2/42B2E only)	43 (GB)
Setting the baud rate	43 (GB)
OSD Function	43 (GB)
Setting the NETWORK ADAPTOR	
(PFM-42B2/42B2E only)	44 (GB)
Setting the power supply to the Network	
Adaptor	44 (GB)
If the screen freezes when you use the Network	
Adaptor	44 (GB)
Self-diagnosis Function	45 (GB)
Operating a Specific Display With the Remote	
Commander	45 (GB)
Using Other Remote Commander Models	47 (GB)
Specifications	48 (GB)

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the back of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When the unit is installed on the floor, be sure to use the optional stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the Remote Commander, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On the PDP (Plasma Display Panel)

- The plasma display panel is manufactured with extremely high precision technology. However, you may see some dark spots appear, or bright spots of white, red, blue or green remain on the screen. It may also generate striped color and brightness irregularities, or a few dark or bright pixels. These do not indicate malfunction.
- If you continue to display the same image on the screen for a long period of time, part of that image may burn into a part of the panel, and leave a ghosting image behind. If you display the same image for a long period of time, to avoid burning this image into the panel, use the screen function provided, displaying it over the entire screen. If ghosting occurs, use the screen saver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs, it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.

- Because of the way it is made, when this plasma display panel is used in places with low air pressure, such as at high altitudes, a buzzing or humming noise may emanate from the unit.
- The display panel's special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the TV. When cleaning, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since these will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

Noise when using the Infrared communication equipment

Communication problems may occur if the infrared communication equipment (e.g., infrared cordless headphones or microphones) is used near the display. Please use headphones or microphones other than infrared cordless headphones or microphones. Also, if you use the infrared communication equipment, move it away from the display until the noise is eliminated, or move the transmitter and receiver of the infrared communication equipment closer together.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

Features

The PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E series are 16:9 42-inch flat panel displays utilizing a PDP (Plasma Display Panel), which can accept various types of signals with the built-in scan converter.

Improved image quality

The PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E series achieves higher image quality with its PDP (Plasma Display Panel) set to 1024 dots × 1024 lines. This makes for a finely-detailed HDTV or PC image.

Internal high-performance scan converter

The display has a high performance scan converter. Using a unique algorithm, the display processes signals in a wide range of formats — Video, HDTV, PC, etc.

Flexibility

An option slot is in place for future expansion. The slot-in optional adaptor allows for quick and easy system upgrades.

Other features

- Three sets of video inputs with audio input: one composite video or Y/C input and two RGB/component inputs. (For the PFM-42B1E/42B2E, the BKM-B10 video input adaptor or BKM-B13 video input & control S adaptor is required to input the composite video and Y/C signals.)
- Displays the HDTV signal with a tri-level sync signal.
- Three dimensional comb filter for NTSC Y/C separation.
- Line correlation comb filter for PAL Y/C separation.
- Automatic input signal detection with on-screen indication.
- Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play) compatible.
- Picture AGC function — this function automatically adjusts and improves the contrast when a low intensity signal is input.
- On-screen menu for various adjustments and settings
- On-screen display in six languages for user-friendly access. (Languages: English, German, French, Italian, Spanish and Japanese)
- Fine adjustment of image size and position
- Memory function for storage of up to twenty picture settings.
- ID control
- Self-diagnosis function
- Remote (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)
- Accepts infrared Sony Remote Commanders using SIRCS code.
- Vertical setup
- Closed caption decoder
- Screen saver to reduce afterimage or ghosting.

Warning on power connection

Use the proper power cord for your local power supply.

PFM-42B1/42B1E

	United States, Canada	Continental Europe	United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Female end	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

PFM-42B2/42B2E

	United States, Canada	Continental Europe	United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Female end	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT SHIELDED	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF SHIELDED
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

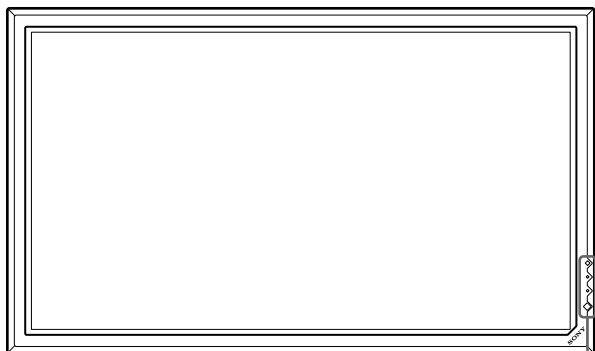
a) Note: Use an appropriate rating plug which is applied to local regulations.

1) Windows is a registered trademark of the Microsoft Corporation (U.S.A. and other countries).

Location and Function of Parts and Controls

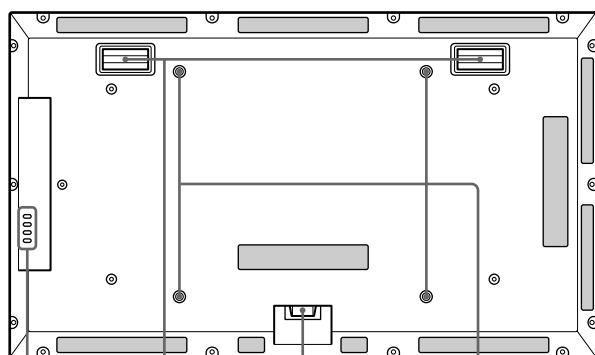
Front / Rear / Right Side

Front



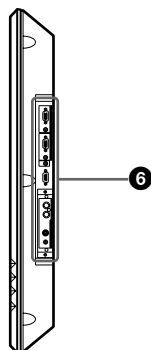
1

Rear



The shaded areas shown in the illustration above are all ventilation holes.

Right side



6

1 ⏻ (standby) switch / indicator section

For details on the ⏻ (standby) switch / indicator section, see “⏻ (standby) Switch / Indicator Section” on page 8 (GB).

2 Control button section

For details on the control button section, see “Control Button Section (Rear)” on page 8 (GB).

3 Carrying handles

4 ~AC IN socket

Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the STANDBY indicator lights up in red and the display turns to the standby mode.

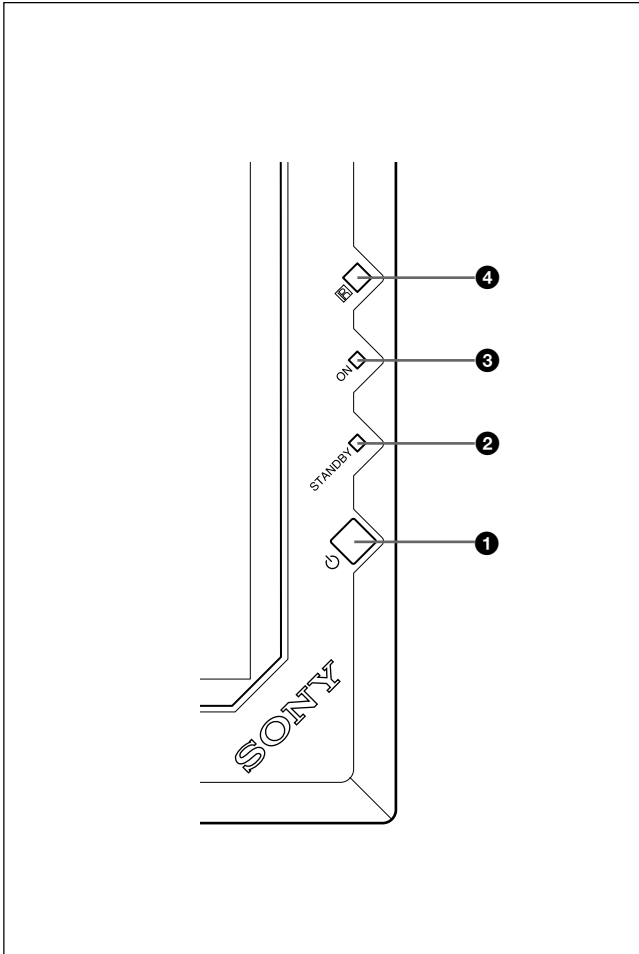
5 Stand installation hooks

Use these hooks to install the stand (not supplied).

6 Connector panel

For details on the connector panel, see “Connector Panel” on page 9 (GB).

⏻ (standby) Switch / Indicator Section



❶ ⏻ (standby) switch

Press to turn on the display unit. Press again to go back to the standby mode.

❷ STANDBY indicator

Lights up in red in the standby mode.

When the STANDBY indicator flashes, see “Self-diagnosis Function” on page 45 (GB).

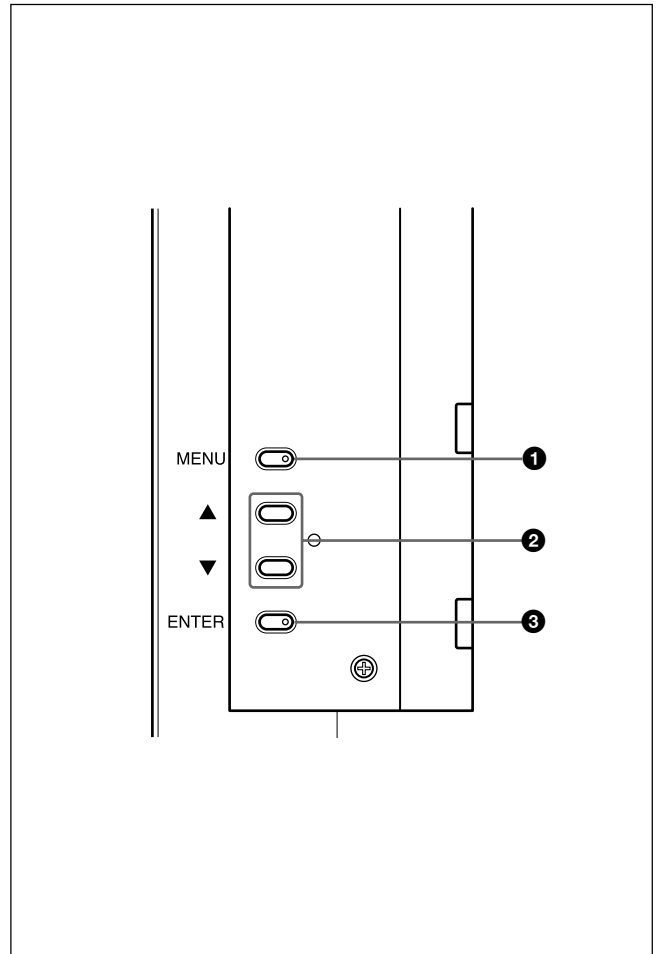
❸ ON indicator

Lights up in green when the display unit is turned on.

❹ Remote control detector

Receives the signal from the Remote Commander.

Control Button Section (Rear)



❶ MENU button

Press to make the menu appear. When the menu appears on the display screen, press to return to the previous menu level. To clear the menu, press this button repeatedly until the menu disappears.

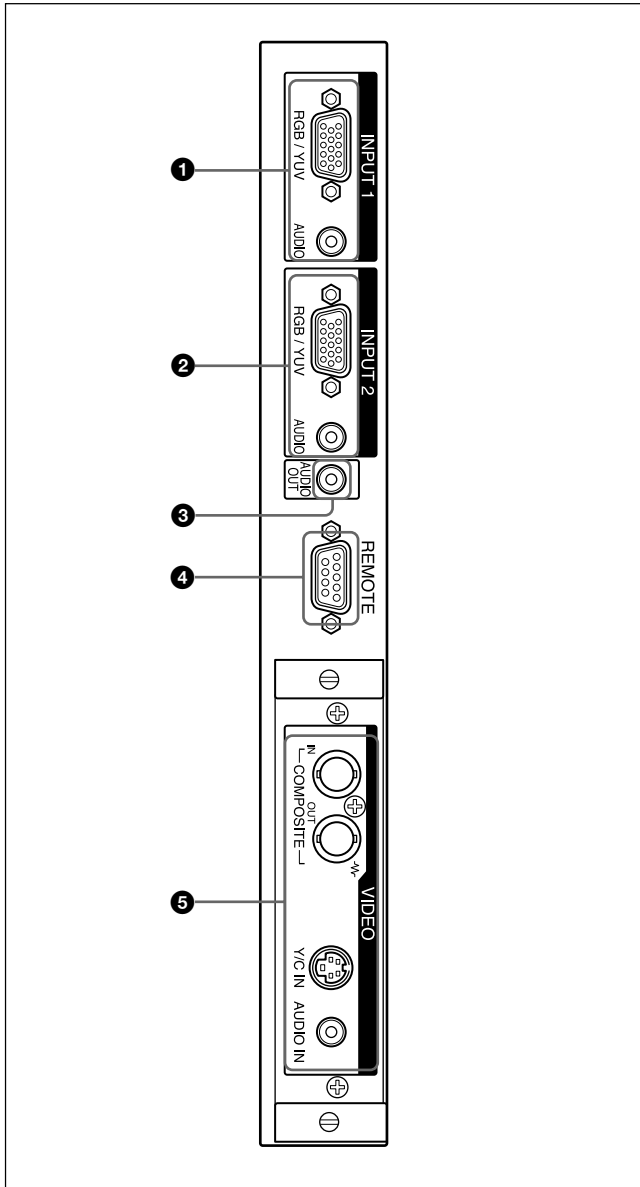
❷ ▲ / ▼ buttons

Press to move the cursor (▶) to an item or to adjust a value in a menu.

❸ ENTER button

Press to select the desired item from the menu displayed.

Connector Panel



❶ INPUT1 connectors

RGB/YUV (D-sub 15-pin): Connects to the RGB signal or component (YUV) signal output of a computer or a piece of video equipment. This display also accepts an HD analog component (Y/Pb/Pr) signal. See “Pin assignment” on page 49 (GB) when inputting a component signal.

AUDIO (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a computer or a piece of video equipment.

❷ INPUT2 connectors

RGB/YUV (D-sub 15-pin): Connects to the RGB signal or component (YUV) signal output of a computer or a piece of video equipment. This display also accepts an HD analog component (Y/Pb/Pr) signal. See “Pin assignment” on page 49 (GB) when inputting a component signal.

AUDIO (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a computer or a piece of video equipment.

❸ AUDIO OUT jack (Stereo minijack)

From among the audio signals input at the audio input jacks, outputs the audio signal shown on the display panel.

❹ REMOTE (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)

This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealer.

❺ VIDEO connectors

The PFM-42B1E/42B2E are not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-42B1E/42B2E, composite video and Y/C input can be input to the display when the BKM-B10 video input adaptor or BKM-B13 video input & control S adaptor (not supplied) is installed in the display.

COMPOSITE IN (BNC-type): Connects to the composite video signal output of a piece of video equipment.

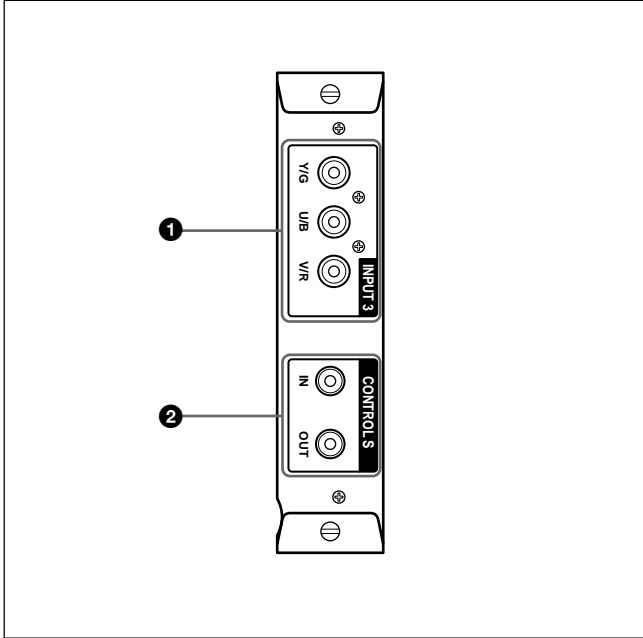
COMPOSITE OUT (BNC-type): Connects to the composite video signal input of a piece of video equipment.

Y/C IN (Mini DIN 4-pin): Connects to the Y/C signal output of a piece of video equipment.

AUDIO IN (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

Component Input Adaptor (with Control S) BKM-B12 (Not supplied)

The VIDEO connectors are Slot-in connectors. You can replace the VIDEO connectors with the Component Input Adaptor (with Control S) BKM-B12.



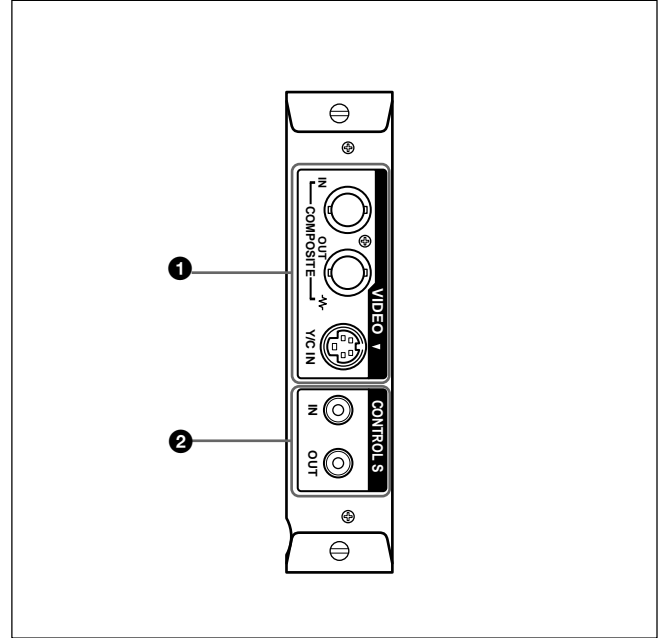
- ① INPUT3 (RGB/YUV signal input) connectors**
RGB/YUV (RGB/YUV signal input) connector (Phono jack): Connects to the analog RGB signal output connector (image device) or to the Component (YUV) signal output connector. You can also input the HD analog component (Y/Pb/Pr) signals to this connector.

② CONTROL S IN/OUT (Control S signal input/output) connector (Minijack)

You can connect the CONTROL S connector on a video device or display to this connector, you can control multiple devices from one Remote Commander. Connect the CONTROL S OUT connector on this adaptor to the CONTROL S IN connector on the other device.

Video Input & Control S Adaptor BKM-B13 (Not supplied)

The VIDEO connectors are Slot-in connectors. You can replace the VIDEO connectors with the VIDEO Input & Control S Adaptor BKM-B13.



① VIDEO Connectors

COMPOSITE IN (Video Input) connector (BNC):

Connects to the composite signal output connector on the video device.

COMPOSITE OUT (Video Output) connector (BNC):

Connects to the composite signal input connector on the video device.

Y/C IN (Video Input) connector (Mini-DIN 4-pin):

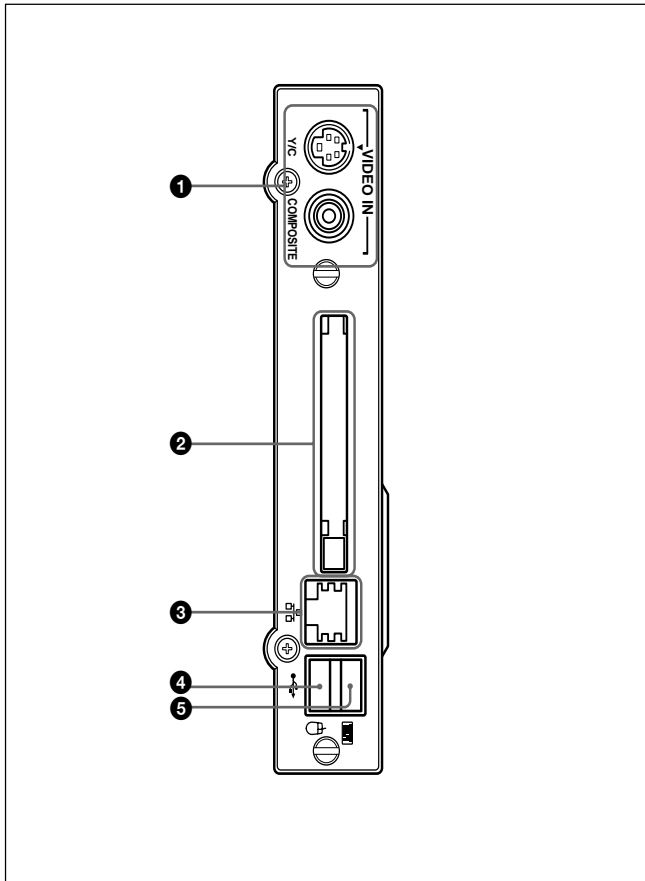
Connects to the Y/C output connector on the video device.

② CONTROL S IN/OUT (Control S signal input/output) connector (Minijack)

You can connect the CONTROL S connector on a video device or display to this connector, you can control multiple devices from one Remote Commander. Connect the CONTROL S OUT connector on this adaptor to the CONTROL S IN connector on the other device.

Network Adaptor BKM-B30NW (Not supplied)

The VIDEO connectors are Slot-in connectors. You can replace the VIDEO connectors with the Network Adaptor BKM-B30NW.



❶ VIDEO IN connector

Y/C connector (Mini DIN 4 pin): Connect to the Y/C output connector of an image device.

COMPOSITE connector (Pinjack): Connect to the composite output connector of an image device.

❷ PC card slot

Install a LAN card or PC memory card as needed.

❸ Ethernet connector

Connect to another networked computer with a 10/100BASE-T LAN cable.

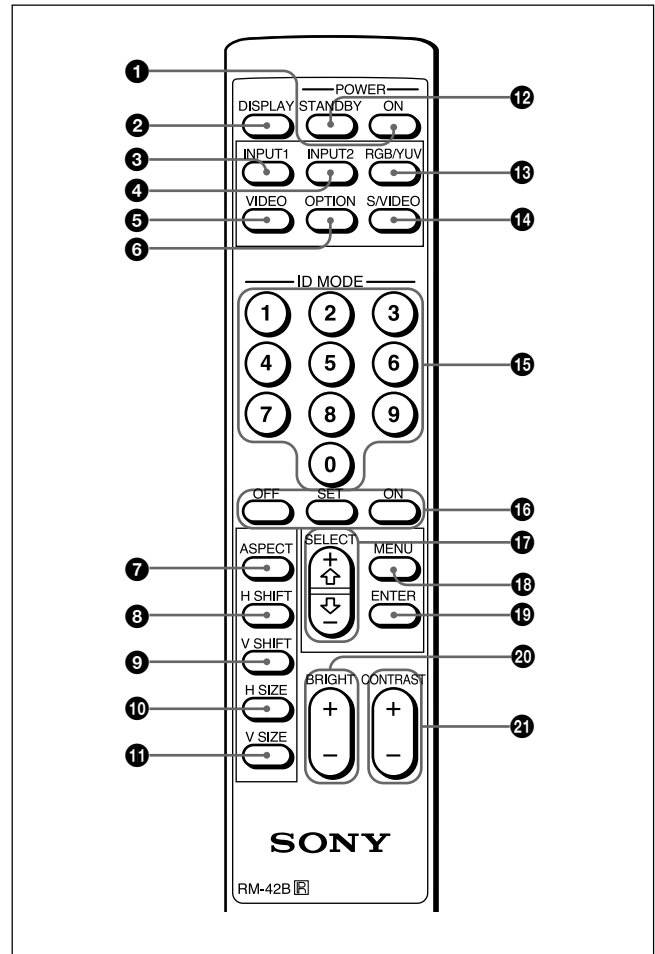
❹ Keyboard connector

Connect a USB keyboard.

❺ Mouse connector

Connect a USB mouse.

Remote Commander RM-42B



❶ POWER ON switch

Press to turn on the display.

❷ DISPLAY button

Displays the input signal information and the time at the top of the display panel. Press again to clear it.

❸ INPUT1 button

Selects the signal input from the INPUT1 connectors.

❹ INPUT2 button

Selects the signal input from the INPUT2 connectors.

❺ VIDEO button

Selects the signal input from the COMPOSITE IN connector or Y/C IN connector from among the VIDEO connectors.

❻ OPTION button

Selects the signal input from the optional adaptor when you install it in the unit.

❼ ASPECT button

Changes the aspect ratio of the picture.

8 H SHIFT button

Adjusts the horizontal centering. Press this button and then adjust the horizontal centering with the SELECT +↑/−↓ button 17.

9 V SHIFT button

Adjusts the vertical centering. Press this button and then adjust the vertical centering with the SELECT +↑/−↓ button 17.

10 H SIZE button

Adjusts the horizontal picture size. Press this button and then adjust the horizontal picture size with the SELECT +↑/−↓ button 17.

11 V SIZE button

Adjusts the vertical picture size. Press this button and then adjust the vertical picture size with the SELECT +↑/−↓ button 17.

12 STANDBY button

Press to turn the display to the standby mode.

13 RGB/YUV button

Press to select the format matching that of the input signal connected to the INPUT1 or INPUT2 connector. Each press toggles between RGB and YUV.

14 S/VIDEO button

Press to select the signal input from the COMPOSITE IN connector or Y/C IN connector from among the VIDEO connectors. Each press toggles between COMPOSITE IN and Y/C IN.

15 Number buttons

Press to enter the index number.

16 ID MODE (ON/SET/OFF) buttons

Press the ON button to make an index number appear on the screen. Then enter the index number of the display you want to operate using the number buttons 15 and press the SET button. After you finish the operation, press the OFF button to return from the ID mode to the normal mode.

For details about the index number, see “Operating a Specific Display With the Remote Commander” on page 45 (GB).

17 SELECT +↑/−↓ button

Press to move the cursor (▶) to an item or to adjust a value in a menu.

18 MENU button

Press to make the menu appear. When the menu appears on the display panel, press to return to the previous menu level. To clear the menu, press this button repeatedly until the menu disappears.

19 ENTER button

Press to select the desired item in a menu.

20 BRIGHT +/− button

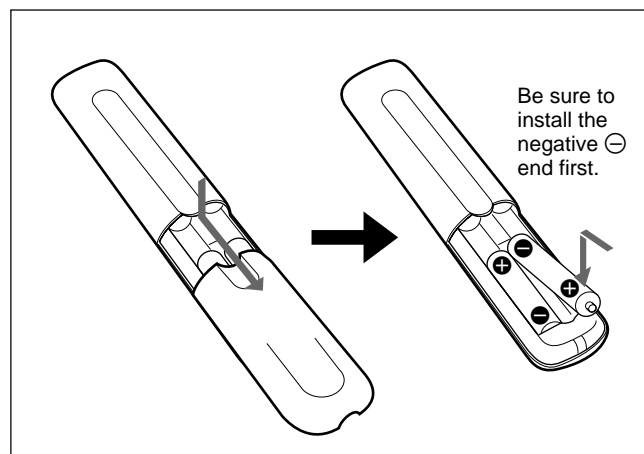
Adjusts the brightness.

21 CONTRAST +/− button

Adjusts the contrast.

Installing batteries

Insert two size AA (R6) batteries in correct polarity.



- In normal operation, batteries will last up to half a year. If the Remote Commander does not operate properly, the batteries might be exhausted sooner. Replace them with new ones.
- To avoid damage from possible battery leakage, remove the batteries if you do not plan to use the Remote Commander for a fairly long time.

When the Remote Commander does not work

Check that the STANDBY indicator lights up and the REMOTE MODE in the REMOTE menu is not set to OFF. The Remote Commander operates the display only when both of the two conditions below are met.

- The display is turned on, or it is in the standby mode.
- The REMOTE MODE in the REMOTE menu is set to TV or to PJ.

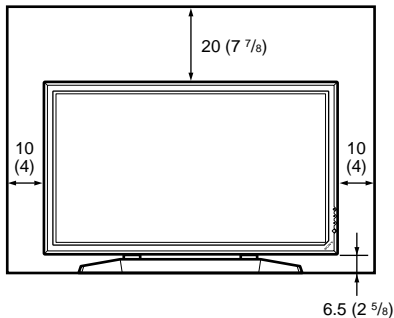
For details about the REMOTE MODE, see “REMOTE menu” on page 22 (GB).

Caution

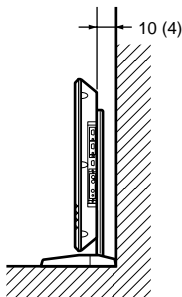
- When you use the display, make sure there is more space around the display than that shown in the figure below. This will allow for proper ventilation.
- The ambient temperature must be 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F).
- Use the SU-42B display stand (not supplied) as a stand.
- The wall should be reinforced to bear at least five times the weight of the display (PFM-42B1/42B1E: approx. 29.4 kg/PFM-42B2/42B2E: approx. 28.4kg) plus the wall bracket you are planning to use.
- Regarding installation of hardware such as brackets, screws, and bolts, we cannot specify what to use because actual installation is up to the authorized local dealers. For installation, consult with qualified Sony personnel.

When using the stand (not supplied)

Front



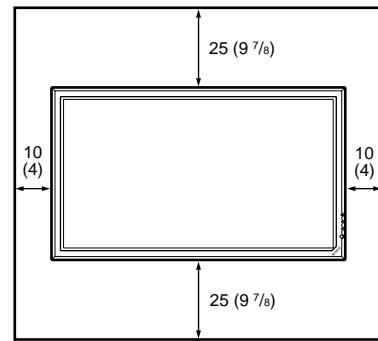
Side



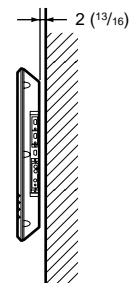
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



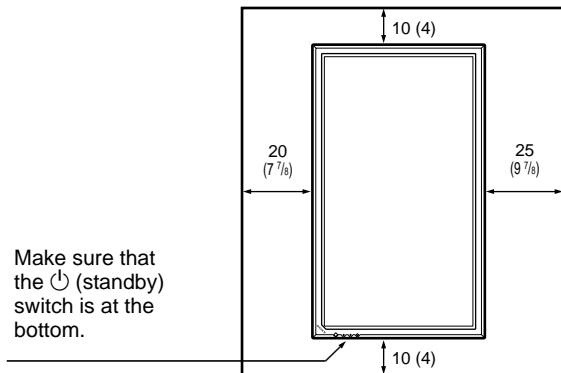
Side



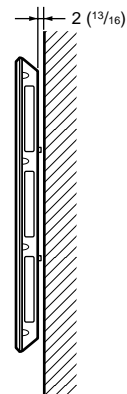
Units: cm (inches)

When mounting the display vertically

Front



Side

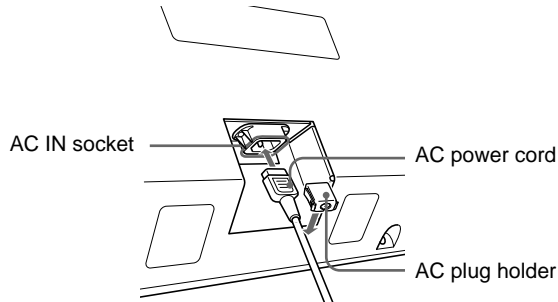


Units: cm (inches)

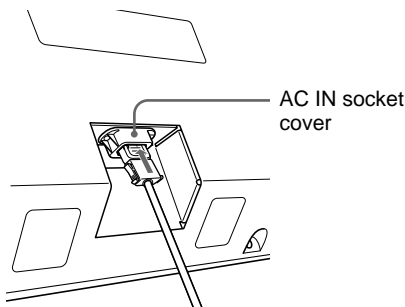
Connections

Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



- 2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.



To remove the AC power cord

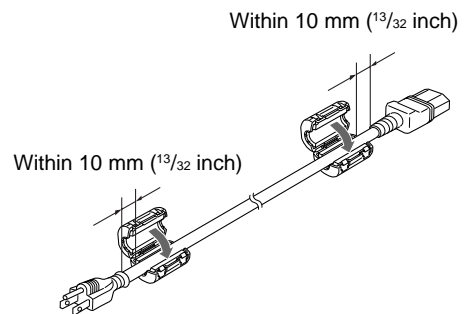
After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Attaching the ferrite core (PFM-42B2/42B2E only)

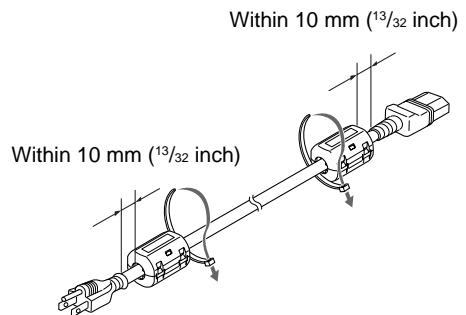
When attaching to the AC power cord

Before connecting the power cord to the unit, be sure to attach the supplied ferrite cores (light gray) to the power cord.

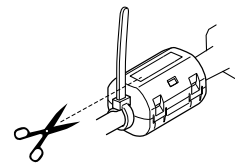
- 1 Attach the ferrite cores to both ends of the AC power cord and close the ferrite cores until they click.



- 2 Wind the stopper round the cord so that the ferrite cores do not slide.



- 3 Tighten the stopper and cut the surplus.



Note

You are cautioned that this unit will not be in compliance with the EMC limits unless the ferrite core is installed on the AC power cord.

When attaching to the cables

When you connect a cable to any of the terminals listed below, attach the ferrite core provided before using the cable.

AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

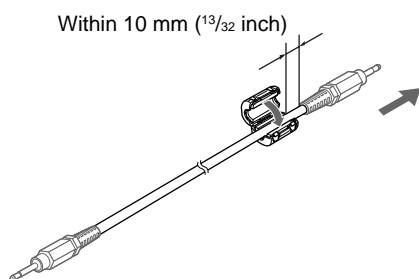
AUDIO OUT

REMOTE

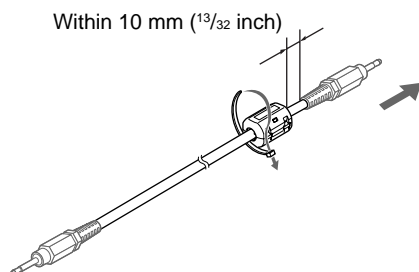
Y/C IN (VIDEO)

AUDIO IN (VIDEO)

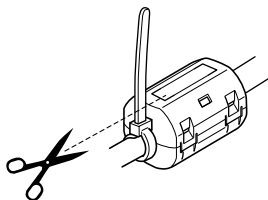
- 1** Attach the ferrite core (black) to the end of the cable closer to the PFM-42B2/42B2E, closing it firmly until your hear it click.



- 2** Wind the stopper round the cord so that the ferrite core does not slide.



- 3** Tighten the stopper and cut the surplus.



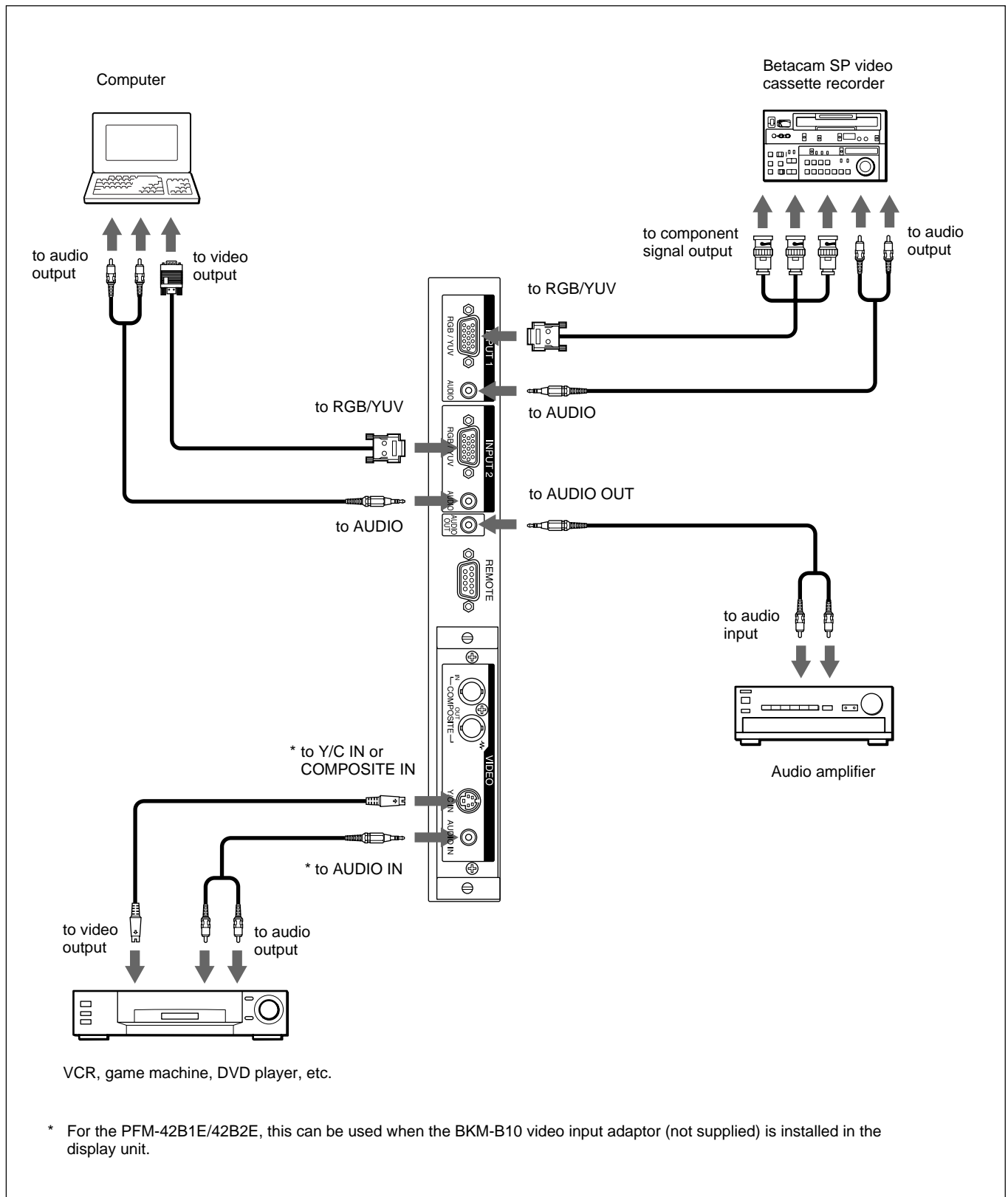
Notes

- When you connect this unit to various pieces of equipment using the RGB/YUV connectors, use the specified cable.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
- You are cautioned that this unit will not be in compliance with the EMC limits unless the ferrite core is installed on the interconnecting wire.

Connection Example

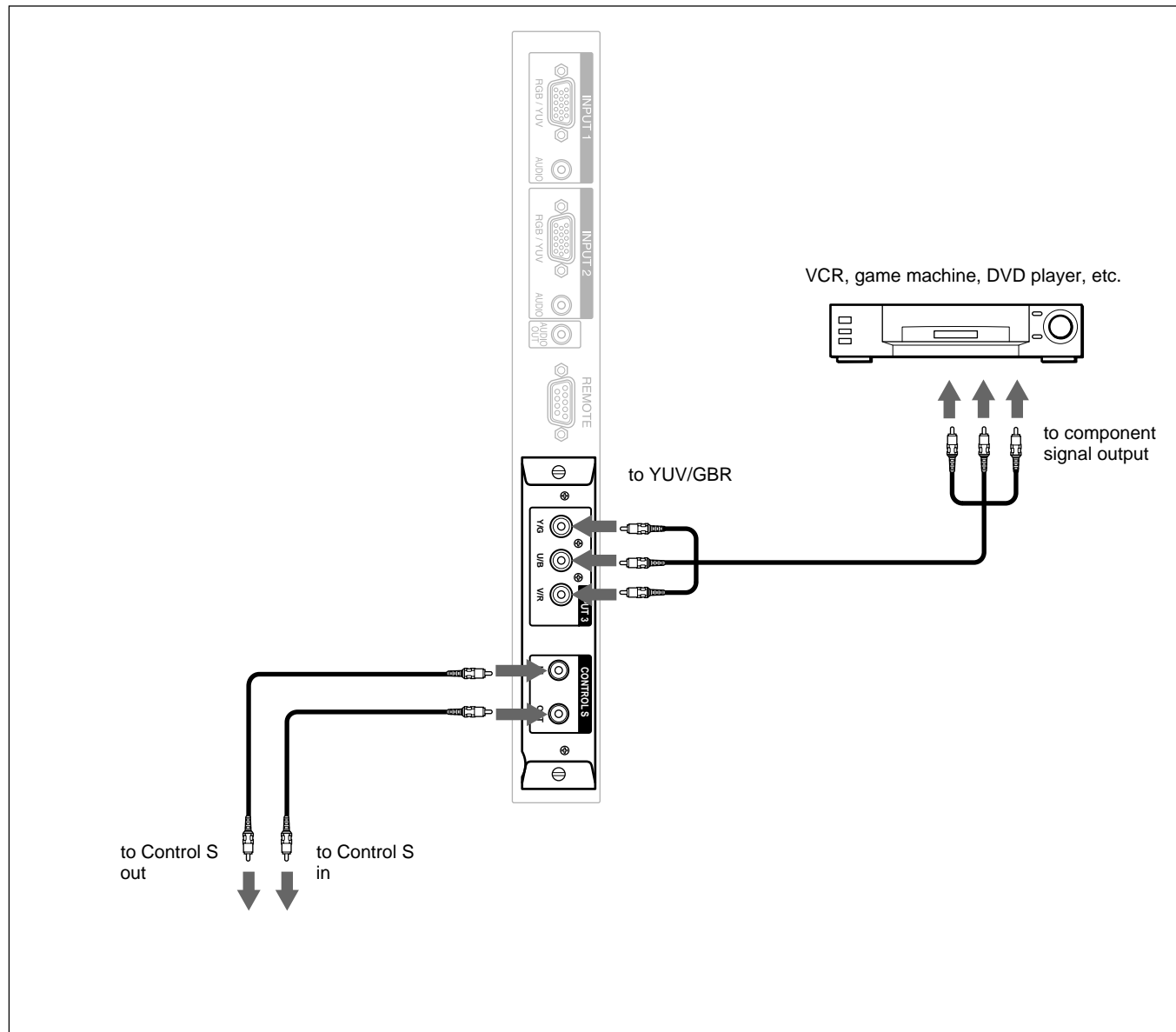
Before you start

- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Refer to the instruction manual of the equipment to be connected.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) that will securely hold the AC plug.



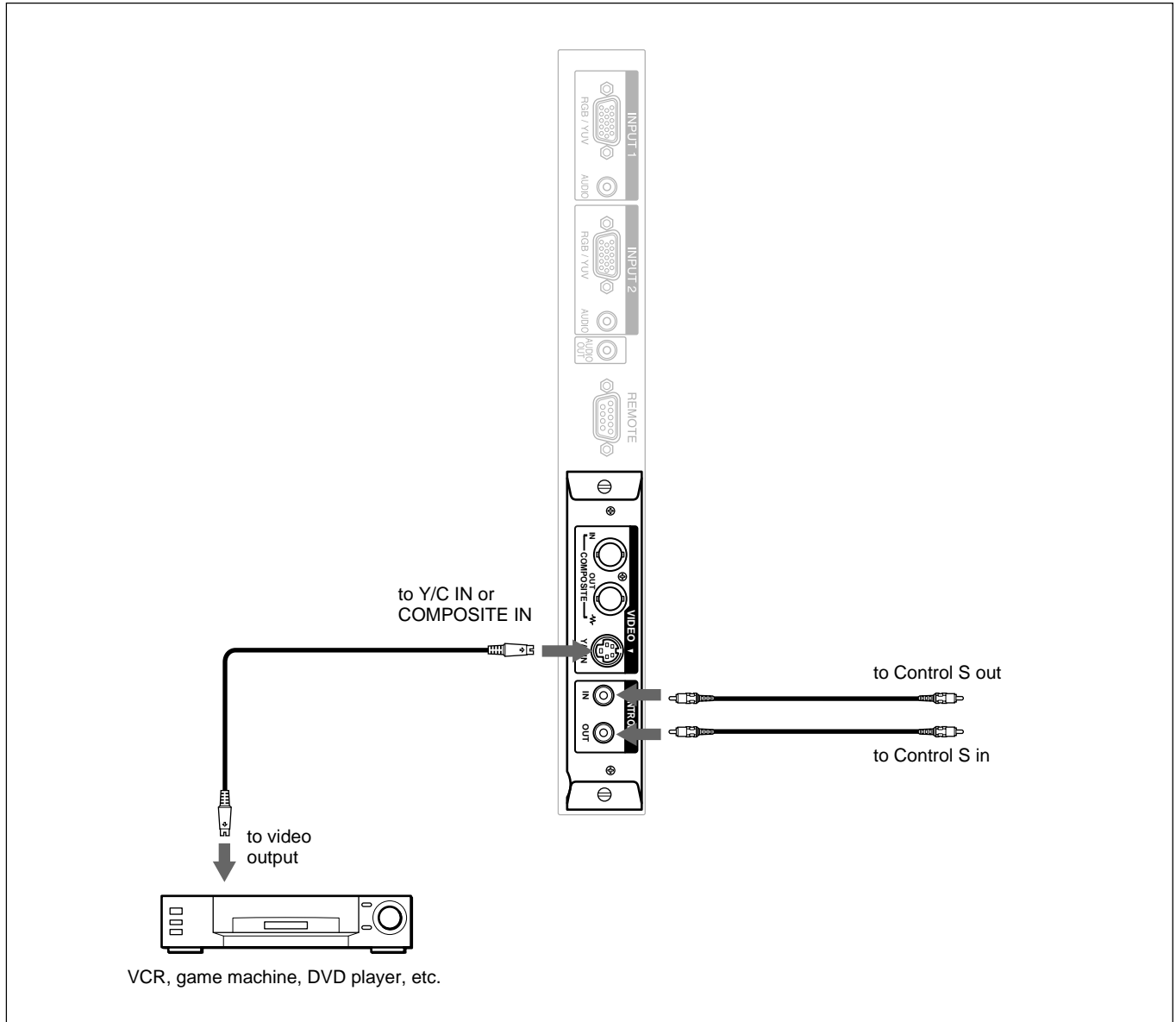
Connection Example: The Component Input Adaptor (with Control S) BKM-B12 (Not supplied) has been installed.

The following shows the connection example where the Component Input Adaptor (with Control S) BKM-B12 (Not supplied) has been installed.



Connection Example: The Video Input & Control S Adaptor BKM-B13 (Not supplied) has been installed.

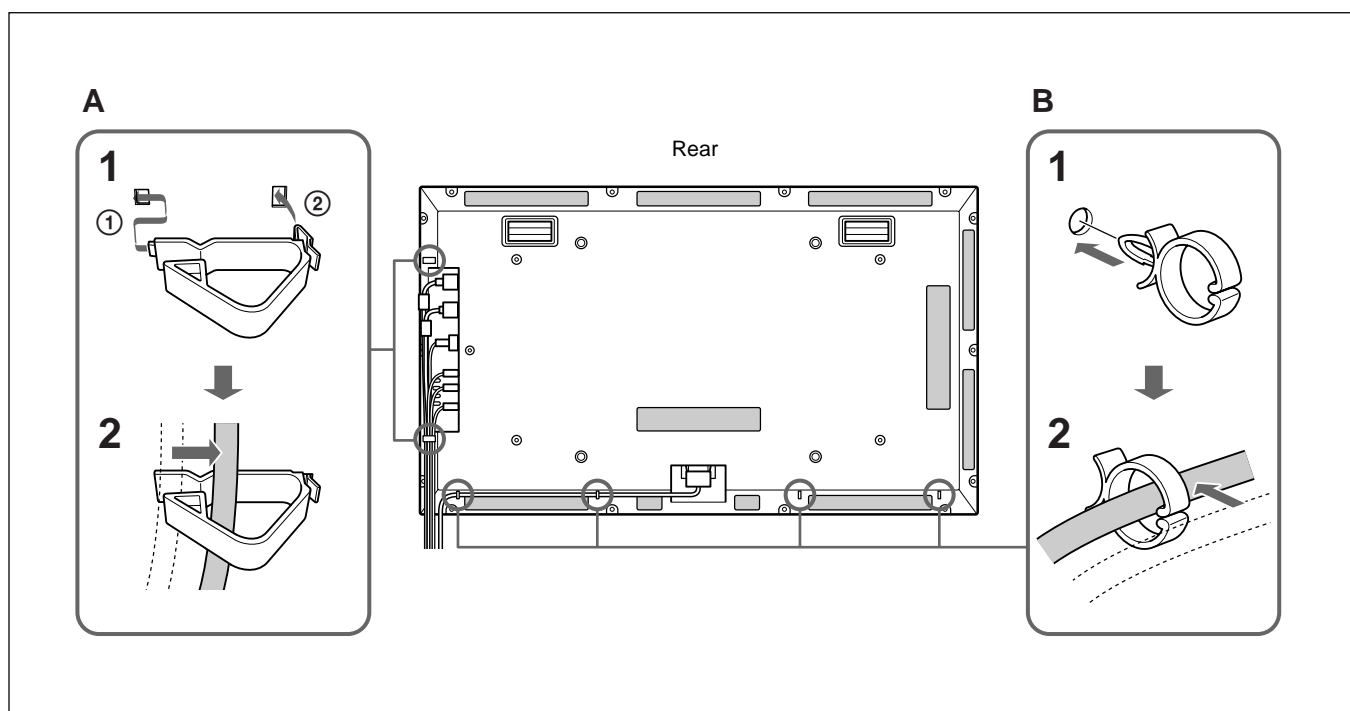
The following shows a connection example where the Video Input & Control S Adaptor BKM-B13 (Not supplied) has been installed.



For a connection example of the BKM-B30NW network adaptor (Not supplied), see the BKM-B30NW instruction manual.

Using the cable holders

You can fasten the connecting cables and AC power cord with the cable holders A (×2) and B (×4). Attach the cable holders A and B as the illustration below.

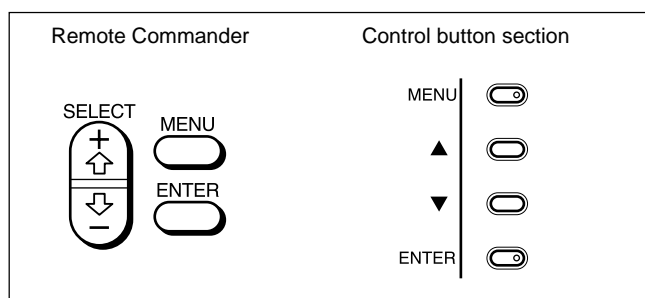


Using On-screen Menus

Operating Through Menus

Menu operating buttons

Use the buttons on the display unit or the Remote Commander for menu operations.

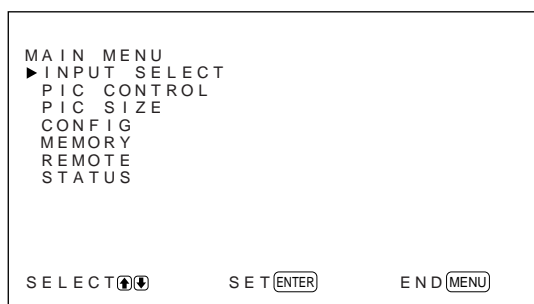


The buttons on the control button section are used for purposes of explanation in this operating instructions. The SELECT +**▲**/**▼** button on the Remote Commander has the same functions as the **▲**/**▼** buttons on the control button section.

Configuration of the menu

To select the language used in the menu, see page 36 (GB).

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press **▲**/**▼** to move the cursor (**▶**) and press ENTER to select a menu.
The selected menu appears on the display panel.
- 3 Press **▲**/**▼** to move the cursor (**▶**) and press ENTER to select an item.
The menu for the selected item appears on the display panel.

- 4 Press **▲**/**▼** to adjust or select the setting and press ENTER to set.
The setting is registered and the menu returns to the previous menu.

To return to the normal screen, press the MENU button repeatedly until the menu disappears.

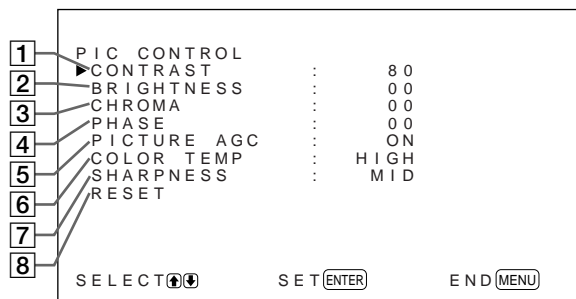
Menu Guide

Note

“— — — —” appears next to an item when its function is not available. The availability depends on the types of input signal.

PIC CONTROL menu

This menu is used for adjusting the picture.



- 1 **CONTRAST**
Press **▲** to increase the contrast and press **▼** to decrease it.
- 2 **BRIGHTNESS**
Press **▲** to make the picture brighter and press **▼** to make it darker.
- 3 **CHROMA**
Press **▲** to increase color saturation and press **▼** to decrease it.
- 4 **PHASE**
Press **▲** to make the overall picture greenish and press **▼** to make it purplish.
- 5 **PICTURE AGC**
Select ON to automatically increase the brightness when a low brightness signal is input.
This function works only for VIDEO input or 15 kHz YUV input.

6 COLOR TEMP

Changes the color temperature.

For details, see “COLOR TEMP” on page 28 (GB).

7 SHARPNESS

Changes the outline correction level using the following three levels (HIGH, MID or LOW).

For details, see “SHARPNESS” on page 29 (GB).

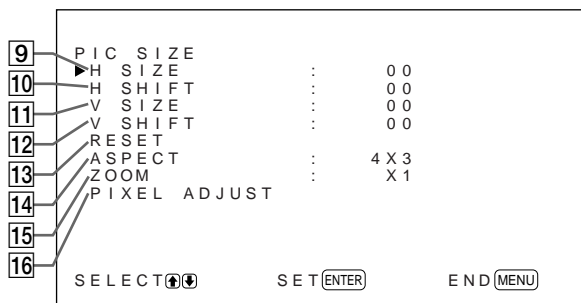
8 RESET

Restores the factory settings in the PIC CONTROL menu items **1** to **7**.

For details on using the reset function, see “Restoring the PIC CONTROL Menu Items to Their Original Settings” on page 29 (GB).

PIC SIZE menu

This menu is used for resizing and positioning the picture.

**9 H SIZE**

Adjusts the horizontal picture size. Press ▲ to enlarge the horizontal size and press ▼ to diminish it.

10 H SHIFT

Adjusts the horizontal centering. Press ▲ to move the picture to the right and press ▼ to move it to the left.

11 V SIZE

Adjusts the vertical picture size. Press ▲ to enlarge the vertical size and press ▼ to diminish it.

12 V SHIFT

Adjusts the vertical centering. Press ▲ to move the picture up and press ▼ to move it down.

13 RESET

Restores the factory settings in PIC SIZE menu items **9** to **12**.

For details on using the reset function, see “Restoring the Original Picture Size and Position” on page 31 (GB).

14 ASPECT

Changes the aspect ratio of the picture.

For details, see “Changing the Aspect Ratio” on page 32 (GB).

15 ZOOM

Enlarges the image (in order) to double (×2), triple (×3) and quadruple (×4).

Note

When you set ASPECT to W ZOOM or LB ZOOM, “— — —” appears and you cannot set ZOOM to ×2, ×3 or ×4.

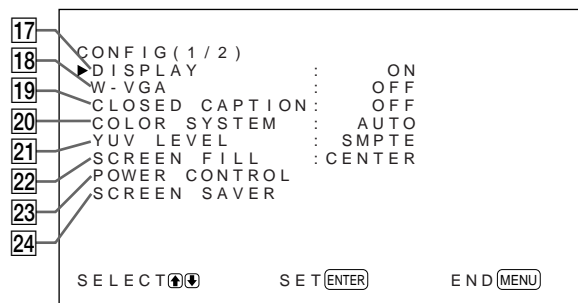
16 PIXEL ADJUST

Adjusts the dot phase and the total number of horizontal pixels when you see noise on the edges of the characters and the vertical lines.

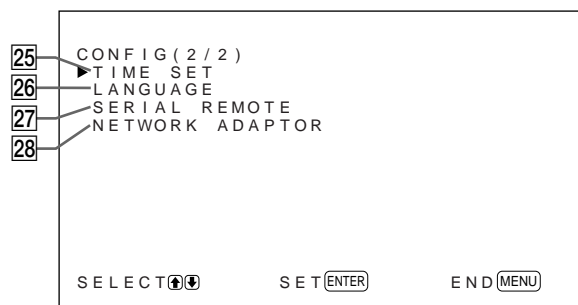
For details, see “Adjusting the Pixels” on page 33 (GB).

CONFIG menu

This menu is used for adjusting the signal or selecting the language. This menu consists of two pages; CONFIG (1/2), CONFIG (2/2). To toggle between pages, press the ▲ / ▼ buttons repeatedly until the other page appears.



PFM-42B1/42B1E: “YUV LEVEL” is not displayed.



PFM-42B1/42B1E: “SERIAL REMOTE” is not displayed. If you have installed the Network Adaptor (BKM-B30NW), the “NETWORK ADAPTOR” is added but it does not appear in the PFM-42B1/42B1E.

[17] DISPLAY

Select ON to display the input signal information for about five seconds at the top of the display panel when the power is turned on or when switching the input signal.

[18] W-VGA

Select ON to input the W-VGA (852×480) signal. When you set this item to ON, the VGA input signal is determined to be 852 × 480. Otherwise, the VGA input signal is determined to be 640 × 480.

[19] CLOSED CAPTION

Displays closed captions.

For details, see “Displaying closed captions” on page 25 (GB).

[20] COLOR SYSTEM

Selects the input signal.

AUTO: to display NTSC, PAL or SECAM signals

443NT: to display NTSC4.43 signals

PAL60: to display PAL60 signals

PAL-M: to display PAL-M signals

[21] YUV LEVEL (PFM-42B2/42B2E only)

Select the component signal level.

SMPTE: SMPTE level signal

BETA: BETACAM level signal

[22] SCREEN FILL

Selects the point of origin for resizing the picture.

CENTER: Sets the point of origin at the center of the display panel.

CORNER: Sets the point of origin at the upper-left corner of the display panel.

[23] POWER CONTROL

Sets the length of time until the system goes into the power saving mode.

For details, see “Controlling Power On/Off Automatically (Power Control Function)” on page 39 (GB).

[24] SCREEN SAVER

Enables a screen saver to reduce afterimage or ghosting.

For details, see “Reducing Afterimage/Ghosting (Screen Saver Function)” on page 37 (GB).

[25] TIME SET

Sets the time.

For details, see “Adjusting the time” on page 25 (GB).

[26] LANGUAGE

Selects the on-screen language (English, German, French, Italian, Spanish or Japanese).

For details, see “Selecting the On-screen Language” on page 36 (GB).

[27] SERIAL REMOTE (PFM-42B2/42B2E only)

Setting the Serial Remote.

For details, see “Setting the SERIAL REMOTE” on page 43 (GB).

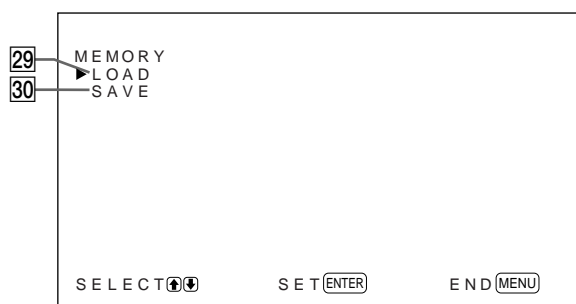
[28] NETWORK ADAPTOR (PFM-42B2/42B2E only)

Setting the Network Adaptor.

For details, see “Setting the NETWORK ADAPTOR” on page 44 (GB).

MEMORY menu

This menu is used for saving or recalling the settings in the PIC CONTROL and PIC SIZE menus.



For details, see “Using the Memory Function” on page 34 (GB).

[29] LOAD

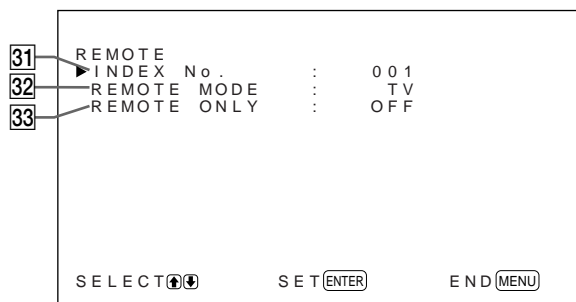
Recalls the preset settings.

[30] SAVE

Saves the settings.

REMOTE menu

This menu is used for remote control settings.

**[31] INDEX No.**

Sets the index number of the display.

Note

When you set the number, use the buttons on the display unit.

For details about the index number, see “Operating a Specific Display With the Remote Commander” on page 45 (GB).

32 REMOTE MODE

Selects the Remote Commander mode.

TV: The Sony display’s or the TV’s commander

PJ: The Sony projector’s commander

OFF: Disables the remote control.


Note

When you change the Remote Commander mode, use the buttons on the display unit. You cannot change the Remote Commander mode with the Remote Commander.

For details, see “Using Other Remote Commander Models” on page 47 (GB).

33 REMOTE ONLY

Select ON to disable the control buttons on the display unit. The display can only be controlled with the Remote Commander.

To cancel the REMOTE ONLY mode, set REMOTE ONLY to OFF with the Remote Commander, or press the MENU button while pressing the  (standby) switch on the display unit. The display turns to the standby mode and the REMOTE ONLY mode is cancelled.

The setting in this item is still retained when the AC power cord is disconnected or when you turn the display on/off with the Remote Commander.

STATUS menu

This menu is used for displaying the internal status of the display unit.

34	STATUS	:	
35	MODEL NAME	:	PFM - 42B2E
36	SERIAL No.	:	2000001
37	OPERATION	:	000001H
38	SOFTWARE	:	Ver 1.00
39	TEMPERATURE	:	OK
	FAN	:	OK

34 MODEL NAME

Indicates the model name.

The description in this section is based on the PFM-42B2E.

35 SERIAL No.

Indicates the serial number.

36 OPERATION

Indicates the total number of hours of operation.

Note

The standby mode is not counted as part of the OPERATION time.

37 SOFTWARE


Indicates the system software version.

38 TEMPERATURE

Indicates whether the internal temperature of the display unit is normal.

OK: Normal

NG: Unusual

When the internal temperature is unusual, NG is displayed and the item flashes in red. The STANDBY indicator on the  (standby) switch / indicator section also flashes.

Note

The “TEMPERATURE NG” message may appear when the ventilation holes are blocked or the display unit is installed in a poorly ventilated location. In this case, check that the ventilation holes are not blocked and install the display unit in a well ventilated location. If the message is still shown, contact your authorized Sony dealer.


When the STANDBY indicator flashes or NG is indicated, see “Self-diagnosis Function” on page 45 (GB).

39 FAN

Cooling fans are built into this display unit. This item indicates whether the cooling fans work properly.

OK: Normal

NG: Unusual

When the cooling fans are not working normally, NG is displayed and the item flashes in red. The STANDBY indicator on the  (standby) switch / indicator section also flashes.

Notes

- When the “FAN NG” message appears, contact your authorized Sony dealer.
When the STANDBY indicator flashes or NG is indicated, see “Self-diagnosis Function” on page 45 (GB).
- The cooling fans detect the display unit’s internal temperature and control the fan rotation. If the ambient temperature is high, the fan speed increases and the fan noise will be louder.

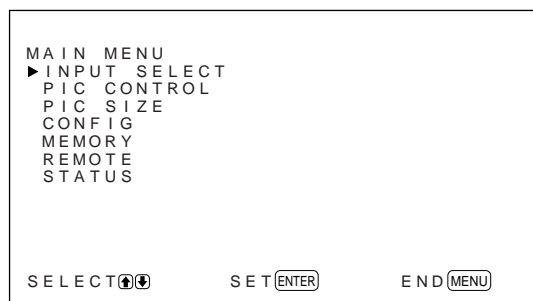
Watching the Picture

Before you start

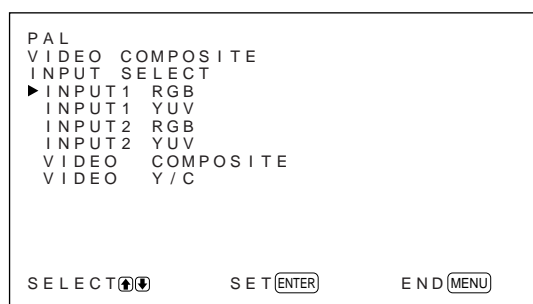
- Turn on the display.
- Turn on the connected equipment and play a video source.
- To display the input signal information on the screen when turning on the power or switching the input signal, set “DISPLAY” in the CONFIG (1/2) menu to ON.
- To select the on-screen language used in the menu, see page 36 (GB).

Switching the Input Signal

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “INPUT SELECT” and press ENTER.
The currently selected input signal and INPUT SELECT menu appear on the display panel.



- 3 Press ▲/▼ to move the cursor (▶) to the input source to be displayed and press ENTER.
 - INPUT1 RGB:** Selects the audio and video signal input from the INPUT1 connectors when the input signal is an RGB signal.
 - INPUT1 YUV:** Selects the audio and video signal input from the INPUT1 connectors when the input signal is a component signal.
 - INPUT2 RGB:** Selects the audio and video signal input from the INPUT2 connectors when the input signal is an RGB signal.

INPUT2 YUV: Selects the audio and video signal input from the INPUT2 connectors when the input signal is a component signal.

VIDEO COMPOSITE: Selects the audio and video signal input from the COMPOSITE IN connector and AUDIO IN jack among the VIDEO connectors.

VIDEO Y/C: Selects the audio and video signal input from the Y/C IN connector and AUDIO IN jack among the VIDEO connectors.

(For the PFM-42B1E/42B2E, VIDEO COMPOSITE and VIDEO Y/C only appear when the BKM-B10 video input adaptor or BKM-B13 video input & control S adaptor (not supplied) is installed.)

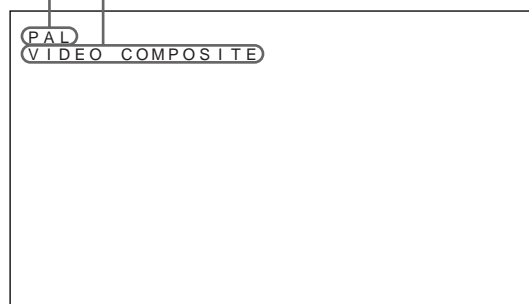
INPUT3 RGB: Selects the input signal (RGB signal) from the device connected to the INPUT 3 connector. (Only when the BKM-B12 component adaptor is installed.)

INPUT3 YUV: Selects the input signal (Component signal) from the device connected to the INPUT3 connector. (Only when the BKM-B12 component adaptor is installed.)

INPUT3 PC: Selects the signal from the BKM-B30NW network adaptor installed in the VIDEO connector unit. (Only when the BKM-B30NW network adaptor is installed.)

The selected input signal appears on the display panel.

Color system or horizontal/vertical frequency
Signal type



You can also switch the input signal using the Remote Commander.

Note

We recommend input source video equipment equipped with a TBC (time base corrector). If the display receives a signal without TBC, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.

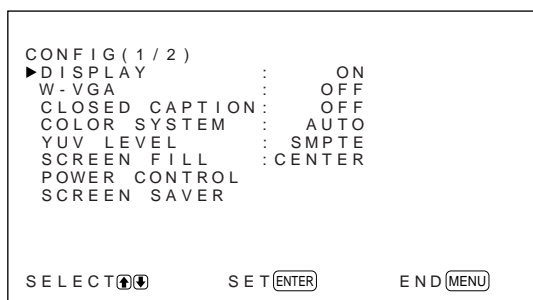
Switching the Display Mode

Displaying closed captions

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CLOSED CAPTION” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

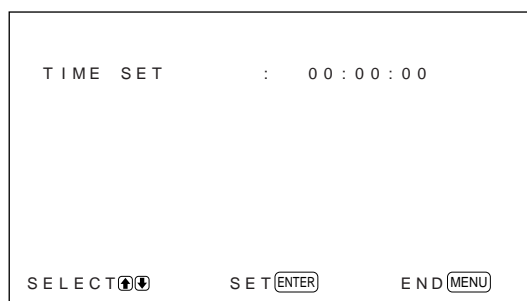


- 4 Select the caption type with ▲ / ▼.
OFF: The caption is not displayed.
CAPT1: Displays caption1 over the picture.
CAPT2: Displays caption2 over the picture.
TEXT1: Displays caption1 against a black background.
TEXT2: Displays caption2 against a black background.

- 5 Press MENU.
The menu returns to the CONFIG (1/2) menu.

Adjusting the time

- 1 In the CONFIG (2/2) menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “TIME SET” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Press ENTER.
The background of the hour is displayed in cyan.
- 3 Adjust the hour with ▲ / ▼ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in cyan.
- 4 Similarly, adjust the minute and press ENTER.
The setting for the minute is entered and the second is reset to 00.

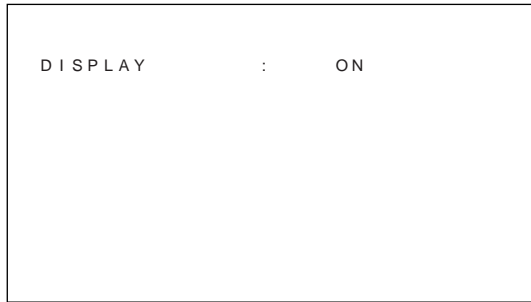
To display the time

Press the DISPLAY button on the Remote Commander. The time is shown in the upper-right corner of the display.

Input Signal and Display Status Information

Input signal and display status information appears on the display panel for about five seconds when the power is turned on or when switching the input signal. To disable this function, follow the steps below.

- 1 In the CONFIG (1/2) menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “DISPLAY” and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to set DISPLAY to OFF and press ENTER. The DISPLAY function is disabled.

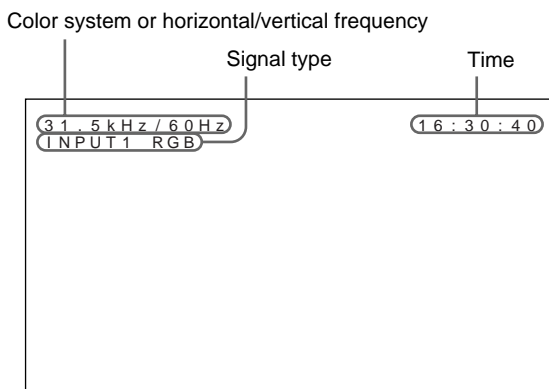
To display the information

Set DISPLAY to ON in step 2 above. The factory default is ON.

Note

You can display the input signal information and the time anytime by pressing the DISPLAY button on the Remote Commander, regardless of the above setting. The display lasts until you press the DISPLAY button again to hide it.

The input signal information list



Preset input signals			
	Signal name	Color system or horizontal/ vertical frequency	
Computer signals			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5kHz	70.1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37.9kHz	85.1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31.5kHz	59.9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35.0kHz	66.7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37.9kHz	72.8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37.5kHz	75.0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43.3kHz	85.0Hz
9	852×480@60Hz (I-O DATA) ^{d)}	31.7kHz	60.0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31.5kHz	70.1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35.2kHz	56.3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37.9kHz	60.3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48.1kHz	72.2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46.9kHz	75.0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53.7kHz	85.1Hz
17	Mac 16"	49.7kHz	74.6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48.4kHz	60.0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56.5kHz	70.1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60.0kHz	75.0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68.7kHz	85.0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67.5kHz	75.0Hz
23	Mac 21"	68.7kHz	75.1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60.0kHz	60.0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85.9kHz	85.0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64.0kHz	60.0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80.0kHz	75.0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91.1kHz	85.0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75.0kHz	60.0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30.2kHz	60.0Hz
31	856×480@59.6Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	59.6Hz
32	856×480@60.1Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	60.1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.
d) This item is only available when you use a graphic accelerator board manufactured by I-O DATA DEVICE, INC.
e) This item is only available when you use a graphics card manufactured by Matrox Graphics Inc.

Notes

- When inputting an HDTV signal, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of the INPUT1 or INPUT2 (D-sub 15-pin) connector.
- When inputting a computer signal at the resolution shown in item No. 29, set H SIZE, H SHIFT, V SIZE and V SHIFT to the standard (00) and set ZOOM to ×1 in the PIC SIZE menu, or the picture might oscillate.
- If the image color is too light after inputting the DVD signal in the PFM-42B1/42B1E, adjust the color in the "CHROMA" setting in the PIC CONTROL menu.
In the PFM-42B2/42B2E, select "SMPTE" in YUV LEVEL in the CONFIG menu.
- For 480/60p, input it using a YUV signal. If you input an RGB signal, the system will determine the frequency to be a VGA signal, it will display at 31.5kHz/59.9Hz, the screen phase will be off, and compared to YUV input, the resolution will be reduced. To address problems with screen phase, use the H SHIFT and V SHIFT items on the Signal Adjustment menu, or use the H SHIFT, V SHIFT and SELECT buttons on the RM-42B Remote Commander to make the necessary adjustments.
- When inputting a DTV signal (No.7 to No.14), input it using a YUV signal.

Actual on-screen display of the unit's status

On-screen display	Significance
31.5kHz / 59.9Hz (e.g.)	The selected input signal is computer RGB.
480 / 60I (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
OTHERS	The input signal is out of the capture range.
NO SYNC	There is no input signal.
INPUT1 RGB	The signal mode of INPUT1 is set to RGB.
INPUT1 YUV	The signal mode of INPUT1 is set to component video.
VIDEO COMPOSITE	Composite video input is selected for VIDEO.
VIDEO Y/C	Y/C video input is selected for VIDEO.

Adjusting the Picture

While watching the picture, you can adjust contrast, brightness, chroma, phase, and so on, to suit your taste. The adjustments can be carried out for each input signal separately. You can also store the adjusted levels in memory.

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.

Press MENU so that the main menu appears on the display panel and select "CONTRAST", "BRIGHTNESS", "CHROMA", "PHASE", "PICTURE AGC", "COLOR TEMP" or "SHARPNESS" from the PIC CONTROL menu with ▲ / ▼.

CONTRAST

Select "CONTRAST" with ▲ / ▼ and press ENTER. Adjust the contrast with ▲ / ▼ in the range from MIN (0) to MAX (+100).

- ▲: to increase picture contrast
- ▼: to decrease picture contrast

BRIGHTNESS

Select "BRIGHTNESS" with ▲ / ▼ and press ENTER.

Adjust the brightness with ▲ / ▼ in the range from MIN (–50) to MAX (+50).

- ▲: to make the picture brighter
- ▼: to make the picture darker

CHROMA

Select "CHROMA" with ▲ / ▼ and press ENTER. Adjust the chroma with ▲ / ▼ in the range from MIN (–50) to MAX (+50).

- ▲: to increase color intensity
- ▼: to decrease color intensity

PHASE

Select "PHASE" with ▲ / ▼ and press ENTER. Adjust the phase with ▲ / ▼ in the range from MIN (–50) to MAX (+50).

- ▲: to make the overall picture greenish
- ▼: to make the overall picture purplish

Automatic brightness control — Enhancing the image contrast

If the average brightness of the image is low, the system can automatically raise the contrast level to enhance the brightness. This function works well for displaying dark images.

Select "PICTURE AGC" with ▲ / ▼ and press ENTER. Set PICTURE AGC to ON or OFF with ▲ / ▼.

COLOR TEMP (Color temperature)





You can also set the color temperature. You can select HIGH or LOW, or adjust each gain more precisely. Up to six adjusted color temperatures can be registered. You can rename them (up to six characters in length).

- 1 Select "COLOR TEMP" with ▲ / ▼ and press ENTER.
- 2 Select the color temperature with ▲ / ▼ and press ENTER.
 - HIGH:** to set the color temperature to high
 - LOW:** to set the color temperature to low
 - 1 – 6:** to set the gain more precisely

When you select HIGH or LOW, the menu returns to the PIC CONTROL menu.

When you select "1" to "6"

When you select "1" to "6", the following menu appears on the display panel.

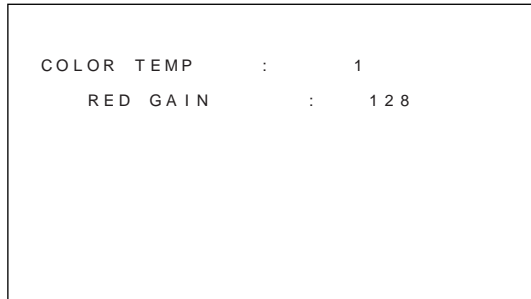
COLOR TEMP	:	1
RED GAIN	:	128
GREEN GAIN	:	128
BLUE GAIN	:	128
NAME SET	:	
SELECT  		
ADJUST 		
END 		

The PFM-42B1/42B1E displays "255" for each gain.

- (1) Select a number to register with ▲ / ▼ and press ENTER.

The cursor (►) appears on the display panel.

- (2) Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to the gain item that you want to set and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- (3) Adjust the gain (0 to 255) with ▲ / ▼ and press MENU.

The menu returns to the COLOR TEMP menu.

The PFM-42B1/42B1E variable range is 10 to 255.

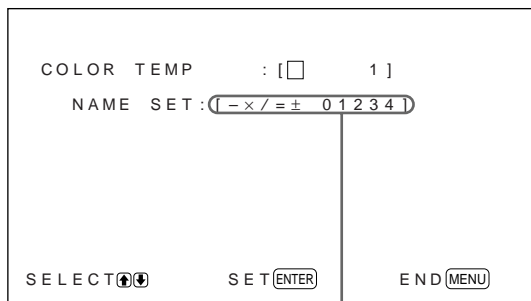
- (4) Repeat steps (2) and (3) to set the other gain items and press MENU.

The menu returns to the COLOR TEMP menu.

When you rename the adjusted color temperature, follow the steps below.

- (5) Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “NAME SET” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



Character list

- (6) Select the character to be changed with ▲ / ▼ and press ENTER. The background of a character in the character list changes to cyan.

- (7) Select a character in the character list with ▲ / ▼ and press ENTER.

The selected character is input.

- (8) Repeat steps (6) and (7) until you finish inputting the name, then press MENU. The menu returns to the COLOR TEMP menu.

SHARPNESS

You can change the outline correction level to one of three levels (HIGH, MID or LOW).

- 1** Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “SHARPNESS” and press ENTER.

- 2** Select the outline correction level with ▲ / ▼ and press ENTER.

HIGH: sharper picture

MID: standard value

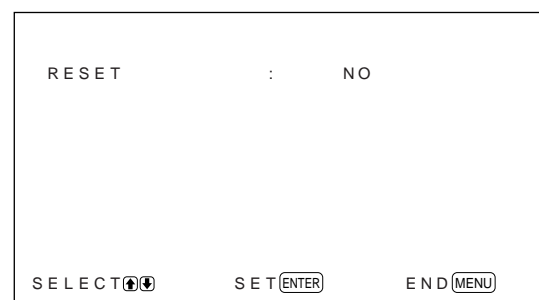
LOW: softer picture

Notes

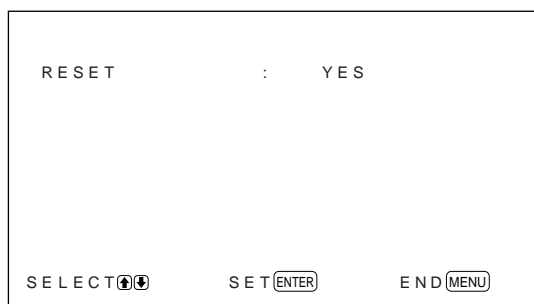
- CHROMA and PHASE controls do not function with an RGB signal.
- PHASE control does not function with a component signal.
- PHASE control does not function with a PAL or SECAM color source.
- Do not change the CHROMA/PHASE (NTSC only) level when the selected signal is black-and-white. Although it has no effect on the current picture, it does affect the picture of color signals such as NTSC or PAL which may be input later.
- While you are adjusting CONTRAST, BRIGHTNESS, CHROMA, or PHASE, the value displayed on the display panel is not synchronized with the change.

Restoring the PIC CONTROL Menu Items to Their Original Settings

- 1** In the PIC CONTROL menu, Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “RESET” and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼.
“NO” changes to “YES”.



- 3** Press ENTER.
The PIC CONTROL menu items are restored.

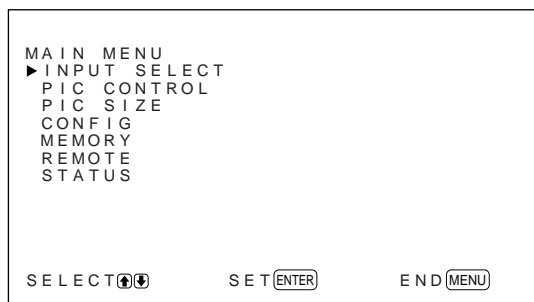
To cancel the reset function
Press MENU before pressing ENTER.

Resizing and Positioning the Picture

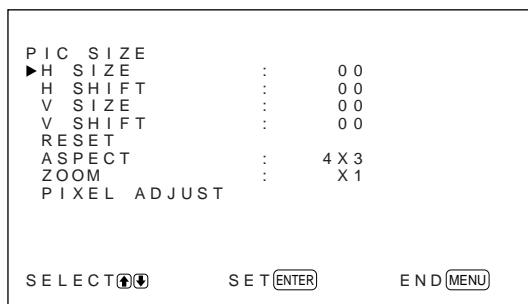
You can shift the position of the picture so that it fits the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.

Resizing the Picture

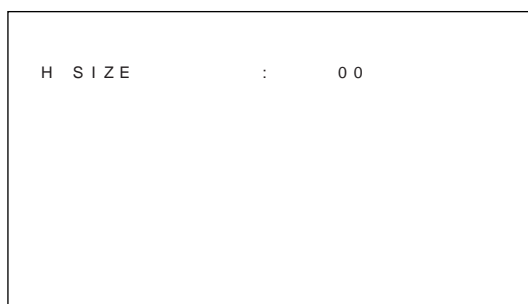
- 1** Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “PIC SIZE” and press ENTER.
The PIC SIZE menu appears on the display panel.

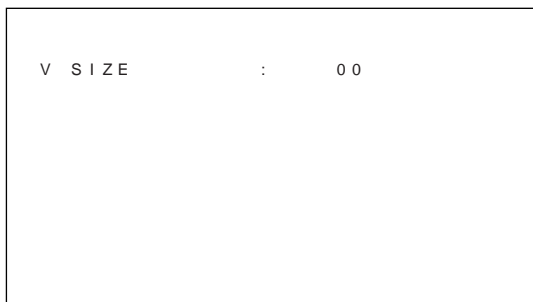


- 3** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “H SIZE” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4** Press ▲ / ▼ to resize the picture.
▲: to increase the horizontal size
▼: to reduce the horizontal size
The horizontal picture size is indicated on the display panel in the range from MIN (–50) to MAX (+50). The factory preset value is 00.
- 5** Press ENTER.
The menu returns to the PIC SIZE menu.

- 6** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “V SIZE” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

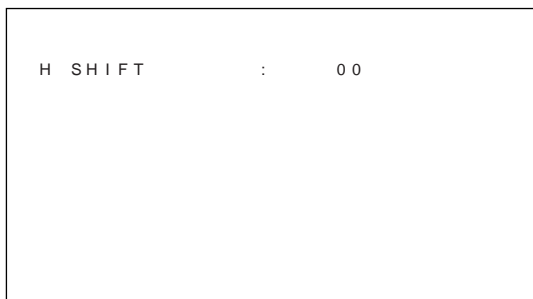


- 7** Press ▲ / ▼ to resize the picture.
▲: to increase the vertical size
▼: to reduce the vertical size
The vertical picture size is indicated on the display panel in the range from MIN (–50) to MAX (+50).
The factory preset value is 00.

- 8** Press ENTER.
The menu returns to the PIC SIZE menu.

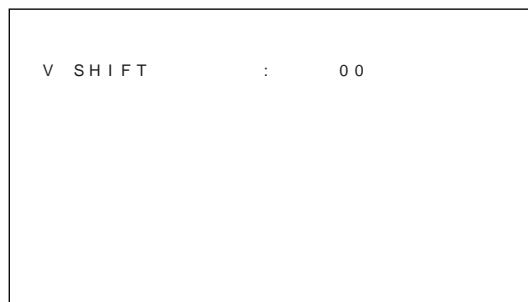
Adjusting the Picture Position

- 1** In the PIC SIZE menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “H SHIFT” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼ to shift the picture.
▲: to shift the picture to the right
▼: to shift the picture to the left
The horizontal picture position is indicated on the display panel in the range from MIN (–50) to MAX (+50). The factory preset value is 00.
- 3** Press ENTER.
The menu returns to the PIC SIZE menu.

- 4** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “V SHIFT” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 5** Press ▲ / ▼ to shift the picture.
▲: to shift the picture upward
▼: to shift the picture downward
The vertical picture position is indicated on the display panel in the range from MIN (–50) to MAX (+50). The factory preset value is 00.

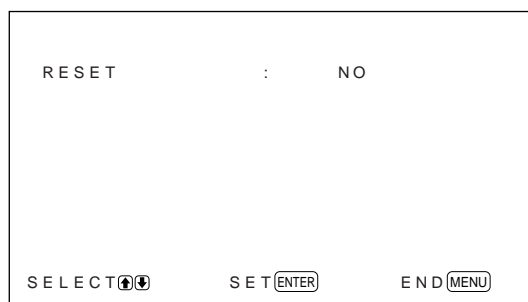
- 6** Press ENTER.
The menu returns to the PIC SIZE menu.

Note

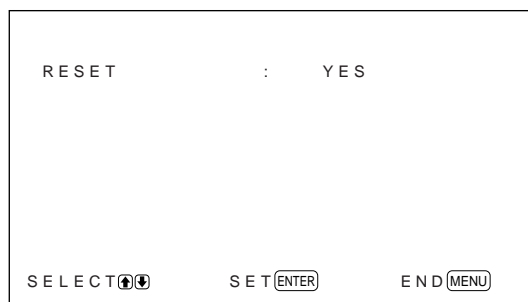
You cannot resize or adjust the position of the picture beyond the adjustable range. The adjustable range varies depending on the types of input signal.

Restoring the Original Picture Size and Position

- 1** In the PIC SIZE menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “RESET” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼.
“NO” changes to “YES”.



3 Press ENTER.

The original picture size and position are restored.

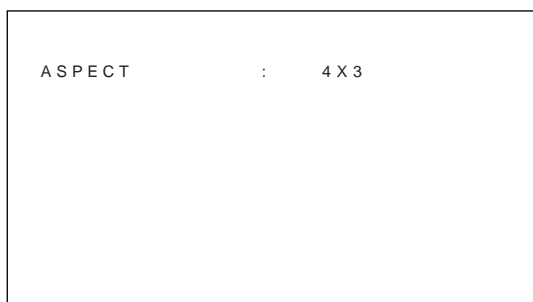
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER.

Changing the Aspect Ratio

This device can display images in various aspect ratios, such as the normal 4:3 TV program ratio, a widescreen image, etc. That means you can choose a suitable aspect ratio to display images.

- 1 In the PIC SIZE menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “ASPECT” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



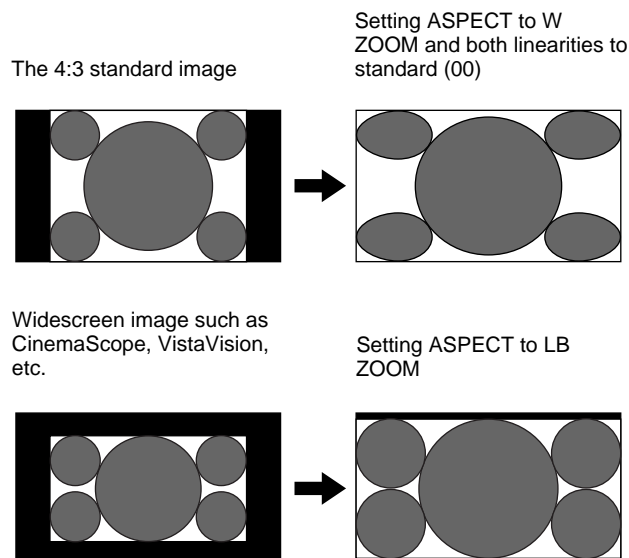
- 2 Select an aspect ratio item with ▲ / ▼ and press ENTER.

4×3: to display a standard 4:3 image

16×9: to display a 16:9 widescreen image

W ZOOM: to enlarge a 4:3 image to a 16:9 screen naturally as illustrated below

LB (letterbox) ZOOM: to enlarge images in various aspect ratios to fit proportionally to the left and right sides of the screen as illustrated below

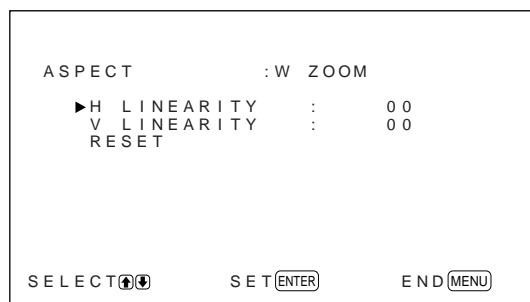
**Notes**

- If you select W ZOOM or LB ZOOM, it is recommended that you set the H SIZE, H SHIFT, V SIZE and V SHIFT to the standard (00). If you change them too much, a W ZOOM or LB ZOOM display may be distorted. Before you select W ZOOM or LB ZOOM, set ZOOM to ×1. If ZOOM is set to ×2, ×3 or ×4, W ZOOM or LB ZOOM cannot be selected.
- Black bands may display at the top and bottom of the screen depending on the input signal type.

Adjusting the Linearities

When you select W ZOOM for ASPECT, you can change the linearities by adjusting the H LINEARITY and V LINEARITY settings.

- 1 In the ASPECT menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “W ZOOM” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

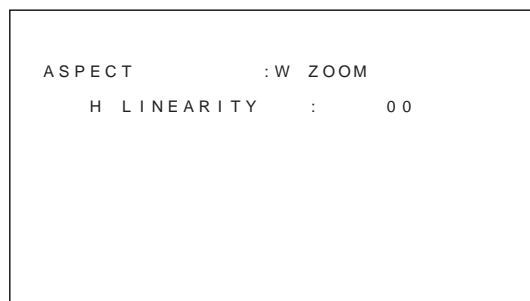


- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “H LINEARITY” or “V LINEARITY” and press ENTER.

H LINEARITY: to change the linearity in the horizontal direction

V LINEARITY: to change the linearity in the vertical direction

The following menu appears on the display panel. (The illustration below is for selecting H LINEARITY.)



3 Adjust the linearity with ▲ / ▼.

To restore wide zoom mode items to their original settings

In the ASPECT menu, select W ZOOM and press ENTER. Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “RESET” and press ENTER. Then select YES with ▲ / ▼ and press ENTER.

Note

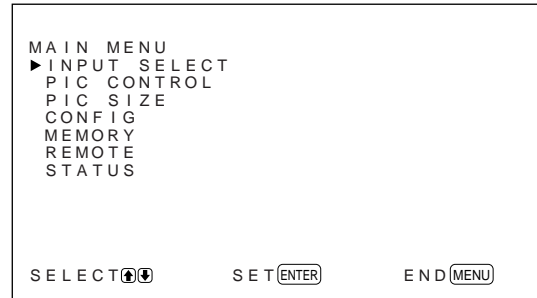
While you are adjusting H SIZE, H SHIFT, V SIZE, V SHIFT, H LINEARITY or V LINEARITY, the value displayed on the display panel is not synchronized with the change.

Adjusting the Pixels

If there is too much noise on the edges of the characters or the vertical lines, you can adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels.

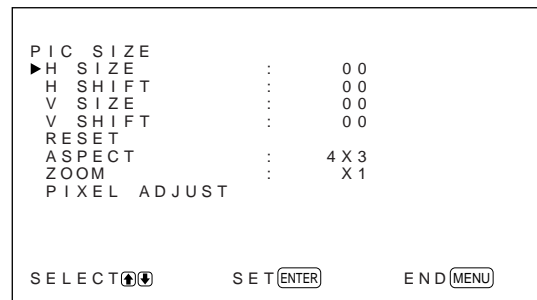
1 Press MENU.

The main menu appears on the display panel.



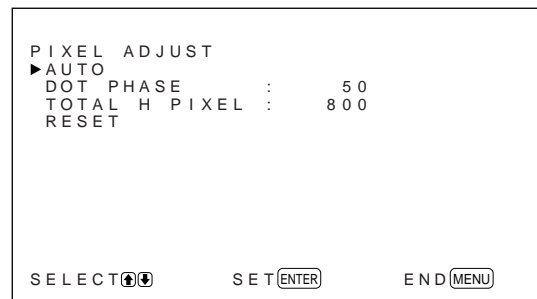
2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “PIC SIZE” and press ENTER.

The PIC SIZE menu appears on the display panel.



3 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “PIXEL ADJUST” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



- 4** You can adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels automatically or manually.

Adjusting automatically

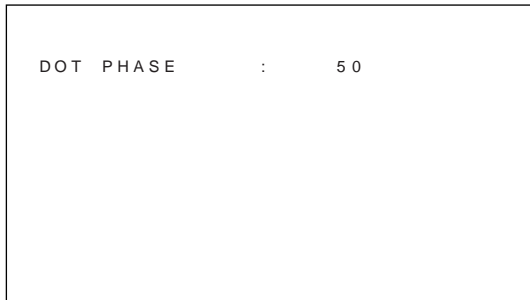
- (1) Select AUTO with ▲ / ▼ and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- (2) Select YES with ▲ / ▼ and press ENTER.
The dot phase and the total number of horizontal pixels are adjusted automatically.

Adjusting manually

- (1) Select DOT PHASE or TOTAL H PIXEL with ▲ / ▼ and press ENTER.
The following menu appears on the display panel. (The illustration below is for selecting DOT PHASE.)



- (2) Adjust the dot phase or the total number of horizontal pixels with ▲ / ▼ and press ENTER.

To restore PIXEL ADJUST menu items to their original settings

In the PIXEL ADJUST menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “RESET” and press ENTER. Then select YES with ▲ / ▼ and press ENTER.

Notes

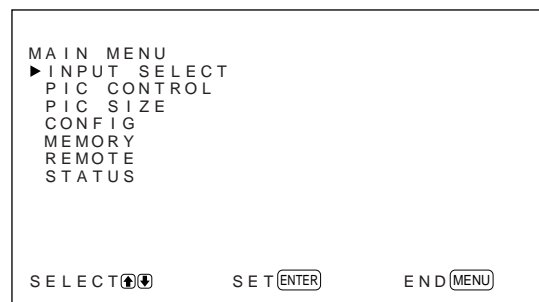
- Dot phase adjustment is effective for computer signals (except for UXGA and above).
- When noise can't be eliminated using Adjusting automatically, make fine Adjusting manually.
- A cross-hatch pattern is convenient for use as the input signal when adjusting the dot phase.
- While you are adjusting PIXEL ADJUST, the value displayed on the display panel is not synchronized with the change.

Using the Memory Function

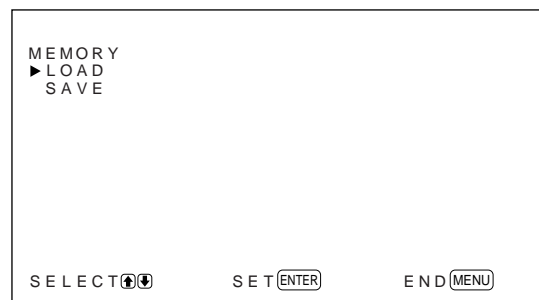
You can save the current picture setting for each input signal using the MEMORY function. The saved settings can be restored whenever necessary. The items in the PIC CONTROL and PIC SIZE menus can be memorized. You can save the picture settings of up to twenty input signals. You can name the settings of the items (up to 10 characters in length).

Storing the Current Setting

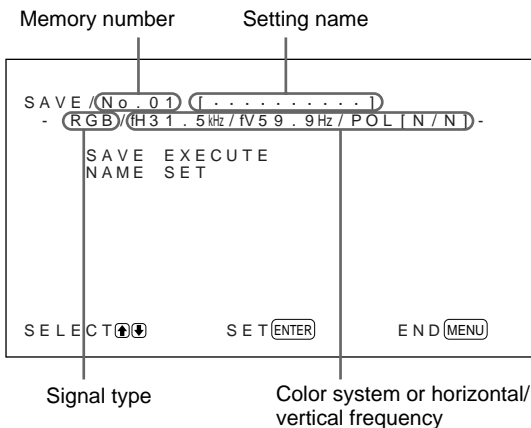
- 1** Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “MEMORY” and press ENTER.
The MEMORY menu appears on the display panel.



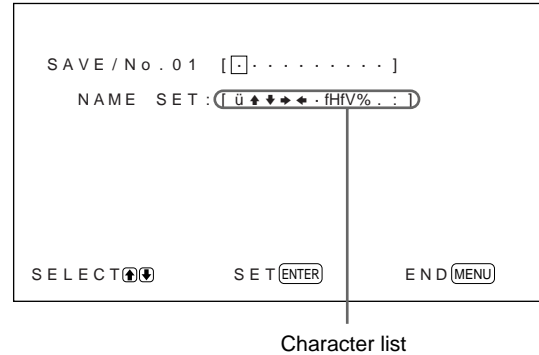
- 3** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “SAVE” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



If there is no data in the selected memory number, the “-- EMPTY --” message appears on the display panel in cyan. The signal type and the color system or horizontal/vertical frequency are displayed in cyan (showing that the signal type of the selected memory number is the same as that of the current setting) or in yellow (showing that the signal type of the selected memory number is not the same as that of the current setting).

- 4** Select a memory number (01 to 20) with ▲ / ▼ and press ENTER.
The cursor (▶) appears on the display panel.
- 5** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “SAVE EXECUTE” and press ENTER.
The current data is stored under the selected memory number. The “SAVE COMPLETED” message appears and flashes for about five seconds.
When you name the setting, follow the steps below.

- 6** Press ENTER, then press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “NAME SET” and press ENTER again.
The following menu appears on the display panel.



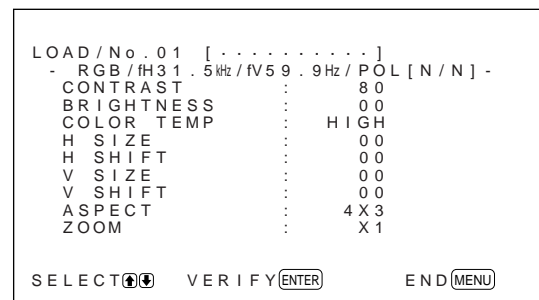
- 7** Select the character to be changed with ▲ / ▼ and press ENTER.
The background of a character in the character list changes to cyan.
- 8** Select a character in the character list with ▲ / ▼ and press ENTER.
The selected character is input.
- 9** Repeat steps **7** and **8** until you finish inputting the name, then press MENU.
The menu returns to the SAVE menu.

Note

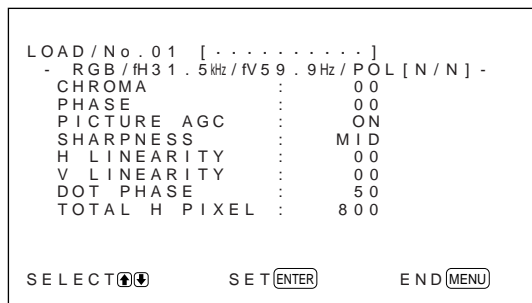
If the storing of the setting fails, the “SAVE ERROR” message appears on the display panel. Try to store the setting again.

Calling Up a Stored Setting

- 1** In the MEMORY menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “LOAD” and press ENTER.
The first page of the stored settings appears on the display panel.



- 2** Select a memory number (01 to 20) with ▲ / ▼ and press ENTER.
The second page of the stored settings appears on the display panel.



The signal type and the color system or horizontal/vertical frequency are displayed in cyan (showing that the signal type of the selected memory number is the same as that of the current setting and you can call up the stored setting) or in red (showing that the signal type of the selected memory number is not the same as that of the current setting and you cannot call up the stored setting).

- 3** Press ENTER.
The “LOAD COMPLETED” message appears and flashes for about five seconds and the picture is adjusted to the selected setting.

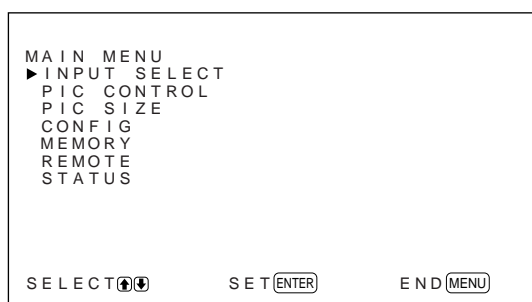
Note

If the loading fails, the “LOAD ERROR” message appears on the display panel. Try to load the setting again.

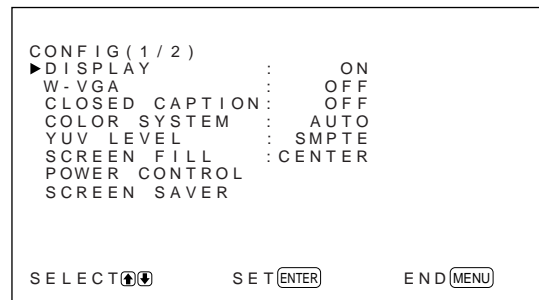
Selecting the On-screen Language

You can select the on-screen language from among English, German, French, Italian, Spanish or Japanese.

- 1** Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “LANGUAGE” on the CONFIG (2/2) menu and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to the desired language and press ENTER.
The on-screen language is switched to the one you selected.

ENGLISH: English
DEUTSCH: German
FRANÇAIS: French
ITALIANO: Italian
ESPAÑOL: Spanish
日本語: Japanese

- 5** Press MENU.
The menu returns to the CONFIG (2/2) menu.

Reducing Afterimage/ Ghosting (Screen Saver Function)

If an image like a computer screen or a still picture, the brightness of which does not change, is displayed for a long time, this image may be burnt into the panel or may leave a ghosting image behind. To avoid this, or to attempt to fix it, a screen saver function has been provided with this unit. The screen saver function has two screen savers. One screen saver reverses the image (PIC INVERSION) while the other automatically changes the position of the image displayed (PIC ORBITING).

Situations which can result in burn-in and picture retention

1 Black bars at the top and bottom that appear with wide video source (Letter box picture), **2** Black bars to the left and right that appear with 4:3 video source (conventional TV broadcast), **3** Video game sources, **4** DVD on-screen menu displays, **5** On-screen menus, channel numbers, etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc.

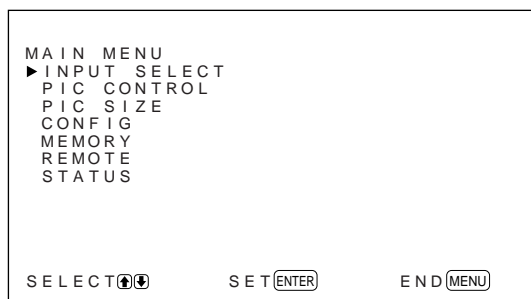
Note

The followings are alternative procedures for reducing burn-in and afterimage.

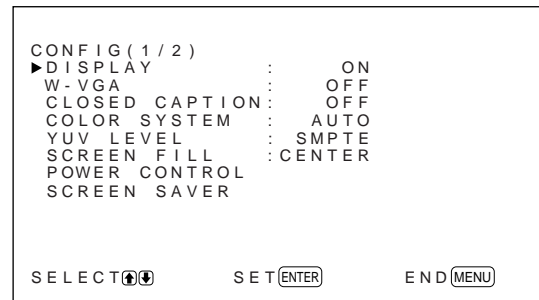
- Avoid displaying channel numbers, on-screen menus etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc. To erase channel numbers, on-screen menus, refer to the user manual of connected equipment.
- Reduce brightness of the picture and/or display video source in Wide Zoom or Full Mode.

Reversing the Image

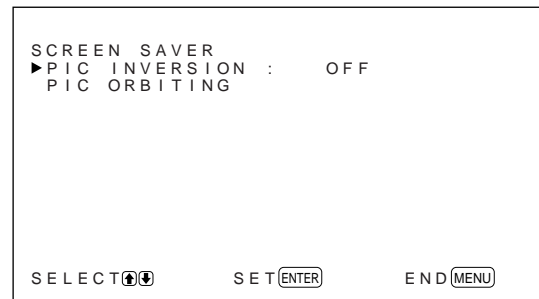
- 1** Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



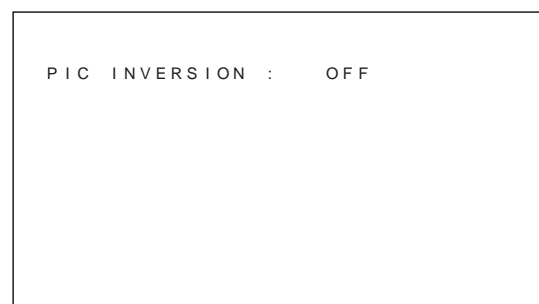
- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “SCREEN SAVER” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

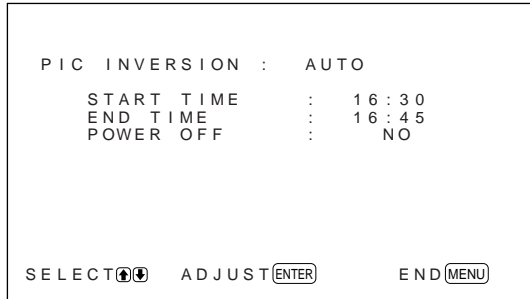


- 4** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “PIC INVERSION” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 5** Select the PIC INVERSION mode with ▲ / ▼.
OFF: to set the PIC INVERSION to OFF
ON: to set the PIC INVERSION to ON
AUTO: Carry out the PIC INVERSION process once a day.

When you select AUTO, the following menu appears.



- (1) Press ENTER.

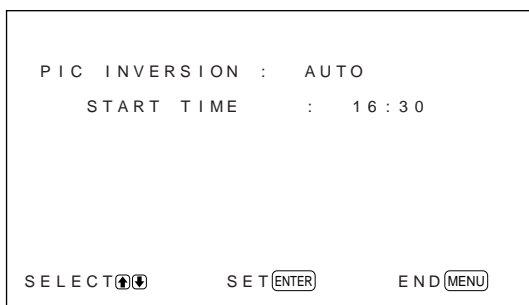
The cursor (▶) appears on the display panel.

Notes on “PIC INVERSION (Picture Inversion)” of “SCREEN SAVER”

If the displayed image appears as an image like a film negative, “PIC INVERSION (Picture Inversion)” of “SCREEN SAVER” may be set to “AUTO,” or “ON.” To return to a normal image, select “OFF” or reset the specified time in “AUTO.”

PIC INVERSION (Picture Inversion) inverts the tint of the picture (Example: white to black, black to white) and corrects the image retention (afterimage) with displayed image on. The image looks like a film negative during picture inversion. This is not a malfunction.

- (2) Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “START TIME” and press ENTER.
The following menu appears and the background of the hour is displayed in cyan.

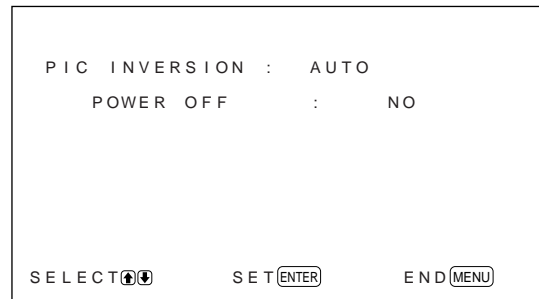


- (3) Set the hour when the image is to be reversed with ▲ / ▼ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in cyan.
- (4) Set the minute with ▲ / ▼ and press MENU.
The setting for the minute is entered and the menu returns to the PIC INVERSION menu.

- (5) Similarly, set the time when the PIC INVERSION function is to be cancelled.
The display image will be reversed at the START TIME and will return to the original display image at the END TIME. This cycle is carried out automatically once a day.

To set the change to the standby mode at the END TIME

- 1 After selecting AUTO for PIC INVERSION mode, select POWER OFF and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Select YES with ▲ / ▼ and press MENU.
The display changes to standby mode at the designated END TIME.

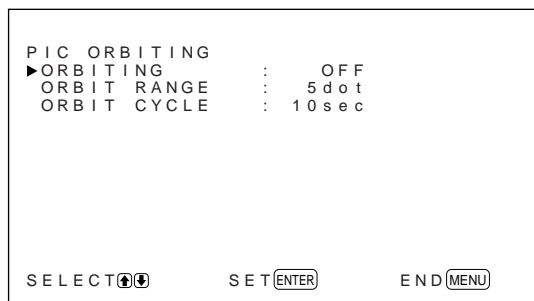
Notes

- The power off function, power saving function and on/off timer function in the POWER CONTROL menu cannot be used simultaneously. When one of those functions is set to ON (YES), “— — —” appears next to the others and their functions are not available.
- If you set START TIME and END TIME to the same time, the setting of START TIME takes priority over that of END TIME. The display image does not return to the original image at the END TIME.
- If you set START TIME of PIC INVERSION and ON TIME of ON/OFF TIMER to the same time, PIC INVERSION will not be activated when the power automatically turns on.

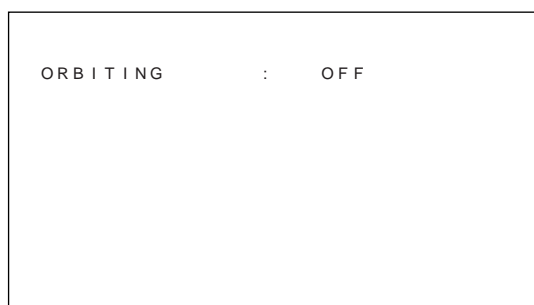
Changing the Image Position Automatically

- 1 In the SCREEN SAVER menu, press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “PIC ORBITING” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.

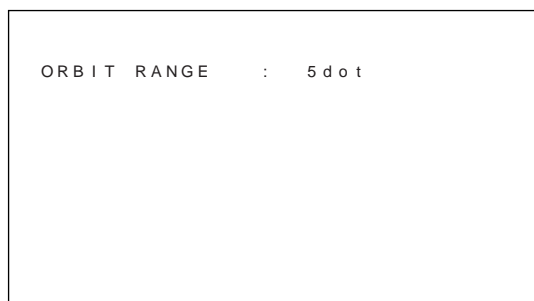


- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “ORBITING” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 3** Select the ORBITING mode with ▲ / ▼.
OFF: Cancel the PIC ORBITING function.
ON: Set the PIC ORBITING function.
- 4** Press MENU.
The menu returns to the PIC ORBITING menu.
- 5** Select ORBIT RANGE (moving distance) or ORBIT CYCLE (time) with ▲ / ▼ and press ENTER.
The following values can be selected:
ORBIT RANGE: 5dot, 10dot, 15dot, 20dot
ORBIT CYCLE: 10sec, 30sec, 1min, 5min

The following menu appears on the display panel.
(The illustration below is for selecting ORBIT RANGE.)



- 6** Adjust the ORBIT RANGE or ORBIT CYCLE with ▲ / ▼ and press MENU.

When both PIC INVERSION and PIC ORBITING are set to ON

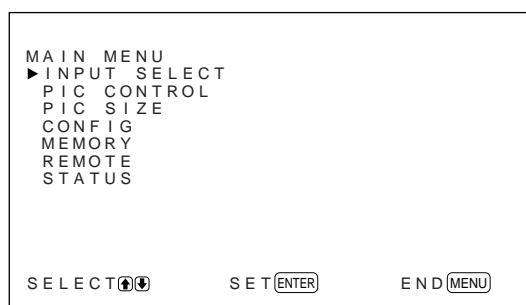
If the PIC ORBITING function is actuated while the picture is reversed, the reversed picture is displayed changing position.

Controlling Power On/Off Automatically (Power Control Function)

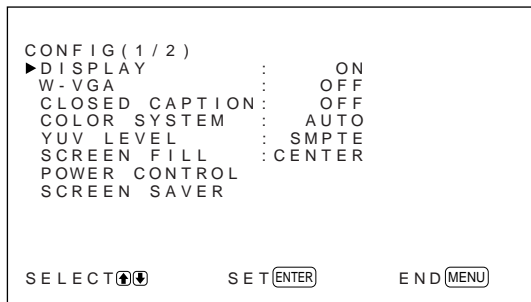
This display has two power controlling functions. You can set one to turn off the power automatically after a certain period if there is no input signal from the INPUT1 or INPUT2 connectors (POWER SAVING function). You can set the time when the power automatically turns on/off (ON/OFF TIMER function). The PFM-42B2/42B2E has ON TIMER and OFF TIMER functions for which you can individually set the power on/off times.

Energy Saving Function (PFM-42B2/42B2E only)

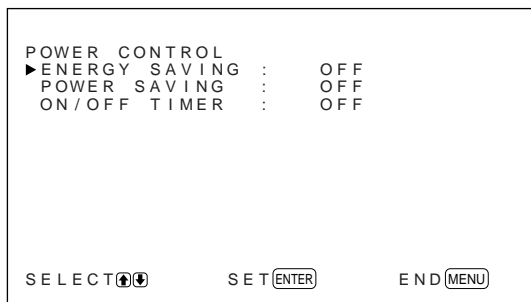
- 1** Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (►) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3** Press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “POWER CONTROL” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4** Press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “ENERGY SAVING” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

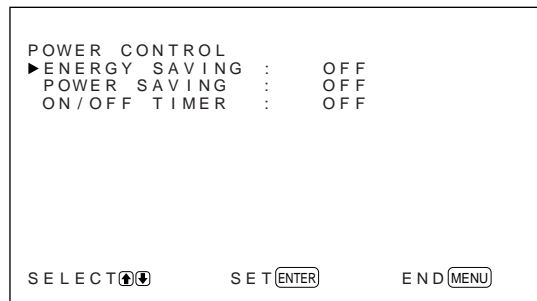


- 5** Press ▲/▼ to select the ENERGY SAVING mode ON/OFF.
OFF: No energy saving
ON: Energy saving
By enabling the ENERGY SAVING (ON), the screen brightness is reduced and you can view the display unit while saving energy.

Power Saving Function

- 1** In the CONFIG (1/2) menu, press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “POWER CONTROL” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



PFM-42B1/42B1E: “ENERGY SAVING” is not displayed.

- 2** Press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “POWER SAVING” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 3** Press ▲/▼ to select the length of time until the change to power saving mode.
OFF: The power saving function does not work.
5min: Changes to the power saving mode after five minutes if there is no input signal.
10min: Changes to the power saving mode after 10 minutes if there is no input signal.

The ON indicator flashes when the unit is in the power saving mode.

To cancel the power saving function

- Input the sync signal again.
- Press the ⏻ (standby) switch on the ⏻ (standby) switch / indicator section or the POWER ON switch on the Remote Commander.

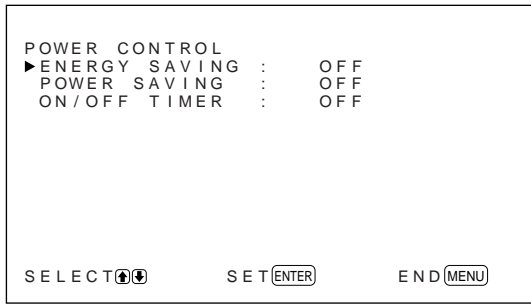
Signal specification for using the power saving function

The sync signal should be the RGB signal input to the 13th pin of the RGB/YUV (D-sub 15-pin) connector in the INPUT 1 or INPUT 2 connectors.

On/Off Timer Function

- 1** In the CONFIG (1/2) menu, press ▲/▼ to move the cursor (▶) to “POWER CONTROL” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.

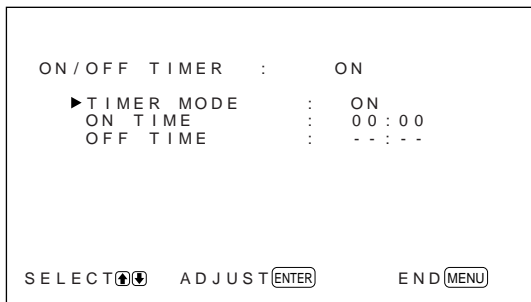


PFM-42B1/42B1E: "ENERGY SAVING" is not displayed.

- 2** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to "ON/OFF TIMER" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 3** Select ON with ▲ / ▼ and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

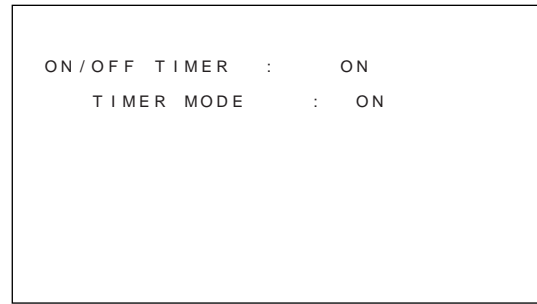


Note

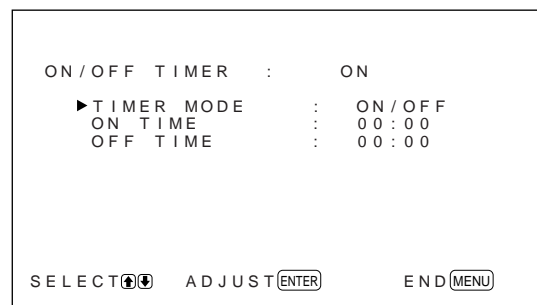
The screen being displayed may differ depending on the timer mode previously set. The steps described here assume that the last timer mode has been set to ON. The factory default is ON/OFF.

- 4** Press ENTER again on this screen to select the timer mode.

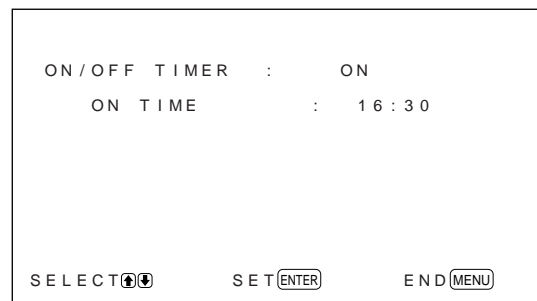
The following menu appears on the display panel.



- 5** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to "ON/OFF" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 6** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to "ON TIME" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.
The area behind the hour is displayed in cyan.



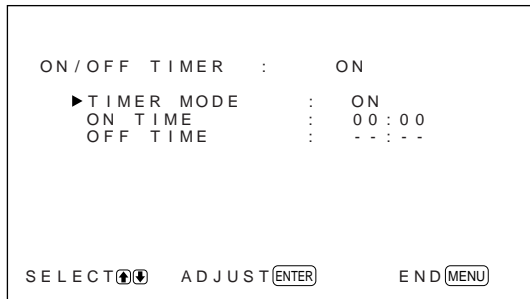
- 7** Press ▲ / ▼ to set the hour and press ENTER.
The time is entered and the area behind the minutes is displayed in cyan.

- 8** Press ▲ / ▼ to set the minute and press ENTER.

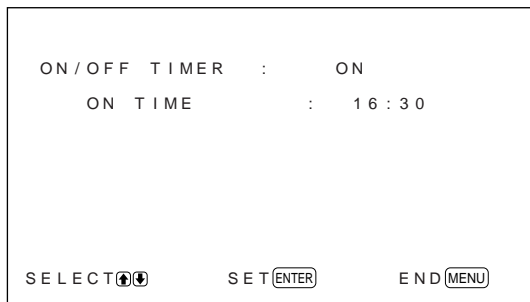
- 9** Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to "OFF TIME" and press ENTER. Do the same thing for the power on hour and minute.
When the power-off timer expires, the system power is turned off, the standby mode is activated, and the ON indicator flashes.

On Timer Function (PFM-42B2/42B2E only)

- When the Step 4 screen in the ON/OFF TIMER function is displayed, select ON with ▲ / ▼ and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- Press ▲ / ▼ to select “ON TIME” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.
The area behind the hour is displayed in cyan.

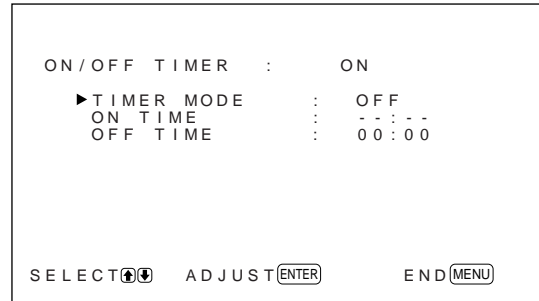


- Press ▲ / ▼ to set the hour and press ENTER.
The time is entered and the area behind the minute is displayed in cyan.
- Press ▲ / ▼ to set the minute and press ENTER.
If the system turns off the power and goes into the standby mode, the ON indicator flashes.

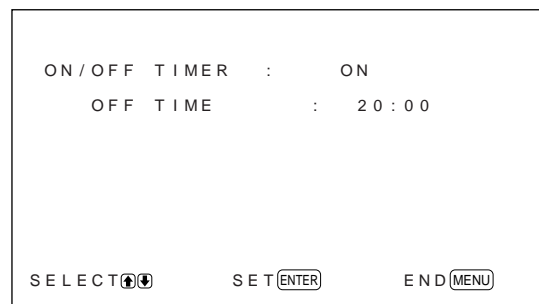
Off Timer Function (PFM-42B2/42B2E only)

- When the Step 4 screen in the ON/OFF TIMER function is displayed, select OFF with ▲ / ▼ and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



- Press ▲ / ▼ to select “OFF TIME” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.
The area behind the hour is displayed in cyan.



- Press ▲ / ▼ to set the hour and press ENTER.
The time is entered and the area behind the minute is displayed in cyan.
- Press ▲ / ▼ to set the minute and press ENTER.
The display unit changes to the wait mode when the power-off timer turns off.

Notes

- The power saving function does not work when the signal is input from the VIDEO connectors.
- If the sync signal is not connected to the 13th pin of the RGB/YUV (D-sub 15-pin) connector in the INPUT1 or INPUT2 connectors, the display unit does not turn on even if the sync signal is input. Be sure to set POWER SAVING to OFF when only an RGB signal is connected.
- The power saving function, on/off timer function and power off function in the PIC INVERSION mode cannot be used simultaneously. When one of those functions is set to ON (YES), “---” appears next to the others and their functions are not available.
- If you set ON TIME and OFF TIME to the same time, the setting of ON TIME takes priority over that of OFF TIME. The display unit does not turn off at the OFF TIME.
- The power saving function does not work when the YUV(component) signal is input.

Setting the SERIAL REMOTE (PFM-42B2/42B2E only)

You can set the serial remote controls.

Setting the baud rate

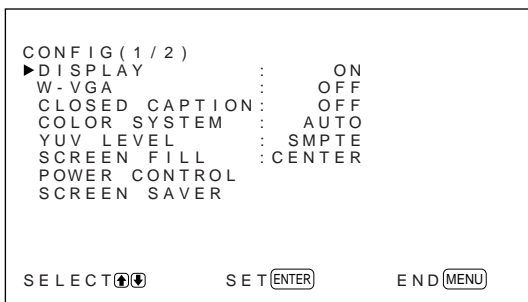
This parameter is used to synchronize the baud rate to the controlled device.

The factory default is 9600bps.

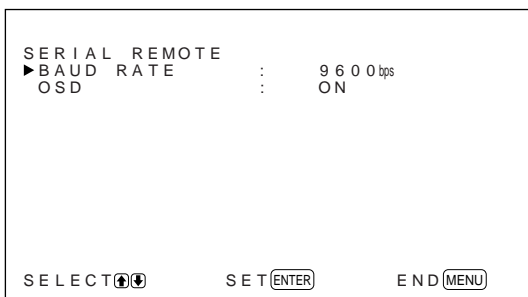
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



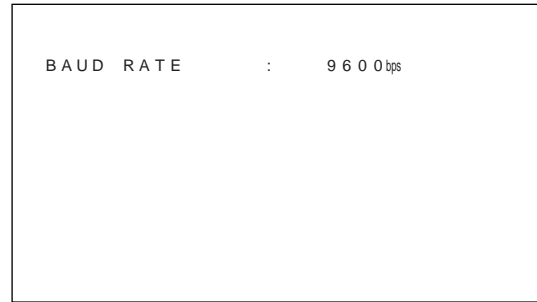
- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ move the cursor (▶) to “SERIAL REMOTE” on the CONFIG (2/2) menu and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “BAUD RATE” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



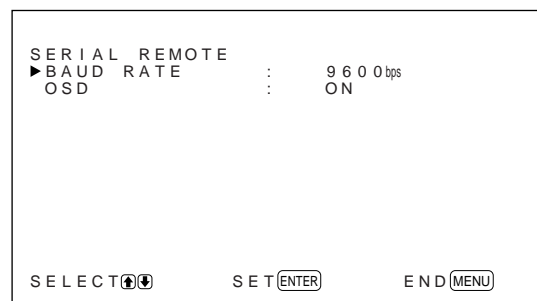
- 5 Select the baud rate (9600bps, 19200bps or 38400bps) with ▲ / ▼ and press ENTER.
- 6 Press MENU.
The menu returns to the CONFIG (2/2) menu.

OSD Function

If the system is controlled by the Serial Remote mode, the controlled functions appear on the screen.

You can hide the serial remote data as follows:

- 1 In the CONFIG (2/2) menu, Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “SERIAL REMOTE” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “OSD” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ to set OSD to OFF and press ENTER.
The serial remote data is not shown.

To display the serial remote data

Set OSD to ON in step 3 above.

The factory default is ON.

Setting the NETWORK ADAPTOR (PFM-42B2/42B2E only)

Sets the network adaptor.

Setting the power supply to the Network Adaptor

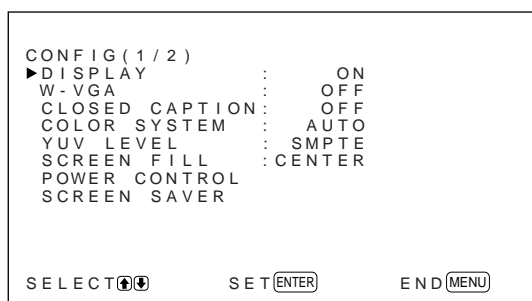
The power is supplied to the Network Adaptor even if the system is in the standby mode.

You can disable the power supply in the standby mode as follows:

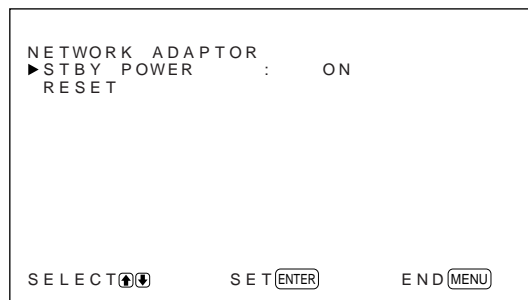
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “CONFIG” and press ENTER.
The CONFIG (1/2) menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “NETWORK ADAPTOR” on the CONFIG (2/2) menu and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “STBY POWER” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 5 Press ▲ / ▼ to set STBY POWER to OFF and press ENTER.
If the system is in the standby mode, the power is not supplied to the Network Adaptor.

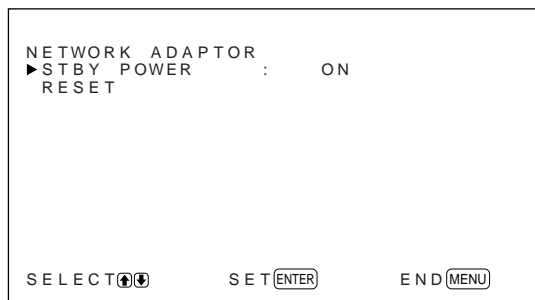
To supply the power

Set STBY POWER to ON in step 5 above.
The factory default is ON.

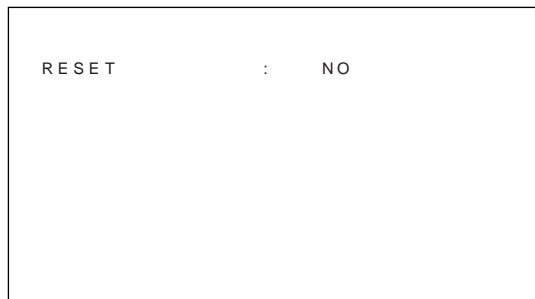
If the screen freezes when you use the Network Adaptor

Reset the screen as follows:

- 1 In the CONFIG (2/2) menu, Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “NETWORK ADAPTOR” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “RESET” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ to set RESET to YES and press ENTER.
The Network Adaptor is restarted.

Self-diagnosis Function

The unit has a self-diagnosis function.

This function shows the display's condition based on the pattern shown by the flashing of the STANDBY indicator. The flashing pattern informs you of the display's current condition.

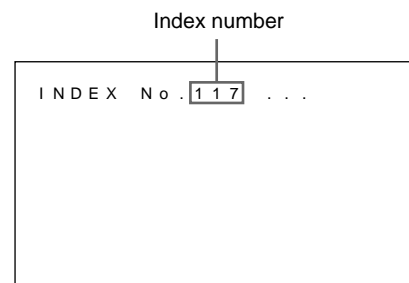
If the STANDBY indicator flashes, check the number of flashes and contact your authorized Sony dealer.

- 1 Check the flashing pattern of the STANDBY indicator.
The indicator flashes (with an image showing on the display) or flashes at intervals of three seconds (with no image showing on the display).
Count the number of flashes if the indicator flashes at intervals of three seconds. For example, the indicator flashes twice, followed by a three second pause, two more flashes and this pattern repeats. In this case, the count for the number of flashes is two.
- 2 Unplug the unit.
Inform your authorized Sony dealer of the number of flashes.

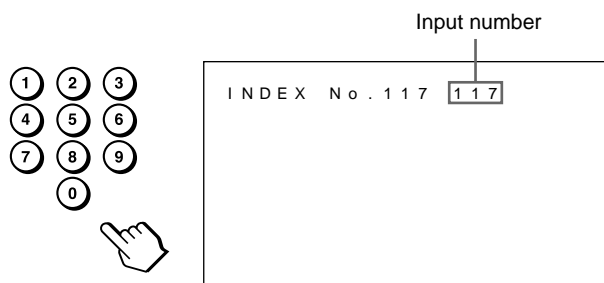
Operating a Specific Display With the Remote Commander

Using the supplied Remote Commander, you can operate a specific display without affecting other displays that are installed at the same time.

- 1 Press ID MODE ON on the Remote Commander.
Monitor index numbers appear in white characters on all the displays. (Every display is allocated an individual preset index number from 1 to 255.)
See “To change the index number” on page 46 (GB) to change the index number.



- 2 Input the index number of the display you want to operate using the 0 – 9 buttons on the Remote Commander.
The input number appears right next to the index number of each display.

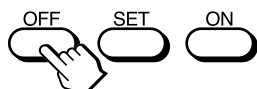


- 3 Press ID MODE SET.
The characters on the selected display change to cyan while the others change to red.



You can operate only the display specified. (All operations are available in ID mode except power on/off.)

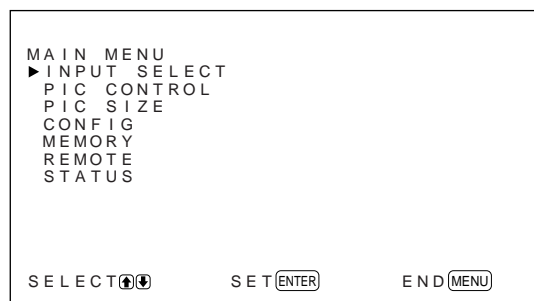
- 4 After the necessary adjustment, press ID MODE OFF.
The display returns to the normal mode.



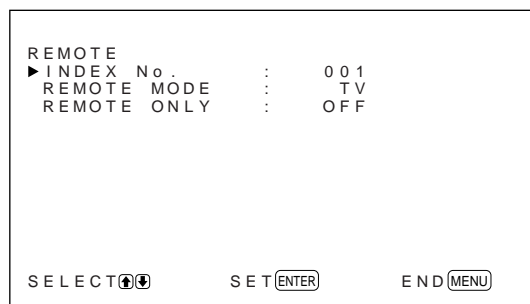
To change the index number

You can change the index number if necessary.
When you change the number, use the buttons on the control button section of the display unit.

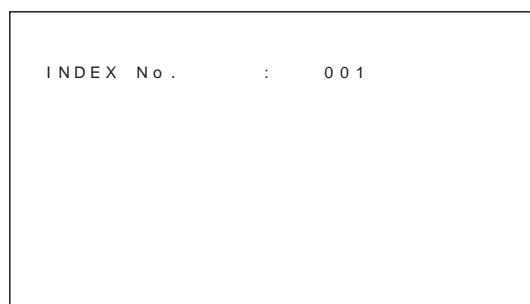
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “REMOTE” and press ENTER.
The REMOTE menu appears on the display panel.



- 3 Press ▲ / ▼ to move the cursor (▶) to “INDEX No.” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Select the index number with ▲ / ▼ and press ENTER.
The menu returns to the REMOTE menu.

Using Other Remote Commander Models

The following operations can be carried out using other Remote Commander models.

- Power on/off
- Input selection
- Menu operations
- Picture adjustments: contrast, phase and chroma
- On-screen display on/off

The operations available and the buttons to be used for each operation are limited depending on each Remote Commander. See the table below.

Remote Commander model		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
REMOTE MODE setting		TV	TV	PJ
Input selection	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Menu operation	MENU	MENU	MENU	MENU or ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER or →
	▲	+	SELECT+↑	↑
	▼	—	SELECT-↓	↓
Picture adjustment	Contrast	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Chroma	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
On-screen information		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Specifications

Video processing

Preset signal	<i>See page 27 (GB).</i>
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Panel system	AC-type Plasma Display Panel
Display resolution	1 024 dots (horizontal) × 1 024 lines (vertical)
Pixel pitch	0.90 (horizontal) × 0.51 (vertical) mm ($\frac{1}{16} \times \frac{1}{32}$ inches)
Picture size	921 (horizontal) × 522 (vertical) mm ($36 \frac{3}{8} \times 20 \frac{5}{8}$ inches)
Panel size	42-inch (diagonal 1 058 mm)

Inputs and Outputs

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV	D-sub 15-pin (female) (<i>See “Pin assignment” on page 49 (GB).</i>)
AUDIO	Stereo minijack 500 mVrms, high impedance

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)¹⁾

COMPOSITE IN	BNC (×1) Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75-ohm (automatic termination)
Y/C IN	Mini DIN 4-pin (×1) Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75-ohm terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-ohm terminated Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-ohm terminated
AUDIO IN	Stereo minijack 500 mVrms, high impedance

COMPOSITE OUT

BNC (×1) Loop-through

AUDIO OUT	Stereo minijack 500 mVrms, high impedance
-----------	--

REMOTE (RS-232C)

D-sub 9-pin (×1)

Safety regulations

UL1950, CSA No. 950 (c-UL),
FCC Class B, IC Class B,
EN60 950 (NEMKO), CE,
C-Tick

Component Input Adaptor (with Control S) BKM-B12 (Not supplied)

INPUT3

RGB/YUV Phono jack (female) (×3)

CONTROL S (IN/OUT)

Stereo minijack (×2)
5 Vp-p

Video Input & Control S Adaptor BKM-B13 (Not supplied)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)

COMPOSITE IN	BNC (×1) Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75-ohm (automatic termination)
Y/C IN	Mini DIN 4-pin (×1) Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75-ohm terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-ohm terminated Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-ohm terminated

COMPOSITE OUT

BNC (×1) loop-through

CONTROL S (IN/OUT)

Stereo minijack (×2)
5 Vp-p

General

Power requirements

100 V to 240 V AC, 50/60 Hz,
PFM-42B1/42B1E:
4.5 A to 1.8 A
PFM-42B2/42B2E:
4.2 A to 1.5 A

1) The PFM-42B1E/42B2E are not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-42B1E/42B2E, composite video and Y/C input can be input to the display when the BKM-B10 video input adaptor or BKM-B13 video input & control S adaptor (not supplied) is installed in the display unit.

Power consumption

PFM-42B1/42B1E: 400 W
PFM-42B2/42B2E: 360 W

Operating conditions

Temperature: 0 °C to 35 °C
(32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)
Atmospheric pressure: 800 to
1 060 hPa

Storing/transporting conditions

Temperature: -10 °C to +40 °C
(14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)
Atmospheric pressure: 800 to
1 060 hPa

Dimensions

1 033 × 631 × 83 mm
(40 3/4 × 24 7/8 × 3 3/8 inches)
(w/h/d, excluding projections)

Mass

PFM-42B1/42B1E:
29.4 kg (64 lb 13 oz)
PFM-42B2/42B2E:
28.4 kg (62 lb 10 oz)

Supplied accessories

AC power cord (1)
AC plug holder (2)
Cable holder A (2)
Cable holder B (4)
Ferrite Cores (8) (PFM-42B2/
42B2E only)
Stoppers (8) (PFM-42B2/42B2E
only)
Remote Commander RM-42B (1)
Size AA (R6) batteries (2)
Operating instructions (1)

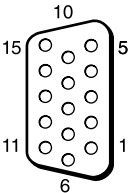
Optional accessories

Display stand SU-42B
Video input adaptor BKM-B10
(for the PFM-42B1E/42B2E
only)
Component Input Adaptor (with
Control S) BKM-B12
Video Input & Control S Adaptor
BKM-B13
Network Adaptor BKM-B30NW

Design and specifications are subject to change
without notice.

Pin assignment

RGB/YUV connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or R-Y or P _R
2	Green video (Composite Sync On Green) or Y
3	Blue video or B-Y or P _B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or composite sync
14	V sync
15	SCL

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrcution, garder cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis.


Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.
--

Table des matières

Précautions	5 (FR)
Caractéristiques	6 (FR)
Emplacement et fonction des pièces et commandes	7 (FR)
Avant / Arrière / Côté droit	7 (FR)
Section du Commutateur / Indicateur  (veille)	8 (FR)
Section de la touche de contrôle (Arrière)	8 (FR)
Panneau des connecteurs	9 (FR)
Télécommande RM-42B	11 (FR)
Attention	13 (FR)
Raccordements	14 (FR)
Raccordement de la prise d'alimentation secteur ...	14 (FR)
Fixation du noyau de ferrite (PFM-42B2/42B2E uniquement)	14 (FR)
Exemple de raccordement	15 (FR)
Utilisation des menus d'affichage	20 (FR)
Exploitation des menus	20 (FR)
Guide de menu	20 (FR)
Visualisation de l'image	24 (FR)
Commutation du signal d'entrée	24 (FR)
Commutation du mode d'affichage	25 (FR)
Affichage du signal d'entrée et des informations d'état de l'écran	25 (FR)
Réglage de l'image	28 (FR)
Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc.	28 (FR)
Restauration des réglages par défaut des options du menu CTRL IMAGE	29 (FR)
Redimensionnement et positionnement de l'image	30 (FR)
Réglage de la taille de l'image	30 (FR)
Réglage de la position de l'image	31 (FR)
Restauration de la taille et de la position initiales de l'image	31 (FR)
Modification du rapport d'aspect	32 (FR)
Réglage des linéarités	32 (FR)
Réglage des pixels	33 (FR)

Utilisation des fonctions de la mémoire	34 (FR)
Mémorisation des réglages actuels	34 (FR)
Appel d'un paramètre sélectionné	35 (FR)
Sélection de la langue d'affichage à l'écran	36 (FR)
Réduction d'une image rémanente/fantôme	
(fonction d'économiseur d'écran)	37 (FR)
Inversion de l'image	37 (FR)
Changement automatique de la position	
de l'image	38 (FR)
Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors	
tension (fonction de contrôle de l'énergie)	39 (FR)
Fonction d'économie d'énergie	
(PFM-42B2/42B2E uniquement)	39 (FR)
Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)	40 (FR)
Activation/désactivation de la fonction de timer	40 (FR)
A propos de la fonction Minuterie	
(PFM-42B2/42B2E uniquement)	42 (FR)
A propos de la fonction Minuterie ARR	
(PFM-42B2/42B2E uniquement)	42 (FR)
Réglage de TELECOMMANDE SERIE	
(PFM-42B2/42B2E uniquement)	43 (FR)
Réglage du débit en bauds	43 (FR)
Fonction MENU ECRAN	43 (FR)
Réglage de ADAPTATEUR RESEAU	
(PFM-42B2/42B2E uniquement)	44 (FR)
Réglage de l'alimentation de l'adaptateur réseau ...	44 (FR)
Si l'écran s'immobilise lorsque vous utilisez	
l'adaptateur réseau	45 (FR)
Fonction d'auto-diagnostic	45 (FR)
Utilisation d'un écran spécifique avec la	
télécommande	45 (FR)
Utilisation d'autres modèles de télécommande ...	47 (FR)
Spécifications	48 (FR)

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque l'appareil est installé sur le sol, utilisez le support en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.

Ecran d'affichage à Plasma (PDP)

- L'écran à plasma est issu d'une technologie de haute précision. Toutefois, il est possible que des points noirs apparaissent ou que des points lumineux blancs, rouges, bleus ou verts restent constamment sur l'écran, ainsi que des bandes ou des couleurs irrégulières, ou encore quelques pixels noirs ou lumineux. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.
- Si vous affichez la même image sur l'écran pendant une dure prolonge, une partie de cette image peut s'imprimer sur une partie de l'écran et laisser une image rémanente. Afin d'éviter ce phénomène lorsque vous devez afficher la même image pendant une longue durée, utilisez la fonction d'économiseur d'écran de cet appareil en l'affichant sur l'ensemble de l'écran. Si une image fantôme est occasionnée,

utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel de vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) est occasionnée, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement après s'être produit.

- En raison de sa conception, lorsqu'il est utilisé dans des endroits avec une faible pression d'air, comme à haute altitude, cet écran à plasma peut émettre un bourdonnement.
- La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Nettoyage

Pour garder l'aspect neuf de l'appareil, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente douce. N'utilisez jamais de solvants tels que de l'alcool ou de l'essence ni de nettoyeurs abrasifs sous peine de ternir le revêtement de l'appareil. Par mesure de sécurité, débranchez l'appareil avant de le nettoyer.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballer-le comme illustré sur le carton.

Interférences lors de l'utilisation d'un équipement de communication à infrarouges

Des problèmes de communication risquent de se produire si un équipement de communication à infrarouges (par exemple, un microphone ou un casque d'écoute à infrarouges sans fil) est utilisé près de l'écran. Dans ce cas, utilisez un autre type de microphone ou de casque d'écoute. De plus, si vous utilisez un équipement à infrarouges sans fil, éloignez-le de l'écran jusqu'à disparition des interférences ou rapprochez l'émetteur et le récepteur de l'équipement de communication à infrarouges.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Caractéristiques

Les PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E sont des écrans 16:9 à panneau plat de 42 pouces utilisant un écran PDP (écran d'affichage à plasma) et acceptant différents types de signaux grâce au convertisseur à balayage intégré.

Qualité d'image améliorée

La série PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E bénéficie d'une qualité d'image améliorée avec son écran PDP (écran d'affichage à plasma) réglé sur une définition de 1 024 points × 1 024 lignes. Ceci permet d'obtenir une image HDTV ou PC de haute précision.

Convertisseur de balayage interne à hautes performances

L'écran intègre un convertisseur à balayage à hautes performances. Au moyen d'un algorithme unique, l'écran traite les signaux dans une large gamme de formats : vidéo, HDTV, PC, etc.

Flexibilité

Un connecteur optionnel est prévu pour une extension future.

L'adaptateur enfichable disponible en option permet une mise à jour système simple et rapide.

Autres caractéristiques

- Trois jeux d'entrée vidéo avec des entrées audio: une entrée vidéo composite ou Y/C, et deux entrées RVB/composante. (Pour le PFM-42B1E/42B2E, l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 ou l'adaptateur S de contrôle et d'entrée vidéo BKM-B13 est requis pour entrer les signaux vidéo composites et Y/C.)

- Affiche le signal HDTV avec le signal de synchro à trois niveaux.
- Filtre en peigne tridimensionnel pour la séparation NTSC Y/C.
- Filtre en peigne à corrélation de ligne pour la séparation Y/C PAL.
- Détection automatique du signal d'entrée avec indication sur écran.
- Compatible avec Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play).
- Fonction Picture AGC — cette fonction règle automatiquement et améliore le contraste lorsqu'un signal de faible intensité est entré.
- Menus d'affichage sur écran pour différents réglages et sélections
- Affichage sur écran en six langues pour un accès plus convivial. (Langues: anglais, allemand, français, italien, espagnol et japonais)
- Réglage fin de la taille et de la position de l'image
- Fonction de mémoire pour l'enregistrement d'un maximum de vingt réglages d'image.
- Commande ID
- Fonction d'auto-diagnostic
- Connecteur REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)
- Accepte les signaux des télécommandes infrarouges Sony utilisant le code SIRCS.
- Réglage vertical
- Décodeur de sous-titres
- Economiseur d'écran pour réduire les phénomènes d'image rémanente ou d'image fantôme.

Avertissement sur le raccordement électrique

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.

PFM-42B1/42B1E

	Etats-Unis, Canada	Europe continentale	Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

PFM-42B2/42B2E

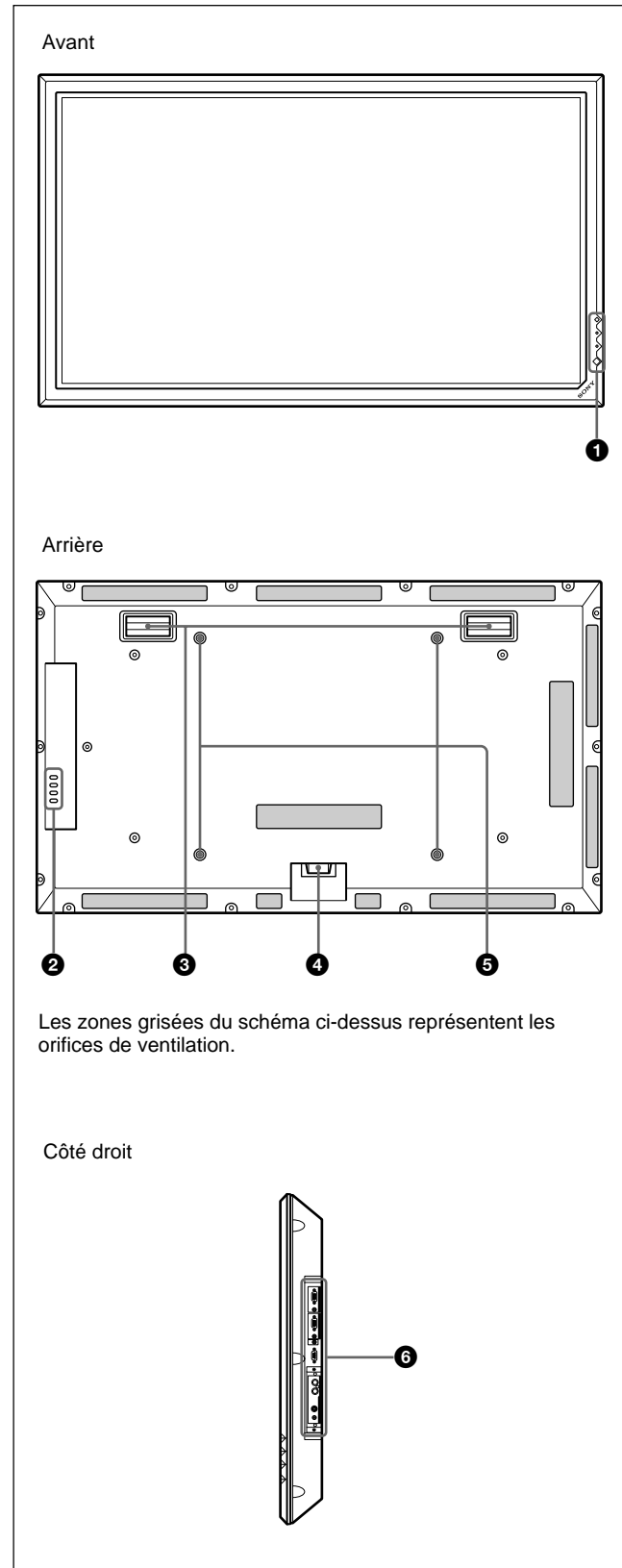
	Etats-Unis, Canada	Europe continentale	Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT SEI/DEDED	H05VV-F	CCE (13) 53rd (O.C)	HVCTF SHIELDED
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Remarque: Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.



1) Windows est une marque commerciale déposée de Microsoft Corporation (aux Etats-Unis et dans d'autres pays).

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant / Arrière / Côté droit



❶ Section du commutateur / indicateur (veille)

Pour obtenir des détails sur la section du commutateur / indicateur  (veille), reportez-vous à la section “Section du Commutateur / Indicateur  (veille)”, page 8 (FR).

❷ Section de la touche de contrôle

Pour plus de détails sur la section de la touche de contrôle, reportez-vous à la section “Section de la touche de contrôle (Arrière)”, page 8 (FR).

❸ Poignées de transport

❹ Prise ~ AC IN

Raccordez le cordon d’alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Dès que vous branchez le cordon d’alimentation secteur, l’indicateur STANDBY s’allume et le moniteur passe en mode de veille.

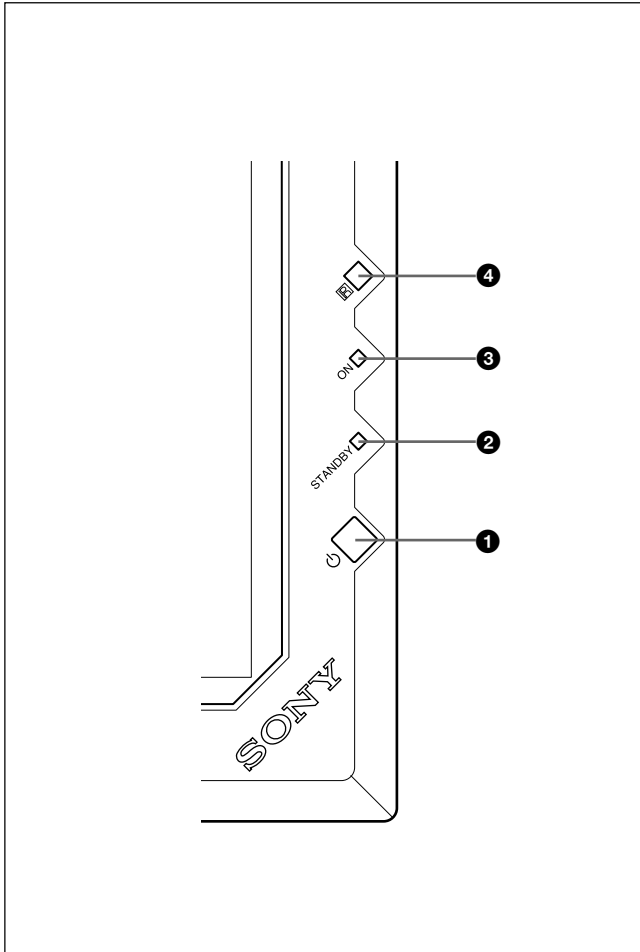
❺ Crochets d’installation du support

Utilisez ces crochets pour installer le support (non fourni).

❻ Panneau des connecteurs

Pour plus de détails sur le panneau des connecteurs, reportez-vous à la section “Panneau des connecteurs”, page 9 (FR).

Section du Commutateur / Indicateur (veille)



❶ Commutateur (veille)

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Appuyez de nouveau pour revenir en mode de veille.

❷ Indicateur STANDBY

S'allume en rouge en mode de veille.

Lorsque l'indicateur *STANDBY* clignote, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 45 (FR).

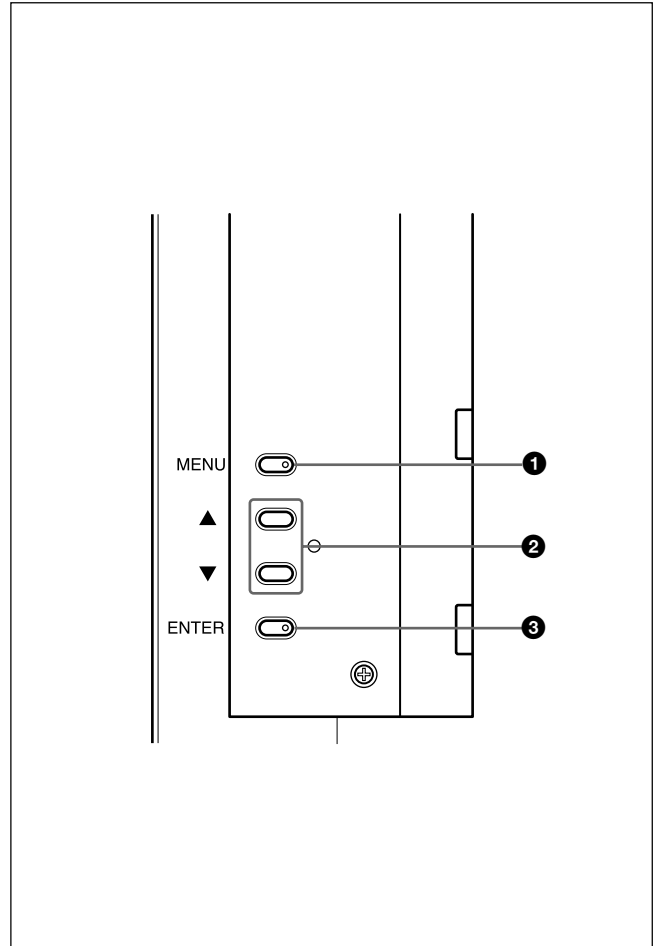
❸ Indicateur ON

S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension.

❹ Capteur de télécommande

Capte le signal de la télécommande.

Section de la touche de contrôle (Arrière)



❶ Touche MENU

Appuyez pour faire apparaître le menu. Lorsque le menu est affiché sur l'écran, appuyez sur cette touche pour revenir au niveau précédent du menu. Pour faire disparaître le menu, appuyez plusieurs fois cette touche jusqu'à ce que le menu disparaisse.

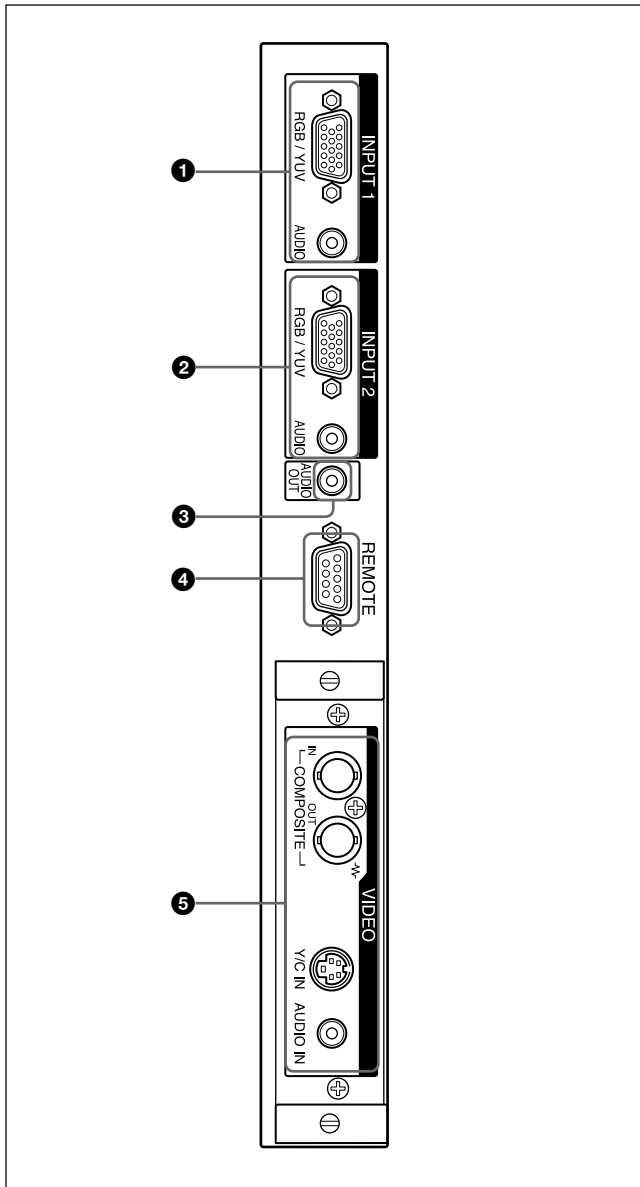
❷ Touches ▲ / ▼

Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur (►) sur une option ou pour régler une valeur d'un menu.

❸ Touche ENTER

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'option souhaitée dans un menu.

Panneau des connecteurs



❶ Connecteurs INPUT1

RGB/YUV (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie du signal RVB ou du signal composant (YUV) d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

Cet écran accepte également un signal analogique composante HD (Y/Pb/Pr). Voir "Attribution des broches", page 49 (FR) lorsque vous entrez un signal de composante.

AUDIO (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

❷ Connecteurs INPUT2

RGB/YUV (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie du signal RVB ou composante (YUV) d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

Cet écran accepte également un signal analogique composante HD (Y/Pb/Pr). Voir "Attribution des broches", page 49 (FR) lorsque vous entrez un signal de composante.

AUDIO (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

❸ Jack AUDIO OUT (miniprise stéréo)

Depuis les signaux audio entrés par les prises d'entrée audio, émet le signal audio affiché sur l'écran.

❹ Connecteurs REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)

Ce connecteur vous permet de commander l'écran à distance à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

❺ Connecteur VIDEO

Le PFM-42B1E/42B2E n'est pas doté de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-42B1E/42B2E, la vidéo composite et l'entrée Y/C peuvent être transmises sur l'écran lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 ou l'adaptateur S de contrôle et d'entrée vidéo BKM-B13 (non fourni) est installé sur l'écran.

COMPOSITE IN (type BNC): se raccorde à la sortie du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.

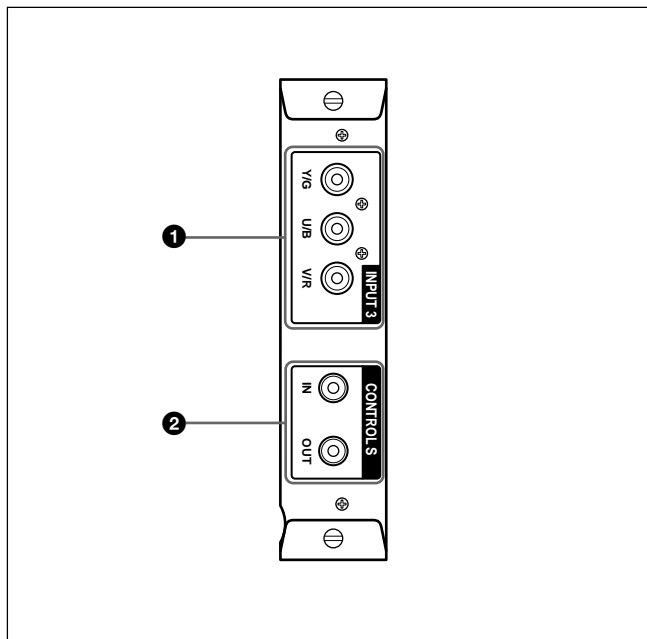
COMPOSITE OUT (type BNC): se raccorde à l'entrée du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.

Y/C IN (mini DIN à 4 broches): se raccorde à la sortie du signal Y/C d'un équipement vidéo.

AUDIO IN (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

Adaptateur d'entrée du composant (avec contrôle S) BKM-B12 (non fourni)

Les connecteurs VIDEO sont des connecteurs encastrables. Vous pouvez remplacer les connecteurs VIDEO par l'adaptateur d'entrée du composant (avec contrôle S) BKM-B12.



❶ Connecteurs INPUT3 (entrée de signal RGB/YUV)

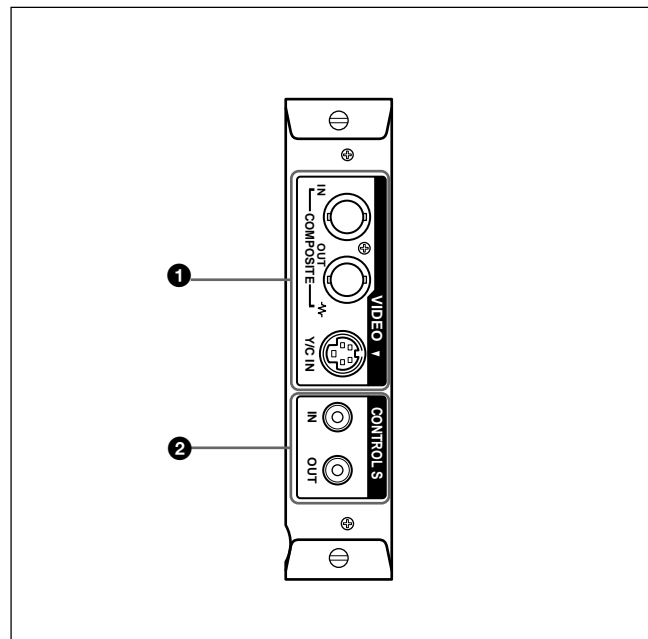
Connecteur RGB/YUV (signal d'entrée RGB/YUV) (Prise phono) : Se raccorde au connecteur de sortie du signal analogique RVB (équipement vidéo) ou au connecteur de sortie du signal du composant (YUV). Les signaux de composante analogique HD (Y/Pb/Pr) peuvent aussi être entrés via ce connecteur.

❷ Connecteur CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal du contrôle S) (mini-prise)

Vous pouvez raccorder le connecteur CONTROL S à un équipement vidéo ou à un écran via ce connecteur, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet adaptateur au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil.

Adaptateur d'entrée vidéo et de contrôle S BKM-B13 (non fourni)

Les connecteurs VIDEO sont des connecteurs encastrables. Vous pouvez remplacer les connecteurs VIDEO par l'adaptateur d'entrée vidéo et de contrôle S BKM-B13.



❶ Connecteurs VIDEO

Connecteur COMPOSITE IN (entrée vidéo)

(BNC) : Se raccorde au connecteur de sortie du signal composite de l'équipement vidéo.

Connecteur COMPOSITE OUT (sortie vidéo)

(BNC) : Se raccorde au connecteur d'entrée du signal composite sur l'équipement vidéo.

Connecteur Y/C IN (entrée vidéo) (mini DIN 4 broches)

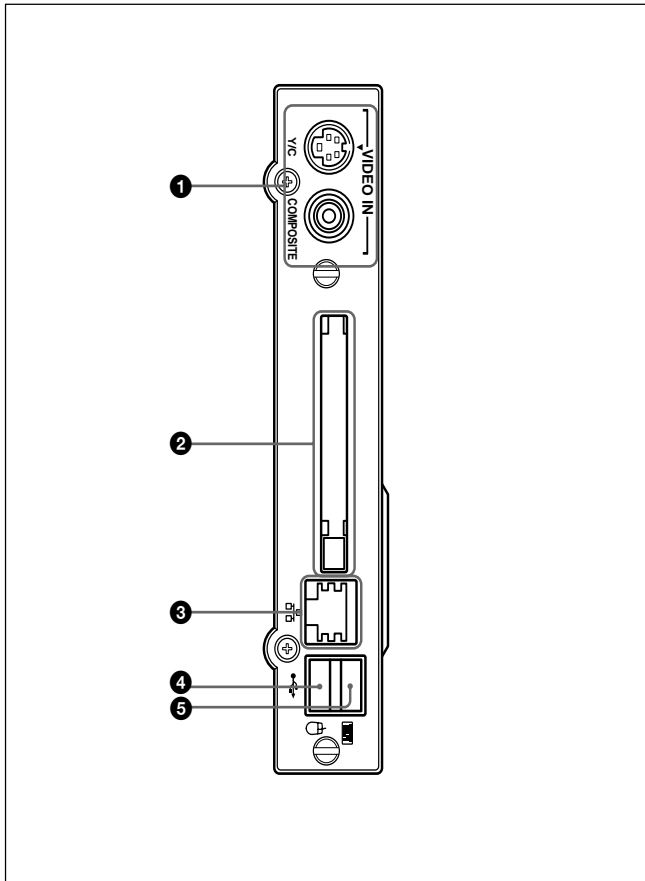
: Se raccorde au connecteur de sortie Y/C de l'équipement vidéo.

❷ Connecteur CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal du contrôle S) (mini-prise)

Vous pouvez raccorder le connecteur CONTROL S à un équipement vidéo ou à un écran via ce connecteur, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet adaptateur au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil.

Adaptateur réseau BKM-B30NW (non fourni)

Les connecteurs VIDEO sont des connecteurs encastrables. Vous pouvez remplacer les connecteurs VIDEO par l'adaptateur réseau BKM-B30NW.



❶ Connecteurs VIDEO IN

Connecteur Y/C (mini DIN 4 broches) (BNC) : Se raccorde au connecteur de sortie Y/C d'un équipement vidéo.

Connecteur COMPOSITE (prise à broches) : Se raccorde au connecteur de sortie composite d'un équipement vidéo.

❷ Emplacement pour carte PC

Installez une carte réseau ou une carte mémoire PC, le cas échéant.

❸ Connecteur Ethernet

Se raccorde à un autre ordinateur en réseau avec un câble réseau 10/100BASE-T.

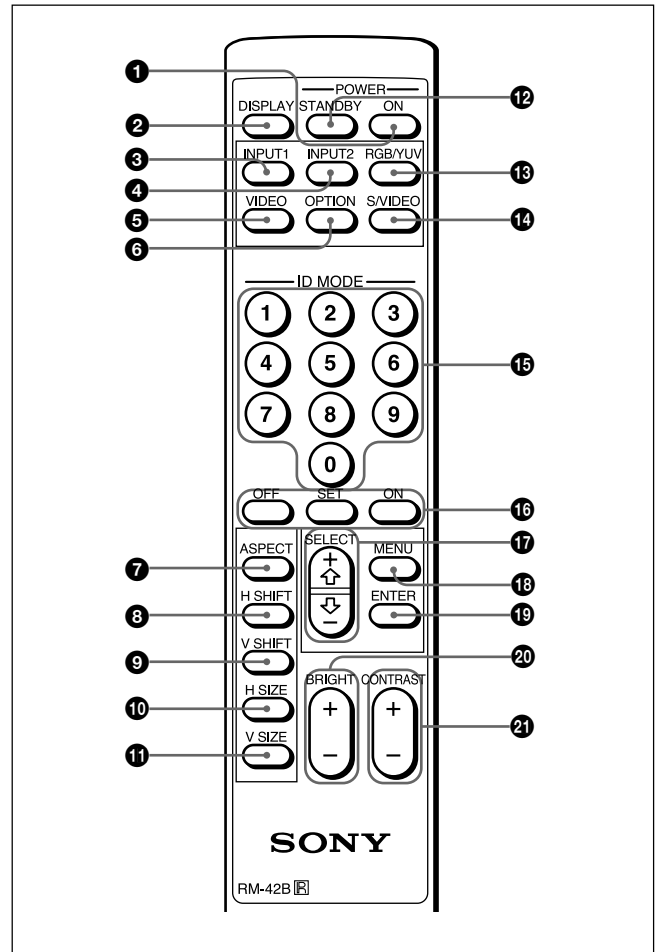
❹ Connecteur du clavier

Se raccorde à un clavier USB.

❺ Connecteur de la souris

Se raccorde à une souris USB.

Télécommande RM-42B



❶ Commutateur POWER ON

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche DISPLAY

Affiche les informations du signal d'entrée ainsi que l'heure en haut de l'écran. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.

❸ Touche INPUT1

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT1.

❹ Touche INPUT2

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT2.

❺ Touche VIDEO

Sélectionne l'entrée du signal provenant du connecteur COMPOSITE IN ou du connecteur Y/C IN des connecteurs VIDEO.

❻ Touche OPTION

Sélectionne l'entrée du signal provenant de l'adaptateur optionnel lorsque vous installez celui-ci sur l'appareil.

7 Touche ASPECT

Modifie le format de l'image.

8 Touche H SHIFT

Ajuste le centrage horizontal. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage horizontal à l'aide de la touche SELECT +**↑/↓** 17.

9 Touche V SHIFT

Ajuste le centrage vertical. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage vertical à l'aide de la touche SELECT +**↑/↓** 17.

10 Touche H SIZE

Règle la taille horizontale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille horizontale de l'image à l'aide de la touche SELECT +**↑/↓** 17.

11 Touche V SIZE

Ajuste la taille verticale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille verticale de l'image à l'aide de la touche SELECT +**↑/↓** 17.

12 Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

13 Touche RGB/YUV

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le format correspondant à celui du signal d'entrée raccordé au connecteur INPUT1 ou INPUT2. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre RVB et YUV.

14 Touche S/VIDEO

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'entrée du signal provenant du connecteur COMPOSITE IN ou du connecteur Y/C IN des connecteurs VIDEO. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre COMPOSITE IN et Y/C IN.

15 Touches numériques

Appuyez sur ces touches pour entrer le numéro d'index.

16 Touches ID MODE (ON/SET/OFF)

Appuyez sur la touche ON pour faire apparaître un numéro d'index à l'écran. Saisissez ensuite le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide du pavé numérique 15, puis appuyez sur la touche SET. Une fois l'opération terminée, appuyez sur la touche OFF pour passer du mode ID au mode normal. *Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe "Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande", page 45 (FR).*

17 Touche SELECT +**↑/↓**

Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur (►) sur une option ou pour régler une valeur dans un menu.

18 Touche MENU

Appuyez pour faire apparaître le menu. Lorsque le menu est affiché à l'écran, appuyez sur cette touche pour revenir au niveau précédent du menu. Pour faire disparaître le menu, appuyez plusieurs cette touche jusqu'à ce que le menu disparaisse.

19 Touche ENTER

Appuyez pour sélectionner l'option souhaitée dans un menu.

20 Touche BRIGHT +/-

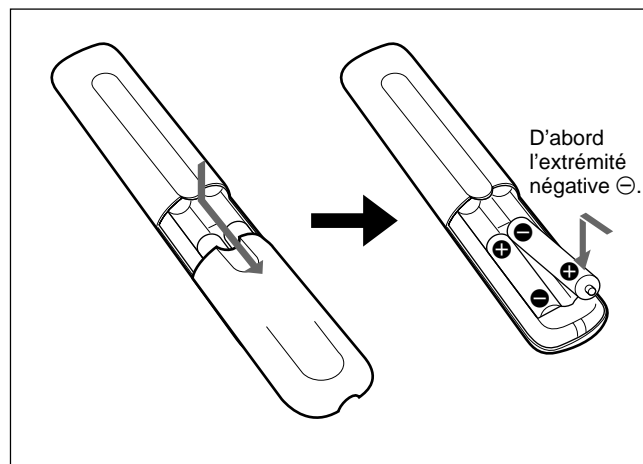
Règle la luminosité.

21 Touche CONTRAST +/-

Règle le contraste.

Installation des piles

Introduisez deux piles AA (R6) en respectant la polarité.



- En mode d'utilisation normale, les piles devraient durer environ six mois. Si la télécommande ne fonctionne pas correctement, il est possible que les piles soient vides. Remplacez-les par des piles neuves.
- Pour éviter des dommages découlant de la fuite des piles, retirez-les de la télécommande si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée.

Lorsque la télécommande ne fonctionne pas

Vérifiez que le voyant STANDBY s'allume et que MODE TELECOM du menu TELECOMMANDE est activé. La télécommande actionne l'écran uniquement lorsque les deux conditions énoncées ci-après sont remplies.

- L'écran est sous tension ou est en mode de veille.
- Le mode MODE TELECOM du menu TELECOMMANDE est réglé sur TV ou PJ.

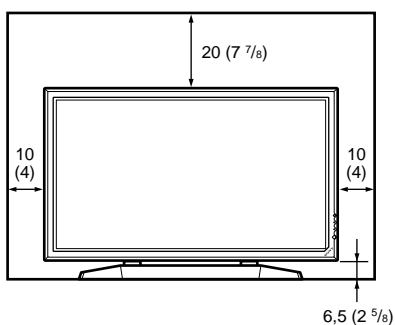
Pour plus d'informations sur le MODE TELECOM, reportez-vous au paragraphe "Menu TELECOMMANDE", page 22 (FR).

Attention

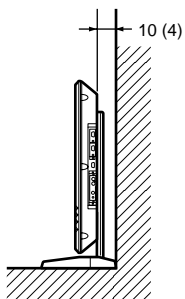
- Lorsque vous utilisez l'écran, assurez-vous que l'espace présent autour de l'affichage est plus important que celui indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ceci permettra d'assurer une ventilation correcte.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et +35 °C (32 °F à 95 °F).
- Utilisez le support d'écran SU-42B (non fourni) comme support.

Lorsque vous utilisez le support (non fourni)

Avant



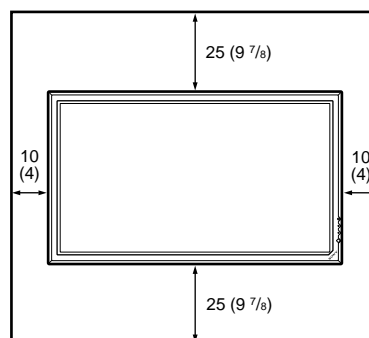
Côté



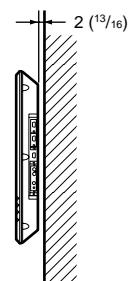
Unités: cm (pouces)

Utilisation de l'écran à l'horizontale

Avant



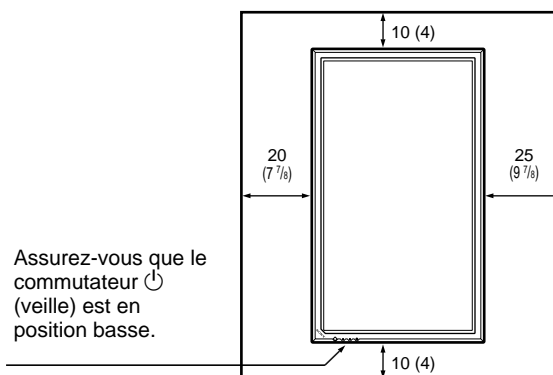
Côté



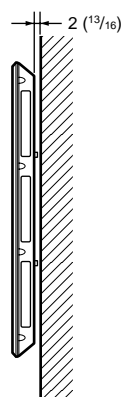
Unités: cm (pouces)

Utilisation de l'écran à la verticale

Avant



Côté

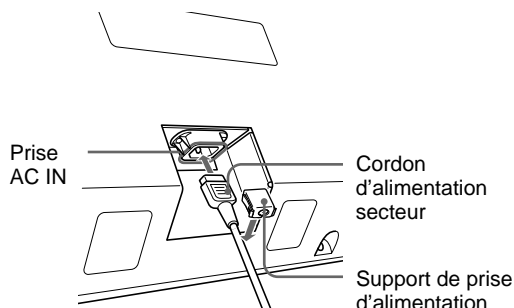


Unités: cm (pouces)

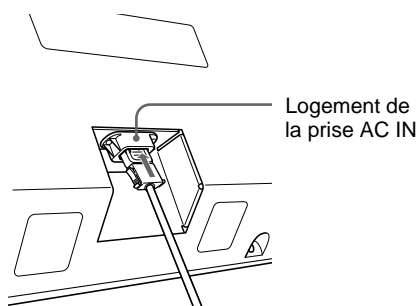
Raccordements

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de prise AC (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



- 2 Faites glisser le support de prise d'alimentation secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise d'alimentation secteur.



Pour ôter le cordon d'alimentation secteur

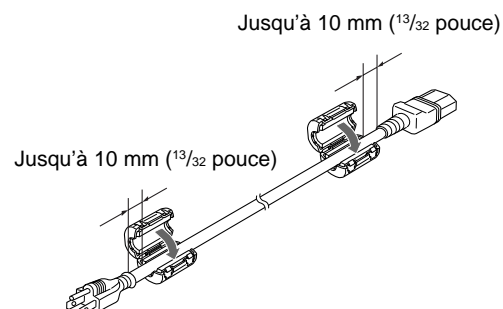
Après avoir pincé le support de la prise de courant alternatif pour la libérer, saisissez la prise et retirez le cordon d'alimentation en C.A.

Fixation du noyau de ferrite (PFM-42B2/42B2E uniquement)

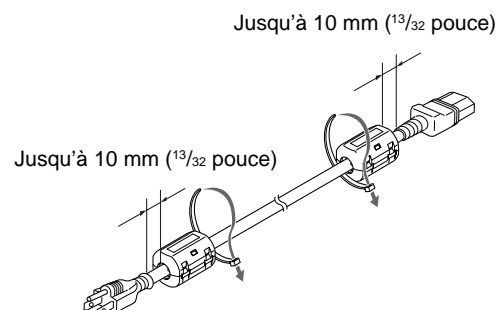
Fixation du cordon d'alimentation secteur

Avant de brancher le cordon d'alimentation à l'appareil, fixez les tores de ferrite (gris clair) fournis au cordon d'alimentation.

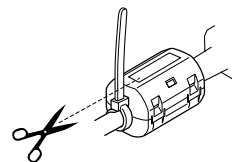
- 1 Fixez les noyaux de ferrite aux deux extrémités du cordon d'alimentation secteur et fermez-les jusqu'à ce qu'ils s'encliquettent.



- 2 Enroulez le système de fermeture autour du cordon de sorte que les noyaux de ferrite ne glissent pas.



- 3 Serrez le système de fermeture et coupez le câble superflu.



Remarque

Attention : cet appareil n'est pas conforme aux limites EMC sauf si le tore de ferrite est installé sur le cordon d'alimentation secteur.

Fixation des câbles

Si vous raccordez un câble à l'une des bornes indiquées ci-dessous, fixez le tore de ferrite fourni avant toute utilisation du câble.

AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

AUDIO OUT

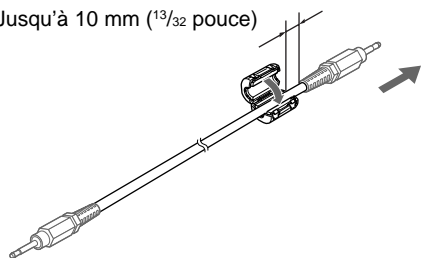
REMOTE

Y/C IN (VIDEO)

AUDIO IN (VIDEO)

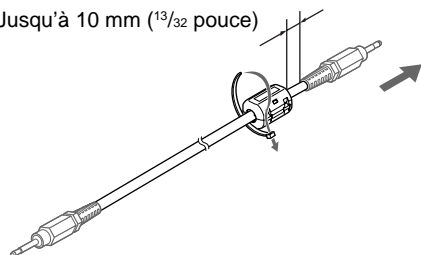
- 1 Fixez le tore de ferrite (noir) à l'extrémité du câble la plus proche du PFM-42B2/42B2E, en le refermant fermement jusqu'au déclic.

Jusqu'à 10 mm ($\frac{13}{32}$ pouce)

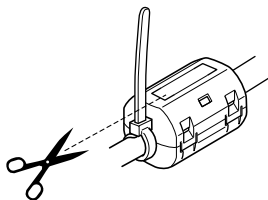


- 2 Enroulez le système de fermeture autour du câble de manière à ce que le noyau de ferrite ne glisse pas.

Jusqu'à 10 mm ($\frac{13}{32}$ pouce)



- 3 Serrez le système de fermeture et coupez le câble superflu.



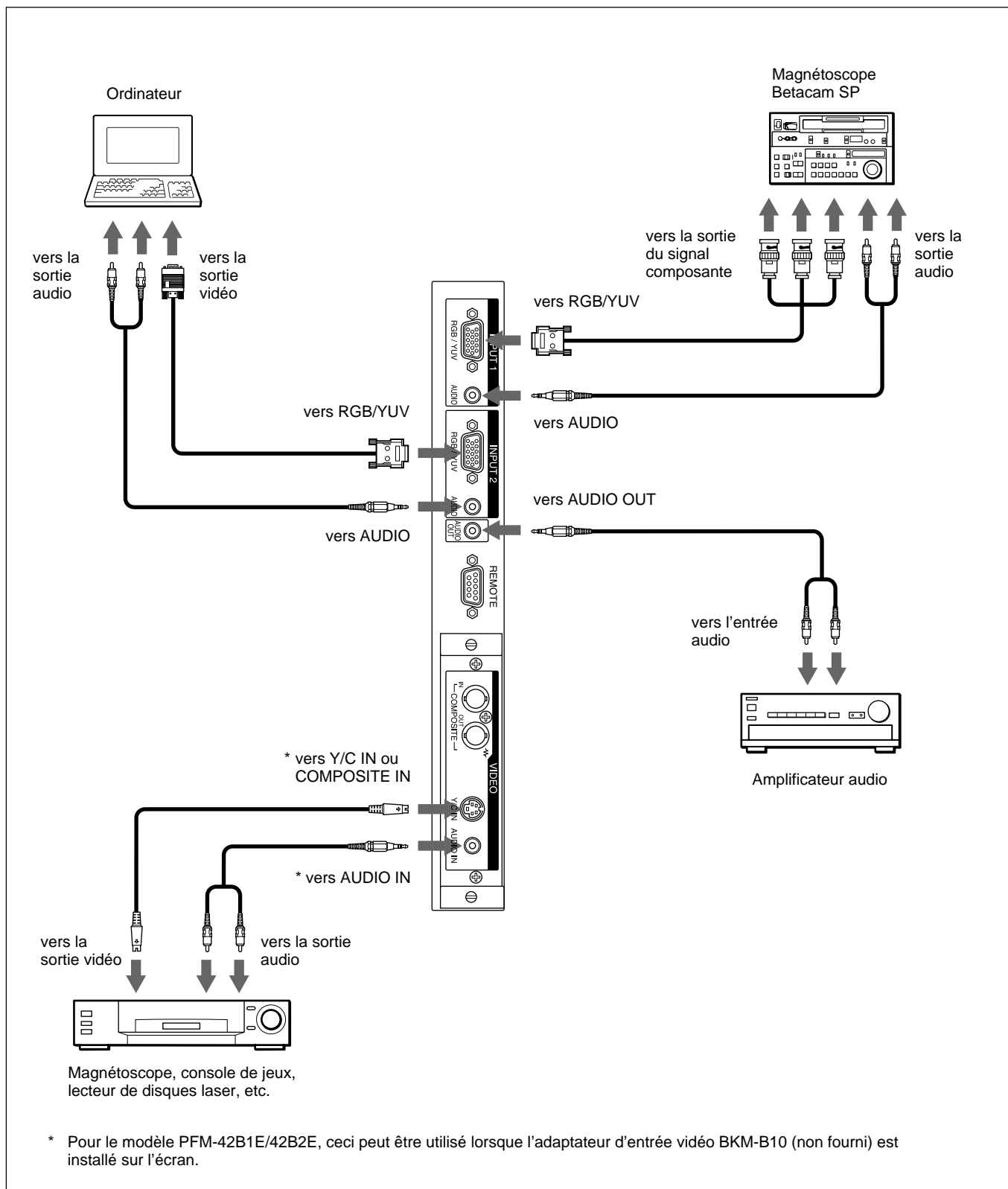
Remarques

- Lors du raccordement de cet appareil à d'autres appareils via les connecteurs RGB/YUV, utilisez le câble spécifié.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
- Faites attention que cet appareil n'est pas conforme aux limites EMC sauf si le tore de ferrite est installé sur le câble d'interconnexion.

Exemple de raccordement

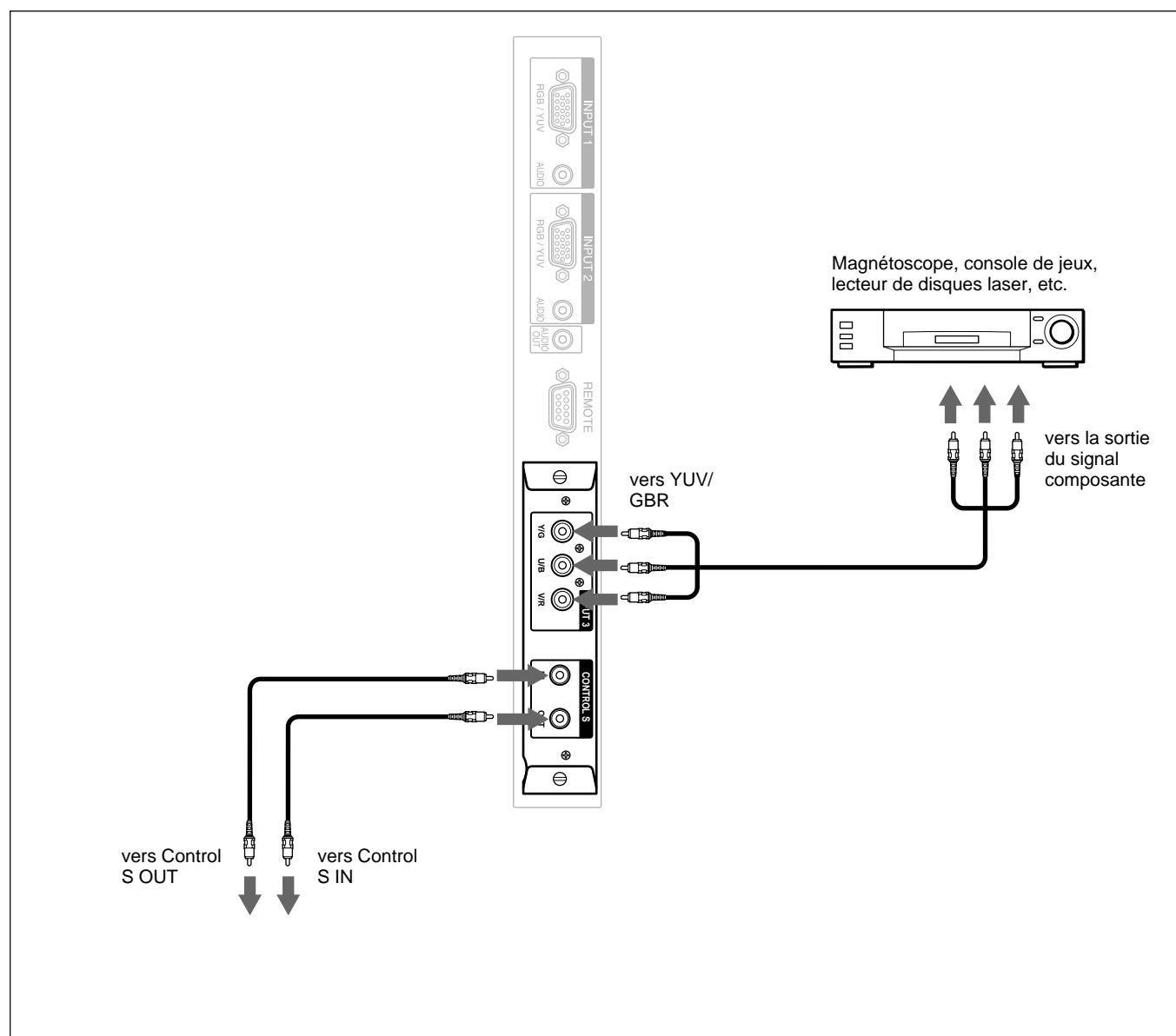
Avant de commencer

- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles de connexion adaptés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs de câbles doivent être complètement insérés dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Référez-vous au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN.
- Utilisez l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.



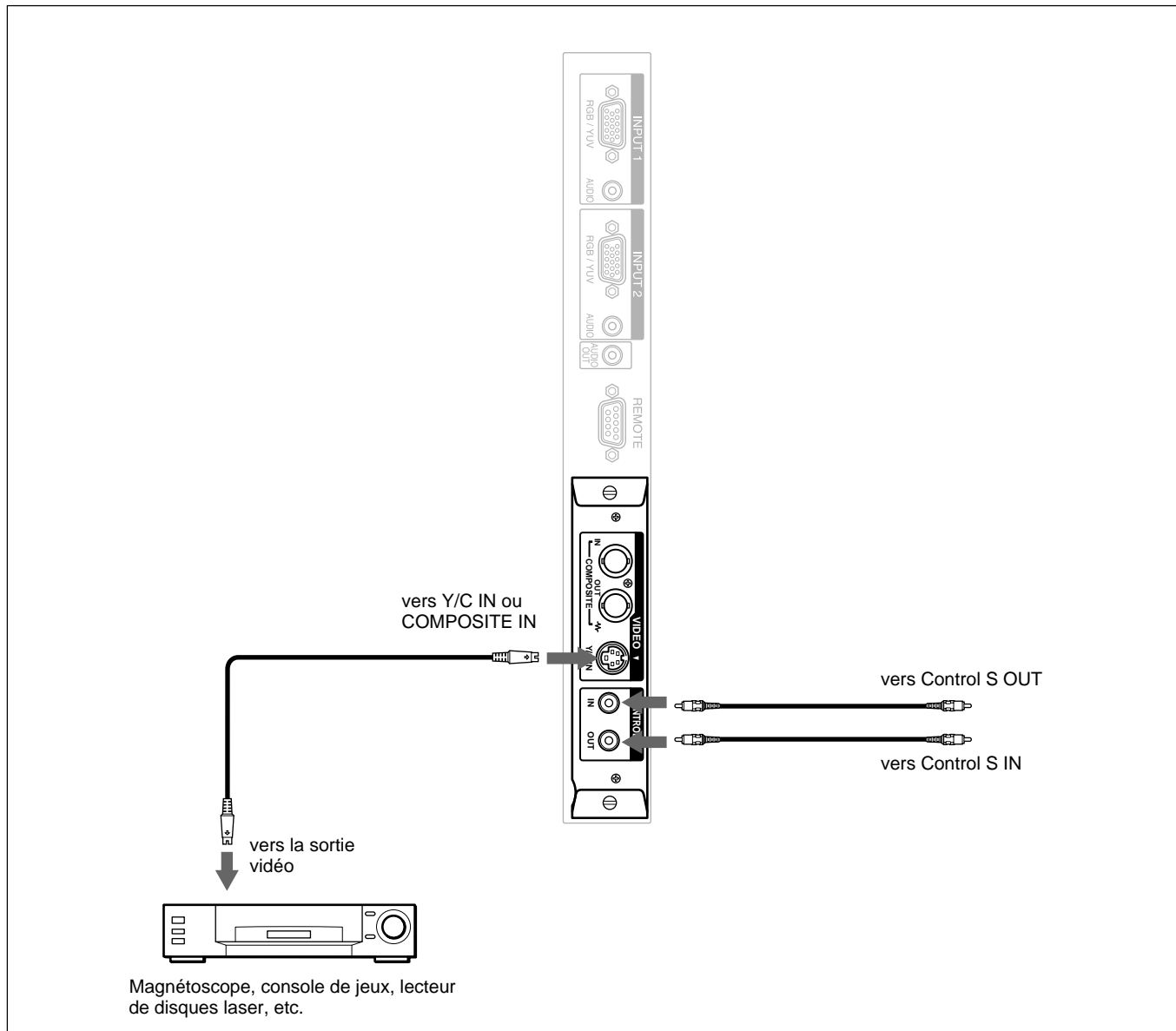
Exemple de raccordement : L'adaptateur d'entrée du composant (avec contrôle S) BKM-B12 (non fourni) a été installé.

La figure suivante illustre un exemple de raccordement où l'adaptateur d'entrée du composant (avec contrôle S) BKM-B12 (non fourni) a été installé.



Exemple de raccordement : L'adaptateur d'entrée vidéo et de contrôle S BKM-B13 (non fourni) a été installé.

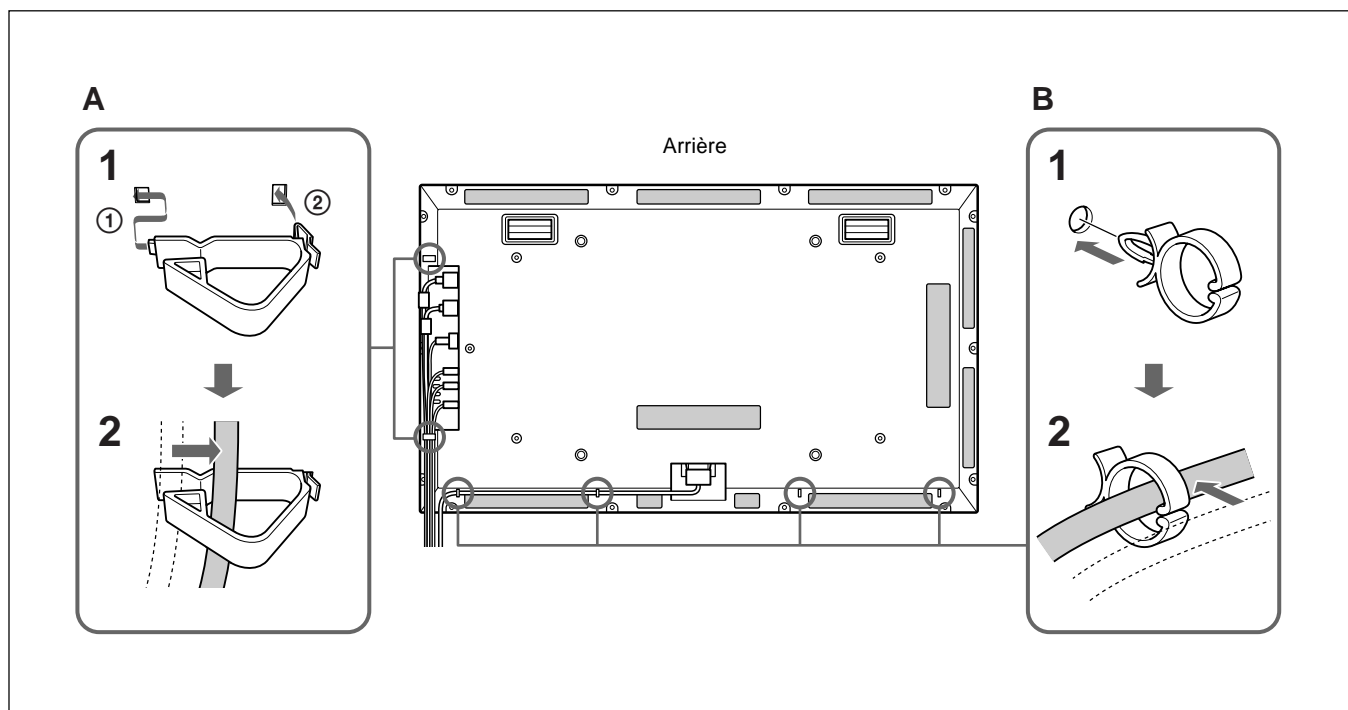
La figure suivante illustre l'exemple où l'adaptateur d'entrée vidéo et de contrôle S BKM-B13 (non fourni) a été installé.



Pour voir l'illustration d'un exemple de raccordement de l'adaptateur réseau BKM-B30NW (non fourni), reportez-vous au mode d'emploi du BKM-B30NW.

Utilisation des attaches de câbles

Vous pouvez fixer les câbles de connexion et le cordon de d'alimentation secteur avec les attaches A (×2) et B (×4). Fixez les attaches A et B comme illustré ci-dessous.

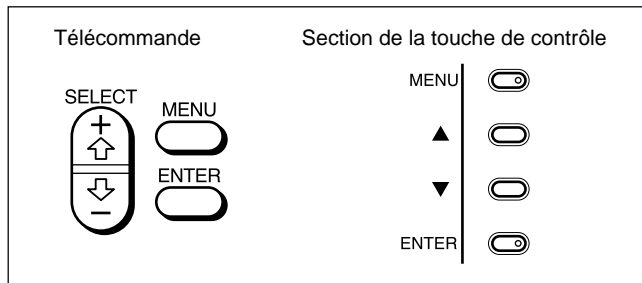


Utilisation des menus d'affichage

Exploitation des menus

Touches d'exploitation des menus

Utilisez les touches de l'écran ou de la télécommande pour les opérations de menu.

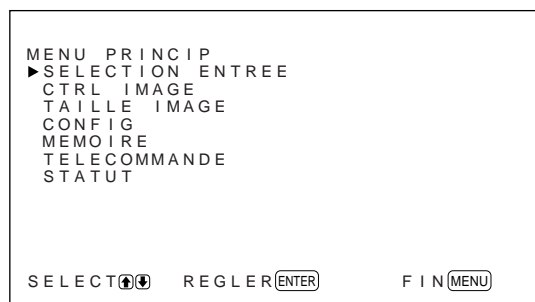


Les touches de la section de la touche de contrôle sont utilisées à titre explicatif dans ce mode d'emploi. La touche SELECT +↑/↓ de la télécommande possède les mêmes fonctions que les touches ▲/▼ de la section de la touche de contrôle.

Configuration des menus

Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section page 36 (FR).

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur ▲/▼ pour déplacer le curseur (►) et appuyez sur ENTER pour sélectionner un menu.
Le menu sélectionné apparaît à l'écran.

- 3 Appuyez sur ▲/▼ pour déplacer le curseur (►) et appuyez sur ENTER pour sélectionner une option.
Le menu de l'option sélectionnée apparaît à l'écran.
- 4 Appuyez sur ▲/▼ pour régler ou sélectionner le réglage et appuyez sur ENTER pour confirmer.
Ce réglage est alors enregistré et l'affichage revient au menu précédent.

Pour revenir à l'écran normal, appuyez sur la touche MENU jusqu'à ce que le menu disparaisse.

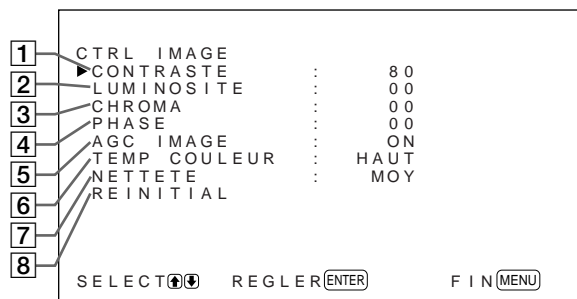
Guide de menu

Remarque

"—" apparaît à côté d'une fonction lorsqu'elle n'est pas disponible. La disponibilité dépend du type de signal d'entrée.

Menu CTRL IMAGE

Ce menu sert au réglage de l'image.



- 1 **CONTRASTE**
Appuyez sur ▲ pour augmenter le contraste et appuyez sur ▼ pour le diminuer.
- 2 **LUMINOSITE**
Appuyez sur ▲ pour rendre l'image plus lumineuse et appuyez sur ▼ pour la rendre plus sombre.
- 3 **CHROMA**
Appuyez sur ▲ pour augmenter la saturation des couleurs et appuyez sur ▼ pour la diminuer.
- 4 **PHASE**
Appuyez sur ▲ pour rendre l'image plus verdâtre et appuyez sur ▼ pour la rendre plus rougeâtre.
- 5 **AGC IMAGE**
Sélectionnez ON pour augmenter automatiquement la luminosité lorsqu'un signal peu lumineux est entré. Cette fonction n'est disponible que pour une entrée VIDEO ou une entrée 15 kHz YUV.

6 TEMP COULEUR

Modifie la température des couleurs.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section “TEMP COULEUR”, page 28 (FR).

7 NETTETE

Modifie le niveau de correction des contours selon les trois niveaux suivants (HAUT, MOY ou BAS).

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section “NETTETE”, page 29 (FR).

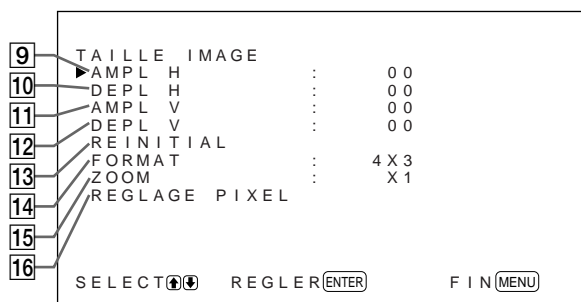
8 REINITIAL

Restaure les réglages usine par défaut des options **1** à **7** du menu CTRL IMAGE.

Pour plus de détails sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section “Restauration des réglages par défaut des options du menu CTRL IMAGE”, page 29 (FR).

Menu TAILLE IMAGE

Ce menu sert au positionnement et au redimensionnement de l'image.

**9 AMPL H**

Règle la taille horizontale de l'image. Appuyez sur ▲ pour agrandir la taille horizontale et appuyez sur ▼ pour la diminuer.

10 DEPL H

Ajuste le centrage horizontal. Appuyez sur ▲ pour déplacer l'image vers la droite et appuyez sur ▼ pour la déplacer vers la gauche.

11 AMPL V

Ajuste la taille verticale de l'image. Appuyez sur ▲ pour agrandir la taille verticale et appuyez sur ▼ pour la diminuer.

12 DEPL V

Ajuste le centrage vertical. Appuyez sur ▲ pour déplacer l'image vers le haut et appuyez sur ▼ pour la déplacer vers le bas.

13 REINITIAL

Restaure les réglages usine par défaut des options **9** à **12** du menu TAILLE IMAGE.

Pour obtenir plus de détails sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section “Restauration de la taille et de la position initiales de l'image”, page 31 (FR).

14 FORMAT

Modifie le format de l'image.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section “Modification du rapport d'aspect”, page 32 (FR).

15 ZOOM

Effectue un zoom avant sur l'image d'un rapport de (dans l'ordre) 2 (x2), 3 (x3), 4 (x4) et revient à la taille initiale de l'image.

Remarque

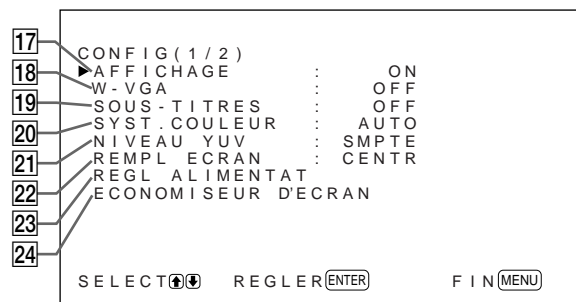
Lorsque vous réglez FORMAT sur ZOOM L ou sur ZOOM LB, “— — —” apparaît et il ne vous est pas possible de régler ZOOM sur x2, x3 ou x4.

16 REGLAGE PIXEL

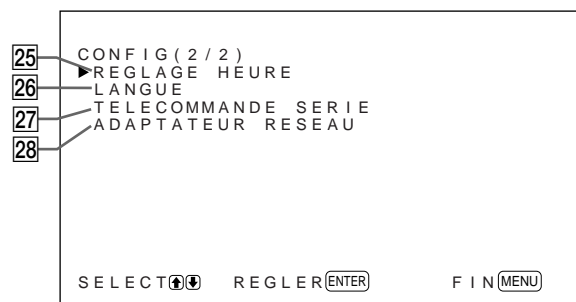
Permet d'ajuster la phase de point ainsi que le nombre total de pixels horizontaux lorsque du bruit apparaît sur les bords des caractères et sur les lignes verticales. Pour plus de détails, reportez-vous à la section “Réglage des pixels”, page 33 (FR).

Menu CONFIG

Ce menu sert à régler le signal ou à sélectionner la langue. Ce menu comporte deux pages ; CONFIG (1/2), CONFIG (2/2). Pour passer d'une page à l'autre, appuyez à plusieurs reprises sur les touches ▲ / ▼, jusqu'à ce l'autre page apparaisse.



PFM-42B1/42B1E : “NIVEAU YUV” n'apparaît pas.



PFM-42B1/42B1E : “TELECOMMANDE SERIE” n'apparaît pas.

Si vous avez installé l'adaptateur réseau (BKM-B30NW), “ADAPTATEUR RESEAU” est ajouté mais n'apparaît dans le PFM-42B1/42B1E.

17 AFFICHAGE

Sélectionnez ON pour afficher les informations du signal d'entrée pendant environ cinq secondes en haut de l'écran lors de la mise sous tension ou de la commutation du signal d'entrée.

18 W-VGA

Sélectionnez ON pour entrer le signal W-VGA (852 × 480).

Lorsque vous réglez cet élément sur ON, le signal d'entrée VGA est défini sur 852 × 480. Sinon, le signal d'entrée VGA est défini sur 640 × 480.

19 SOUS-TITRES

Affiche les sous-titres.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Affichage de sous-titres", page 25 (FR).

20 SYST. COULEUR

Permet de sélectionner le signal d'entrée.

AUTO: pour afficher des signaux NTSC, PAL ou SECAM

443NT: pour afficher des signaux NTSC4.43

PAL60: pour afficher des signaux PAL60

PAL-M: pour afficher les signaux PAL-M

21 NIVEAU YUV (PFM-42B2/42B2E uniquement)

Sélectionnez le niveau du signal du composant.

SMPTE : Signal du niveau SMPTE

BETA : Signal du niveau BETACAM

22 REMPL ECRAN

Permet de sélectionner le point d'origine lors du redimensionnement de l'image.

CENTR: Définit le point d'origine au centre de l'écran.

COIN: Définit le point d'origine dans le coin supérieur gauche de l'écran.

23 REGL ALIMENTAT

Définit la durée au bout de laquelle le système passe en mode d'économie d'énergie.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension (fonction de contrôle de l'énergie)", page 39 (FR).

24 ECONOMISEUR D'ECRAN

Permet d'activer un économiseur d'écran afin de réduire les phénomènes d'image récurrente et d'image fantôme.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réduction d'une image rémanente/fantôme (fonction d'économiseur d'écran)" à la page 37 (FR).

25 REGLAGE HEURE

Permet de régler l'heure.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage de l'heure", page 25 (FR).

26 LANGUE

Permet de sélectionner la langue d'affichage des menus (anglais, allemand, français, italien, espagnol et japonais).

22 (FR)

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Sélection de la langue d'affichage à l'écran", page 36 (FR).

27 TELECOMMANDE SERIE (PFM-42B2/42B2E uniquement)

Réglage de la télécommande de série

Pour plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage de TELECOMMANDE SERIE", page 43 (FR).

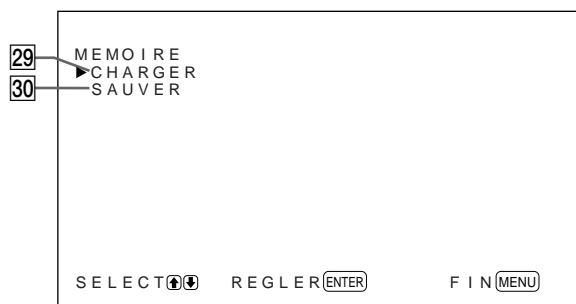
28 ADAPTATEUR RESEAU (PFM-42B2/42B2E uniquement)

Réglage de l'adaptateur réseau.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage de ADAPTATEUR RESEAU", page 44 (FR).

Menu MEMOIRE

Ce menu permet de sauvegarder et de rappeler les réglages des menus CTRL IMAGE et TAILLE IMAGE.



Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Utilisation des fonctions de la mémoire" à la page 34 (FR).

29 CHARGER

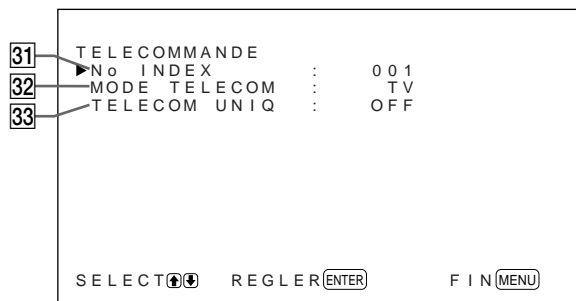
Permet de rappeler les réglages prédéfinis.

30 SAUVER

Permet de sauvegarder les réglages.

Menu TELECOMMANDE

Ce menu sert au réglage de la télécommande.



31 No INDEX

Définit le numéro d'index de l'écran.

Remarque

Lorsque vous définissez le numéro, utilisez les touches de l'écran.

Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe "Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande", page 45 (FR).

[32] MODE TELECOM

Permet de sélectionner le mode de télécommande.

TV: Télécommande de l'écran ou du téléviseur Sony

PJ: Télécommande du projecteur Sony

NON: Désactive la télécommande.


Remarque

Pour changer de mode de télécommande, utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas changer de mode de télécommande avec la télécommande.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Utilisation d'autres modèles de télécommande", page 47 (FR).

[33] TELECOM UNIQ

Sélectionnez ON pour désactiver les touches de commande de l'écran. L'écran ne peut être commandé qu'au moyen de la télécommande.

Pour désactiver le mode TELECOM UNIQ, réglez TELECOM UNIQ sur OFF à l'aide de la télécommande ou appuyez sur la touche MENU tout en maintenant le commutateur  (veille) de l'écran enfoncé. L'écran passe en mode de veille et le mode TELECOM UNIQ est annulé.

Le réglage de cette option reste en mémoire lorsque vous débranchez le cordon d'alimentation secteur ou lorsque vous mettez l'écran sous/hors tension avec la télécommande.

Menu STATUT

Ce menu sert à afficher l'état interne de l'écran.

[34]	STATUT	:	PFM - 42B2E
[35]	NOM MODELE	:	2000001
[36]	NUM SERIE	:	000001H
[37]	TEMPS FONCT	:	Ver 1.00
[38]	LOGICIEL	:	OK
[39]	TEMPERATURE	:	OK
	VENTILATEUR	:	OK

[34] NOM MODELE

Indique le nom du modèle.

La description de cette section est basée sur le PFM-42B2E.

[35] NUM SERIE

Indique le numéro de série.

[36] TEMPS FONCT

Indique le nombre total d'heures d'utilisation.

Remarque

Le mode de veille n'est pas comptabilisé dans les heures d'utilisation.

[37] LOGICIEL


Indique la version du logiciel du système.

[38] TEMPERATURE

Indique si la température interne de l'écran est normale.

OK: Normal

NG: Anormal

Lorsque la température interne est anormale, NG s'affiche et l'option clignote en rouge. L'indicateur STANDBY de la section du commutateur / indicateur  (veille) clignote également.

Remarque

Il est possible que le message "TEMPERATURE NG" apparaisse lorsque les orifices de ventilation sont obstrués ou lorsque l'écran est installé dans un endroit mal ventilé. Dans ce cas, vérifiez que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués et installez l'écran dans une zone bien aérée. Si le message reste affiché, contactez votre distributeur Sony agréé.


Lorsque l'indicateur STANDBY clignote ou que NG s'affiche, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 45 (FR).

[39] VENTILATEUR

Des ventilateurs de refroidissement sont intégrés dans cet écran. Cette option indique que les ventilateurs de refroidissement fonctionnent correctement.

OK: Normal

NG: Anormal

Lorsque les ventilateurs de refroidissement ne fonctionnent pas correctement, NG s'affiche et l'option clignote en rouge. L'indicateur STANDBY de la section du commutateur / indicateur  (veille) clignote également.

Remarques

- Lorsque le message "VENTILATEUR NG" apparaît, contactez votre distributeur Sony agréé.

Lorsque l'indicateur STANDBY clignote ou que NG s'affiche, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 45 (FR).

- Les ventilateurs de refroidissement détectent la température interne de l'écran et commandent la vitesse des ventilateurs. Si la température ambiante est élevée, la vitesse des ventilateurs augmente et les bruits émis sont plus importants.

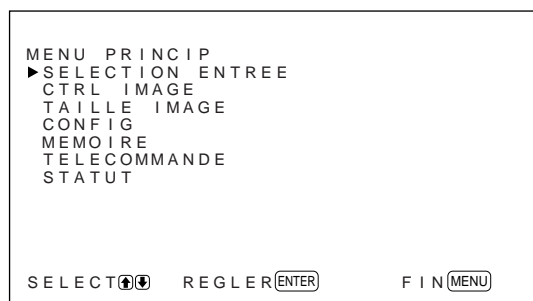
Visualisation de l'image

Avant de commencer

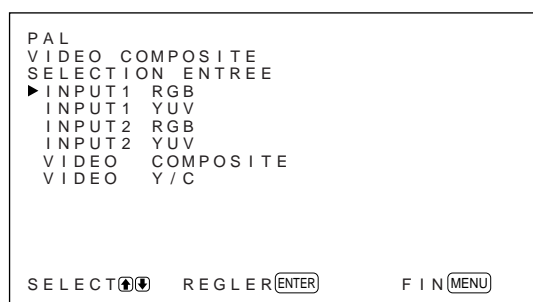
- Mettez l'écran sous tension.
- Mettez l'appareil raccordé sous tension et activez la lecture d'une source vidéo.
- Pour afficher sur l'écran les informations du signal d'entrée au moment de la mise sous tension ou de la commutation du signal d'entrée, définissez "AFFICHAGE" sur ON dans le menu CONFIG (1/2).
- Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section page 36 (FR).

Commutation du signal d'entrée

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur "SELECTION ENTREE" puis appuyez sur ENTER.
Le signal d'entrée sélectionné et le menu SELECTION ENTREE apparaissent à l'écran.



- 3 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur la source d'entrée à afficher puis appuyez sur ENTER.
INPUT1 RGB: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT1 lorsque le signal d'entrée est un signal RVB.
INPUT1 YUV: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT1 lorsque le signal d'entrée est un signal de composante.

INPUT2 RGB: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT2 lorsque le signal d'entrée est un signal RVB.

INPUT2 YUV: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT2 lorsque le signal d'entrée est un signal composante.

VIDEO COMPOSITE: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo du connecteur COMPOSITE IN et de la prise AUDIO IN parmi les connecteurs VIDEO.

VIDEO Y/C: Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo du connecteur Y/C IN et de la prise AUDIO IN au niveau des connecteurs VIDEO.

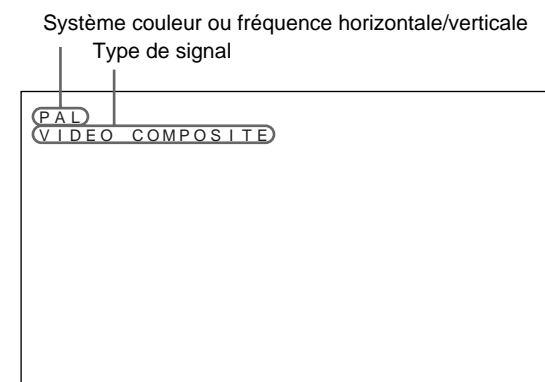
(Pour le PFM-42B1E/42B2E, VIDEO COMPOSITE et VIDEO Y/C apparaissent uniquement lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 ou l'adaptateur S de contrôle et d'entrée vidéo BKM-B13 (non fourni) est installé.)

INPUT3 RGB: Sélectionne le signal d'entrée (signal RVB) à partir de l'appareil raccordé au connecteur INPUT 3.
(Uniquement si l'adaptateur de composant BKM-B12 est installé.)

INPUT3 YUV: Sélectionne le signal d'entrée (signal du composant) à partir de l'appareil raccordé au connecteur INPUT3.
(Uniquement si l'adaptateur de composant BKM-B12 est installé.)

INPUT3 PC: Sélectionne le signal à partir de l'adaptateur réseau BKM-B30NW installé dans le connecteur VIDEO.
(Uniquement lorsque l'adaptateur réseau BKM-B30NW est installé.)

Le signal d'entrée sélectionné apparaît à l'écran.



Vous pouvez également commuter le signal d'entrée au moyen de la télécommande.

Remarque

Nous vous recommandons d'utiliser comme source d'entrée un appareil vidéo doté d'un correcteur de base de temps (TBC). Si le moniteur reçoit un signal sans TBC, il se peut que l'image disparaisse en raison de perturbations du signal de synchronisation.

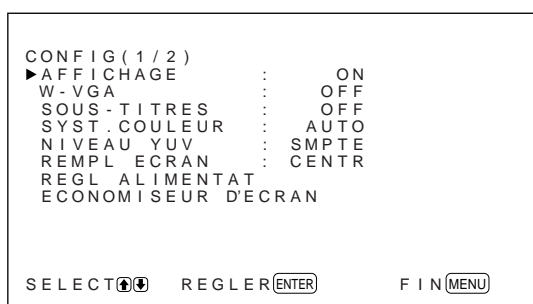
Commutation du mode d'affichage

Affichage de sous-titres

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "CONFIG" puis appuyez sur ENTER.
Le menu CONFIG (1/2) apparaît à l'écran.



- 3 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "SOUS-TITRES" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

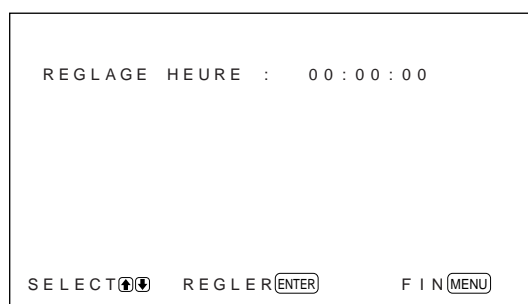


- 4 Sélectionnez le type de sous-titres à l'aide des touches ▲ / ▼.
OFF: Le sous-titre n'est pas affiché.
LEG1: Affiche caption1 sur l'image.
LEG2: Affiche caption2 sur l'image.
TEXT1: Affiche caption1 sur un fond noir.
TEXT2: Affiche caption2 sur un fond noir.

- 5 Appuyez sur MENU.
Le menu CONFIG (1/2) réapparaît.

Réglage de l'heure

- 1 Dans le menu CONFIG (2/2), appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REGLAGE HEURE" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur ENTER.
L'arrière-plan de l'heure s'affiche en couleur cyan.
- 3 Sélectionnez l'heure à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le réglage de l'heure est validé et l'arrière-plan des minutes s'affiche en couleur cyan.
- 4 Réglez les minutes de la même façon et appuyez sur ENTER.
Le réglage des minutes est validé et les secondes sont réinitialisées sur 00.

Pour afficher l'heure

Appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande. L'heure s'affiche dans le coin supérieur droit de l'écran.

Affichage du signal d'entrée et des informations d'état de l'écran

Le signal d'entrée et les informations d'état de l'écran sont affichés à l'écran pendant environ cinq secondes lorsque l'écran est mis sous tension ou lorsque vous commutez le signal d'entrée.

Pour désactiver cette fonction, suivez cette procédure:

- 1** Dans le menu CONFIG (1/2), appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "AFFICHAGE" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour définir AFFICHAGE sur OFF et appuyez sur ENTER.
La fonction AFFICHAGE est désactivée.

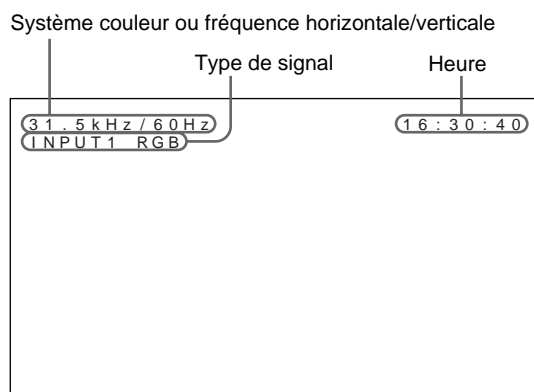
Pour afficher les informations

Réglez AFFICHAGE sur ON à l'étape 2 ci-dessus. La valeur par défaut est ON.

Remarque

Vous pouvez afficher les informations du signal d'entrée et l'heure à tout moment en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande, quel que soit le réglage ci-dessus. Cet affichage reste à l'écran jusqu'à ce que vous appuyiez de nouveau sur la touche DISPLAY pour le masquer.

Liste des informations du signal d'entrée



Signaux d'entrée présélectionnés			
	Nom du signal	Système couleur ou fréquence horizontale/verticale	
Signaux de l'ordinateur			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I-O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA est une marque déposée de Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.
d) Ce réglage n'est disponible que lorsque vous utilisez une carte d'accélération graphique fabriquée par I-O DATA Corporation.
e) Ce réglage n'est disponible que lorsque vous utilisez une carte graphique fabriquée par Matrox Graphics Inc.

Remarques

- Lors de l'entrée d'un signal HDTV, entrez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la seconde broche du connecteur INPUT1 ou INPUT2 (D-sub 15-broches).
- Lors de l'entrée d'un signal d'un ordinateur à la résolution affichée en No. 29, réglez AMPL H, DEPL H, AMPL V et DEPL V sur la valeur standard (00) et réglez ZOOM sur ×1 dans le menu TAILLE IMAGE. Sinon, il est possible que l'image oscille.
- Si la couleur de l'image est trop claire après avoir entré le signal DVD dans le PFM-42B1/42B1E, réglez la couleur dans le réglage "CHROMA" du menu CTRL IMAGE.
Dans le PFM-42B2/42B2E, sélectionnez "SMPTE" dans NIVEAU YUV dans le menu CONFIG.
- Pour afficher en 480/60p, entrez un signal YUV. Si vous entrez un signal RVB, le système considérera que la fréquence est un signal VGA et affichera 31,5 kHz/59.9Hz, la phase de l'écran sera inactive et la résolution sera réduite par rapport à une entrée YUV. Pour aborder les problèmes de phase de l'écran, utilisez les options DEPL H et DEPL V dans le menu Réglage du signal ou utilisez les touches H SHIFT, V SHIFT et SELECT de la télécommande RM-42B pour procéder aux réglages nécessaires.
- Lors de l'entrée d'un signal DTV (No.7 à No.14), l'entrée utilise un signal YUV.

Affichage à l'écran de l'état de l'appareil

Affichage à l'écran	Signification
31.5kHz / 59.9Hz (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal RVB d'un ordinateur.
480 / 60I (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
AUTRES	Le signal d'entrée sort de la plage de saisie.
PAS DE SYNC	Il n'y a pas de signal d'entrée.
INPUT1 RGB	Le mode de signal de INPUT1 est réglé sur RVB.
INPUT1 YUV	Le mode de signal de INPUT1 est réglé sur le signal vidéo composante.
VIDEO COMPOSITE	L'entrée vidéo composite est sélectionnée sur VIDEO.
VIDEO Y/C	L'entrée vidéo Y/C est sélectionnée sur VIDEO.

Réglage de l'image

Pendant que vous visionnez l'image, vous pouvez régler à votre gré le contraste, la luminosité, l'intensité des couleurs, la phase, etc. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour chacun des signaux d'entrée. Vous pouvez également enregistrer en mémoire les réglages effectués.

Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc.

Appuyez sur MENU de façon à ce que le menu principal apparaisse à l'écran, puis sélectionnez "CONTRASTE", "LUMINOSITE", "CHROMA", "PHASE", "AGC IMAGE", "TEMP COULEUR" ou "NETTETE" dans le menu CTRL IMAGE à l'aide des touches ▲ / ▼.

CONTRASTE

Sélectionnez "CONTRASTE" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Ajustez le contraste à l'aide des touches ▲ / ▼ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (+100).

- ▲: pour augmenter le contraste de l'image
- ▼: pour diminuer le contraste de l'image

LUMINOSITE

Sélectionnez "LUMINOSITE" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Ajustez la luminosité à l'aide des touches ▲ / ▼ dans la plage allant de MIN (-50) à MAX (+50).

- ▲: pour rendre l'image plus brillante
- ▼: pour rendre l'image plus sombre

CHROMA

Sélectionnez "CHROMA" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Ajustez l'intensité des couleurs à l'aide des touches ▲ / ▼ dans la plage allant de MIN (-50) à MAX (+50).

- ▲: pour augmenter l'intensité des couleurs
- ▼: pour diminuer l'intensité des couleurs

PHASE

Sélectionnez "PHASE" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Ajustez la phase à l'aide des touches ▲ / ▼ dans la plage allant de MIN (-50) à MAX (+50).

- ▲: pour donner à l'image une teinte verdâtre
- ▼: pour donner à l'image une teinte rougeâtre

Contrôle automatique de la luminosité — Amélioration du contraste de l'image

Si la luminosité moyenne de l'image est faible, le système peut automatiquement augmenter le niveau de contraste afin d'améliorer la luminosité. Cette fonction marche très bien dans le cas de l'affichage d'images sombres.

Sélectionnez "AGC IMAGE" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Définissez AGC IMAGE sur ON ou OFF à l'aide des touches ▲ / ▼.

TEMP COULEUR (température couleur)




Vous pouvez également régler la température des couleurs. Vous pouvez sélectionner HAUT ou BAS ou effectuer des réglages plus précis. Vous pouvez utiliser jusqu'à six températures de couleurs. Ces couleurs peuvent être renommées (jusqu'à six caractères au maximum).

- 1 Sélectionnez "TEMP COULEUR" à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
- 2 Sélectionnez la température de couleur à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
HAUT: pour définir la température de couleur sur HAUT
BAS: pour définir la température de couleur sur BAS
1 – 6: pour effectuer des réglages plus précis

Lorsque vous sélectionnez HAUT ou BAS, le menu CTRL IMAGE réapparaît.

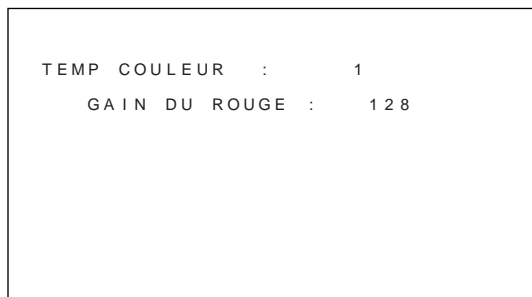
Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre "1" et "6"

Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre "1" à "6", le menu suivant apparaît à l'écran.

TEMP COULEUR :				1
GAIN	DU	ROUGE	:	128
GAIN	DU	VERT	:	128
GAIN	DU	BLEU	:	128
REGL	NOM			
SELECT  REGLER  FIN 				

Le PFM-42B1/42B1E affiche "255" pour chaque gain.

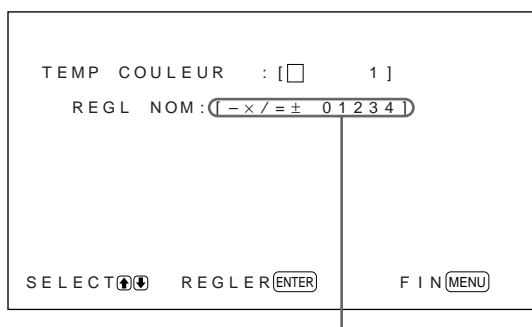
- (1) Sélectionnez une valeur à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le curseur (►) apparaît à l'écran.
- (2) Déplacez le curseur (►) à l'aide des touches ▲ / ▼ vers le gain que vous souhaitez régler puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- (3) Ajustez le gain (de 0 à 255) à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur MENU.
Le menu TEMP COULEUR réapparaît.
La plage variable du PFM-42B1/42B1E est 10 – 255.
- (4) Répétez les étapes (2) et (3) pour ajuster d'autres réglages de gain et appuyez sur MENU.
Le menu TEMP COULEUR réapparaît.

Lorsque vous renommez la température de couleur ajustée, procédez comme suit.

- (5) Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REGL NOM" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



Liste de caractères

- (6) Sélectionnez le caractère à changer à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
L'arrière-plan de l'un des caractères de la liste prend la couleur cyan.
- (7) Sélectionnez un caractère dans la liste des caractères à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le caractère sélectionné est entré.
- (8) Répétez les étapes (6) et (7) jusqu'à ce que le nom soit renommé et appuyez sur MENU.
Le menu TEMP COULEUR réapparaît.

NETTETE

Vous pouvez modifier le niveau de correction des contours selon l'un des trois niveaux (HAUT, MOY ou BAS).

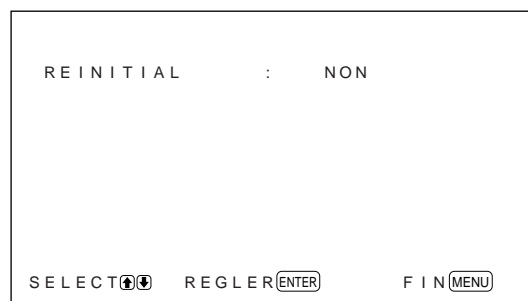
- 1 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "NETTETE" puis appuyez sur ENTER.
- 2 Sélectionnez le niveau de correction de contour de votre choix à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur la touche ENTER.
HAUT: des images au contour plus précis
MOY: réglage standard
BAS: des images au contour plus diffus

Remarques

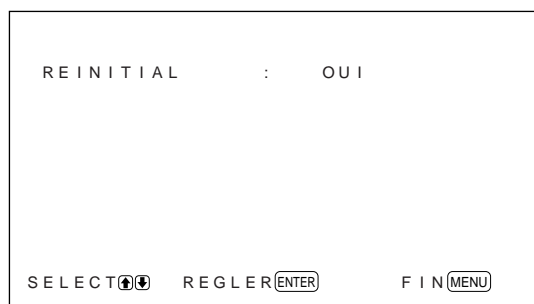
- Les commandes CHROMA et PHASE sont inopérantes avec un signal RVB.
- La commande PHASE est inopérante avec un signal composante.
- La commande PHASE est inopérante avec une source de couleur PAL ou SECAM.
- Ne modifiez pas le niveau CHROMA/PHASE (NTSC uniquement) si le signal sélectionné n'est pas un signal noir et blanc.
Bien qu'il n'ait aucun effet sur l'image actuelle, il affectera l'image des signaux couleur tels que NTSC ou PAL pouvant être entrés ultérieurement.
- Pendant le réglage des valeurs CONTRASTE, LUMINOSITE, CHROMA ou PHASE, la valeur affichée à l'écran n'est pas synchronisée avec la modification.

Restauration des réglages par défaut des options du menu CTRL IMAGE

- 1 Dans le menu CTRL IMAGE, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REINITIAL" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼.
“NON” devient “OUI”.



- 3** Appuyez sur ENTER.
Les options du menu CTRL IMAGE sont restaurées à leurs valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation
Appuyez sur MENU puis ENTER.

Redimensionnement et positionnement de l'image

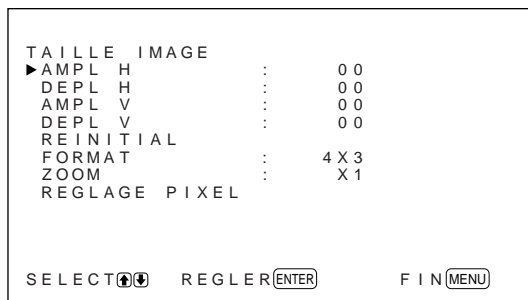
Vous pouvez décaler la position de l'image de manière à ce qu'elle s'adapte à l'écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l'image.

Réglage de la taille de l'image

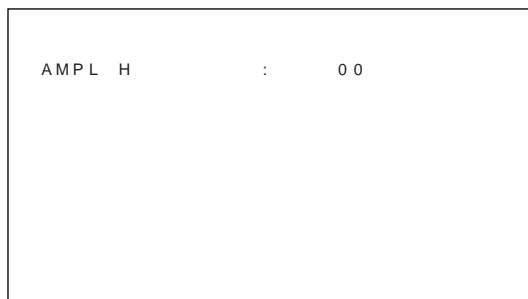
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur “TAILLE IMAGE” puis appuyez sur ENTER.
Le menu TAILLE IMAGE apparaît à l'écran.



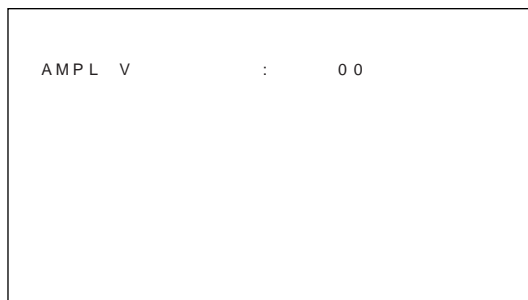
- 3** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur “AMPL H” puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour redimensionner l'image.
▲: pour augmenter la taille horizontale
▼: pour réduire la taille horizontale
La taille horizontale de l'image est affichée à l'écran dans la plage allant de MIN (– 50) à MAX (+ 50).

- 5** Appuyez sur ENTER.
Le menu TAILLE IMAGE s'affiche à nouveau.

- 6** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur “AMPL V” puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

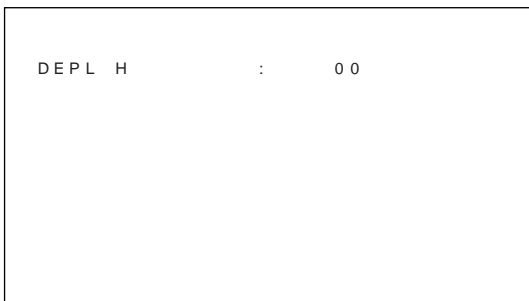


- 7** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour redimensionner l'image.
 ▲: pour augmenter la taille verticale
 ▼: pour réduire la taille verticale
 La taille verticale de l'image est affichée à l'écran dans la plage allant de MIN (–50) à MAX (+ 50).
 La valeur par défaut est 00.

- 8** Appuyez sur ENTER.
 Le menu TAILLE IMAGE réapparaît.

Réglage de la position de l'image

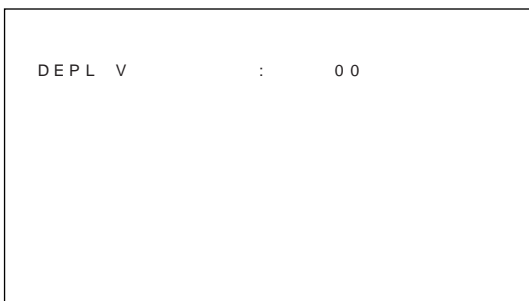
- 1** Dans le menu TAILLE IMAGE, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "DEPL H" et appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour décaler l'image.
 ▲: pour décaler l'image vers la droite
 ▼: pour décaler l'image vers la gauche
 La position horizontale de l'image est affichée à l'écran dans la plage allant de MIN (– 50) à MAX (+ 50). La valeur par défaut est 00.

- 3** Appuyez sur ENTER.
 Le menu TAILLE IMAGE s'affiche à nouveau.

- 4** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "DEPL V" puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 5** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour décaler l'image.
 ▲: pour décaler l'image vers le haut
 ▼: pour décaler l'image vers le bas
 La position de l'image verticale est affichée sur l'écran du moniteur, dans la plage allant de MIN (–50) à MAX (+50). La valeur par défaut est 00.

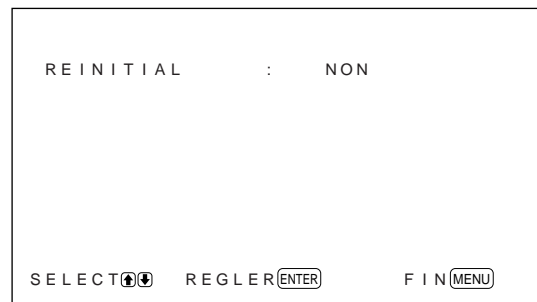
- 6** Appuyez sur ENTER.
 Le menu TAILLE IMAGE réapparaît.

Remarque

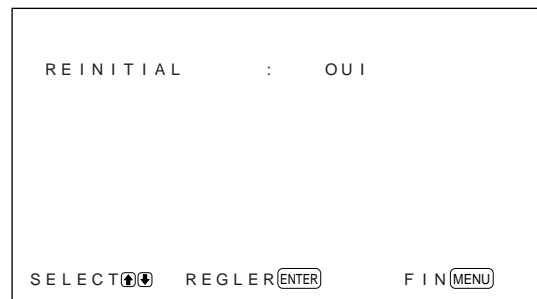
Vous ne pouvez pas redimensionner ou ajuster la position de l'image au-delà de la plage de réglage. La plage de réglage diffère suivant les types du signal d'entrée.

Restauration de la taille et de la position initiales de l'image

- 1** Dans le menu TAILLE IMAGE, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REINITIAL" et appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼.
 "NON" devient "OUI".



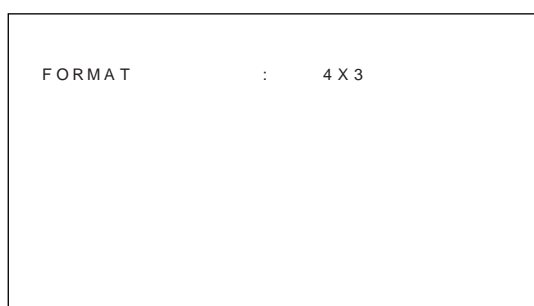
- 3** Appuyez sur ENTER.
 La taille et la position initiales de l'image sont restaurées.

Pour annuler la fonction de réinitialisation
 Appuyez sur MENU puis ENTER.

Modification du rapport d'aspect d'aspect

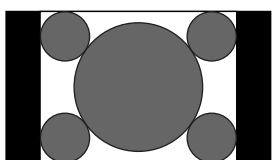
Cet écran peut afficher des images selon différents rapports d'aspect, tel que le rapport d'aspect 4:3 des programmes télévisés standard ou une image grand format, etc. Ceci vous permet de choisir le rapport d'aspect qui convient le mieux aux images que vous regardez.

- 1 Dans le menu TAILLE IMAGE, appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "FORMAT" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Sélectionnez un rapport d'aspect avec les touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
4×3: pour afficher une image 4:3 standard
16×9: pour afficher une image grand format 16:9
ZOOM L: pour agrandir naturellement une image 4:3 sur un écran 16:9 comme illustré ci-dessous
ZOOM LB (letterbox): pour agrandir des images selon différents rapports d'aspect pour qu'elle s'adapte naturellement à l'écran jusqu'aux coins gauche et droit, comme illustré ci-dessous

Image 4:3 standard



Réglez FORMAT sur ZOOM L et les deux linéarités sur standard (00)

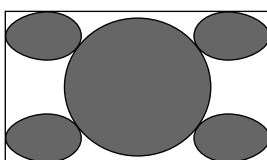
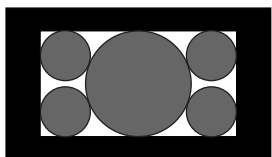
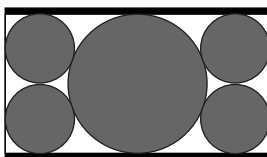


Image grand écran, par exemple CinemaScope, VistaVision, etc.



Réglez FORMAT sur ZOOM LB



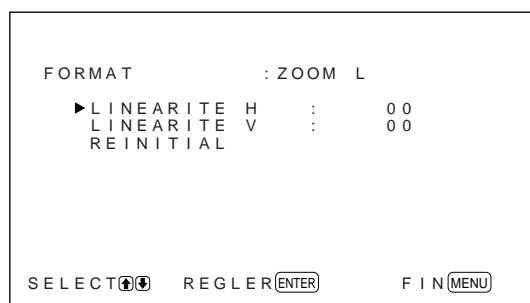
Remarques

- Si vous sélectionnez ZOOM L ou ZOOM LB, nous vous recommandons de définir les paramètres AMPL H, DEPL H, AMPL V et DEPL V sur la valeur standard (00). Si vous modifiez ces paramètres de façon excessive, l'affichage ZOOM L ou ZOOM LB risque d'être distordu. Avant de sélectionner ZOOM L ou ZOOM LB, réglez ZOOM sur ×1. Si ZOOM est réglé sur ×2, ×3 ou ×4, il n'est pas possible de sélectionner ZOOM L ou ZOOM LB.
- Des bandes noires peuvent apparaître en haut et en bas de l'écran en fonction du type du signal d'entrée.

Réglage des linéarités

Lorsque vous réglez FORMAT sur ZOOM L, vous pouvez modifier les linéarités en réglant les paramètres LINEARITE H et LINEARITE V.

- 1 Dans le menu FORMAT, appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "ZOOM L" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "LINEARITE H" ou "LINEARITE V" puis appuyez sur ENTER.
LINEARITE H: pour changer la linéarité dans la direction horizontale
LINEARITE V: pour changer la linéarité dans la direction verticale

Le menu suivant apparaît à l'écran. (L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre LINEARITE H.)



- 3** Ajustez la taille de l'écran à l'aide des touches ▲ / ▼.

Pour restaurer les éléments en mode zoom large à leurs paramètres initiaux.

Dans le menu FORMAT, sélectionnez ZOOM L et appuyez sur ENTER. Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REINITIAL" puis appuyez sur ENTER. Sélectionnez OUI à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Remarque

Pendant le réglage des valeurs AMPL H, DEPL H, AMPL V, DEPL V, LINEARITE H ou LINEARITE V, la valeur affichée à l'écran n'est pas synchronisée avec la modification.

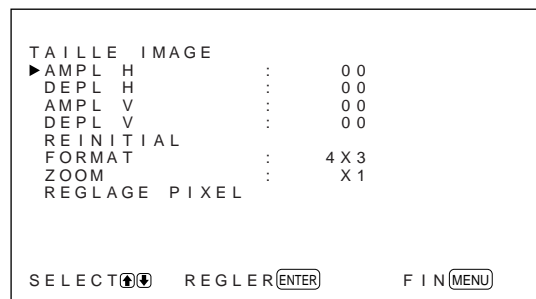
Réglage des pixels

S'il y a trop de parasites sur les contours des caractères ou des lignes verticales, vous pouvez ajuster la phase de point et le nombre total de pixels horizontaux.

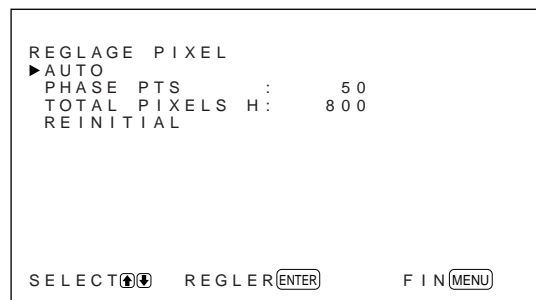
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "TAILLE IMAGE" puis appuyez sur ENTER.
Le menu TAILLE IMAGE apparaît à l'écran.



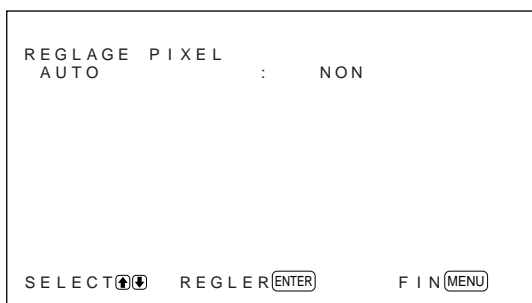
- 3** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REGLAGE PIXEL" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Vous pouvez ajuster la phase de point et le nombre total de pixels horizontaux automatiquement ou manuellement.

Ajustement automatique

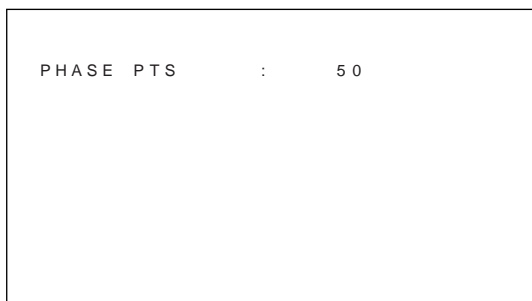
- (1) Sélectionnez AUTO à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- (2) Sélectionnez OUI à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
La phase de point et le nombre total de pixels horizontaux sont ajustés automatiquement.

Ajustement manuel

- (1) Sélectionnez PHASE PTS ou TOTAL PIXELS H à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.
(L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre PHASE PTS.)



- (2) Ajustez la phase de point ou le nombre total de pixels horizontaux à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Pour restaurer les options de menu REGLAGE PIXEL à leurs paramètres d'origine

Dans le menu REGLAGE PIXEL, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REINITIAL" et appuyez sur ENTER. Sélectionnez ON à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Remarques

- L'ajustement de la phase de points est efficace pour les signaux d'ordinateur (sauf pour UXGA et supérieur).
- S'il est impossible d'éliminer les parasites à l'aide de l'Ajustement automatique, procédez à un Ajustement manuel fin.
- Il est très commode d'utiliser une mire quadrillée comme signal d'entrée lors de l'ajustement de la phase de points.
- Si vous êtes en train de régler la valeur REGLAGE PIXEL, la valeur affichée à l'écran n'est pas synchronisée avec la modification.

Utilisation des fonctions de la mémoire

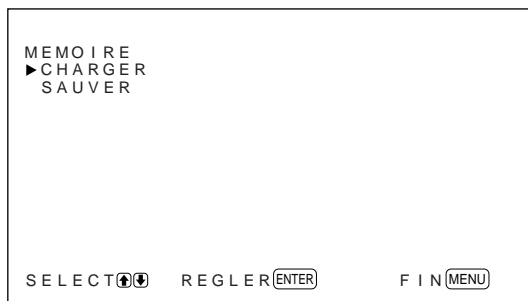
Vous pouvez sauvegarder les réglages actuels de l'image pour chaque signal d'entrée à l'aide de la fonction MEMOIRE. Les réglages enregistrés peuvent être rappelés à tout moment. Les éléments des menus CTRL IMAGE et TAILLE IMAGE peuvent être mémorisés. Vous pouvez enregistrer les paramètres d'image de vingt signaux d'entrée au maximum. Ces paramètres peuvent être nommés (jusqu'à dix caractères au maximum).

Mémorisation des réglages actuels

- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.

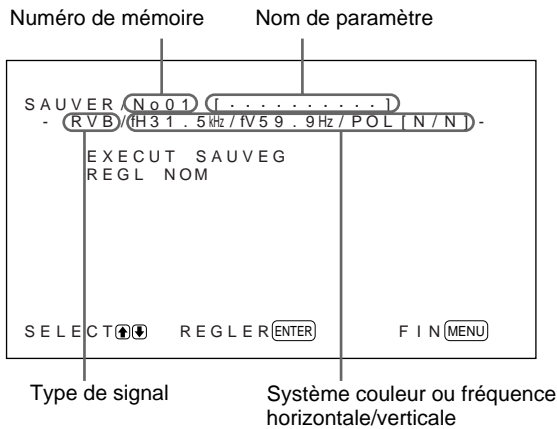


- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "MEMOIRE" puis appuyez sur ENTER.
Le menu MEMOIRE apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “SAUVER” puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l’écran.

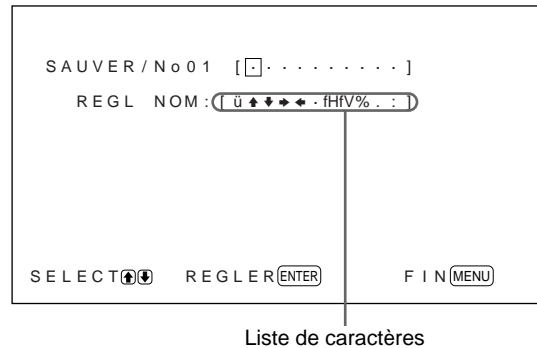


S’il n’y a pas de données dans le numéro de mémoire sélectionné, le message “-- VIDE --” apparaît à l’écran en couleur cyan. Le type de signal et le système couleur ou fréquence horizontale/verticale sont affichés en couleur cyan (le type de signal du numéro de mémoire sélectionné est le même que celui du réglage actuel) ou en jaune (le type de signal du numéro de mémoire sélectionné n’est pas le même que celui du réglage actuel).

- 4** Sélectionnez un numéro de mémoire (de 01 à 20) à l’aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. Le curseur (►) apparaît à l’écran.

- 5** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “EXECUT SAUVEG” puis appuyez sur ENTER. Les réglages en cours sont enregistrés sous le numéro de mémoire sélectionné. Le message “SAUVEGARDE TERMINEE” apparaît et clignote pendant environ cinq secondes. Lorsque vous renommez le paramètre, procédez comme suit.

- 6** Appuyez sur ENTER, puis sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) vers “REGL NOM” et appuyez de nouveau sur ENTER. Le menu suivant apparaît sur l’écran du moniteur.



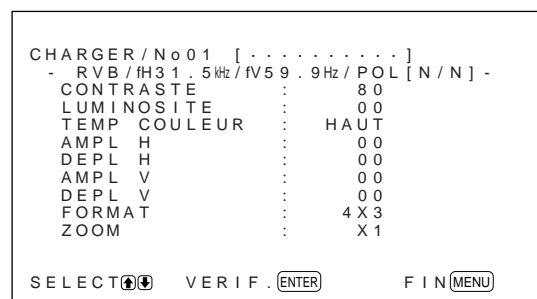
- 7** Sélectionnez le caractère à modifier, à l’aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. L’arrière-plan de l’un des caractères de la liste prend la couleur cyan.
- 8** Sélectionnez un caractère dans la liste des caractères à l’aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. Le caractère sélectionné est validé.
- 9** Répétez les étapes **7** et **8** jusqu’à ce que le nom soit renommé et appuyez sur MENU. Le menu SAUVER s’affiche à nouveau.

Remarque

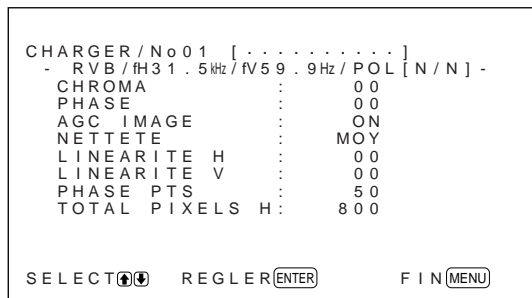
Si la mémorisation des paramètres échoue, le message “ERREUR SAUVEGARDE” s’affiche à l’écran. Essayez à nouveau de mémoriser le paramètre.

Appel d’un paramètre sélectionné

- 1** Dans le menu MEMOIRE, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “CHARGER” et appuyez sur ENTER. La première page des paramètres mémorisés s’affiche à l’écran.



- 2** Sélectionnez un numéro de mémoire (de 01 à 20) à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. La seconde page des paramètres mémorisés s'affiche à l'écran.



Le type de signal et le système couleur ou fréquence horizontale/verticale sont affichés dans la couleur cyan (le type de signal du numéro de mémoire sélectionné est le même que celui du réglage actuel et vous pouvez appeler le réglage mémorisé) ou en rouge (le type de signal du numéro de mémoire sélectionné n'est pas le même que celui du paramètre actuel et vous ne pouvez pas appeler le paramètre mémorisé).

- 3** Appuyez sur ENTER. Le message "CHARG. TERMINE" s'affiche et clignote pendant environ cinq secondes et l'image est ajustée en fonction du paramètre sélectionné.

Remarque

Si la mémorisation des paramètres échoue, le message "ERREUR CHARG." s'affiche à l'écran. Essayez à nouveau de charger le paramètre.

Sélection de la langue d'affichage à l'écran

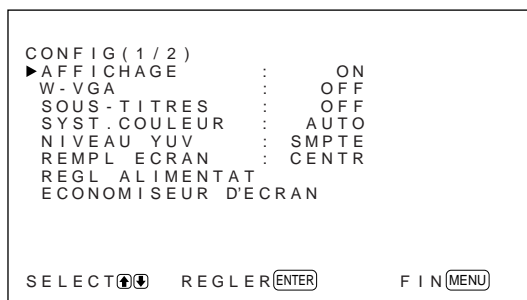
Les langues d'affichage possibles sont l'anglais, l'allemand, le français, l'italien, l'espagnol ou le japonais.

- 1** Appuyez sur MENU. Le menu principal apparaît à l'écran.



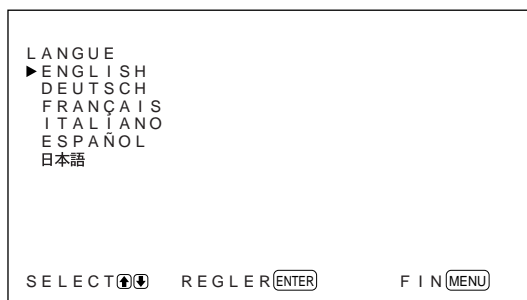
- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "CONFIG" puis appuyez sur ENTER.

Le menu CONFIG (1/2) apparaît à l'écran.



- 3** Déplacez le curseur (►) à l'aide des touches ▲ / ▼ vers "LANGUE" dans le menu CONFIG (2/2) puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur la langue de votre choix et appuyez sur ENTER.

La langue d'affichage que vous avez sélectionnée est activée.

ENGLISH: anglais
DEUTSCH: allemand
FRANÇAIS: français
ITALIANO: italien
ESPAÑOL: espagnol
 日本語: japonais

- 5** Appuyez sur MENU. Le menu CONFIG (2/2) s'affiche à nouveau.

Réduction d'une image rémanente/fantôme (fonction d'économiseur d'écran)

Si une image fixe ou une image d'écran d'ordinateur, dont la luminosité ne change pas, reste affichée pendant une longue durée, une image rémanente peut se former sur l'écran. Pour éviter ce phénomène ou pour essayer de le réduire, cet appareil est doté d'une fonction d'économiseur d'écran. Cette dernière possède deux économiseurs d'écran. L'un inverse l'image (INVERS. IMAGE) tandis que l'autre modifie automatiquement la position de l'image affichée (MOUVEM. IMAGE).

Situations susceptibles d'entraîner la formation de traînées de lumière ou d'une image rémanente

- 1 Bandes noires apparaissant dans le haut et le bas de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format grand écran (image au format Letter box),
- 2 Bandes noires apparaissant sur la gauche et la droite de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format d'écran 4:3 (diffusions d'émissions de télévision normales),
- 3 Sources de jeux vidéo,
- 4 Affichages des menus à l'écran des DVD,
- 5 Menus à l'écran, numéros des canaux, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc.

Remarque

Vous trouverez ci-dessous d'autres méthodes pour réduire la formation de traînées de lumière ou d'une image rémanente.

- Éviter d'afficher les numéros de canaux, les menus à l'écran, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc. Pour désactiver l'affichage des numéros de canaux ou des menus à l'écran, reportez-vous au manuel de l'utilisateur de l'appareil raccordé.
- Réduire la luminosité de l'image et afficher la source vidéo en mode "Z. large" (zoom large) ou "Plein".

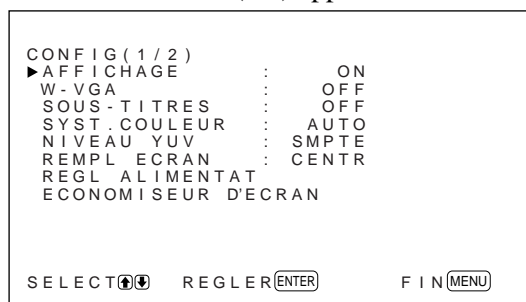
Inversion de l'image

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



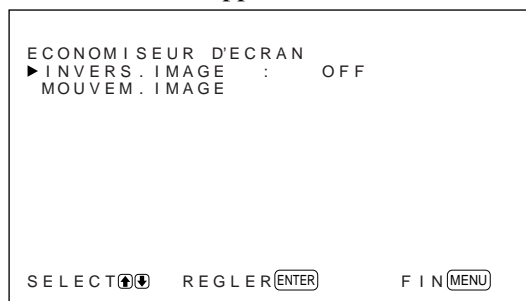
- 2 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "CONFIG" puis appuyez sur ENTER.

Le menu CONFIG (1/2) apparaît à l'écran.



- 3 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "ECONOMISEUR D'ECRAN" puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



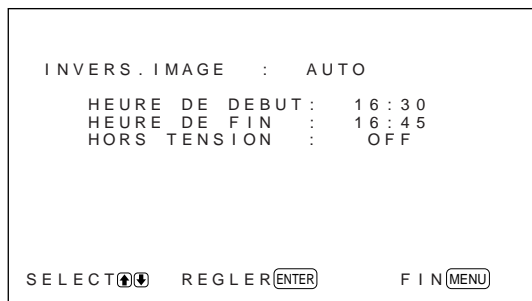
- 4 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "INVERS. IMAGE" puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 5 Sélectionnez le mode INVERS.IMAGE à l'aide des touches ▲ / ▼.
OFF: pour désactiver le mode INVERS. IMAGE
ON: pour activer le mode INVERS. IMAGE
AUTO: pour effectuer le mode INVERS. IMAGE une fois par jour

Lorsque vous sélectionnez AUTO, le menu suivant s'affiche sur l'écran:



- (1) Appuyez sur ENTER.
Le curseur (►) apparaît à l'écran.

Remarques sur l'option "INVERS. IMAGE" (Inversion de l'image) du menu "ECONOMISEUR D'ECRAN"

Si l'image s'affiche comme un négatif de film, "INVERS. IMAGE" (Inversion de l'image) dans "ECONOMISEUR D'ECRAN" est peut-être réglé sur "AUTO" ou "ON". Pour revenir à une image normale, sélectionnez "OFF" ou modifiez le délai spécifié dans "AUTO". L'option "INVERS. IMAGE" (Inversion de l'image) permet d'invertir les teintes de l'image (p. ex. le blanc devient noir et le noir devient blanc) et de corriger le phénomène d'image rémanente de l'image affichée. En mode d'inversion de l'image, celle-ci ressemble à un négatif de film. Ceci n'a rien d'anormal.

- (2) Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "HEURE DE DEBUT" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît et l'arrière-plan de l'heure s'affiche en couleur cyan.

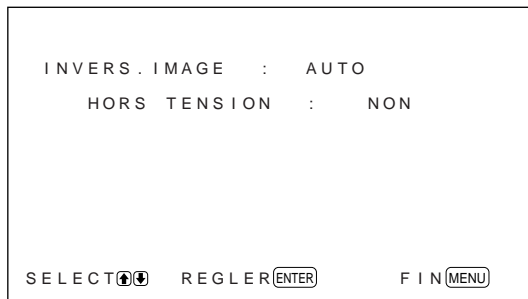


- (3) Définissez l'heure à laquelle l'image doit être inversée à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le réglage de l'heure est défini et l'arrière-plan des minutes s'affiche en couleur cyan.
- (4) Définissez les minutes à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur MENU.
Le réglage des minutes est défini et le menu INVERS.IMAGE réapparaît.

- (5) De la même façon, définissez l'heure à laquelle le mode INVERS. IMAGE doit être annulé.
L'image affichée sera inversée à l'HEURE DE DEBUT et retrouvera son aspect d'origine à l'HEURE DE FIN. Ce cycle a lieu automatiquement une fois par jour.

Pour passer au mode de veille à l'heure spécifiée via la fonction HEURE DE FIN

- 1** Après avoir sélectionné AUTO pour le mode INVERS. IMAGE, sélectionnez HORS TENSION et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



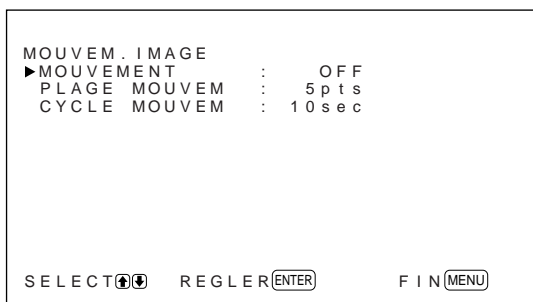
- 2** Sélectionnez OUI à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur MENU.
L'affichage passe en mode de veille à l'HEURE DE FIN spécifiée.

Remarques

- Les fonctions de mise hors tension, d'économie d'énergie et d'activation/désactivation de la minuterie dans le menu REGL ALIMENTAT ne peuvent pas être utilisées simultanément. Lorsque l'une de ces fonctions est définie sur ON (OUI), "—" apparaît à côté des autres fonctions et celles-ci ne sont plus disponibles.
- Si vous définissez HEURE DE DEBUT et HEURE DE FIN sur la même heure, la valeur HEURE DE DEBUT l'emporte sur celle de HEURE DE FIN. L'affichage ne revient pas à la l'image initiale à l'HEURE DE FIN.
- Si vous définissez à la même heure une HEURE DE DEBUT pour INVERS. IMAGE et HEURE MARCHE de la MINUTERIE, la fonction INVERS. IMAGE ne sera pas activée lorsque l'appareil se mettra automatiquement sous tension.

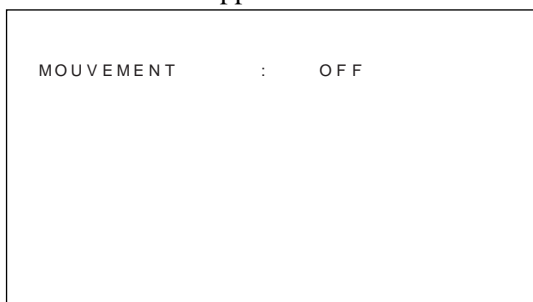
Changement automatique de la position de l'image

- 1** Dans le menu ECONOMISEUR D'ECRAN, appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "MOUVEM. IMAGE" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur “MOVEMENT” puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



- 3** Sélectionnez le mode MOVEMENT à l'aide des touches ▲ / ▼.

OFF: pour annuler la fonction MOVEM. IMAGE

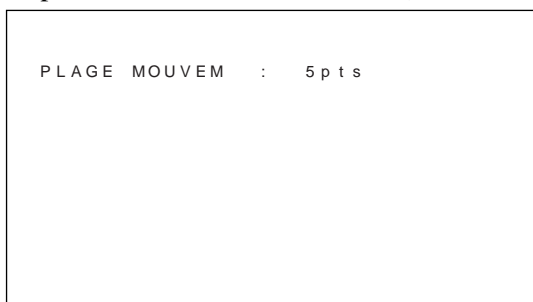
ON: pour activer la fonction MOVEM. IMAGE

- 4** Appuyez sur MENU.

Le menu MOVEM. IMAGE réapparaît.

- 5** Sélectionnez PLAGE MOVEM (distance de déplacement) ou CYCLE MOVEM (heure) à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. Les valeurs suivantes peuvent être sélectionnées:
PLAGE MOVEM: 5pfs, 10pfs, 15pfs, 20pfs
CYCLE MOVEM: 10sec, 30sec, 1min., 5 min.

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur. (L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre PLAGE MOVEM.)



- 6** Ajustez la fonction PLAGE MOVEM ou CYCLE MOVEM à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur MENU.

Lorsque les fonctions INVERS. IMAGE et MOVEM. IMAGE sont définies sur ON

Si la fonction MOVEM. IMAGE est activée pendant que l'image est inversée, l'image inversée s'affiche dans une autre position.

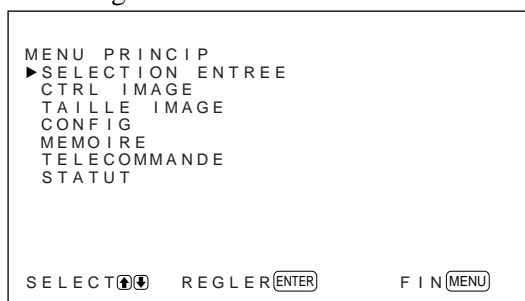
Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension (fonction de contrôle de l'énergie)

Cet écran possède deux fonctions de contrôle de l'énergie. L'alimentation peut être coupée automatiquement après une certaine période si aucun signal d'entrée ne provient des connecteurs INPUT1 ou INPUT2 (fonction MODE ECO). Vous pouvez définir l'heure à laquelle l'alimentation est automatiquement activée/désactivée (fonction MINUTERIE). Le PFM-42B2/42B2E dispose de fonctions MINUTERIE ON et MINUTERIE OFF pour lesquelles vous pouvez séparément régler les heures de début et de fin.

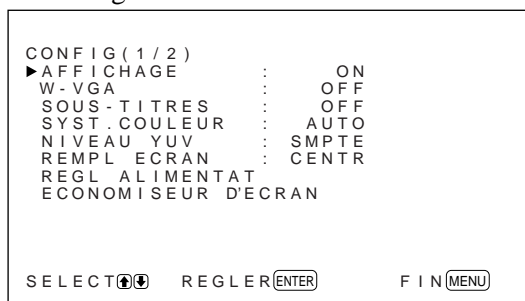
Fonction d'économie d'énergie (PFM-42B2/42B2E uniquement)

- 1** Appuyez sur MENU.

Le menu principal apparaît dans la fenêtre d'affichage.

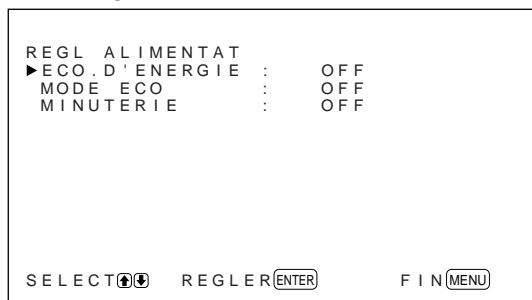


- 2** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (▶) sur “CONFIG”, puis appuyez sur ENTER. Le menu “CONFIG” (1/2) apparaît dans la fenêtre d'affichage.



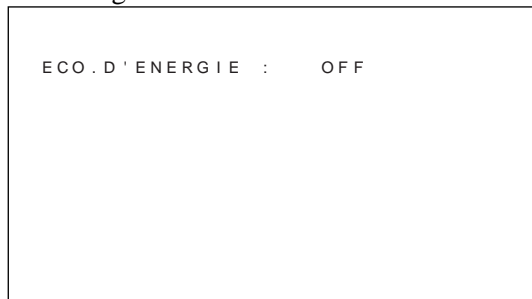
- 3** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “REGL ALIMENTAT”, puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 4** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “ECO. D'ENERGIE”, puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 5** Appuyez sur ▲ / ▼ pour sélectionner le mode ON/OFF pour ECO. D'ENERGIE.

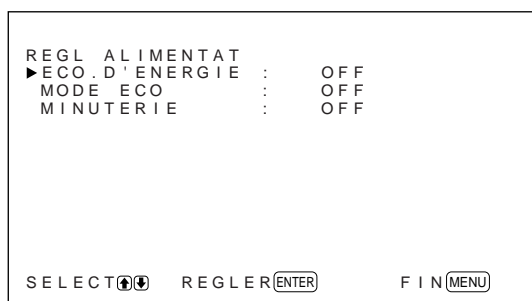
OFF: Pas d'économie d'énergie

ON: Economie d'énergie

Si vous activez ECO. D'ENERGIE (ON), la luminosité de l'écran est réduite et vous pouvez visualiser l'affichage en économisant de l'énergie.

Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)

- 1** Dans le menu CONFIG (1/2), appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “REGL ALIMENTAT”, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



PFM-42B1/42B1E : “ECO. D'ENERGIE” n'apparaît pas.

- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “MODE ECO” puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour définir le laps de temps après lequel le moniteur doit passer en mode d'économie d'énergie.

OFF: La fonction d'économie d'énergie ne fonctionne pas

5min.: pour passer en mode d'économie d'énergie si aucun signal d'entrée n'est reçu au bout de cinq minutes

10min.: pour passer en mode d'économie d'énergie si aucun signal d'entrée n'est reçu au bout de dix minutes

L'indicateur ON clignote lorsque le moniteur est en mode d'économie d'énergie.

Pour annuler la fonction d'économie d'énergie

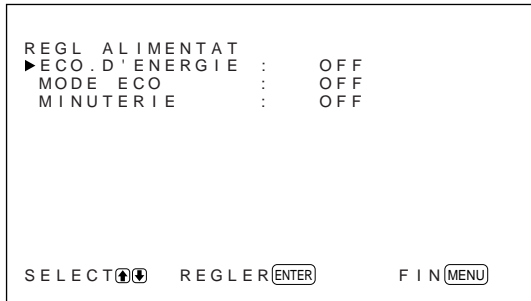
- Entrez de nouveau le signal de synchro.
- Appuyez sur le commutateur (⏻) de la section du commutateur / indicateur (⏻) (veille) ou sur le commutateur POWER ON de la télécommande.

Spécification de signal pour l'utilisation de la fonction d'économie d'énergie

Le signal de synchronisation doit être la source du signal RGB raccordé à la treizième broche du connecteur RGB/YUV (D-sub 15 broches) des connecteurs INPUT 1 ou INPUT 2.

Activation/désactivation de la fonction de timer

- 1** Dans le menu CONFIG (1/2), appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “REGL ALIMENTAT” et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



PFM-42B1/42B1E : "ECO. D'ENERGIE" n'apparaît pas.

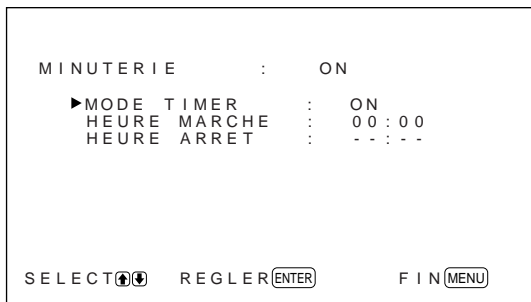
- 2 Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "MINUTERIE" puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 3 Sélectionnez ON à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



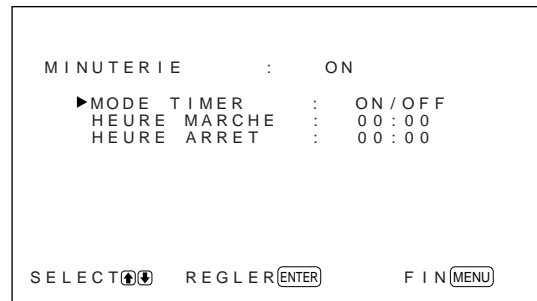
Remarque

L'écran affiché peut varier selon le mode de la minuterie réglé préalablement. Les étapes décrites supposent ici que le dernier mode de la minuterie a été réglé sur ON. La valeur par défaut est ON/OFF.

- 4 Appuyez une nouvelle fois sur ENTER sur cet écran pour sélectionner le mode de la minuterie. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.

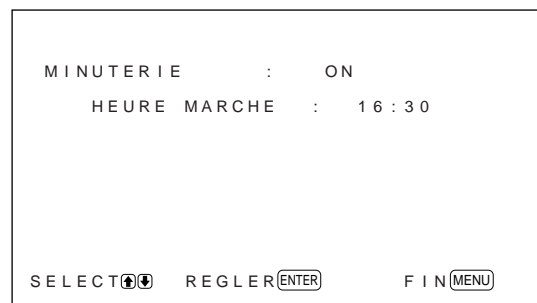


- 5 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "ON/OFF", puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 6 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "HEURE MARCHE", puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage. La zone située derrière l'heure est affichée en bleu clair.



- 7 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler l'heure, puis appuyez sur ENTER.

L'heure est saisie et la zone située derrière les minutes est affichée en bleu.

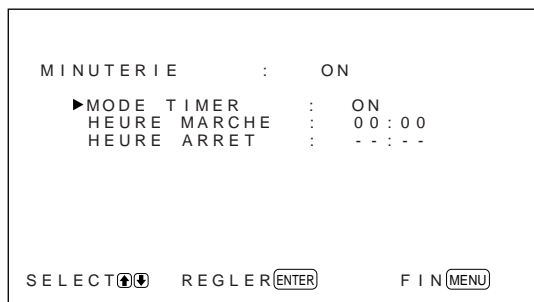
- 8 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER.

- 9 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "HEURE ARRET", puis appuyez sur ENTER. Procédez de la même façon que pour le réglage de l'heure et des minutes d'activation de l'alimentation.

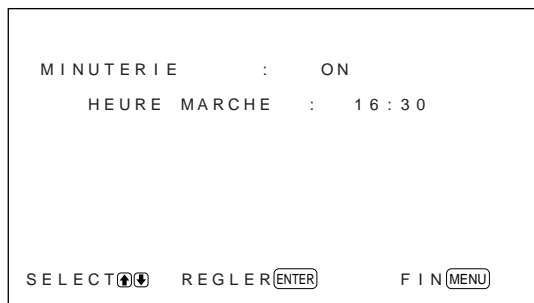
L'indicateur ON clignote lorsque HRE OFF est atteint et l'affichage s'éteint.

A propos de la fonction Minuterie (PFM-42B2/42B2E uniquement)

- 1 Lorsque l'écran de l'étape 4 de la fonction MINUTERIE apparaît, sélectionnez ON à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



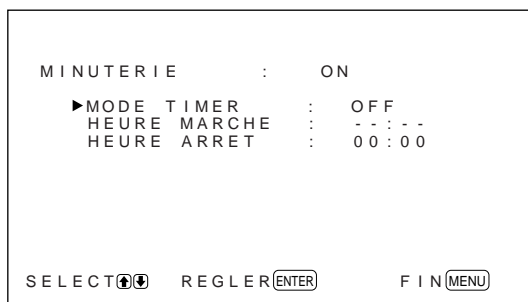
- 2 Appuyez sur ▲ / ▼ pour sélectionner "HEURE MARCHE", puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage. La zone située derrière l'heure est affichée en bleu clair.



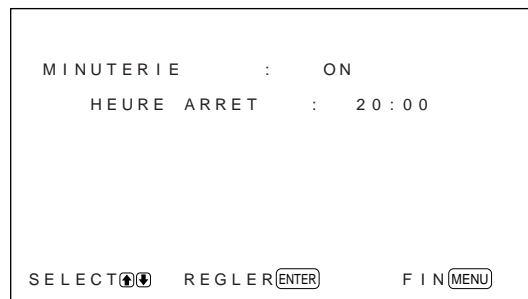
- 3 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler l'heure, puis appuyez sur ENTER. L'heure est saisie et la zone située derrière les minutes est affichée en bleu.
- 4 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER. Si l'affichage est en mode d'alimentation désactivée, l'indicateur ON (alimentation) clignote.

A propos de la fonction Minuterie ARR (PFM-42B2/42B2E uniquement)

- 1 Lorsque l'écran de l'étape 4 de la fonction MINUTERIE apparaît, sélectionnez OFF à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 2 Appuyez sur ▲ / ▼ pour sélectionner "HEURE ARRET", puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage. La zone située derrière l'heure est affichée en bleu clair.



- 3 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler l'heure, puis appuyez sur ENTER. L'heure est saisie et la zone située derrière les minutes est affichée en bleu.
- 4 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER. L'affichage passe en mode d'attente lorsque la minuterie de désactivation de l'alimentation s'éteint.

Remarques

- La fonction d'économie d'énergie ne fonctionne pas lorsque le signal provient des connecteurs VIDEO.
- Si le signal de synchronisation n'est pas raccordé à la treizième broche du connecteur RGB/YUV (D-sub 15 broches) des connecteurs INPUT1 ou INPUT2, l'écran ne se met pas sous tension même si le signal de synchronisation est reçu. Définissez MODE ECO sur OFF lorsque seul le signal RVB est connecté.
- Les fonctions d'économie d'énergie, d'activation/désactivation du timer et de mise hors tension accessibles dans le menu INVERS. IMAGE ne peuvent être utilisées simultanément. Lorsque l'une de ces fonctions est définie sur ON, "----" apparaît à côté des autres fonctions et celles-ci ne sont plus disponibles.
- Si vous définissez HEURE MARCHE et HEURE ARRET sur la même heure, la valeur de HEURE MARCHE l'emporte sur celle de HEURE ARRET. L'écran ne s'éteint pas à l'heure définie par HEURE ARRET.
- La fonction d'économie d'énergie ne fonctionne pas lorsque le signal YUV(composante) est transmis.

Réglage de TELECOMMANDE SERIE (PFM-42B2/42B2E uniquement)

Vous pouvez régler les commandes de la télécommande de série.

Réglage du débit en bauds

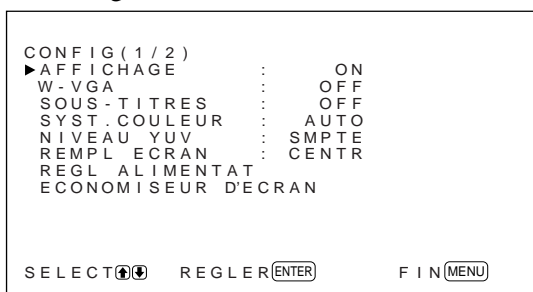
Ce paramètre est utilisé pour synchroniser le débit en bauds sur l'appareil commandé.

La valeur par défaut est 9 600 bps.

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît dans la fenêtre d'affichage.



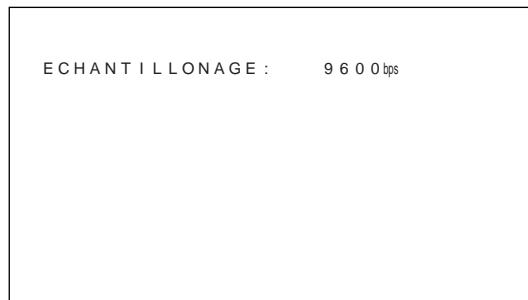
- 2 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "CONFIG", puis appuyez sur ENTER.
Le menu CONFIG (1/2) apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 3 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "TELECOMMANDE SERIE" dans le menu CONFIG (2/2), puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 4 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "ECHANTILLONAGE", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 5 Sélectionnez le débit en bauds (9 600 bps, 19 200 bps ou 38 400 bps) avec ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.

- 6 Appuyez sur MENU.
Le menu revient sur le menu CONFIG (2/2).

Fonction MENU ECRAN

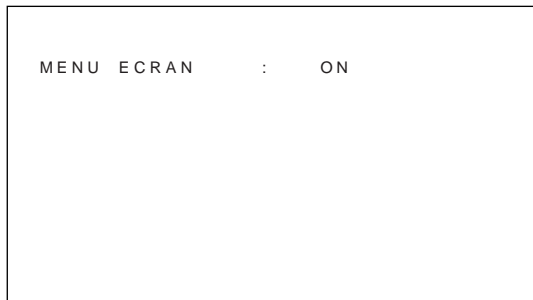
Si le système est commandé par le mode de télécommande de série, les fonctions contrôlées apparaissent sur l'écran.

Vous pouvez masquer les données de la télécommande de série de la façon suivante :

- 1 Dans le menu CONFIG (2/2), appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "TELECOMMANDE SERIE", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 2** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “MENU ECRAN”, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d’affichage.



- 3** Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler MENU ECRAN sur OFF, puis appuyez sur ENTER. Les données de la télécommande de série n’apparaissent pas.

Affichage des données de la télécommande de série

Réglez MENU ECRAN sur ON à l’étape 3 ci-dessus. Le réglage par défaut est ON.

Réglage de ADAPTATEUR RESEAU (PFM-42B2/42B2E uniquement)

Règle l’adaptateur réseau.

Réglage de l’alimentation de l’adaptateur réseau

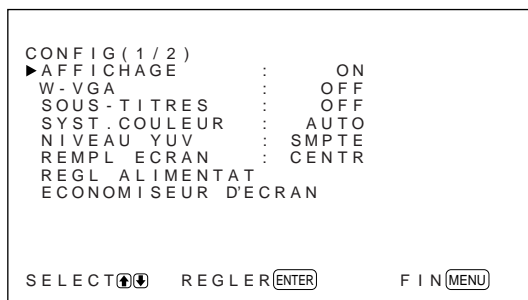
L’adaptateur réseau est alimenté même si le système est en mode de veille.

Vous pouvez désactiver l’alimentation en mode de veille de la façon suivante :

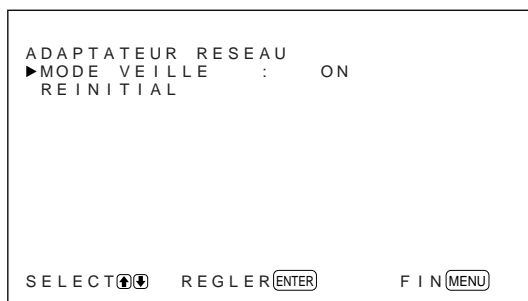
- 1** Appuyez sur MENU. Le menu principal apparaît dans la fenêtre d’affichage.



- 2** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “CONFIG”, puis appuyez sur ENTER. Le menu CONFIG (1/2) apparaît dans la fenêtre d’affichage.



- 3** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “ADAPTATEUR RESEAU” dans le menu CONFIG (2/2), puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d’affichage.



- 4** Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur “MODE VEILLE”, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d’affichage.



- 5** Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler MODE VEILLE sur OFF, puis appuyez sur ENTER. Si le système est en mode de veille, l’adaptateur réseau n’est plus alimenté.

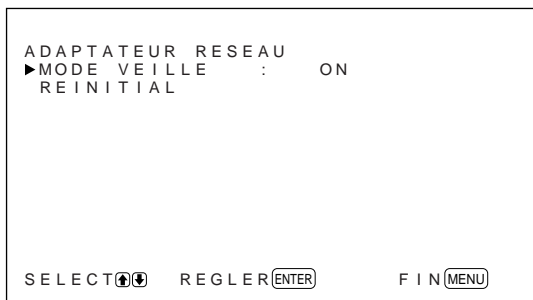
Pour activer l’alimentation

Réglez MODE VEILLE sur ON à l’étape 5 ci-dessus. Le réglage par défaut est ON.

Si l'écran s'immobilise lorsque vous utilisez l'adaptateur réseau

Réinitialisez l'écran de la façon suivante :

- 1 Dans le menu CONFIG (2/2), appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "ADAPTATEUR RESEAU", puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 2 Appuyez sur ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "REINITIAL", puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 3 Appuyez sur ▲ / ▼ pour régler REINITIAL sur OUI, puis appuyez sur ENTER. L'adaptateur réseau est redémarré.

Fonction d'auto-diagnostic

L'appareil est équipé d'une fonction d'auto-diagnostic. Cette fonction permet d'afficher l'état de l'écran sur la base de la séquence de clignotement de l'indicateur STANDBY. Cette séquence de clignotements vous informe de l'état actuel de l'écran.

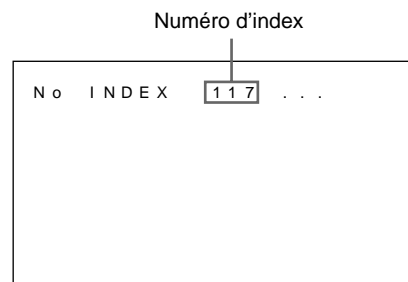
Si l'indicateur STANDBY clignote, vérifiez le nombre de clignotements et contactez votre distributeur Sony agréé.

- 1 Vérifiez la séquence de clignotement de l'indicateur STANDBY. L'indicateur clignote (avec une image affichée sur l'écran) ou clignote toutes les trois secondes (sans qu'aucune image n'apparaisse sur l'écran). Comptez le nombre de clignotements si l'indicateur clignote à des intervalles de trois secondes. Par exemple, l'indicateur clignote deux fois, suivi par une pause de trois secondes, puis clignote deux autres fois et cette séquence est répétée. Dans ce cas, le nombre de clignotements est égal à deux.
- 2 Débranchez l'appareil. Communiquez ce nombre de clignotements à votre distributeur Sony agréé.

Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande

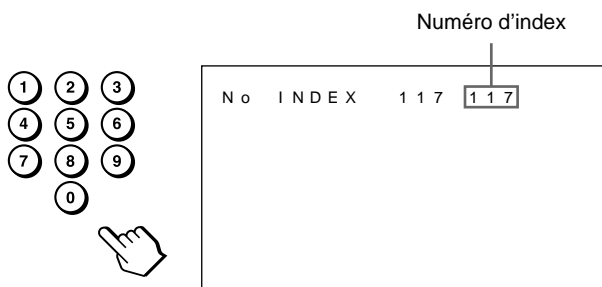
A l'aide de la télécommande fournie, vous pouvez utiliser un écran spécifique sans agir sur d'autres écrans également installés.

- 1 Appuyez sur ID MODE ON de la télécommande. Les numéros d'index de l'écran apparaissent en caractères blancs sur tous les écrans. (Chaque écran reçoit un numéro d'index prédéfini individuel compris entre 1 et 255). Voir "Pour modifier le numéro d'index" à la page 46 (FR).

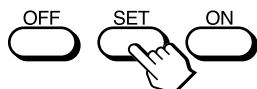


- 2** Entrez le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide des touches 0 – 9 de la télécommande.

Le numéro entré apparaît à droite du numéro d'index de chaque écran.

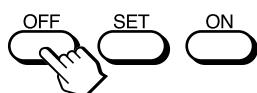


- 3** Appuyez sur ID MODE SET.
Les caractères de l'écran sélectionné deviennent cyan tandis que les autres deviennent rouges.



Vous pouvez utiliser uniquement l'écran spécifié.
(Toutes les opérations sont disponibles en mode ID, sauf la mise sous/hors tension de l'alimentation.)

- 4** Après avoir effectué les réglages nécessaires, appuyez sur ID MODE OFF.
L'écran revient au mode normal.

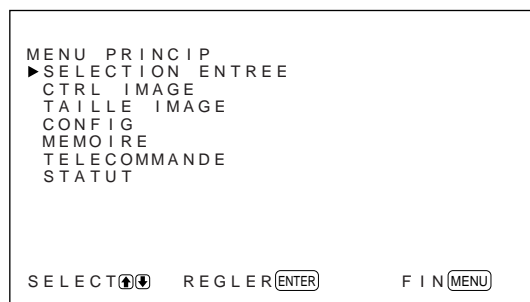


Pour modifier le numéro d'index

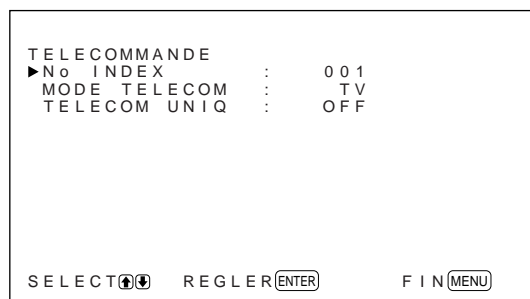
Vous pouvez modifier le numéro d'index si nécessaire.

Lorsque vous modifiez le numéro, utilisez les touches de la partie de l'écran contenant les touches de commande.

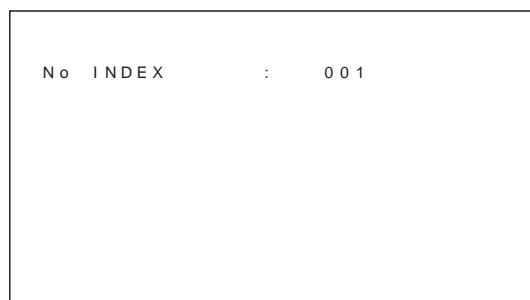
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "TELECOMMANDE" puis appuyez sur ENTER.
Le menu TELECOMMANDE apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur les touches ▲ / ▼ pour déplacer le curseur (►) sur "No INDEX" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Sélectionnez le numéro d'index à l'aide des touches ▲ / ▼ et appuyez sur ENTER.
Le menu TELECOMMANDE réapparaît.

Utilisation d'autres modèles de télécommande

Les opérations suivantes peuvent être effectuées à l'aide de la télécommande.

- Mise sous/hors tension
- Sélection de l'entrée
- Exploitation des menus
- Réglages d'image: contraste, phase et intensité des couleurs
- Activation/désactivation de l'affichage à l'écran

Les opérations et les touches disponibles pour chaque opération sont limitées en fonction de chaque télécommande. Voir le tableau ci-dessous.

Modèle de télécommande		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
paramètre MODE TELECOM		TV	TV	PJ
Sélection de l'entrée	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Exploitation des menus	MENU	MENU	MENU	MENU ou ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER ou →
	▲	+	SELECT+↑	↑
	▼	—	SELECT-↓	↓
Réglage d'image	Contraste	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Chroma	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Informations à l'écran		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Signal présélectionné

voir page 27 (FR)

Phase de décalage

13,5 MHz à 140 MHz

Panneau d'affichage

Panneau d'affichage à plasma de type CA

Résolution d'affichage

1 024 points (horizontal) ×
1 024 lignes (vertical)

Profondeur de pixel

0,90 (horizontal) × 0,51 (vertical)
mm ($\frac{1}{16} \times \frac{1}{32}$ pouces)

Taille d'image

921 (horizontal) × 522 (vertical)
mm ($36 \frac{3}{8} \times 20 \frac{5}{8}$ pouces)

Taille de panneau

42 pouces (diagonale 1 058 mm)

Entrées et sorties

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV

D-sub à 15 broches (femelle)
(voir "Attribution des broches",
page 49 (FR))

AUDIO

Miniprise stéréo
500 mVrms, haute impédance

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)¹⁾

COMPOSITE IN BNC (×1)

Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB
négatif, 75 ohms (terminaison
automatique)

Y/C IN

Miniconnecteur DIN à 4 broches
(×1)Y (luminosité): 1 Vcc ±2 dB
négatif, 75 ohms (terminaison)
C (chrominance): Salve 0,286 Vcc
±2 dB (NTSC), 75 ohms
(terminaison)
Salve 0,3 Vcc ±2 dB (PAL),
75 ohms (terminaison)

AUDIO IN

Miniprise stéréo
500 mVrms, haute impédance

COMPOSITE OUT

BNC (×1) boucle directe

AUDIO OUT

Miniprise stéréo
500 mVrms, haute impédance

REMOTE (RS-232C)

D-sub à 9 broches (×1)

Réglementations de sécurité

UL1950, CSA No. 950 (c-UL),
FCC Class B, IC Class B,
EN60 950 (NEMKO), CE,
C-Tick

Adaptateur d'entrée du composant (avec contrôle S) BKM-B12 (non fourni)

INPUT3

RGB/YUV

Prise phono (femelle) (×3)

CONTROL S (IN/OUT)

Miniprise stéréo (×2)
5 Vcc

Adaptateur d'entrée vidéo et de contrôle S BKM-B13 (non fourni)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)

COMPOSITE IN BNC (×1)

Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB
négatif, 75 ohms (terminaison
automatique)

Y/C IN

Mini DIN 4 broches (×1)

Y (luminosité) : 1 Vcc ±2 dB
négatif, 75 ohms (terminaison)C (chrominance) : Salve 0,286 Vcc
±2 dB (NTSC), 75 ohms
(terminaison)
Salve 0,3 Vcc ±2 dB (PAL),
75 ohms (terminaison)

COMPOSITE OUT

BNC (×1) en boucle

CONTROL S (IN/OUT)

Mini-prise stéréo (×2)
5 Vcc

1) Le PFM-42B1E/42B2E n'est pas doté de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-42B1E/42B2E, la vidéo composite et l'entrée Y/C peuvent être transmises sur l'écran lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 ou l'adaptateur S de contrôle et d'entrée vidéo BKM-B13 (non fourni) est installé sur l'écran.

Généralités

Alimentation nécessaire

de 100 à 240 V AC, 50/60 Hz,
 PFM-42B1/42B1E: 4,5 à 1,8 A
 PFM-42B2/42B2E: 4,2 à 1,5 A

Consommation électrique

PFM-42B1/42B1E: 400 W
 PFM-42B2/42B2E: 360 W

Conditions d'utilisation

Température: 0 à 35 °C
 (32 °F à 95 °F)
 Humidité: de 20 à 90%
 (sans condensation)
 Pression atmosphérique : de 800 à
 1 060 hPa

Conditions de stockage/transport

Température: de -10 °C à +40 °C
 (14 °F à 104 °F)
 Humidité: de 20 à 90%
 (sans condensation)
 Pression atmosphérique: de 800 à
 1 060 hPa

Dimensions

1 033 × 631 × 83 mm
 (40 ³/₄ × 24 ⁷/₈ × 3 ³/₈ pouces)
 (l/h/p, hors éléments saillants)

Masse

PFM-42B1/42B1E:
 29,4 kg (64 lb 13 oz)
 PFM-42B2/42B2E:
 28,4 kg (62 lb 10 oz)

Accessoires fournis

Cordon d'alimentation secteur (1)
 Support de prise secteur (2)
 Attache A (2)
 Attache B (4)
 Noyaux de ferrite (8) (PFM-42B2/
 42B2E uniquement)
 Butoirs (8) (PFM-42B2/42B2E
 uniquement)
 Télécommande RM-42B (1)
 Piles R6 (AA) (2)
 Mode d'emploi (1)

Accessoires en option

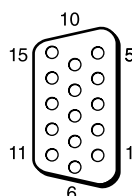
Support d'écran SU-42B
 Adaptateur d'entrée vidéo
 BKM-B10 (uniquement pour le
 modèle PFM-42B1E/42B2E)
 Adaptateur d'entrée de composant
 (avec contrôle S) BKM-B12

Adaptateur d'entrée vidéo et de
 contrôle S BKM-B13
 Adaptateur réseau BKM-B30NW

La conception et les spécifications sont sujettes à
 modifications sans préavis.

Attribution des broches

Connecteur RGB/YUV (D-sub à 15 broches)




N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou R-Y ou P _R
2	Vidéo vert (Composite Synchro sur le vert) ou Y
3	Vidéo bleu ou B-Y ou P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Sync H ou sync composite
14	Sync V
15	SCL

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Sicherheitsmaßnahmen	5 (DE)
Merkmale und Funktionen	6 (DE)
Lage und Funktion der Teile und	
Bedienelemente	7 (DE)
Vorderseite / Rückseite / Rechte Seite	7 (DE)
Bereich für Netzschalter  (Bereitschaft) /	
Netzanzeige	8 (DE)
Steuertastenbereich (Rückseite)	8 (DE)
Anschlußfeld	9 (DE)
Fernbedienung RM-42B	11 (DE)
Vorsicht	13 (DE)
Anschließen des Monitors	14 (DE)
Anschließen des Netzkabels	14 (DE)
Anbringen des Ferritkerns (nur PFM-42B2E)	14 (DE)
Anschlußbeispiel	15 (DE)
Die Bildschirmmenüs	20 (DE)
Arbeiten mit den Menüs	20 (DE)
Übersicht über die Menüs	20 (DE)
Die Anzeigefunktionen	24 (DE)
Wechseln des Eingangssignals	24 (DE)
Wechseln des Anzeigemodus	25 (DE)
Anzeige von Eingangssignal und Monitorstatus	26 (DE)
Einstellen der Bildqualität	28 (DE)
Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe,	
Phase usw.	28 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü BILDEINST. auf	
ihre ursprünglichen Werte	29 (DE)
Einstellen von Bildgröße und Bildposition	30 (DE)
Einstellen der Bildgröße	30 (DE)
Einstellen der Bildposition	31 (DE)
Zurücksetzen von Bildgröße und	
-position auf die ursprünglichen Werte	31 (DE)
Wechseln des Bildformats	32 (DE)
Einstellen der Linearitätswerte	32 (DE)
Einstellen der Pixel	33 (DE)

Die Speicherfunktion	34 (DE)
Speichern der aktuellen Einstellungen	34 (DE)
Aufrufen der gespeicherten Einstellungen	35 (DE)
Auswählen der Menüsprache	36 (DE)
Verringern von Nachbildern und Doppelbildern	
(Bildschirmschonerfunktion)	37 (DE)
Umkehren des Bildes	37 (DE)
Automatisches Verschieben der Bildposition	38 (DE)
Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens	
(Ein-/Ausschaltautomatik)	39 (DE)
Energiesparfunktion (nur PFM-42B2E)	39 (DE)
Energiesparfunktion	40 (DE)
Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten	40 (DE)
Der Einschalt-Timer (nur PFM-42B2E)	41 (DE)
Der Ausschalt-Timer (nur PFM-42B2E)	42 (DE)
Einstellen von SERIAL REMOTE	
(nur PFM-42B2E)	43 (DE)
Einstellen der Baud-Rate	43 (DE)
Die Funktion MENU	43 (DE)
Einstellen von NETZWERK ADAPTER	
(nur PFM-42B2E)	44 (DE)
Einstellen der Stromversorgung des	
Netzwerkadapters	44 (DE)
Wenn der Bildschirm bei Nutzung des	
Netzwerkadapters "einfriert"	44 (DE)
Selbstdiagnosefunktion	45 (DE)
Steuern eines bestimmten Monitors über die	
Fernbedienung	45 (DE)
Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle	47 (DE)
Technische Daten	48 (DE)

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn der Monitor aufgestellt wird, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Ständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tönstörungen.

Plasmabildschirm

- Der Plasmabildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch sind möglicherweise vorübergehend schwarze Punkte oder ständig helle Lichtpunkte (weiß, rot, blau oder grün) auf dem Bildschirm zu sehen. Außerdem können Farbstreifen und Helligkeitsunregelmäßigkeiten oder einige dunkle oder helle Pixel auftreten. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion.
- Wenn Sie für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen auf dem Bildschirm anzeigen lassen, kann ein Teil des Bildes auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen

ist. Um dies zu vermeiden, verwenden Sie bitte die integrierte Bildschirmschonerfunktion für den gesamten Bildschirm. Wenn Nachbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.

- Wenn dieser Plasmabildschirm an Orten mit niedrigem Luftdruck, wie z. B. in großer Höhe, verwendet wird, kann aufgrund des Herstellungsverfahrens ein Brummen oder Summen vom Gerät zu hören sein.
- Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim tragen und reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdünner oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Störstrahlung bei Verwendung von Infrarotkommunikationsgeräten

Kommunikationsprobleme können auftreten, wenn Infrarotkommunikationsgeräte (z. B. schnurlose Infrarotkopfhörer oder -mikrofone) in der Nähe eines Bildschirms verwendet werden. Verwenden Sie in diesem Fall bitte andere Kopfhörer oder Mikrofone als schnurlose Infrarotkopfhörer oder -mikrofone. Wenn Sie Infrarotkommunikationsgeräte verwenden, entfernen Sie diese so weit vom Bildschirm, dass keine Störungen mehr auftreten, oder stellen Sie Sender und Empfänger der Infrarotkommunikationsgeräte näher beieinander auf.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Merkmale und Funktionen

Die Geräte der Serie PFM-42B1E/42B2E sind 16:9-Flachmonitore (42 Zoll) mit einem Plasmabildschirm. Dank des integrierten Bildraasterwandlers sind sie für verschiedene Signaltypen geeignet.

Verbesserte Bildqualität

Bei der Serie PFM-42B1E/42B2E wird durch den Plasmabildschirm mit 1024 Punkten × 1024 Zeilen eine höhere Bildqualität erzielt. Dies ermöglicht bei HDTV- oder PC-Bildern eine höhere Detailschärfe.

Interner Hochleistungsbildraasterwandler

Der Monitor verfügt über einen Hochleistungsbildraasterwandler. Dank eines speziellen Algorithmus kann der Monitor Signale in vielfältigen Formaten verarbeiten – Video-, HDTV-, PC-Signale usw.

Flexibilität

Ein Steckplatz dient als Reserve für zukünftige Erweiterungen.

Mit dem gesondert erhältlichen Adapter für den Steckplatz sind schnelle und problemlose Systemaktualisierungen möglich.

Weitere Merkmale und Funktionen

- Zwei RGB-/Farbdifferenzsignaleingänge mit zugehörigem Audioeingang. Beim PFM-42B1E/42B2E ist der Videoeingangsadapter BKM-B10 oder der Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 erforderlich, um FBAS-Video- und Y/C-Signale einzuspeisen.

- Zeigt das HDTV-Signal mit dreistufigem Synchronisationssignal an.
- Dreidimensionaler Kammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei NTSC.
- Zeilenkorrelationskammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei PAL.
- Automatische Eingangssignalerkennung mit Anzeige auf dem Bildschirm.
- Kompatibel mit PnP (Plug and Play) von Windows¹⁾ 95/98.
- AGC-Bildfunktion — mit dieser Funktion wird der Kontrast automatisch eingestellt und verbessert, wenn ein schwaches Signal eingeht.
- Bildschirmmenü für verschiedene Einstellungen und Anpassungen
- Benutzerfreundliche Bildschirmmenüs in sechs Sprachen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch und Japanisch).
- Feineinstellung von Bildgröße und -position
- Speicher für bis zu zwanzig Bildeinstellungen.
- ID-Steuerung
- Selbstdiagnosefunktion
- Fernsteuerungsanschluß RS-232C (D-Sub, 9polig)
- Kann mit Infrarot-Fernbedienungen von Sony eingesetzt werden, sofern diese mit dem SIRCS-Code arbeiten.
- In vertikaler Position verwendbar
- Untertitel-Decoder
- Bildschirmschoner zum Verringern von Nach- oder Doppelbildern.

Warnhinweis zum Netzanschluß

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

PFM-42B1E

	USA, Kanada	Kontinental- europa	Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

PFM-42B2E

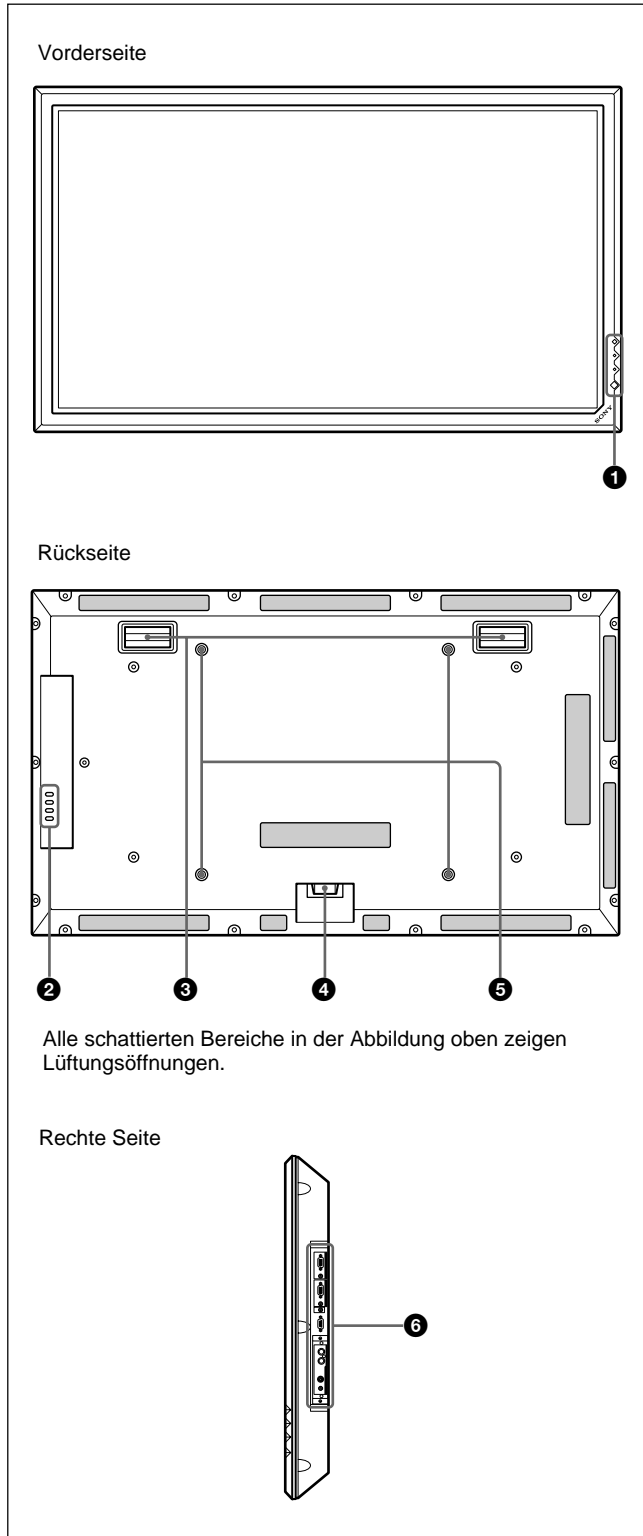
	USA, Kanada	Kontinental- europa	Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT ABGESCHIRMT	H05VV-F	CCE (13) 53rd (O.C)	HVCTF ABGESCHIRMT
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

1) Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und anderen Ländern.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite / Rückseite / Rechte Seite



❶ Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige

Näheres zum Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige finden Sie unter "Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige" auf Seite 8 (DE).

❷ Steuertastenbereich

Näheres zum Steuertastenbereich finden Sie unter "Steuertastenbereich (Rückseite)" auf Seite 8 (DE).

❸ Tragegriffe

❹ Netzbuchse ~AC IN socket

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige STANDBY rot, und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.

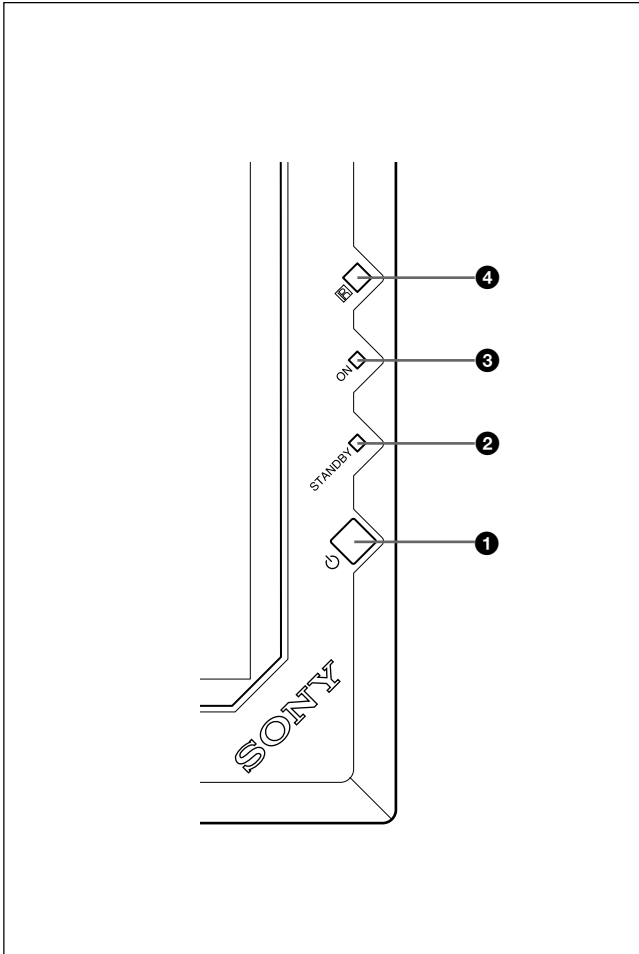
❺ Haken für Ständerbefestigung

Befestigen Sie mit diesen Haken den Ständer (nicht mitgeliefert).

❻ Anschlußfeld

Einzelheiten zum Anschlußfeld finden Sie unter "Anschlußfeld" auf Seite 9 (DE).

Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige



❶ Netzschalter ⏻ (Bereitschaft)

Zum Einschalten des Monitors. Durch erneutes Drücken schalten Sie wieder in den Bereitschaftsmodus.

❷ Anzeige STANDBY

Leuchtet im Bereitschaftsmodus rot auf.
Wenn die Anzeige STANDBY blinkt, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 45 (DE) nach.

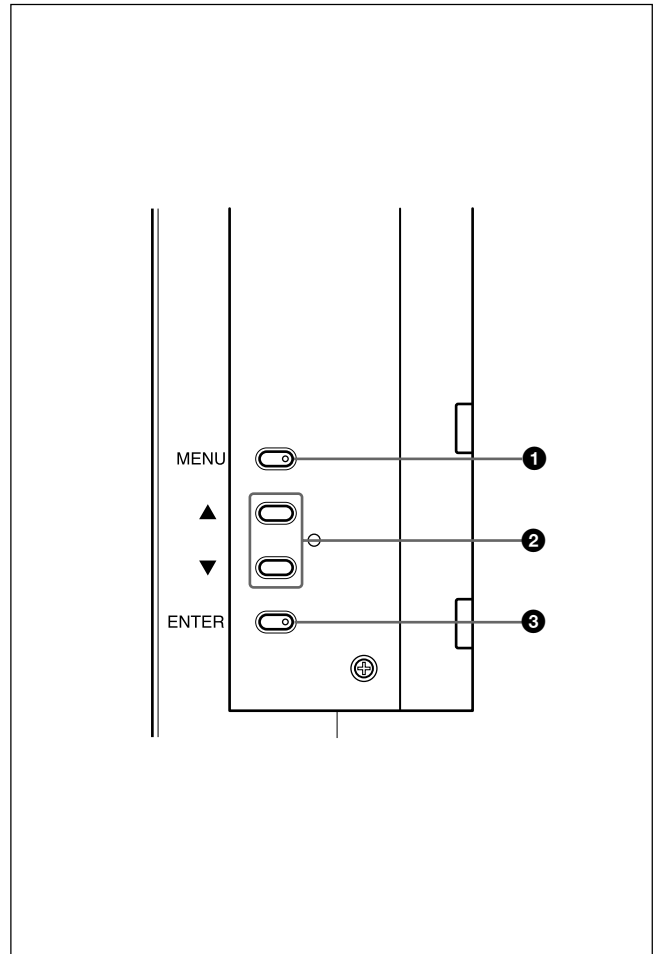
❸ Anzeige ON

Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist.

❹ Fernbedienungsdetektor

Hier geht das Signal von der Fernbedienung ein.

Steuertastenbereich (Rückseite)



❶ Taste MENU

Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Wenn Sie das Menü ausblenden wollen, drücken Sie diese Taste so oft, bis das Menü nicht mehr angezeigt wird.

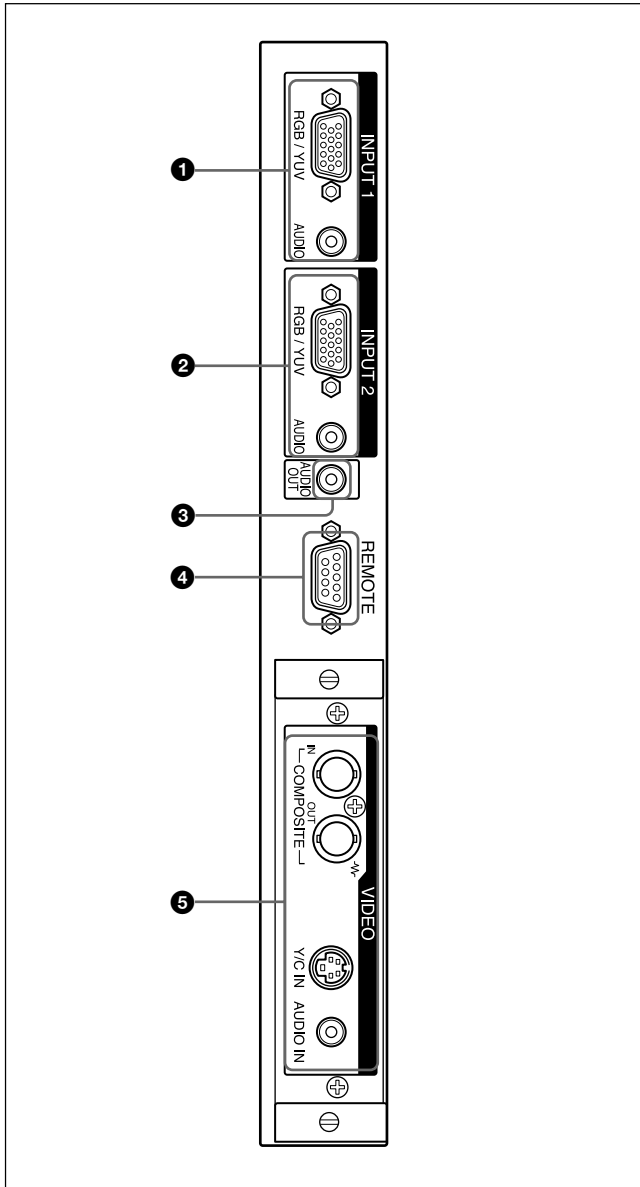
❷ Tasten ▲ / ▼

Zum Bewegen des Cursors (►) zu einer Option bzw. zum Einstellen eines Werts in einem Menü.

❸ Taste ENTER

Zum Auswählen der gewünschten Option aus dem angezeigten Menü.

Anschlußfeld



1 INPUT1-Anschlüsse

RGB/YUV (D-Sub, 15polig): Zum Anschließen an den RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Computers oder Videogeräts. Mit diesem Monitor können Sie auch ein analoges HD-Farbdifferenzsignal (Y/Pb/Pr) einspeisen. Schlagen Sie unter “Stiftbelegung” auf Seite 49 (DE) nach, wenn Sie Farbdifferenzsignale einspeisen wollen.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Computers oder Videogeräts.

2 INPUT2-Anschlüsse

RGB/YUV (D-Sub, 15polig): Zum Anschließen an den RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Computers oder Videogeräts. Bei diesem Monitor können Sie auch ein analoges HD-Farbdifferenzsignal (Y/Pb/Pr) einspeisen. Schlagen Sie unter “Stiftbelegung” auf Seite 49 (DE) nach, wenn Sie Farbdifferenzsignale einspeisen wollen.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Computers oder Videogeräts.

3 Buchse AUDIO OUT (Stereominibuchse)

Von allen Audiosignalen, die an den Audioeingangsbuchsen eingespeist werden können, wird hier das am Bildschirm angezeigte Audiosignal ausgegeben.

4 RS-232C-Anschluß REMOTE (D-Sub, 9polig)

Mit diesem Anschluß können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

5 VIDEO-Anschlüsse

Der PFM-42B1E/42B2E ist nicht mit VIDEO-Anschlüssen ausgestattet. Beim PFM-42B1E/42B2E können FBAS-Video- und Y/C-Signale nur eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-B10 oder der Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert) im Monitor installiert ist.

COMPOSITE IN (BNC-Anschluß): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignalausgang eines Videogeräts.

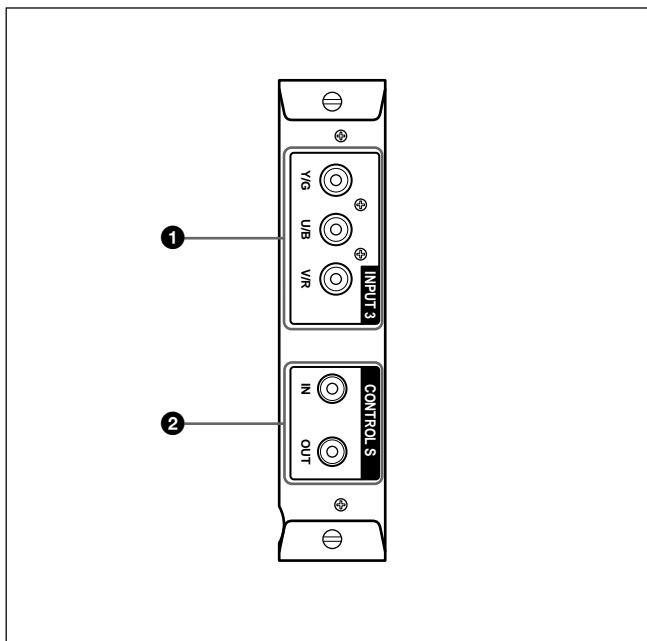
COMPOSITE OUT (BNC-Anschluß): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignaleingang eines Videogeräts.

Y/C IN (Mini-DIN, 4polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signalausgang eines Videogeräts.

AUDIO IN (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

Farbdifferenzeingangssignaladapter (mit Control S-Anschluß) BKM-B12 (nicht mitgeliefert)

Bei den VIDEO-Anschlüssen handelt es sich um Einsteckanschlüsse. Sie können die VIDEO-Anschlüsse durch den Farbdifferenzeingangssignaladapter (mit Control S-Anschluß) BKM-B12 ersetzen.



❶ INPUT3-Anschlüsse (RGB/YUV-Signaleingang)

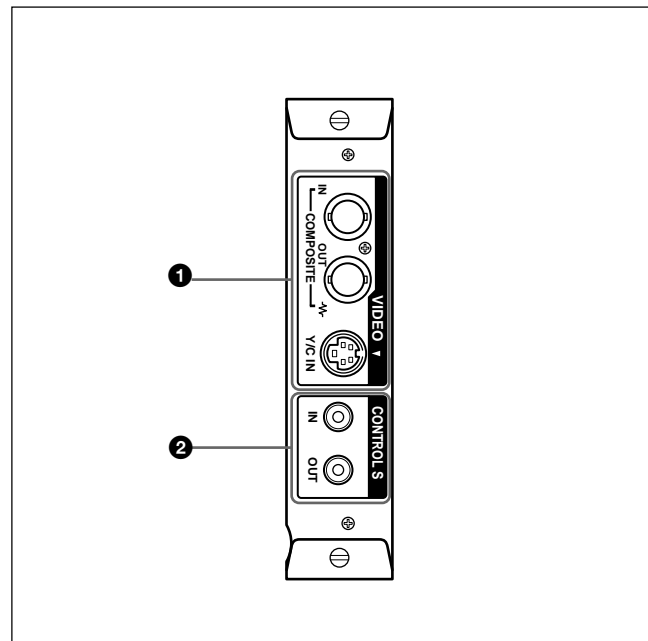
Anschluß RGB/YUV (RGB/YUV-Signaleingang) (Cinchbuchse): Zum Anschließen an einen analogen RGB-Signalausgang (Bildwandler) oder einen Farbdifferenzsignalausgang (YUV). An diesem Eingang können auch analoge HD-Farbdifferenzsignale (Y/Pb/Pr) eingespeist werden.

❷ Anschluß CONTROL S IN/OUT (Ein-/Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)

Sie können diesen Anschluß mit dem CONTROL S-Anschluß eines Videogeräts oder -bildschirms verbinden und so mehrere Geräte über eine Fernbedienung steuern. Verbinden Sie den Anschluß CONTROL S OUT an diesem Adapter mit dem Anschluß CONTROL S IN an dem anzuschließenden Gerät.

Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert)

Bei den VIDEO-Anschlüssen handelt es sich um Einsteckanschlüsse. Sie können die VIDEO-Anschlüsse durch den Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 ersetzen.



❶ VIDEO-Anschlüsse

Anschluß COMPOSITE IN (Videoeingang) (BNC): Zum Anschließen an den FBAS-Ausgang eines Videogeräts.

Anschluß COMPOSITE OUT (Videoausgang) (BNC): Zum Anschließen an den FBAS-Eingang eines Videogeräts.

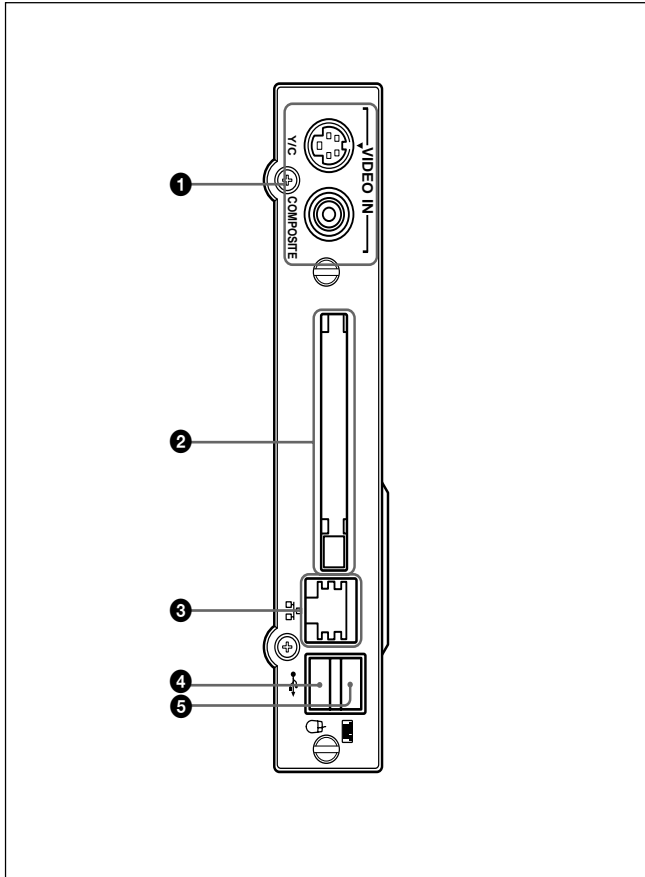
Anschluß Y/C IN (Videoeingang) (Mini-DIN, 4polig): Zum Anschließen an den Y/C-Ausgang eines Videogeräts.

❷ Anschluß CONTROL S IN/OUT (Ein-/Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)

Sie können diesen Anschluß mit dem CONTROL S-Anschluß eines Videogeräts oder -bildschirms verbinden und so mehrere Geräte über eine Fernbedienung steuern. Verbinden Sie den Anschluß CONTROL S OUT an diesem Adapter mit dem Anschluß CONTROL S IN an dem anzuschließenden Gerät.

Netzwerkadapter BKM-B30NW (nicht mitgeliefert)

Bei den VIDEO-Anschlüssen handelt es sich um Einsteckanschlüsse. Sie können die VIDEO-Anschlüsse durch den Netzwerkadapter BKM-B30NW ersetzen.



1 Anschluß VIDEO IN

Anschluß Y/C (Mini-DIN, 4polig): Zum Anschließen an den Y/C-Ausgang eines Bildwandlers.

Anschluß COMPOSITE (Stiftbuchse): Zum Anschließen an den FBAS-Ausgang eines Bildwandlers.

2 PC-Karteneinschub

Installieren Sie nach Bedarf eine LAN-Karte oder PC-Speicherkarte.

3 Ethernet-Anschluß

Schließen Sie hier einen anderen vernetzten Computer über ein 10/100BASE-T-LAN-Kabel an.

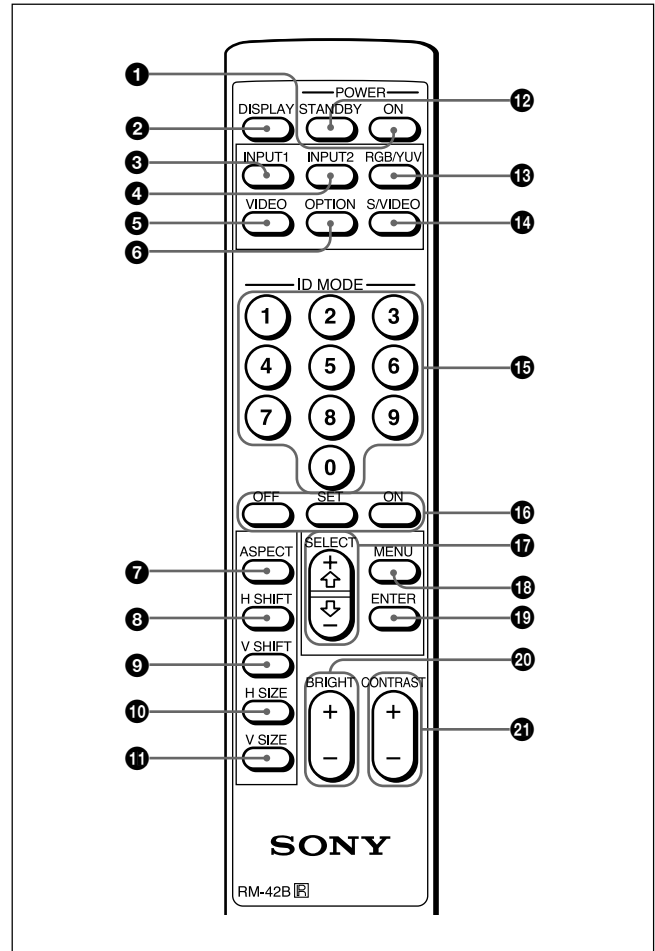
4 Tastaturanschluß

Schließen Sie hier eine USB-Tastatur an.

5 Anschluß MOUSE

Schließen Sie hier eine USB-Maus an.

Fernbedienung RM-42B



1 Schalter POWER ON

Zum Einschalten des Monitors.

2 Taste DISPLAY

Zum Anzeigen von Informationen zum Eingangssignal und der Uhrzeit oben auf dem Bildschirm. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen.

3 Taste INPUT1

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeist wird.

4 Taste INPUT2

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeist wird.

5 Taste VIDEO

Zum Auswählen des Signals, das über den Anschluß COMPOSITE IN oder Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird.

6 Taste OPTION

Zum Auswählen des Signals, das über den gesondert erhältlichen Adapter eingespeist wird, falls ein solcher im Gerät installiert wird.

7 Taste ASPECT

Zum Wechseln des Bildformats.

8 Taste H SHIFT

Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste SELECT + \uparrow / \downarrow 17 ein.

9 Taste V SHIFT

Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die vertikale Zentrierung mit der Taste SELECT + \uparrow / \downarrow 17 ein.

10 Taste H SIZE

Zum Einstellen der Bildbreite. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die Bildbreite mit der Taste SELECT + \uparrow / \downarrow 17 ein.

11 Taste V SIZE

Zum Einstellen der Bildhöhe. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die Bildhöhe mit der Taste SELECT + \uparrow / \downarrow 17 ein.

12 Taste STANDBY

Mit diesem Schalter wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

13 Taste RGB/YUV

Zum Auswählen des Formats, das dem Eingangssignal an Anschluß INPUT1 oder INPUT2 entspricht. Mit jedem Tastendruck wird zwischen RGB und YUV gewechselt.

14 Taste S/VIDEO

Zum Auswählen des Signals, das über den Anschluß COMPOSITE IN oder Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird. Mit jedem Tastendruck wird zwischen COMPOSITE IN und Y/C IN gewechselt.

15 Zahlentasten

Dienen zum Eingeben der Indexnummer.

16 ID MODE-Tasten (ON/SET/OFF)

Wenn Sie die Taste ON drücken, erscheint eine Indexnummer auf dem Bildschirm. Geben Sie dann mit den Zahlentasten 15 die Indexnummer des Monitors ein, den Sie bedienen wollen, und drücken Sie die Taste SET. Danach schalten Sie mit der Taste OFF aus dem ID-Modus wieder in den normalen Modus.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter "Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung" auf Seite 45 (DE).

17 Taste SELECT + \uparrow / \downarrow

Zum Bewegen des Cursors (\blacktriangleright) zu einer Option bzw. zum Einstellen eines Werts in einem Menü.

18 Taste MENU

Zum Aufrufen des Menüs. Wenn das Menü auf dem Bildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Wenn Sie das Menü ausblenden wollen, drücken Sie diese Taste so oft, bis das Menü nicht mehr angezeigt wird.

19 Taste ENTER

Zum Auswählen der gewünschten Option in einem Menü.

20 Taste BRIGHT +/-

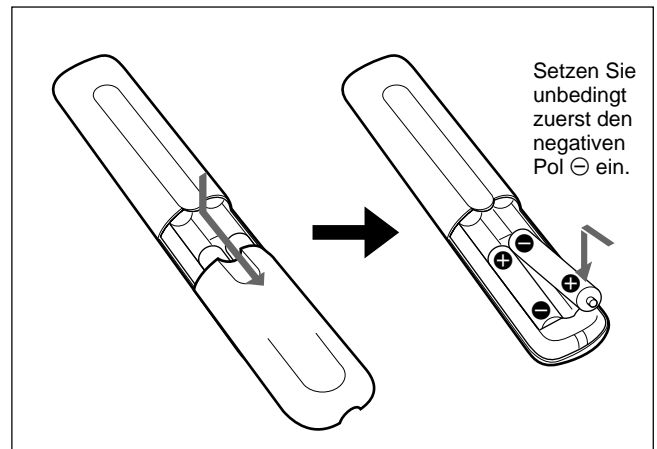
Zum Einstellen der Helligkeit.

21 Taste CONTRAST +/-

Zum Einstellen des Kontrasts.

Einlegen der Batterien

Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA polaritätsrichtig ein.



- Unter normalen Bedingungen halten die Batterien bis zu einem halben Jahr lang. Wenn die Fernbedienung nicht ordnungsgemäß funktioniert, sind die Batterien möglicherweise früher erschöpft. Tauschen Sie sie gegen neue aus.
- Wenn Sie die Fernbedienung längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus, um Schäden durch auslaufende Batterien zu vermeiden.

Wenn die Fernbedienung nicht funktioniert

Vergewissern Sie sich, daß die Anzeige STANDBY leuchtet und FERNBED.MODUS im Menü FERNBED. nicht auf AUS gesetzt ist. Mit der Fernbedienung kann der Monitor nur gesteuert werden, wenn beide Bedingungen unten erfüllt sind.

- Der Monitor ist eingeschaltet oder befindet sich im Bereitschaftsmodus.
- Die Option FERNBED.MODUS im Menü FERNBED. ist auf TV oder PJ gesetzt.

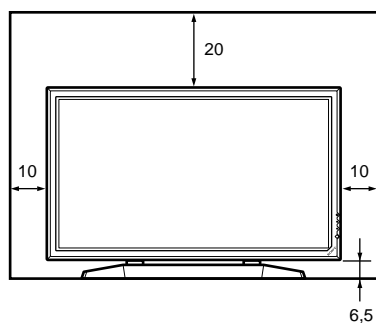
Näheres zur Option FERNBED.MODUS finden Sie unter "Menü FERNBED." auf Seite 22 (DE).

Vorsicht

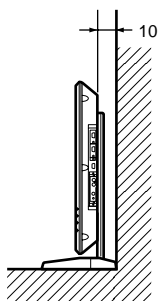
- Achten Sie beim Aufstellen bzw. Aufhängen des Monitors darauf, dass der Platz um den Bildschirm herum größer ist als in der Abbildung unten dargestellt.
- Die Umgebungstemperatur muß bei 0 °C bis +35 °C liegen.
- Verwenden Sie als Ständer den Monitorständer SU-42B (nicht mitgeliefert).

Bei Verwendung des Ständers (nicht mitgeliefert)

Vorderseite



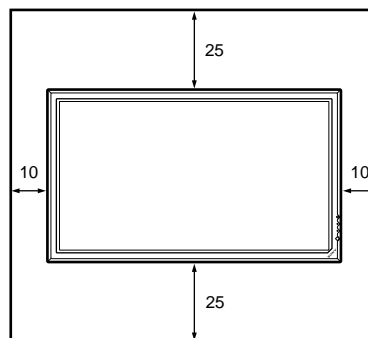
Seite



Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal verwenden

Vorderseite




Seite

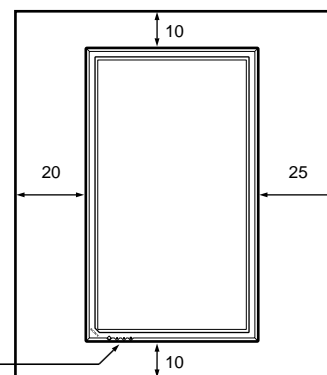


Einheit: cm

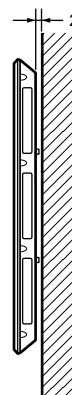
Wenn Sie den Monitor vertikal verwenden

Vorderseite

Achten Sie darauf, daß sich der Netzschalter  (Bereitschaft) an der Unterseite befindet.



Seite

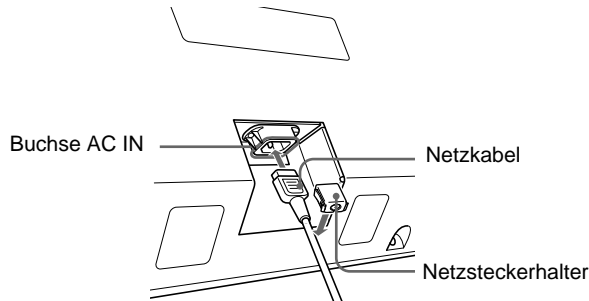


Einheit: cm

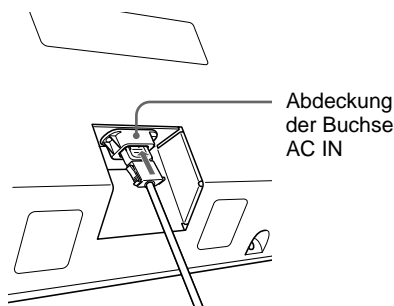
Anschließen des Monitors

Anschließen des Netzkabels

- 1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



So nehmen Sie das Netzkabel ab

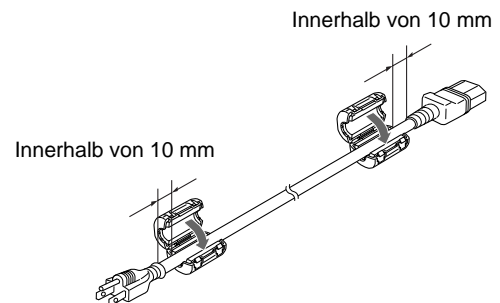
Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Anbringen des Ferritkerns (nur PFM-42B2E)

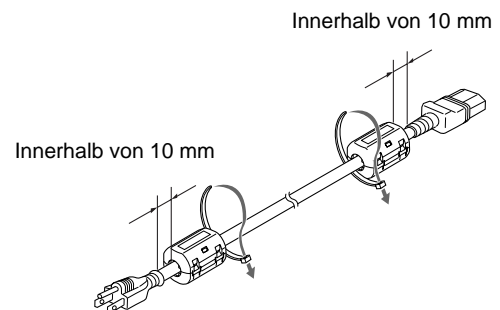
Anbringen am Netzkabel

Bevor Sie das Netzkabel mit dem Gerät verbinden, bringen Sie unbedingt die mitgelieferten (hellgrauen) Ferritkerne am Netzkabel an.

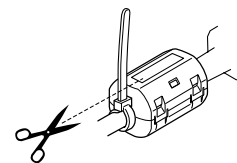
- 1 Bringen Sie die Ferritkerne an den beiden Enden des Netzkabels an, und schließen Sie sie, so daß sie mit einem Klicken einrasten.



- 2 Wickeln Sie den Stopper um das Kabel, damit die Ferritkerne nicht verrutschen können.



- 3 Ziehen Sie den Stopper an, und schneiden Sie überstehende Teile ab.



Hinweis

Beachten Sie bitte unbedingt, dass das Gerät die EMV-Richtlinien nur erfüllt, wenn der Ferritkern am Netzkabel angebracht ist.

Anbringen am Kabel

Wenn ein Kabel an beliebige der unten aufgeführten Anschlüsse angeschlossen wird, bringen Sie den mitgelieferten Ferritkern an, bevor Sie das Kabel verwenden.

AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

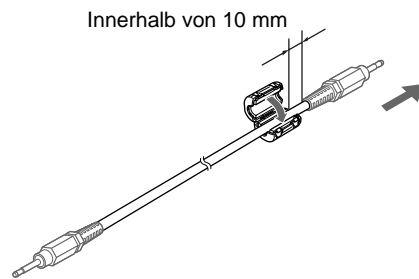
AUDIO OUT

REMOTE

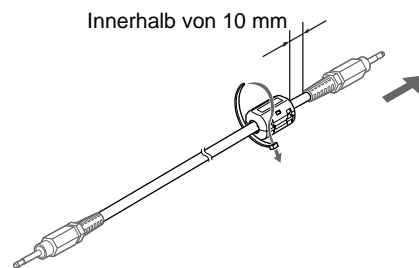
Y/C IN (VIDEO)

AUDIO IN (VIDEO)

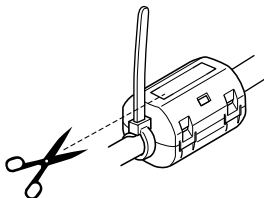
- 1** Bringen Sie den Ferritkern (schwarz) an dem Kabelende an, das sich näher am PFM-42B2E befindet, und schließen Sie ihn so, dass er mit einem Klicken einrastet.



- 2** Wickeln Sie den Stopper um das Kabel, damit der Ferritkern nicht verrutschen kann.



- 3** Ziehen Sie den Stopper an, und schneiden Sie überstehende Teile ab.



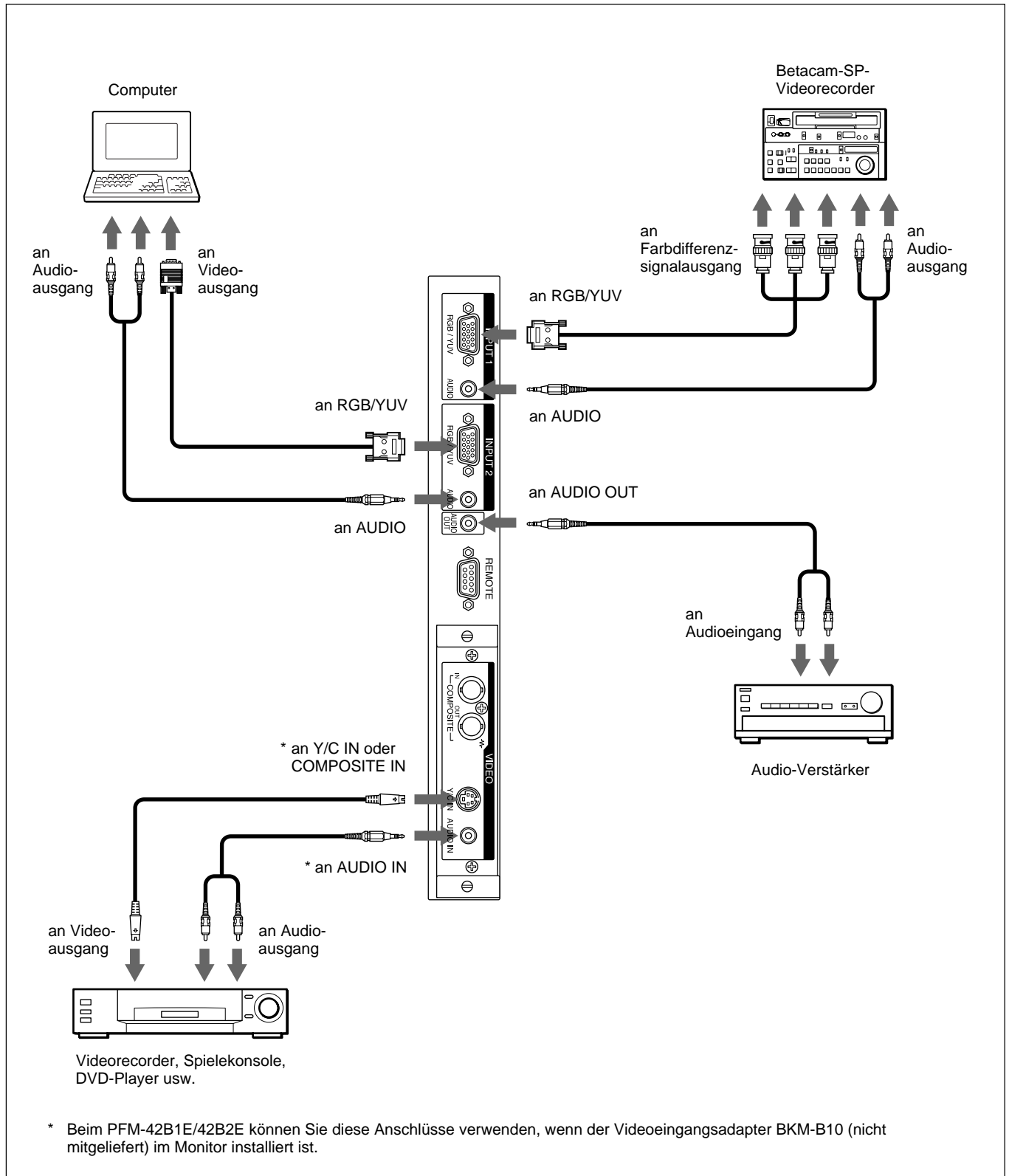
Hinweise

- Wenn Sie diese Einheit an verschiedene Geräte über die Anschlüsse RGB/YUV anschließen, verwenden Sie das vorgeschriebene Kabel.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
- Beachten Sie bitte unbedingt, dass das Gerät die EMV-Richtlinien nur erfüllt, wenn der Ferritkern am Verbindungskabel angebracht ist.

Anschlußbeispiel

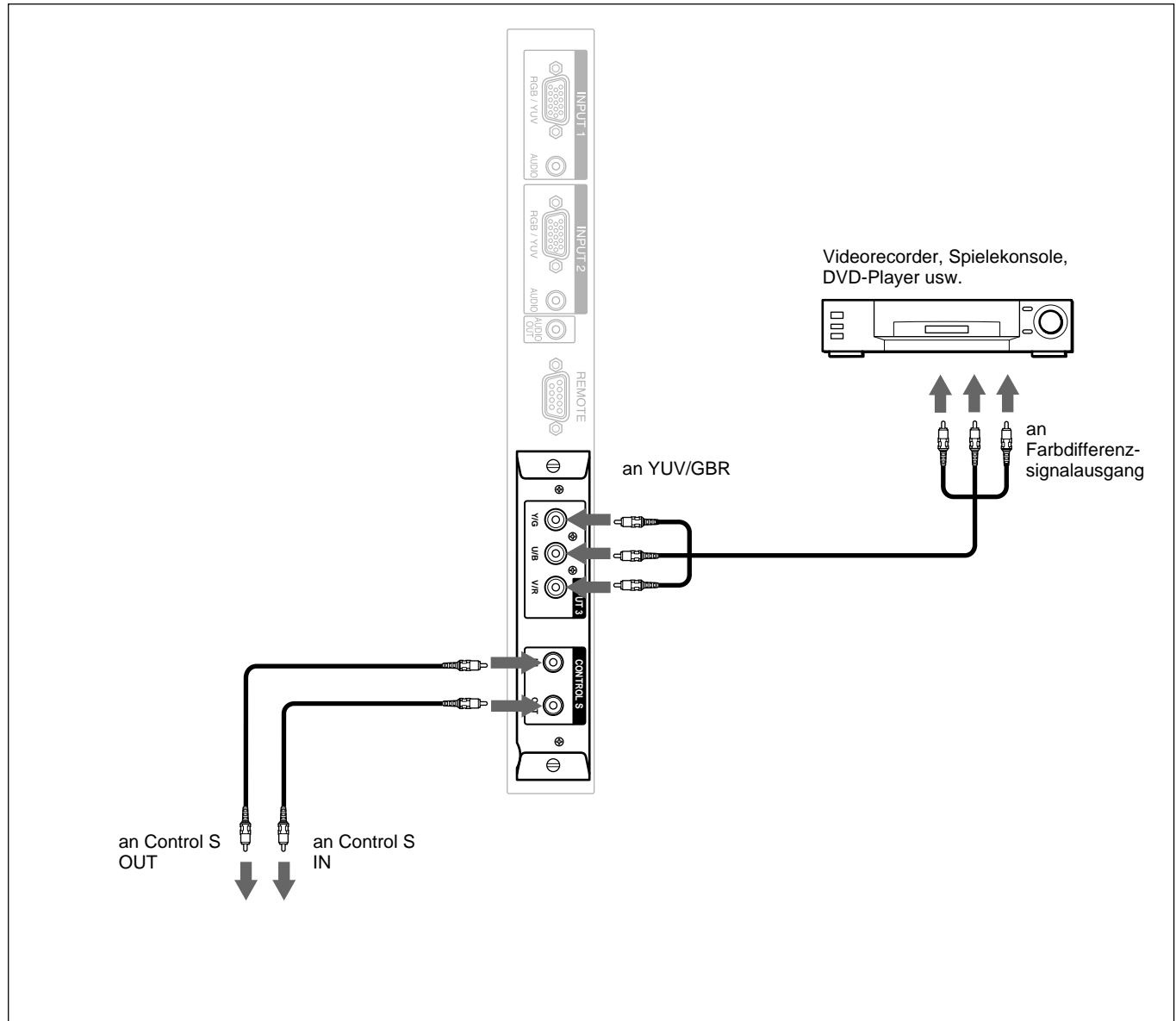
Vorbereitungen

- Achten Sie darauf, daß alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Achten Sie darauf, die Kabelstecker fest in die Buchsen zu stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), die den Netzstecker sicher halten.



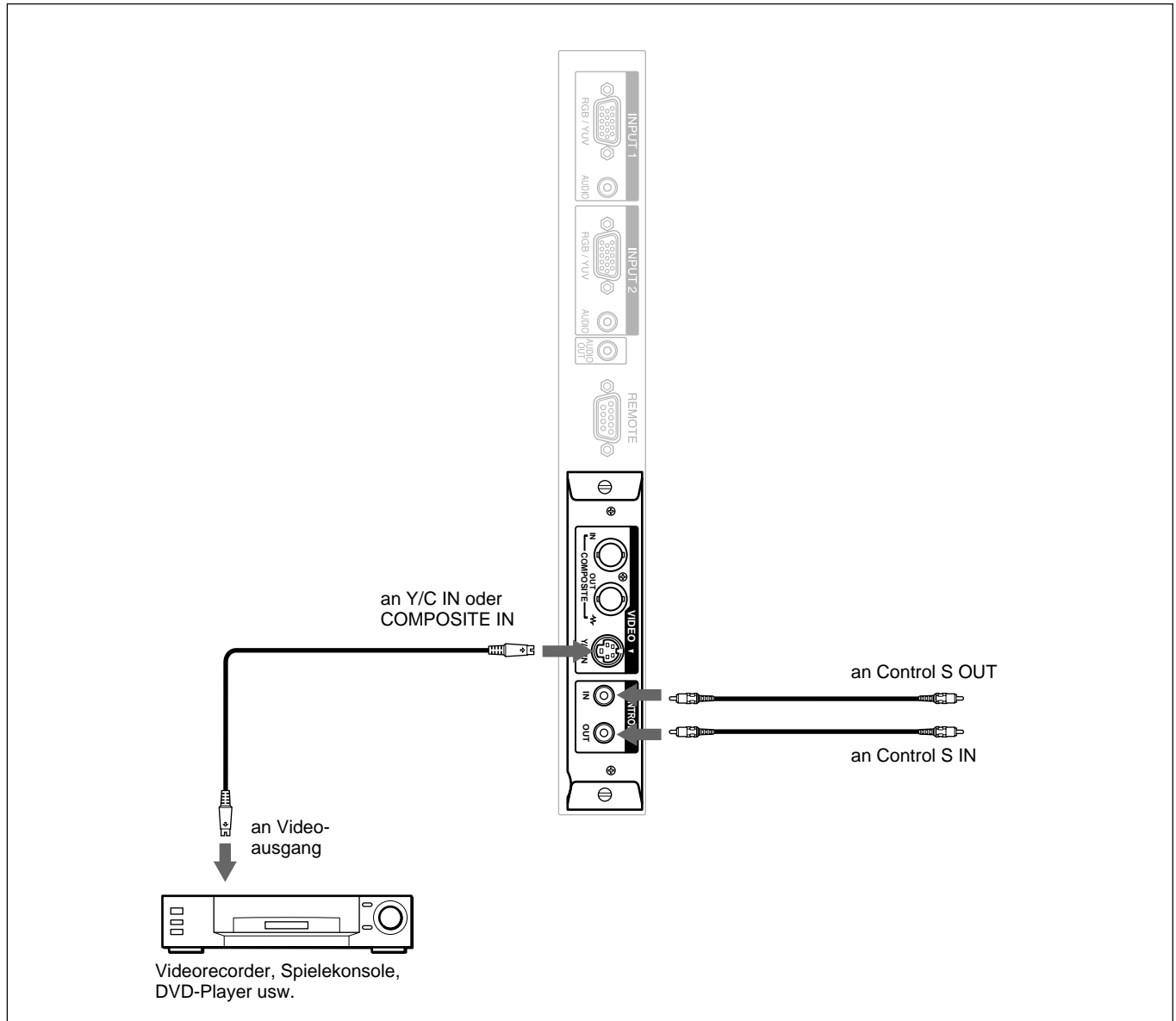
Anschlußbeispiel: Der Farbdifferenzeingangssignaladapter (mit Control S-Anschluß) BKM-B12 (nicht mitgeliefert) wurde installiert.

Die folgende Abbildung zeigt ein Anschlußbeispiel mit installiertem Farbdifferenzeingangssignaladapter (mit Control S-Anschluß) BKM-B12 (nicht mitgeliefert).



Anschlußbeispiel: Der Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert) wurde installiert.

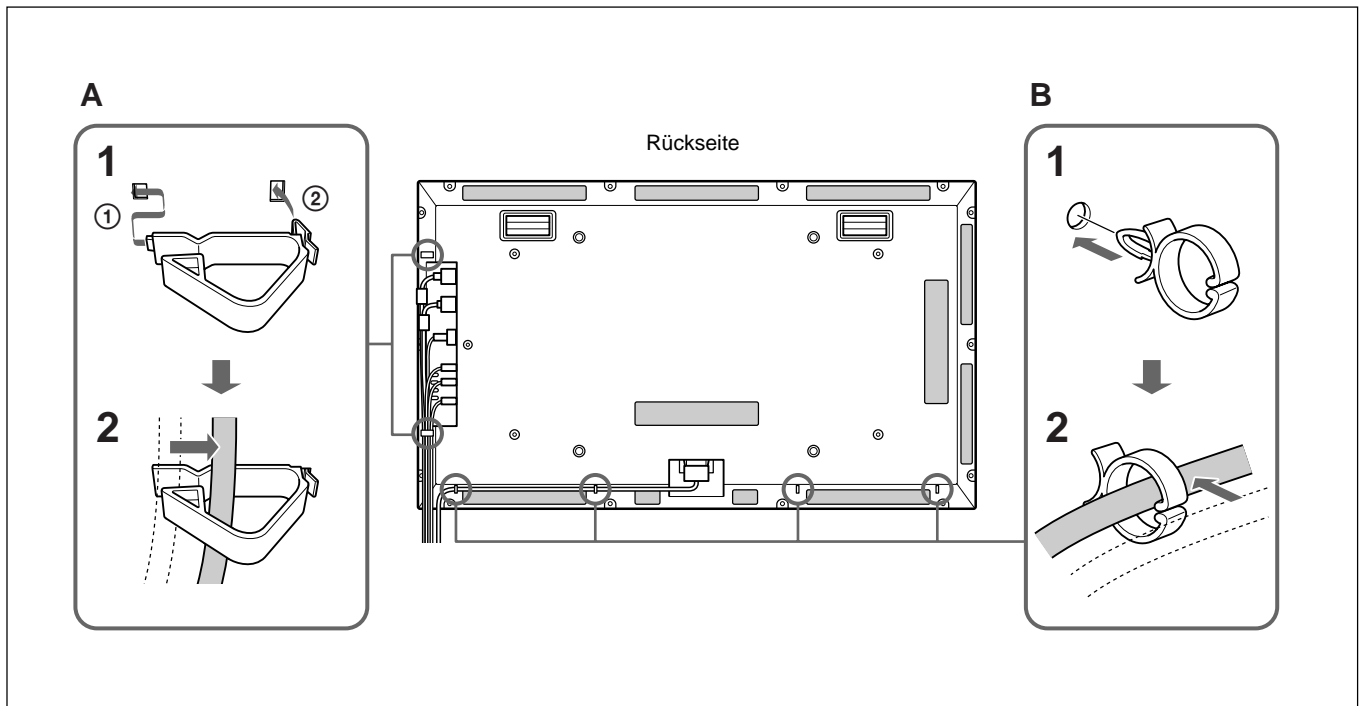
Die folgende Abbildung zeigt ein Anschlußbeispiel mit installiertem Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert).



Ein Anschlußbeispiel für den Netzwerkadapter BKM-B30NW (nicht mitgeliefert) finden Sie in der Bedienungsanleitung zum BKM-B30NW.

Anbringen der Kabelhalter

Die Kabelhalter A (×2) und B (×4) dienen zum Befestigen der Verbindungskabel und des Netzkabels. Bringen Sie die Kabelhalter A und B wie in der Abbildung unten gezeigt an.

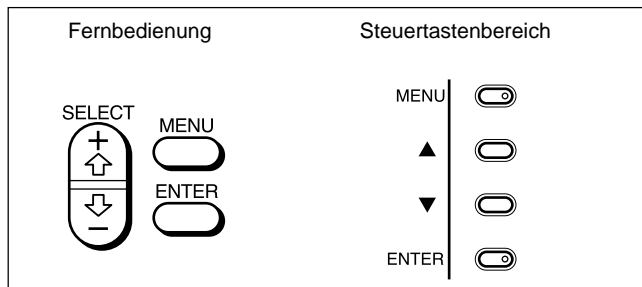


Die Bildschirmmenüs

Arbeiten mit den Menüs

Menütasten

Zur Arbeit mit den Menüs können Sie die Tasten am Monitor oder auf der Fernbedienung verwenden.

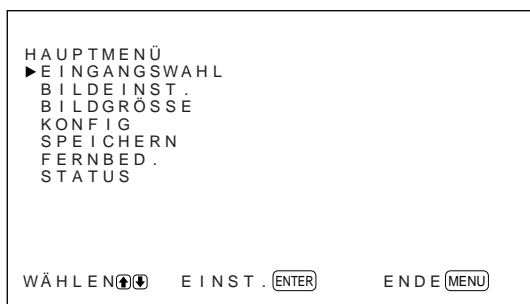


Die Beschreibungen in dieser Bedienungsanleitung beziehen sich auf die Tasten am Steuertastenbereich. Die Taste SELECT + **▲/▼** auf der Fernbedienung hat dieselben Funktionen wie die Tasten **▲/▼** am Steuertastenbereich.

Menükonfiguration

Erläuterungen zum Auswählen der Menüsprache finden Sie auf Seite 36 (DE).

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Mit den Tasten **▲/▼** können Sie den Cursor (▶) bewegen und mit der Taste ENTER ein Menü auswählen.
Das ausgewählte Menü erscheint auf dem Bildschirm.
- 3 Mit den Tasten **▲/▼** können Sie den Cursor (▶) bewegen und mit der Taste ENTER eine Option auswählen.
Das Menü zu der ausgewählten Option erscheint auf dem Bildschirm.

- 4 Mit **▲/▼** können Sie eine Einstellung ändern oder auswählen, mit ENTER können Sie diese Einstellung bestätigen.
Die entsprechende Einstellung wird gespeichert, und es erscheint wieder das vorhergehende Menü.

Soll wieder die normale Bildschirmanzeige zu sehen sein, drücken Sie die Taste MENU so oft, bis das Menü ausgeblendet wird.

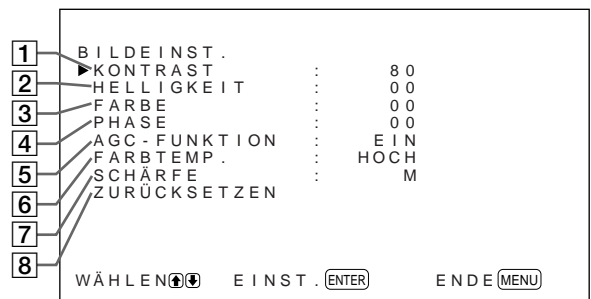
Übersicht über die Menüs

Hinweis

Wenn eine Funktion nicht zur Verfügung steht, erscheint “_ _ _ _” neben der entsprechenden Option. Welche Funktionen zur Verfügung stehen, hängt vom Typ des Eingangssignals ab.

Menü BILDEINST.

Auf dem Menü BILDEINST. können Sie die Bildqualität einstellen.



- 1 **KONTRAST**
Mit **▲** verstärken Sie den Kontrast, mit **▼** schwächen Sie ihn ab.
- 2 **HELLIGKEIT**
Mit **▲** stellen Sie das Bild heller, mit **▼** dunkler ein.
- 3 **FARBE**
Mit **▲** verstärken Sie die Farbsättigung, mit **▼** schwächen Sie sie ab.
- 4 **PHASE**
Mit **▲** verstärken Sie im Bild den Grünanteil, mit **▼** den Rotanteil.
- 5 **AGC-FUNKTION**
Wenn Sie EIN wählen, wird die Helligkeit automatisch erhöht, wenn ein Signal mit geringer Helligkeit eingeht.
Diese Funktion steht nur bei VIDEO- oder 15-kHz-YUV-Eingangssignalen zur Verfügung.

6 FARBTEMP.

Zum Ändern der Farbtemperatur.

Näheres dazu finden Sie unter "FARBTEMP." auf Seite 28 (DE).

7 SCHÄRFE

Zum Wechseln der Kontureneinstellung in folgenden drei Stufen (HOCH, M und TIEF).

Näheres dazu finden Sie unter "SCHÄRFE" auf Seite 29 (DE).

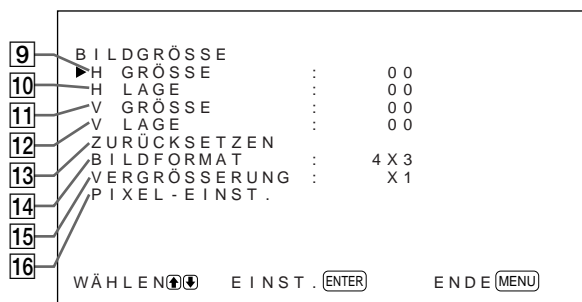
8 ZURÜCKSETZEN

Zum Zurücksetzen der Optionen **1** bis **7** im Menü BILDEINST. auf die werkseitigen Werte.

Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "Zurücksetzen der Optionen im Menü BILDEINST. auf ihre ursprünglichen Werte" auf Seite 29 (DE).

Menü BILDGRÖSSE

Mit diesem Menü können Sie Größe und Position des Bildes ändern.

**9 H GRÖSSE**

Zum Einstellen der Bildbreite. Mit ▲ stellen Sie das Bild breiter, mit ▼ schmäler ein.

10 H LAGE

Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Mit ▲ verschieben Sie das Bild nach rechts, mit ▼ nach links.

11 V GRÖSSE

Zum Einstellen der Bildhöhe. Mit ▲ stellen Sie das Bild höher, mit ▼ niedriger ein.

12 V LAGE

Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Mit ▲ verschieben Sie das Bild nach oben, mit ▼ nach unten.

13 ZURÜCKSETZEN

Zum Zurücksetzen der Optionen **9** bis **12** im Menü BILDGRÖSSE auf die werkseitigen Werte.

Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "Zurücksetzen von Bildgröße und -position auf die ursprünglichen Werte" auf Seite 31 (DE).

14 BILDFORMAT

Zum Wechseln des Bildformats.

Näheres dazu finden Sie unter "Wechseln des Bildformats" auf Seite 32 (DE).

15 VERGRÖSSERUNG

Zum Vergrößern des Bildes auf das Doppelte (×2), Dreifache (×3) bzw. Vierfache (×4).

Hinweis

Wenn Sie BILDFORMAT auf W-ZOOM oder LB ZOOM setzen, erscheint "— — —", und Sie können VERGRÖSSERUNG nicht auf ×2, ×3 oder ×4 setzen.

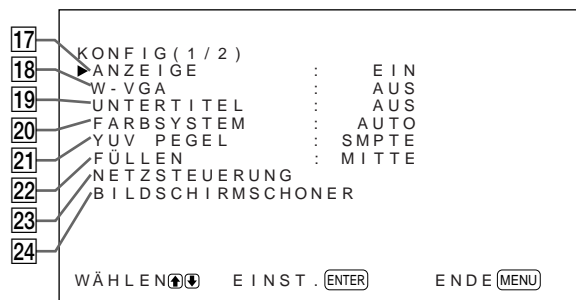
16 PIXEL-EINST.

Zum Einstellen der Punktphase und der Gesamtzahl der horizontalen Pixel, wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien Bildstörungen zu sehen sind.

Näheres dazu finden Sie unter "Einstellen der Pixel" auf Seite 33 (DE).

Menü KONFIG

Dieses Menü dient zum Einstellen des Signals und zur Auswahl der Menüsprache. Dieses Menü umfaßt zwei Seiten: KONFIG (1/2), KONFIG (2/2). Wenn Sie zwischen den Seiten wechseln wollen, drücken Sie die Tasten ▲ / ▼, bis die jeweils andere Seite erscheint.



PFM-42B1E: "YUV PEGEL" wird nicht angezeigt.



PFM-42B1E: "SERIAL REMOTE" wird nicht angezeigt. Wenn Sie den Netzwerkadapter (BKM-B30NW) installiert haben, wird "NETZWERK ADAPTER" hinzugefügt, aber nicht auf dem PFM-42B1E angezeigt.

17 ANZEIGE

Wählen Sie EIN, so werden beim Einschalten oder nach einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang oben am Bildschirm Informationen zum Eingangssignal angezeigt.

18 W-VGA

Wählen Sie EIN, wenn das W-VGA-Signal (852 × 480) eingespeist werden soll.

Wenn Sie diese Option auf EIN setzen, ist das VGA-Eingangssignal auf 852 × 480 festgelegt. Andernfalls ist das VGA-Eingangssignal auf 640 × 480 festgelegt.

19 UNTERTITEL

Zum Anzeigen von Untertiteln.

Näheres dazu finden Sie unter "Anzeigen von Untertiteln" auf Seite 25 (DE).

20 FARBSYSTEM

Zum Auswählen des Eingangssignals.

AUTO: Zum Anzeigen von NTSC-, PAL- oder SECAM-Signalen

443NT: Zum Anzeigen von NTSC4.43-Signalen

PAL60: Zum Anzeigen von PAL60-Signalen

PAL-M: Zum Anzeigen von PAL-M-Signalen

21 YUV PEGEL (nur PFM-42B2E)

Stellen Sie hier den Farbdifferenzsignalpegel ein.

SMPTE: SMPTE-Signalpegel

BETA: BETACAM-Signalpegel

22 FÜLLEN

Zum Auswählen des Ausgangspunktes, von dem aus die Größe des Bildes geändert wird.

MITTE: Zum Einstellen der Bildschirmmitte als Ausgangspunkt.

ECKE: Zum Einstellen der Bildschirmecke links oben als Ausgangspunkt.

23 NETZSTEUERUNG

Zum Einstellen der Zeitspanne, nach der das System in den Energiesparmodus schaltet.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)" auf Seite 39 (DE).

24 BILDSCHIRMSCHONER

Zum Aktivieren eines Bildschirmschoners, mit dem Nach- und Doppelbilder verringert werden.

Näheres dazu finden Sie unter "Verringern von Nachbildern und Doppelbildern (Bildschirmschonerfunktion)" auf Seite 37 (DE).

25 ZEIT ANGEBEN

Zum Einstellen der Uhrzeit.

Näheres dazu finden Sie unter "Einstellen der Uhrzeit" auf Seite 25 (DE).

26 SPRACHE

Zum Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch oder Japanisch).

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Auswählen der Menüsprache" auf Seite 36 (DE).

27 SERIAL REMOTE (nur PFM-42B2E)

Stellen Sie hier die serielle Fernsteuerungsschnittstelle ein.

Näheres dazu finden Sie unter "Einstellen von SERIAL REMOTE" auf Seite 43 (DE).

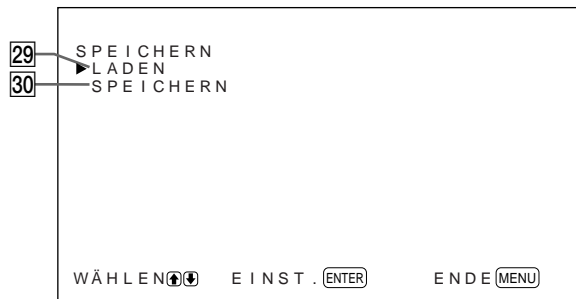
28 NETZWERK ADAPTER (nur PFM-42B2E)

Stellen Sie hier den Netzwerkadapter ein.

Näheres dazu finden Sie unter "Einstellen von NETZWERK ADAPTER" auf Seite 44 (DE).

Menü SPEICHERN

Dieses Menü dient zum Speichern und Wiederaufrufen der Einstellungen in den Menüs BILDEINST. und BILDGRÖSSE.



Erläuterungen dazu finden Sie unter "Die Speicherfunktion" auf Seite 34 (DE).

29 LADEN

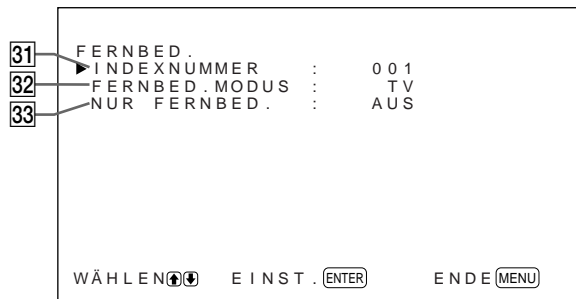
Ruft die voreingestellten Werte auf.

30 SPEICHERN

Speichert die Einstellungen.

Menü FERNBED.

Dieses Menü dient zum Einstellen des Fernbedienungsmodus.



31 INDEXNUMMER

Zum Einstellen der Indexnummer für den Monitor.

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der Nummer die Tasten am Monitor.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter "Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung" auf Seite 45 (DE).

32 FERNBED. MODUS

Zum Auswählen des Fernbedienungsmodus.

TV: Fernbedienung von Sony-Monitor oder -Fernsehergerät

PJ: Fernbedienung des Sony-Projektors

AUS: Deaktiviert die Fernbedienung.


Hinweis

Verwenden Sie zum Ändern des Fernbedienungsmodus die Tasten am Monitor. Sie können den Fernbedienungsmodus nicht mit der Fernbedienung ändern.

Näheres dazu finden Sie unter "Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle" auf Seite 47 (DE).

33 NUR FERNBED.

Wählen Sie EIN, um die Steuertasten am Monitor zu deaktivieren. Der Monitor läßt sich jetzt nur noch über die Fernbedienung steuern.

Wenn Sie die Tasten am Bedienfeld vorn wieder aktivieren wollen, setzen Sie NUR FERNBED. mit der Fernbedienung auf AUS, oder drücken Sie die Taste MENU, während Sie den Schalter  (Bereitschaft) gedrückt halten. Der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus und kann wieder über die Tasten am Bedienfeld vorn gesteuert werden. Diese Einstellung bleibt auch dann erhalten, wenn Sie das Netzkabel lösen oder den Monitor mit der Fernbedienung ein- bzw. ausschalten.

Menü STATUS

Dieses Menü dient zum Anzeigen von Informationen zum Status des Monitors.

34	STATUS	:	PFM - 42B2E
35	MODELL	:	2000001
36	SERIEN Nr.	:	000001H
37	BETRIEBSTD	:	Ver 1.00
38	SOFTWARE	:	OK
39	TEMPERATUR	:	OK
	LÜFTER	:	OK

34 MODELL

Hier wird der Modellname angegeben.

Die Beschreibung in diesem Abschnitt basiert auf dem PFM-42B2E.

35 SERIEN Nr.

Hier wird die Seriennummer angegeben.

36 BETRIEBSTD

Gibt die Gesamtzahl der Betriebsstunden an.

Hinweis

Der Bereitschaftsmodus zählt nicht zur Betriebsdauer.

37 SOFTWARE

Gibt die Version der Systemsoftware an.


38 TEMPERATUR

Gibt an, ob die interne Temperatur des Monitors im Normalbereich liegt.

OK: Normal

NG: Nicht normal

Wenn die interne Temperatur nicht im Normalbereich liegt, wird NG angezeigt, und die Option blinkt rot.

Die Anzeige STANDBY am Bereich für Netzschalter  (Bereitschaft) / Netzanzeige blinkt ebenfalls.

Hinweis

Die Meldung "TEMPERATUR NG" erscheint möglicherweise, wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind oder der Monitor an einem Ort mit ungenügender Luftzufuhr aufgestellt ist. Sorgen Sie in diesem Fall dafür, daß die Lüftungsöffnungen nicht blockiert werden, und stellen Sie den Monitor an einem Ort mit ausreichender Luftzufuhr auf. Wird die Meldung dann immer noch angezeigt, wenden Sie sich bitte an Ihren autorisierten Sony-Händler.


Wenn die Anzeige STANDBY blinkt oder NG angezeigt wird, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 45 (DE) nach.

39 LÜFTER

Dieser Monitor enthält Ventilatoren. Hier wird angegeben, ob die Ventilatoren ordnungsgemäß funktionieren.

OK: Normal

NG: Nicht normal

Wenn die Ventilatoren nicht ordnungsgemäß funktionieren, wird NG angezeigt, und die Option blinkt rot. Die Anzeige STANDBY am Bereich für Netzschalter  (Bereitschaft) / Netzanzeige blinkt ebenfalls.

Hinweise

- Wenn die Meldung "LÜFTER NG" erscheint, wenden Sie sich bitte an Ihren autorisierten Sony-Händler.
Wenn die Anzeige STANDBY blinkt oder NG angezeigt wird, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 45 (DE) nach.
- Die Ventilatoren messen die interne Temperatur des Monitors und steuern die Rotationsgeschwindigkeit. Wenn die Umgebungstemperatur hoch ist, erhöht sich die Ventilatorgeschwindigkeit, und das Summen der Ventilatoren wird lauter.

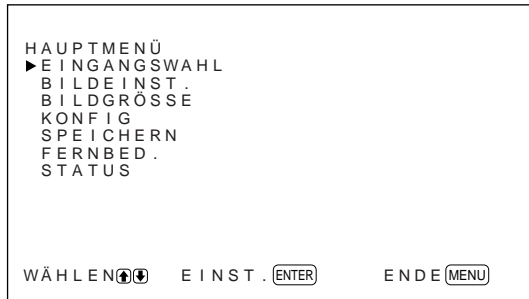
Die Anzeigefunktionen

Vorbereitungen

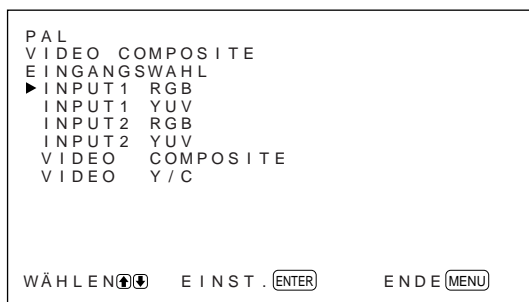
- Schalten Sie den Monitor ein.
- Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein, und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
- Wenn beim Einschalten des Monitors oder bei einem Wechsel des Eingangssignals Informationen zum Eingangssignal angezeigt werden sollen, setzen Sie "ANZEIGE" im Menü KONFIG (1/2) auf EIN.
- Erläuterungen zum Auswählen der Bildschirmmenüsprache finden Sie auf Seite 36 (DE).

Wechseln des Eingangssignals

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "EINGANGSWAHL", und drücken Sie ENTER.
Das gerade ausgewählte Eingangssignal und das Menü EINGANGSWAHL erscheinen auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf die Eingangsquelle, die angezeigt werden soll, und drücken Sie ENTER.

INPUT1 RGB: Das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein RGB-Signal handelt.

INPUT1 YUV: Das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein Farbdifferenzsignal handelt.

INPUT2 RGB: Das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein RGB-Signal handelt.

INPUT2 YUV: Das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein Farbdifferenzsignal handelt.

VIDEO COMPOSITE: Das über den Anschluß COMPOSITE IN und die Buchse AUDIO IN (VIDEO-Anschlüsse) eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt.

VIDEO Y/C: Das über den Anschluß Y/C IN und die Buchse AUDIO IN (VIDEO-Anschlüsse) eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt.

(Beim PFM-42B1E/42B2E erscheinen VIDEO COMPOSITE und VIDEO Y/C nur, wenn der Videoeingangsadapter BKM-B10 oder der Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert) installiert ist.)

INPUT3 RGB: Zum Auswählen des Eingangssignals (RGB-Signal) von dem Gerät, das an die INPUT3-Anschlüsse angeschlossen ist.

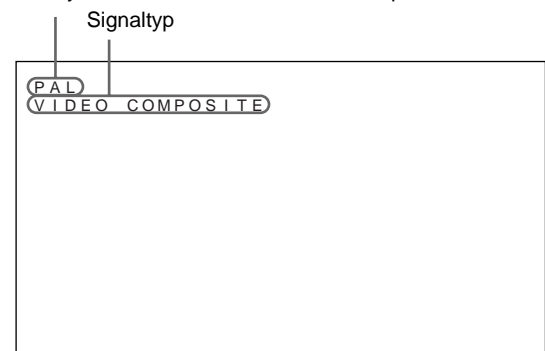
Steht nur zur Verfügung, wenn der Farbdifferenzsignaladapter BKM-B12 installiert ist.

INPUT3 YUV: Zum Auswählen des Eingangssignals (Farbdifferenzsignal) von dem Gerät, das an die INPUT3-Anschlüsse angeschlossen ist.
Steht nur zur Verfügung, wenn der Farbdifferenzsignaladapter BKM-B12 installiert ist.

INPUT3 PC: Zum Auswählen des Signals vom Netzwerkadapter BKM-B30NW, der an der VIDEO-Anschlußeinheit installiert ist. (Nur wenn der Netzwerkadapter BKM-B30NW installiert ist.)

Das ausgewählte Eingangssignal erscheint auf dem Bildschirm.

Farbsystem oder Horizontal-/Vertikalfrequenz



Sie können das Eingangssignal auch mit der Fernbedienung auswählen.

Hinweis

Es empfiehlt sich, als Eingangssignalquelle ein Videogerät mit TBC-Funktion (Time Base Corrector) zu verwenden. Wenn am Monitor ein Signal ohne TBC eingespeist wird, wird aufgrund einer Störung des Synchronisationssignals unter Umständen kein Bild angezeigt.

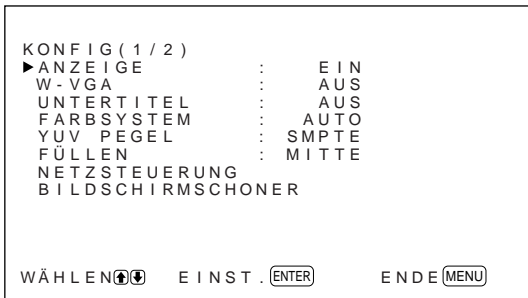
Wechseln des Anzeigemodus

Anzeigen von Untertiteln

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "KONFIG", und drücken Sie ENTER.
Das Menü KONFIG (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "UNTERTITEL", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

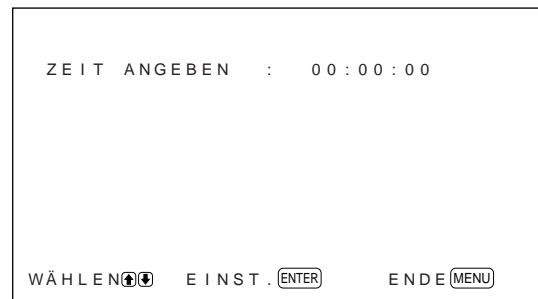


- 4 Wählen Sie mit ▲ / ▼ den Untertiteltyp aus.
AUS: Untertitel werden nicht angezeigt.
UT1: Untertitel 1 wird über das Bild eingeblendet.
UT2: Untertitel 2 wird über das Bild eingeblendet.
TEXT1: Untertitel 1 wird vor einem schwarzen Hintergrund angezeigt.
TEXT2: Untertitel 2 wird vor einem schwarzen Hintergrund angezeigt.

- 5 Drücken Sie MENU.
Nun erscheint wieder das Menü KONFIG (1/2).

Einstellen der Uhrzeit

- 1 Stellen Sie im Menü KONFIG (2/2) den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "ZEIT ANGEBEN", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Drücken Sie ENTER.
Der Hintergrund der Stundenangabe erscheint in cyan.
- 3 Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Stunde ein, und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben, und die Minuten werden mit zyanfarbenem Hintergrund angezeigt.
- 4 Stellen Sie die Minuten wie die Stunde ein, und drücken Sie ENTER.
Die Einstellung für die Minuten ist damit eingegeben, und die Sekundenangabe wird auf 00 zurückgesetzt.

So zeigen Sie die Uhrzeit an

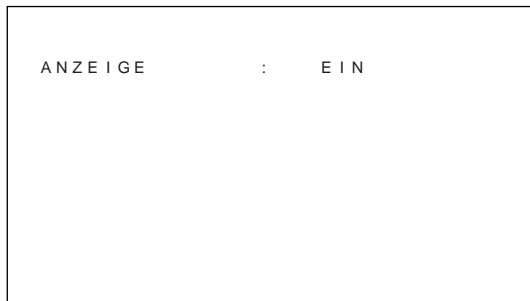
Drücken Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung. Die Uhrzeit wird in der oberen rechten Ecke des Monitors angezeigt.

Anzeige von Eingangssignal und Monitorstatus

Informationen zum Eingangssignal und zum Monitorstatus erscheinen beim Einschalten des Geräts oder bei einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang auf dem Bildschirm.

Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im folgenden beschrieben vor.

- 1 Stellen Sie im Menü KONFIG (1/2) den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “ANZEIGE”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Setzen Sie ANZEIGE mit der Taste ▲ / ▼ auf AUS, und drücken Sie ENTER.
Die ANZEIGE-Funktion ist damit deaktiviert.

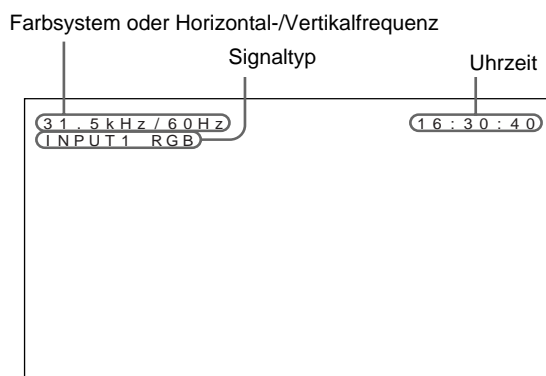
So lassen Sie die Informationen anzeigen

Setzen Sie ANZEIGE in Schritt 2 oben auf EIN. Als werkseitiger Standard ist EIN gestellt.

Hinweis

Unabhängig von der Einstellung oben können Sie die Informationen zum Eingangssignal und die Uhrzeit jederzeit abrufen, indem Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken. Die Anzeige wird erst wieder ausgeblendet, wenn Sie die Taste DISPLAY erneut drücken.

Die Informationsliste zum Eingangssignal



Voreingestellte Eingangssignale			
	Signalname	Farbsystem oder Horizontal-/Vertikalfrequenz	
Computersignale			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13 Zoll	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I-O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16 Zoll	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21 Zoll	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGA ist ein eingetragenes Warenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc.
d) Steht nur zur Verfügung, wenn Sie eine Grafikkarte verwenden, die von der I-O DATA Corporation hergestellt wurde.
e) Steht nur zur Verfügung, wenn Sie eine Grafikkarte von Matrox Graphics Inc., verwenden.

Hinweise

- Wenn ein HDTV-Signal eingeht, speisen Sie das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses INPUT1 oder INPUT2 (D-Sub, 15polig) ein.
- Wenn Sie das Computersignal mit der unter Nr. 29 aufgeführten Auflösung einspeisen, setzen Sie im Menü BILDGRÖSSE die Option H GRÖSSE, H LAGE, V GRÖSSE und V LAGE auf den Standardwert (00) und VERGRÖßERUNG auf ×1. Andernfalls oszilliert das Bild unter Umständen.
- Wenn das Bild beim Einspeisen von DVD-Signalen in den PFM-42B1E zu hell ist, stellen Sie die Farbe über die Option "FARBE" im Menü BILDEINST ein. *Beim PFM-42B2E wählen Sie unter YUV PEGEL im Menü KONFIG die Einstellung "SMPTE".*
- Bei 480/60p speisen Sie das Bild über ein YUV-Signal ein. Wenn Sie ein RGB-Signal einspeisen, erkennt das System das Signal aufgrund der Frequenz als ein VGA-Signal. Das Signal wird mit 31,5 kHz/59,9 Hz angezeigt, die Bildschirmphase ist falsch und die Auflösung ist im Vergleich zu einem YUV-Eingangssignal verringert. Bei Problemen mit der Bildschirmphase können Sie mit den Optionen H LAGE und V LAGE im Menü "Signal Adjustment" oder mit den Tasten H SHIFT, V SHIFT und SELECT auf der Fernbedienung RM-42B die nötigen Einstellungen vornehmen.
- Verwenden Sie zum Einspeisen eines DTV-Signals (Nr.7 bis Nr.14) ein YUV-Signal.

Anzeigen zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeige	Bedeutung
31.5kHz / 59.9Hz (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Computersignal im RGB-Format.
480 / 60I (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
ANDERE	Das Eingangssignal liegt außerhalb des Fangbereichs.
NO SYNC	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
INPUT1 RGB	Für INPUT1 gilt der Signalmodus RGB.
INPUT1 YUV	Für INPUT1 gilt als Signalmodus das Farbdifferenzsignal.
VIDEO COMPOSITE	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das FBAS-Videosignal ausgewählt.
VIDEO Y/C	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das Y/C-Videosignal ausgewählt.

Einstellen der Bildqualität

Sie können das Bild anzeigen lassen und dabei Kontrast, Helligkeit, Chroma (Farbintensität), Phase usw. einstellen. Diese Werte können Sie für die einzelnen Eingangssignale unabhängig voneinander einstellen. Darüber hinaus können Sie die eingestellten Werte im Gerät speichern.

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw.

Drücken Sie MENU, so daß das Hauptmenü auf dem Bildschirm angezeigt wird, und wählen Sie im Menü BILDEINST. mit ▲ / ▼ die Option "KONTRAST", "HELLIGKEIT", "CHROMA", "PHASE", "AGC-FUNKTION", "FARBTEMP." oder "SCHÄRFE" aus.

KONTRAST

Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "KONTRAST" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit ▲ / ▼ für den Kontrast einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (+100) ein.

▲: Der Kontrast wird verstärkt.

▼: Der Kontrast wird abgeschwächt.

HELLIGKEIT

Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "HELLIGKEIT" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit ▲ / ▼ für die Helligkeit einen Wert zwischen MIN (–50) und MAX (+50) ein.

▲: Das Bild wird heller.

▼: Das Bild wird dunkler.

FARBE

Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "FARBE" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit ▲ / ▼ für die Farbe einen Wert zwischen MIN (–50) und MAX (+50) ein.

▲: Die Farbintensität wird verstärkt.

▼: Die Farbintensität wird abgeschwächt.

PHASE

Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "PHASE" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit ▲ / ▼ für die Phase einen Wert zwischen MIN (–50) und MAX (+50) ein.

▲: Der Grünanteil im Bild wird verstärkt.

▼: Der Rotanteil im Bild wird verstärkt.

Automatische Helligkeitsregelung — Verbessern des Bildkontrasts

Wenn das Bild insgesamt nicht sehr hell ist, kann das System den Kontrast automatisch verstärken, um die Helligkeit zu erhöhen. Diese Funktion eignet sich besonders zum Anzeigen dunkler Bilder.

Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "AGC-FUNKTION" aus, und drücken Sie ENTER. Setzen Sie AGC-FUNKTION mit ▲ / ▼ auf EIN oder AUS.

FARBTEMP. (Farbtemperatur)

Sie können auch die Farbtemperatur einstellen. Sie können HOCH oder TIEF auswählen oder die einzelnen Gain-Werte separat einstellen. Bis zu sechs eingestellte Farbtemperaturen können Sie abspeichern und einen Namen dafür eingeben (bis zu sechs Zeichen pro Name).

1 Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option "FARBTEMP." aus, und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Farbtemperatur aus, und drücken Sie ENTER.

HOCH: Die Farbtemperatur wird auf einen hohen Wert eingestellt.

TIEF: Die Farbtemperatur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

1 – 6: Damit stellen Sie den Gain-Wert genauer ein.

Wenn Sie HOCH oder TIEF auswählen, wird wieder das Menü BILDEINST. angezeigt.

Wenn Sie "1" bis "6" auswählen

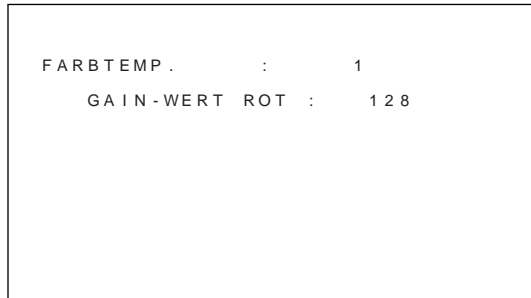
Wenn Sie "1" bis "6" auswählen, erscheint folgendes Menü auf dem Bildschirm.

FARBTEMP.		:	1
GAIN - WERT	ROT	:	128
GAIN - WERT	GRÜN	:	128
GAIN - WERT	BLAU	:	128
NAME			
WÄHLEN		[↩]	
EINST.		[ENTER]	
ENDE		[MENU]	

Beim PFM-42B1E wird für alle Gain-Optionen "255" angezeigt.

- (1) Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Speichernummer aus, und drücken Sie ENTER.
Der Cursor (►) erscheint auf dem Bildschirm.

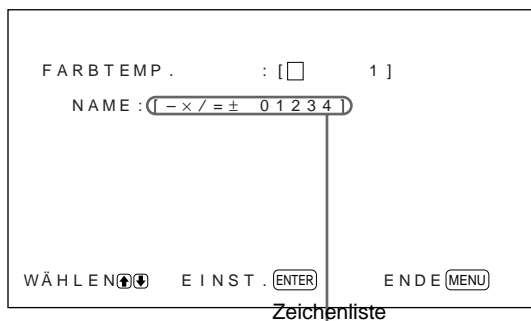
- (2) Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf den einzustellenden Gain-Wert, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (3) Stellen Sie mit ▲ / ▼ den Gain-Wert (0 bis 255) ein, und drücken Sie MENU.
Nun erscheint wieder das Menü FARBTEMP.
Beim PFM-42B1E können Sie einen Wert zwischen 10 und 255 einstellen.
- (4) Stellen Sie wie in Schritt (2) und (3) erläutert die anderen Gain-Werte ein, und drücken Sie MENU.
Nun erscheint wieder das Menü FARBTEMP.

Wenn Sie einen neuen Namen für die eingestellte Farbtemperatur eingeben wollen, gehen Sie wie im folgenden beschrieben vor.

- (5) Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "NAME", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (6) Wählen Sie mit ▲ / ▼ das zu ändernde Zeichen aus, und drücken Sie ENTER.
In der Zeichenliste wird das Zeichen mit zyanfarbenem Hintergrund angezeigt.
- (7) Wählen Sie mit ▲ / ▼ ein Zeichen in der Zeichenliste aus, und drücken Sie ENTER.
Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben.

- (8) Geben Sie wie in Schritt (6) und (7) erläutert den ganzen Namen ein, und drücken Sie anschließend MENU.
Nun erscheint wieder das Menü FARBTEMP.

SCHÄRFE

Sie können für die Kontureneinstellung eine von drei Stufen (HOCH, M und TIEF) auswählen.

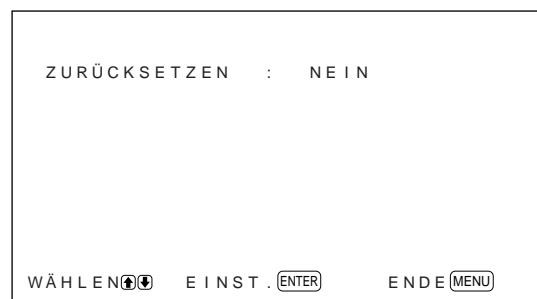
- 1 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "SCHÄRFE", und drücken Sie ENTER.
- 2 Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Kontureneinstellung aus, und drücken Sie ENTER.
HOCH: Die Bildkonturen werden schärfer.
M: Standardwert
TIEF: Die Bildkonturen werden weicher.

Hinweise

- Für ein RGB-Signal können Sie FARBE und PHASE nicht einstellen.
- Für ein Farbdifferenzsignal können Sie PHASE nicht einstellen.
- Für ein Eingangssignal im PAL- oder SECAM-Format können Sie PHASE nicht einstellen.
- Ändern Sie den Pegel von FARBE/PHASE (nur NTSC) nicht, wenn es sich bei dem ausgewählten Signal um ein Schwarzweißsignal handelt. Eine solche Änderung hätte zwar auf das gerade angezeigte Bild keine Auswirkungen, würde aber bei einem später eingespeisten Farbbild (im NTSC- oder PAL-Format) zu Bildstörungen führen.
- Beim Einstellen von KONTRAST, HELLIGKEIT, FARBE oder PHASE spiegelt der am Bildschirm angezeigte Wert nicht die tatsächliche Änderung wider.

Zurücksetzen der Optionen im Menü BILDEINST. auf ihre ursprünglichen Werte

- 1 Stellen Sie im Menü BILDEINST. den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "ZURÜCKSETZEN", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Drücken Sie ▲ / ▼.
“NEIN” wird zu “JA”.



- 3** Drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü BILDEINST. werden auf die ursprünglichen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

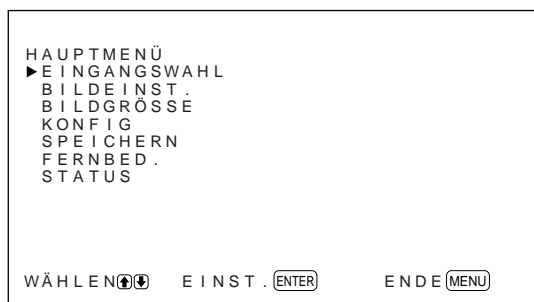
Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.

Einstellen von Bildgröße und Bildposition

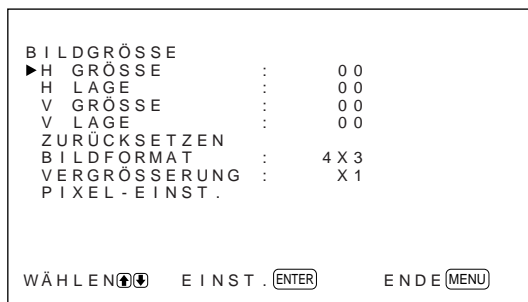
Sie können das Bild verschieben, so daß es auf den Bildschirm paßt, bzw. Bildhöhe und Bildbreite unabhängig voneinander einstellen.

Einstellen der Bildgröße

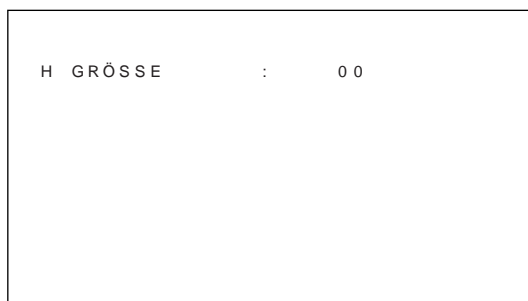
- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (▶) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “BILDGRÖSSE”, und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILDGRÖSSE erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (▶) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “H GRÖSSE”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Ändern Sie mit ▲ / ▼ die Größe des Bildes
▲: Das Bild wird breiter
▼: Das Bild wird schmaler.
Die Bildbreite wird auf dem Bildschirm als ein Wert zwischen -50 (Minimum) und +50 (Maximum) angezeigt.

- 5** Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü BILDGRÖSSE.

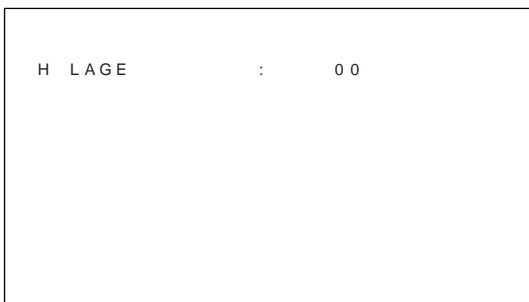
- 6** Stellen Sie den Cursor (▶) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “V GRÖSSE”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



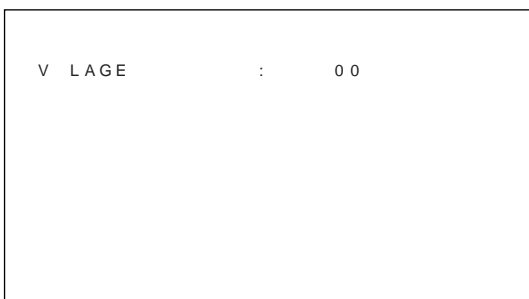
- 7** Ändern Sie mit ▲ / ▼ die Größe des Bildes.
 ▲: Das Bild wird höher.
 ▼: Das Bild wird niedriger.
 Die Bildhöhe wird auf dem Bildschirm als ein Wert zwischen –50 (Minimum) und +50 (Maximum) angezeigt. Die werkseitige Einstellung ist 00.
- 8** Drücken Sie ENTER.
 Nun erscheint wieder das Menü BILDGRÖSSE.

Einstellen der Bildposition

- 1** Stellen Sie im Menü BILDGRÖSSE den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “H LAGE”, und drücken Sie ENTER.
 Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Ändern Sie mit ▲ / ▼ die Position des Bildes.
 ▲: Das Bild verschiebt sich nach rechts.
 ▼: Das Bild verschiebt sich nach links.
 Die horizontale Bildposition wird auf dem Bildschirm als ein Wert zwischen –50 (Minimum) und +50 (Maximum) angezeigt. Die werkseitige Einstellung ist 00.
- 3** Drücken Sie ENTER.
 Nun erscheint wieder das Menü BILDGRÖSSE.
- 4** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “V LAGE”, und drücken Sie ENTER.
 Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



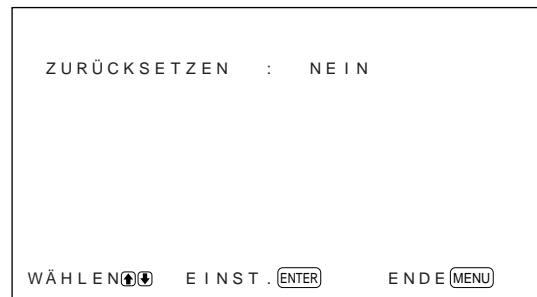
- 5** Ändern Sie mit ▲ / ▼ die Position des Bildes.
 ▲: Das Bild verschiebt sich nach oben.
 ▼: Das Bild verschiebt sich nach unten.
 Die vertikale Bildposition wird auf dem Monitorbildschirm als ein Wert zwischen –50 (Minimum) und +50 (Maximum) angezeigt. Die werkseitige Einstellung ist 00.
- 6** Drücken Sie ENTER.
 Nun erscheint wieder das Menü BILDGRÖSSE.

Hinweis

Sie können die Bildgröße und -position nur innerhalb des zulässigen Einstellbereichs ändern. Der Einstellbereich hängt vom Typ des jeweiligen Eingangssignals ab.

Zurücksetzen von Bildgröße und -position auf die ursprünglichen Werte

- 1** Stellen Sie im Menü BILDGRÖSSE den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “ZURÜCKSETZEN”, und drücken Sie ENTER.
 Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Drücken Sie ▲ / ▼.
 “NEIN” wird zu “JA”.



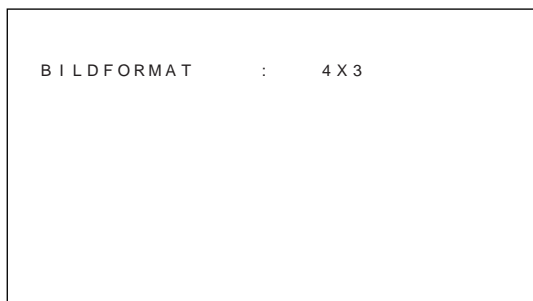
- 3** Drücken Sie ENTER.
 Nun gelten wieder die ursprüngliche Bildgröße und -position.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab
 Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.

Wechseln des Bildformats

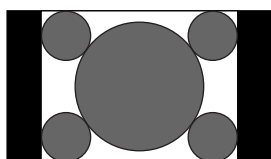
Mit diesem Monitor können Sie Bilder in verschiedenen Bildformaten anzeigen, z. B. im normalen Fernsehbildformat 4:3, im Breitbildformat usw. Das heißt, Sie können zum Anzeigen von Bildern ein geeignetes Bildformat auswählen.

- 1 Stellen Sie im Menü BILDGRÖSSE den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "BILDFORMAT", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Monitorbildschirm.

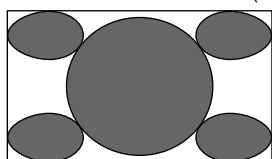


- 2 Wählen Sie mit ▲ / ▼ eine Einstellung für das Bildformat aus, und drücken Sie ENTER.
 - 4×3:** Zum Anzeigen von Bildern im 4:3-Standardformat
 - 16×9:** Zum Anzeigen von Bildern im 16:9-Breitbildformat
 - W-ZOOM:** Zum natürlichen Vergrößern eines 4:3-Bildes für einen 16:9-Bildschirm wie unten dargestellt
 - LB (Letterbox) ZOOM:** Zum Vergrößern von Bildern in verschiedenen Bildformaten, so daß die Proportionen erhalten bleiben und der Bildschirm wie unten dargestellt bis zum linken und rechten Rand ausgefüllt wird

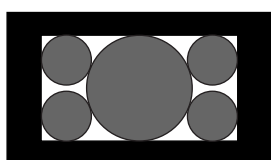
4:3-Standardbild



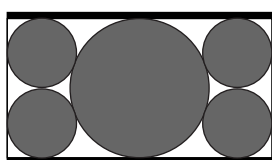
Einstellen von BILDFORMAT auf W-ZOOM und von beiden Linearitäten auf Standard (00)



Breitbildformat wie z. B. CinemaScope, VistaVision usw.



Einstellen von BILDFORMAT auf LB ZOOM



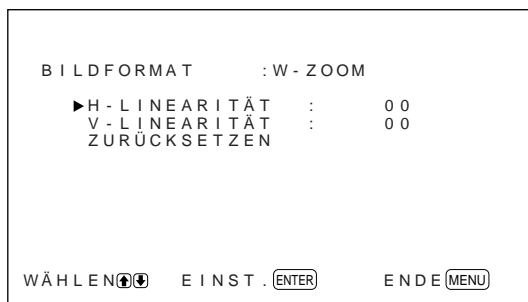
Hinweise

- Wenn Sie W-ZOOM oder LB ZOOM auswählen, empfiehlt es sich, die Werte für H GRÖSSE, H LAGE, V GRÖSSE und V LAGE auf den Standard (00) zu setzen. Wenn Sie die Werte zu stark ändern, kann das Bild bei W-ZOOM oder LB ZOOM verzerrt sein. Setzen Sie VERGRÖSSERUNG auf ×1, bevor Sie W-ZOOM oder LB ZOOM auswählen. Wenn VERGRÖSSERUNG auf ×2, ×3 oder ×4 gesetzt ist, können Sie W-ZOOM oder LB ZOOM nicht auswählen.
- Je nach eingespeistem Signaltyp können schwarze Streifen oben und unten am Bildrand erscheinen.

Einstellen der Linearitätswerte

Wenn Sie BILDFORMAT auf W-ZOOM setzen, können Sie die Linearität ändern, indem Sie die Einstellungen für H-LINEARITÄT und V-LINEARITÄT vornehmen.

- 1 Stellen Sie im Menü BILDFORMAT den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "W-ZOOM", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Monitorbildschirm.

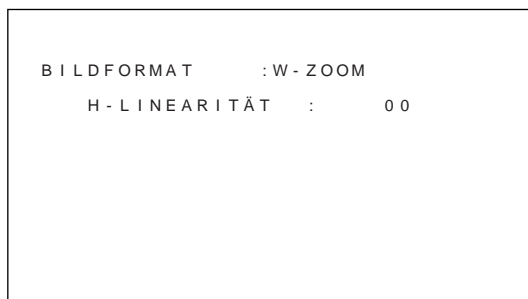


- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "H-LINEARITÄT" oder "V-LINEARITÄT", und drücken Sie ENTER.

H-LINEARITÄT: Die Linearität wird in horizontaler Richtung geändert.

V-LINEARITÄT: Die Linearität wird in vertikaler Richtung geändert.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von H-LINEARITÄT.



3 Stellen Sie mit ▲ / ▼ das Bildformat ein.

So setzen Sie die Optionen für den Breitbild-Zoom auf ihre ursprünglichen Werte zurück

Wählen Sie im Menü BILDFORMAT die Option W-ZOOM, und drücken Sie ENTER. Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “ZURÜCKSETZEN”, und drücken Sie ENTER. Wählen Sie anschließend mit ▲ / ▼ die Option JA, und drücken Sie ENTER.

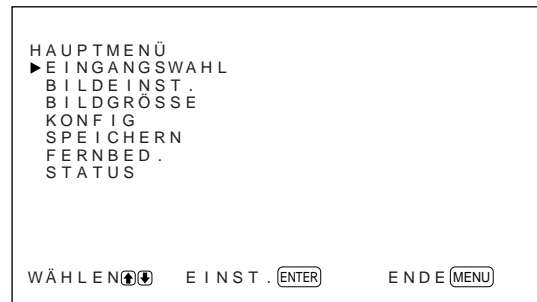
Hinweis

Beim Einstellen von H GRÖSSE, H LAGE, V GRÖSSE, V LAGE, H-LINEARITÄT or V-LINEARITÄT spiegelt der am Bildschirm angezeigte Wert nicht die tatsächliche Änderung wider.

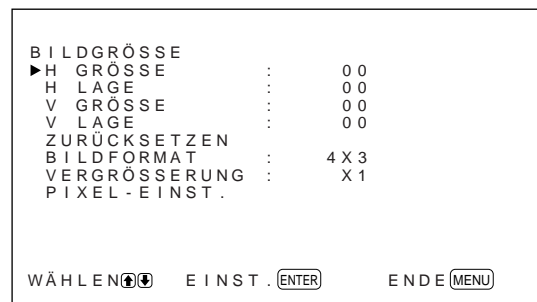
Einstellen der Pixel

Wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien zu starke Bildstörungen zu sehen sind, können Sie die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel einstellen.

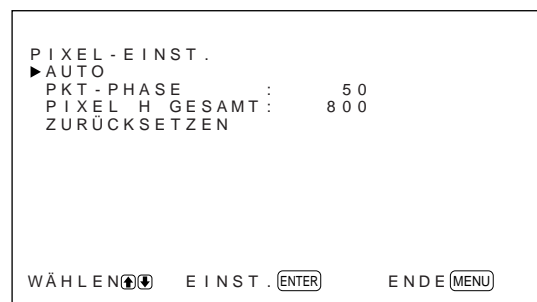
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “BILDGRÖSSE”, und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILDGRÖSSE erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “PIXEL-EINST.”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

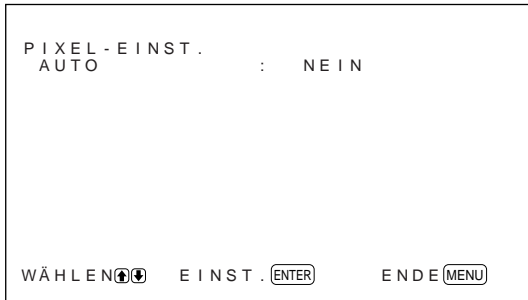


- 4** Sie können die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel automatisch oder manuell einstellen.

Automatisches Einstellen

- (1) Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option AUTO aus, und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



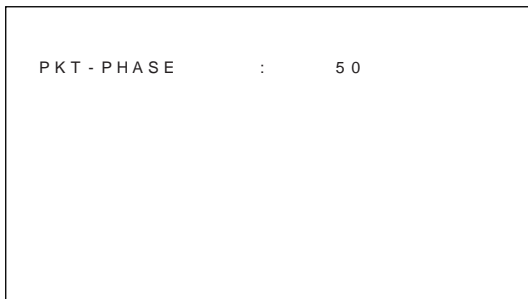
- (2) Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option JA, und drücken Sie ENTER.

Die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel werden automatisch eingestellt.

Manuelles Einstellen

- (1) Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option PKT-PHASE oder PIXEL H GESAMT, und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von PKT-PHASE.



- (2) Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Punktphase bzw. die Gesamtzahl der horizontalen Pixel ein, und drücken Sie ENTER.

So setzen Sie die Optionen des Menüs PIXEL-EINST. auf ihre ursprünglichen Werte zurück

Stellen Sie im Menü PIXEL-EINST. den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "ZURÜCKSETZEN", und drücken Sie ENTER. Wählen Sie anschließend mit ▲ / ▼ die Option JA, und drücken Sie ENTER.

Hinweise

- Die Einstellung der Punktphase ist bei Computersignalen (außer UXGA und höher) wirksam.
- Wenn sich Bildstörungen nicht mithilfe des automatischen Einstellvorgangs beheben lassen, nehmen Sie eine manuelle Feineinstellung vor.
- Beim Einstellen der Punktphase empfiehlt es sich, ein Gittermuster als Eingangssignal zu verwenden.
- Beim Einstellen von PIXEL-EINST spiegelt der am Bildschirm angezeigte Wert nicht die tatsächliche Änderung wider.

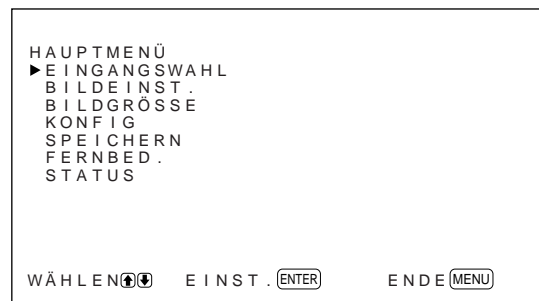
Die Speicherfunktion

Mit der Funktion SPEICHERN können Sie die aktuelle Bildeinstellung für die einzelnen Eingangssignale speichern. Die gespeicherten Einstellungen können Sie danach jederzeit abrufen. Sie können die Optionen in den Menüs BILDEINST. und BILDGRÖSSE in den Speicher stellen. Auf diese Weise können Sie die Bildeinstellungen für bis zu zwanzig Eingangssignale speichern. Sie können einen Namen für die Einstellungen der Optionen eingeben (bis zu 10 Zeichen Länge).

Speichern der aktuellen Einstellungen

- 1** Drücken Sie MENU.

Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "SPEICHERN", und drücken Sie ENTER. Das Menü SPEICHERN erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “SPEICHERN”, und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

Speichernummer	Name für Einstellung
SPEICHERN (Nr. 01)	[.....]
- RGB / fH31.5kHz / fV59.9Hz / POL [N/N] -	
SPEICHERN	
NAME	
WÄHLEN (◀▶)	EINST. (ENTER)
	ENDE (MENU)

Signaltyp Farbsystem oder Horizontal-/Vertikalfrequenz

Wenn unter der ausgewählten Speichernummer keine Daten gespeichert sind, erscheint die Meldung “-- LEER --” in cyan auf dem Bildschirm. Der Signaltyp und das Farbsystem oder die Horizontal-/Vertikalfrequenz werden in cyan (d. h. der Signaltyp der ausgewählten Speichernummer entspricht der aktuellen Einstellung) bzw. in gelb angezeigt (d. h. der Signaltyp der ausgewählten Speichernummer entspricht nicht der aktuellen Einstellung).

- 4** Wählen Sie mit ▲ / ▼ eine Speichernummer (01 bis 20) aus, und drücken Sie ENTER. Der Cursor (►) erscheint auf dem Monitorbildschirm.
- 5** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “SPEICHERN”, und drücken Sie ENTER. Die aktuellen Einstellungen werden unter der ausgewählten Speichernummer im Gerät gespeichert. Daraufhin wird etwa fünf Sekunden lang “SPEICHERN BEENDET” angezeigt und blinkt auf dem Bildschirm. Wenn Sie einen Namen für die Einstellungen eingeben wollen, gehen Sie wie im folgenden erläutert vor.

- 6** Drücken Sie ENTER, stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “NAME”, und drücken Sie erneut ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

SPEICHERN / Nr. 01 [.....]	
NAME : (ü ♦ ♦ ♦ ♦ ♦ fHfV% . :)	
WÄHLEN (◀▶)	EINST. (ENTER)
	ENDE (MENU)

Zeichenliste

- 7** Wählen Sie mit ▲ / ▼ das zu ändernde Zeichen aus, und drücken Sie ENTER. In der Zeichenliste wird der Hintergrund eines Zeichens in cyan angezeigt.
- 8** Wählen Sie mit ▲ / ▼ ein Zeichen in der Zeichenliste aus, und drücken Sie ENTER. Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben.
- 9** Geben Sie wie in Schritt 7 und 8 erläutert den ganzen Namen ein, und drücken Sie anschließend MENU. Nun erscheint wieder das Menü SPEICHERN.

Hinweis

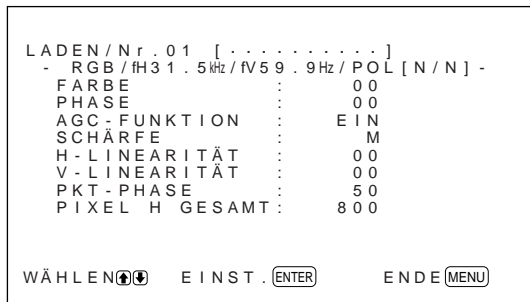
Wenn das Speichern der Einstellungen fehlschlägt, erscheint “SPEICHERFEHLER” auf dem Bildschirm. Versuchen Sie erneut, die Einstellungen zu speichern.

Aufrufen der gespeicherten Einstellungen

- 1** Stellen Sie im Menü SPEICHERN den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “LADEN”, und drücken Sie ENTER. Die erste Seite der gespeicherten Einstellungen erscheint auf dem Bildschirm.

LADEN / Nr. 01 [.....]	
- RGB / fH31.5kHz / fV59.9Hz / POL [N/N] -	
KONTRAST :	80
HELLIGKEIT :	00
FARBTEMP. :	HOCH
H GROSSE :	00
H LAGE :	00
V GROSSE :	00
V LAGE :	00
BILDFORMAT :	4x3
VERGRÖßERUNG :	x1
WÄHLEN (◀▶)	PRÜFEN (ENTER)
	ENDE (MENU)

- 2** Wählen Sie mit ▲ / ▼ eine Speichernummer (01 bis 20) aus, und drücken Sie ENTER. Die zweite Seite der gespeicherten Einstellungen erscheint auf dem Bildschirm.



Der Signaltyp und das Farbsystem oder die Horizontal-/Vertikalfrequenz werden in zyan (d. h. der Signaltyp der ausgewählten Speichernummer entspricht der aktuellen Einstellung, und Sie können die gespeicherte Einstellung abrufen) bzw. in rot angezeigt (d. h. der Signaltyp der ausgewählten Speichernummer entspricht nicht der aktuellen Einstellung, und Sie können die gespeicherte Einstellung nicht abrufen).

- 3** Drücken Sie ENTER. Die Meldung "LADEN BEENDET" erscheint etwa fünf Sekunden lang und blinkt auf dem Bildschirm. Das Bild wird an die ausgewählten Einstellungen angepaßt.

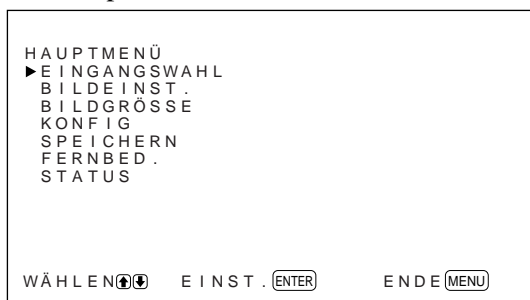
Hinweis

Wenn das Laden der Einstellungen fehlschlägt, erscheint "LADEFEHLER" auf dem Bildschirm. Versuchen Sie erneut, die Einstellungen abzurufen.

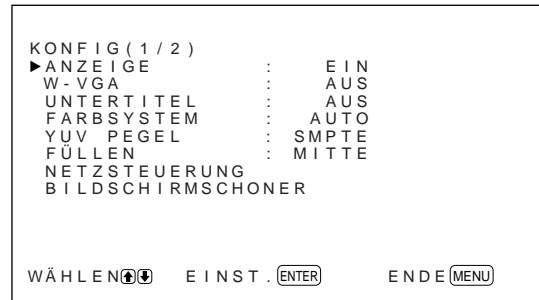
Auswählen der Menüsprache

Sie können als Sprache für die Bildschirmanzeigen Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch oder Japanisch auswählen.

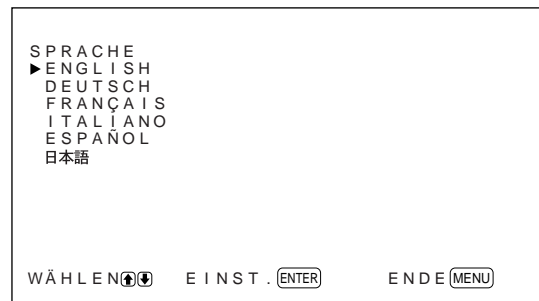
- 1** Drücken Sie MENU. Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (▶) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "KONFIG", und drücken Sie ENTER. Das Menü KONFIG (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (▶) im Menü KONFIG (2/2) mit ▲ / ▼ auf "SPRACHE", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Stellen Sie den Cursor (▶) mit ▲ / ▼ auf die gewünschte Sprache, und drücken Sie ENTER. Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.

ENGLISH: Englisch
DEUTSCH: Deutsch
FRANÇAIS: Französisch
ITALIANO: Italienisch
ESPAÑOL: Spanisch
 日本語: Japanisch

- 5** Drücken Sie MENU. Nun erscheint wieder das Menü KONFIG (2/2).

Verringern von Nachbildern und Doppelbildern (Bildschirmschonerfunktion)

Wenn ein helles Bild, dessen Helligkeit sich nicht verändert, zum Beispiel eine Computeranzeige oder ein Standbild, längere Zeit angezeigt wird, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen und ein Nachbild hinterlassen. Damit es nicht dazu kommt, wird dieses Gerät mit einer integrierten Bildschirmschonerfunktion geliefert. Bei dieser Funktion stehen zwei Bildschirmschoner zur Verfügung. Beim einen wird das Bild umgekehrt (BILDUMKEHRUNG), beim anderen wird automatisch die Anzeigeposition geändert (BILDVERSCHIEB.).

In folgenden Fällen kann es zu Einbrennen und Nachbildern kommen

- 1 Schwarze Streifen oben und unten bei Videoquellen im Breitbildformat (Letter Box-Bilder),
- 2 Schwarze Streifen links und rechts bei Videoquellen im 4:3-Format (normale Fernsehsendungen),
- 3 Bilder von Videospielen,
- 4 DVD-Bildschirmmenüs,
- 5 Bildschirmmenüs, Kanalnummern usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw.

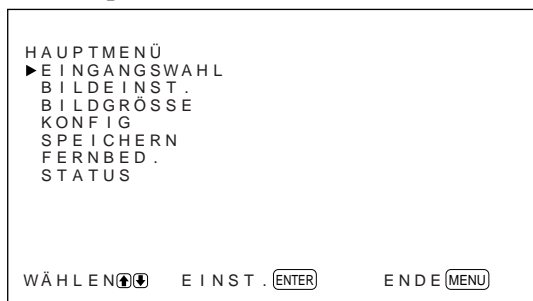
Hinweis

Im Folgenden sind alternativ verwendbare Verfahren zum Verringern von Einbrennen und Nachbildern aufgeführt.

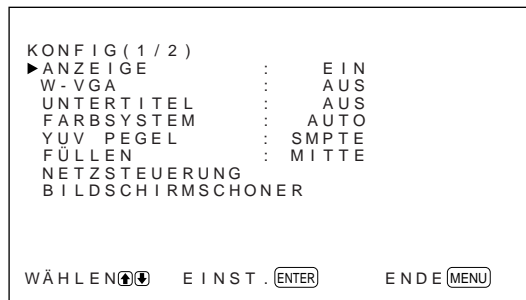
- Vermeiden Sie das Anzeigen von Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw. Wie Sie Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. ausblenden, schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum angeschlossenen Gerät nach.
- Verringern Sie die Helligkeit von Bildern und/oder lassen Sie Videobilder im Breitbildmodus oder im Modus Full (in voller Größe) anzeigen.

Umkehren des Bildes

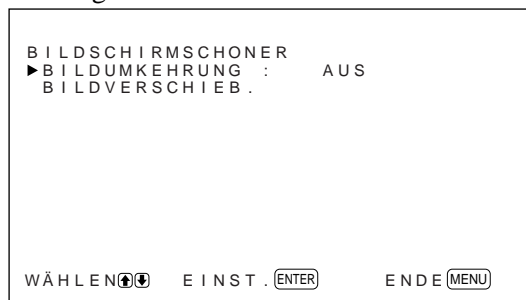
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "KONFIG", und drücken Sie ENTER.
Das Menü KONFIG (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "BILDSCHIRMSCHONER", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

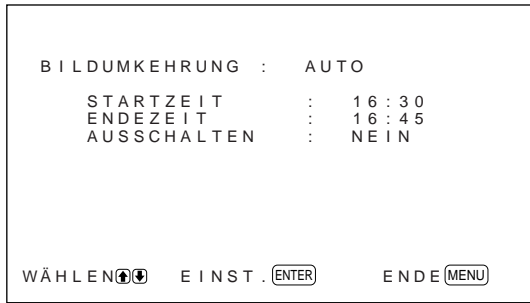


- 4 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "BILDUMKEHRUNG", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5 Wählen Sie mit ▲ / ▼ den Modus für die BILDUMKEHRUNG aus.
AUS: Die BILDUMKEHRUNG wird auf AUS gesetzt.
EIN: Die BILDUMKEHRUNG wird auf EIN gesetzt.
AUTO: Die BILDUMKEHRUNG wird einmal am Tag ausgeführt.

Wenn Sie AUTO auswählen, erscheint das folgende Menü.



- (1) Drücken Sie ENTER.
Der Cursor (►) erscheint auf dem Monitorbildschirm.

Hinweise zu “BILDUMKEHRUNG” unter “BILDSCHIRMSCHONER”

Wenn das angezeigte Bild wie ein Negativ erscheint, ist die Option “BILDUMKEHRUNG” unter “BILDSCHIRMSCHONER” möglicherweise auf “AUTO” oder “EIN” gesetzt. Wenn das Bild wieder normal angezeigt werden soll, wählen Sie “AUS” oder stellen die unter “AUTO” angegebene Zeit neu ein. Bei der Bildumkehrung werden die Farben des Bildes umgekehrt (Beispiel: weiß wird schwarz und schwarz wird weiß). Nachbilder können durch die Anzeige der entsprechenden umgekehrten Bilder bis zu einem gewissen Grad korrigiert werden. Das Bild sieht bei der Bildumkehrung wie ein Filmnegativ aus. Dies ist keine Fehlfunktion.

- (2) Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “STARTZEIT”, und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü wird angezeigt, und der Hintergrund der Stundenangabe erscheint in zyan.

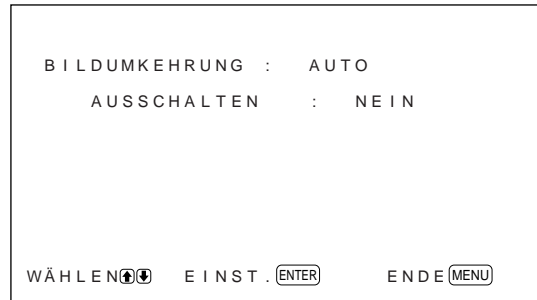


- (3) Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Stunde ein, zu der das Bild umgekehrt werden soll, und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben, und die Minuten werden mit zyanfarbenem Hintergrund angezeigt.
- (4) Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Minuten ein, und drücken Sie MENU.
Damit ist die Einstellung für die Minuten eingegeben, und es erscheint wieder das Menü BILDUMKEHRUNG.

- (5) Stellen Sie genauso die Uhrzeit ein, zu der die Funktion BILDUMKEHRUNG enden soll. Das Bild wird zur STARTZEIT umgekehrt, und zur ENDEZEIT wird es wieder wie ursprünglich angezeigt. Dieser Zyklus wird automatisch einmal am Tag ausgeführt.

So schalten Sie den Monitor zur ENDEZEIT in den Bereitschaftsmodus

- 1 Nachdem Sie BILDUMKEHRUNG auf AUTO gesetzt haben, wählen Sie AUSSCHALTEN und drücken ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



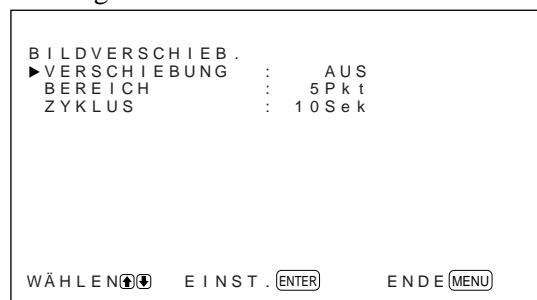
- 2 Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option JA, und drücken Sie MENU.
Der Monitor wechselt zur angegebenen ENDEZEIT in den Bereitschaftsmodus.

Hinweise

- Die Ausschaltfunktion, die Energiesparfunktion und die Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten im Menü NETZSTEUERUNG können nicht gleichzeitig verwendet werden. Wenn eine dieser Funktionen auf EIN (JA) gesetzt ist, erscheint “— — —” neben den anderen, und die Funktion steht nicht zur Verfügung.
- Wenn Sie für STARTZEIT und ENDEZEIT dieselbe Uhrzeit angeben, hat die Einstellung von STARTZEIT Priorität vor der der ENDEZEIT. Zur ENDEZEIT wird das Bild daher nicht wieder wie ursprünglich angezeigt.
- Wenn Sie unter BILDUMKEHRUNG für STARTZEIT und unter EIN-/AUS-TIMER für EINSCHALTZEIT dieselbe Zeit einstellen, wird die BILDUMKEHRUNG nicht aktiviert, wenn sich das Gerät automatisch einschaltet.

Automatisches Verschieben der Bildposition

- 1 Stellen Sie im Menü BILDSCHIRMSCHONER den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “BILDVERSCHIEB.”, und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “VERSCHIEBUNG”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

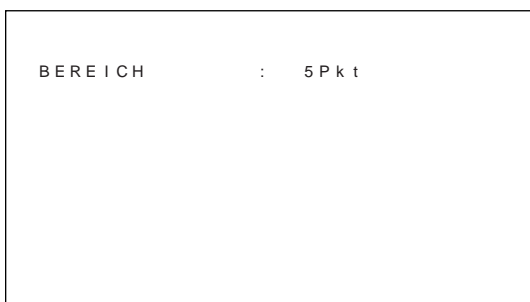


- 3** Wählen Sie mit ▲ / ▼ den Modus für die VERSCHIEBUNG aus.
AUS: Die Funktion BILDVERSCHIEB. wird deaktiviert.
EIN: Die Funktion BILDVERSCHIEB. wird aktiviert.

- 4** Drücken Sie MENU.
Das Menü BILDVERSCHIEB. wird wieder angezeigt.

- 5** Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option BEREICH (Verschiebungsdistanz) oder ZYKLUS (Verschiebungsdauer) aus, und drücken Sie ENTER.
Die folgenden Werte stehen zur Verfügung:
BEREICH: 5Pkt, 10Pkt, 15Pkt, 20Pkt
ZYKLUS: 10Sek, 30Sek, 1Min., 5Min.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.
Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von BEREICH.



- 6** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Option BEREICH bzw. ZYKLUS ein, und drücken Sie MENU.

Wenn BILDUMKEHRUNG und BILDVERSCHIEB. auf EIN gesetzt werden

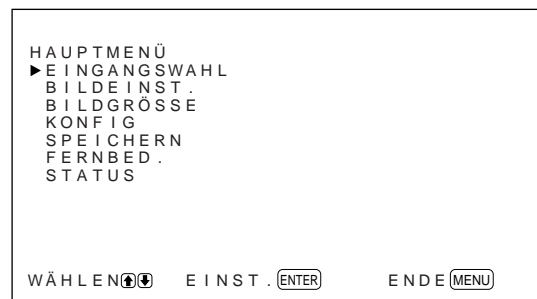
Wenn die Funktion BILDVERSCHIEB. aktiviert wird, während das Bild umgekehrt angezeigt wird, so wird das umgekehrte Bild verschoben.

Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)

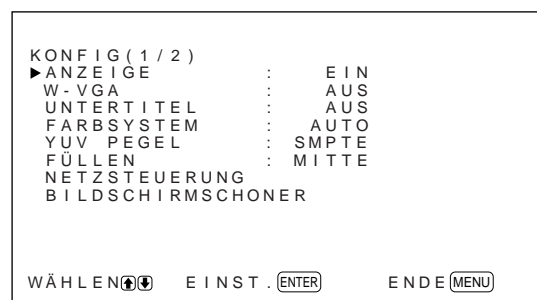
Dieser Monitor verfügt über zwei Funktionen zum automatischen Ein-/Ausschalten. Sie können ihn so einstellen, daß er sich nach einem bestimmten Zeitraum automatisch ausschaltet, wenn von den Anschlüssen INPUT1 oder INPUT2 kein Signal eingeht (Funktion STROMSPARMODUS). Und Sie können die Uhrzeit einstellen, zu der sich der Monitor automatisch ein- bzw. ausschaltet (Funktion EIN-/AUS-TIMER). Der PFM-42B2E bietet die Funktionen ON TIMER und OFF TIMER, so daß Sie die Uhrzeit für das automatische Ein- bzw. Ausschalten getrennt einstellen können.

Energiesparfunktion (nur PFM-42B2E)

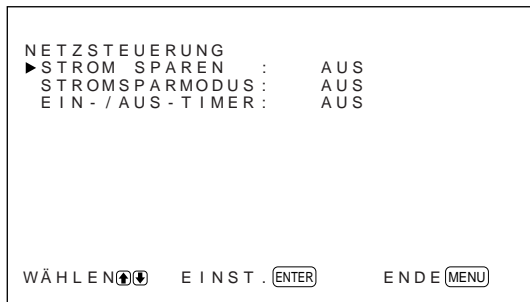
- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “KONFIG”, und drücken Sie ENTER.
Das Menü “KONFIG” (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "NETZSTEUERUNG", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



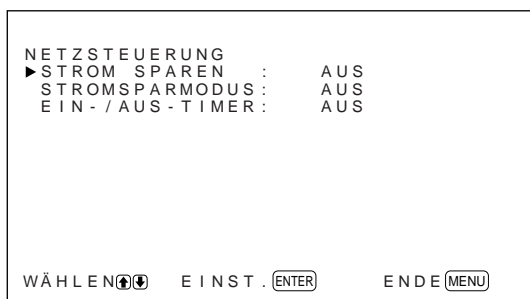
- 4** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "STROM SPAREN", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5** Setzen Sie mit ▲ / ▼ die Option STROM SPAREN auf EIN oder AUS.
AUS: Der Monitor wechselt nicht in den Energiesparmodus.
EIN: Der Monitor wechselt in den Energiesparmodus.
 Wenn Sie STROM SPAREN auf EIN setzen, wird die Bildschirmhelligkeit verringert. Die Anzeige auf dem Monitor ist weiterhin zu erkennen, und gleichzeitig sparen Sie Energie.

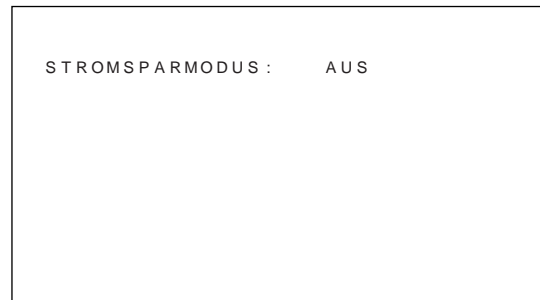
Energiesparfunktion

- 1** Stellen Sie im Menü KONFIG (1/2) den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "NETZSTEUERUNG", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



PFM-42B1E: "STROM SPAREN" wird nicht angezeigt.

- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "STROMSPARMODUS", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Wählen Sie mit ▲ / ▼ den Zeitraum aus, nach dem das Gerät in den Energiesparmodus wechselt.
AUS: Die Energiesparfunktion arbeitet nicht.
5Min.: Schaltet nach fünf Minuten in den Energiesparmodus, wenn kein Signal eingeht.
10Min.: Schaltet nach 10 Minuten in den Energiesparmodus, wenn kein Signal eingeht.
 Die Anzeige ON blinkt, wenn sich das Gerät im Energiesparmodus befindet.

So beenden Sie die Energiesparfunktion

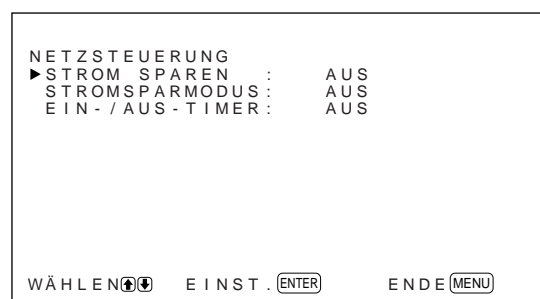
- Speisen Sie wieder ein Synchronisationssignal ein.
- Drücken Sie den Schalter ⏻ am Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige oder den Schalter POWER ON auf der Fernbedienung.

Signalspezifikation für die Energiesparfunktion

Als Synchronisationssignal muß das RGB-Signal verwendet werden, das am 13. Stift des Anschlusses RGB/YUV (D-Sub, 15polig) der INPUT 1- oder INPUT 2-Anschlüsse eingespeist wird.

Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten

- 1** Stellen Sie im Menü KONFIG (1/2) den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "NETZSTEUERUNG", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

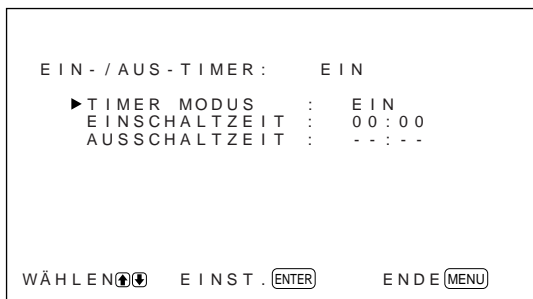


PFM-42B1E: "STROM SPAREN" wird nicht angezeigt.

- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf “EIN-/AUS-TIMER”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



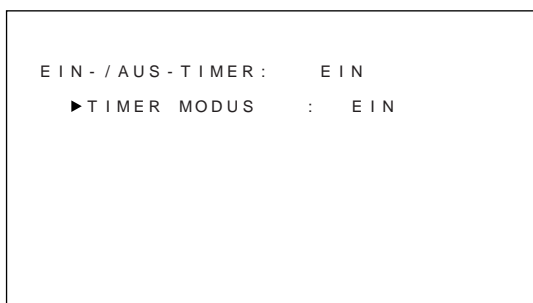
- 3** Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option EIN aus, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



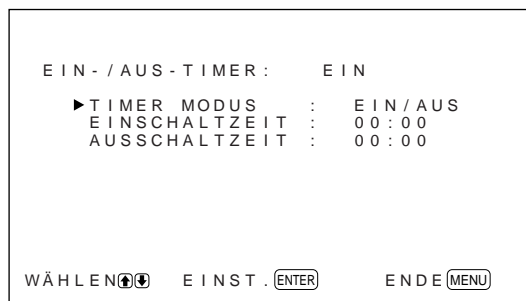
Hinweis

Der angezeigte Bildschirm hängt von dem zuvor eingestellten Timer-Modus ab. Bei den hier beschriebenen Schritten wird davon ausgegangen, daß Sie den Timer-Modus auf EIN gesetzt haben. Als werkseitiger Standard ist EIN/AUS gestellt.

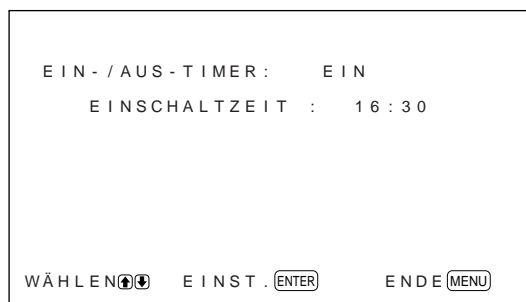
- 4** Drücken Sie auf diesem Bildschirm erneut ENTER, um den Timer-Modus auszuwählen.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “EIN/AUS”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 6** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “EINSCHALTZEIT”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Die Stundenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.



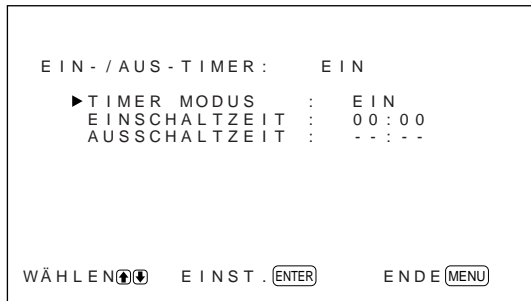
- 7** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Stunden ein, und drücken Sie ENTER.
Die Stunden sind damit eingestellt, und die Minutenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.

- 8** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Minuten ein, und drücken Sie ENTER.

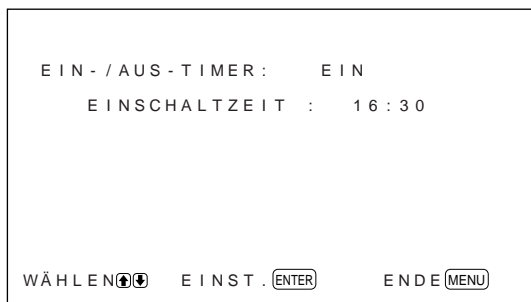
- 9** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “AUSSCHALTEN”, und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie wie oben erläutert die Stunden und Minuten ein.
Die Anzeige ON blinkt, wenn die unter AUSSCHALTZEIT definierte Ausschaltzeit erreicht ist, und der Monitor schaltet sich aus.

Der Einschalt-Timer (nur PFM-42B2E)

- 1** Wenn der Bildschirm aus Schritt 4 in den Erläuterungen zur Funktion EIN-/AUS-TIMER angezeigt wird, wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option EIN aus, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



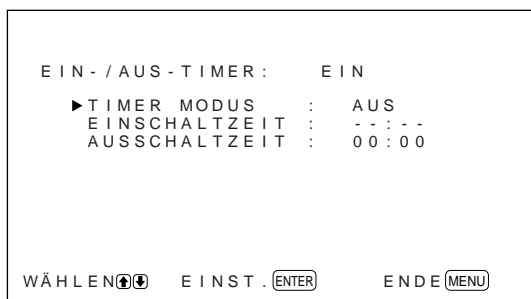
- 2** Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option “EINSCHALTZEIT” aus, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Die Stundenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.



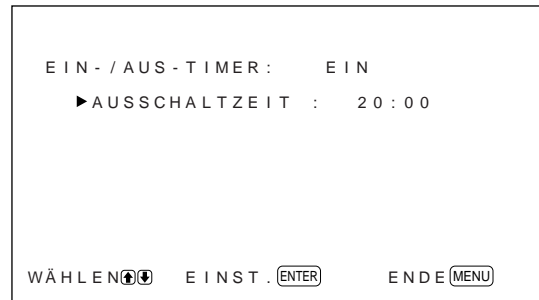
- 3** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Stunden ein, und drücken Sie ENTER.
Die Stunden sind damit eingestellt, und die Minutenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.
- 4** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Minuten ein, und drücken Sie ENTER.
Wenn sich der Monitor im Ausschaltmodus befindet, blinkt die Netzanzeige ON (Power).

Der Ausschalt-Timer (nur PFM-42B2E)

- 1** Wenn der Bildschirm aus Schritt 4 in den Erläuterungen zur Funktion EIN-/AUS-TIMER angezeigt wird, wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option AUS aus, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Option “AUSSCHALTZEIT” aus, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Die Stundenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.



- 3** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Stunden ein, und drücken Sie ENTER.
Die Stunden sind damit eingestellt, und die Minutenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.
- 4** Stellen Sie mit ▲ / ▼ die Minuten ein, und drücken Sie ENTER.
Der Monitor schaltet in den Bereitschaftsmodus, wenn er über den Ausschalt-Timer ausgeschaltet wird.

Hinweise

- Die Energiesparfunktion arbeitet nicht, wenn ein Signal über die VIDEO-Anschlüsse eingeht.
- Wenn das Synchronisationssignal nicht am 13. Stift des Anschlusses RGB/YUV (D-Sub, 15polig) der INPUT1- oder INPUT2-Anschlüsse eingeht, schaltet sich der Monitor nicht ein, auch wenn ein Synchronisationssignal eingespeist wird. Achten Sie darauf, STROMSPARMODUS auf AUS zu setzen, wenn nur RGB-Signale eingehen.
- Die Energiesparfunktion, die Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten und die Ausschaltfunktion im Menü BILDUMKEHRUNG können nicht gleichzeitig verwendet werden. Wenn eine dieser Funktionen auf EIN (JA) gesetzt ist, erscheint “---” neben den anderen, und die Funktion steht nicht zur Verfügung.
- Wenn Sie für EINSCHALTZEIT und AUSSCHALTZEIT dieselbe Uhrzeit angeben, hat die Einstellung von EINSCHALTZEIT Priorität vor der AUSSCHALTZEIT. Der Monitor schaltet sich in diesem Fall zur AUSSCHALTZEIT nicht aus.
- Die Energiesparfunktion steht nicht zur Verfügung, wenn ein YUV-Signal (Farbdifferenzsignal) eingespeist wird.

Einstellen von SERIAL REMOTE (nur PFM-42B2E)

Hier können Sie die serielle Fernsteuerungsschnittstelle einstellen.

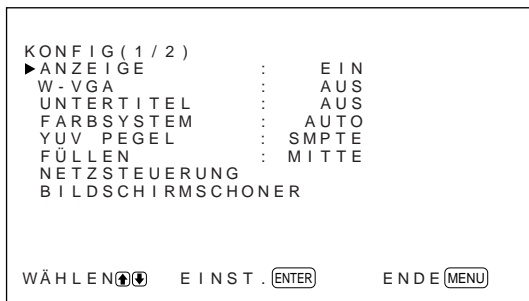
Einstellen der Baud-Rate

Über diesen Parameter können Sie die Baud-Rate des Monitors und des gesteuerten Geräts synchronisieren. Als werkseitiger Standard ist 9600bps gestellt.

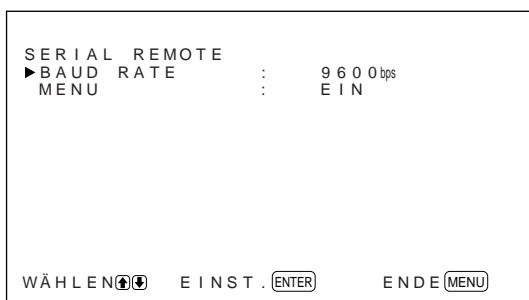
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



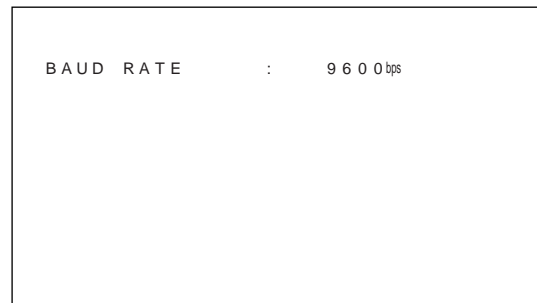
- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "KONFIG", und drücken Sie ENTER.
Das Menü KONFIG (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) im Menü KONFIG (2/2) mit ▲ / ▼ auf "SERIAL REMOTE", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "BAUD RATE", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

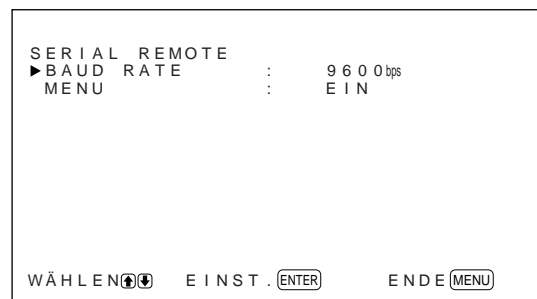


- 5 Wählen Sie mit ▲ / ▼ die Baud-Rate (9600bps, 19200bps oder 38400bps) aus, und drücken Sie ENTER.
- 6 Drücken Sie MENU.
Das Menü KONFIG (2/2) wird wieder angezeigt.

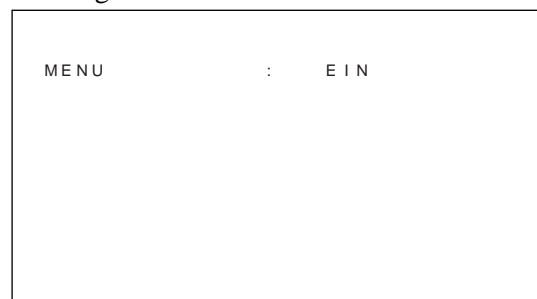
Die Funktion MENU

Wenn das System über die serielle Fernsteuerungsschnittstelle gesteuert wird, werden die gesteuerten Funktionen auf dem Bildschirm angezeigt. Sie können die Daten zur seriellen Fernsteuerung folgendermaßen ausblenden:

- 1 Stellen Sie im Menü KONFIG (2/2) den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "SERIAL REMOTE", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "MENU", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Setzen Sie mit ▲ / ▼ die Option MENU auf AUS, und drücken Sie ENTER.
Die Daten zur seriellen Fernsteuerung werden nicht mehr angezeigt.

So lassen Sie die Daten zur seriellen Fernsteuerung anzeigen

Setzen Sie MENU in Schritt **3** oben auf EIN.
Als werkseitiger Standard ist EIN eingestellt.

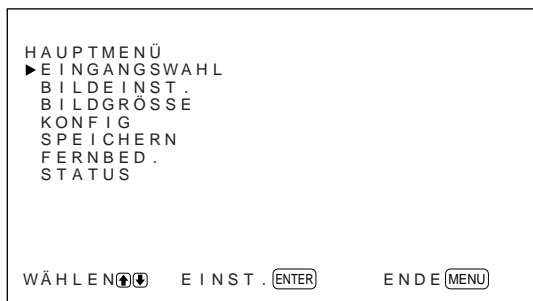
Einstellen von NETZWERK ADAPTER (nur PFM-42B2E)

Hier können Sie den Netzwerkadapter einstellen.

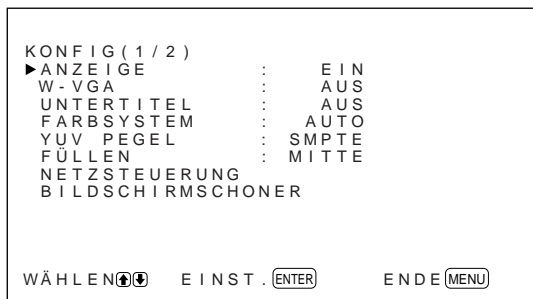
Einstellen der Stromversorgung des Netzwerkadapters

Der Netzwerkadapter wird auch dann mit Strom versorgt, wenn sich das System im Bereitschaftsmodus befindet.
Sie können die Stromversorgung im Bereitschaftsmodus folgendermaßen deaktivieren:

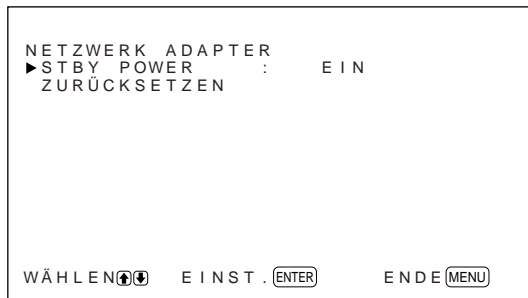
- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



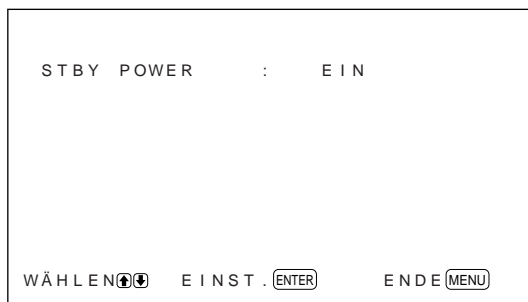
- 2** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “KONFIG”, und drücken Sie ENTER.
Das Menü KONFIG (1/2) erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (►) im Menü KONFIG (2/2) mit ▲ / ▼ auf “NETZWERK ADAPTER”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf “STBY POWER”, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5** Setzen Sie mit ▲ / ▼ die Option STBY POWER auf AUS, und drücken Sie ENTER.
Wenn das System jetzt in den Bereitschaftsmodus wechselt, wird der Netzwerkadapter nicht mit Strom versorgt.

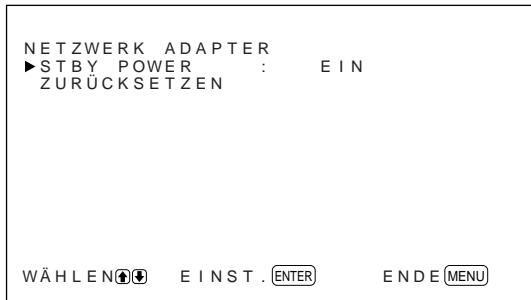
So stellen Sie die Stromversorgung wieder her

Setzen Sie STBY POWER in Schritt **5** oben auf EIN.
Als werkseitiger Standard ist EIN eingestellt.

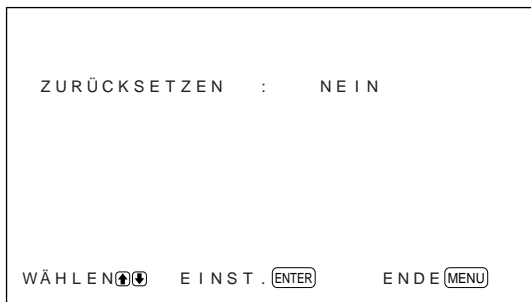
Wenn der Bildschirm bei Nutzung des Netzwerkadapters “einfriert”

Setzen Sie den Bildschirm folgendermaßen zurück:

- 1 Stellen Sie im Menü KONFIG (2/2) den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "NETZWERK ADAPTER", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit ▲ / ▼ auf "ZURÜCKSETZEN", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Setzen Sie mit ▲ / ▼ die Option ZURÜCKSETZEN auf JA, und drücken Sie ENTER.
Der Netzwerkadapter wird neu gestartet.

Selbstdiagnosefunktion

Das Gerät verfügt über eine Selbstdiagnosefunktion. Damit wird der Zustand des Monitors anhand der Art des Blinkens der Anzeige STANDBY angegeben. Die Art des Blinkens gibt Auskunft über den aktuellen Zustand des Monitors.

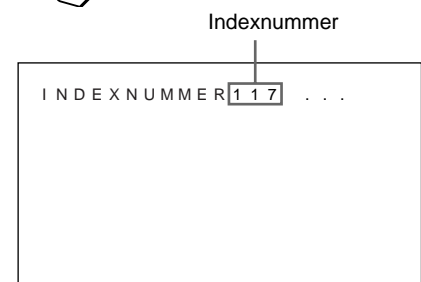
Wenn die Anzeige STANDBY blinkt, sehen Sie nach, wie oft sie blinkt, und wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler.

- 1 Sehen Sie nach, wie die Anzeige STANDBY blinkt.
Die Anzeige blinkt (und ein Bild wird auf dem Monitor angezeigt), oder die Anzeige blinkt in Intervallen von drei Sekunden (und kein Bild wird auf dem Monitor angezeigt).
Zählen Sie, wie oft die Anzeige in Intervallen von drei Sekunden blinkt. Die Anzeige kann zum Beispiel zweimal blinken, es folgt eine Pause von drei Sekunden und dann wieder zweimal blinken usw. In diesem Fall blinkt die Anzeige zweimal.
- 2 Ziehen Sie den Netzstecker des Geräts aus der Netzsteckdose.
Wenden Sie sich mit der Anzahl des Blinkens an einen autorisierten Sony-Händler.

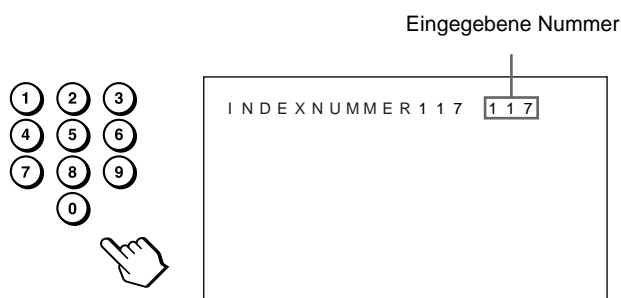
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung

Mit der mitgelieferten Fernbedienung können Sie einen bestimmten Monitor steuern, ohne die anderen, ebenfalls angeschlossenen Monitore zu beeinflussen.

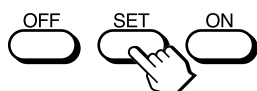
- 1 Drücken Sie die Taste ID MODE ON auf der Fernbedienung.
Die Indexnummern der Monitore werden auf allen Monitoren weiß angezeigt. Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene Indexnummer zwischen 1 und 255 zugeordnet.
Näheres dazu, finden Sie unter "So ändern Sie die Indexnummer" auf Seite 46 (DE).



- 2 Geben Sie mit den Tasten 0 – 9 auf der Fernbedienung die Indexnummer des Monitors ein, den Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer der einzelnen Monitore.

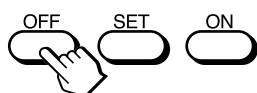


- 3 Drücken Sie ID MODE SET.
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun blau angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.



Sie können nun einen bestimmten Monitor steuern. Im ID-Modus stehen alle Funktionen außer Ein-/Ausschalten zur Verfügung.

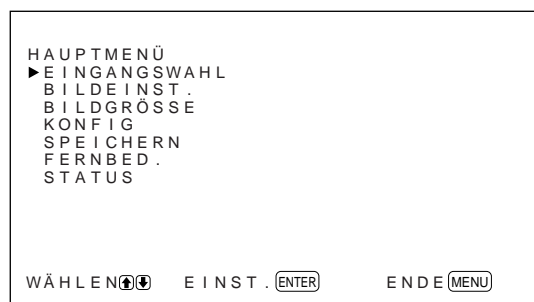
- 4 Drücken Sie nach dem Einstellen die Taste ID MODE OFF.
Der Monitor schaltet wieder in den normalen Modus.



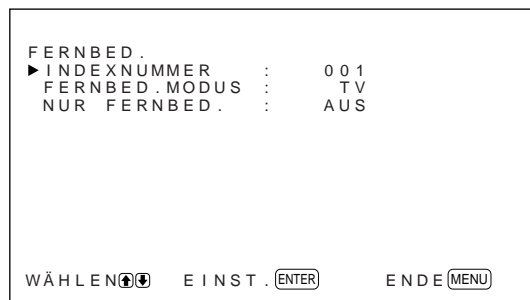
So ändern Sie die Indexnummer

Sie können die Indexnummer gegebenenfalls ändern. Verwenden Sie zum Ändern der Nummer die Tasten am Steuertastenbereich des Monitors.

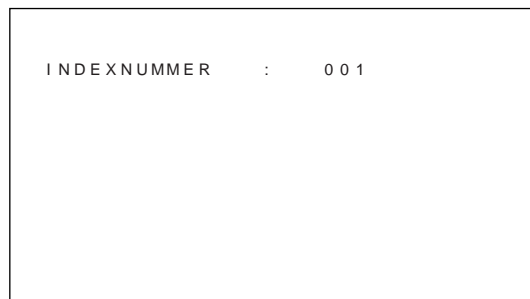
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "FERNBED.", und drücken Sie ENTER.
Das Menü FERNBED. erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (►) mit den Tasten ▲ / ▼ auf "INDEXNUMMER", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Stellen Sie die Indexnummer mit ▲ / ▼ ein, und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü FERNBED.

Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle

Folgende Funktionen können Sie mit anderen Fernbedienungsmodellen ausführen.

- Ein- und Ausschalten
- Eingangswahl
- Menüfunktionen
- Bildeinstellungen: Kontrast, Phase und Farbe
- Bildschirmanzeige ein/aus

Je nach Modell Ihrer Fernbedienung stehen nur bestimmte Tasten zur Verfügung, und Sie können nur bestimmte Operationen ausführen. Eine Übersicht finden Sie in der Tabelle unten.

Modell der Fernbedienung		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Einstellung der Option FERNBED. MODUS		TV	TV	PJ
Eingangswahl	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Menütasten	MENU	MENU	MENU	MENU oder ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER oder →
	▲	+	SELECT+↑	↑
	▼	–	SELECT–↓	↓
Bildeinstellung	Kontrast	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Farbe	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Bildschirminformationen		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Technische Daten

Bildverarbeitung

Voreingestelltes Signal

siehe Seite 27 (DE)

Abtastrate	13,5 MHz bis 140 MHz
Bildschirmsystem	Plasmabildschirm (Wechselstrom)
Anzeigaauflösung	1 024 Punkte (horizontal) × 1 024 Zeilen (vertikal)
Pixelgröße	0,90 (horizontal) × 0,51 (vertikal) mm
Bildgröße	921 (horizontal) × 522 (vertikal) mm
Bildschirmgröße	42 Zoll, Diagonale 1 058 mm

Eingänge und Ausgänge

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV D-Sub, 15polig (weiblich) (*siehe
"Stiftbelegung" auf Seite 49
(DE)*)

AUDIO Stereominibuchse
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)¹⁾

COMPOSITE IN BNC (×1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75 Ohm
(automatischer Abschluß)

Y/C IN Mini-DIN, 4polig (×1)
Y (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75-Ohm-
Abschlußwiderstand
C (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p
±2 dB (NTSC), 75-Ohm-
Abschlußwiderstand Burst
0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-Ohm-
Abschlußwiderstand

AUDIO IN Stereominibuchse
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

COMPOSITE OUT
BNC (×1)

AUDIO OUT Stereominibuchse
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

REMOTE (RS-232C)
9poliger D-Sub (×1)

Sicherheitsbestimmungen
UL1950, CSA Nr. 950 (c-UL),
FCC Klasse B, IC Klasse B,
EN60 950 (NEMKO), CE, C-
Tick

Farbdifferenzeingangssignaladapter (mit Control S-Anschluß) BKM-B12 (nicht mitgeliefert)

INPUT3

RGB/YUV Cinchbuchse (weiblich) (×3)

CONTROL S (IN/OUT)

Stereominibuchse (×2)
5 Vp-p

Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)

COMPOSITE IN BNC (×1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75 Ohm
(automatischer Abschluß)

Y/C IN Mini-DIN, 4polig (×1)
Y (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75-Ohm-
Abschlußwiderstand
C (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p
±2 dB (NTSC), 75-Ohm-
Abschlußwiderstand Burst
0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-Ohm-
Abschlußwiderstand

COMPOSITE OUT
BNC (×1), Durchschleifanschluß

CONTROL S (IN/OUT)

Stereominibuchse (×2)
5 Vp-p

1) Der PFM-42B1E/42B2E ist nicht mit VIDEO-Anschlüssen ausgestattet. Beim PFM-42B1E/42B2E können FBAS-Video- und Y/C-Signale nur eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-B10 oder der Videoeingangs- und Control S-Adapter BKM-B13 (nicht mitgeliefert) im Monitor installiert ist.

Allgemeines

Betriebsspannung 100 bis 240 V Wechselstrom, 50/
60 Hz,
PFM-42B1E: 4,5 bis 1,8 A
PFM-42B2E: 4,2 bis 1,5 A

Leistungsaufnahme

PFM-42B1E: 400 W
PFM-42B2E: 360 W

Betriebsbedingungen

Temperatur: 0 bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 800 bis
1 060 hPa

Lager-/Transportbedingungen

Temperatur: -10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 800 bis
1 060 hPa

Abmessungen 1 033 × 631 × 83 mm
(B/H/T, ohne vorstehende Teile)

Gewicht PFM-42B1E: 29,4 kg
PFM-42B2E: 28,4 kg

Mitgeliefertes Zubehör

Netzkabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Kabelhalter A (2)
Kabelhalter B (4)
Ferritkerne (8) (nur PFM-42B2E)
Stopper (8) (nur PFM-42B2E)
Fernbedienung RM-42B (1)
R6-Batterien der Größe AA (2)
Bedienungsanleitung (1)

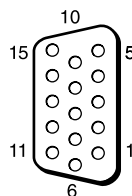
Gesondert erhältliches Zubehör

Monitorständer SU-42B
Videoeingangsadapter BKM-B10
Farbdifferenzeingangssignal-
adapter (mit Control S-
Anschluß) BKM-B12
Videoeingangs- und Control S-
Adapter BKM-B13
Netzwerkadapter BKM-B30NW

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen,
bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

Anschluß RGB/YUV (D-Sub, 15polig)




Stift Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder R-Y oder P _R
2	Videosignal Grün (Zusammengesetztes Grünsignal mit Synchronisation) oder Y
3	Videosignal Blau oder B-Y oder P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

ADVERTENCIA

Para evitar el peligro de incendio o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

La toma mural debe estar instalada cerca del equipo y debe accederse a ésta con facilidad.

Precauciones	5 (ES)
Características	6 (ES)
Ubicación y función de componentes y	
controles	7 (ES)
Parte frontal / Parte posterior / Lateral derecho	7 (ES)
Sección de indicadores / Interruptor 	
(de espera)	8 (ES)
Sección de botones de control (parte posterior)	8 (ES)
Panel de conectores	9 (ES)
Mando a distancia RM-42B	11 (ES)
Precaución	13 (ES)
Conexiones	14 (ES)
Conexión del cable de alimentación de CA	14 (ES)
Fijación del núcleo de ferrita	
(sólo PFM-42B2/42B2E)	14 (ES)
Ejemplo de conexión	15 (ES)
Uso de los menús en pantalla	20 (ES)
Empleo mediante menús	20 (ES)
Guía de los menús	20 (ES)
Visualización de la imagen	24 (ES)
Conmutación de la señal de entrada	24 (ES)
Conmutación del modo de visualización	25 (ES)
Información sobre la señal de entrada y el	
estado de la pantalla	26 (ES)
Ajuste de la imagen	28 (ES)
Ajuste del contraste, brillo, crominancia,	
fase, etc.	28 (ES)
Restauración de los valores originales de los	
elementos del menú CONTROL IMAG	29 (ES)
Cambio del tamaño y posición de la imagen	30 (ES)
Cambio de tamaño de la imagen	30 (ES)
Ajuste de la posición de la imagen	31 (ES)
Restauración del tamaño y posición originales de la	
imagen	31 (ES)
Modificación de la relación de aspecto	32 (ES)
Ajuste de las alineaciones	32 (ES)

Uso de la función de memoria	34 (ES)
Almacenamiento del ajuste actual	34 (ES)
Recuperación de un ajuste almacenado	35 (ES)
Selección del idioma en pantalla	36 (ES)
Reducción de imágenes residuales/fantasma	
(función de protector de pantalla)	37 (ES)
Inversión de la imagen	37 (ES)
Cambio automático de la posición de la imagen	38 (ES)
Control automático de la alimentación	
(función de control de alimentación)	39 (ES)
Función de ahorro de energía	
(sólo en PFM-42B2/42B2E)	39 (ES)
Función de ahorro de energía	40 (ES)
Función de temporizador de	
activación/desactivación	40 (ES)
Función de temporizador de activación	
(sólo en PFM-42B2/42B2E)	42 (ES)
Función de temporizador de desactivación	
(sólo en PFM-42B2/42B2E)	42 (ES)
Ajuste del REMOTO SERIE	
(sólo en PFM-42B2/42B2E)	43 (ES)
Ajuste de la velocidad en baudios	43 (ES)
Función MENU	43 (ES)
Ajuste del ADAPTADOR DE RED	
(sólo en PFM-42B2/42B2E)	44 (ES)
Ajuste del suministro de alimentación al	
adaptador de red	44 (ES)
Si la imagen se congela al utilizar el	
adaptador de red	44 (ES)
Función de autodiagnóstico	45 (ES)
Empleo de una pantalla específica con el mando a	
distancia	45 (ES)
Uso de otros modelos de mando a distancia	47 (ES)
Especificaciones	48 (ES)

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de CA, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Para instalar la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del mando a distancia, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.

PDP (panel de visualización de plasma)

- El panel de visualización de plasma está fabricado con tecnología de alta precisión. Sin embargo, es posible que vea en la pantalla cómo aparecen algunos puntos negros o cómo permanecen puntos brillantes (blancos, rojos, azules o verdes). Asimismo, se pueden observar algunas irregularidades de brillo y franjas de color o algunos puntos negros o brillantes. No obstante, esto no indica un fallo de funcionamiento.
- Si visualiza la misma imagen en la pantalla durante un período largo de tiempo, una parte de la imagen quemará una parte del panel y dejará ver una imagen espectral tras de sí. Si visualiza la misma imagen durante un período largo de tiempo y desea evitar que la imagen queme el panel, utilice en toda la pantalla la función de pantalla que se suministra. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras

imágenes fantasma o espectrales (marcas de la imagen), resultará menos notable pero, una vez que se produzca el envejecimiento, nunca más desaparecerá por completo.

- Debido al proceso de fabricación de esta pantalla de plasma, si se utiliza en sitios con baja presión atmosférica, por ejemplo a grandes alturas, la unidad puede emitir pitidos o zumbidos.
- La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice un paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpiela periódicamente con una solución detergente poco concentrada. Nunca utilice disolventes concentrados como diluyentes o bencina ni limpiadores abrasivos, ya que pueden dañar el acabado. Como precaución de seguridad, desenchufe la unidad antes de limpiarla.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Se oye ruido al utilizar el equipo de comunicación por infrarrojos

Pueden producirse problemas de comunicación si el equipo de comunicación por infrarrojos (por ejemplo, cascos o micrófonos inalámbricos por infrarrojos) se utiliza cerca de la pantalla. Utilice cascos o micrófonos que no funcionen por infrarrojos. Además, si utiliza el equipo de comunicación por infrarrojos, aléjelo de la pantalla hasta que el ruido desaparezca o acerque el transmisor y el receptor del equipo de comunicación por infrarrojos.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Características

Las unidades de la serie PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E son pantallas de 16:9 de panel plano de 42 pulgadas. Están equipadas con el panel PDP (Plasma Display Panel), que acepta distintos tipos de señales mediante el convertidor de exploración incorporado.

Calidad de imagen mejorada

La serie PFM-42B1/42B2/42B1E/42B2E logra una mayor calidad de imagen con el panel PDP (Plasma Display Panel) ajustado a 1.024 puntos × 1.024 líneas. Así se producen imágenes HDTV y PC muy detalladas.

Convertidor de exploración interno de alto rendimiento

La pantalla dispone de un convertidor de exploración de alto rendimiento. Mediante el empleo de un algoritmo único, la pantalla procesa las señales con una amplia gama de formatos (vídeo, HDTV, PC, etc.).

Flexibilidad

Se proporciona una ranura de opción para las expansiones futuras.

El adaptador de ranura opcional permite actualizar el sistema de forma rápida y fácil.

Otras características

- Tres grupos de entradas de vídeo con entrada de audio: una de vídeo compuesta o entrada Y/C y dos entradas RVB/componente. (En los modelos PFM-42B1E/42B2E, se requiere el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 o el adaptador de entrada de vídeo y Control S BKM-B13 para introducir las señales de vídeo compuestas y las señales Y/C.)

- Muestra la señal HDTV con señal de sincronización de tres niveles.
- Filtro de peine tridimensional para la separación NTSC Y/C.
- Filtro de peine por correlación de líneas para la separación PAL Y/C.
- Detección automática de señales de entrada con indicación en pantalla.
- Compatibilidad con Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play).
- Función de ganancia automática de imagen: esta función ajusta y mejora automáticamente el contraste cuando se introduce una señal de baja intensidad.
- Menú en pantalla para realizar distintos ajustes
- Indicación en pantalla en seis idiomas para facilitar el acceso al usuario. (Idiomas: inglés, alemán, francés, italiano, español y japonés.)
- Ajuste fino del tamaño y posición de la imagen
- Función de memoria para el almacenamiento de hasta veinte ajustes de imagen.
- Control de ID
- Función de autodiagnóstico
- Conector de control remoto (RS-232C) (D-sub de 9 pines)
- Permite emplear mandos a distancia Sony infrarrojos utilizando el código SIRCS.
- Ajuste vertical
- Decodificador de "Closed caption" (título)
- Protector de pantalla para reducir imágenes residuales o fantasma.

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

PFM-42B1/42B1E

	Estados Unidos, Canadá	Europa continental	Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

PFM-42B2/42B2E

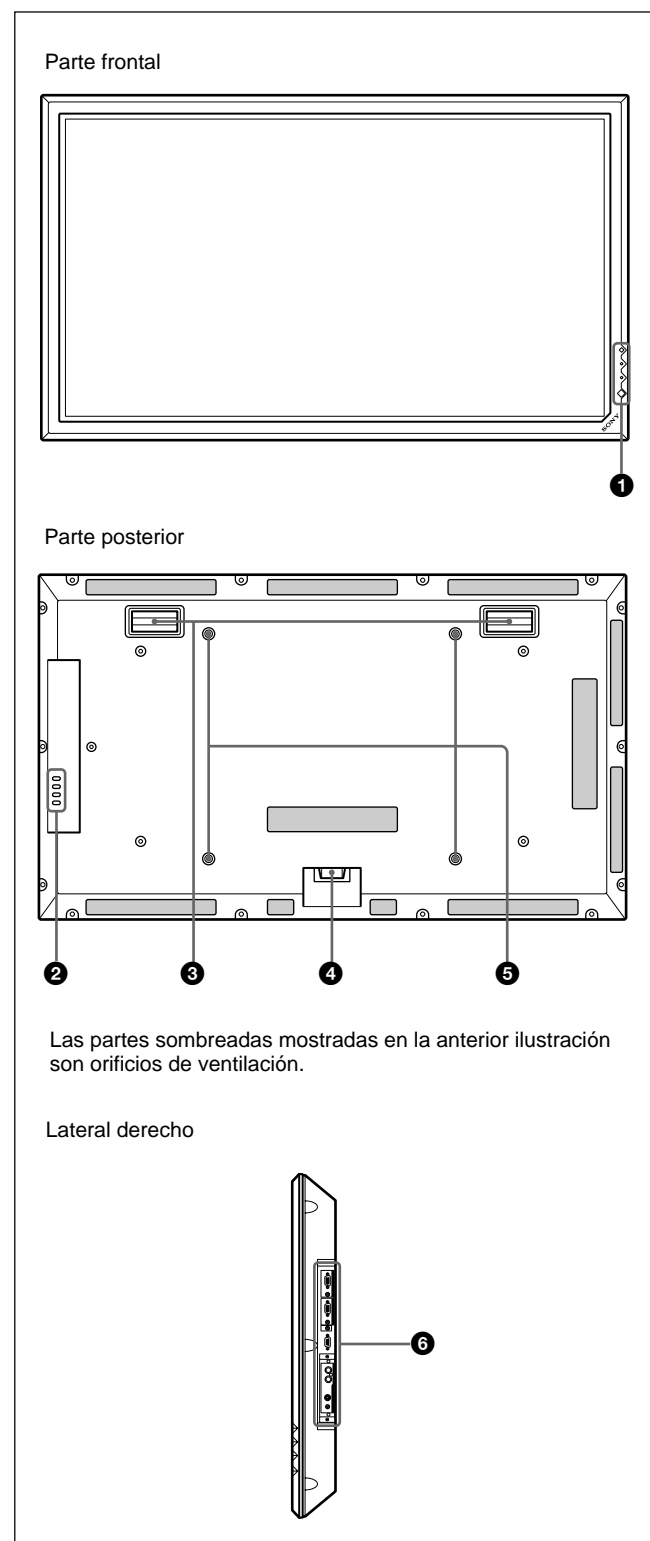
	Estados Unidos, Canadá	Europa continental	Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT SEIELDED	H05VV-F	CCE (13) 53rd (O.C)	HVCTF SHIELDED
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.



1) Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation (en EE.UU. y otros países).

Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal / Parte posterior / Lateral derecho



1 Sección de indicadores / interruptor (de espera)

Para obtener información detallada sobre la sección de indicadores / interruptor  (de espera), consulte “Sección de indicadores / Interruptor  (de espera)” en la página 8 (ES).

2 Sección de botones de control

Para obtener más información sobre la sección de botones de control, consulte “Sección de botones de control (parte posterior)” en la página 8 (ES).

3 Asas de transporte

4 Toma \sim AC IN

Conecte el cable de alimentación de CA suministrado a esta toma y a una toma mural. Una vez conectado el cable de alimentación de CA, el indicador STANDBY se ilumina en color rojo y el monitor cambia al modo de espera.

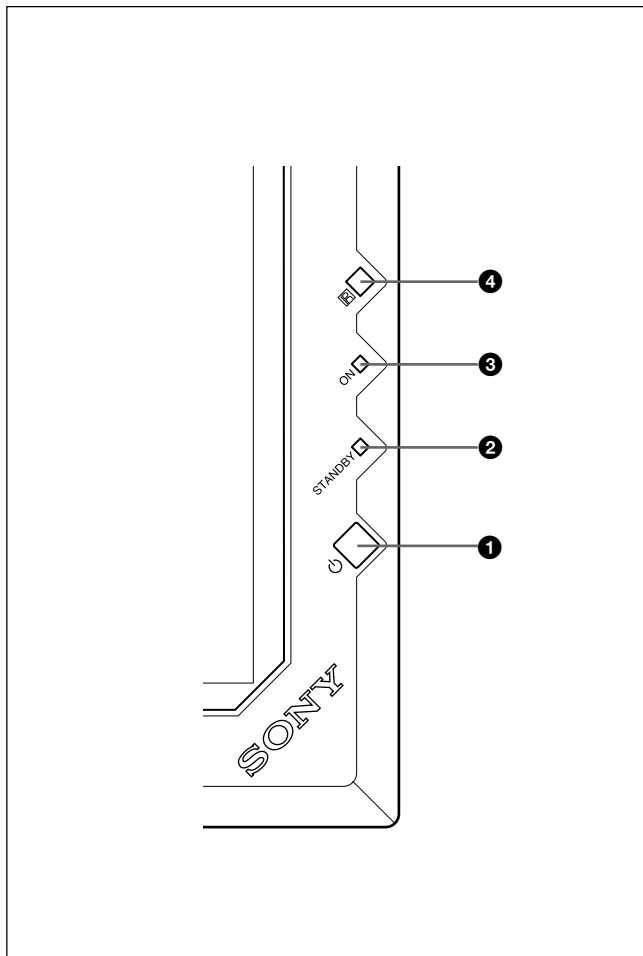
5 Ganchos de instalación del soporte

Utilice estos ganchos para instalar el soporte (no suministrado).

6 Panel de conectores

Para obtener más información sobre el panel de conectores, consulte “Panel de conectores” en la página 9 (ES).

Sección de indicadores / Interruptor (de espera)



❶ Interruptor (de espera)

Púlselo para encender la pantalla. Vuelva a pulsarlo para volver al modo de espera.

❷ Indicador STANDBY

Se ilumina en rojo en el modo de espera.

Si parpadea el indicador STANDBY, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 45 (ES).

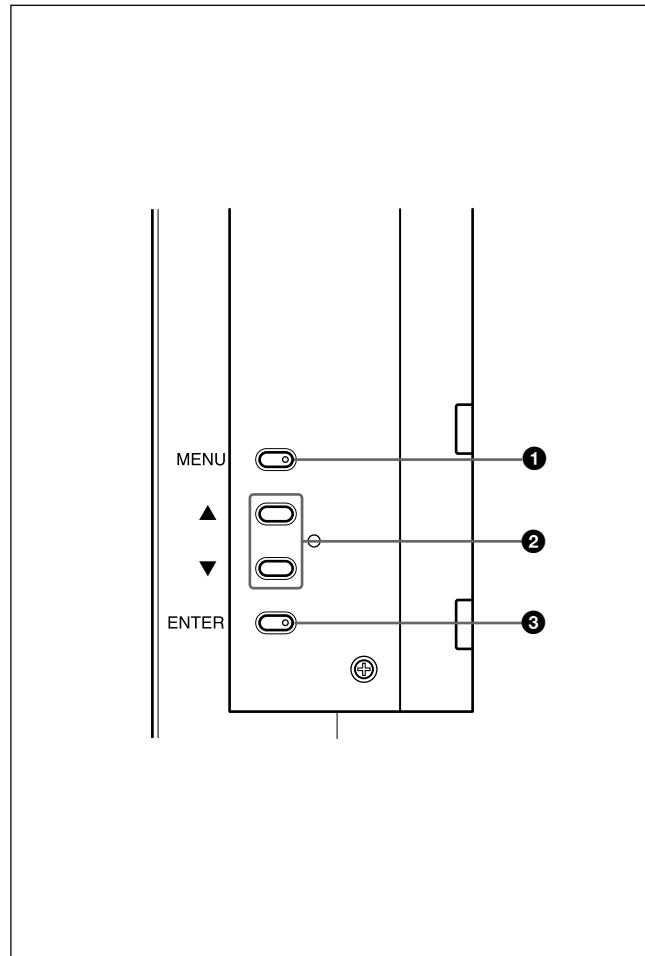
❸ Indicador ON

Se ilumina en verde cuando la unidad de visualización está activada.

❹ Detector de control remoto

Recibe la señal del mando a distancia.

Sección de botones de control (parte posterior)



❶ Botón MENU

Púlselo para que aparezca el menú. Cuando el menú aparece en la pantalla, púlselo para volver al nivel anterior del menú. Para borrar el menú, pulse este botón varias veces hasta que desaparezca el menú.

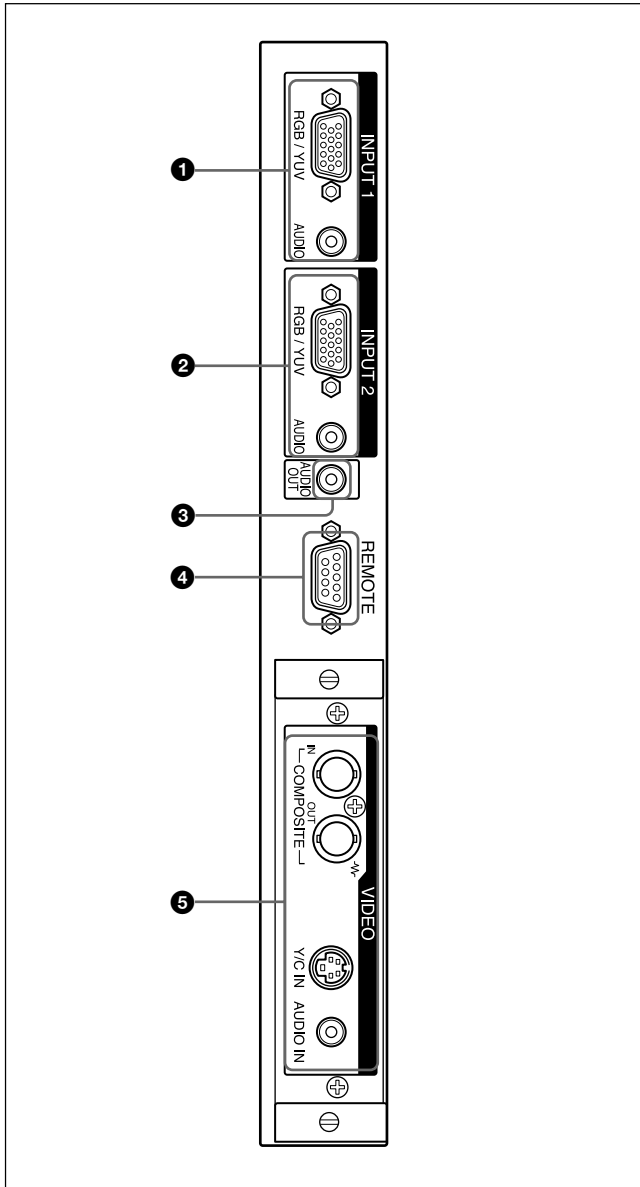
❷ Botones ▲ / ▼

Púselos para desplazar el cursor (►) hasta un elemento o para ajustar un valor en un menú.

❸ Botón ENTER

Pulse este botón para seleccionar el elemento que desee en el menú mostrado.

Panel de conectores



1 Conectores INPUT1

RGB/YUV (D-sub de 15 pines): Se conecta a la salida de señal (YUV) de componente o de señal RVB de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

Esta pantalla también acepta la señal de componente HD analógica (Y/Pb/Pr). Consulte “Asignación de pines” en la página 49 (ES) al introducir una señal de componente.

AUDIO (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

2 Conectores INPUT2

RGB/YUV (D-sub de 15 pines): Se conecta a la salida de señal RVB o de componente (YUV) de un ordenador o equipo de vídeo.

Esta pantalla también acepta la señal de componente HD analógica (Y/Pb/Pr). Consulte “Asignación de pines” en la página 49 (ES) al introducir una señal de componente.

AUDIO (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

3 Toma AUDIO OUT (minitoma estéreo)

De entre las señales de audio introducidas en las tomas de entrada de audio, envía la señal de audio que aparece en el panel de visualización.

4 Conector REMOTE (RS-232C) (D-sub de 9 pines)

Este conector permite realizar el control remoto de la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener información detallada, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

5 Conectores VIDEO

El PFM-42B1E/42B2E no dispone de conectores VIDEO. En los modelos PFM-42B1E/42B2E, se pueden introducir la entrada Y/C y la entrada de vídeo compuesta en la pantalla si ésta tiene instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 o el adaptador de entrada de vídeo y control S BKM-B13 (no suministrado).

COMPOSITE IN (tipo BNC): Se conecta a la salida de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.

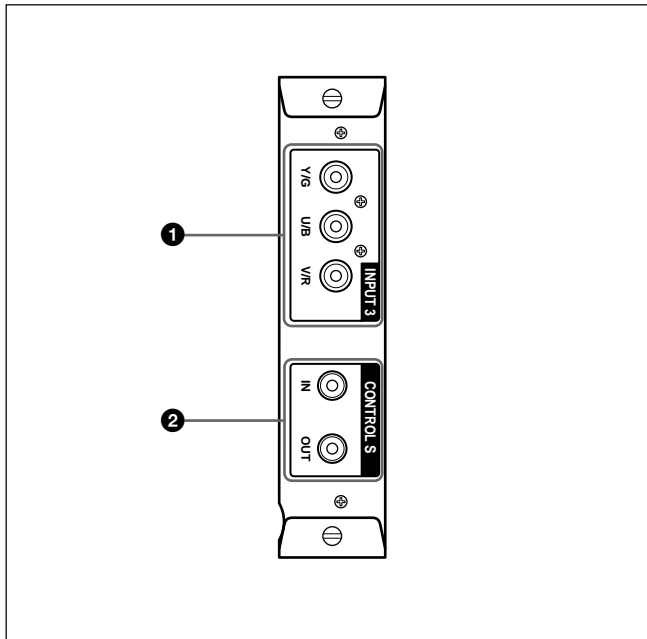
COMPOSITE OUT (tipo BNC): Se conecta a la entrada de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.

Y/C IN (mini DIN de 4 pines): Se conecta a la salida de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

AUDIO IN (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

Adaptador de entrada de componentes (con Control S) BKM-B12 (no suministrado)

Los conectores de VIDEO son conectores de ranuras. Pueden sustituirse por el adaptador de entrada de componentes (con Control S) BKM-B12.



❶ Conectores ENTRADA3 (entrada de señal RGB/YUV)

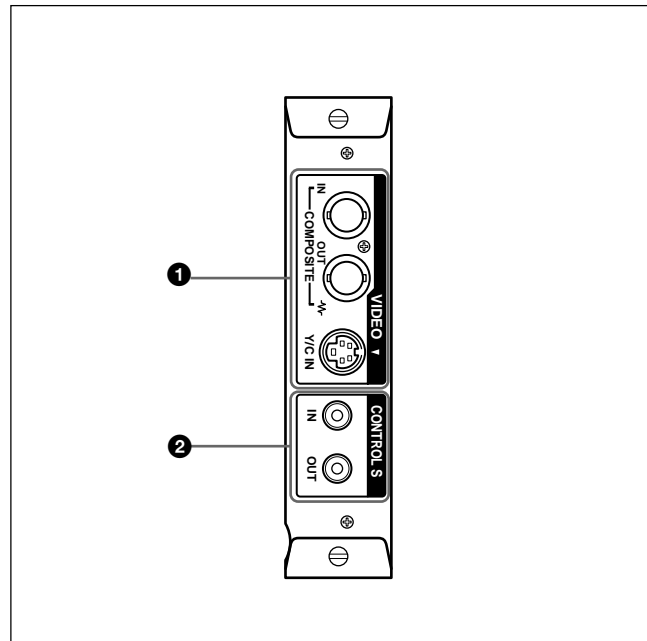
Conector RGB/YUV (entrada de señal RGB/YUV) (Toma fonográfica): Se conecta al conector de salida de señal RGB analógica (dispositivo de imagen) o al conector de salida de señal (YUV) del componente. También puede introducir las señales del componente HD analógicas (Y/PB/PR) a este conector.

❷ Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/salida de señal del Control S) (minitoma)

Puede conectar el conector CONTROL S de un dispositivo de vídeo o una pantalla a este conector. Puede controlar varios dispositivos desde un control remoto. Conecte el conector CONTROL S OUT de este adaptador al conector CONTROL S IN del otro dispositivo.

Adaptador de entrada de vídeo y Control S "BKM-B13" (no suministrado)

Los conectores de VIDEO son conectores de ranuras. Puede sustituirlos por el adaptador de entrada de vídeo y Control S BKM-B13.



❶ Conectores de VIDEO

Conector COMPOSITE IN (entrada de vídeo)

(BNC): Se conecta al conector de salida de señal compuesta del dispositivo de vídeo.

Conector COMPOSITE OUT (salida de vídeo)

(BNC): Se conecta al conector de entrada de señal compuesta del dispositivo de vídeo.

Conector Y/C IN (entrada de vídeo) (Mini-DIN 4 pines)

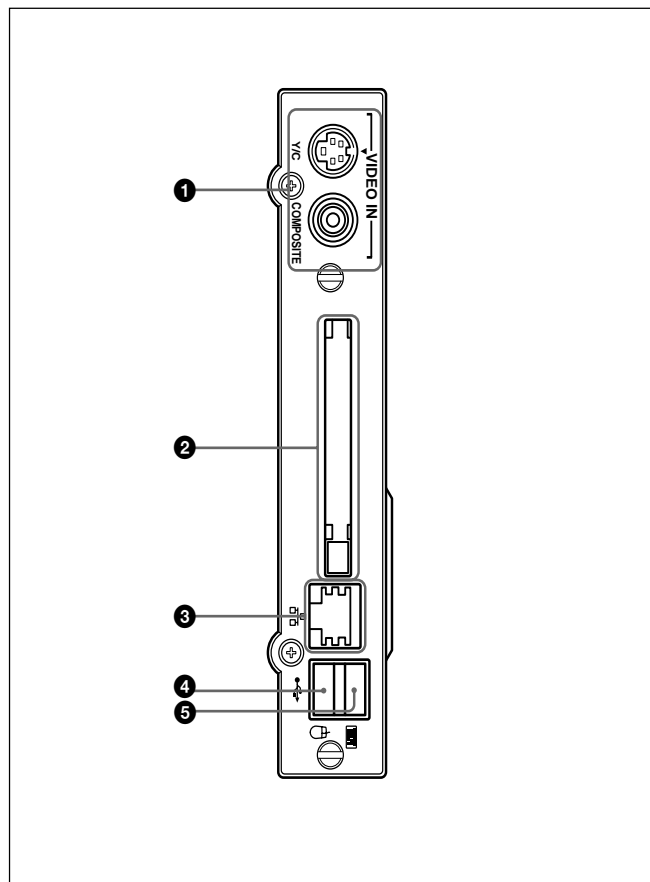
Se conecta al conector de salida Y/C del dispositivo de vídeo.

❷ Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/salida de señal del Control S) (minitoma)

Puede conectar el conector CONTROL S de un dispositivo de vídeo o una pantalla a este conector. Puede controlar varios dispositivos desde un control remoto. Conecte el conector CONTROL S OUT de este adaptador al conector CONTROL S IN del otro dispositivo.

Adaptador de red BKM-B30NW (no suministrado)

Los conectores de VIDEO son conectores de ranura. Puede sustituirlos por el adaptador de red BKM-B30NW.



❶ Conector VIDEO IN

Conector Y/C (Mini DIN 4 pines): Se conecta al conector de salida Y/C de un dispositivo de imagen.

Conector COMPOSITE (toma para pines): Se conecta al conector de salida compuesta de un dispositivo de imagen.

❷ Ranura de tarjeta PC

Instale una tarjeta LAN o una tarjeta de memoria PC si fuera necesario.

❸ Conector Ethernet

Conéctelo a otro ordenador en red con un cable LAN 10/100BASE-T.

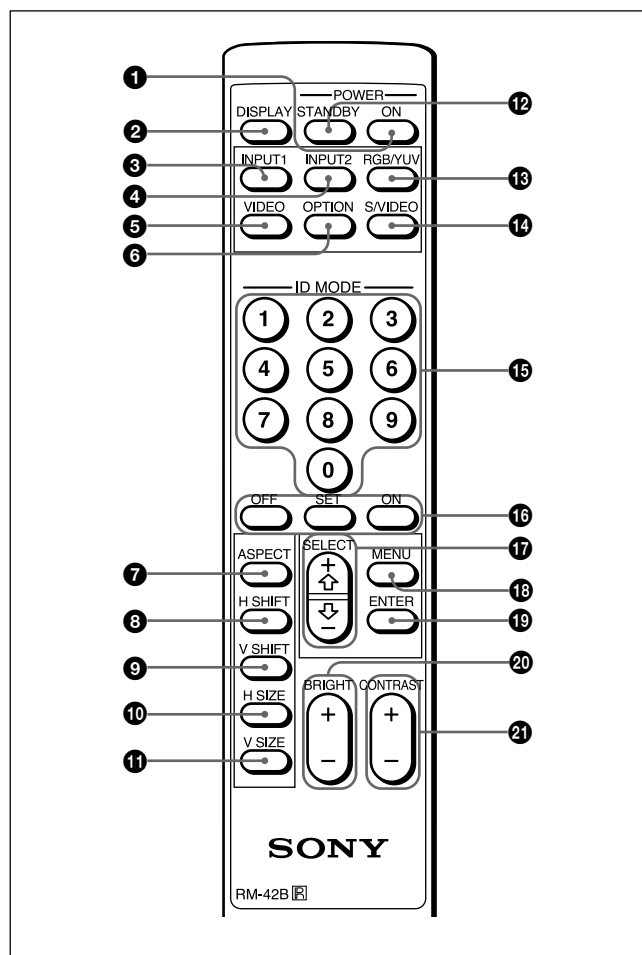
❹ Conector de teclado

Conéctelo a un teclado USB.

❺ Conector de ratón

Conéctelo a un ratón USB.

Mando a distancia RM-42B



❶ Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.

❷ Botón DISPLAY

Muestra información sobre la señal de entrada y la hora en la parte superior del panel de visualización. Pulse este botón de nuevo para borrarla.

❸ Botón INPUT1

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT1.

❹ Botón INPUT2

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT2.

❺ Botón VIDEO

Selecciona la entrada de señal del conector COMPOSITE IN o Y/C IN de los conectores VIDEO.

❻ Botón OPTION

Selecciona la entrada de señal del adaptador opcional al instalarlo en la unidad.

7 Botón ASPECT

Cambia la relación de aspecto de la imagen.

8 Botón H SHIFT

Ajusta el centrado horizontal. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con el botón SELECT +**↑**/–**↓** 17.

9 Botón V SHIFT

Ajusta el centrado vertical. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado vertical con el botón SELECT +**↑**/–**↓** 17.

10 Botón H SIZE

Ajusta el tamaño horizontal de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño horizontal de la imagen con el botón SELECT +**↑**/–**↓** 17.

11 Botón V SIZE

Ajusta el tamaño vertical de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño vertical de la imagen con el botón SELECT +**↑**/–**↓** 17.

12 Botón STANDBY

Púlselo para que la pantalla cambie al modo de espera.

13 Botón RGB/YUV

Púlselo para seleccionar el formato que coincida con el de la señal de entrada conectada al conector INPUT1 o INPUT2. Con cada pulsación, se alterna entre RVB y YUV.

14 Botón S/VIDEO

Púlselo para seleccionar la entrada de señal del conector COMPOSITE IN o Y/C IN de los conectores VIDEO. Con cada pulsación, se alterna entre COMPOSITE IN e Y/C IN.

15 Botones numéricos

Púlselos para introducir el número de índice.

16 Botones ID MODE (ON/SET/OFF)

Pulse el botón ON para que aparezca un número de índice en pantalla. A continuación, introduzca el número de índice de la pantalla que desee utilizar mediante los botones numéricos 15 y pulse el botón SET. Después de realizar esta operación, pulse el botón OFF para volver a cambiar del modo ID al modo normal.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia” en la página 45 (ES).

17 Botón SELECT +**↑**/–**↓**

Púlselo para desplazar el cursor (►) hasta un elemento o para ajustar un valor en un menú.

18 Botón MENU

Púlselo para que aparezca el menú. Cuando el menú aparece en el panel de visualización, púlselo para volver al nivel anterior del menú. Para borrar el menú, pulse este botón varias veces hasta que desaparezca el menú.

19 Botón ENTER

Púlselo para seleccionar la opción que desee en un menú.

20 Botón BRIGHT +/-

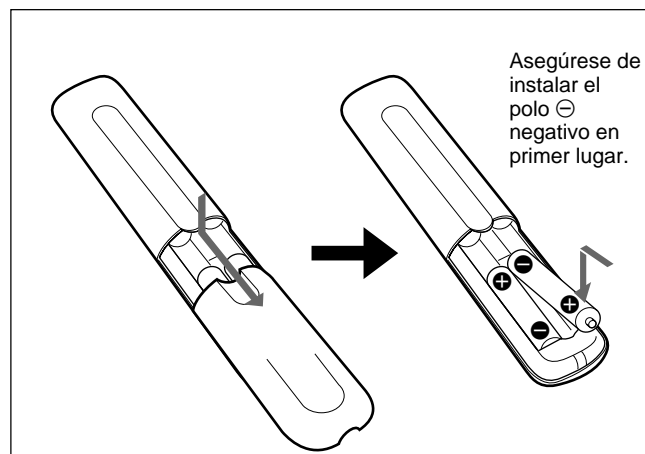
Ajusta el brillo.

21 Botón CONTRAST +/-

Ajusta el contraste.

Instalación de pilas

Inserte dos pilas de tamaño AA (R6) con la polaridad correcta.



- Con un uso normal, las pilas pueden durar hasta medio año. Si el mando a distancia no funciona correctamente, es posible que se hayan agotado antes las pilas. Sustitúyalas por otras nuevas.
- Para evitar daños producidos por posibles fugas, retire las pilas si no tiene previsto utilizar el mando a distancia durante un periodo prolongado.

Si el mando a distancia no funciona

Compruebe que el indicador STANDBY se ilumina y que MODO REMOTO del menú REMOTO no está ajustado en DES. Es posible controlar la pantalla mediante el mando a distancia sólo si se cumplen las dos condiciones que se indican a continuación.

- La pantalla está encendida o en el modo de espera.
- El elemento MODO REMOTO del menú REMOTO está ajustado en TV o en PJ.

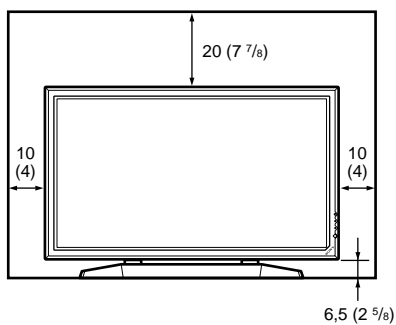
Para obtener información detallada sobre MODO REMOTO, consulte “Menú REMOTO” en la página 22 (ES).

Precaución

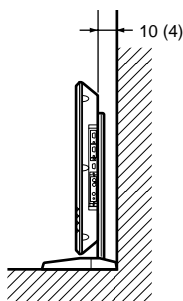
- Cuando utilice la pantalla, asegúrese de que el espacio existente a su alrededor es más grande que el que se muestra en la figura que aparece a continuación. Ello garantizará una adecuada ventilación.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F).
- Utilice el soporte de pantalla SU-42B (no suministrado) como soporte.

Al utilizar el soporte (no suministrado)

Frontal



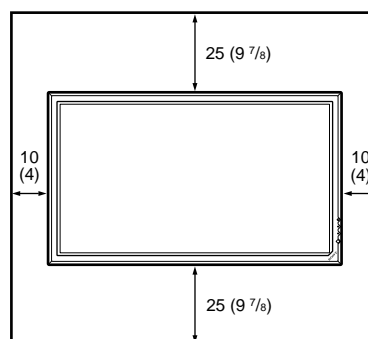
Lateral



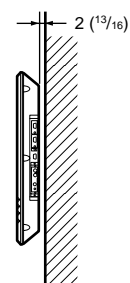
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en horizontal

Frontal




Lateral

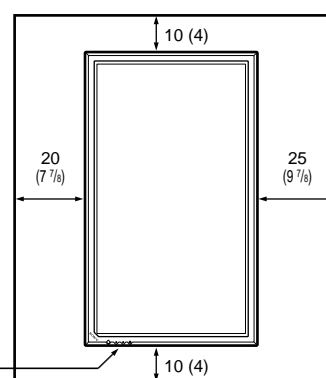


Unidades: cm (pulgadas)

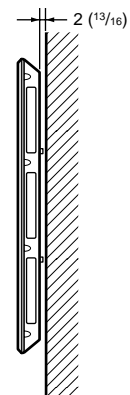
Al montar la pantalla en vertical

Frontal

Asegúrese de que el interruptor  (de espera) se encuentra en la parte inferior.



Lateral

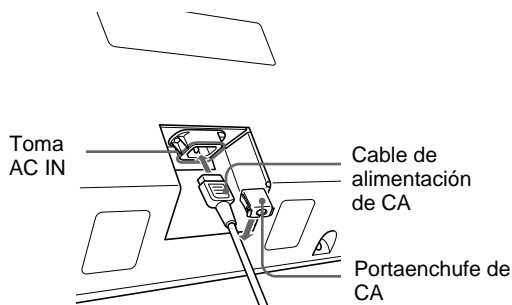


Unidades: cm (pulgadas)

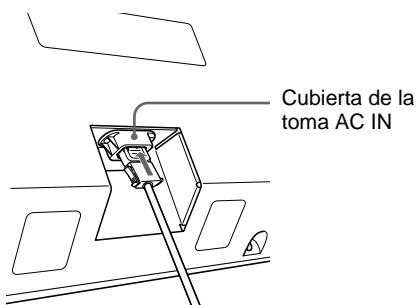
Conexiones

Conexión del cable de alimentación de CA

- 1 Enchufe el cable de alimentación de CA en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de CA (suministrado) al cable de alimentación de CA.



- 2 Deslice el portaenchufe de CA sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma AC IN.



Para retirar el cable de alimentación de CA

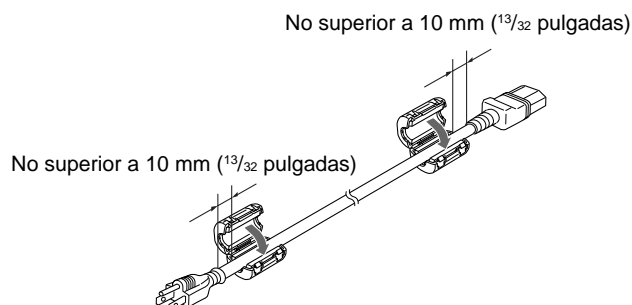
Tras apretar el portaenchufe de CA y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de CA.

Fijación del núcleo de ferrita (sólo PFM-42B2/42B2E)

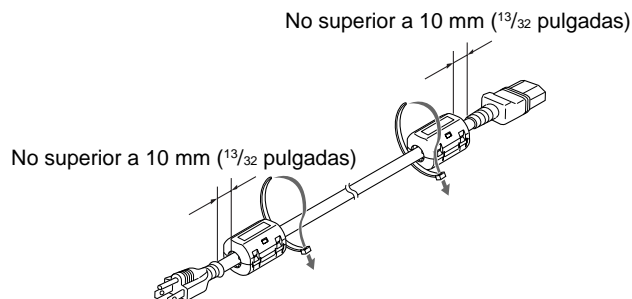
Al fijarlo al cable de alimentación de CA

Antes de conectar el cable de alimentación a la unidad, asegúrese de conectar los núcleos de ferrita (gris claro) al mismo.

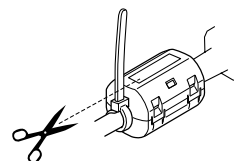
- 1 Fije los núcleos de ferrita a ambos extremos del cable de alimentación de CA y ciérrelos hasta que se oiga un “clic”.



- 2 Enrolle el tope alrededor del cable para que los núcleos de ferrita no resbalen.



- 3 Apriete el tope y corte la parte superflua.



Nota

Le advertimos de que esta unidad no cumplirá la normativa EMC a menos que se instale el núcleo de ferrita en el cable de alimentación de CA.

Al fijarlo a los cables

Cuando conecte un cable a cualquiera de los terminales que se enumeran a continuación, fije el núcleo de ferrita suministrado antes de utilizar dicho cable.

AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

AUDIO OUT

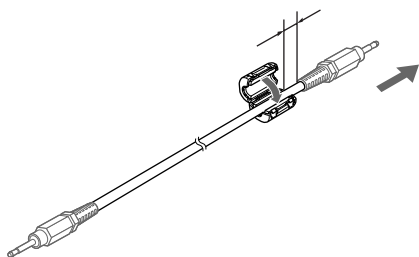
REMOTE

Y/C IN (VIDEO)

AUDIO IN (VIDEO)

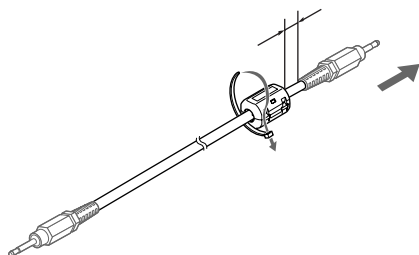
- 1 Fije el núcleo de ferrita (negro) al extremo del cable más próximo al PFM-42B2/42B2E y ciérrelo firmemente hasta que oiga un “clic”.

No superior a 10 mm ($13/32$ pulgadas)

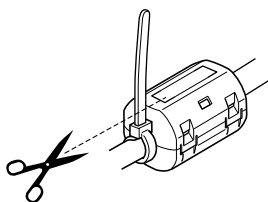


- 2 Enrolle el tope alrededor del cable para que el núcleo de ferrita no resbale.

No superior a 10 mm ($13/32$ pulgadas)



- 3 Apriete el tope y corte la parte superflua.



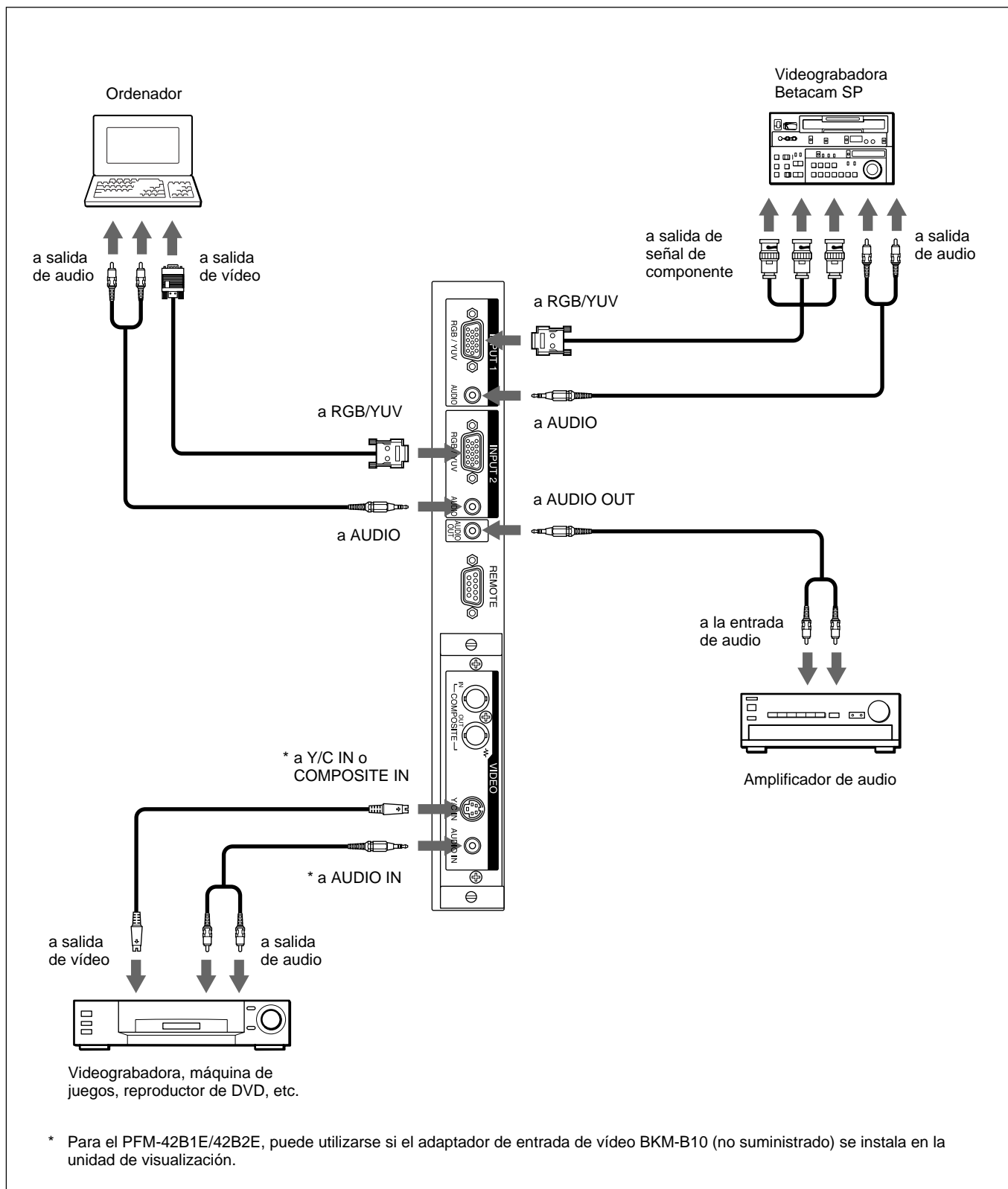
Notas

- Si conecta esta unidad a diferentes equipos mediante los conectores RGB/YUV, utilice el cable especificado.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
- Le advertimos de que esta unidad no cumplirá la normativa EMC a menos que se instale el núcleo de ferrita en el cable de interconexión.

Ejemplo de conexión

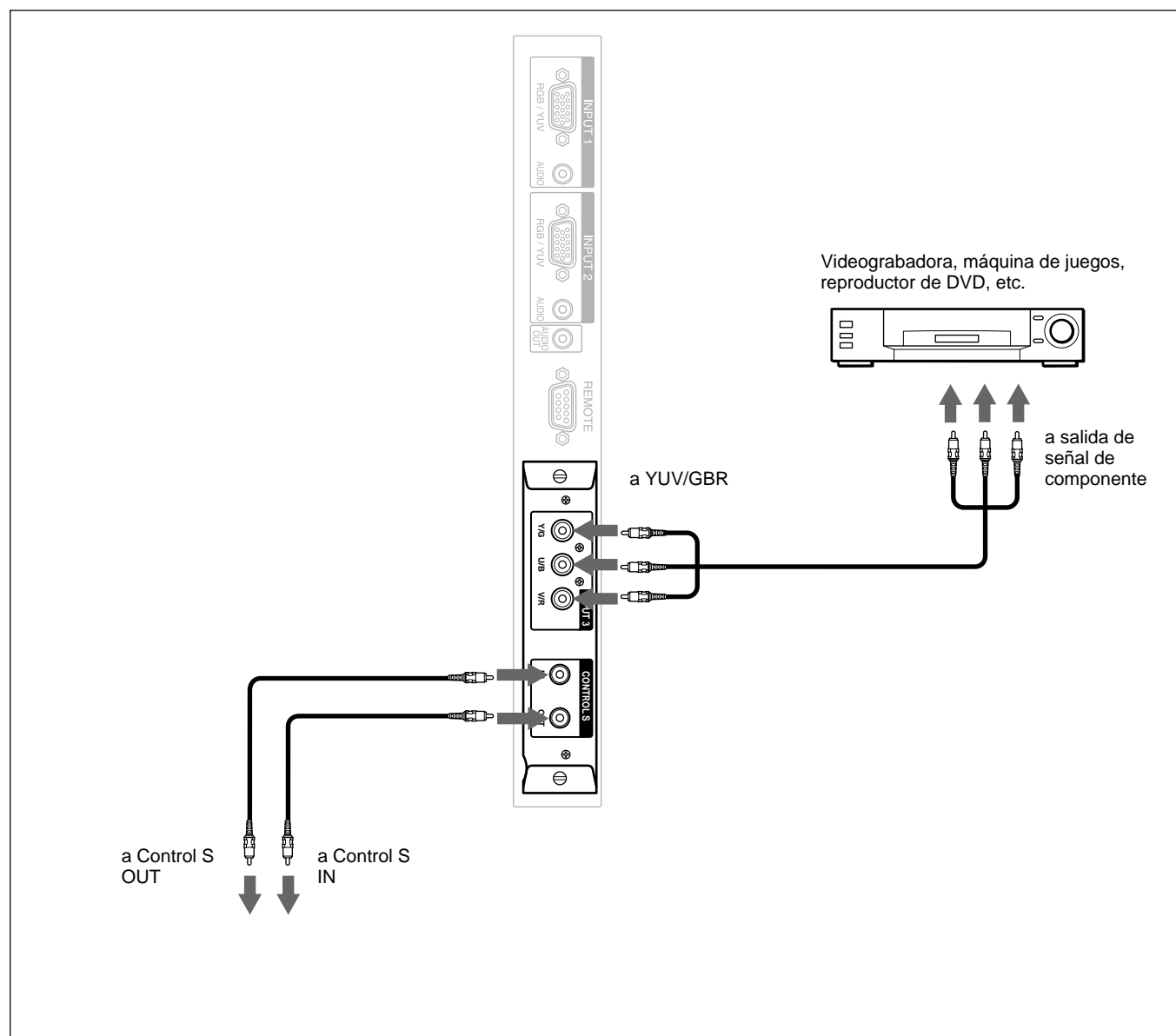
Antes de comenzar

- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables de conexión adecuados al equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Consulte el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Inserte el enchufe firmemente en la toma AC IN.
- Utilice el portaenchufe de CA (suministrados) que mejor fije el enchufe de CA.



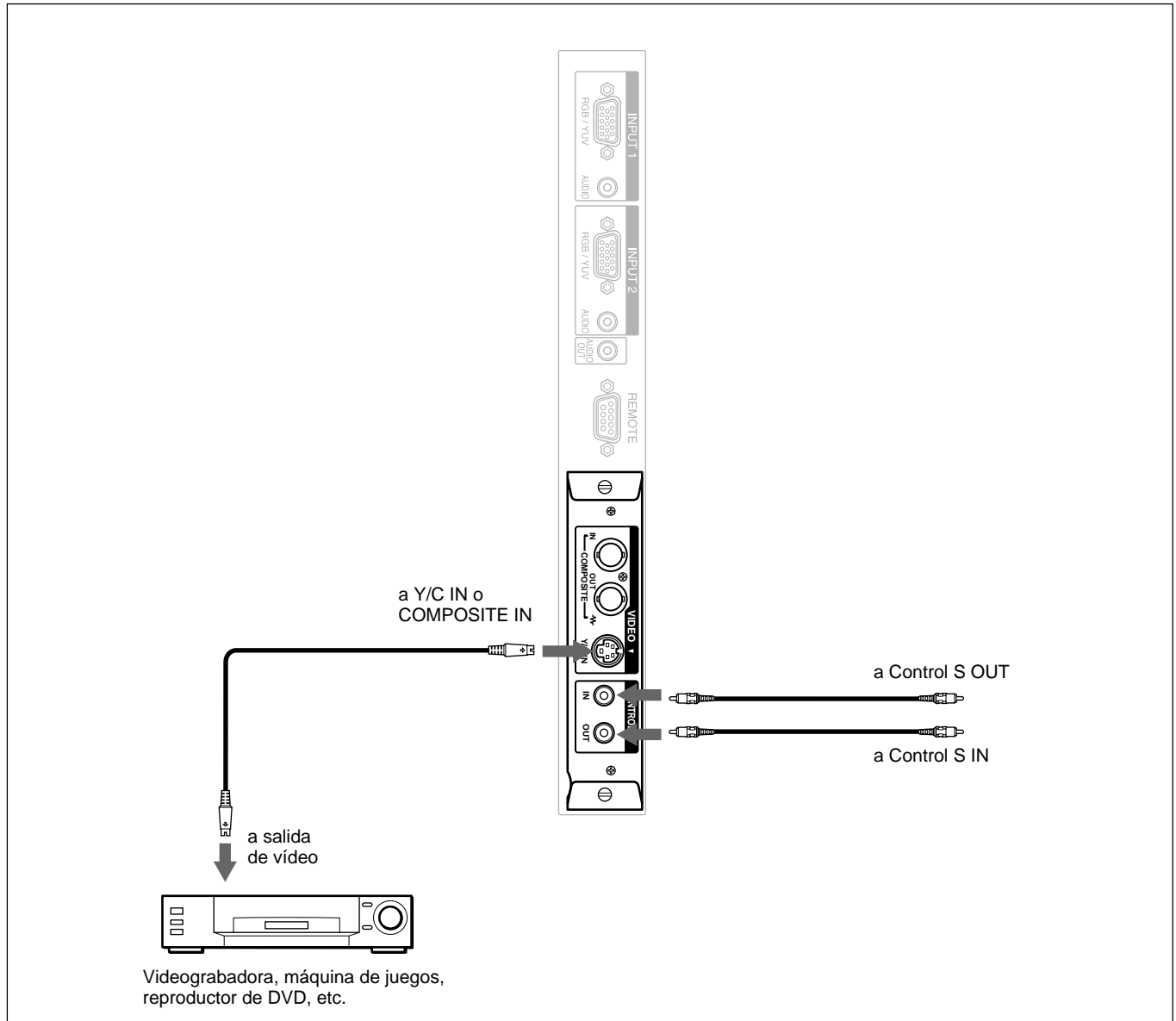
Ejemplo de conexión: Se ha instalado el adaptador de entrada de componentes (con Control S) BKM-B12 (no suministrado).

El diagrama muestra el ejemplo de conexión donde se ha instalado el adaptador de entrada de componentes (con Control S) BKM-B12 (no suministrado).



Ejemplo de conexión: Se ha instalado el adaptador de entrada de vídeo y Control S BKM-B13 (no suministrado).

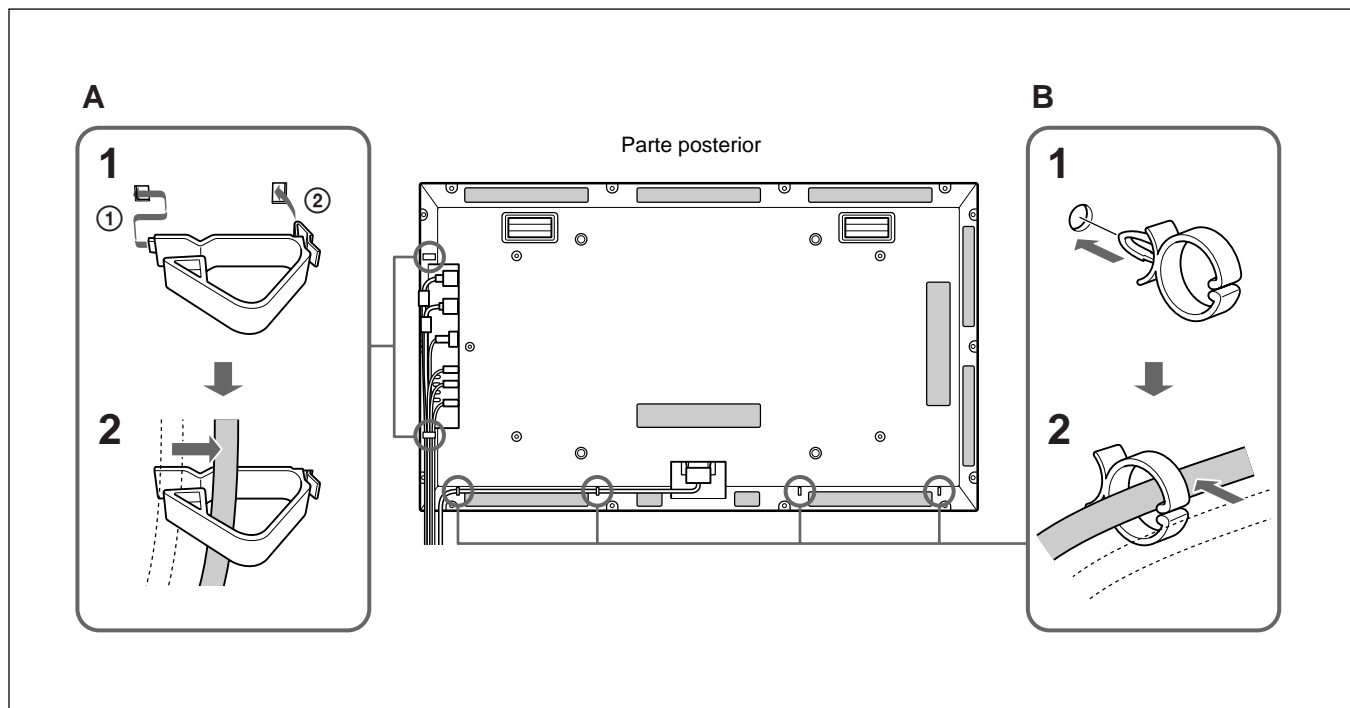
El esquema muestra un ejemplo de conexión donde se ha instalado el adaptador de entrada de vídeo y Control S BKM-B13 (no suministrado).



Si desea obtener un ejemplo de conexión del adaptador de red BKM-B30NW (no suministrado), consulte el manual de instrucciones de BKM-B30NW.

Uso de los portacables

Puede fijar los cables de conexión y el cable de alimentación de CA con los portacables A (×2) y B (×4). Fije los portacables A y B como se muestra en la siguiente ilustración.

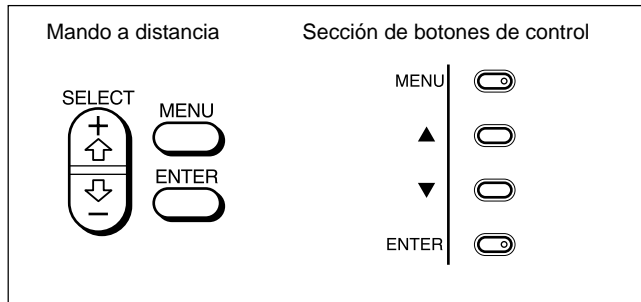


Uso de los menús en pantalla

Empleo mediante menús

Botones de empleo de menús

Utilice los botones de la unidad de visualización o del mando a distancia para realizar operaciones con los menús.



En este manual, se utilizan los botones de la sección de botones de control en los ejemplos.

El botón SELECT + \uparrow / \downarrow del mando a distancia tiene las mismas funciones que los botones \blacktriangle / \blacktriangledown de la sección de botones de control.

Configuración del menú

Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte la página 36 (ES).

- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse \blacktriangle / \blacktriangledown para desplazar el cursor (\blacktriangleright) y ENTER para seleccionar un menú.
El menú seleccionado aparece en el panel de visualización.
- 3** Pulse \blacktriangle / \blacktriangledown para desplazar el cursor (\blacktriangleright) y ENTER para seleccionar un elemento.
El menú correspondiente al elemento seleccionado aparece en el panel de visualización.

- 4** Pulse \blacktriangle / \blacktriangledown para ajustar o seleccionar el valor y ENTER para confirmar.
El ajuste se registra y vuelve a aparecer el menú anterior.

Para volver a la pantalla normal, pulse el botón MENU varias veces hasta que desaparezca el menú.

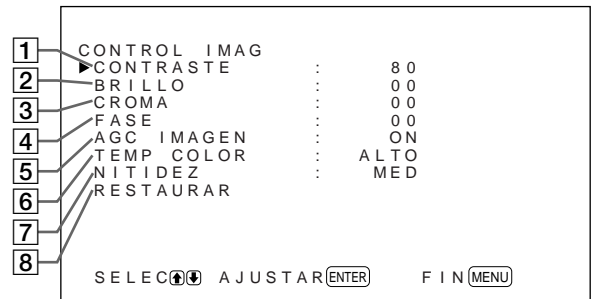
Guía de los menús

Nota

“— — —” aparece junto a los elementos cuando la función no está disponible. La disponibilidad depende del tipo de señal de entrada.

Menú CONTROL IMAG

Este menú se emplea para ajustar la imagen.



1 CONTRASTE

Pulse \blacktriangle para aumentar el contraste y \blacktriangledown para disminuirlo.

2 BRILLO

Pulse \blacktriangle para aumentar el brillo de la imagen y \blacktriangledown para disminuirlo.

3 CROMA

Pulse \blacktriangle para aumentar la saturación de color y \blacktriangledown para disminuirla.

4 FASE

Pulse \blacktriangle para que toda la imagen adquiriera un tono verdoso y \blacktriangledown para que adquiriera un tono púrpura.

5 AGC IMAGEN

Seleccione ON para que el brillo aumente automáticamente si se introduce una señal de brillo bajo.

Esta función sólo está disponible para la entrada VIDEO o entrada YUV de 15 kHz.

[6] TEMP COLOR

Cambia la temperatura del color.

Para obtener información detallada, consulte “TEMP COLOR” en la página 28 (ES).

[7] NITIDEZ

Cambia el nivel de corrección del contorno utilizando los siguientes tres niveles (ALTO, MED o BAJO).

Para obtener información detallada, consulte “NITIDEZ” en la página 29 (ES).

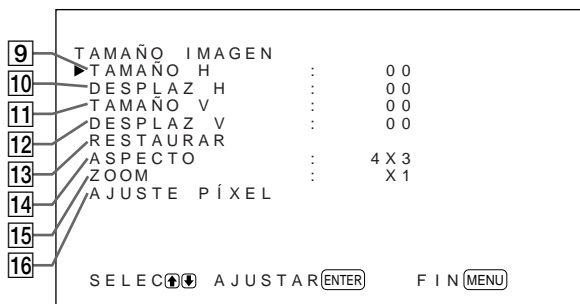
[8] RESTAURAR

Restaura los ajustes de fábrica de los elementos [1] a [7] del menú CONTROL IMAG.

Para obtener más información sobre el uso de la función de restauración, consulte “Restauración de los valores originales de los elementos del menú CONTROL IMAG” en la página 29 (ES).

Menú TAMAÑO IMAGEN

Este menú se emplea para cambiar el tamaño y posición de la imagen.

**[9] TAMAÑO H**

Ajusta el tamaño horizontal de la imagen. Pulse ▲ para aumentar el tamaño horizontal y ▼ para disminuirlo.

[10] DESPLAZ H

Ajusta el centrado horizontal. Pulse ▲ para desplazar la imagen hacia la derecha y ▼ para desplazarla hacia la izquierda.

[11] TAMAÑO V

Ajusta el tamaño vertical de la imagen. Pulse ▲ para aumentar el tamaño vertical y ▼ para disminuirlo.

[12] DESPLAZ V

Ajusta el centrado vertical. Pulse ▲ para desplazar la imagen hacia arriba y ▼ para desplazarla hacia abajo.

[13] RESTAURAR

Restaura los ajustes de fábrica de las opciones [9] a [12] del menú TAMAÑO IMAGEN.

Para obtener más información sobre el uso de la función de restauración, consulte “Restauración del tamaño y posición originales de la imagen” en la página 31 (ES).

[14] ASPECTO

Cambia la relación de aspecto de la imagen.

Para obtener más información, consulte “Modificación de la relación de aspecto” en la página 32 (ES).

[15] ZOOM

Aumenta la imagen (consecutivamente) al doble (×2), triple (×3) y cuádruple (×4).

Nota

Al ajustar ASPECTO en PANORÁ o ZOOM LB, aparece “— — —” y no es posible ajustar ZOOM en ×2, ×3 o ×4.

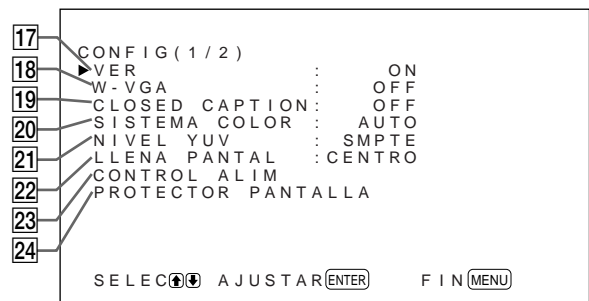
[16] AJUSTE PÍXEL

Ajusta la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales cuando se ve ruido en los bordes de los caracteres y las líneas verticales.

Para obtener más información, consulte “Ajuste de los píxeles” en la página 33 (ES).

Menú CONFIG

Este menú se emplea para ajustar la señal o para seleccionar el idioma. Este menú se compone de dos páginas: CONFIG (1/2), CONFIG (2/2). Para pasar de una página a otra, pulse los botones ▲ / ▼ varias veces hasta que aparezca la página deseada.



PFM-42B1/42B1E: No se muestra “NIVEL YUV”.



PFM-42B1/42B1E: No se muestra “REMOTO SERIE”. Si ha instalado el “ADAPTADOR DE RED” (BKM-B30NW), éste se añadirá, pero no aparecerá en el modelo PFM-42B1/42B1E.

17 VER

Si selecciona ON, puede ver información sobre la señal de entrada en la parte superior del panel de visualización durante unos cinco segundos, al activar la alimentación o cambiar la señal de entrada.

18 W-VGA

Seleccione ON para introducir la señal W-VGA (852 × 480).

Al ajustar este elemento en ON, la señal de entrada VGA será de 852 × 480. En caso contrario, dicha señal será de 640 × 480.

19 CLOSED CAPTION

Muestra títulos.

Para obtener información detallada, consulte “Visualización de “Closed captions” (títulos)” en la página 25 (ES).

20 SISTEMA COLOR

Selecciona la señal de entrada.

AUTO: para ver señales NTSC, PAL o SECAM

443NT: para ver señales NTSC4.43

PAL60: para ver señales PAL60

PAL-M: para ver señales PAL-M

21 NIVEL YUV (sólo en PFM-42B2/42B2E)

Seleccione el nivel de señal del componente.

SMPTE: Señal de nivel SMPTE

BETA: Señal de nivel BETACAM

22 LLENA PANTAL

Selecciona el punto de origen para cambiar el tamaño de la imagen.

CENTRO: Ajusta el punto de origen en el centro del panel de visualización.

ESQ: Ajusta el punto de origen en el ángulo superior izquierdo del panel de visualización.

23 CONTROL ALIM

Ajusta el tiempo hasta que el sistema entra en el modo de ahorro de energía.

Para obtener información detallada, consulte “Control automático de la alimentación (función de control de alimentación)” en la página 39 (ES).

24 PROTECTOR PANTALLA

Activa un protector de pantalla para reducir las imágenes residuales o fantasmas.

Para obtener información detallada, consulte “Reducción de imágenes residuales/fantasma (función de protector de pantalla)” en la página 37 (ES).

25 FIJAR HORA

Ajusta la hora.

Para obtener más información, consulte “Ajuste de la hora” en la página 25 (ES).

22 (ES)

26 IDIOMA

Permite seleccionar el idioma en pantalla (inglés, alemán, francés, italiano, español o japonés).

Para obtener más información, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 36 (ES).

27 REMOTO SERIE (sólo en PFM-42B2/42B2E)

Ajuste del REMOTO SERIE.

Para obtener más información, consulte “Ajuste del REMOTO SERIE” en la página 43 (GB).

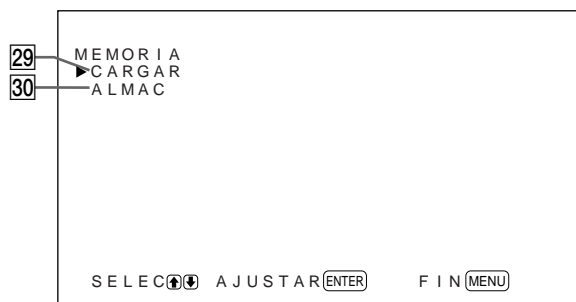
28 ADAPTADOR DE RED (sólo en PFM-42B2/42B2E)

Ajuste del adaptador de red.

Para obtener más información, consulte “Ajuste del ADAPTADOR DE RED” en la página 44 (GB).

Menú MEMORIA

Este menú se utiliza para almacenar o recuperar los ajustes de los menús CONTROL IMAG y TAMAÑO IMAGEN.



Para obtener información detallada, consulte “Uso de la función de memoria” en la página 34 (ES).

29 CARGAR

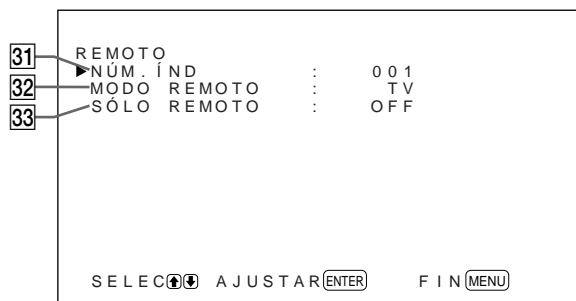
Recupera los ajustes predefinidos.

30 ALMAC

Guarda los ajustes.

Menú REMOTO

Este menú se usa para los ajustes de control remoto.



31 NÚM. ÍND

Ajusta el número de índice de la pantalla.

Nota

Para ajustar el número, utilice los botones de la unidad de visualización.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia” en la página 45 (ES).

32 MODO REMOTO

Selecciona el modo del mando a distancia.

TV: El mando a distancia de la pantalla Sony o TV

PJ: el mando a distancia del proyector Sony

OFF: Desactiva el control remoto.


Nota

Para cambiar el modo del mando a distancia, utilice los botones de la unidad de visualización. No es posible cambiar dicho modo con el mando a distancia.

Para obtener más información, consulte “Uso de otros modelos de mando a distancia” en la página 47 (ES).

33 SÓLO REMOTO

Seleccione ON para desactivar los botones de control de la unidad de visualización. La pantalla sólo puede controlarse con el mando a distancia.

Para cancelar el modo SÓLO REMOTO, ajuste SÓLO REMOTO en OFF con el mando a distancia o pulse el botón MENU y el interruptor  (modo de espera) en la unidad de visualización. La pantalla entra en modo de espera y se cancela el modo SÓLO REMOTO.

El ajuste de esta opción se conserva al desconectar el cable de alimentación de CA o cuando se enciende y apaga la pantalla con el mando a distancia.

Menú ESTADO

Este menú se utiliza para mostrar información sobre el estado interno de la pantalla.

34	ESTADO	:	
35	NOMBRE MODELO	:	PFM - 42B2E
36	NÚM. SERIE	:	2000001
37	TIEMPO FUNC.	:	000001H
38	SOFTWARE	:	Ver 1.00
39	TEMPERATURA	:	BIEN
	VENTILADOR	:	BIEN

34 NOMBRE MODELO

Indica el nombre del modelo.

La descripción en esta sección se basa en el modelo PFM-42B2E.

35 NÚM. SERIE

Indica el número de serie.

36 TIEMPO FUNC.

Indica el número total de horas de uso.

Nota

El modo de espera no se contabiliza como parte del tiempo de funcionamiento.

37 SOFTWARE


Indica la versión de software del sistema.

38 TEMPERATURA

Indica si la temperatura interna de la unidad de visualización es normal.

BIEN: Normal

NG: Anormal

Cuando la temperatura interna no es normal, aparece NG y el elemento parpadea en color rojo. También parpadea el indicador STANDBY de la sección de indicadores / interruptor  (de espera).

Nota


El mensaje “TEMPERATURA NG” puede aparecer cuando se bloquean los orificios de ventilación o cuando la unidad de visualización se instala en un lugar mal ventilado. En este caso, asegúrese de que los orificios de ventilación no están bloqueados e instale la unidad de visualización en un lugar bien ventilado. Si el mensaje sigue apareciendo, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado. Si el indicador STANDBY parpadea o aparece la indicación NG, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 45 (ES).

39 VENTILADOR

En esta unidad de visualización se incorporan ventiladores de enfriamiento. Este elemento indica si los ventiladores de enfriamiento funcionan correctamente.

BIEN: Normal

NG: Anormal

Cuando los ventiladores no funcionan correctamente, aparece la indicación NG y el elemento parpadea en color rojo. También parpadea el indicador STANDBY de la sección de indicadores / interruptor  (de espera).

Notas

- Si aparece el mensaje “VENTILADOR NG”, consulte a un proveedor Sony autorizado. Si el indicador STANDBY parpadea o aparece la indicación NG, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 45 (ES).
- Los ventiladores de enfriamiento detectan la temperatura interna de la unidad de visualización y controlan la rotación del ventilador. Si la temperatura ambiente es alta, aumentará la velocidad y el ruido de los ventiladores.

Visualización de la imagen

Antes de comenzar

- Encienda la pantalla.
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para visualizar en pantalla la información sobre la señal de entrada al activar la alimentación o al cambiar dicha señal, ajuste el elemento “VER” del menú CONFIG (1/2) en ON.
- Para seleccionar el idioma en pantalla que desee para el menú, consulte la página 36 (ES).

Conmutación de la señal de entrada

1 Pulse MENU.

El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ▲/▼ para desplazar el cursor (►) a “SELECCIÓN ENTRADA” y pulse ENTER.

La señal de entrada actualmente seleccionada y el menú SELECCIÓN ENTRADA aparecen en el panel de visualización.



3 Pulse ▲/▼ para desplazar el cursor (►) a la fuente de entrada que vaya a mostrar y pulse ENTER.

INPUT1 RGB: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT1 cuando la señal de entrada es RVB.

INPUT1 YUV: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT1 cuando la señal de entrada es de componente.

INPUT2 RGB: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT2 cuando la señal de entrada es RVB.

INPUT2 YUV: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT2 cuando la señal de entrada es de componente.

VIDEO COMPOSITE: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde el conector COMPOSITE IN y la toma AUDIO IN de los conectores VIDEO.

VIDEO Y/C: Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde el conector Y/C IN y la toma AUDIO IN de los conectores VIDEO.

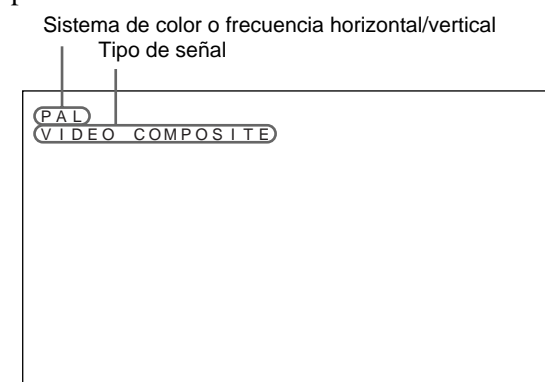
(En los modelos PFM-42B1E/42B2E, sólo aparecerá VÍDEO COMPUESTO y VIDEO Y/C si se ha instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 o el adaptador de entrada de vídeo y control S BKM-B13 (no suministrado).)

INPUT3 RGB: Selecciona la señal de entrada (señal RGB) desde el dispositivo conectado al conector INPUT3. (Sólo cuando está instalado el adaptador del componente BKM-B12.)

INPUT3 YUV: Selecciona la señal de entrada (señal del componente) desde el dispositivo conectado al conector INPUT3. (Sólo cuando está instalado el adaptador del componente BKM-B12.)

INPUT3 PC: Selecciona la señal desde el adaptador de red BKM-B30NW instalado en la unidad del conector de VIDEO. (Sólo cuando está instalado el adaptador de red BKM-B30NW.)

La señal de entrada seleccionada aparece en el panel de visualización.



También es posible cambiar la señal de entrada con el mando a distancia.

Nota

Recomendamos que el equipo de vídeo que sirve de fuente de entrada esté equipado con TBC (corrector de base de tiempo). Si el monitor recibe una señal sin TBC, la imagen puede desaparecer debido a las perturbaciones de la señal de sincronización.

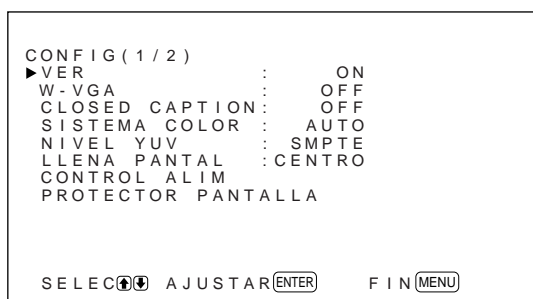
Conmutación del modo de visualización

Visualización de “Closed captions” (títulos)

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “CLOSED CAPTION” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Seleccione el tipo de título con ▲ / ▼.
OFF: El título no se muestra.
TÍTULO1: Muestra el título1 sobre la imagen.
TÍTULO2: Muestra el título2 sobre la imagen.
TEXT1: Muestra el título1 sobre un fondo negro.
TEXT2: Muestra el título2 sobre un fondo negro.

- 5 Pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú CONFIG (1/2).

Ajuste de la hora

- 1 En el menú CONFIG (2/2), pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “FIJAR HORA” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ENTER.
El fondo de la hora aparece en color cian.
- 3 Ajuste la hora con los botones ▲ / ▼ y pulse ENTER.
Se introduce el ajuste de hora y el fondo de los minutos aparece en color cian.
- 4 De forma similar, ajuste los minutos y pulse ENTER.
Se introduce el ajuste de los minutos y los segundos se reajustan en 00.

Para visualizar la hora

Pulse el botón DISPLAY del mando a distancia. La hora aparece en el ángulo superior derecho de la pantalla.

Información sobre la señal de entrada y el estado de la pantalla

La información sobre la señal de entrada y el estado de la pantalla aparece en la pantalla del monitor durante aproximadamente cinco segundos al encender la unidad o cambiar la señal de entrada.

Para desactivar esta función, realice los pasos descritos a continuación.

- 1 En el menú CONFIG (1/2), pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “VER” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para ajustar VER en OFF y pulse ENTER.
Se desactiva la función VER.

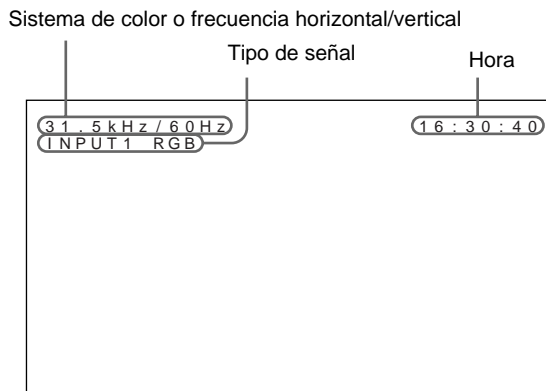
Para visualizar la información

Ajuste VER en ON en el anterior paso 2. El ajuste por omisión de fábrica es ON.

Nota

Pulsando el botón DISPLAY del mando a distancia puede obtener información sobre la señal de entrada y la hora en cualquier momento, sea cual sea el ajuste realizado. El mensaje permanecerá en pantalla hasta que pulse el botón DISPLAY de nuevo para ocultarlo.

Lista de información sobre la señal de entrada



Señales de entrada predefinidas			
	Nombre de señal	Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical	
Señales de ordenador			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I-O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE.UU.
b) VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc.
d) Este elemento sólo está disponible al utilizar una placa aceleradora de gráficos fabricada por I-O DATA Corporation.
e) Este elemento sólo se encuentra disponible cuando se utiliza una tarjeta gráfica fabricada por Matrox Graphics Inc.

Notas

- Al introducir una señal HDTV, introduzca la señal de sincronización de tres niveles en el 2º pin del conector INPUT1 o INPUT2 (D-sub de 15 pines).
- Al introducir una señal de ordenador con la resolución mostrada en el elemento nº 29, ajuste TAMAÑO H, DESPLAZ H, TAMAÑO V y DESPLAZ V en el valor estándar (00) y ZOOM en ×1 en el menú TAMAÑO IMAGEN, o la imagen podría oscilar.
- Si el color de la imagen es demasiado claro tras introducir la señal de DVD en el modelo PFM-42B1/42B1E, ajuste el color en "CROMA" en el menú CONTROL IMAG.
En el modelo PFM-42B2/42B2E, seleccione "SMPTE" en NIVEL YUV en el menú CONFIG.
- Para 480/60p, utilice una señal YUV para introducirlo. Si introduce una señal RGB, el sistema determinará que la frecuencia es una señal VGA, la mostrará a 31,5kHz/59.9Hz, la fase de pantalla se desactivará y, en comparación con la entrada YUV, se reducirá la resolución. Para solucionar problemas con la fase de la pantalla, utilice los elementos DESPLAZ H y DESPLAZ V del menú Ajuste de señal, o utilice los botones H SHIFT, V SHIFT y SELECT del mando a distancia RM-42B para realizar los ajustes necesarios.
- Si introduce una señal DTV (nº7 a nº14), introdúzcala mediante una señal YUV.

Indicaciones en pantalla sobre el estado de la unidad

Indicaciones en pantalla	Significado
31.5kHz / 59.9Hz (ej.)	La señal de entrada seleccionada es RVB de ordenador.
480 / 60I (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
OTROS	La señal de entrada está fuera del rango de captación.
NO SYNC	No hay ninguna señal de entrada.
INPUT1 RGB	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en RVB.
INPUT1 YUV	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en vídeo de componente.
VIDEO COMPOSITE	La entrada de vídeo compuesta está seleccionada para VIDEO.
VIDEO Y/C	La entrada de vídeo Y/C está seleccionada para VIDEO.

Ajuste de la imagen

Mientras visualiza la imagen, puede ajustar el contraste, brillo, crominancia, fase, etc., según sus preferencias. Los ajustes pueden realizarse por separado para cada señal de entrada. También es posible almacenar en memoria los niveles ajustados.

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.

Pulse MENU para que aparezca el menú principal en el panel de visualización y seleccione “CONTRASTE”, “BRILLO”, “CROMA”, “FASE”, “AGC IMAGEN”, “TEMP COLOR” o “NITIDEZ” en el menú CONTROL IMAG con ▲ / ▼.

CONTRASTE

Seleccione “CONTRASTE” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Ajuste el contraste con ▲ / ▼ dentro del margen MIN (0) a MAX (+100).

- ▲: para aumentar el contraste de la imagen
- ▼: para disminuir el contraste de la imagen

BRILLO

Seleccione “BRILLO” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Ajuste el brillo con los botones ▲ / ▼ dentro del margen MIN (–50) a MAX (+50).

- ▲: para que la imagen sea más brillante
- ▼: para que la imagen sea más oscura

CROMA

Seleccione “CROMA” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Ajuste la crominancia con ▲ / ▼ dentro del margen MIN (–50) a MAX (+50).

- ▲: para aumentar la intensidad del color
- ▼: para disminuir la intensidad del color

FASE

Seleccione “FASE” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Ajuste la fase con ▲ / ▼ dentro del margen MIN (–50) a MAX (+50).

- ▲: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono verdoso
- ▼: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono púrpura

Control automático de brillo — potenciación del contraste de la imagen

Si el brillo medio de la imagen es bajo, el sistema puede aumentar automáticamente el nivel de contraste para potenciar el brillo. Esta función resulta adecuada para visualizar imágenes oscuras.

Seleccione “AGC IMAGEN” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Ajuste AGC IMAGEN en ON o OFF con ▲ / ▼.

TEMP COLOR (temperatura del color)

También es posible ajustar la temperatura del color. Puede seleccionar ALTO o BAJO, o bien ajustar cada ganancia de forma más precisa. Pueden registrarse hasta seis temperaturas del color ajustadas. También es posible cambiar su nombre (hasta seis caracteres).

1 Seleccione “TEMP COLOR” con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

2 Seleccione la temperatura del color con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

ALTO: para ajustar la temperatura del color en alto

BAJO: para ajustar la temperatura del color en bajo

1 – 6: para ajustar la ganancia de forma más precisa

Cuando selecciona ALTO o BAJO, vuelve a aparecer el menú CONTROL IMAG.

Si selecciona “1” a “6”

Cuando selecciona “1” a “6”, aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

TEMP COLOR		:	1
AUMENTO	ROJO	:	128
AUMENTO	VERDE	:	128
AUMENTO	AZUL	:	128
DEF	NOM		
SELEC		⬅ ➡	
AJUST		ENTER	
FIN		MENU	

El modelo PFM-42B1/42B1E muestra “255” para cada ganancia.

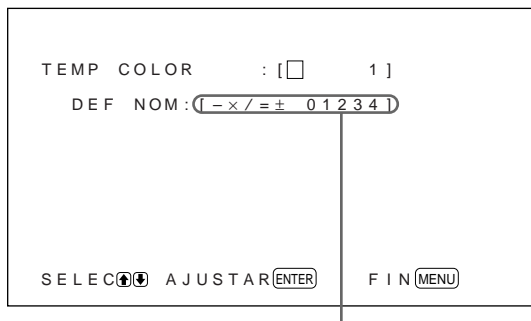
- (1) Seleccione el número que desea registrar con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
El cursor (►) aparece en el panel de visualización.
- (2) Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta el elemento de ganancia que desee ajustar y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- (3) Ajuste la ganancia (0 a 255) con ▲ / ▼ y pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú TEMP COLOR.
El rango de la variable del modelo PFM-42B1/42B1E es 10-255.
- (4) Repita los pasos (2) y (3) para ajustar los demás elementos de ganancia y pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú TEMP COLOR.

Si cambia el nombre de la temperatura del color ajustada, siga estas instrucciones:

- (5) Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "DEF NOM" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



Lista de caracteres

- (6) Seleccione el carácter que desea cambiar con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
El fondo de un carácter de la lista cambia a color cian.
- (7) Seleccione un carácter de la lista con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
El carácter seleccionado se introduce.

- (8) Repita los pasos (6) y (7) hasta terminar de introducir el nombre y pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú TEMP COLOR.

NITIDEZ

Puede cambiar el nivel de corrección del contorno a uno de tres niveles (ALTO, MED o BAJO).

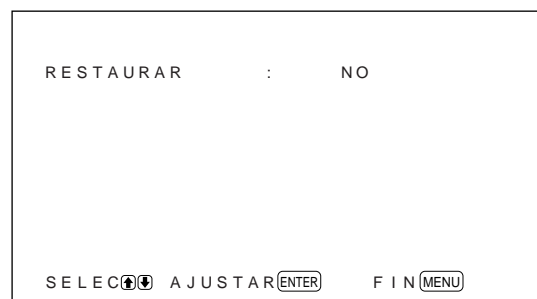
- 1 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "NITIDEZ" y pulse ENTER.
- 2 Seleccione el nivel de corrección del contorno con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
ALTO: imagen más nítida
MED: valor estándar
BAJO: imagen más suavizada

Notas

- Los controles CROMA y FASE no funcionan con una señal RVB.
- El control FASE no funciona con una señal de componente.
- El control FASE no funciona con una fuente de color PAL o SECAM.
- No cambie el nivel CROMA/FASE (sólo NTSC) si la señal seleccionada es blanco y negro.
Aunque no tiene efecto sobre la imagen actual, sí afecta a la imagen de señales de color como NTSC o PAL que pueden llegar después.
- Mientras ajuste CONTRASTE, BRILLO, CROMA o FASE, el valor que aparecerá en el panel de la pantalla no estará sincronizado con el cambio.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú CONTROL IMAG

- 1 En el menú CONTROL IMAG, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "RESTAURAR" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼.
“NO” cambia a “SÍ”.



- 3** Pulse ENTER.
Se restauran los elementos del menú CONTROL IMAG.

Para cancelar la función de restauración
Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

Cambio del tamaño y posición de la imagen

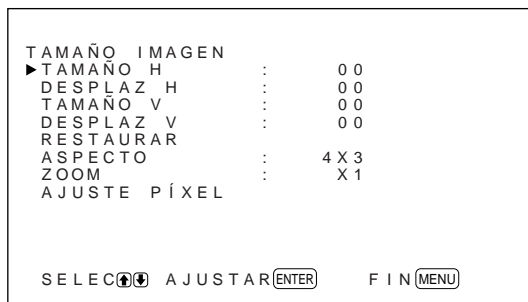
Es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar el tamaño vertical y horizontal de la imagen por separado.

Cambio de tamaño de la imagen

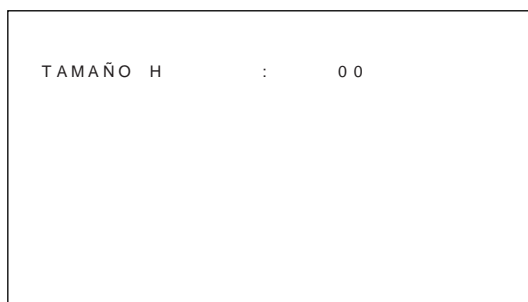
- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “TAMAÑO IMAGEN” y pulse ENTER.
El menú TAMAÑO IMAGEN aparece en el panel de visualización.



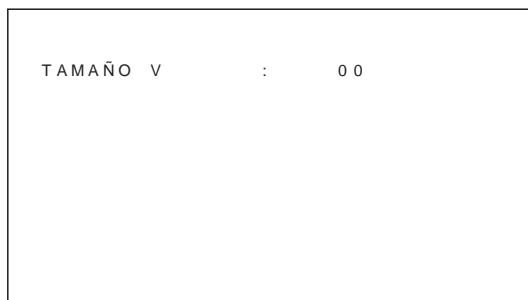
- 3** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “TAMAÑO H” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Pulse ▲ / ▼ para cambiar el tamaño de la imagen.
▲: para aumentar el tamaño horizontal
▼: para reducir el tamaño horizontal
El tamaño horizontal de la imagen se indica en el panel de visualización en un rango comprendido entre MIN (–50) y MAX (+50).

- 5** Pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú TAMAÑO IMAGEN.

- 6** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “TAMAÑO V” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

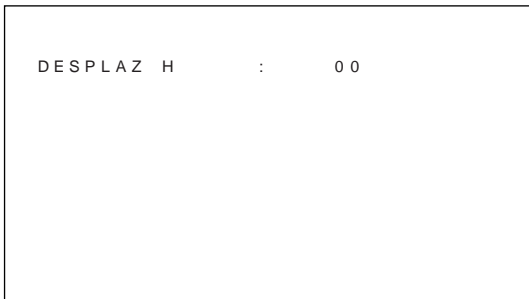


- 7** Pulse ▲ / ▼ para cambiar el tamaño de la imagen.
 ▲: para aumentar el tamaño vertical
 ▼: para reducir el tamaño vertical
 El tamaño vertical de la imagen se indica en el panel de visualización en un margen comprendido entre MIN (–50) y MAX (+50). El valor preajustado de fábrica es 00.

- 8** Pulse ENTER.
 Vuelve a aparecer el menú TAMAÑO IMAGEN.

Ajuste de la posición de la imagen

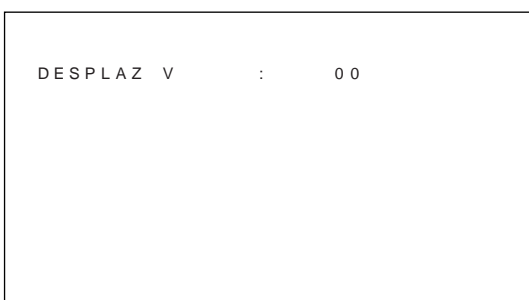
- 1** En el menú TAMAÑO IMAGEN, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “DESPLAZ H” y pulse ENTER.
 Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar la imagen.
 ▲: para desplazar la imagen hacia la derecha
 ▼: para desplazar la imagen hacia la izquierda
 La posición horizontal de la imagen se indica en el panel de visualización en un margen comprendido entre MIN (–50) y MAX (+50). El valor preajustado de fábrica es 00.

- 3** Pulse ENTER.
 Vuelve a aparecer el menú TAMAÑO IMAGEN.

- 4** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “DESPLAZ V” y pulse ENTER.
 Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5** Pulse ▲ / ▼ para desplazar la imagen.
 ▲: para desplazar la imagen hacia arriba
 ▼: para desplazar la imagen hacia abajo
 La posición vertical de la imagen se indica en la pantalla del monitor en un margen comprendido entre MIN (–50) y MAX (+50). El valor preajustado de fábrica es 00.

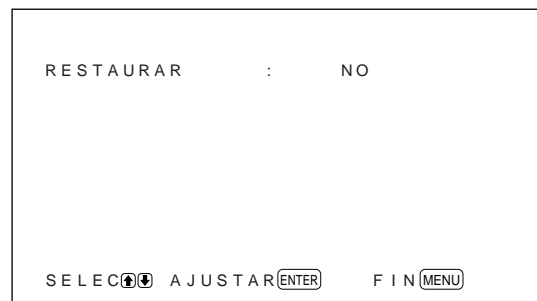
- 6** Pulse ENTER.
 Vuelve a aparecer el menú TAMAÑO IMAGEN.

Nota

No se puede asignar un nuevo tamaño ni ajustar la posición de la imagen fuera del rango ajustable, que varía en función de los tipos de señal de entrada.

Restauración del tamaño y posición originales de la imagen

- 1** En el menú TAMAÑO IMAGEN, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “RESTAURAR” y pulse ENTER.
 Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼.
 “NO” cambia a “SÍ”.



- 3** Pulse ENTER.
 Se restauran el tamaño y posición originales de la imagen.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

Modificación de la relación de aspecto

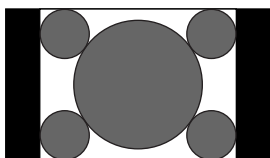
Este dispositivo puede mostrar imágenes con diversas relaciones de aspecto, como la relación 4:3 normal de un programa de TV, una imagen de pantalla panorámica, etc. Por tanto, es posible elegir una relación de aspecto apropiada para mostrar las imágenes.

- 1 En el menú TAMAÑO IMAGEN, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “ASPECTO” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione un elemento de relación de aspecto con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
4×3: para mostrar una imagen 4:3 estándar
16×9: para mostrar una imagen 16:9 de pantalla panorámica
PANORÁ: para ampliar una imagen 4:3 a una pantalla 16:9 de forma natural, tal como se muestra a continuación
ZOOM LB (letterbox): para ampliar imágenes con varias relaciones de aspecto para que encajen de forma proporcional entre los lados izquierdo y derecho de la pantalla, tal como se muestra a continuación

Imagen 4:3 estándar



Ajuste de ASPECTO en PANORÁ y ambas alineaciones en estándar (00)

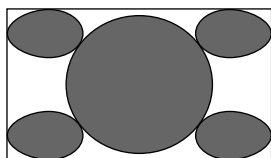
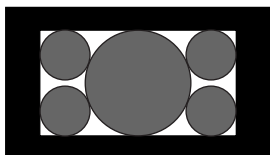
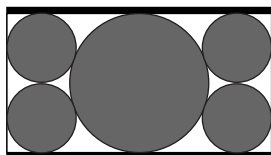


Imagen de pantalla panorámica como CinemaScope, VistaVision, etc.



Ajuste de ASPECTO en ZOOM LB



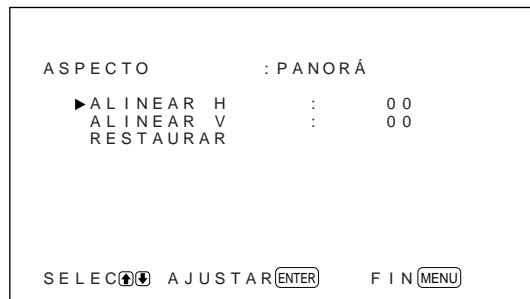
Notas

- Si selecciona PANORÁ o ZOOM LB, se recomienda que ajuste el tamaño horizontal, desplazamiento horizontal, tamaño vertical y desplazamiento vertical en los valores estándar (00). Si los cambia demasiado, una imagen PANORÁ o ZOOM LB puede aparecer distorsionada. Antes de seleccionar PANORÁ o ZOOM LB, ajuste ZOOM en ×1. Si ZOOM se ajusta en ×2, ×3 o ×4, no es posible seleccionar PANORÁ o ZOOM LB.
- Es posible que aparezcan bandas negras en las partes superior e inferior de la pantalla, según el tipo de señal de entrada.

Ajuste de las alineaciones

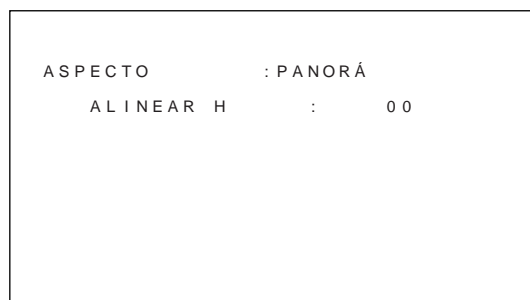
Al seleccionar la opción PANORÁ para ASPECTO, puede cambiar las alineaciones ajustando los valores de ALINEAR H y ALINEAR V.

- 1 En el menú ASPECTO, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “PANORÁ” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “ALINEAR H” o “ALINEAR V” y pulse ENTER.
ALINEAR H: para cambiar la alineación en la dirección horizontal
ALINEAR V: para cambiar la alineación en la dirección vertical

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de ALINEAR H.)



3 Ajuste la alineación con ▲ / ▼.

Para restaurar los ajustes originales de los elementos del modo de zoom panorámico

En el menú ASPECTO, seleccione PANORÁ y pulse ENTER. Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “RESTAURAR” y pulse ENTER. A continuación seleccione SÍ con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Nota

Mientras ajuste TAMAÑO H, DESPLAZ H, TAMAÑO V, DESPLAZ V, ALINEAR H o ALINEAR V, el valor que aparecerá en el panel de la pantalla no estará sincronizado con el cambio.

Ajuste de los píxeles

Si hay mucho ruido en los bordes de los caracteres o de las líneas verticales, puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales.

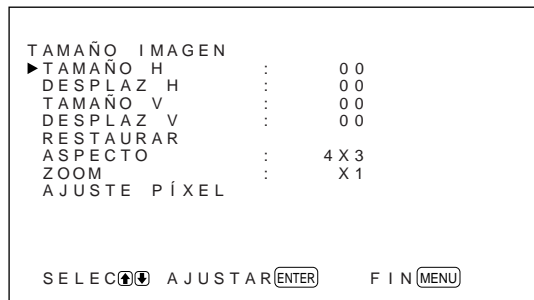
1 Pulse MENU.

El menú principal aparece en el panel de visualización.



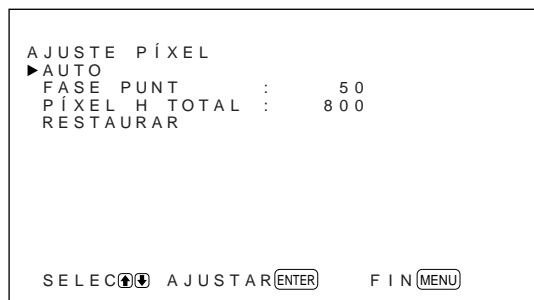
2 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “TAMAÑO IMAGEN” y pulse ENTER.

El menú TAMAÑO IMAGEN aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “AJUSTE PÍXEL” y pulse ENTER.

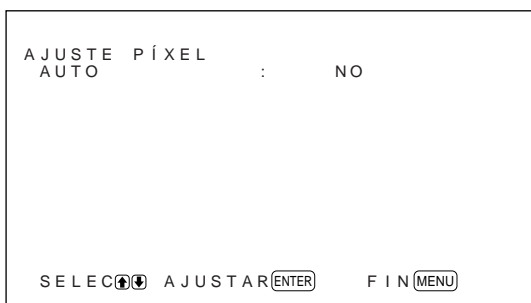
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales automática o manualmente.

Ajuste automático

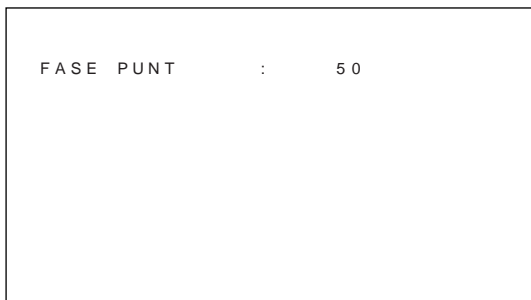
- (1) Seleccione AUTO con ▲ / ▼ y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- (2) Seleccione SÍ con ▲ / ▼ y pulse ENTER. La fase de puntos y el número total de píxeles horizontales se ajustan automáticamente.

Ajuste manual

- (1) Seleccione FASE PUNT o PÍXEL H TOTAL con ▲ / ▼ y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de FASE PUNT.)



- (2) Ajuste la fase de puntos o el número total de píxeles horizontales con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Para restaurar los ajustes originales de los elementos del menú AJUSTE PÍXEL

En el menú AJUSTE PÍXEL, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “RESTAURAR” y pulse ENTER. A continuación seleccione SÍ con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Notas

- El ajuste de la fase de puntos es efectivo para las señales de ordenador (excepto UXGA o superior).
- Si no es posible eliminar el ruido mediante Ajuste automático, utilice con precisión Ajuste manual.
- Cuando se ajusta la fase de puntos es conveniente utilizar un patrón de cuadrícula como señal de entrada.
- Mientras ajuste AJUSTE PÍXEL, el valor que aparecerá en el panel de la pantalla no estará sincronizado con el cambio.

Uso de la función de memoria

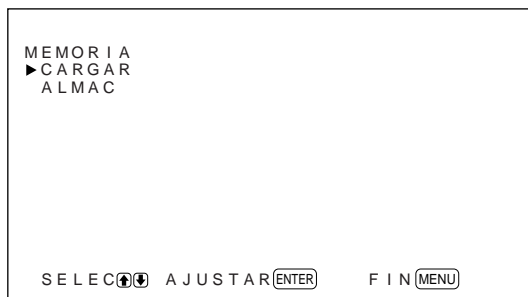
Con la función MEMORIA es posible almacenar el ajuste actual de la imagen de cada señal de entrada. Los ajustes almacenados pueden restablecerse cuando resulte necesario. Los elementos de los menús CONTROL IMAG y TAMAÑO IMAGEN pueden memorizarse. Es posible almacenar los ajustes de imagen de hasta veinte señales de entrada. También es posible asignar nombre a los ajustes de los elementos (hasta 10 caracteres).

Almacenamiento del ajuste actual

- 1** Pulse MENU. El menú principal aparece en el panel de visualización.

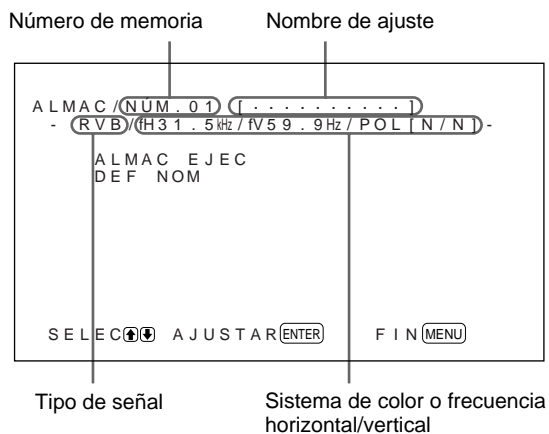


- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “MEMORIA” y pulse ENTER. Aparece el menú MEMORIA en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “ALMAC” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



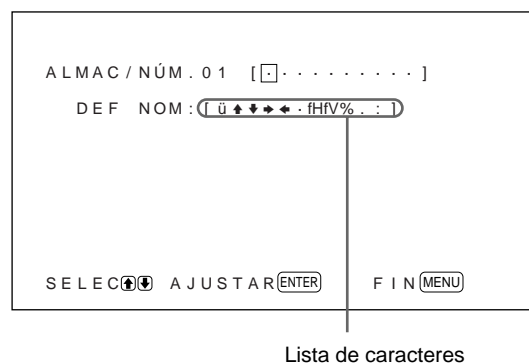
Si no hay datos en el número de memoria seleccionado, el mensaje “-- VACÍO --” aparecerá en el panel de visualización en cian. El tipo de señal y el sistema de color o la frecuencia horizontal/vertical aparecen en cian (indicando que el tipo de señal del número de memoria seleccionado es el mismo que el del ajuste actual) o en amarillo (indicando que el tipo de señal del número de memoria seleccionado no es el mismo que el del ajuste actual).

- 4** Seleccione un número de memoria (01 a 20) con ▲/▼ y pulse ENTER.
El cursor (►) aparece en el panel de visualización.

- 5** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “ALMAC EJEC” y pulse ENTER.
- Los datos actuales quedan almacenados en el número de memoria seleccionado. Aparece el mensaje “ALMACENA COMPLETO” (se ha completado la operación de guardar) y parpadea durante unos cinco segundos.
- Para asignar nombre al ajuste, realice los siguientes pasos.

- 6** Pulse ENTER, a continuación ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) a “DEF NOM” y pulse ENTER de nuevo.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 7** Seleccione el carácter que desea cambiar con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

El fondo de un carácter de la lista cambia a color cian.

- 8** Seleccione un carácter de la lista con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

El carácter seleccionado se introduce.

- 9** Repita los pasos **7** y **8** hasta terminar de introducir el nombre y pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú ALMAC.

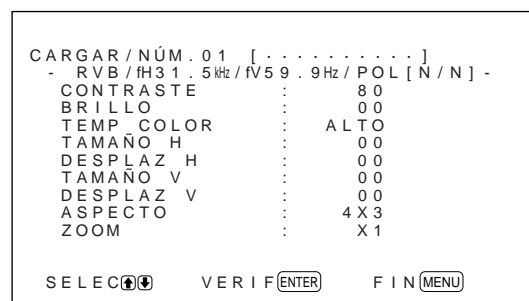
Nota

Si falla el almacenamiento del ajuste, aparece el mensaje “ERROR ALMACENA” en el panel de visualización. Intente almacenar el ajuste de nuevo.

Recuperación de un ajuste almacenado

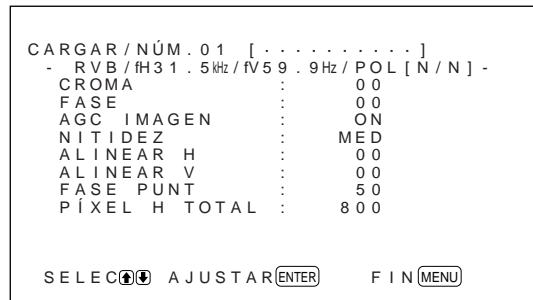
- 1 En el menú MEMORIA, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “CARGAR” y pulse ENTER.

La primera página de los ajustes almacenados aparecerá en el panel de visualización.



- 2** Seleccione un número de memoria (01 a 20) con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

La segunda página de los ajustes almacenados aparecerá en el panel de visualización.



El tipo de señal y el sistema de color o la frecuencia horizontal/vertical aparecen en cián (indicando que el tipo de señal del número de memoria seleccionado es el mismo que el del ajuste actual y que puede recuperar el ajuste almacenado) o en rojo (indicando que el tipo de señal del número de memoria seleccionado no es el mismo que el del ajuste actual y que no puede recuperar el ajuste almacenado).

- 3** Pulse ENTER.
Aparece el mensaje “CARGA COMPLETA”, parpadea durante unos cinco segundos y la imagen se ajusta al valor seleccionado.

Nota

Si falla la carga, aparece el mensaje “ERROR CARGA” en el panel de visualización. Intente cargar el ajuste de nuevo.

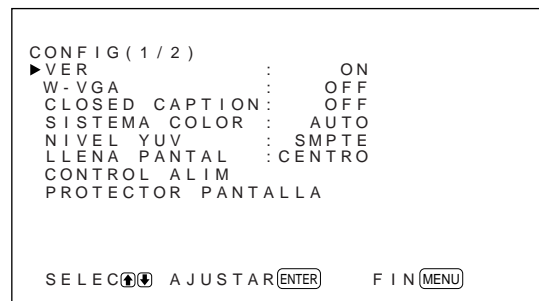
Selección del idioma en pantalla

Es posible seleccionar el idioma que desee para la pantalla entre inglés, alemán, francés, italiano, español o japonés.

- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) a “IDIOMA” del menú CONFIG (2/2) y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta el idioma que desee y pulse ENTER.
El idioma en pantalla cambia por el que haya seleccionado.
ENGLISH: inglés
DEUTSCH: alemán
FRANÇAIS: francés
ITALIANO: italiano
ESPAÑOL: español
日本語: japonés

- 5** Pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú CONFIG (2/2).

Reducción de imágenes residuales/fantasma (función de protector de pantalla)

Si una imagen como, por ejemplo, una pantalla de ordenador o una imagen fija, cuyo brillo no cambia, se muestra durante un período largo de tiempo, puede quemar el panel o dejar una imagen espectral tras de sí. Para evitarlo o intentar arreglarlo, esta unidad se suministra con una función de protector de pantalla. Esta función tiene dos protectores de pantalla. Un protector de pantalla invierte la imagen (INVERSIÓN IMAG) mientras el otro cambia automáticamente su posición de visualización (ROTACIÓN IMAG).

Situaciones que pueden provocar imágenes residuales o retención de imágenes

[1] Barras negras en la parte superior e inferior que aparecen con una fuente de video panorámica (imagen tipo buzón), [2] Barras negras a izquierda y derecha que aparecen con una fuente de video 4:3 (emisión de TV convencional), [3] Fuentes de videojuegos, [4] Visualizaciones de menú en pantalla de DVD, [5] Menús en pantalla, números de canal, etc. de equipos conectados como DSS, decodificadores, unidades de video, etc.

Nota

Los siguientes procedimientos alternativos permiten reducir la retención de imágenes e imágenes residuales.

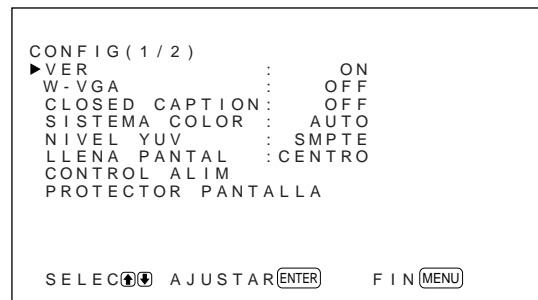
- Evite la visualización de números de canal, menús en pantalla, etc. de equipos conectados como, por ejemplo, DSS, decodificadores, unidades de video, etc. Para borrar los números de canal o menús en pantalla, consulte el manual del usuario del equipo conectado.
- Reduzca el brillo de la imagen y de la fuente de video en el modo Wide Zoom (zoom panorámico) o Full Mode (pantalla completa).

Inversión de la imagen

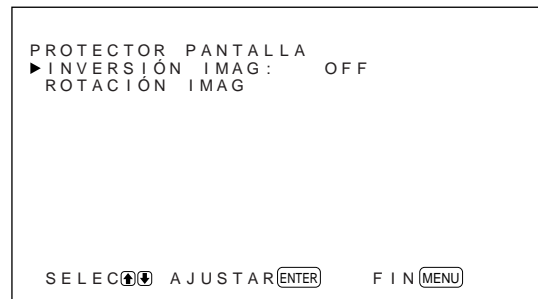
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “PROTECTOR PANTALLA” y pulse ENTER.
El menú principal aparece en el panel de visualización.

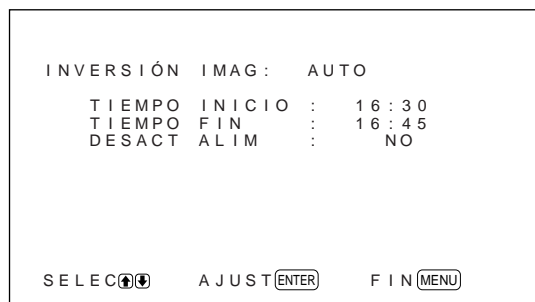


- 4 Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “INVERSIÓN IMAG” y pulse ENTER.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 5 Seleccione el modo INVERSIÓN IMAG con ▲ / ▼.
OFF: para ajustar INVERSIÓN IMAG en OFF
ON: para ajustar INVERSIÓN IMAG en ON
AUTO: Lleva a cabo el proceso INVERSIÓN IMAG una vez al día.

Cuando selecciona AUTO, aparece el siguiente menú.



(1) Pulse ENTER.

El cursor (▶) aparece en el panel de visualización.

Notas acerca de “INVERSIÓN IMAG” de “PROTECTOR PANTALLA”

Si la imagen visualizada aparece como el negativo de una película, es posible que “INVERSIÓN IMAG” de “PROTECTOR PANTALLA” esté ajustado en “AUTO” u “ON”. Para volver a la imagen normal, seleccione “OFF” o restablezca la hora especificada en “AUTO”.

INVERSIÓN IMAG (Inversión de la imagen) invierte los colores de la imagen (ejemplo: de blanco a negro, de negro a blanco) y corrige la retención de imágenes (imagen residual) con la imagen de la pantalla activada. Durante la inversión de imágenes, la imagen tiene un aspecto similar al negativo de una película. No se trata de un fallo de funcionamiento.

(2) Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (▶) hasta “TIEMPO INICIO” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú y el fondo de la hora se muestra en color cian.



(3) Ajuste la hora en que se va a invertir la imagen con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

Se introduce el ajuste de hora y el fondo de los minutos aparece en color cian.

(4) Ajuste el minuto con ▲ / ▼ y pulse MENU.

El ajuste de los minutos se introduce y vuelve a aparecer el menú INVERSIÓN IMAG.

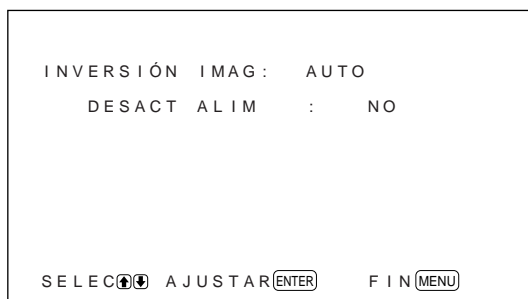
(5) De forma similar, ajuste la hora en que debe cancelarse la función INVERSIÓN IMAG.

La imagen en pantalla se invertirá en el TIEMPO INICIO y volverá a la imagen original en el TIEMPO FIN. Este ciclo se lleva a cabo automáticamente una vez al día.

Para ajustar el cambio al modo de espera en el TIEMPO FIN

1 Después de seleccionar AUTO para INVERSIÓN IMAG, seleccione DESACT ALIM y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione SÍ con ▲ / ▼ y pulse MENU. La imagen cambia al modo de espera en el TIEMPO FIN indicado.

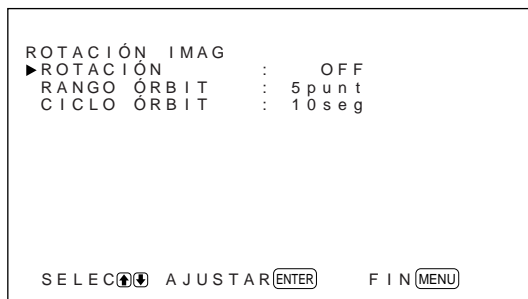
Notas

- Las funciones de desactivación de la alimentación, ahorro de energía y temporizador de activación/desactivación del menú CONTROL ALIM no pueden utilizarse de forma simultánea. Si una de estas funciones está ajustada en ON (SÍ), junto a las otras aparece “— — —” y ya no están disponibles.
- Si ajusta TIEMPO INICIO y TIEMPO FIN en la misma hora, el ajuste de TIEMPO INICIO tiene prioridad sobre el de TIEMPO FIN y la visualización no vuelve a su presentación original en TIEMPO FIN.
- Si selecciona TIEMPO INICIO en INVERSIÓN IMAG y HORA ON en TIMER ON/OFF a la vez, INVERSIÓN IMAG no se activará cuando el sistema se encienda automáticamente.

Cambio automático de la posición de la imagen

1 En el menú PROTECTOR PANTALLA, pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (▶) hasta “ROTACIÓN IMAG” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

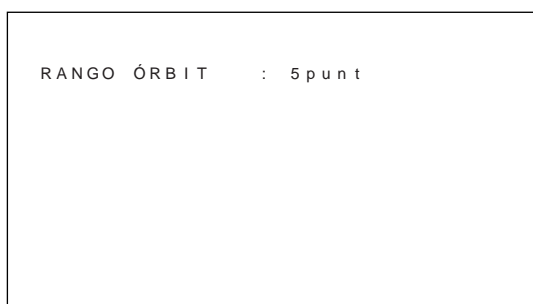


- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta “ROTACIÓN” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3** Seleccione el modo de ROTACIÓN con ▲ / ▼.
OFF: Cancela la función ROTACIÓN IMAG.
ON: Activa la función ROTACIÓN IMAG.
- 4** Pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú ROTACIÓN IMAG.
- 5** Seleccione RANGO ÓRBIT (distancia de desplazamiento) o CICLO ÓRBIT (tiempo) con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
Es posible seleccionar los siguientes valores:
RANGO ÓRBIT: 5punt, 10punt, 15punt, 20punt
CICLO ÓRBIT: 10seg, 30seg, 1min, 5min

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de RANGO ÓRBIT.)



- 6** Ajuste el RANGO ÓRBIT o CICLO ÓRBIT con ▲ / ▼ y pulse MENU.

Si INVERSIÓN IMAG y ROTACIÓN IMAG están ajustadas en ON

Si se lleva a cabo la función ROTACIÓN IMAG mientras se invierte la imagen, la imagen invertida se muestra cambiando la posición.

Control automático de la alimentación (función de control de alimentación)

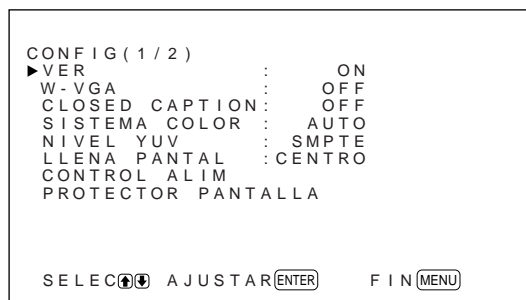
Esta pantalla dispone de dos funciones de control de alimentación. Puede ajustarlo para desactivar la alimentación automáticamente después de un determinado periodo si no se recibe ninguna señal de entrada de los conectores INPUT1 o INPUT2 (función AHORRO ENERGÍA). Puede ajustar la hora en que se activa/desactiva automáticamente la alimentación (función ON/OFF). El modelo PFM-42B2/42B2E tiene funciones de HORA ON y HORA OFF para las cuales puede establecer tiempos de encendido o apagado por separado.

Función de ahorro de energía (sólo en PFM-42B2/42B2E)

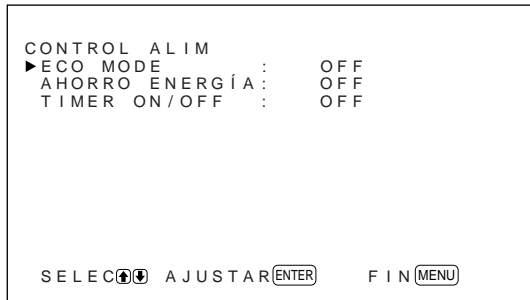
- 1** Pulse MENU
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (▶) a “CONTROL ALIM” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (▶) a “ECO MODE” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5** Pulse ▲ / ▼ para encender o apagar el modo ECO MODE.
OFF: Sin ahorro de energía
ON: Ahorro de energía
Al activar ECO MODE (ON), el brillo de la pantalla se reduce y puede ver la pantalla a la vez que se ahorra energía.

Función de ahorro de energía

- 1** En el menú CONFIG (1/2), pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (▶) a “CONTROL ALIM” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (▶) hasta “AHORRO ENERGÍA” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para seleccionar el tiempo que debe transcurrir hasta el cambio al modo de ahorro de energía.



OFF: La función de ahorro de energía no se activa.

5min: Se pasa al modo de ahorro de energía después de cinco minutos si no hay señal de entrada.

10min: Se pasa al modo de ahorro de energía después de diez minutos si no hay señal de entrada.

El indicador ON parpadea cuando la unidad está en modo de ahorro de energía.

Para cancelar la función de ahorro de energía

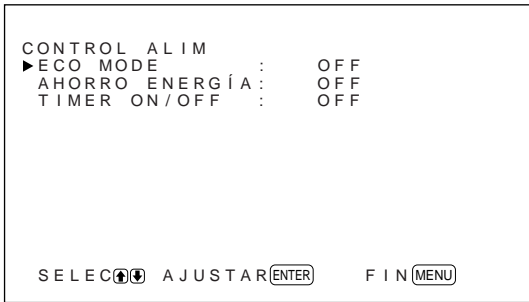
- Introduzca la señal de sincronización de nuevo.
- Pulse el interruptor  de la sección de indicadores / interruptor  (de espera) o el interruptor POWER ON del mando a distancia.

Especificación de señal para usar la función de ahorro de energía

La señal de sincronización debería ser la entrada de señal RGB al pin 13 del conector RGB/YUV (D-sub de 15 pines) en los conectores INPUT 1 o INPUT 2.

Función de temporizador de activación/desactivación

- 1** En el menú CONFIG (1/2), pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (▶) hasta “CONTROL ALIM” y pulse ENTER.
El siguiente menú aparece en la pantalla del monitor.

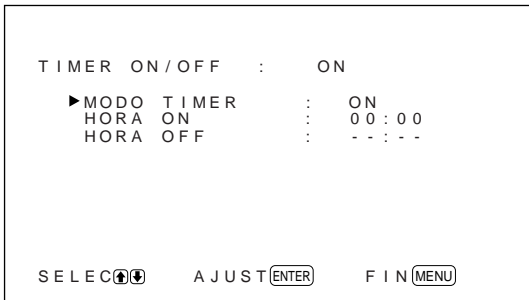


PFM-42B1/42B1E: No se muestra "ECO MODE".

- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "TIMER ON/OFF" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3** Seleccione ON con ▲ / ▼ y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



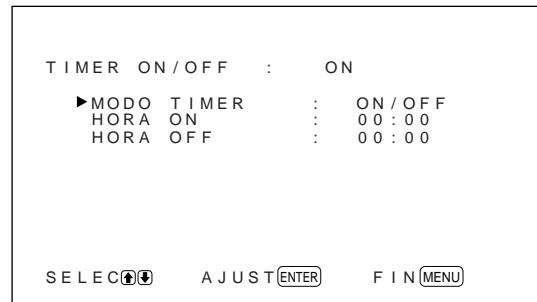
Nota

La pantalla que se muestra puede variar en función del modo del temporizador que se haya ajustado anteriormente. Los pasos aquí descritos asumen que el último modo del temporizador se ha ajustado en ON (encendido). El ajuste por omisión de fábrica es ON/OFF.

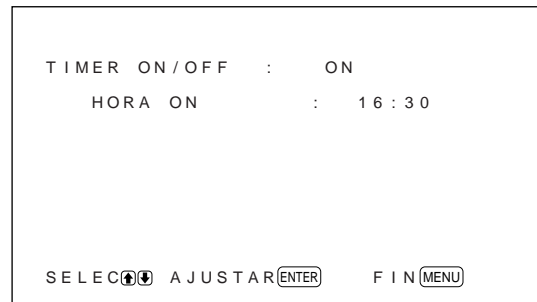
- 4** Pulse ENTER de nuevo en esta pantalla para seleccionar el modo del temporizador. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a "TIMER ON/OFF" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 6** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a "HORA ON" y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en el panel de visualización. El área situada detrás de la hora se muestra en color azul claro.



- 7** Pulse ▲ / ▼ para ajustar la hora y pulse ENTER. Se introduce la hora y el área situada detrás de los minutos se muestra de color azul.

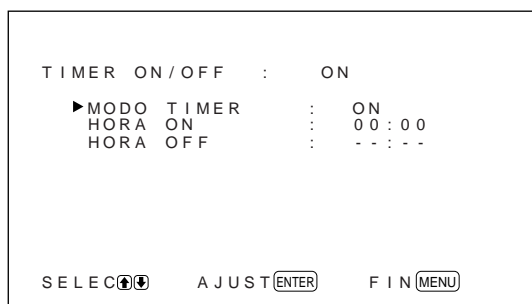
- 8** Pulse ▲ / ▼ para ajustar los minutos y pulse ENTER.

- 9** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a "HORA OFF" y pulse ENTER. Realice el mismo proceso para la hora y minutos activados. El indicador ON (encendido) parpadea cuando se alcanza la hora de desactivación (HORA OFF) y la unidad de visualización se apaga.

Función de temporizador de activación (sólo en PFM-42B2/42B2E)

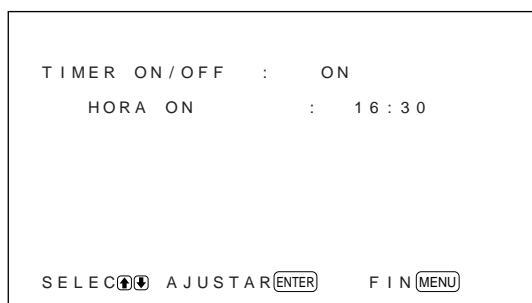
- 1 Cuando la pantalla del paso 4 se encuentra en la función de temporizador de activación/desactivación, seleccione ON con ▲/▼ y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲/▼ para seleccionar “HORA ON” y pulse ENTER.

Aparece el menú siguiente en el panel de visualización. El área situada detrás de la hora se muestra de color azul claro.

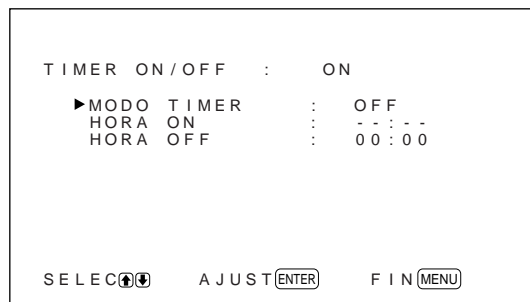


- 3 Pulse ▲/▼ para ajustar la hora y pulse ENTER. Se introduce la hora y el área situada detrás de los minutos se muestra de color azul.

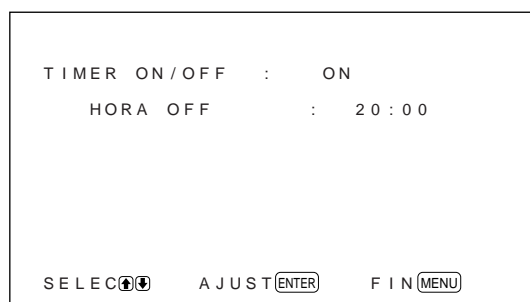
- 4 Pulse ▲/▼ para ajustar los minutos y pulse ENTER. Si la unidad de visualización está HORA OFF, el indicador ON (encendido) parpadea.

Función de temporizador de desactivación (sólo en PFM-42B2/42B2E)

- 1 Cuando la pantalla del paso 4 se encuentra en la función de temporizador de TIMER ON/OFF, seleccione OFF con ▲/▼ y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲/▼ para seleccionar “HORA OFF” y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en el panel de visualización. El área situada detrás de la hora se muestra de color azul claro.



- 3 Pulse ▲/▼ para ajustar la hora y pulse ENTER. Se introduce la hora y el área situada detrás de los minutos se muestra de color azul.
- 4 Pulse ▲/▼ para ajustar los minutos y pulse ENTER. La unidad de visualización cambia al modo de espera cuando el temporizador de desactivación está desconectado.

Notas

- La función de ahorro de energía no funciona si la señal se introduce desde los conectores VIDEO.
- Si la señal de sincronización no está conectada al 13º pin del conector RGB/YUV (D-sub de 15 pines) de los conectores INPUT1 o INPUT2, la unidad de visualización no encenderá aunque se introduzca la señal de sincronización. Asegúrese de ajustar AHORRO ENERGÍA en OFF si sólo está conectada la señal RVB.
- Las funciones de ahorro de energía, temporizador de activación/desactivación y desactivación de la alimentación no pueden utilizarse de forma simultánea en el modo INVERSIÓN IMAG. Si una de estas funciones está ajustada en ON, junto a las otras aparece “---” y ya no están disponibles.
- Si ajusta HORA ON y HORA OFF en la misma hora, el ajuste de HORA ON tiene prioridad sobre el de HORA OFF y el monitor no se apaga en la HORA OFF.
- La función de ahorro de energía no funciona cuando se recibe la señal YUV (componente).

Ajuste del REMOTO SERIE (sólo en PFM-42B2/42B2E)

Pueden ajustarse los controles remotos en serie.

Ajuste de la velocidad en baudios

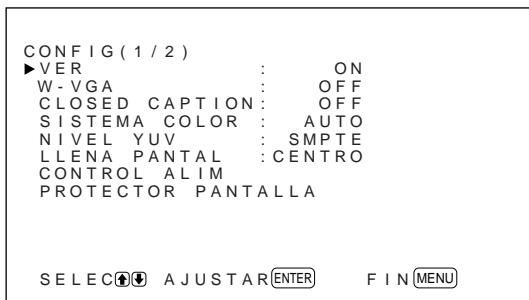
Este parámetro se utiliza para sincronizar la velocidad en baudios con el dispositivo controlado.

El ajuste de fábrica es 9.600 bps.

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



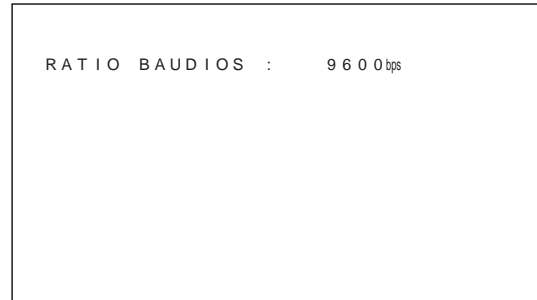
- 2 Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3 Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “REMOTO SERIE” en el menú CONFIG (2/2) y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “RATIO BAUDIOS” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5 Seleccione la velocidad en baudios (9.600 bps, 19.200 bps o 38.400 bps) con ▲ / ▼ y pulse ENTER.

- 6 Pulse MENU.
El menú vuelve al menú CONFIG (2/2).

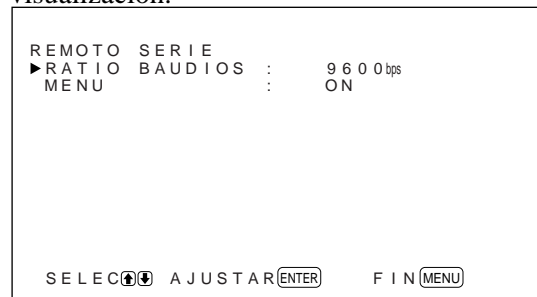
Función MENU

Si el modo Remoto en serie controla el sistema, las funciones controladas aparecen en la pantalla.

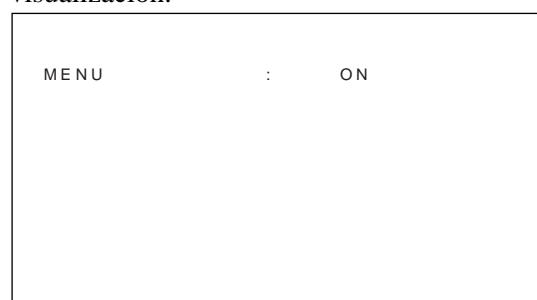
Puede ocultar los datos del remoto en serie de la forma siguiente:

- 1 En el menú CONFIG (2/2), pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “REMOTO SERIE” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “MENU” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para ajustar la MENU a OFF y pulse ENTER.

No se muestran los datos del remoto en serie.

Para mostrar los datos del remoto en serie

Ajuste MENU a ON en el paso **3** anterior.

El ajuste de fábrica es ON.

Ajuste del ADAPTADOR DE RED (sólo en PFM-42B2/42B2E)

Ajusta el adaptador de red.

Ajuste del suministro de alimentación al adaptador de red

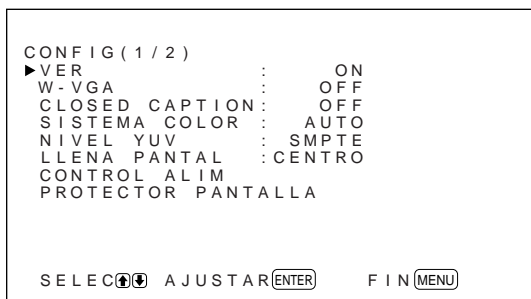
La alimentación llega al adaptador de red aunque el sistema se encuentre en modo de espera.

Puede desactivar el suministro de alimentación en el modo de espera de la forma siguiente:

- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “CONFIG” y pulse ENTER.
Aparece el menú CONFIG (1/2) en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “ADAPTADOR DE RED” en el menú CONFIG (2/2) y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “EN REPOSO” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5** Pulse ▲ / ▼ para ajustar EN REPOSO en OFF y pulse ENTER.

Si el sistema se encuentra en modo de espera, no se suministra alimentación al adaptador de red.

Para suministrar alimentación

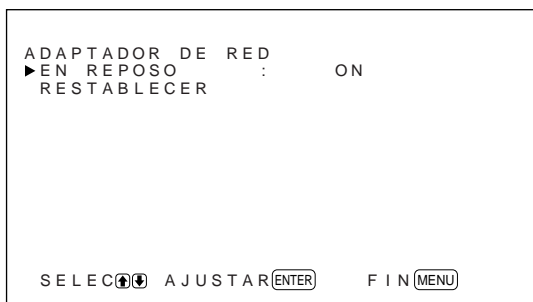
Ajuste EN REPOSO en ON en el paso **5** anterior.

El ajuste de fábrica es ON.

Si la imagen se congela al utilizar el adaptador de red

Restablezca la pantalla de la forma siguiente:

- 1 En el menú CONFIG (2/2), pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “ADAPTADOR DE RED” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse ▲ / ▼ para mover el cursor (►) a “REESTABLECER” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3 Pulse ▲ / ▼ para ajustar REESTABLECER a SÍ y pulse ENTER.
Se reinicia el adaptador de red.

Función de autodiagnóstico

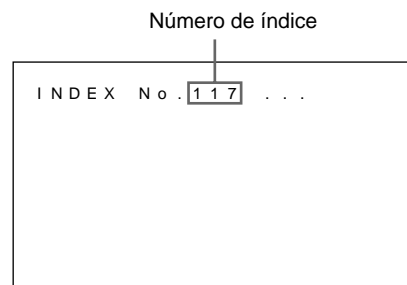
La unidad cuenta con una función de autodiagnóstico. Esta función muestra el estado de la pantalla de acuerdo con el patrón que muestra el parpadeo del indicador STANDBY. El patrón parpadeante informa sobre el estado actual de la pantalla.
Si parpadea el indicador STANDBY, compruebe el número de parpadeos y consulte a un proveedor Sony autorizado.

- 1 Compruebe el patrón parpadeante del indicador STANDBY.
El indicador parpadea con una imagen visible en la pantalla, o bien a intervalos de tres segundos sin ninguna imagen en la pantalla.
Cuenta el número de parpadeos si el indicador parpadea a intervalos de tres segundos. Por ejemplo, el indicador parpadea dos veces, seguido de una pausa de tres segundos, dos parpadeos más y una repetición de lo anterior. En este caso, se cuentan dos parpadeos.
- 2 Desenchufe la unidad.
Comunique el número de parpadeos a un proveedor Sony autorizado.

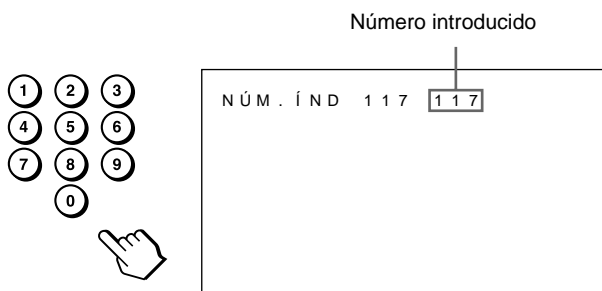
Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia

Con el mando a distancia suministrado, puede emplear una pantalla específica sin afectar a las demás pantallas instaladas a la vez.

- 1 Pulse ID MODE ON en el mando a distancia.
Aparecen números de índice de monitor en caracteres blancos en todas las pantallas (a cada pantalla se le asigna un número de índice individual predefinido de 1 a 255.)
Para obtener información detallada, consulte “Para cambiar el número de índice” en la página 46 (ES).



- 2** Introduzca el número de índice de la pantalla que desee emplear utilizando los botones 0 - 9 del mando a distancia.
El número introducido aparece junto al número de índice de cada pantalla.

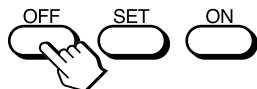


- 3** Pulse ID MODE SET.
Los caracteres de la pantalla seleccionada se tornan de color cian mientras los demás se tornan rojos.



Sólo podrá emplear la pantalla especificada. (Todas las operaciones se encuentran disponibles en el modo ID, excepto la activación/desactivación de la alimentación.)

- 4** Después de realizar los ajustes necesarios, pulse ID MODE OFF.
La pantalla vuelve al modo normal.



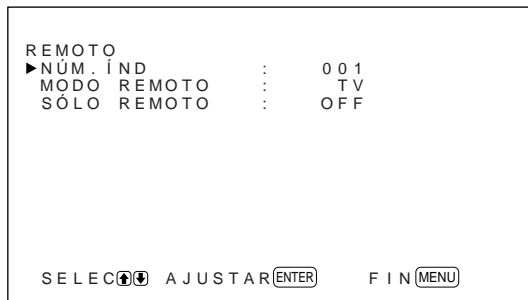
Para cambiar el número de índice

Puede cambiar el número de índice en caso necesario.
Para cambiar el número, utilice los botones de la sección de botones de control de la unidad de visualización.

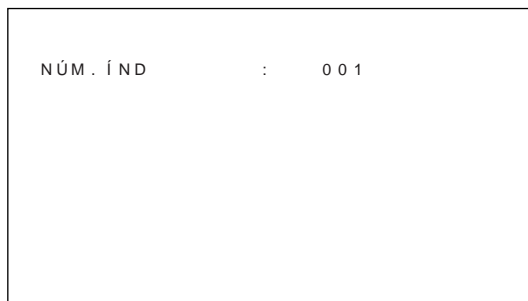
- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "REMOTO" y pulse ENTER.
Aparece el menú REMOTO en el panel de visualización.



- 3** Pulse ▲ / ▼ para desplazar el cursor (►) hasta "NÚM. ÍND" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Seleccione el número de índice con ▲ / ▼ y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú REMOTO.

Uso de otros modelos de mando a distancia

Las siguientes operaciones pueden realizarse con otros modelos de mando a distancia.

- Activación y desactivación de la alimentación
- Selección de entrada
- Operaciones de menú
- Ajustes de imagen: contraste, fase y croma
- Activación y desactivación de indicaciones en pantalla

Las operaciones disponibles y los botones utilizados para cada operación están limitados en función de cada mando a distancia. Consulte la tabla siguiente.

Modelo de mando a distancia		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Ajuste de MODO REMOTO		TV	TV	PJ
Selección de entrada	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Operación de menú	MENU	MENU	MENU	MENU o ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER o →
	▲	+	SELECT+↑	↑
	▼	—	SELECT-↓	↓
Ajuste de imagen	Contraste	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Crominancia	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Fase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Información en pantalla		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Especificaciones

Proceso de vídeo

Señal preajustada	<i>Consulte la página 27 (ES)</i>
Índice de muestreo	13,5 MHz a 140 MHz
Sistema de paneles	Panel de visualización de plasma tipo AC
Resolución de pantalla	1 024 puntos (horizontal) × 1 024 líneas (vertical)
Densidad de píxel	0,90 (horizontal) × 0,51 (vertical) mm ($\frac{1}{16} \times \frac{1}{32}$ pulgadas)
Tamaño de imagen	921 (horizontal) × 522 (vertical) mm ($36 \frac{3}{8} \times 20 \frac{5}{8}$ pulgadas)
Tamaño de panel	42 pulgadas (diagonal: 1 058 mm)

Entradas y salidas

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV	D-sub de 15 pines (hembra) (consulte “Asignación de pines” en la página 49 (ES))
AUDIO	Minitoma estéreo 500 mVrms, alta impedancia

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)¹⁾

COMPOSITE IN	BNC (×1) Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
Y/C IN	Mini DIN de 4 pines (×1) Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios

AUDIO IN	Minitoma estéreo 500 mVrms, alta impedancia
----------	--

COMPOSITE OUT	BNC (×1) Derivada
---------------	-------------------

AUDIO OUT	Minitoma estéreo 500 mVrms, alta impedancia
-----------	--

REMOTE (RS-232C)	Conector D-sub de 9 pines (×1)
------------------	--------------------------------

Normas de seguridad	UL1950, CSA n° 950 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick
---------------------	--

Adaptador de entrada de componentes (con Control S) BKM-B12 (no suministrado)

ENTRADA3

RGB/YUV	Toma fonográfica (hembra) (×3)
---------	--------------------------------

CONTROL S (IN/OUT)

Minitoma estéreo (×2) 5 Vp-p

Adaptador de entrada de vídeo y Control S BKM-B13 (no suministrado)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)

COMPOSITE IN	BNC (×1) Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
Y/C IN	Mini DIN de 4 pines (×1) Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios

1) El PFM-42B1E/42B2E no dispone de conectores VIDEO. En los modelos PFM-42B1E/42B2E, se pueden introducir la entrada Y/C y la entrada de vídeo compuesta en la pantalla si ésta tiene instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 o el adaptador de entrada de vídeo y control S BKM-B13 (no suministrado).

COMPOSITE OUT

BNC (×1) derivado

CONTROL S (IN/OUT)

Minitoma estéreo (×2)

5 Vp-p

General**Requisitos de alimentación**

100 a 240 V CA, 50/60 Hz,
PFM-42B1/42B1E: 4,5 a 1,8 A
PFM-42B2/42B2E: 4,2 a 1,5 A

Consumo de energía

PFM-42B1/42B1E: 400 W
PFM-42B2/42B2E: 360 W

Condiciones de funcionamiento

Temperatura: 0 °C a 35 °C
(32 °F a 95 °F)
Humedad: 20% a 90%
(sin condensación)
Presión atmosférica: 800 a
1 060 hPa

Condiciones de almacenamiento/transporte

Temperatura: -10 °C a +40 °C
(14 °F a 104 °F)
Humedad: 20% a 90%
(sin condensación)
Presión atmosférica: 800 a
1 060 hPa

Dimensiones

1 033 × 631 × 83 mm
(40 ³/₄ × 24 ⁷/₈ × 3 ³/₈ pulgadas)
(an/al/prf, partes salientes
excluidas)

Peso

PFM-42B1/42B1E:
29,4 kg (64 lb 13 oz)
PFM-42B2/42B2E:
28,4 kg (62 lb 10 oz)

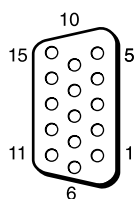
Accesorios suministrados

Cable de alimentación de CA (1)
Portaenchufe de CA (2)
Portacables A (2)
Portacables B (4)
Núcleos de ferrita (8) (sólo PFM-
42B2/42B2E)
Frenos (8) (sólo PFM-42B2/
42B2E)
Mando a distancia RM-42B (1)
Pilas de tamaño AA (R6) (2)
Manual de instrucciones (1)

Accesorios opcionales

Soporte de pantalla SU-42B
Adaptador de entrada de vídeo
BKM-B10
(sólo para el PFM-42B1E/
42B2E)
Adaptador de entrada de
componentes (con Control S)
BKM-B12
Adaptador de entrada de vídeo y
Control S BKM-B13
Adaptador de red BKM-B30NW

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin
previo aviso.

Asignación de pines**Conector RGB/YUV (D-sub de 15 pines)**


Pin nº	Señal
1	Vídeo roja o R-Y o P _R
2	Y o vídeo verde (Sincronización en verde compuesta)
3	Vídeo azul o B-Y o P _B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o compuesta
14	Sincronización V
15	SCL

AVVERTENZA

Par evitare rischi di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

Precauzioni	5 (IT)
Caratteristiche	6 (IT)
Posizione e funzione dei comandi e delle parti	7 (IT)
Parte anteriore / Parte posteriore / Lato destro	7 (IT)
Sezione interruttore / indicatore  (attesa)	8 (IT)
Sezione tasti di controllo (parte posteriore)	8 (IT)
Pannello dei connettori	9 (IT)
Telecomando RM-42B	11 (IT)
Avvertenza	13 (IT)
Collegamenti	14 (IT)
Collegamento del cavo di alimentazione CA	14 (IT)
Applicazione del nucleo in ferrite (solo PFM-42B2E)	14 (IT)
Esempio di collegamento	15 (IT)
Utilizzo dei menu a schermo	20 (IT)
Funzionamento tramite i menu	20 (IT)
Guida dei menu	20 (IT)
Riproduzione dell'immagine	24 (IT)
Cambiamento del segnale di ingresso	24 (IT)
Modifica del modo di visualizzazione	25 (IT)
Visualizzazione delle informazioni relative alle condizioni del display e al segnale di ingresso ...	26 (IT)
Regolazione dell'immagine	28 (IT)
Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via	28 (IT)
Ripristino delle voci del menu CTRL IMMAG. alle impostazioni originali	29 (IT)
Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine	30 (IT)
Modifica delle dimensioni dell'immagine	30 (IT)
Regolazione della posizione dell'immagine	31 (IT)
Ripristino delle dimensioni e della posizione dell'immagine originali	31 (IT)
Modifica del rapporto di formato	32 (IT)
Regolazione della linearità	32 (IT)
Regolazione dei pixel	33 (IT)

Utilizzo della funzione di memoria	34 (IT)
Memorizzazione dell'impostazione corrente	34 (IT)
Richiamo delle impostazioni memorizzate	35 (IT)
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo	36 (IT)
Prevenzione di immagini residue (funzione salva schermo)	37 (IT)
Capovolgimento dell'immagine	37 (IT)
Modifica automatica della posizione dell'immagine visualizzata	38 (IT)
Controllo automatico dell'alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)	39 (IT)
Funzione di risparmio energetico (solo PFM-42B2E)	39 (IT)
Funzione di risparmio energetico	40 (IT)
Funzione di timer di attivazione/disattivazione	40 (IT)
Funzione di timer di attivazione (solo PFM-42B2E)	42 (IT)
Funzione di timer di disattivazione (solo PFM-42B2E)	42 (IT)
Impostazione di SERIAL REMOTE (solo PFM-42B2E)	43 (IT)
Impostazione della velocità di trasmissione	43 (IT)
Funzione MENU	43 (IT)
Impostazione di ADATT.DI RETE (solo PFM-42B2E)	44 (IT)
Impostazione della fonte di alimentazione dell'adattatore di rete	44 (IT)
Se durante l'uso dell'adattatore di rete lo schermo si blocca	45 (IT)
Funzione di autodiagnostica	45 (IT)
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando	45 (IT)
Utilizzo di altri modelli di telecomando	47 (IT)
Caratteristiche tecniche	48 (IT)

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.

Informazioni sul display al plasma (PDP - Plasma Display Panel)

- Il pannello del display al plasma è stato creato secondo una tecnologia di altissima precisione. Tuttavia, sullo schermo potrebbero apparire punti neri o luminosi (bianchi, rossi, blu o verdi) oppure essere visualizzate strisce e irregolarità di colore o alcuni pixel più chiari o più scuri degli altri. Non si tratta di problemi di funzionamento.
- Se la stessa immagine viene visualizzata sullo schermo per un periodo di tempo prolungato, è possibile che una parte di tale immagine si imprima su una parte del pannello e lasci un'immagine residua. Se la stessa immagine viene visualizzata per un periodo di tempo prolungato, per evitare che tale immagine si imprima sul pannello, utilizzare la funzione salvaschermo fornita, che consente di effettuare la visualizzazione a schermo pieno. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione

salvaschermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.

- Dato il tipo di fabbricazione, se il presente pannello del display al plasma viene utilizzato in luoghi in cui la pressione è estremamente bassa, quali altitudini elevate, potrebbe essere udito un disturbo.
- Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Pulizia

Per mantenere in buone condizioni l'apparecchio, pulirlo saltuariamente con una soluzione detergente neutra. Non utilizzare in nessun caso solventi quali benzene né detergenti abrasivi onde evitare di danneggiare il rivestimento scollegare l'apparecchio prima di procedere alla pulizia.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Disturbi durante l'uso di un apparecchio per la comunicazione a infrarossi

È possibile che si verifichino problemi di comunicazione nel caso in cui un apparecchio per la comunicazione a infrarossi (ad esempio, cuffie o microfoni senza fili a infrarossi) venga utilizzato in prossimità del display. Si consiglia di non utilizzare cuffie o microfoni senza fili a infrarossi. Inoltre, per utilizzare l'apparecchio per la comunicazione a infrarossi, allontanarlo dal display fino a quando il disturbo non scompare oppure avvicinare il trasmettitore e il ricevitore dell'apparecchio per la comunicazione a infrarossi.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Caratteristiche

La serie PFM-42B1E/42B2E è costituita da display a pannello piatto da 42 pollici con rapporto di formato 16:9 dotati di un display al plasma (PDP, Plasma Display Panel) in grado di accettare vari tipi di segnali grazie alla presenza di un convertitore di scansione incorporato.

Migliore qualità di immagine

La serie PFM-42B1E/42B2E permette di ottenere immagini di qualità migliore grazie al display al plasma (PDP, Plasma Display Panel) impostato su 1024 punti × 1024 linee. È proprio grazie a questa risoluzione che è possibile ottenere immagini HDTV o PC estremamente nitide.

Convertitore di scansione interno ad alta prestazione

Questo display è dotato di un convertitore di scansione ad alta prestazione. Grazie all'impiego di un unico algoritmo, il display elabora i segnali in un'ampia gamma di formati: video, HDTV, PC e così via.

Espandibilità

Per eventuali espansioni è presente uno slot opzionale. L'adattatore opzionale per lo slot permette di aggiornare il sistema velocemente e facilmente.

Altre caratteristiche

- Due ingressi RGB/componente con ingresso audio. Per PFM-42B1E/42B2E, è necessario disporre dell'adattatore di ingresso video BKM-B10 o dell'adattatore S di ingresso e controllo video BKM-B13 per l'immissione dei segnali video composito e Y/C.

- Visualizzazione del segnale HDTV con segnale sincronico a tre livelli.
- Filtro a pettine tridimensionale per la separazione del segnale NTSC Y/C.
- Filtro a pettine con correlazione della linea per la separazione del segnale PAL Y/C.
- Rilevamento automatico del segnale di ingresso con indicazione a schermo.
- Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play) compatibile.
- Funzione AGC immagine: questa funzione regola e migliora automaticamente il contrasto quando viene immesso un segnale a bassa intensità.
- Menu a schermo per effettuare varie regolazioni e impostazioni
- Indicazioni a schermo in sei lingue per un facile accesso alle funzioni: inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo e giapponese.
- Regolazione fine delle dimensioni e della posizione delle immagini.
- Funzione di memoria per un massimo di venti impostazioni di immagine.
- Controllo ID
- Funzione di autodiagnostica
- Connettore per il comando a distanza (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)
- Accetta i telecomandi Sony a raggi infrarossi che utilizzano il codice SIRCS.
- Installazione verticale
- Decodificatore sottotitoli
- Salva schermo per prevenire la formazione di immagini residue.

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

PFM-42B1E

	Stati Uniti, Canada	Europa continentale	Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

PFM-42B2E

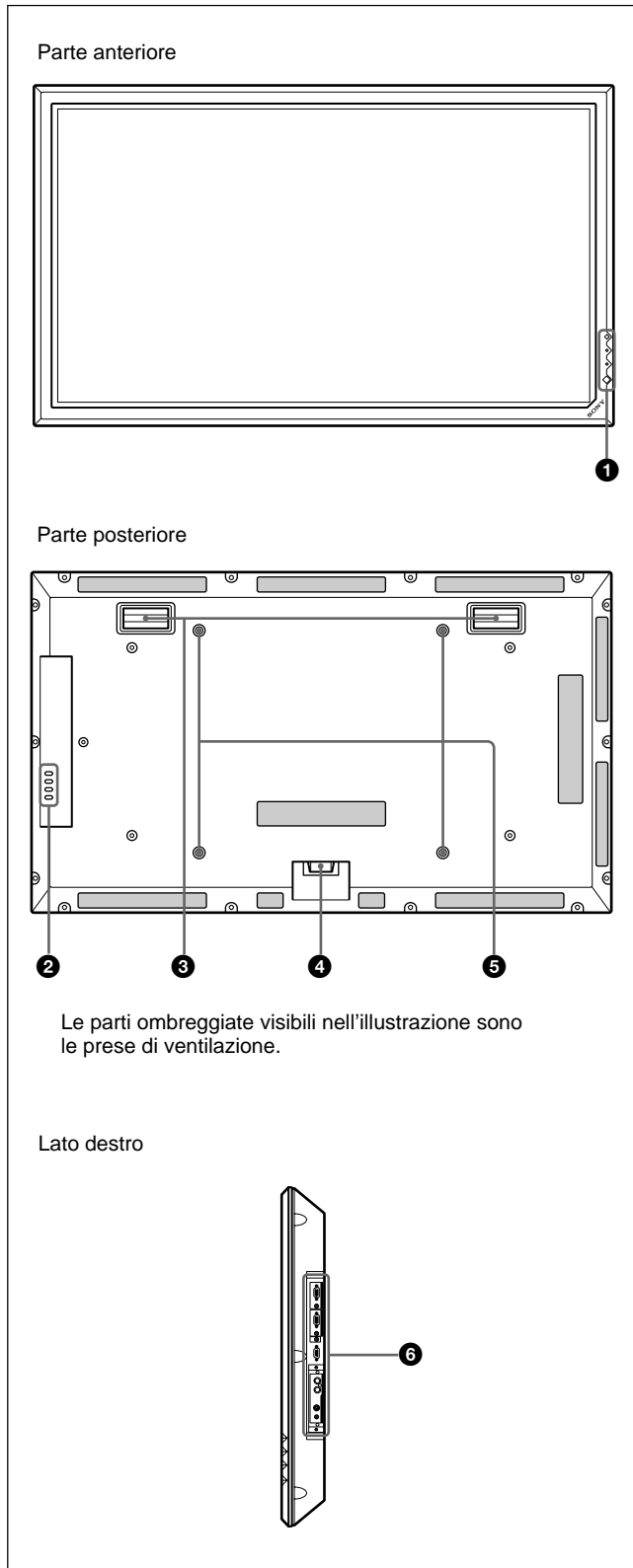
	Stati Uniti, Canada	Europa continentale	Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT SEIELDED	H05VV-F	CCE (13) 53rd (O.C)	HVCTF SHIELDED
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.



1) Windows è un marchio di fabbrica registrato di Microsoft Corporation (U.S.A e altri paesi).

Posizione e funzione dei comandi e delle parti

Parte anteriore / Parte posteriore / Lato destro



❶ Sezione interruttore / indicatore (attesa)

Per ulteriori informazioni sulla sezione interruttore / indicatore  (attesa), vedere “Sezione interruttore / indicatore  (attesa)” a pagina 8 (IT).

❷ Sezione tasti di comando

Per ulteriori informazioni sulla sezione tasti di comando, vedere “Sezione tasti di controllo (parte posteriore)” a pagina 8 (IT).

❸ Maniglie di trasporto

❹ Presa \sim AC IN

Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa, quindi alla presa di rete. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.

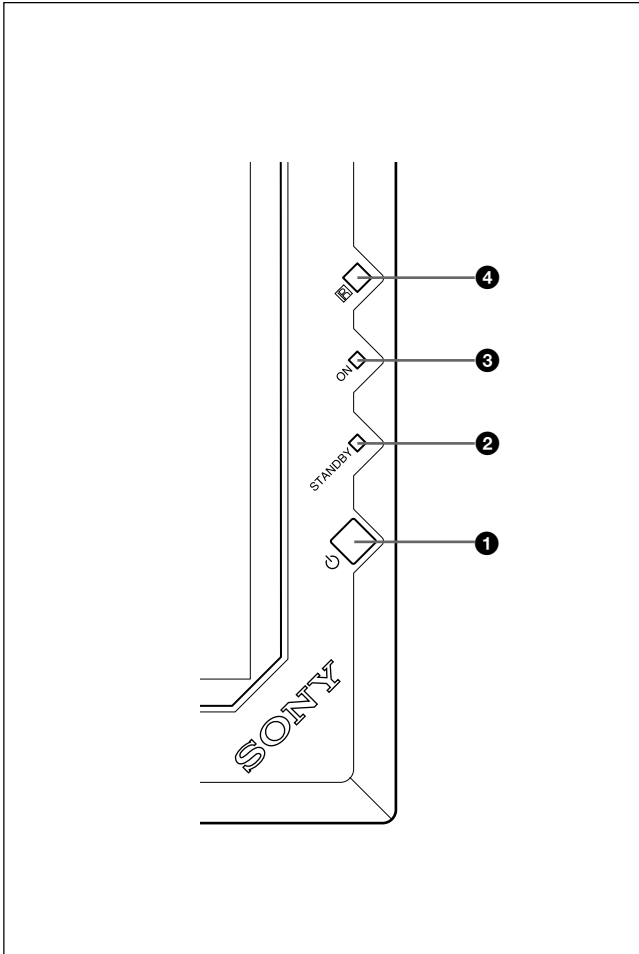
❺ Ganci per l'installazione del supporto

Per l'installazione del supporto utilizzare i ganci (non in dotazione).

❻ Pannello dei connettori

Per ulteriori informazioni sul pannello dei connettori, vedere “Pannello dei connettori” a pagina 9 (IT).

Sezione interruttore / indicatore (attesa)



❶ Interruttore (attesa)

Premere per attivare il display. Premere di nuovo per tornare al modo di attesa.

❷ Indicatore STANDBY

Si illumina in rosso se il monitor è nel modo di attesa.
Se l'indicatore STANDBY lampeggia, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 45 (IT).

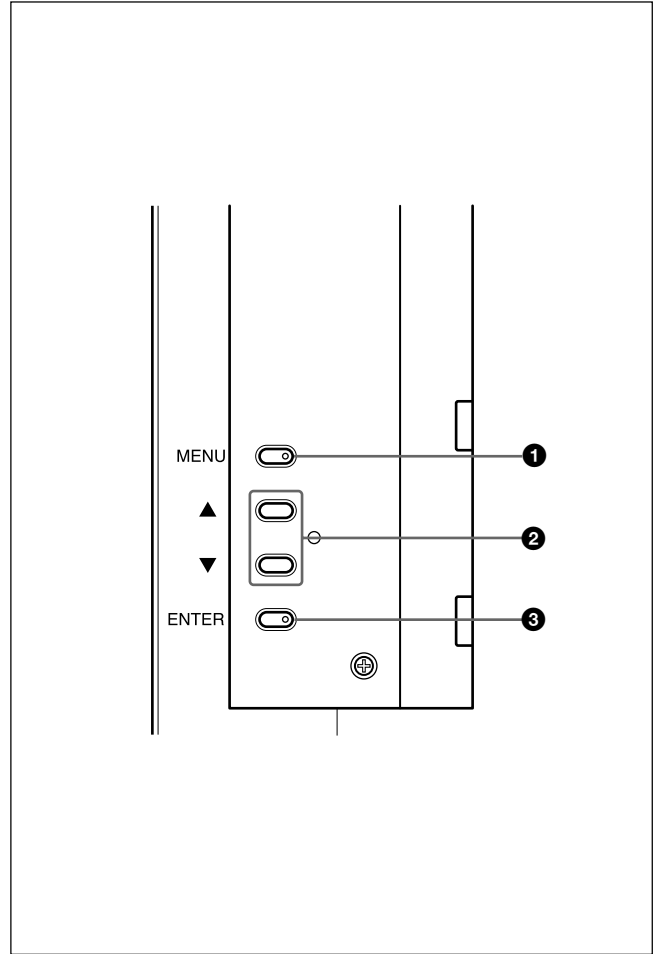
❸ Indicatore ON

Si illumina in verde quando il display viene attivato.

❹ Sensore del comando a distanza

Riceve il segnale dal telecomando.

Sezione tasti di controllo (parte posteriore)



❶ Tasto MENU

Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Per disattivare la schermata del menu, premere più volte questo tasto finché il menu non scompare.

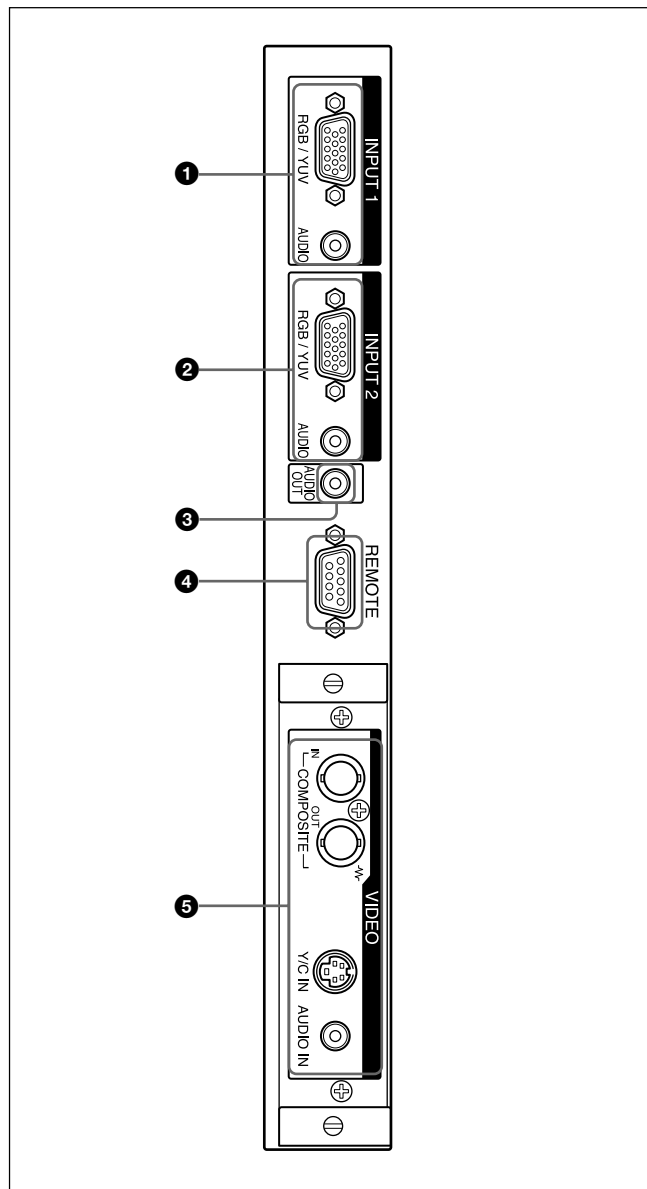
❷ Tasti ▲ / ▼

Premere per spostare il cursore (►) su una voce o per effettuare la regolazione di un valore all'interno di un menu.

❸ Tasto ENTER

Premere per selezionare la voce desiderata nel menu visualizzato.

Pannello dei connettori



1 Connettori INPUT1

RGB/YUV (D-sub a 15 piedini): questo connettore collega all'uscita del segnale RGB o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

Questo display accetta inoltre un segnale componente analogico HD (Y/Pb/Pr). Per l'immissione di un segnale componente, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 49 (IT).

AUDIO (minipresa stereo): questo connettore immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

2 Connettori INPUT2

RGB/YUV (D-sub a 15 piedini): questo connettore collega all'uscita del segnale RGB o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

Questo display accetta inoltre un segnale componente analogico HD (Y/Pb/Pr). Per l'immissione di un segnale componente, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 49 (IT).

AUDIO (minipresa stereo): questo connettore immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

3 Presa AUDIO OUT (minipresa stereo)

Questa presa emette il segnale audio visualizzato sullo pannello del display; tra i segnali audio trasmessi dalle prese di ingresso audio.

4 Connettore REMOTE (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)

Questo connettore consente il controllo a distanza del display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

5 Connettori VIDEO

I modelli PFM-42B1E/42B2E non dispongono dei connettori VIDEO. Per PFM-42B1E/42B2E, è possibile inviare al display i segnali di ingresso Y/C e video composito solo se sullo stesso sono installati l'adattatore di ingresso video BKM-B10 o l'adattatore S di ingresso e controllo video BKM-B13 (non in dotazione).

COMPOSITE IN (tipo BNC): collega all'uscita del segnale video composito di un apparecchio video.

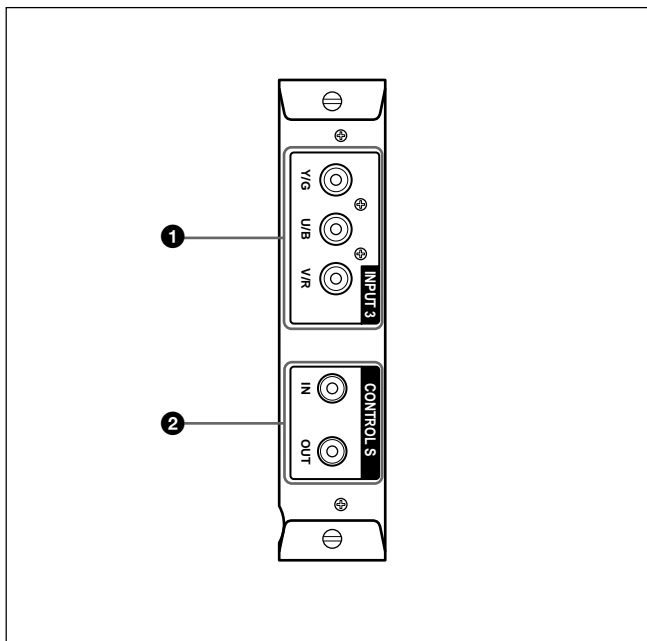
COMPOSITE OUT (tipo BNC): collega all'ingresso del segnale video composito di un apparecchio video.

Y/C IN (mini DIN a 4 piedini): collega all'uscita del segnale Y/C di un apparecchio video.

AUDIO IN (minipresa stereo): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

Adattatore di ingresso componente (con Control S) BKM-B12 (non in dotazione)

I connettori VIDEO sono ad inserimento ed è possibile sostituirli con l'adattatore di ingresso componente (con Control S) BKM-B12.



❶ Connettori INPUT3 (ingresso segnale RGB/YUV) RGB/YUV (ingresso segnale RGB/YUV)

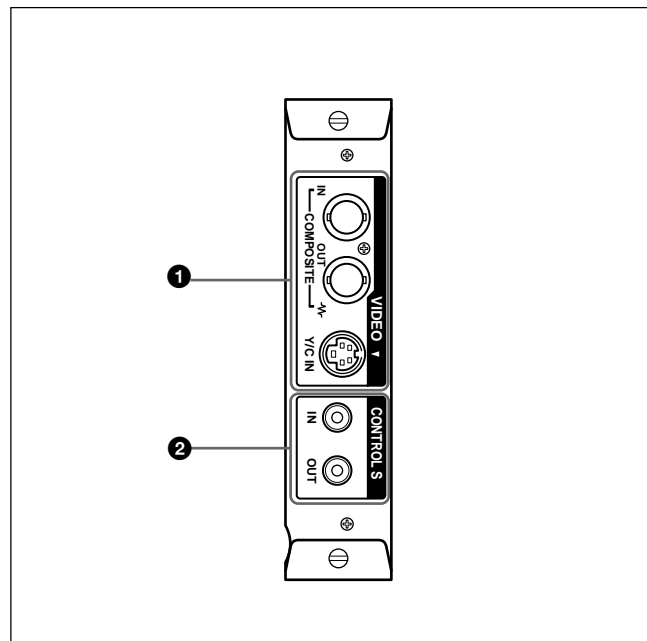
(Presa fono): per il collegamento al connettore di uscita del segnale RGB analogico (dispositivo di immagini) o al connettore di uscita del segnale componente (YUV). A questo connettore, è inoltre possibile trasmettere i segnali componenti analogici HD (Y/PB/PR).

❷ Connettore CONTROL S IN/OUT (uscita/ingresso del segnale Control S) (minipresa)

Tramite questo connettore, è possibile collegare il connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un display, nonché controllare diversi dispositivi mediante un telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente adattatore al connettore CONTROL S IN del dispositivo da collegare.

Adattatore di ingresso video e Control S BKM-B13 (non in dotazione)

I connettori VIDEO sono ad inserimento ed è possibile sostituirli con l'adattatore di ingresso video e Control S BKM-B13.



❶ Connettori VIDEO

COMPOSITE IN (ingresso video) (BNC): per il collegamento al connettore di uscita del segnale composito del dispositivo video.

COMPOSITE OUT (uscita video) (BNC): per il collegamento al connettore di ingresso del segnale composito del dispositivo video.

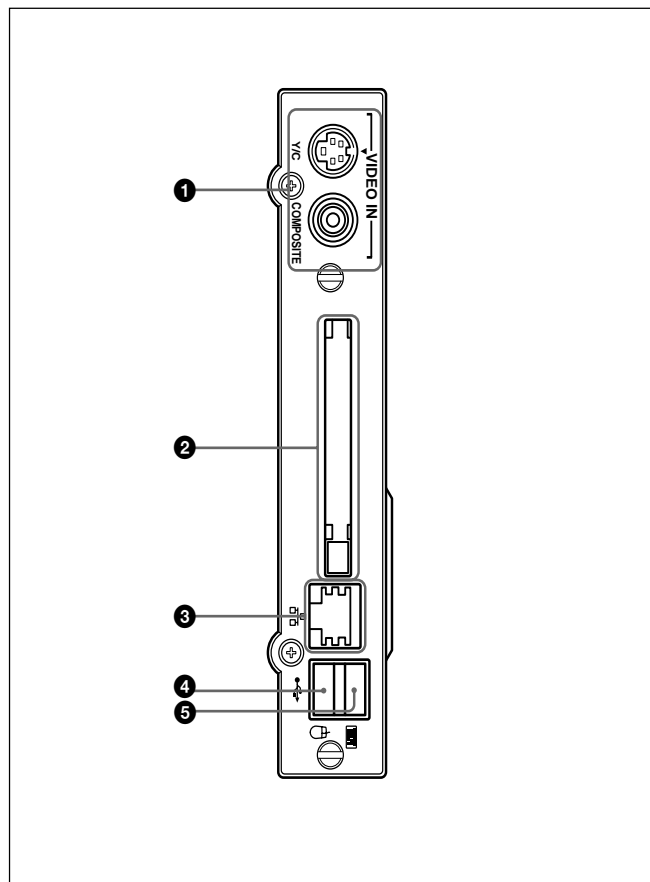
Y/C IN (ingresso video) (mini DIN a 4 piedini): per il collegamento del connettore di uscita Y/C del dispositivo video.

❷ Connettore CONTROL S IN/OUT (uscita/ingresso del segnale Control S) (minipresa)

Tramite questo connettore, è possibile collegare il connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un display, nonché controllare diversi dispositivi mediante un telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente adattatore al connettore CONTROL S IN del dispositivo da collegare.

Adattatore di rete BKM-B30NW (non in dotazione)

I connettori VIDEO sono ad inserimento ed è possibile sostituirli con l'adattatore di rete BKM-B30NW.



1 Connettore VIDEO IN

Y/C (mini DIN a 4 piedini): collegare al connettore di uscita Y/C di un dispositivo di immagini.

COMPOSITE (presa a piedini): collegare al connettore di uscita composita di un dispositivo di immagini.

2 Slot per scheda PC

In base alle necessità, inserire una scheda LAN o una scheda di memoria PC.

3 Connettore Ethernet

Collegare ad un altro computer in rete mediante un cavo LAN 10/100BASE-T.

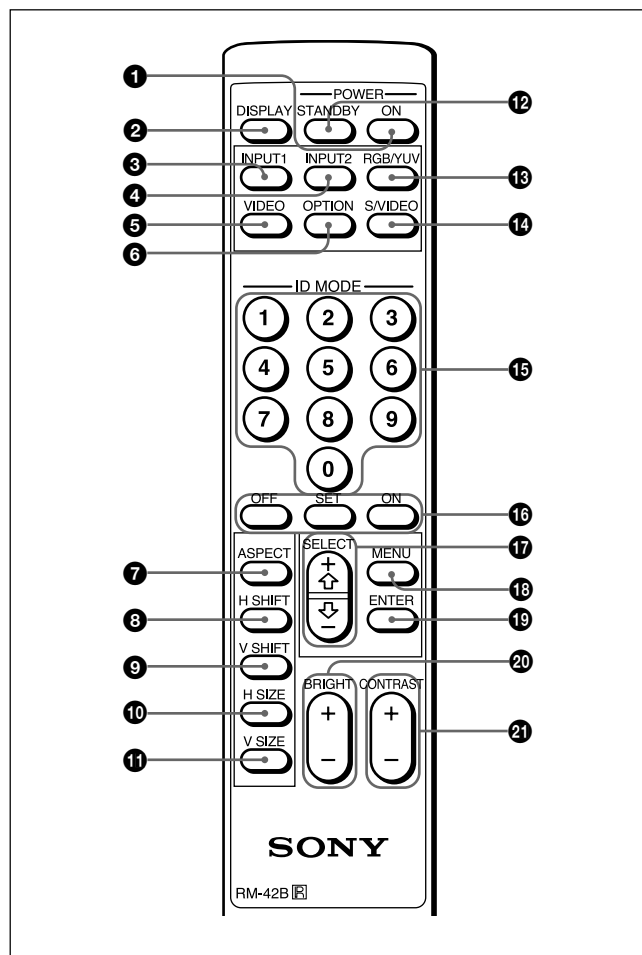
4 Connettore per tastiera

Collegare una tastiera USB.

5 Connettore per mouse

Collegare un mouse USB

Telecomando RM-42B



1 Interruttore POWER ON

Premere per attivare il display.

2 Tasto DISPLAY

Premere per visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e l'ora nella parte superiore dello pannello del display. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione.

3 Tasto INPUT1

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT1.

4 Tasto INPUT2

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT2.

5 Tasto VIDEO

Premere per selezionare il segnale immesso dal connettore COMPOSITE IN o Y/C IN tra i connettori VIDEO.

6 Tasto OPTION

Premere per selezionare il segnale immesso da un adattatore opzionale nel caso in cui questo sia stato installato nell'apparecchio.

7 Tasto ASPECT

Premere per cambiare il rapporto di formato delle immagini.

8 Tasto H SHIFT

Per regolare la centratura orizzontale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale tramite il tasto 17 SELECT +↑/↓.

9 Tasto V SHIFT

Per regolare la centratura verticale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura verticale tramite il tasto 17 SELECT +↑/↓.

10 Tasto H SIZE

Per regolare le dimensioni orizzontali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni orizzontali delle immagini tramite il tasto 17 SELECT +↑/↓.

11 Tasto V SIZE

Per regolare le dimensioni verticali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni verticali delle immagini tramite il tasto 17 SELECT +↑/↓.

12 Tasto STANDBY

Premere per impostare il display sul modo di attesa.

13 Tasto RGB/YUV

Premere per selezionare il formato corrispondente a quello del segnale di ingresso collegato al connettore INPUT1 o INPUT2. Ad ogni pressione del tasto, il formato passa da RGB a YUV e viceversa.

14 Tasto S/VIDEO

Premere per selezionare il segnale immesso tramite il connettore COMPOSITE IN o Y/C IN tra i connettori VIDEO. Ad ogni pressione del tasto, il segnale passa da COMPOSITE IN a Y/C IN e viceversa.

15 Tasti numerici

Premere per immettere il numero indice.

16 Tasti ID MODE (ON/SET/OFF)

Premere il tasto ON per visualizzare sullo schermo un numero indice. Quindi immettere tramite i tasti numerici 15 il numero indice del display che si desidera utilizzare e premere il tasto SET. Una volta terminata l'operazione, premere il tasto OFF per passare dal modo ID al modo normale.

Per informazioni sul numero indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 45 (IT).

17 Tasto SELECT +↑/↓

Premere per spostare il cursore (►) su una voce o per effettuare la regolazione di un valore all'interno di un menu.

18 Tasto MENU

Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sullo pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Per disattivare la schermata del menu, premere più volte questo tasto finché il menu non scompare.

19 Tasto ENTER

Premere per selezionare la voce desiderata in un menu.

20 Tasto BRIGHT +/-

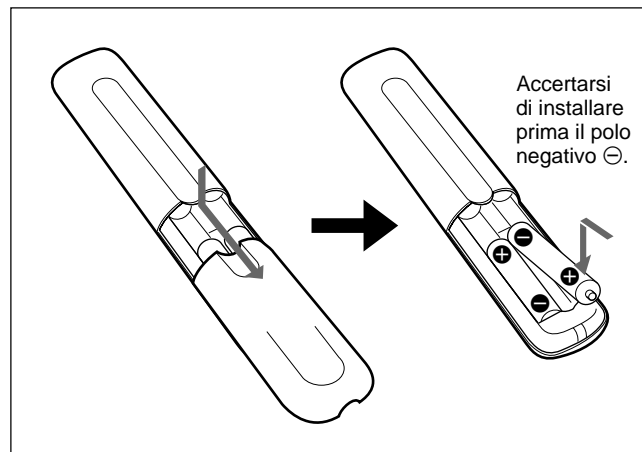
Per regolare la luminosità.

21 Tasto CONTRAST +/-

Per regolare il contrasto.

Installazione delle pile

Inserire due pile R6 (formato AA) rispettando la corretta polarità.



- Con un funzionamento normale, le pile durano circa sei mesi. Se il telecomando non funziona correttamente è possibile che le pile si siano scaricate in anticipo. In tal caso, sostituirle con altre nuove.
- Se si prevede di non utilizzare il telecomando per un lungo periodo, rimuovere le pile onde evitare danni dovuti a possibili perdite di elettrolita.

Se il telecomando non funziona

Controllare che l'indicatore STANDBY si illumini e che MODO TELEC nel menu TELECOMAND non sia impostato su NO. Il telecomando funziona solo se vengono rispettate le due condizioni che seguono.

- Il display è acceso o si trova nel modo di attesa.
- MODO TELEC nel menu TELECOMAND è impostato su TV o PJ.

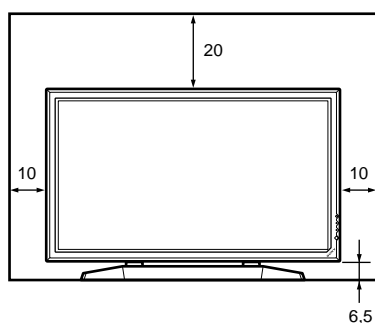
Per informazioni su MODO TELEC, vedere "Menu TELECOMAND" a pagina 22 (IT).

Avvertenza

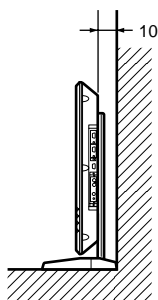
- Durante l'installazione del display, accertarsi che lo spazio che lo circonda sia maggiore rispetto a quanto indicato nell'immagine sotto riportata.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e +35 °C.
- Utilizzare il supporto SU-42B per display (non in dotazione).

Installazione con il supporto (non in dotazione)

Parte anteriore



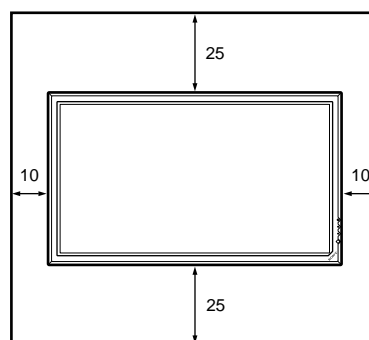
Parte laterale



Unità: cm

Installazione orizzontale del display

Parte anteriore




Parte laterale

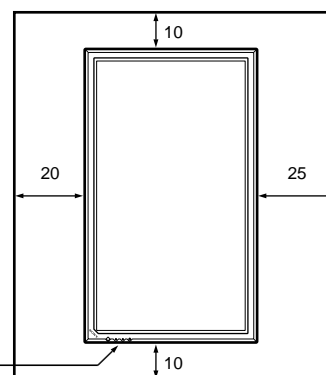


Unità: cm

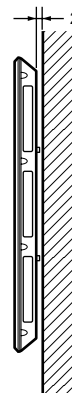
Installazione verticale del display

Parte anteriore

Assicurarsi che l'interruttore  (attesa) si trovi nella parte inferiore



Parte laterale

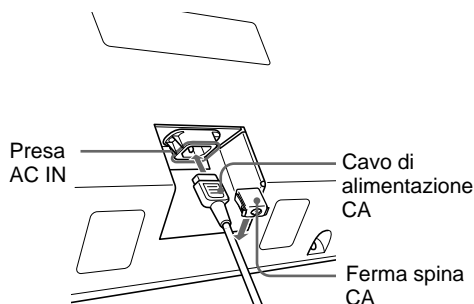


Unità: cm

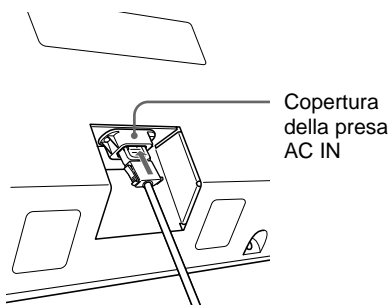
Collegamenti

Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il ferma spina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



- 2 Fare scorrere il ferma spina CA sul cavo finché non raggiunge la copertura della presa AC IN.



Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

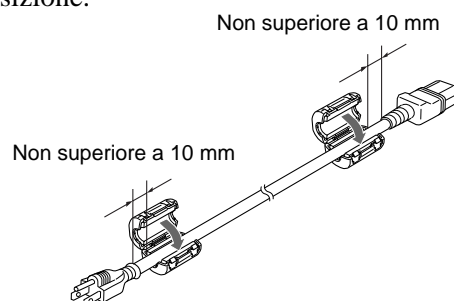
Dopo avere premuto ai lati e sbloccato il fermaspina CA, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Applicazione del nucleo in ferrite (solo PFM-42B2E)

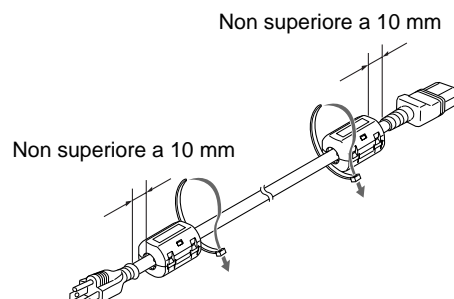
Applicazione al cavo di alimentazione CA

Prima di collegare il cavo dell'alimentazione all'apparecchio, accertarsi di applicare i nuclei in ferrite (grigio chiaro) in dotazione al cavo dell'alimentazione.

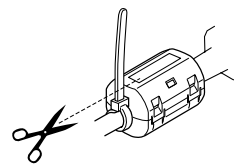
- 1 Applicare i nuclei di ferrite a entrambe le estremità del cavo di alimentazione CA, quindi chiudere i nuclei di ferrite finché non scattano in posizione.



- 2 Collocare il fermo attorno al cavo in modo da bloccare i nuclei di ferrite.



- 3 Stringere il fermo, quindi tagliare la parte in eccedenza.



Nota

Si noti che il presente apparecchio è conforme ai limiti EMC solo se nel cavo di alimentazione CA è installato il nucleo di ferrite.

Applicazione ai cavi

Se ad uno dei terminali elencati di seguito viene collegato un cavo, prima di utilizzarlo applicare il nucleo di ferrite fornito.

AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

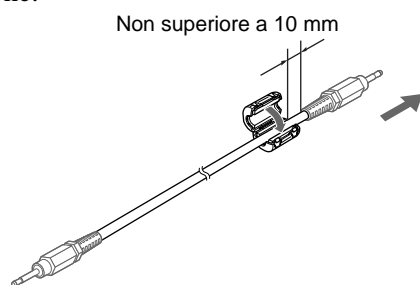
AUDIO OUT

REMOTE

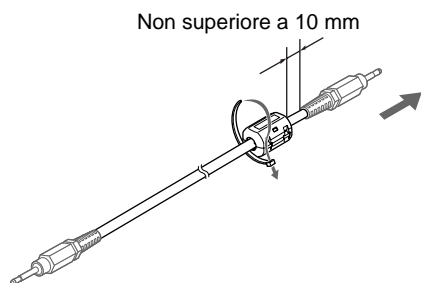
Y/C IN (VIDEO)

AUDIO IN (VIDEO)

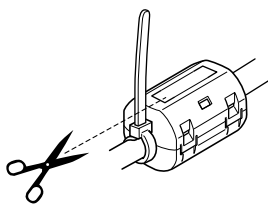
- 1 Applicare il nucleo di ferrite (nero) all'estremità del cavo più vicina all'apparecchio PFM-42B2E, quindi chiuderlo saldamente finché non scatta in posizione.



- 2 Collocare il fermo attorno al cavo in modo da bloccare il nucleo di ferrite.



- 3 Stringere il fermo, quindi tagliare la parte in eccedenza.



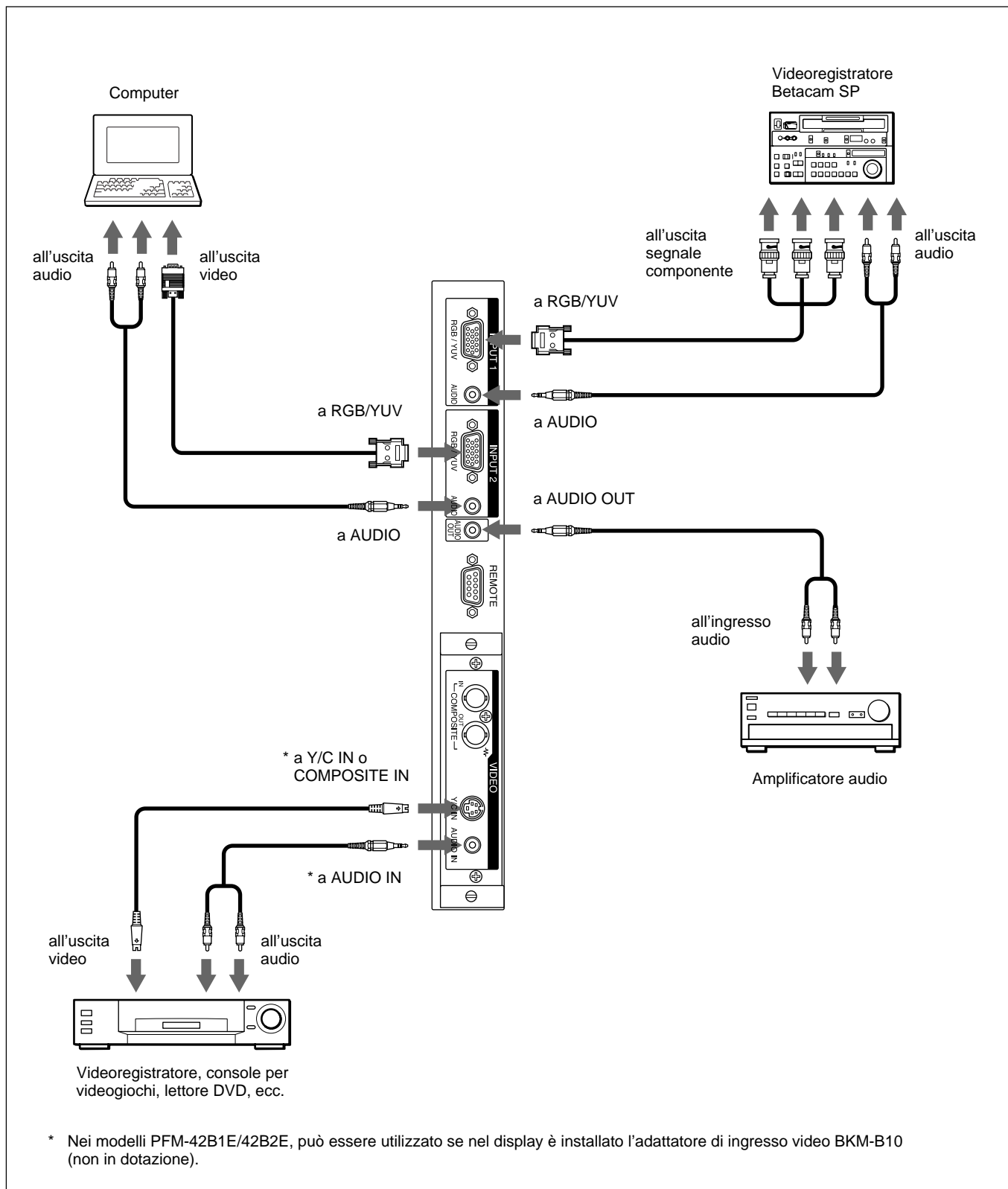
Note

- Per il collegamento del presente apparecchio ad altri dispositivi utilizzando i connettori RGB/YUV, utilizzare il cavo specificato.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
- Si noti che il presente apparecchio è conforme ai limiti EMC solo se nel cavo di collegamento è installato il nucleo di ferrite.

Esempio di collegamento

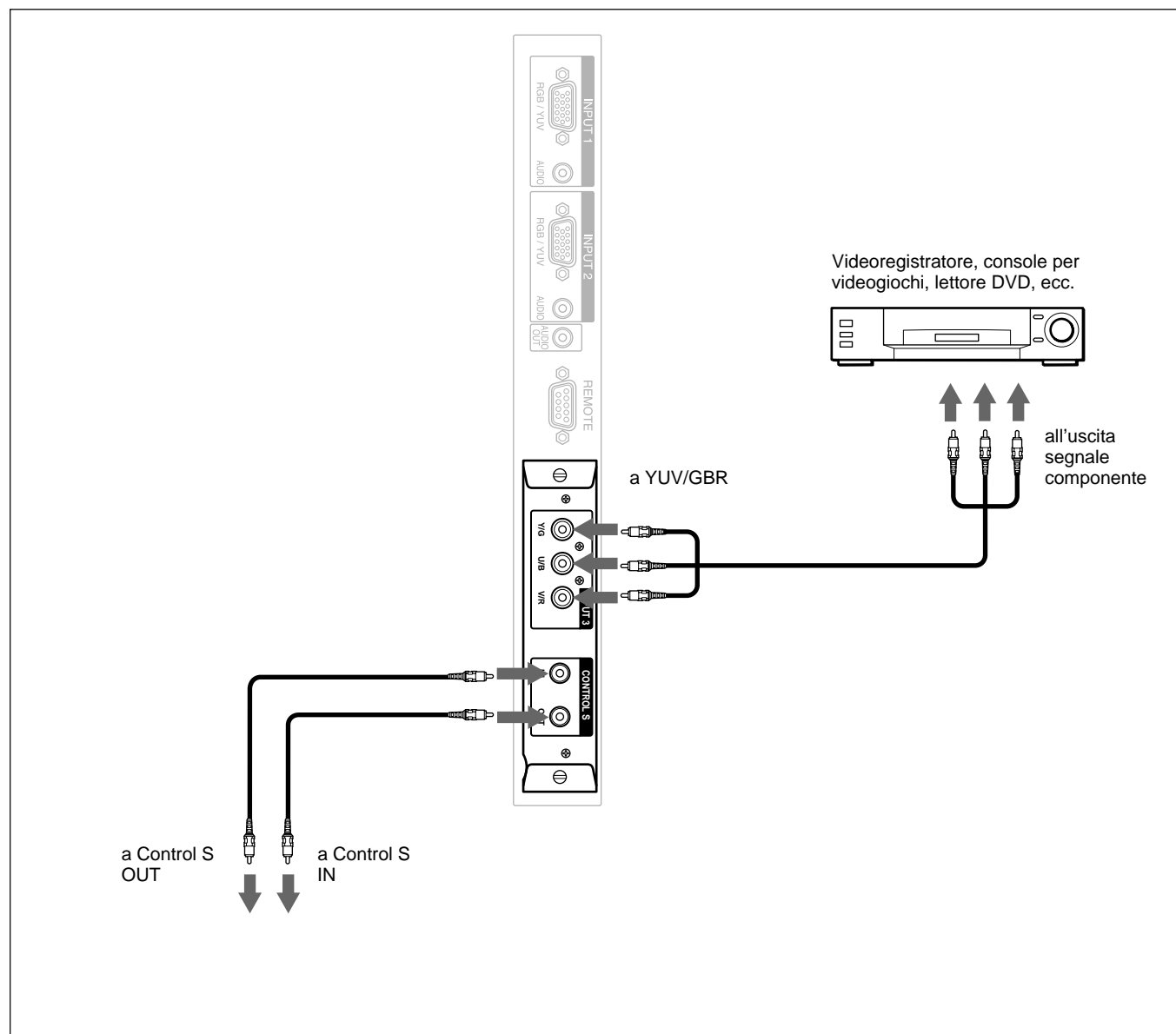
Operazioni preliminari

- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori dei cavi devono essere inseriti saldamente nelle prese, diversamente si potrebbero verificare disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.
- Inserire saldamente la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).



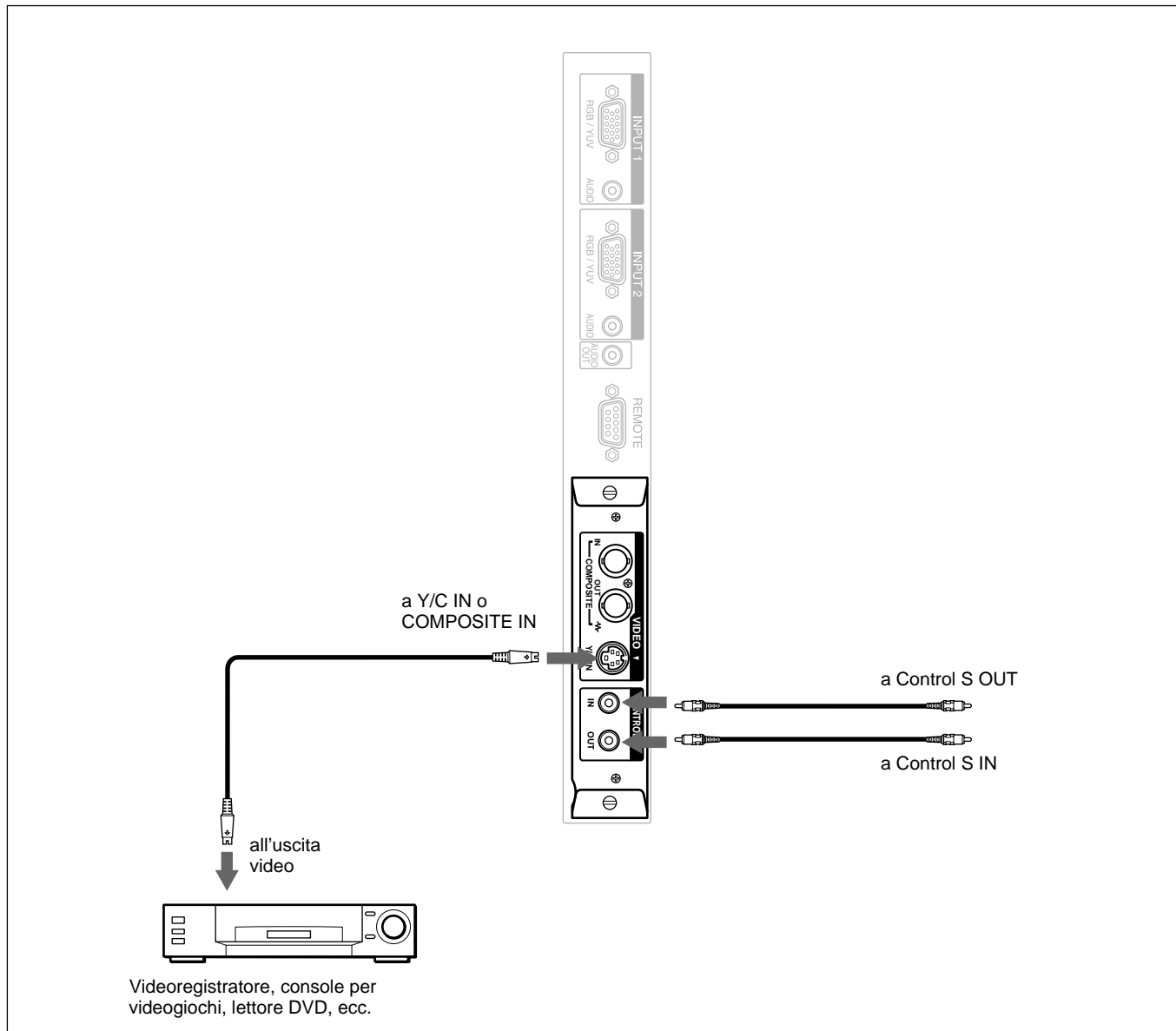
Esempio di collegamento utilizzando l'adattatore di ingresso componente (con Control S) BKM-B12 (non in dotazione).

Quanto segue illustra un esempio di collegamento in cui è stato utilizzato l'adattatore di ingresso componente (con Control S) BKM-B12 (non in dotazione).



Esempio di collegamento utilizzando l'adattatore di ingresso video e Control S BKM-B13 (non in dotazione).

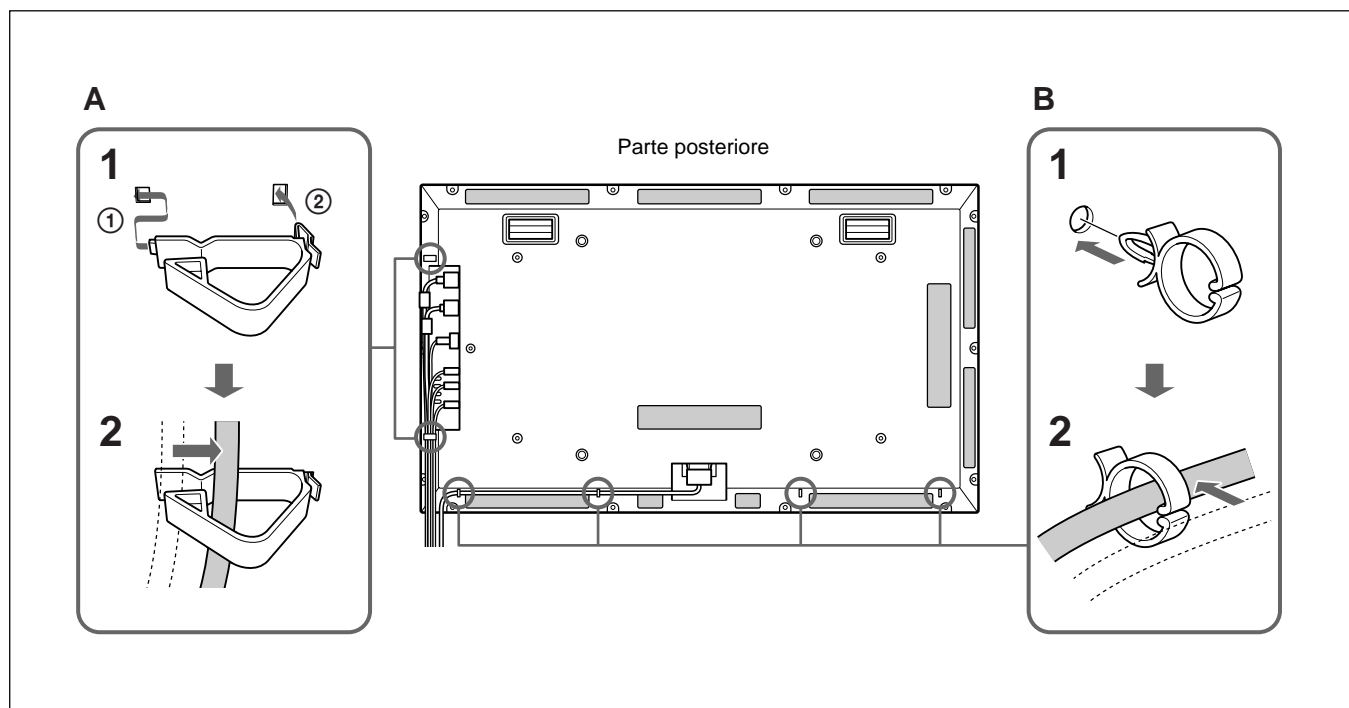
Quanto segue illustra un esempio di collegamento in cui è stato utilizzato l'adattatore di ingresso video e Control S BKM-B13 (non in dotazione).



Per un esempio di collegamento utilizzando l'adattatore di rete BKM-B30NW (non in dotazione), consultare il manuale delle istruzioni dell'adattatore BKM-B30NW.

Uso dei fermacavi

È possibile fissare i cavi di collegamento e il cavo di alimentazione CA tramite i fermacavi A (×2) e B (×4). Applicare i fermacavi A e B come descritto nell'illustrazione qui sotto.

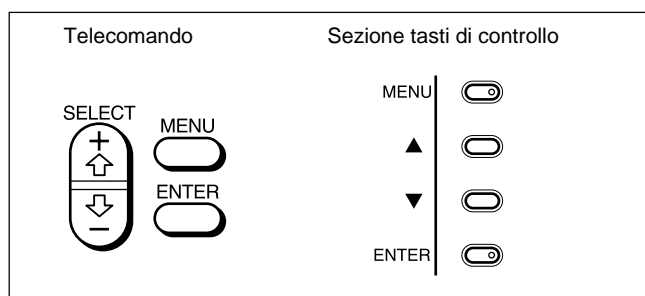


Utilizzo dei menu a schermo

Funzionamento tramite i menu

Tasti di funzionamento dei menu

Per il funzionamento dei menu, utilizzare i tasti sul display e sul telecomando.



Nelle presenti istruzioni per l'uso, i tasti della sezione di controllo vengono utilizzati a scopi esplicativi.

Il tasto SELECT +**▲**/**▼** del telecomando funziona allo stesso modo dei tasti **▲**/**▼** della sezione tasti di controllo.

Configurazione del menu

Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere a pagina 36 (IT).

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere **▲**/**▼** per spostare il cursore (**▶**), quindi premere ENTER per selezionare un menu.
Sul pannello del display appare il menu selezionato.
- 3 Premere **▲**/**▼** per spostare il cursore (**▶**), quindi premere ENTER per selezionare una voce.
Sul pannello del display appare il menu della voce selezionata.

- 4 Premere **▲**/**▼** per effettuare la regolazione o selezionare l'impostazione, quindi premere ENTER.

L'impostazione viene registrata e viene visualizzato il menu precedente.

Per tornare alla schermata iniziale, premere più volte il tasto MENU finché non scompare il menu.

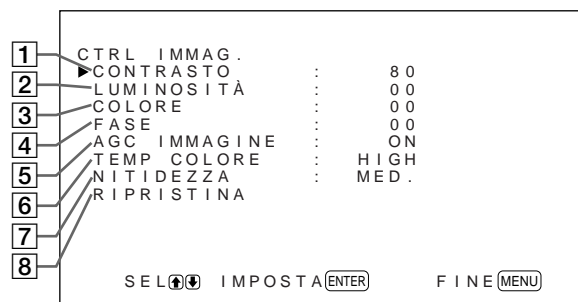
Guida dei menu

Nota

Se una funzione non è disponibile, accanto alla relativa voce appare l'indicazione "— — —".
La disponibilità delle funzioni dipende dai tipi di segnale di ingresso.

Menu CTRL IMAG.

Questo menu viene utilizzato per la regolazione dell'immagine.



1 CONTRASTO

Premere **▲** per aumentare il contrasto e **▼** per diminuirlo.

2 LUMINOSITÀ

Premere **▲** per rendere più luminosa l'immagine e **▼** per renderla più scura.

3 COLORE

Premere **▲** per aumentare la saturazione del colore e **▼** per diminuirla.

4 FASE

Premere **▲** per rendere l'intera immagine di colore verdastro e **▼** per renderla di colore rossastro.

5 AGC IMMAGINE

Selezionare ON per aumentare automaticamente la luminosità se viene immesso un segnale a bassa luminosità.

Questa funzione è disponibile solo per l'ingresso VIDEO o per l'ingresso YUV a 15 kHz.

6 TEMP COLORE

Per modificare la temperatura di colore.

Per ulteriori informazioni, vedere “TEMP COLORE” a pagina 28 (IT).

7 NITIDEZZA

Per modificare il livello di correzione del contorno in tre diversi livelli (HIGH, MED. o LOW).

Per ulteriori informazioni, vedere “NITIDEZZA” a pagina 29 (IT).

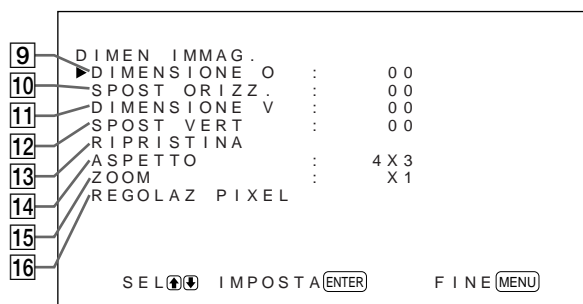
8 RIPRISTINA

Per ripristinare le impostazioni di fabbrica delle voci da **1** a **7** del menu CTRL IMMAG.

Per ulteriori informazioni sulla funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle voci del menu CTRL IMMAG. alle impostazioni originali” a pagina 29 (IT).

Menu DIMEN IMMAG.

Questo menu viene utilizzato per modificare le dimensioni e la posizione dell'immagine.

**9 DIMENSIONE O**

Per regolare le dimensioni orizzontali dell'immagine. Premere ▲ per aumentare le dimensioni orizzontali dell'immagine e ▼ per diminuirle.

10 SPOST ORIZZ.

Per regolare la centratura orizzontale dell'immagine. Premere ▲ per spostare l'immagine verso destra e ▼ per spostarla verso sinistra.

11 DIMENSIONE V

Per regolare le dimensioni verticali dell'immagine. Premere ▲ per aumentare le dimensioni verticali dell'immagine e ▼ per diminuirle.

12 SPOST VERT

Per regolare la centratura verticale dell'immagine. Premere ▲ per spostare l'immagine verso l'alto e ▼ per spostarla verso il basso.

13 RIPRISTINA

Per ripristinare le impostazioni di fabbrica delle voci da **9** a **12** del menu DIMEN IMMAG.

Per ulteriori informazioni sull'utilizzo della funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle dimensioni e della posizione dell'immagine originali” a pagina 31 (IT).

14 ASPETTO

Per modificare il rapporto di formato delle immagini.

Per ulteriori informazioni, vedere “Modifica del rapporto di formato” a pagina 32 (IT).

15 ZOOM

Per ingrandire le immagini nel seguente ordine: raddoppiarle (×2), triplicarle (×3) e quadruplicarle (×4).

Nota

Se ASPETTO viene impostato su ZOOM L o su ZOOM LB, viene visualizzato “— — —” e non è possibile impostare ZOOM su ×2, ×3 o ×4.

16 REGOLAZ PIXEL

Per regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali in caso di disturbi sui bordi dei caratteri e sulle linee verticali.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione dei pixel” a pagina 33 (IT).

Menu CONFIG

Questo menu viene utilizzato per la regolazione del segnale o per la selezione della lingua. Il menu è composto da due pagine: CONFIG (1/2) e CONFIG (2/2). Per passare da una pagina all'altra, premere ripetutamente i tasti ▲ / ▼ fino a che non appare la pagina desiderata.



PFM-42B1E: “LIVELLO YUV” non viene visualizzato.



PFM-42B1E: “SERIAL REMOTE” non viene visualizzato. Se è stato installato l'adattatore di rete (BKM-B30NW), la voce “ADATT. DI RETE” viene aggiunta ma non visualizzata sullo schermo del monitor PFM-42B1E.

17 VISUALIZZA

Per visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso per circa cinque secondi nella parte superiore del pannello del display selezionando ON quando si attiva l'alimentazione o si cambia segnale di ingresso.

18 W-VGA

Per immettere il segnale W-VGA (852 × 480), selezionare ON.

Se questa voce viene impostata su ON, il segnale di ingresso VGA corrisponderà a 852 × 480.

Diversamente, il segnale di ingresso VGA corrisponde a 640 × 480.

19 SOTTOTITOLO

Per visualizzare i sottotitoli.

Per ulteriori informazioni, vedere "Visualizzazione dei sottotitoli" a pagina 25 (IT).

20 SISTEMA COLORE

Per selezionare il segnale di ingresso.

AUTO: per visualizzare i segnali NTSC, PAL o SECAM

443NT: per visualizzare i segnali NTSC4.43

PAL60: per visualizzare i segnali PAL60

PAL-M: per visualizzare i segnali PAL-M

21 LIVELLO YUV (solo PFM-42B2E)

Selezione il livello del segnale componente.

SMPTE: livello del segnale SMPTE

BETA: livello del segnale BETACAM

22 RIEMPI SCHERMO

Per selezionare il punto di origine per il ridimensionamento dell'immagine.

CENTRO: per impostare il punto di origine al centro del pannello del display.

ANGOLO: per impostare il punto di origine nell'angolo superiore sinistro del display.

23 CONTROL ALIM.

Per impostare l'intervallo di tempo che deve trascorrere prima che il sistema entri nel modo di risparmio energetico.

Per ulteriori informazioni, vedere "Controllo automatico dell'alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)" a pagina 39 (IT).

24 SALVA SCHERMO

Per attivare il salva schermo in modo da ridurre il fenomeno delle immagini residue o sfocate.

Per ulteriori informazioni, vedere "Prevenzione di immagini residue (funzione salva schermo)" a pagina 37 (IT).

25 IMPOST. ORA

Per impostare l'ora.

Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dell'ora" a pagina 25 (IT).

26 LINGUA

Per selezionare la lingua delle indicazioni a schermo tra inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo o giapponese.

Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 36 (IT).

27 SERIAL REMOTE (solo PFM-42B2E)

Impostazione del telecomando seriale.

Per ulteriori informazioni, vedere "Impostazione di SERIAL REMOTE" a pagina 43 (IT).

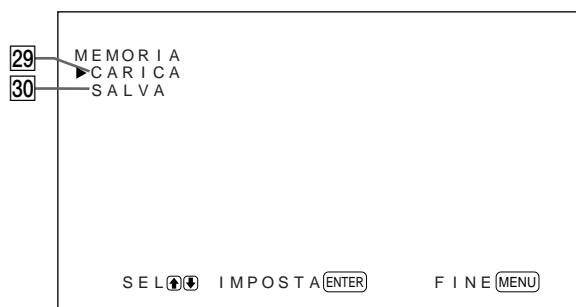
28 ADATT.DI RETE (solo PFM-42B2E)

Impostazione dell'adattatore di rete.

Per ulteriori informazioni, vedere "Impostazione di ADATT. DI RETE" a pagina 44 (IT).

Menu MEMORIA

Questo menu viene utilizzato per memorizzare o richiamare le impostazioni e i menu CTRL IMMAG. e DIMEN IMMAG.



Per ulteriori informazioni, vedere "Utilizzo della funzione di memoria" a pagina 34 (IT).

29 CARICA

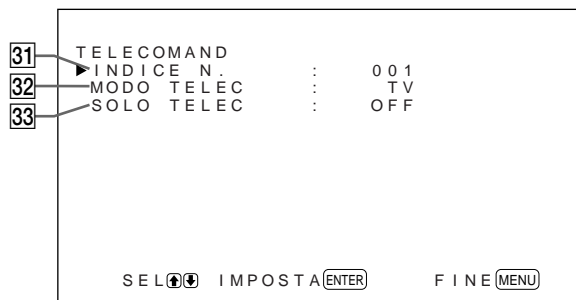
Per richiamare le impostazioni di fabbrica.

30 SALVA

Per salvare le impostazioni.

Menu TELECOMAND

Questo menu viene utilizzato per le impostazioni del telecomando.



31 INDICE N.

Per impostare il numero indice del display.

Nota

Per impostare i numeri, utilizzare i tasti sul display.
 Per ulteriori informazioni sui numeri indice, vedere
 “Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando” a
 pagina 45 (IT).

32 MODO TELEC

Per selezionare il modo del telecomando.

TV: telecomando del display Sony o del televisore

PJ: telecomando di un proiettore Sony

OFF: per disattivare l'utilizzo del telecomando.


Nota

Per cambiare il modo del telecomando, utilizzare i
 tasti sul display. Non è possibile cambiare il modo del
 telecomando mediante il telecomando stesso.

Per ulteriori informazioni, vedere “Utilizzo di altri modelli
 di telecomando” a pagina 47 (IT).

33 SOLO TELEC

Per disattivare i tasti di comando sul display,
 selezionare ON. In questo modo il display può essere
 controllato solo tramite il telecomando.

Per disattivare il modo SOLO TELEC, impostare
 SOLO TELEC su OFF tramite il telecomando oppure
 premere il tasto MENU e contemporaneamente
 l'interruttore  (attesa) sul display. Il display entra
 nel modo di attesa e il modo SOLO TELEC viene
 disattivato.

L'impostazione di questa voce viene mantenuta anche
 se il cavo di alimentazione CA viene scollegato o se si
 attiva/disattiva il display utilizzando il telecomando.

Menu STATO

Questo menu viene utilizzato per visualizzare le
 informazioni relative alle condizioni interne del
 display.

34	STATO	:	PFM - 42B2E
35	NOME MODELLO	:	2000001
36	NUMERO SERIE	:	000001H
37	TEMPO DI ON	:	Ver 1.00
38	SOFTWARE	:	OK
39	TEMPERATURA	:	OK
	VENTOLA	:	OK

34 NOME MODELLO

Indica il nome del modello.

La descrizione riportata nella presente sezione è basata sul
 modello PFM-42B2E.

35 NUMERO SERIE

Indica il numero di serie.

36 TEMPO DI ON

Indica il numero totale delle ore di funzionamento.

Nota

Il modo di attesa non viene preso in considerazione
 nel TEMPO DI ON.

37 SOFTWARE


Indica la versione del software del sistema.

38 TEMPERATURA

Indica se la temperatura interna del display è normale.

OK: normale

NG: anomala

Se la temperatura interna è anomala, l'indicazione NG
 viene visualizzata e la voce lampeggia in rosso;
 lampeggia inoltre l'indicatore STANDBY nella
 sezione interruttore / indicatore  (attesa).

Nota


Se le prese di ventilazione sono bloccate o il display è
 installato in una posizione che ne impedisce
 l'adeguata ventilazione, è possibile che venga
 visualizzato il messaggio “TEMPERATURA NG”.
 In tal caso, controllare che le prese di ventilazione non
 siano bloccate e installare il display in una posizione
 adeguatamente ventilata. Se il messaggio non
 scompare, contattare un rivenditore Sony autorizzato.
 Se l'indicatore STANDBY lampeggia o l'indicazione NG
 viene visualizzata, vedere “Funzione di autodiagnostica” a
 pagina 45 (IT).

39 VENTOLA

Le ventole di raffreddamento si trovano all'interno del
 display. Questa voce indica se le suddette ventole
 funzionano correttamente.

OK: normale

NG: anomala

Se le ventole di raffreddamento non funzionano
 correttamente, viene visualizzata l'indicazione NG e
 la voce lampeggia in rosso; lampeggia inoltre
 l'indicatore STANDBY sulla sezione interruttore /
 indicatore  (attesa).

Note

- Se viene visualizzato il messaggio “VENTOLA NG”, contattare un rivenditore Sony autorizzato.
 Se l'indicatore STANDBY lampeggia o l'indicazione NG
 viene visualizzata, vedere “Funzione di autodiagnostica”
 a pagina 45 (IT).
- Le ventole di raffreddamento individuano la
 temperatura interna del display e controllano la
 rotazione delle ventole. Se la temperatura circostante
 è elevata, la velocità di rotazione delle ventole
 aumenta e il rumore emesso sarà maggiore.

Riproduzione dell'immagine

Operazioni preliminari

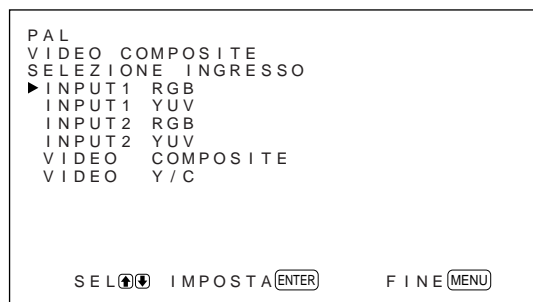
- Accendere il display.
- Accendere l'apparecchio collegato e riprodurre una sorgente video.
- Quando si attiva l'alimentazione o si cambia segnale di ingresso, se si desidera visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso impostare "VISUALIZZA" nel menu CONFIG (1/2) su SÌ.
- Per selezionare la lingua utilizzata nei menu, vedere a pagina 36 (IT).

Cambiamento del segnale di ingresso

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "SELEZIONE INGRESSO", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display vengono visualizzati il segnale di ingresso correntemente selezionato e il menu SELEZIONE INGRESSO.



- 3 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) sulla sorgente di ingresso da visualizzare, quindi premere ENTER.
INPUT1 RGB: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT1 se il segnale di ingresso è un segnale RGB.
INPUT1 YUV: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT1 se il segnale di ingresso è un segnale componente.

INPUT2 RGB: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT2 se il segnale di ingresso è un segnale RGB.

INPUT2 YUV: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT2 se il segnale di ingresso è un segnale componente.

VIDEO COMPOSITE: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite il connettore COMPOSITE IN e la presa AUDIO IN tra i connettori VIDEO.

VIDEO Y/C: per selezionare il segnale audio e video immesso tramite il connettore Y/C IN e la presa AUDIO IN tra i connettori VIDEO.

(Per PFM-42B1E/42B2E, i segnali VIDEO COMPOSITE e VIDEO Y/C vengono visualizzati solo se sono stati installati l'adattatore di ingresso video BKM-B10 o l'adattatore S di ingresso e comando video BKM-B13 (non in dotazione).)

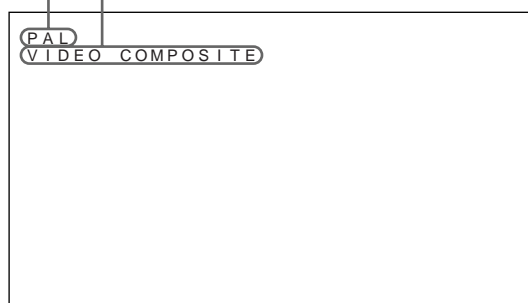
INPUT3 RGB: seleziona il segnale di ingresso (segnale RGB) trasmesso dal dispositivo collegato al connettore INPUT 3. Solo se l'adattatore componente BKM-B12 è installato.

INPUT3 YUV: seleziona il segnale di ingresso (segnale componente) trasmesso dal dispositivo collegato al connettore INPUT3. Solo se l'adattatore componente BKM-B12 è installato.

INPUT3 PC: seleziona il segnale trasmesso dall'adattatore di rete BKM-B30NW installato nel connettore VIDEO. Solo se è installato l'adattatore di rete BKM-B30NW.

Sul pannello del display viene visualizzato il segnale di ingresso selezionato.

Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale
Tipo di segnale



È inoltre possibile cambiare segnale di ingresso utilizzando il telecomando.

Nota

Come sorgente di ingresso, si consiglia di utilizzare un apparecchio video dotato di TBC (time base corrector). Se il monitor riceve un segnale privo di TBC, l'immagine potrebbe sparire a causa di disturbi generati dal segnale sincronico.

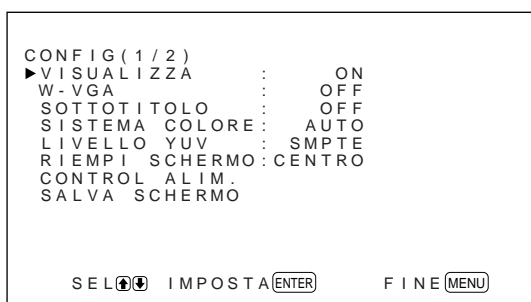
Modifica del modo di visualizzazione

Visualizzazione dei sottotitoli

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONFIG”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu CONFIG (1/2).



- 3 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “SOTTOTITOLO”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

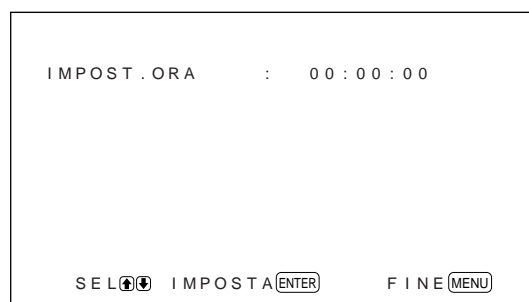


- 4 Selezionare il tipo di sottotitolo tramite ▲ / ▼.
OFF: per non visualizzare i sottotitoli.
DESCR1: per visualizzare il sottotitolo 1 sull'immagine.
DESCR2: per visualizzare il sottotitolo 2 sull'immagine.
TESTO1: per visualizzare il sottotitolo 1 su sfondo nero.
TESTO2: per visualizzare il sottotitolo 2 su sfondo nero.

- 5 Premere MENU.
Il monitor torna al menu CONFIG (1/2).

Regolazione dell'ora

- 1 Nel menu CONFIG (2/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “IMPOST. ORA”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere ENTER.
Lo sfondo dell'ora viene visualizzato in azzurro.
- 3 Regolare l'ora tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
L'ora viene impostata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in azzurro.
- 4 Regolare i minuti allo stesso modo, quindi premere ENTER.
I minuti vengono impostati e i secondi riportati a 00.

Per visualizzare l'ora

Premere il tasto DISPLAY sul telecomando. L'ora viene visualizzata nell'angolo superiore destro del display.

Visualizzazione delle informazioni relative alle condizioni del display e al segnale di ingresso

Le informazioni relative alle condizioni del display e al segnale di ingresso vengono visualizzate sul pannello del display per circa cinque secondi quando si attiva l'alimentazione o si cambia segnale di ingresso.

Per disattivare questa funzione, seguire le procedure descritte di seguito.

- 1 Nel menu CONFIG (1/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “VISUALIZZA”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere ▲ / ▼ per impostare VISUALIZZA su OFF, quindi premere ENTER.
La funzione VISUALIZZA viene disattivata.

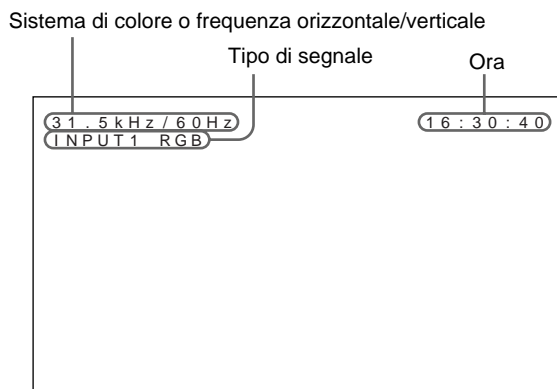
Per visualizzare le informazioni

Impostare VISUALIZZA su ON al punto 2 di cui sopra. L'impostazione di fabbrica è ON.

Nota

È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e l'ora premendo semplicemente il tasto DISPLAY sul telecomando a prescindere dall'impostazione di cui sopra. Le informazioni rimangono visualizzate finché non viene premuto di nuovo il tasto DISPLAY.

Informazioni relative al segnale di ingresso



Segnali di ingresso preselezionati			
	Segnale	Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale	
Segnali computer			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I-O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC/4.43	
5	PAL60	PAL/60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	575/50i	575/50I	
8	480/60i	480/60I	
9	1080/24psf	1080/48I	
10	1080/50i	1080/50I	
11	576/50p	576/50P	
12	480/60p	480/60P	
13	1080/60i	1080/60I	
14	720/60p	720/60P	

- a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.
d) Disponibile solo se viene utilizzato un acceleratore grafico prodotto da I-O DATA Corporation.
e) Questa voce è disponibile solo se viene utilizzata una scheda grafica prodotta da Matrox Graphics Inc.

Note

- Se viene immesso un segnale HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al piedino numero 2 del connettore INPUT1 o INPUT2 (D-sub a 15 piedini).
 - Se viene immesso un segnale del computer con la risoluzione indicata alla voce 29 della tabella, impostare DIMENSIONE O, SPOST ORIZZ., DIMENSIONE V e SPOST VERT sul valore standard (00) e ZOOM su ×1 nel menu DIMEN IMMAG., diversamente l'immagine potrebbe oscillare.
 - Se dopo avere trasmesso il segnale DVD al monitor PFM-42B1E il colore delle immagini risulta eccessivamente chiaro, regolare il colore impostando "COLORE" nel menu CTRL IMMAG.
- Nel monitor PFM-42B2E, selezionare "SMPTE" in LIVELLO YUV nel menu CONFIG.*
- Per immettere un segnale da 480/60p utilizzare un segnale YUV. Se viene immesso un segnale RGB, il sistema determina la frequenza di un segnale VGA, effettua la visualizzazione a 31.5 kHz/59.9 Hz, la fase dello schermo viene disattivata e confrontata con il segnale di ingresso YUV e la risoluzione viene ridotta. Per effettuare le necessarie regolazioni relative alla fase dello schermo, utilizzare le voci SPOST ORIZZ. e SPOST VERT nel menu di regolazione dei segnali oppure utilizzare i tasti H SHIFT, V SHIFT e SELECT sul telecomando RM-42B.
 - Per immettere un segnale DTV (voce 7 a voce 14) utilizzare un segnale YUV.

Indicazioni a schermo relative alle condizioni effettive del display

Indicazione a schermo	Significato
31.5kHz / 59.9Hz (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è computer RGB.
480 / 60i (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è video componente.
NTSC (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è NTSC.
VARIE	Il segnale di ingresso non rientra nel campo di cattura.
NO SYNC	Non vi sono segnali di ingresso.
INPUT1 RGB	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su RGB.
INPUT1 YUV	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su video componente.
VIDEO COMPOSITE	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video composito.
VIDEO Y/C	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video Y/C.

Regolazione dell'immagine

Durante la visualizzazione dell'immagine è possibile regolarne il contrasto, la luminosità, il colore, la fase e così via come desiderato. Le regolazioni possono essere effettuate separatamente per ogni segnale di ingresso ed è inoltre possibile memorizzarle.

Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale, quindi selezionare "CONTRASTO", "LUMINOSITÀ", "COLORE", "FASE", "AGC IMMAGINE", "TEMP COLORE" o "NITIDEZZA" dal menu CTRL IMMAG. tramite ▲ / ▼.

CONTRASTO

Selezionare "CONTRASTO" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Regolare il contrasto tramite ▲ / ▼ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (+100).

▲: per aumentare il contrasto dell'immagine

▼: per diminuire il contrasto dell'immagine

LUMINOSITÀ

Selezionare "LUMINOSITÀ" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Regolare la luminosità tramite ▲ / ▼ su un livello compreso tra MIN (-50) e MAX (+50).

▲: per rendere più luminosa l'immagine

▼: per rendere più scura l'immagine

COLORE

Selezionare "COLORE" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Regolare il colore tramite ▲ / ▼ su un livello compreso tra MIN (-50) e MAX (+50).

▲: per aumentare l'intensità del colore

▼: per diminuire l'intensità del colore

FASE

Selezionare "FASE" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Regolare la fase tramite ▲ / ▼ su un livello compreso tra MIN (-50) e MAX (+50).

▲: per rendere verdastra l'intera immagine

▼: per rendere violacea l'intera immagine

Controllo automatico della luminosità — Miglioramento del contrasto dell'immagine

Se la luminosità dell'immagine è scarsa, il sistema è in grado di aumentare automaticamente il livello di contrasto per migliorare la luminosità. Questa funzione è utile per la visualizzazione di immagini scure.

Selezionare "AGC IMMAGINE" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Impostare AGC IMMAGINE su ON o su OFF tramite ▲ / ▼.

TEMP COLORE (temperatura di colore)

Per impostare la temperatura di colore è possibile selezionare HIGH o LOW oppure regolare con maggiore accuratezza ogni guadagno. È possibile registrare fino a sei temperature di colore regolate e rinominarle con nomi di un massimo di sei caratteri.

1 Selezionare "TEMP COLORE" tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

2 Selezionare la temperatura di colore tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

HIGH: per impostare una temperatura di colore elevata

LOW: per impostare una temperatura di colore bassa

1 – 6: per impostare il guadagno con maggiore accuratezza

Se si seleziona HIGH o LOW, il monitor torna al menu CTRL IMMAG.

Se si seleziona da "1" a "6"

Se si seleziona da "1" a "6", sul pannello del display appare il seguente menu.

TEMP COLORE	:	1
GUAD. ROSSO	:	1 2 8
GUAD. VERDE	:	1 2 8
GUAD. BLU	:	1 2 8
IMP NOME		
SEL (↵) REGOL. (ENTER) FINE (MENU)		

Sul monitor PFM-42B1E viene visualizzato "255" per ciascun guadagno.

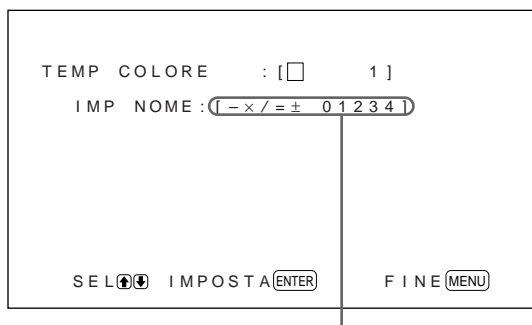
- (1) Selezionare un numero da registrare tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il cursore (►).
- (2) Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) sulla voce del guadagno che si desidera impostare, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- (3) Regolare il guadagno (da 0 a 255) tramite ▲ / ▼, quindi premere MENU.
Il monitor torna al menu TEMP COLORE.
La gamma variabile del monitor PFM-42B1E è compresa tra 10 e 255.
- (4) Ripetere i punti (2) e (3) per impostare le altre voci del guadagno, quindi premere MENU.
Il monitor torna al menu TEMP COLORE.

Per rinominare le temperature di colore regolate, eseguire quanto descritto di seguito.

- (5) Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "IMP NOME", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



Elenco dei caratteri

- (6) Selezionare il carattere da cambiare tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Lo sfondo del carattere all'interno del relativo elenco diventa azzurro.
- (7) Selezionare un carattere all'interno del relativo elenco tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Il carattere selezionato viene inserito.

- (8) Ripetere i punti (6) e (7) finché non si è terminato di comporre il nome, quindi premere MENU.
Il monitor torna al menu TEMP COLORE.

NITIDEZZA

Per modificare il livello di correzione del contorno in tre diversi livelli (HIGH, MED. o LOW).

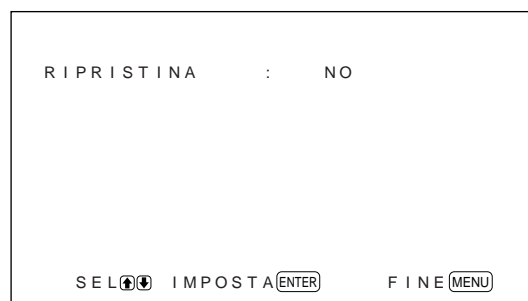
- 1 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "NITIDEZZA", quindi premere ENTER.
- 2 Selezionare il livello di correzione del contorno tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
HIGH: per rendere più nitida l'immagine
MED: valore standard
LOW: per rendere meno nitida l'immagine

Note

- Le impostazioni di COLORE e FASE non sono disponibili con il segnale RGB.
- L'impostazione di FASE non è disponibile con un segnale componente.
- L'impostazione di FASE non è disponibile con una sorgente di colore PAL o SECAM.
- Non modificare il livello di COLORE/FASE (solo NTSC) se il segnale selezionato è in bianco e nero. Sebbene non influenzi l'immagine corrente, influenza l'immagine di segnali a colori quali NTSC o PAL eventualmente immessi in un secondo tempo.
- Durante la regolazione di CONTRASTO, LUMINOSITÀ, COLORE o FASE, il valore visualizzato sul pannello del display non viene sincronizzato in base alla modifica.

Ripristino delle voci del menu CTRL IMMAG. alle impostazioni originali

- 1 Nel menu CTRL IMMAG., premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "RIPRISTINA", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼.
“NO” diventa “SÌ”.



- 3** Premere ENTER.
Le impostazioni del menu CTRL IMMAG. vengono ripristinate.

Per annullare la funzione di ripristino
Premere MENU prima di ENTER.

Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine

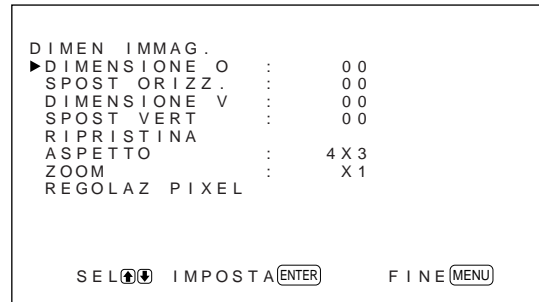
È possibile spostare la posizione dell'immagine in modo che si adatti allo schermo oppure regolarne separatamente le dimensioni verticali e orizzontali.

Modifica delle dimensioni dell'immagine

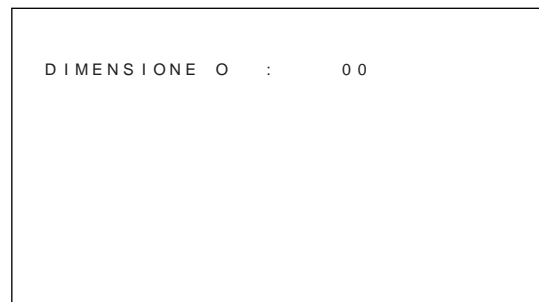
- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (▶) su “DIMEN IMMAG.”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu DIMEN IMMAG.



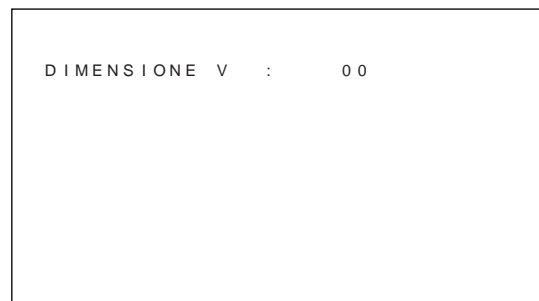
- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (▶) su “DIMENSIONE O”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** Premere ▲ / ▼ per modificare le dimensioni dell'immagine.
▲: per aumentare le dimensioni orizzontalmente
▼: per ridurre le dimensioni orizzontalmente
Le dimensioni orizzontali dell'immagine vengono indicate sul pannello del display in valori compresi tra MIN (-50) e MAX (+50).

- 5** Premere ENTER.
Il monitor torna al menu DIMEN IMMAG.

- 6** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (▶) su “DIMENSIONE V”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 7** Premere ▲ / ▼ per modificare le dimensioni dell'immagine.
 ▲: per aumentare le dimensioni verticalmente
 ▼: per ridurre le dimensioni verticalmente
 Le dimensioni verticali dell'immagine vengono indicate sul pannello del display in valori compresi tra MIN (-50) e MAX (+50). Il valore di fabbrica è 00.

- 8** Premere ENTER.
 Il monitor torna al menu DIMEN IMMAG.

Regolazione della posizione dell'immagine

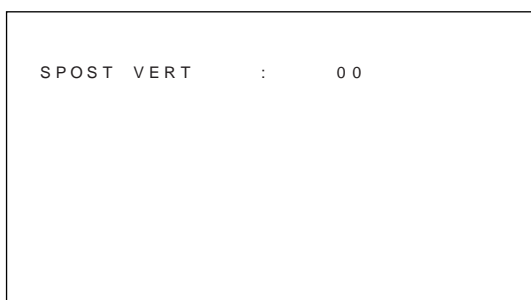
- 1** Nel menu DIMEN IMMAG., premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "SPOST ORIZZ.", quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare l'immagine.
 ▲: per spostare l'immagine verso destra
 ▼: per spostare l'immagine verso sinistra
 La posizione orizzontale dell'immagine viene indicata sul pannello del display in valori compresi tra MIN (-50) e MAX (+50). Il valore di fabbrica è 00.

- 3** Premere ENTER.
 Il monitor torna al menu DIMEN IMMAG.

- 4** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "SPOST VERT", quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 5** Premere ▲ / ▼ per spostare l'immagine.
 ▲: per spostare l'immagine verso l'alto
 ▼: per spostare l'immagine verso il basso
 La posizione verticale dell'immagine viene indicata sullo schermo del monitor in valori compresi tra MIN (-50) e MAX (+50). Il valore di fabbrica è 00.

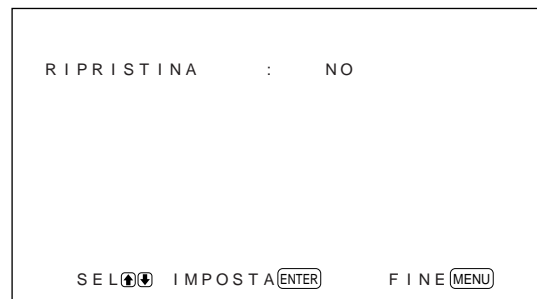
- 6** Premere ENTER.
 Il monitor torna al menu DIMEN IMMAG.

Nota

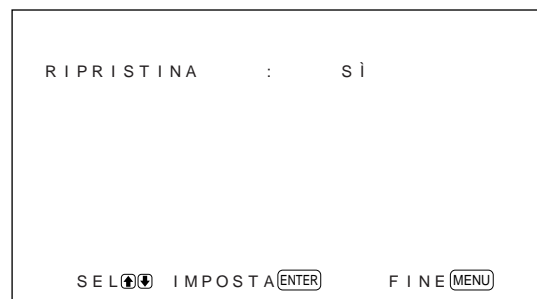
Non è possibile modificare le dimensioni o regolare la posizione dell'immagine impostando tali voci su valori non compresi nella gamma regolabile. Quest'ultima varia in base al tipo di segnale di ingresso.

Ripristino delle dimensioni e della posizione dell'immagine originali

- 1** Nel menu DIMEN IMMAG., premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "RIPRISTINA", quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼.
 "NO" diventa "SÌ".



- 3** Premere ENTER.
 Le dimensioni e la posizione originali dell'immagine vengono ripristinate.

Per annullare la funzione di ripristino
 Premere MENU prima di ENTER.

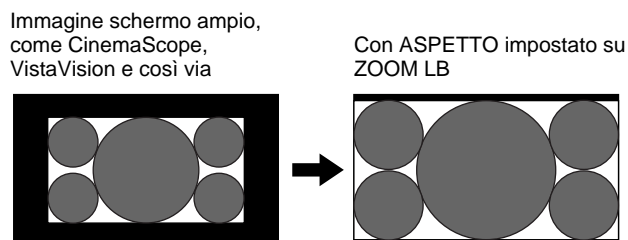
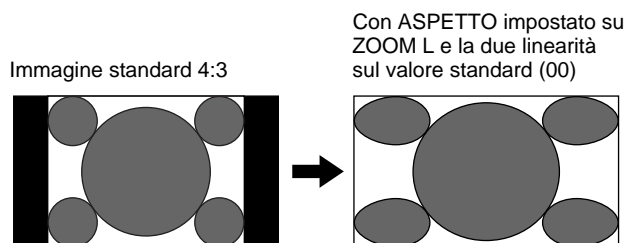
Modifica del rapporto di formato

Il presente display è in grado di visualizzare le immagini in diversi rapporti di formato quali ad esempio il formato standard 4:3 dei programmi televisivi, immagini con formato 16:9 e così via. Ciò significa che è possibile selezionare il rapporto di formato più adatto per visualizzare le immagini.

- 1 Nel menu DIMEN IMMAG., premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ASPETTO”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Selezionare una voce relativa al rapporto di formato tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
4×3: per visualizzare un'immagine 4:3 standard
16×9: per visualizzare un'immagine in formato 16:9
ZOOM L: per ingrandire un'immagine 4:3 in modo che si adatti in modo naturale ad uno schermo 16:9, come illustrato in basso
ZOOM LB (letterbox): per ingrandire le immagini in diversi rapporti di formato in modo che si adattino proporzionalmente ai lati sinistro e destro dello schermo, come illustrato in basso



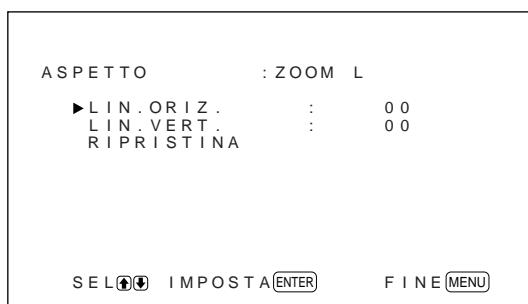
Note

- Se viene selezionato ZOOM L o ZOOM LB, si consiglia di impostare DIMENSIONE O, SPOST ORIZZ., DIMENSIONE V e SPOST VERT sul valore standard (00). Se i valori vengono modificati eccessivamente, le immagini visualizzate in base alle impostazioni di ZOOM L o ZOOM LB potrebbero risultare distorte. Prima di selezionare ZOOM L o ZOOM LB, impostare ZOOM su ×1. Se ZOOM viene impostato su ×2, ×3 o ×4, non è possibile selezionare ZOOM L o ZOOM LB.
- In base al tipo di segnale di ingresso, è possibile che vengano visualizzate delle bande nere nelle parti superiore e inferiore dello schermo.

Regolazione della linearità

Se per ASPETTO viene selezionato ZOOM L, è possibile modificare la linearità regolando le impostazioni LIN. ORIZ. e LIN. VERT.

- 1 Nel menu ASPETTO, premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ZOOM L”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “LIN. ORIZ.” o su “LIN. VERT.”, quindi premere ENTER.
LIN. ORIZ.: per modificare orizzontalmente la linearità
LIN. VERT.: per modificare verticalmente la linearità

Sul pannello del display appare il seguente menu (l'illustrazione si riferisce alla selezione di LIN. ORIZ.).



3 Regolare le dimensioni dello schermo tramite ▲ / ▼.

Ripristino delle voci del modo zoom ampio alle impostazioni originali

Nel menu ASPETTO, selezionare ZOOM L, quindi premere ENTER. Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “RIPRISTINA”, quindi premere ENTER. Selezionare SÌ tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Nota

Durante la regolazione di DIMENSIONE O, SPOST ORIZZ., DIMENSIONE V, SPOST VERT, LIN. ORIZ. o LIN. VERT., il valore visualizzato sul pannello del display non viene sincronizzato in base alla modifica.

Regolazione dei pixel

Se i bordi dei caratteri o delle linee verticali risultano eccessivamente disturbati, è possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali.

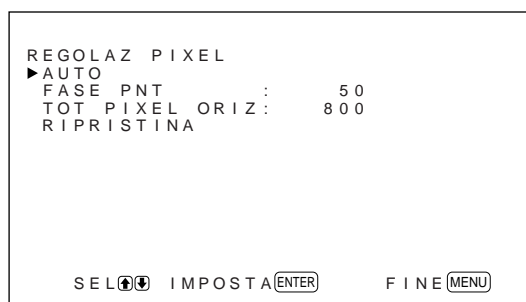
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “DIMEN IMMAG.”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu DIMEN IMMAG.



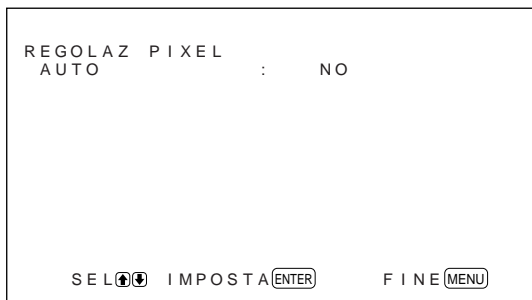
- 3 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “REGOLAZ PIXEL”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** È possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali automaticamente o manualmente.

Regolazione automatica

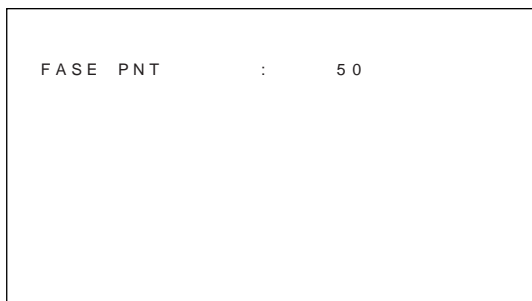
- (1) Selezionare AUTO tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- (2) Selezionare SÌ tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
La fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali vengono regolati automaticamente.

Regolazione manuale

- (1) Selezionare FASE PNT o TOT PIXEL ORIZ tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu (l'illustrazione si riferisce alla selezione di FASE PNT).



- (2) Regolare la fase dei punti o il numero totale di pixel orizzontali tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Ripristino delle voci del menu REGOLAZ PIXEL alle impostazioni originali

Nel menu REGOLAZ PIXEL, premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "RIPRISTINA", quindi premere ENTER. Selezionare SÌ tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Note

- La regolazione della fase dei punti dipende dai segnali trasmessi dal computer (eccetto UXGA e superiori).
- Se non è possibile eliminare i disturbi tramite la Regolazione automatica, procedere alla Regolazione manuale fine.
- Per la regolazione della fase dei punti, utilizzare un motivo a tratteggio incrociato come segnale di ingresso.
- Durante la regolazione di REGOLAZ PIXEL, il valore visualizzato sul pannello del display non viene sincronizzato in base alla modifica.

Utilizzo della funzione di memoria

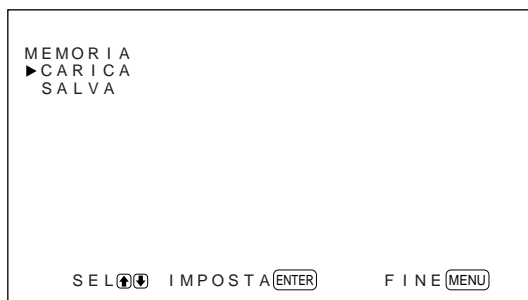
È possibile salvare le impostazioni dell'immagine corrente per ciascun segnale di ingresso utilizzando la funzione MEMORIA. Se necessario, le impostazioni salvate possono essere ripristinate. È possibile memorizzare le impostazioni effettuate nei menu CTRL IMMAG. e DIMEN IMMAG. Le impostazioni delle immagini possono essere salvate per un massimo di venti segnali di ingresso ed è inoltre possibile assegnare nomi di un massimo di 10 caratteri alle impostazioni delle voci.

Memorizzazione dell'impostazione corrente

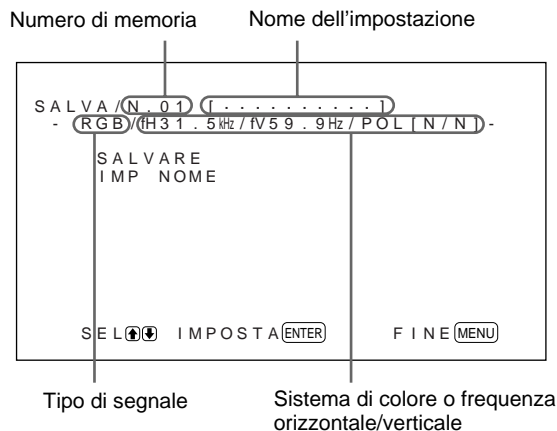
- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "MEMORIA", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu MEMORIA.

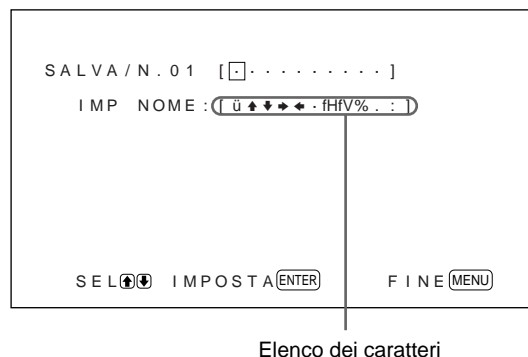


- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “SALVA”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



Se in corrispondenza del numero di memoria selezionato non vi sono dati, sul pannello del display viene visualizzato in azzurro il messaggio “-- VUOTA --”. Il tipo di segnale e il sistema di colore o la frequenza orizzontale/verticale vengono visualizzati in azzurro (per mostrare che il tipo di segnale del numero di memoria selezionato è uguale a quello dell'impostazione corrente) o in giallo (per mostrare che il tipo di segnale del numero di memoria selezionato è diverso rispetto a quello dell'impostazione corrente).

- 4** Selezionare un numero di memoria (da 01 a 20) tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il cursore (►).
- 5** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “SALVARE”, quindi premere ENTER.
I dati correnti vengono memorizzati in corrispondenza del numero di memoria selezionato. Il messaggio “SALVATAG. COMPLETO” viene visualizzato e lampeggia per circa cinque secondi.
Per assegnare un nome alle impostazioni, eseguire quanto descritto di seguito.
- 6** Premere ENTER, ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “IMP NOME”, quindi premere di nuovo ENTER.
Sullo schermo del monitor appare il seguente menu.



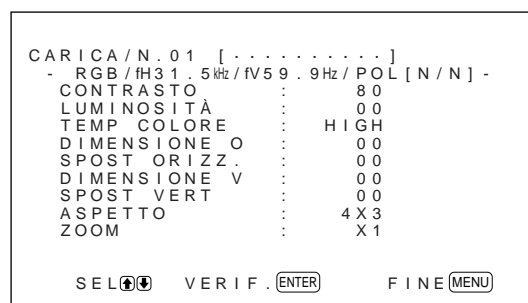
- 7** Selezionare il carattere da cambiare tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Lo sfondo del carattere all'interno del relativo elenco diventa azzurro.
- 8** Selezionare un carattere all'interno del relativo elenco tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
Il carattere selezionato viene inserito.
- 9** Ripetere i punti **7** e **8** finché non si è terminato di comporre il nome, quindi premere MENU.
Il monitor torna al menu SALVA.

Nota

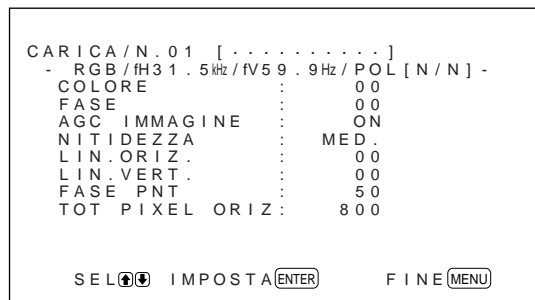
Se la memorizzazione dei dati non avviene, sul pannello del display viene visualizzato il messaggio “ERRORE SALVATAG.”. Tentare di memorizzare di nuovo l'impostazione.

Richiamo delle impostazioni memorizzate

- 1** Nel menu MEMORIA, premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CARICA”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare la prima pagina delle impostazioni memorizzate.



- 2** Selezionare un numero di memoria (da 01 a 20) tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare la seconda pagina delle impostazioni memorizzate.



Il tipo di segnale e il sistema di colore o la frequenza orizzontale/verticale vengono visualizzati in azzurro (per mostrare che il tipo di segnale del numero di memoria selezionato è uguale a quello dell'impostazione corrente ed è dunque possibile richiamare l'impostazione memorizzata) o in rosso (per mostrare che il tipo di segnale del numero di memoria selezionato è diverso rispetto a quello dell'impostazione corrente e non è dunque possibile richiamare l'impostazione memorizzata).

- 3** Premere ENTER. Il messaggio "CARICAM. COMPLETO" viene visualizzato e lampeggia per circa cinque secondi, quindi l'immagine viene regolata in base all'impostazione selezionata.

Nota

Se il caricamento non avviene, sul pannello del display viene visualizzato il messaggio "ERRORE CARICAM.". Tentare di caricare di nuovo l'impostazione.

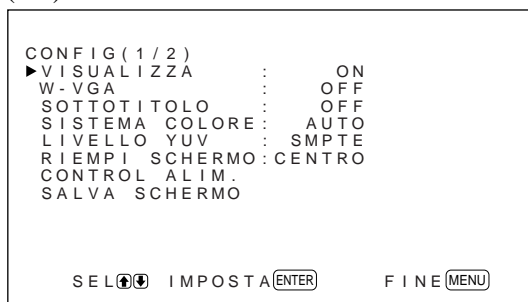
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo

Le lingue disponibili per le indicazioni a schermo sono l'inglese, il tedesco, il francese, l'italiano, lo spagnolo e il giapponese.

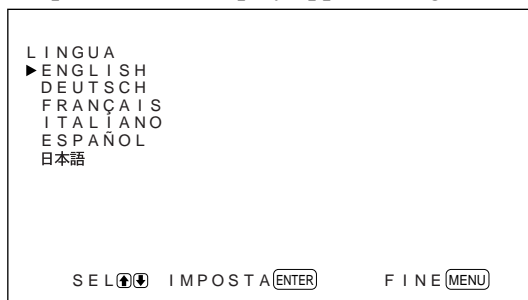
- 1** Premere MENU. Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "CONFIG", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il menu CONFIG (1/2).



- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "LINGUA" nel menu CONFIG (2/2), quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) sulla lingua desiderata, quindi premere ENTER. Le indicazioni a schermo vengono visualizzate nella lingua selezionata.

ENGLISH: inglese
DEUTSCH: tedesco
FRANÇAIS: francese
ITALIANO: italiano
ESPAÑOL: spagnolo
 日本語: giapponese

- 5** Premere MENU. Il monitor torna al menu CONFIG (2/2).

Prevenzione di immagini residue (funzione salva schermo)

Se un'immagine luminosa statica, come lo schermo di un computer o un fermo immagine, viene visualizzata per un lungo periodo di tempo, tale immagine potrebbe restare impressa sul pannello oppure potrebbe lasciare un'immagine residua. Per evitare tale fenomeno o per tentare di eliminarlo, l'apparecchio è dotato di una funzione salvaschermo. Tale funzione dispone di due salva schermo. Uno per invertire l'immagine (INVER. IMMAG.) e l'altro per cambiare automaticamente la posizione dell'immagine visualizzata (ORBIT. IMMAG.).

Situazioni in cui appare spesso un'immagine residua

[1] Bande nere nelle parti superiore e inferiore che appaiono con sorgenti video ampie (immagini in formato Letter box), [2] Bande nere nelle parti sinistra e destra che appaiono con sorgenti video con formato 4:3 (trasmissioni televisive normali), [3] Videogiochi, [4] Menu a schermo di DVD, [5] Menu a schermo, numeri di canale e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via.

Nota

Di seguito vengono descritte le procedure alternative per la riduzione del fenomeno dell'immagine impressa o residua.

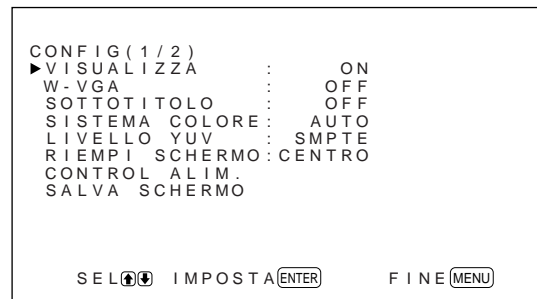
- Evitare di visualizzare numeri di canale, menu a schermo e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via. Per eliminare i numeri di canale e i menu a schermo, consultare il manuale dell'apparecchio collegato.
- Ridurre la luminosità dell'immagine e/o della sorgente video del display nei modi zoom ampio o modo pieno.

Capovolgimento dell'immagine

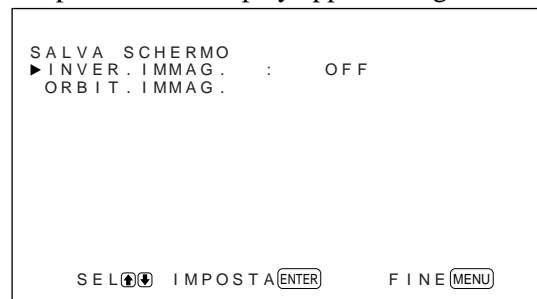
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



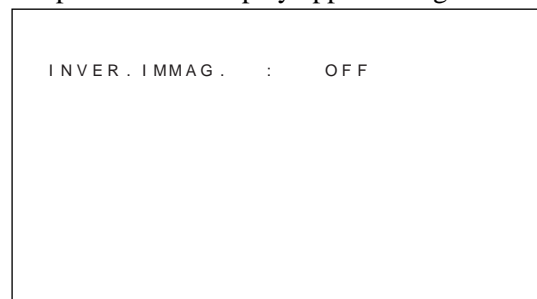
- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "CONFIG", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu CONFIG (1/2).



- 3 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "SALVA SCHERMO", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "INVER. IMMAG.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 5 Selezionare il modo INVER.IMMAG. tramite ▲ / ▼.
OFF: per impostare INVER. IMMAG. su OFF
ON: impostare INVER. IMMAG. su ON
AUTO: per eseguire automaticamente la funzione INVER. IMMAG. una volta al giorno.

Se si seleziona AUTO, sullo schermo del monitor appare il seguente menu.



- (1) Premere ENTER.

Sul pannello del display appare il cursore (►).

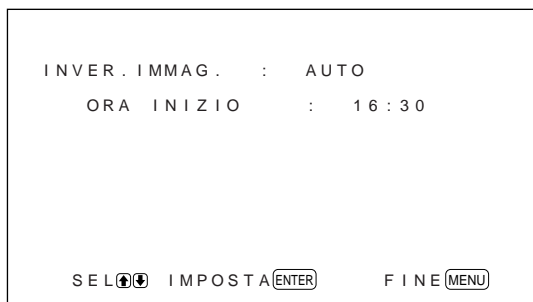
Note su “INVER. IMMAG.” in “SALVA SCHERMO”

Se l'immagine visualizzata appare come il negativo di una pellicola, è possibile che “INVER. IMMAG.” in “SALVA SCHERMO” sia impostato su “AUTO” o su “ON”. Per tornare all'immagine normale, selezionare “OFF” o azzerare il tempo specificato in “AUTO”.

La funzione di inversione dell'immagine inverte il colore dell'immagine (ad esempio, da bianco a nero, da nero a bianco) e corregge il fenomeno dell'immagine residua durante la visualizzazione delle immagini.

L'immagine appare come il negativo di una pellicola quando la funzione di inversione dell'immagine è attiva; ciò non costituisce un problema di funzionamento.

- (2) Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ORA INIZIO”, quindi premere ENTER. Sullo schermo del monitor appare il seguente menu e lo sfondo dell'ora viene visualizzato in azzurro.



- (3) Impostare l'ora in cui si desidera che l'immagine venga capovolta tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER. L'ora viene impostata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in azzurro.
- (4) Impostare i minuti tramite ▲ / ▼, quindi premere MENU. I minuti vengono impostati, quindi il monitor torna al menu INVER. IMMAG.

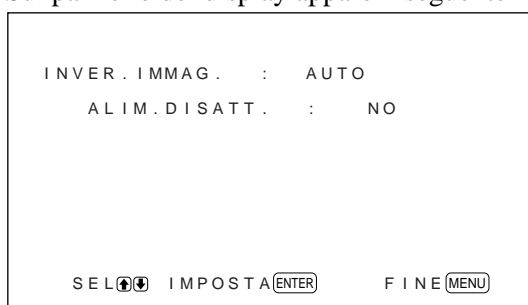
- (5) Allo stesso modo, impostare l'ora in cui si desidera che la funzione INVER. IMMAG. venga disattivata.

L'immagine visualizzata viene capovolta all'ora impostata in ORA INIZIO e torna alla posizione originale all'ora impostata in ORA FINE. Questo ciclo viene eseguito automaticamente una volta al giorno.

Impostazione del modo di attesa all'ora impostata in ORA FINE

- 1** Una volta selezionato AUTO per il modo INVER. IMMAG., selezionare ALIM. DISATT., quindi premere ENTER.

Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Selezionare SÌ tramite ▲ / ▼, quindi premere MENU.

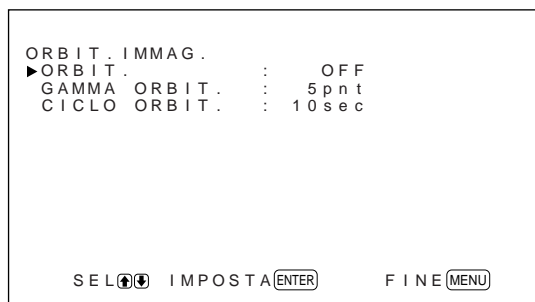
Il display entra nel modo di attesa all'ora impostata in ORA FINE.

Note

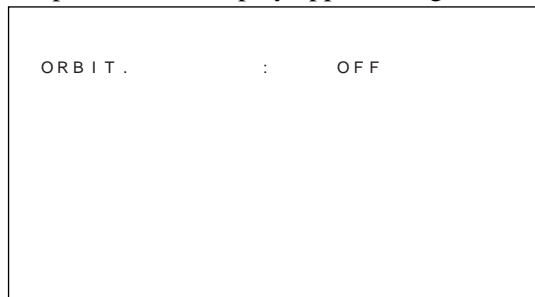
- Le funzioni di disattivazione, di risparmio energetico e di timer di attivazione/disattivazione nel menu CONTROL ALIM. non possono essere utilizzate contemporaneamente. Se una di tali funzioni è impostata su ON (SÌ), l'indicazione “— — —” appare accanto alle altre e non sarà possibile utilizzarle.
- Se si impostano ORA INIZIO e ORA FINE sulla stessa ora, l'impostazione di ORA INIZIO ha priorità su quella di ORA FINE e il display non torna alla posizione originale all'ora preimpostata in ORA FINE.
- Se ORA INIZIO in INVER. IMMAG. e ORA INIZIO in TIMER ON/OFF vengono impostati sulla stessa ora, la funzione INVER. IMMAG. non verrà attivata all'attivazione automatica dell'alimentazione.

Modifica automatica della posizione dell'immagine visualizzata

- 1** Nel menu SALVA SCHERMO, premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ORBIT. IMMAG.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (▶) su “ORBIT.”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

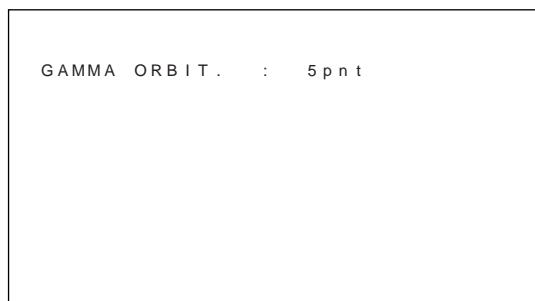


- 3** Selezionare il modo ORBIT. tramite ▲ / ▼.
OFF: per annullare la funzione ORBIT. IMMAG.
ON: per impostare la funzione ORBIT. IMMAG.

- 4** Premere MENU.
Il monitor torna al menu ORBIT. IMMAG.

- 5** Selezionare GAMMA ORBIT. (distanza di movimento) o CICLO ORBIT. (tempo) tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
È possibile selezionare i seguenti valori:
GAMMA ORBIT.: 5pnt, 10pnt, 15pnt, 20pnt
CICLO ORBIT.: 10sec, 30sec, 1min, 5min

Sul pannello del display appare il seguente menu (l'illustrazione si riferisce alla selezione di GAMMA ORBIT.).



- 6** Regolare GAMMA ORBIT. o CICLO ORBIT. tramite ▲ / ▼, quindi premere MENU.

Quando INVER. IMMAG. e ORBIT. IMMAG. sono impostati su ON

Se la funzione ORBIT. IMMAG. è attivata mentre l'immagine è capovolta, questa viene visualizzata mentre cambia posizione.

Controllo automatico dell'alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)

Il presente display dispone di due funzioni di controllo dell'alimentazione. È possibile impostarlo in modo che si disattivi automaticamente dopo un determinato periodo se non viene trasmesso alcun segnale dai connettori INPUT1 o INPUT2 (funzione RISP. ENER.); oppure è possibile impostare l'ora di attivazione o disattivazione automatica del monitor (TIMER ON/OFF). Il monitor PFM-42B2E dispone delle funzioni TIMER ON e TIMER OFF mediante cui è possibile impostare l'ora rispettivamente di attivazione o di disattivazione dell'alimentazione.

Funzione di risparmio energetico (solo PFM-42B2E)

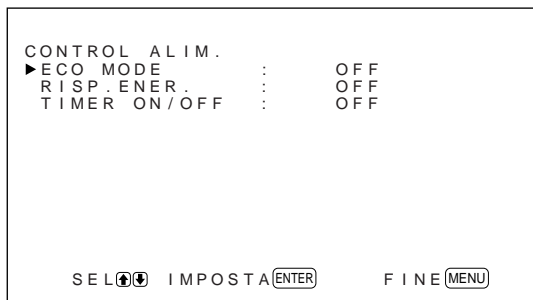
- 1** Premere MENU
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (▶) su “CONFIG”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONFIG (1/2).



- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONTROL ALIM.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



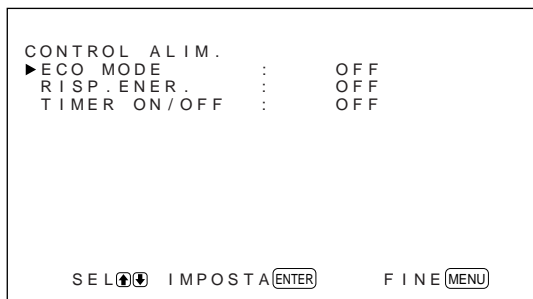
- 4** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ECO MODE”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



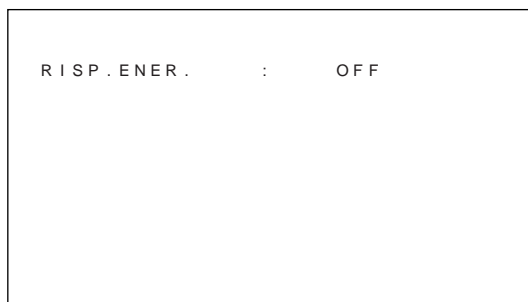
- 5** Premere ▲ / ▼ per selezionare ON/OFF per il modo ECO MODE.
OFF: funzione di risparmio energetico disattivata
ON: funzione di risparmio energetico disattivata
 Attivando la funzione ECO MODE (ON), la luminosità dello schermo viene ridotta e, sebbene il consumo energetico sia ridotto, è possibile visualizzare quanto desiderato.

Funzione di risparmio energetico

- 1** Nel menu CONFIG (1/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONTROL ALIM.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “RISP. ENER.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 3** Premere ▲ / ▼ per selezionare l'intervallo di tempo che deve trascorrere prima dell'attivazione del modo di risparmio energetico.
OFF: per non attivare la funzione di risparmio energetico.
5min: per attivare il modo di risparmio energetico dopo cinque minuti dalla mancata immissione di segnali di ingresso.
10min: per attivare il modo di risparmio energetico dopo dieci minuti dalla mancata immissione di segnali di ingresso.

Mentre l'apparecchio si trova nel modo di risparmio energetico, l'indicatore ON (di accensione) lampeggia.

Per disattivare la funzione di risparmio energetico

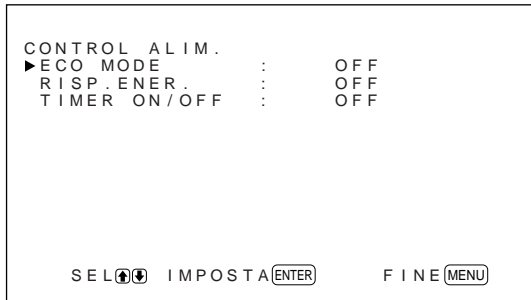
- Immettere di nuovo il segnale sincronico.
- Premere l'interruttore ⏻ nella sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa) oppure l'interruttore POWER ON sul telecomando.

Caratteristiche dei segnali necessari per l'utilizzo della funzione di risparmio energetico

Il segnale sincronico deve corrispondere al segnale RGB immesso tramite il piedino numero 13 del connettore RGB/YUV (D-sub a 15 piedini) nei connettori INPUT 1 o INPUT 2.

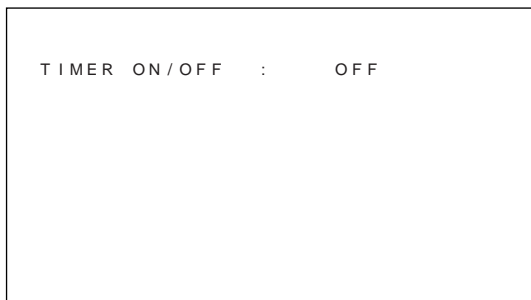
Funzione di timer di attivazione/disattivazione

- 1** Nel menu CONFIG (1/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONTROL ALIM.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.

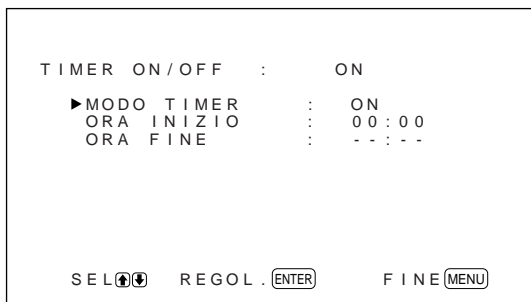


PFM-42B1E: "ECO MODE" non viene visualizzato.

- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "TIMER ON/OFF", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 3** Selezionare ON tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



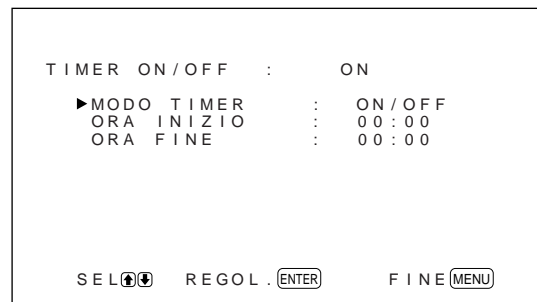
Nota

A seconda del modo del timer precedentemente impostato, la schermata visualizzata potrebbe essere diversa. I punti riportati di seguito si riferiscono alla procedura con il timer impostato su ON. L'impostazione di fabbrica è ON/OFF.

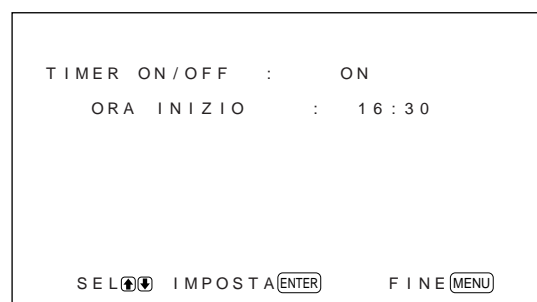
- 4** In questa schermata, premere di nuovo ENTER per selezionare il modo del timer. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 5** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "ON/OFF", quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 6** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "ORA INIZIO", quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu e l'area sottostante l'ora diventa di colore blu chiaro.



- 7** Premere ▲ / ▼ per impostare l'ora, quindi premere ENTER. L'ora viene impostata e l'area sottostante i minuti diventa di colore blu.

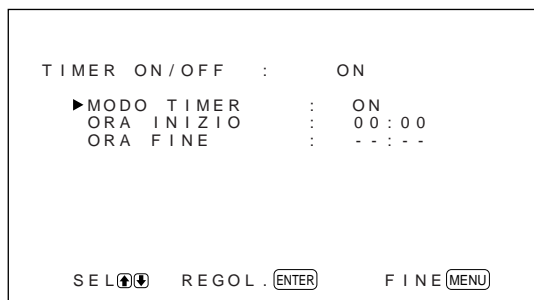
- 8** Premere ▲ / ▼ per impostare i minuti, quindi premere ENTER.

- 9** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "ORA FINE", quindi premere ENTER. Effettuare la stessa procedura per impostare l'ora e i minuti per l'attivazione dell'alimentazione. Una volta raggiunta l'ora di disattivazione, l'indicatore ON lampeggia e l'apparecchio viene disattivato.

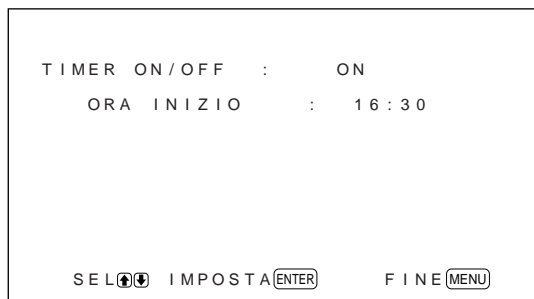
Funzione di timer di attivazione (solo PFM-42B2E)

- 1 Quando durante la funzione TIMER ON/OFF viene visualizzata la schermata del punto 4, selezionare ON tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



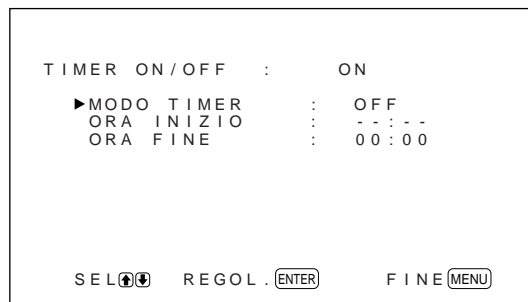
- 2 Premere ▲ / ▼ per selezionare “ORA INIZIO”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu e l’area sottostante l’ora diventa di colore blu chiaro.



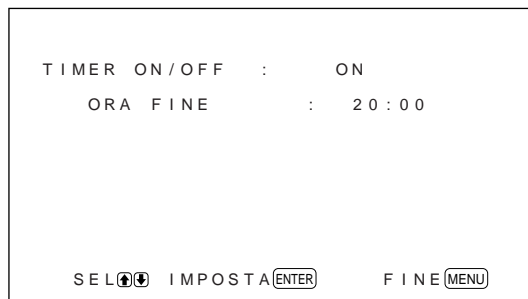
- 3 Premere ▲ / ▼ per impostare l’ora, quindi premere ENTER. L’ora viene impostata e l’area sottostante i minuti diventa di colore blu.
- 4 Premere ▲ / ▼ per impostare i minuti, quindi premere ENTER. Se l’apparecchio si trova nel modo di disattivazione dell’alimentazione, l’indicatore ON (alimentazione) lampeggia.

Funzione di timer di disattivazione (solo PFM-42B2E)

- 1 Quando durante la funzione TIMER ON/OFF viene visualizzata la schermata del punto 4, selezionare OFF tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Premere ▲ / ▼ per selezionare “ORA FINE”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu e l’area sottostante l’ora diventa di colore blu chiaro.



- 3 Premere ▲ / ▼ per impostare l’ora, quindi premere ENTER. L’ora viene impostata e l’area sottostante i minuti diventa di colore blu.
- 4 Premere ▲ / ▼ per impostare i minuti, quindi premere ENTER. Quando il timer di disattivazione viene disattivato, l’apparecchio passa al modo di attesa.

Note

- La funzione di risparmio energetico non è disponibile se il segnale viene immesso dai connettori VIDEO.
- Se il segnale sincronico non è collegato al piedino numero 13 del connettore RGB/YUV (D-sub a 15 piedini) nei connettori INPUT1 o INPUT2, il display non si accende anche se viene immesso il segnale sincronico. Se è collegato solo un segnale RGB, assicurarsi di impostare RISP. ENER. su OFF.
- Le funzioni di risparmio energetico, di timer di attivazione/disattivazione e di disattivazione dell’alimentazione nel menu INVER. IMAG. non possono essere utilizzate contemporaneamente. Se una di tali funzioni è impostata su ON, l’indicazione “--:--:--” appare accanto alle altre e non sarà possibile utilizzarle.
- Se si impostano ORA INIZIO e ORA FINE sulla stessa ora, l’impostazione di ORA INIZIO ha priorità su quella di ORA FINE e il monitor non verrà disattivato all’ora preimpostata in ORA FINE.
- La funzione di risparmio energetico non è operativa se viene immesso il segnale YUV (componente).

Impostazione di SERIAL REMOTE (solo PFM-42B2E)

È possibile impostare i comandi del telecomando seriale.

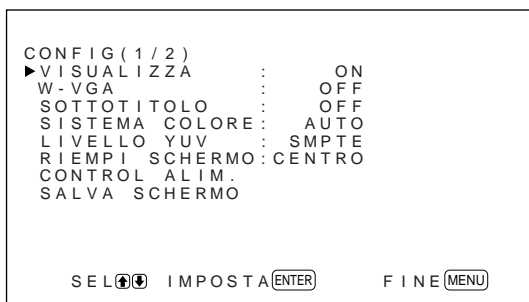
Impostazione della velocità di trasmissione

È possibile sincronizzare la velocità di trasmissione con il dispositivo controllato.
L'impostazione predefinita è 9600bps.

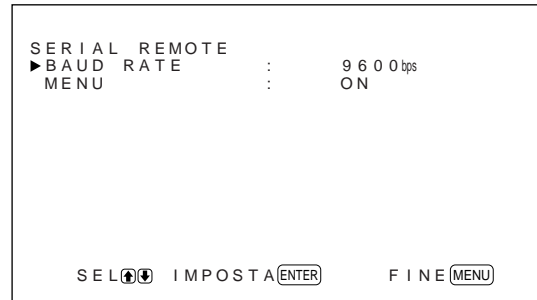
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



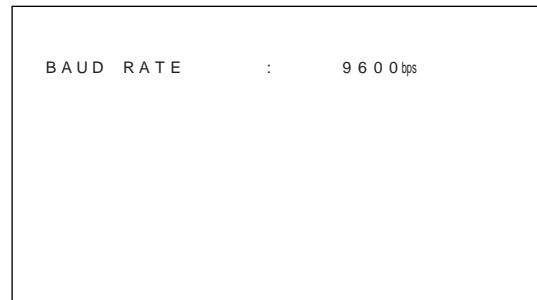
- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONFIG”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONFIG (1/2).



- 3 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “SERIAL REMOTE” nel menu CONFIG (2/2), quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 4 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “BAUD RATE”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



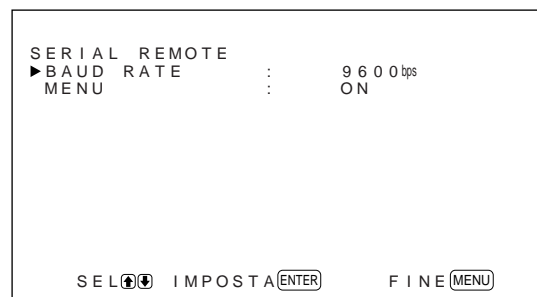
- 5 Selezionare la velocità di trasmissione (9600bps, 19200bps o 38400bps) mediante ▲ / ▼, quindi premere ENTER.
- 6 Premere MENU.
La schermata torna al menu CONFIG (2/2).

Funzione MENU

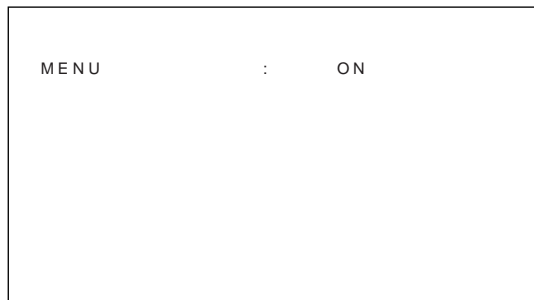
Se il sistema viene controllato utilizzando il telecomando seriale, le funzioni controllate vengono visualizzate.

È possibile nascondere i dati del telecomando seriale come segue:

- 1 Nel menu CONFIG (2/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “SERIAL REMOTE”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “MENU”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 3** Premere ▲ / ▼ per impostare MENU su OFF, quindi premere ENTER.
I dati del telecomando seriale non vengono visualizzati.

Per visualizzare i dati del telecomando seriale

Al punto **3** di cui sopra, impostare MENU su ON.
L'impostazione predefinita è ON.

Impostazione di ADATT.DI RETE (solo PFM-42B2E)

È possibile impostare l'adattatore di rete.

Impostazione della fonte di alimentazione dell'adattatore di rete

Anche se il sistema si trova nel modo di attesa, l'adattatore di rete viene alimentato.
È possibile disattivare la fonte di alimentazione nel modo di attesa come segue:

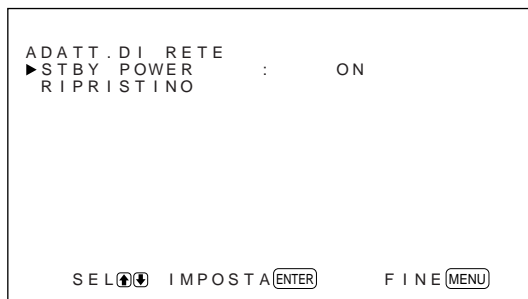
- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



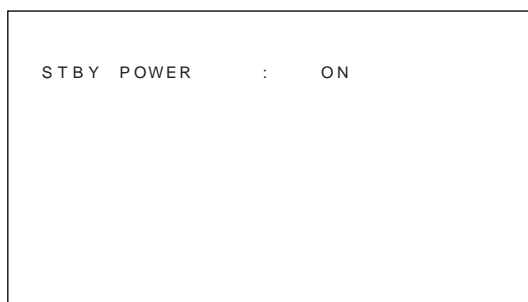
- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “CONFIG”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONFIG (1/2).



- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “ADATT.DI RETE” nel menu CONFIG (2/2), quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 4** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su “STBY POWER”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 5** Premere ▲ / ▼ per impostare STBY POWER su OFF, quindi premere ENTER.
Se il sistema si trova nel modo di attesa, l'adattatore di rete non viene alimentato.

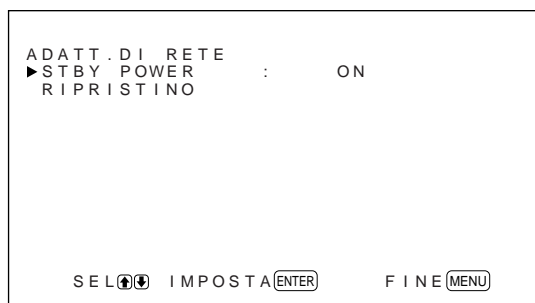
Per fornire alimentazione

Al punto **5** di cui sopra, impostare STBY POWER su ON.
L'impostazione predefinita è ON.

Se durante l'uso dell'adattatore di rete lo schermo si blocca

Reimpostare lo schermo come segue:

- 1 Nel menu CONFIG (2/2), premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "ADATT.DI RETE", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "RIPRISTINO", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 3 Premere ▲ / ▼ per impostare RIPRISTINO su SÌ, quindi premere ENTER.
L'adattatore di rete viene avviato di nuovo.

Funzione di autodiagnostica

Il presente apparecchio dispone di una funzione di autodiagnostica.

Questa funzione permette di individuare le condizioni del display tramite il modo in cui lampeggia l'indicatore STANDBY. In base al tipo di lampeggiamento è possibile capire le condizioni attuali del display.

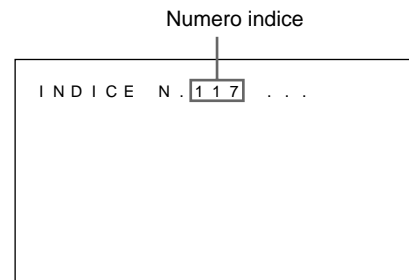
Se l'indicatore STANDBY lampeggia, controllare quante volte lampeggia e contattare un rivenditore Sony autorizzato.

- 1 Controllare il lampeggiamento dell'indicatore STANDBY.
L'indicatore lampeggia (con un'immagine sul display) o lampeggia ad intervalli di tre secondi (senza immagini sul display).
Se l'indicatore lampeggia ad intervalli di tre secondi, contare quante volte lampeggia. Ad esempio, l'indicatore lampeggia due volte, quindi rimane spento per tre secondi, quindi di nuovo due volte e così via. In tal caso, il numero di lampeggiamenti sarà due.
- 2 Scollegare l'apparecchio.
Riferire ad un rivenditore Sony autorizzato il numero di lampeggiamenti.

Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando

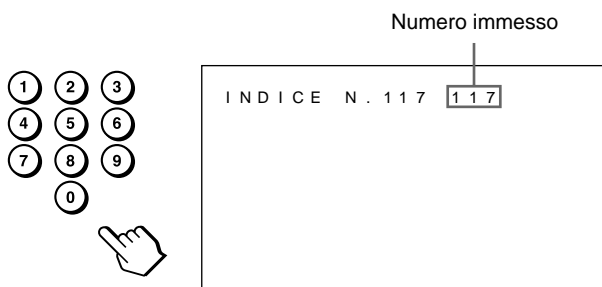
Tramite il telecomando in dotazione è possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

- 1 Premere ID MODE ON sul telecomando.
I numeri di indice del display vengono visualizzati in caratteri bianchi su tutti i display (ad ogni display viene assegnato un numero indice preimpostato da 1 a 255).
Per informazioni sulla modifica del numero indice, vedere "Modifica del numero indice" a pagina 46 (IT).



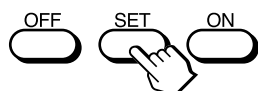
- 2** Inserire il numero indice del display che si desidera utilizzare utilizzando i tasti da 0 a 9 sul telecomando.

Il numero inserito viene visualizzato accanto al numero indice di ciascun display.



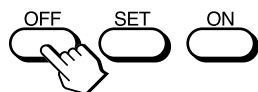
- 3** Premere ID MODE SET.

Il carattere sul display selezionato diventa azzurro e il carattere sugli altri display diventa rosso.



È possibile utilizzare solo il display specificato (nel modo ID sono disponibili tutte le operazioni ad eccezione dell'attivazione/disattivazione dell'alimentazione).

- 4** Una volta effettuate le regolazioni necessarie, premere ID MODE OFF. Il display torna al modo normale.



Modifica del numero indice

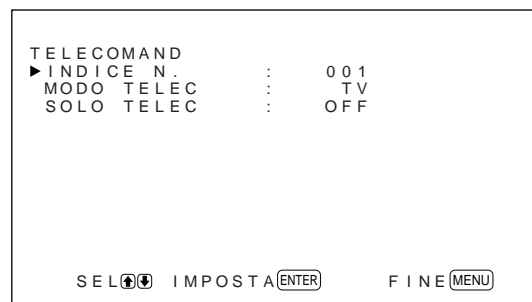
Se necessario è possibile cambiare il numero indice. Per cambiare il numero, utilizzare i tasti presenti sulla sezione tasti di controllo del display.

- 1** Premere MENU.

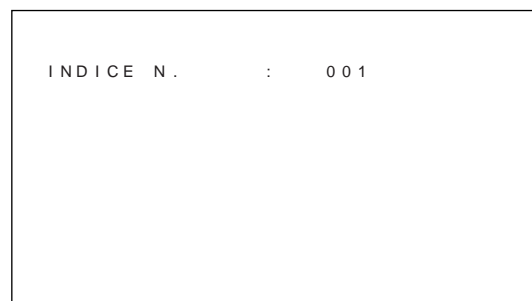
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "TELECOMAND", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il menu TELECOMAND.



- 3** Premere ▲ / ▼ per spostare il cursore (►) su "INDICE N.", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** Selezionare il numero indice tramite ▲ / ▼, quindi premere ENTER. Il monitor torna al menu TELECOMAND.

Utilizzo di altri modelli di telecomando

Quanto descritto di seguito può essere effettuato utilizzando altri modelli di telecomando.

- Attivazione/disattivazione dell'alimentazione
- Selezione dell'ingresso
- Utilizzo dei menu
- Regolazione dell'immagine: contrasto, fase e colore
- Attivazione/disattivazione delle indicazioni a schermo

Le funzioni disponibili e i tasti da utilizzare dipendono da ciascun telecomando che si utilizza. Vedere la seguente tabella.

Modello telecomando		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Impostazione MODO TELEC		TV	TV	PJ
Selezione dell'ingresso	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Utilizzo dei menu	MENU	MENU	MENU	MENU o ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER o →
	▲	+	SELECT+↑	↑
	▼	—	SELECT-↓	↓
Regolazione dell'immagine	Contrasto	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Colore	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Fase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Informazioni a schermo		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Segnali preimpostati

vedere a pagina 27 (IT).

Frequenza di campionamento

da 13,5 MHz a 140 MHz

Pannello

Pannello con display al plasma tipo CA

Risoluzione del display

1 024 punti (orizzontale) ×
1 024 linee (verticale)

Passo dei pixel

0,90 (orizzontale) ×
0,51 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

921 (orizzontale) ×
522 (verticale) mm

Dimensioni del pannello

42 pollici (diagonale 1 058 mm)

Ingressi e uscite

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV

D-sub a 15 piedini (femmina)
*(vedere "Assegnazione dei
piedini" a pagina 49 (IT).)*

AUDIO

Minipresa stereo
500 mVrms, alta impedenza

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)¹⁾

COMPOSITE IN BNC (×1)

Video composito, 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, a 75 ohm
(terminazione automatica)

Y/C IN

Mini DIN a 4 piedini (×1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, con
terminazione a 75 ohm
C (crominanza): segnale di
sincronizzazione 0,286 Vp-p
±2 dB (NTSC), con terminazione
a 75 ohm
Segnale di sincronizzazione
0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con
terminazione a 75 ohm

AUDIO IN

Minipresa stereo
500 mVrms, alta impedenza

COMPOSITE OUT

BNC (×1) a ciclo aperto

AUDIO OUT

Minipresa stereo
500 mVrms, alta impedenza

REMOTE (RS-232C)

D-sub a 9 piedini (×1)

Normative sulla sicurezza

UL1950, CSA N. 950 (c-UL), FCC
Class B, IC Class B, EN60 950
(NEMKO), CE, C-Tick

Adattatore di ingresso componente (con Control S) BKM-B12 (non in dotazione)

INPUT3

RGB/YUV

Presa fono (femmina) (×3)

CONTROL S (IN/OUT)

Minipresa stereo (×2)
5 Vp-p

Adattatore di ingresso video e Control S BKM-B13 (non in dotazione)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M)

COMPOSITE IN BNC (×1)

Video composito, 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, a 75 ohm
(terminazione automatica)

Y/C IN

Mini DIN a 4 piedini (×1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, con
terminazione a 75 ohm
C (crominanza): segnale di
sincronizzazione 0,286 Vp-p
±2 dB (NTSC), con terminazione
a 75 ohm
Segnale di sincronizzazione
0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con
terminazione a 75 ohm

COMPOSITE OUT

BNC (×1) a ciclo aperto

CONTROL S (IN/OUT)

Minipresa stereo (×2)
5 Vp-p

1) I modelli PFM-42B1E/42B2E non dispongono di connettori VIDEO. Per PFM-42B1E/42B2E, è possibile inviare al display i segnali di ingresso Y/C e video composito solo se sullo stesso sono installati l'adattatore di ingresso video BKM-B10 o l'adattatore S di ingresso e controllo video BKM-B13 (non in dotazione).

Generali

Requisiti di alimentazione

da 100 a 240 V CA, 50/60 Hz,

PFM-42B1E: 4,5 a 1,8 A

PFM-42B2E: 4,2 a 1,5 A

Consumo energetico

PFM-42B1E: 400 W

PFM-42B2E: 360 W

Condizioni di utilizzo

Temperatura: da 0 °C a 35 °C

Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)

Pressione atmosferica: da 800 a 1 060 hPa

Condizioni di conservazione/trasporto

Temperatura: da -10 °C a +40 °C

Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)

Pressione atmosferica: da 800 a 1 060 hPa

Dimensioni

1 033 × 631 × 83 mm

(l/a/p, escluse le parti sporgenti)

Peso

PFM-42B1E: 29,4 kg

PFM-42B2E: 28,4 kg

Accessori in dotazione

Cavo di alimentazione CA (1)

Ferma spina CA (2)

Fermacavo A (2)

Fermacavo B (4)

Nuclei in ferrite (8) (solo PFM-42B2E)

Fermi (8) (solo PFM-42B2E)

Telecomando RM-42B (1)

Pile R6 (formato AA) (2)

Istruzioni per l'uso (1)

Accessori opzionali

Supporto SU-42B per display

Adattatore di ingresso video

BKM-B10

Adattatore di ingresso componente

(con Control S) BKM-B12

Adattatore di ingresso video e

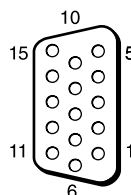
Control S BKM-B13

Adattatore di rete BKM-B30NW

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Connettore RGB/YUV (D-sub a 15 piedini)



N. piedino	Segnale
1	Video rosso oppure R-Y o P _R
2	Video verde (Composito di sincronia su verde) o Y
3	Video blu oppure B-Y o P _B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non in uso
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o composito
14	Sincronismo V
15	SCL

<http://www.sony.net/>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC (揮発性有機化合物)
ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic
Compound)-free vegetable oil based ink.

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony Corporation Printed in Japan